NEC

活用マニュアル（印刷用）

活用マニュアル(印刷用)について

このMultiWriter 4550には、ユーザーズマニュアルと活用マニュアル(閲覧用)の2種類のマニュアルがあります。本書は、活用マニュアル(閲覧用)と同じ内容を記載してある、印刷用としてのマニュアルです。本書の印刷したい章を以下から選び、イメージアイコンをクリックするとAcrobatReaderでご希望の章を開くことができます。本書の印刷の仕方については「はじめに」の「本書を印刷するには」(viiiページ)をご覧ください。

はじめに

本書をお読みいただくために、知っておいていただきたい内容、目次、また、便利な使い方「MOPYING」について記載しています。

こちら↑

1章　オプション

別売品(オプション)の紹介、取り付け、取り外し、テスト印刷の方法などについて説明しています。

こちら↑

2章　プリンターソフトウエアのインストール

プリンターソフトウエアをインストールして、プリンターを使用できるまでについて説明しています。

こちら↑

3章　ネットワークでの設定

ユーティリティーを使ったIPアドレスの設定方法、IPP、LPR(TCP/IP)を使った印刷方法について説明しています。

こちら↑

4章　より進んだ使い方

プリンターソフトウエアを使った、便利な印刷機能について詳しく説明しています。

こちら↑

5章　用紙のセット

使用できる用紙、用紙のセット方法について説明しています。

こちら↑

6章　操作パネル

操作パネルのスイッチやランプについて説明しています。

こちら↑

7章　メニューモード

操作パネル上のスイッチを使って設定できるメニューモードの詳細について説明しています。

こちら↑

8章　日常の保守

消耗品の交換およびプリンターの清掃について説明しています。

こちら↑

9章　故障かな？と思ったら

「故障かな？」と思ったときの症状を基に、原因と処置方法を説明しています。

こちら↑

10章 ユーザーサービス

さまざまなユーザーサービスについて説明しています。

こちら↑

付録　技術情報

このプリンターの性能、印刷範囲や制御コードなどの詳しい技術情報について説明しています。

こちら↑

索引・用語解説

わからない用語の解説や、索引があります。

こちら↑

893-810024-003-A　第2版

プリンターに添付で、本書の他にあるユーザーズマニュアルには以下のことが書かれています。必要に応じて併せてお読みください。

ユーザーズマニュアルの概要

商標について

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
4. 本書は内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
5. プリンターの機能の一部は使用する環境あるいはソフトウエアによってはサポートされない場合があります。
6. 運用した結果の影響については4項および5項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
7. 本製品を第三者に売却・譲渡する際は必ず本書も添えてください。

2003年4月　第2版

893-810024-003-A　第2版

MultiWriter 4550

レーザープリンター

PR-L4550
N1153-L4550

活用マニュアル（印刷用）

893-810024-003-A
第2版

このマニュアルは、必要なときすぐに参照できるよう、印刷してお手元に置いておくことをお勧めします。

安全にかかわる表示

プリンターを安全にお使いいただくために、このマニュアルの指示に従って操作してください。
このマニュアルには製品のどこが危険か、指示を守らないとどのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。
また、製品内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。

マニュアルならびに警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

	指示を守らないと、**人が死亡する、または重傷**を負うおそれがあることを示します。
	指示を守らないと、**火傷やけがのおそれ、および物的損害**の発生のおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示の具体的な内容は「注意の喚起」、「行為の禁止」、「行為の強制」の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

注意の喚起　注意の喚起は、「△」の記号を使って表示されています。この記号は指示を守らないと、危険が発生するおそれがあることを示します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。

	毒性の物質による被害のおそれがあることを示します。		**火傷**を負うおそれがあることを示します。
	レーザー光による失明のおそれがあることを示します。		**指などがはさまれる**おそれがあることを示します。
	発煙または発火のおそれがあることを示します。		**特定しない一般的な注意・警告**を示します。
	感電のおそれがあることを示します。		

893-810024-003-A　第2版

行為の禁止

行為の禁止は「⃠」の記号を使って表示されています。この記号は行為の禁止を表します。記号の中の絵表示はしてはならない行為の内容を図案化したものです。

	プリンターを分解・修理・改造しないでください。**感電や火災**のおそれがあります。		指定された場所には触らないでください。**感電や火傷などの傷害**が起こるおそれがあります。

行為の強制

行為の強制は「●」の記号を使って表示されています。この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示はしなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。

	プリンターの電源プラグをコンセントから抜いてください。**感電や火災**のおそれがあります。

本文中で使用する記号の意味

このマニュアルでは、「安全にかかわる表示」のほかに、本文中で次の2種類の記号を使っています。それぞれの記号について説明します。

記号	内　容
重要	この注意事項および指示を守らないと、プリンターが故障するおそれがあります。また、システムの運用に影響を与えることがあります。
チェック	この注意事項および指示を守らないと、プリンターが正しく動作しないことがあります。

商標について

NEC、NECロゴ、FontAvenueは、日本電気株式会社の商標または登録商標です。
Microsoft、Windows、Windows NT、MS-DOSは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
Netscapeは米国 Netscape Communications Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
i486は米国Intel Corporationの商標です。
HPは米国Hewlett-Packard Companyの商標です。
ESC/Pはセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
NetWareは米国Novell, Inc.の登録商標です。
Macintosh、Mac OS、QuickDraw、QuickDraw GX、TrueType、漢字Talkは米国Apple Computer, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
IBM、ATは米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
UNIXはThe Open Groupの米国ならびに他の国における登録商標です。
Ethernetは米国ゼロックス社の登録商標です。
Adobe、Acrobat、Acrobat Reader、およびPhotoshopはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の登録商標、または商標です。
MULTIWRITER、PrintAgent、MOPYING、NMPS、DocuWorksは富士ゼロックス株式会社の登録商標、または商標です。
その他記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

OSの表記について

Windows XPはMicrosoft Windows XP Home Edition operating systemおよびMicrosoft Windows XP Professional operating systemの略です。Windows 2000はMicrosoft Windows 2000 Professional operating systemおよびMicrosoft Windows 2000 Server operating systemの略です。Windows 2000 Advanced ServerはMicrosoft Windows 2000 Advanced Server operating systemの略です。Windows 2000 Datacenter ServerはMicrosoft Windows 2000 Datacenter Server operating systemの略です。Windows NT 4.0はMicrosoft Windows NT Workstation operating system Version 4.0およびMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 4.0の略です。Windows NT Server 4.0, Terminal Server EditionはMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 4.0,Terminal Server Editionの略です。Windows NT Server, Enterprise Edition 4.0はMicrosoft Windows NT Server, Enterprise Edition network operating system Version 4.0の略です。Windows MeはMicrosoft Windows Millennium Edition operating systemの略です。Windows 98はMicrosoft Windows 98 operating systemの略です。Windows 98 Second EditionはMicrosoft Windows 98 Second Edition operating systemの略です。Windows 95はMicrosoft Windows 95 operating systemの略です。Windows NT 3.51はMicrosoft Windows NT Workstation operating system Version 3.51およびMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 3.51の略です。Windows NT 3.5はMicrosoft Windows NT Workstation operating system Version 3.5およびMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 3.5の略です。Windows 3.1はMicrosoft Windows operating system Version 3.1の略です。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
4. 本書は内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
5. プリンターの機能の一部は使用する環境あるいはソフトウエアによってはサポートされない場合があります。
6. 運用した結果の影響については4項および5項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
7. 本製品を第三者に売却・譲渡する際は必ず本書も添えてください。

893-810024-003-A　第2版

はじめに

このたびはNECのプリンターをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

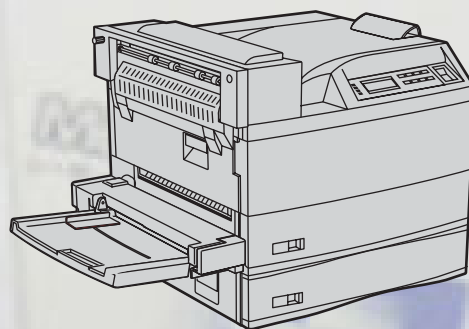
MultiWriter 4550は高性能なCPUを採用し、スループットの高速化を実現した、レーザープリンターです。さらに、大容量給紙、大容量排紙、用途に合わせた豊富な給紙/排紙を実現しています。

MultiWriter 4550の特長を以下に示します。

- 最高45ページ/分の印刷速度(A4サイズ横の場合)
- 200万枚ページの長寿命エンジン搭載
- 大容量ホッパーとフェースアップトレー・両面印刷ユニットなどのオプション品を用意
- ネットワークインターフェース標準装備
- 2段カセット標準
- 最大給紙容量3550枚(オプション装着時)
- 最大排紙容量3000枚(オプション装着時)
- 最高1500dpi相当の解像度(600dpi+SET)

また、Windows環境でより簡単に、より快適に使用していただける印刷統合管理ソフトウエア「PrintAgent」に対応しています。PrintAgentにより、プリンターの状態や印刷の進行状況を確認したり、より快適な「MOPYING」*を実現しています。

* 「MOPYING」については、「プリンティングスタイル「MOPYING」とは」(8ページ)をお読みください。

マニュアルをお読みになり、MultiWriter 4550を十分にご活用ください。

2002年12月　初版
2003年4月　第2版

マニュアルの種類と使い方

MultiWriter 4550本体や付属のプリンターソフトウエアの取り扱い方を説明したマニュアルには、「ユーザーズマニュアル」と「活用マニュアル」があります。活用マニュアルは添付のプリンターソフトウエアCD-ROMの[MANUAL]フォルダーに収録されており、閲覧用(HTML)と印刷用(PDF)のファイルがあります。活用マニュアル(閲覧用)の開き方についてはixページをご覧ください。また、各プリンターソフトウエアの詳細については画面上の「ヘルプ」をご覧ください。それぞれ、目的に応じてマニュアルをお読みいただき、MultiWriter 4550を十分にご活用ください。

MultiWriter 4550　ユーザーズマニュアル

プリンターのセットアップから、プリンターの基本的な操作方法、および困ったときの対処方法などを、この1冊で説明しています。本書はいつでもご覧になれるようにお手元に置いてください。

閲覧用

MultiWriter 4550　活用マニュアル(プリンターソフトウエアCD-ROMに収録)

ネットワーク環境で印刷する場合の設定方法、プリンターソフトウエアやメニューモードの詳細、および技術情報などについて説明しています。

活用マニュアルには、HTML形式を採用した、汎用のブラウザーで閲覧する「活用マニュアル(閲覧用)」と、PDF形式を採用した、Adobe社のAcrobat Readerで参照および印刷ができる「活用マニュアル(印刷用)」があります。ご使用の目的に応じて活用してください。記載内容については次ページの活用マニュアルガイドをご覧ください。

また、活用マニュアル(閲覧用)の開き方についてはixページ、活用マニュアル(印刷用)の開き方、および印刷方法についてはviiiページをご覧ください。

印刷用(本書)

活用マニュアルについて

この活用マニュアルを使いやすくお読みいただくために、以下に簡単な目的別のガイドを記載します。

1ページから始まる「安全にお使いいただくために」にはプリンターを安全にお使いいただくための注意事項が記載してあります。必ずお読みください。

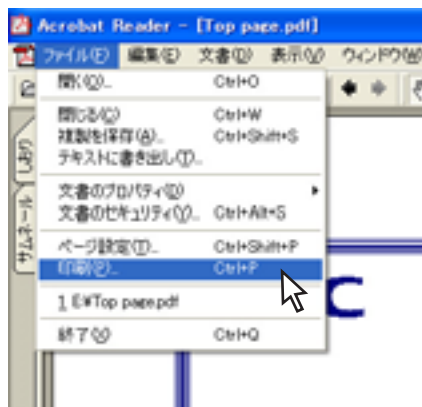
活用マニュアルガイド

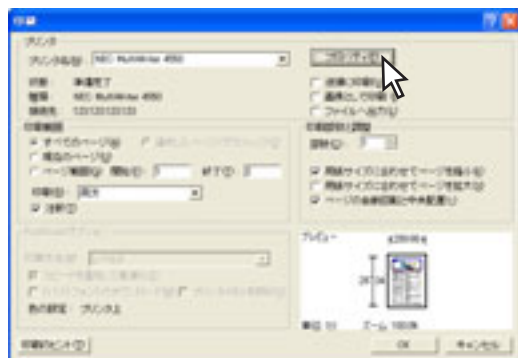
本書を印刷するには

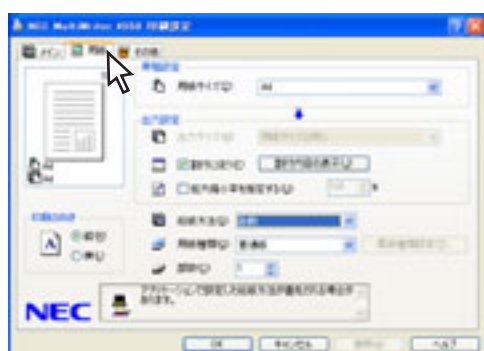
このマニュアルはA4サイズの大きさで作成されています。ここではWindows XPの環境でMultiWriter 4550を使って活用マニュアル(印刷用)を印刷する*手順を説明します。他のOSをお使いの方は多少画面表示が異なりますが、手順は同じです。

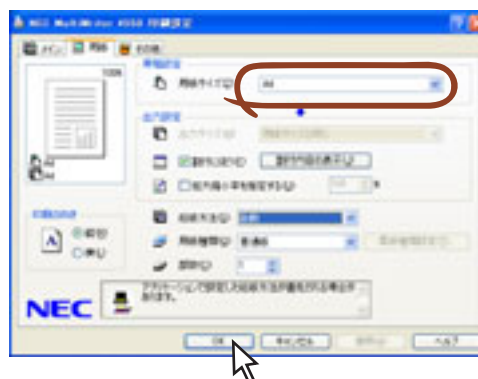
* オプションの両面印刷ユニットを装着している場合は、両面印刷で印刷することをお勧めします。ユーザーズマニュアルのように両面で仕上がります。詳細は215ページを参照してください。

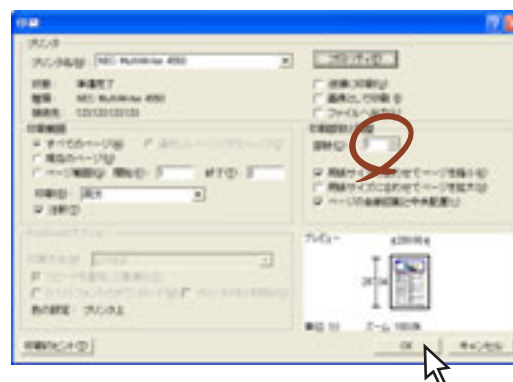
❶ [ファイル]メニューの[印刷]をクリックする。

[印刷]ダイアログボックスが表示されます。

❷ [プロパティ]をクリックする。

[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。

❸ [用紙]タブをクリックする。

[用紙]シートが表示されます。

❹ [用紙サイズ]から[A4]を選択し、[OK]をクリックする。

[印刷]ダイアログボックスに戻ります。

❺ 印刷部数を指定して[OK]をクリックする。

印刷が開始します。

活用マニュアル(閲覧用)の開き方

活用マニュアル(閲覧用)は添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されており、お手持ちのコンピューターの画面上でインターネットブラウザーを使って閲覧できます。なお、閲覧するブラウザーはMicrosoft Internet Explorer 4.0以上またはNetscape Navigator 4.0以上が必要です。あらかじめインストールして以下の手順を行ってください。

以下に、開き方の手順を説明します。

❶ お使いのOS(日本語版)を起動する。

❷ プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。

「プリンタソフトウエアCD-ROMメニュー」が起動します。

お使いのコンピュータによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

❸ [オンラインマニュアル]をクリックする。

右側のボックスにオンラインマニュアルの名称が表示されます。

❹ 右側のボックスの[MultiWriter 4550活用マニュアル(閲覧用)]を選び、[オンラインマニュアルを読む]をクリックする。

お使いのインターネットブラウザーが起動し、「活用マニュアル(閲覧用)」が開きます。

目次

6章　操作パネル 317

7章　メニューモード 327

8章　日常の保守 367

9章　故障かな？と思ったら 379

10章ユーザーサービス 429

付録 技術情報 437

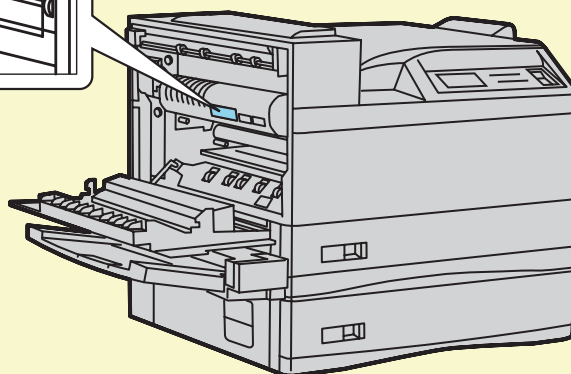
用語解説 517

索引 525

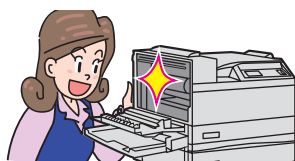
安全にお使いいただくために

警告ラベルについて

MultiWriter 4550プリンター内の危険性を秘める部品やその周辺には警告ラベルが貼り付けられています。これはプリンターを操作する際、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです。

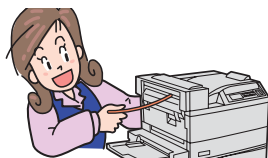
警告ラベルは下図に示す場所に貼られています。もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどして読めない場合は、販売店またはNECサービス窓口にご連絡ください。

安全上のご注意

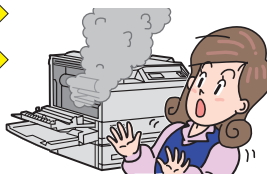
ここで示す注意事項はプリンターを安全にお使いになる上で特に重要なものです。この注意事項の内容をよく読んで、ご理解いただき、プリンターをより安全にご活用ください。記号の説明については表紙の裏の「安全にかかわる表示」を参照してください。

プリンターの内部をのぞかない

このプリンターはレーザー(レーザーダイオード)を使用しています。電源がONになっているときに内部をのぞいたり、鏡などを差し込んだりしないでください。万一、レーザー光が目に入ると失明するおそれがあります(レーザー光は目に見えません)。

分解・修理・改造はしない

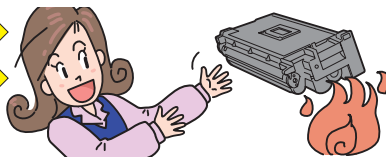
マニュアルに記載されている場合を除き、分解したり、修理/改造を行ったりしないでください。プリンターが正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の原因となるおそれがあります。

針金や金属片を差し込まない

通気孔などのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電のおそれがあります。

煙や異臭、異音がしたら電源OFF

万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに電源スイッチをOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となるおそれがあります。

ぬれた手で電源プラグを触らない

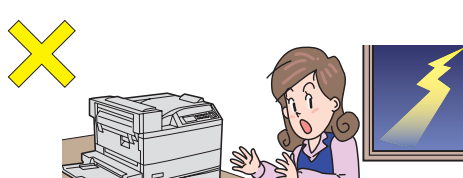
ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

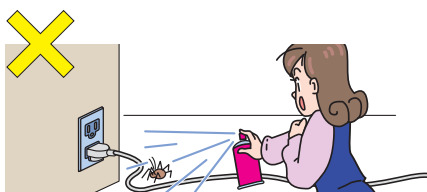
EPカートリッジを火の中に投げ入れない

EPカートリッジを火の中に投げ入れないでください。EPカートリッジ内に残っているトナーの粉じん爆発により、やけどをするおそれがあります。

注意

こわれた液晶ディスプレイには触らない

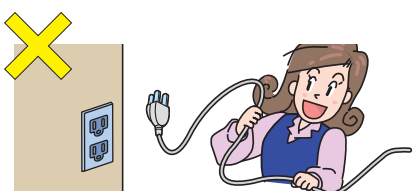
こわれた液晶ディスプレイには触らないでください。操作パネルの液晶ディスプレイ内には人体に有害な液体があります。万一、壊れた液晶ディスプレイから流れ出た液体が、口に入った場合は、すぐにうがいをして、医師に相談してください。また、皮膚に付着したり目に入ったりした場合は、すぐに流水で15分以上洗浄して、医師に相談してください。

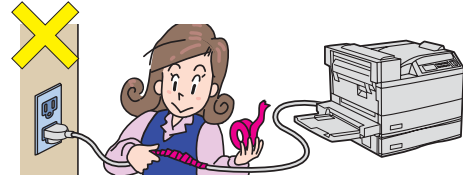
雷が鳴りだしたらプリンターに触らない

火災・感電の原因となります。雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また雷が鳴りだしたらケーブル類も含めて装置には触らないでください。

電源コードに薬品類をかけない

電源コードに殺虫剤などの薬品類をかけないでください。コードの被覆が劣化し、感電や火災の原因となることがあります。

プリンター内に異物を入れない

プリンター内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に連絡してください。

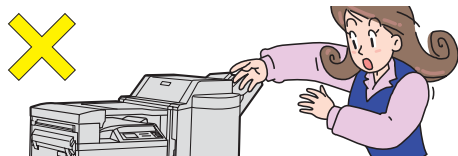
電源コードを抜くときはコードを引っ張らない

電源プラグを抜くときはプラグ部分を持って行ってください。コード部分を引っ張るとコードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。

損傷した電源コードは使わない

電源コードが破損した場合は、ビニールテープなどで補修して使用しないでください。補修した部分が過熱し、火災や感電の原因となるおそれがあります。損傷したときは、すぐに同じ電源コードに取り替えてください。

⚠注意

高温注意

プリンターのカバーを開けて作業する場合は、十分に冷めてから行ってください。プリンターの内部には使用中に高温になる定着ユニットという部品があり、触るとやけどするおそれがあります。

作動中のフィニッシャーには触れない

フィニッシャーが作動しているとき、作動部分には触れないでください。指をはさみ、けがをするおそれがあります。また、つまったステープル針を取り除くときには、指などにけがをしないように十分注意してください。

掃除機でトナーを吸わない

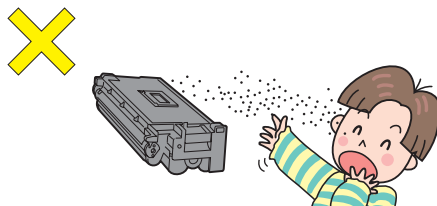
床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、固く絞った布などでふき取ってください。掃除機でトナーを吸い取ると、吸い取ったトナーが掃除機の内部で粉じん発火・爆発するおそれがあります。

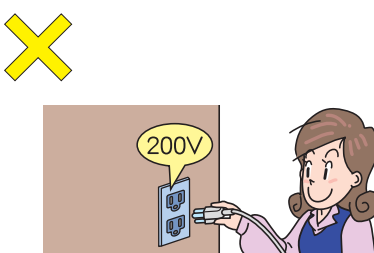
直射日光が当たるところには置かない

プリンターを窓ぎわなどの直射日光が当たる場所には置かないでください。そのままにすると内部の温度が上がり、プリンターが異常動作したり、火災を引き起こしたりするおそれがあります。

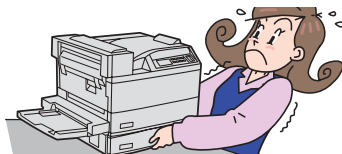
巻き込み注意

プリンターの動作中は用紙挿入口、排出口に手や髪の毛を近づけないでください。髪の毛を巻き込まれたり、指をはさまれたりしてけがをするおそれがあります。

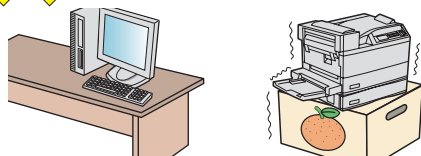
目や口にトナーを入れない

EPカートリッジに入っているトナーを目や口に入れないでください。トナーが目や口に入ると健康を損なうおそれがあります。特にお子様の手の届かないところに保管し、お子様が触れないようにしてください。

100V以外のコンセントに差し込まない

電源は指定された電圧、電流の壁付きコンセントをお使いください。指定外の電源を使うと火災や漏電になることがあります。

⚠注意

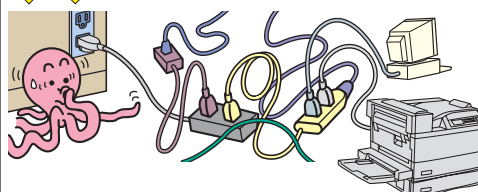
プリンターを1人で持ち上げない

プリンターの質量は44.5kgあります(EPカートリッジ含まず)。装置側面の取っ手を持ち、3人以上で運んでください。2人以下で運ぶと腰を痛めるおそれがあります。

また、装置の重心は左側にありますので、背面方向へ倒れないように注意してください。

不安定な場所に置かない

プリンターを不安定な場所には置かないでください。プリンターが破損するおそれがあるばかりではなく、思わぬけがや周囲の破損の原因となることがあります。

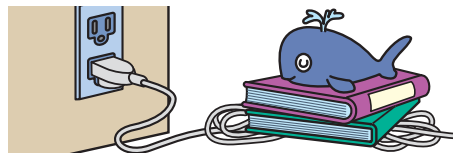
専用電源コード以外は使わない

プリンターに添付されている電源コード以外のコードを使わないでください。電源コードに定格以上の電流が流れると火災になるおそれがあります。

電源コードをたこ足配線にしない

コンセントに定格以上の電流が流れると、コンセントが過熱して火災の原因となるおそれがあります。

電源プラグを中途半端に差し込まない

電源プラグはしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込んだまま、ほこりがたまると接触不良の発熱による火災の原因となるおそれがあります。また、プラグ部分は時々抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったままで、水滴などが付くと発熱し、火災となることがあります。

電源コードは曲げたりねじったりしない

電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、束ねたり、ものを載せたり、はさみ込んだりしないでください。またステープルなどで固定することも避けてください。コードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。

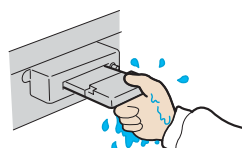
無線LANボードに関する安全上のご注意

オプションの無線LANボードを取り付けた場合の注意事項について説明します。

心臓ペースメーカーに近づけない

埋め込み型心臓ペースメーカーを装着されている方は、無線LANボードをペースメーカー装着部から22cm以上離して使用してください。心臓ペースメーカーの近くで使用するとペースメーカーが正しく動作しないおそれがあります。

飛行機内では使用しない

飛行機内では無線LANボードを装着したプリンターの電源は切ってください。電子機器に影響を与え、事故の原因となるおそれがあります。現在、各航空会社では航空機の飛行状態などに応じて、機内での無線機器・電子機器などの使用を禁止しており、無線LANボードもその該当機器となります。詳しい内容については、各航空会社にお問い合わせください。

使用禁止区域では使用しない

心臓ペースメーカーや補聴器などの医療機器を使用している方が近接する可能性がある場所では使用しないでください。特に医療機関側が無線LANボードの使用を禁止した区域では、無線LANボードを使用しないでください。また、医療機関側が無線LANボードの使用を認めた区域でも、近くで医療用電気機器が使用されている場合には、プリンターの電源は切ってください。

無線LANボードの電波出力は、例えば携帯電話などに比べてはるかに低く抑えられており、医療電気機器に与える影響は極めて少ないものですが、医療機器が正しく動作しないおそれがあります。使用に際しては各医療機関の指示に従ってください。詳しい内容については、各医療機関にお問い合わせください。

ぬれた手で触らない

無線LANボードがプリンターに取り付けられているときに、ぬれた手で無線LANボードやプリンターに触らないでください。ぬれた手で触ると感電するおそれがあります。

注意

無線LANカードの差し込む向きを間違えない

無線LANボードのPCカードスロットに無線LANカードを取り付けるときは、カードの向きを間違えないでください。差し込む向きを間違うと故障や発火の原因となるおそれがあります。

補聴器のそばで使用しない

補聴器を装着されている方、またはその近くで無線LANボードを使用しないでください。補聴器を装着されている方の近くで無線LANボードを使用すると、補聴器にノイズを引き起こし、事故の原因となるおそれがあります。

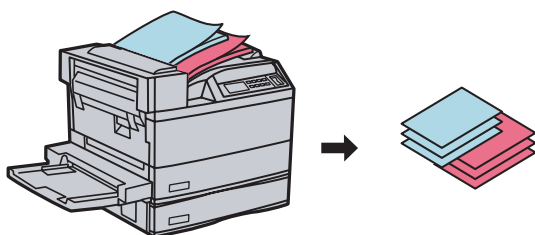
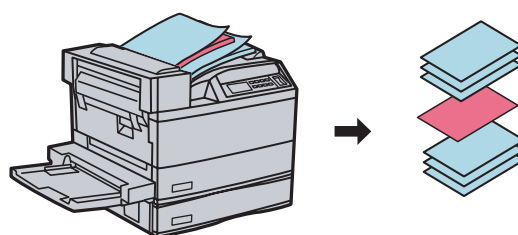
MOPYINGとは

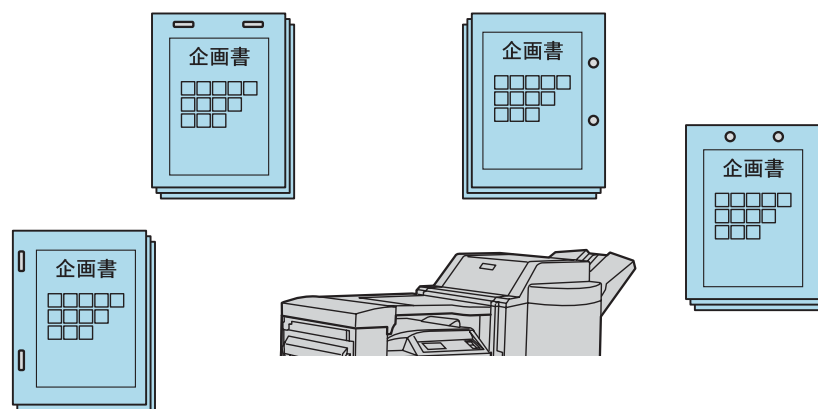
～MultiWriterを使って手間もコストも大幅削減！～

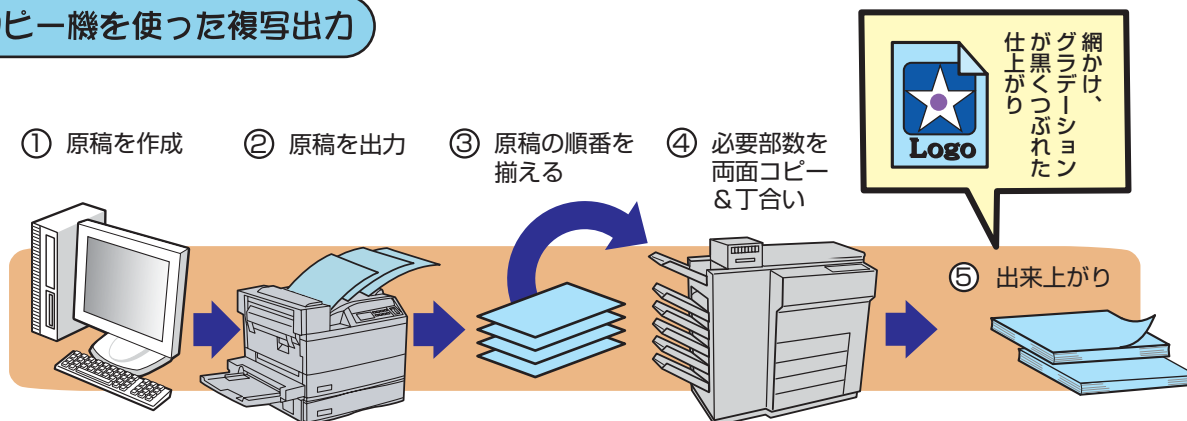
MOPYING（Multiple Original coPY and printING）とは、オリジナルのドキュメントをコピー機で複数コピーするのではなく、MultiWriterで必要部数を直接印刷する新しいドキュメント処理スタイルのことです。MultiWriter 4550に搭載されているPrintAgentの機能を使うと、MultiWriterをコピー機のような使い方ができるばかりでなく、手間のかかる原稿の準備作業がパソコン上でできます。

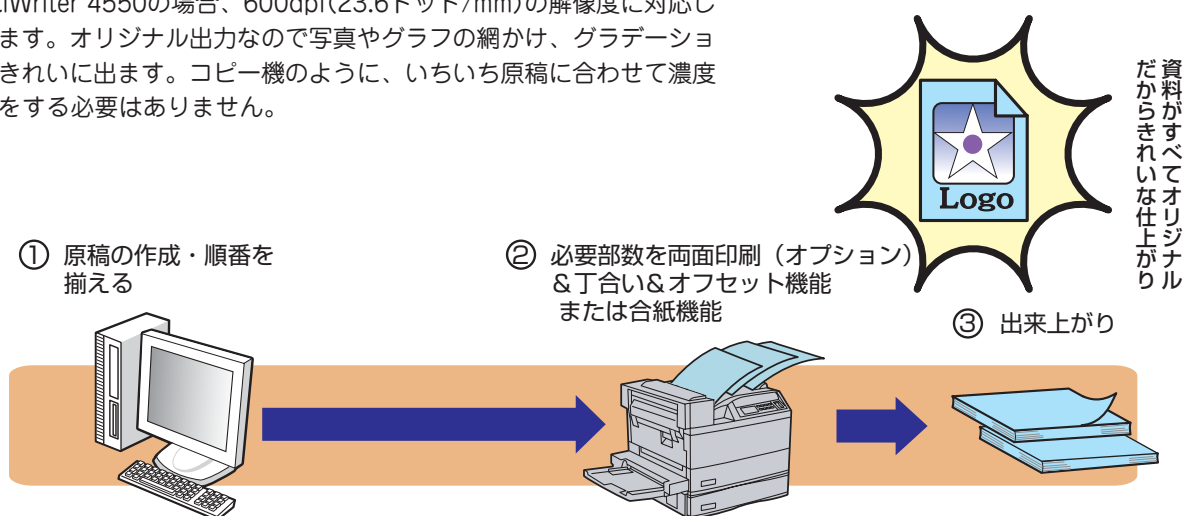
コピー機を使ってドキュメントを複数コピーする作業と比較すると、導入コストやランニングコストを低く抑えることができます。しかも、オリジナル出力なので仕上がりがきれいです。

ページ順、部単位で出力できる簡易ソーター

オフセット排紙機能と丁合い機能を組み合わせると、簡易ソーターとしてご利用になれます。複数の部数を印刷するときなど印刷後の用紙を部ごとに水平にずらして仕分けし、排紙トレー上に排出します。さらに、指定されたホッパーにセットした色のついた用紙（色紙）を挿入して印刷ジョブごとに仕分けて排紙トレー上に排出することもできます。

フィニッシャーで簡易製本

MultiWriter 4550では、フィニッシャーを装着することにより、最大50枚（坪量64.0g/m²）までステープルどめや穴あけすることができます。面倒な簡易製本処理まで素早く自動で行え、大容量排紙もサポートしています。会議などで使う複数枚の書類を何部か印刷したい場合は、フィニッシャーの機能を使うと印刷後すぐに配布でき、非常に便利です。

コピー機を使わずに必要部数をそのまま印刷

MultiWriter 4550はオフセット排紙・合紙機能による簡単仕分け印刷を標準でサポートしています。例えば、会議の資料は原稿をコピー機で複数コピーするのではなく、MultiWriterで必要な分だけ直接印刷すれば、オリジナルの品質で資料が作成できます。

MOPYINGによるオリジナル出力

MultiWriter 4550の場合、600dpi(23.6ドット/mm)の解像度に対応しています。オリジナル出力なので写真やグラフの網かけ、グラデーションがきれいに出ます。コピー機のように、いちいち原稿に合わせて濃度調整をする必要はありません。

コピー機よりコストが安い

MultiWriterを使った場合、コピー機のような契約によるコピーチャージを必要としません。MultiWriterは感光体とトナーを一体型にしたEPカートリッジを採用することで、トナー交換の作業を容易にし、メンテナンスを不要にしています。

さらに、MultiWriter 4550は、約30,000ページ*[1]印刷可能なEPカートリッジ(型番：PR-L4550-12、EF-3464)は、1枚あたり約2.2円*[2]と低コスト。MultiWriterの導入は同等機能のコピー機を導入する場合と比較した場合、ランニングコストが半分以下で済みます。

*1　A4サイズ1枚あたりの画像面積比(1ページ中の黒い部分の面積比と印刷範囲との比率)が約5%の片面連続印刷時

*2　平成14年12月現在

高速印刷・電子ソートですばやい仕上がり

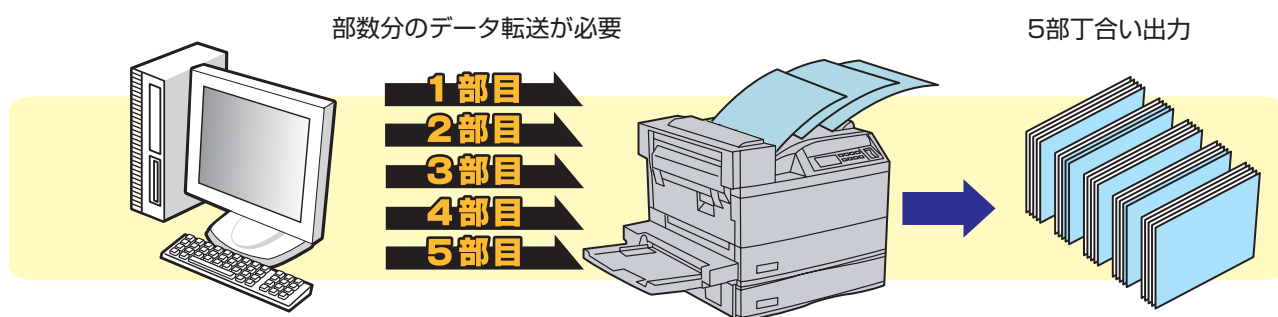
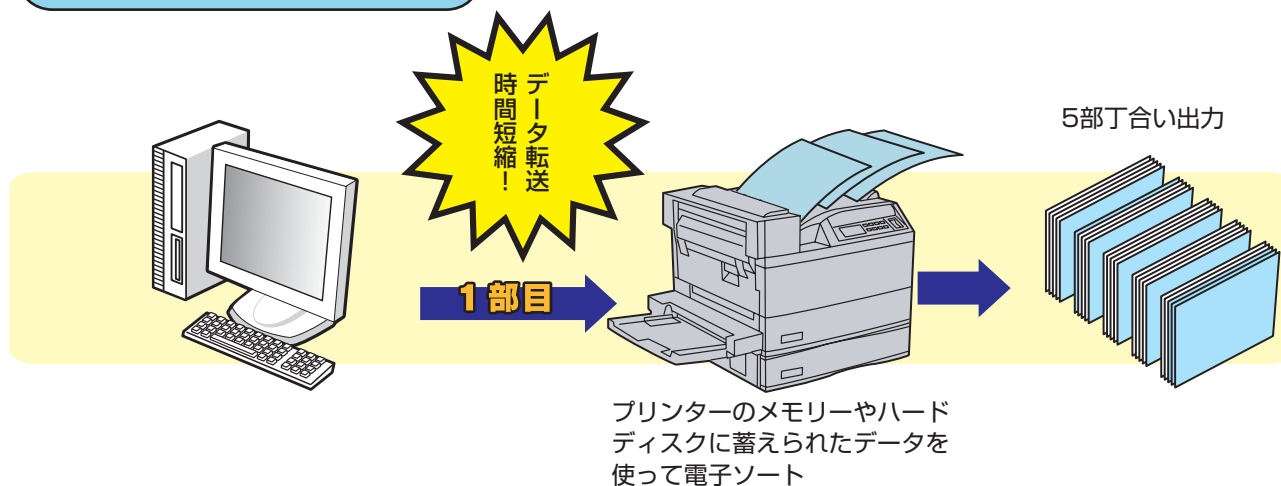
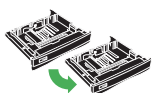
MultiWriter 4550は毎分45ページの高速印刷を実現。しかも電子ソート機能*1を使えばプリンターのメモリーに印刷データを蓄えて必要部数を印刷するので、パソコンからプリンターへ部数分のデータ転送が不要です*2。これによって、トータル印刷処理時間が短縮されます。

*1　電子ソート機能を有効にする場合、64MB以上のメモリー増設（オプション）、またはハードディスクをプリンターに取り付けることにより、印刷枚数を増やすことができます。

*2　増設メモリー容量、ページ数により必要枚数分データ転送を行う場合があります。

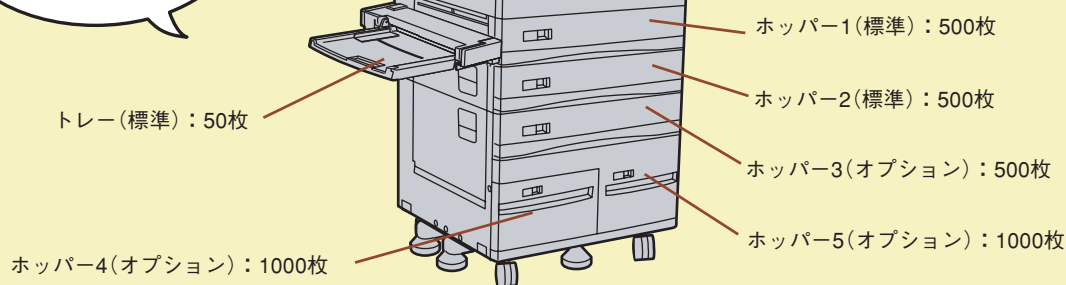
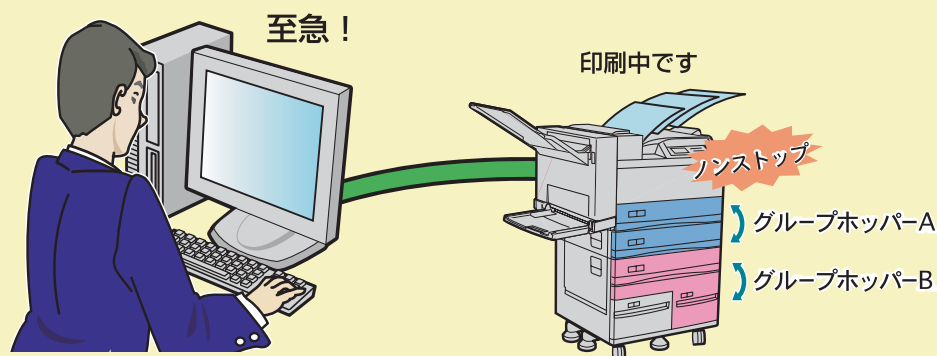
従来の丁合い機能を使った出力

電子ソート機能を使った出力

プリンターのメモリーやハードディスクに蓄えられたデータを使って電子ソート

用紙がなくなると自動的に切り替え（グループホッパー）

給紙元として使っているいくつかのホッパーを組み合わせて一つのグループにします*[1]。印刷中、そのグループ化したホッパーの中で用紙が足りなくなると*[2]次のホッパーに自動的に切り変わる*[3]ので、連続印刷・多量印刷ができてとても便利です。オプションの大容量ホッパー（2500枚積載可）*[4]があると更に便利です。

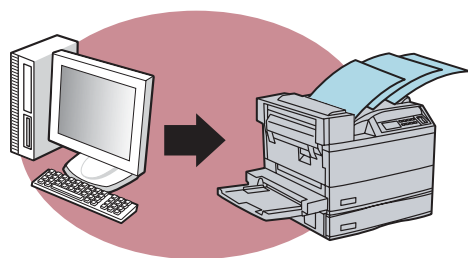
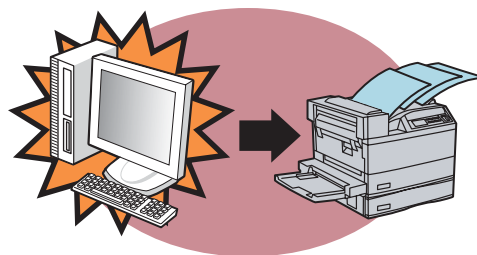
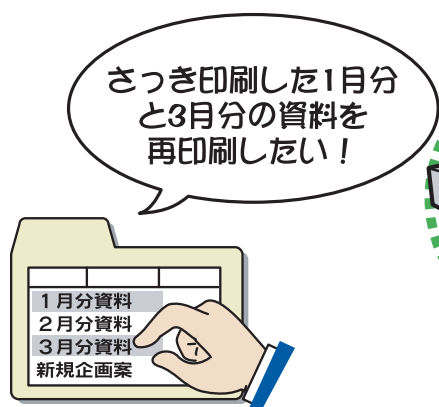
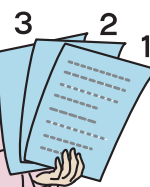
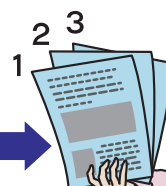
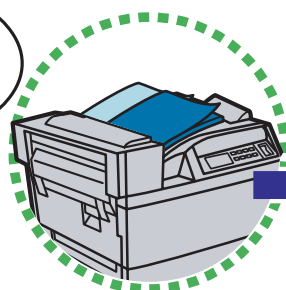
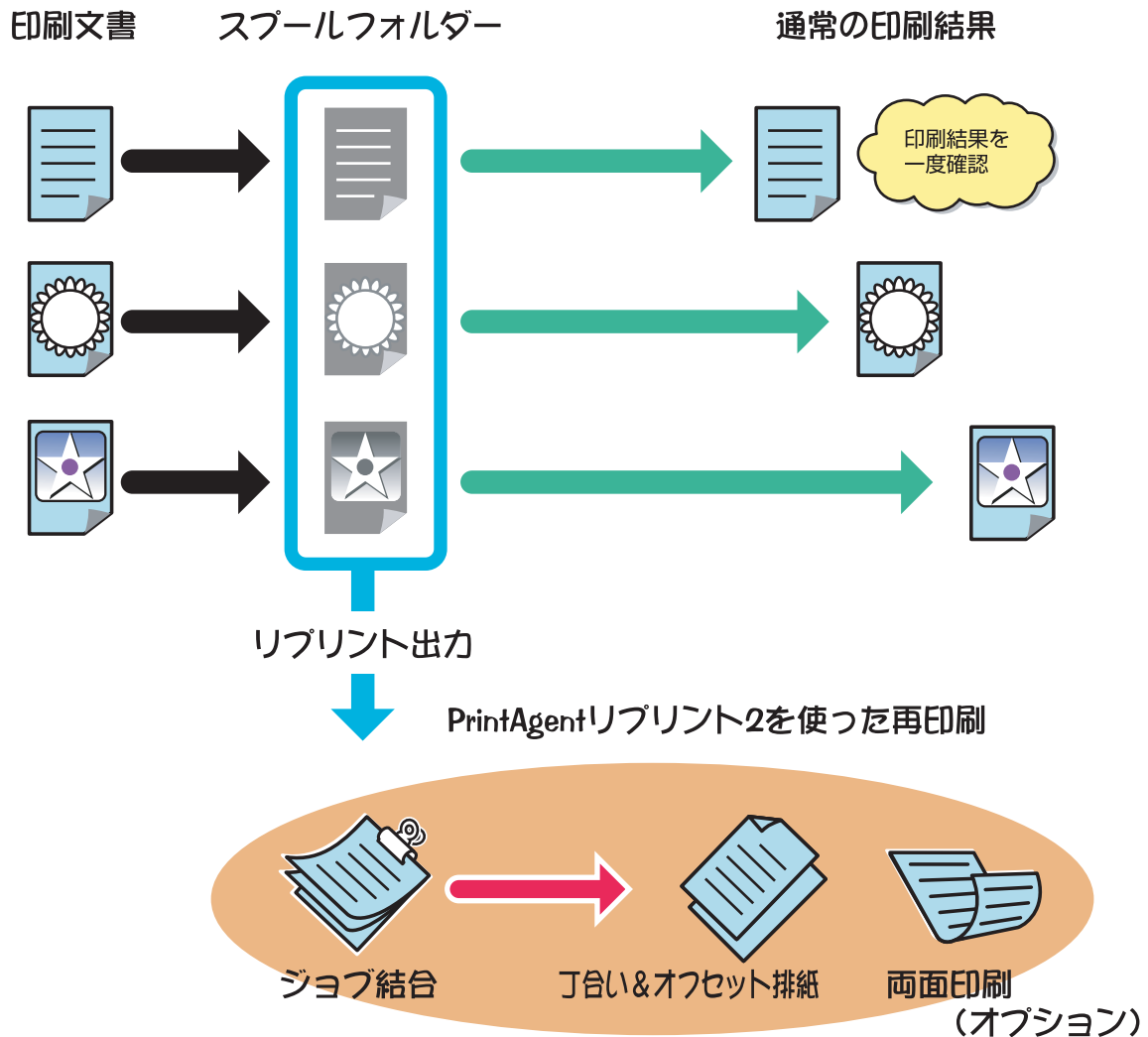
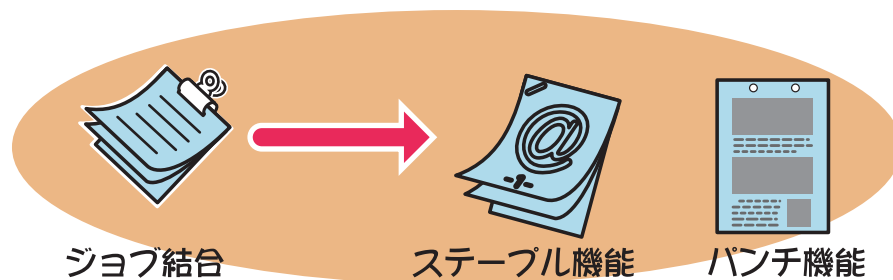
*[1] グループA、グループBの2つのグループを設定することができます。プリンタードライバーからは、ホッパーの組み合わせを気にせず直接グループホッパーを指定することができます。
*[2] 操作パネルのディスプレイで用紙がなくなったホッパーを確認することができます。
*[3] 用紙が足りなくなったホッパーには印刷中でも用紙をつぎ足すことでノンストップ印刷が可能となります。
*[4] 大容量ホッパー4および5で積載可能。大容量ホッパー3の積載枚数は500枚です。

MultiWriter 4550は、大容量ホッパー（ホッパー3～5）を増設した場合、標準ホッパーとトレーを合わせた用紙容量は、最大3,550枚になります。

1台のプリンターのホッパーをフルに活用して、紙を補給する手間なくスイスイノンストップで印刷することができます。

一度印刷した文書なら、すぐリプリント（再印刷）

PrintAgentの「リプリント機能」を使うと一度でも印刷したデータなら設定範囲内でパソコンのスプールフォルダーに残しておき、再印刷することができます。これを使えば、いちいちアプリケーションを立ち上げずにコピー感覚ですぐ再印刷が可能。

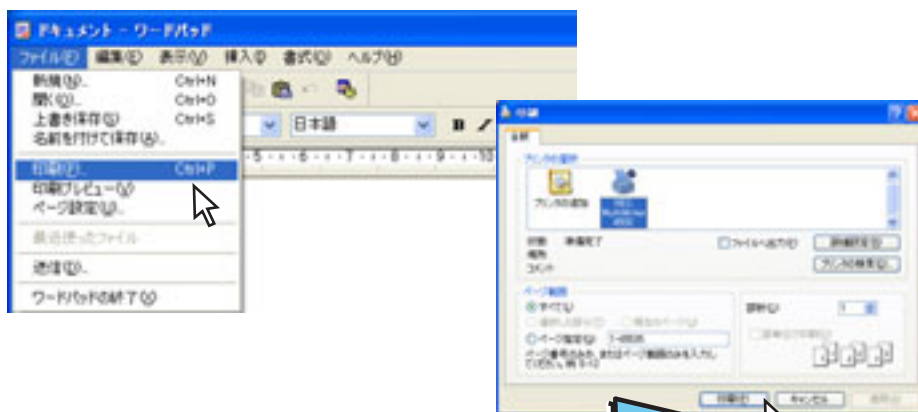
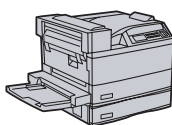
しかも蓄えた印刷データを自由に組み合わせて再印刷することも可能です。

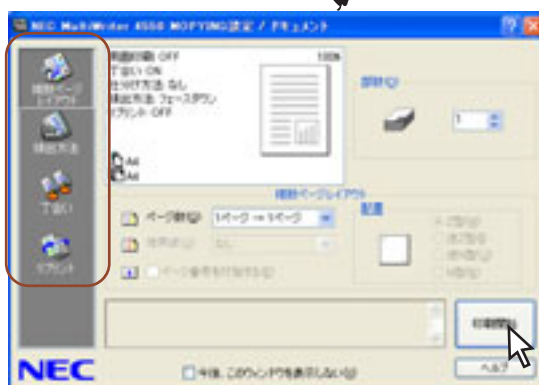
コピー作業のように原稿を持って席とコピー機を往復することはありません。自席でPrintAgentを使って作業は終了です。

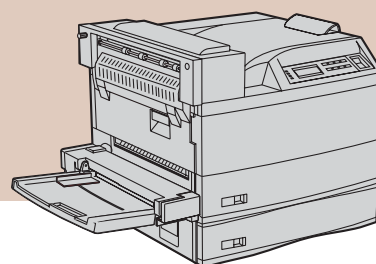
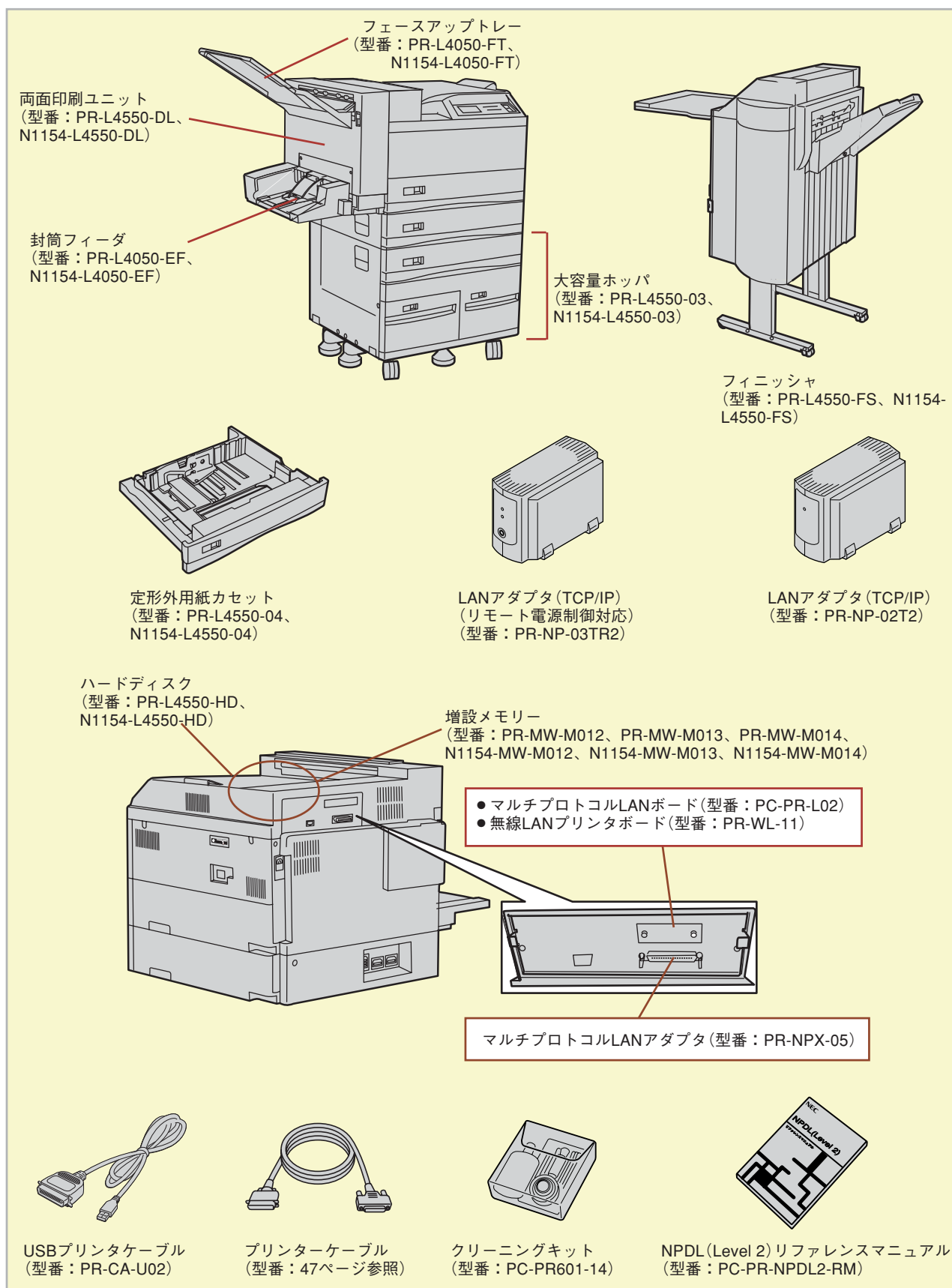
① 一度印刷したデータなら・・・

② PrintAgentが覚えているのでアプリケーションを立ち上げなくてもすぐ印刷

しかも、憶えているドキュメントで自由な組み合わせが可能（ジョブ結合）

リプリント機能はMultiWriterに添付されている印刷統合ソフトウエア「PrintAgent」のPrintAgent リプリント2が提供します。

MOPYING設定ウィンドウで簡単設定

MultiWriter 4550では、印刷開始前にプリンタードライバーのプロパティで設定を忘れても大丈夫。アプリケーションの印刷を選択した後に「MOPYING設定ウィンドウ」が表示される*ので、複数ページ印刷や丁合い機能の設定が印刷開始後でも簡単に行えます。これによって、より快適にMOPYINGを実現できます。

* 標準設定ではMOPYING設定ウィンドウは表示されません。MOPYING設定ウィンドウを表示させるには、プリンターソフトウエアのインストール時、またはプロパティダイアログボックスで有効にする必要があります。手順については「MOPYING設定ウィンドウ」(243ページ)をご覧ください。

アプリケーションで印刷・・・

自動的にMOPYING設定ウィンドウが開きます

用途に合わせて複数ページレイアウト、丁合い機能などを選択

複数ページレイアウト印刷、仕分け印刷などがMOPYINGで簡単にできます！

1章
オプション

この章では、MultiWriter 4550用として提供される別売品(オプション)を紹介し、その取り付け、取り外し、テスト印刷の方法などについて説明します。

オプション一覧

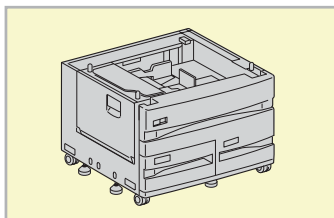
チェック

- フィニッシャーは大容量ホッパーがないと取り付けられません。
- ハードディスクを使用するには64MB以上の増設メモリーが必要です。

オプション品・消耗品の紹介

オプション品・消耗品のご購入については、お買い求めの販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス窓口などにお問い合わせください。

オプション

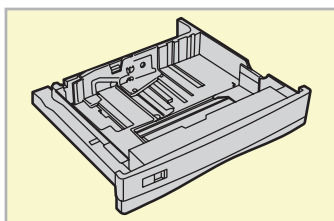
大容量ホッパ (型番 PR-L4550-03、N1154-L4550-03)

ホッパー3にセットできる用紙はA3、A4、B4、B5、レターサイズの用紙で最大500枚(64g/m^2)までセットすることができます。用紙サイズを自動的に認識することができます。ホッパー4、5にはA4、B5、レターサイズの用紙を最大1,000枚(64g/m^2)までセットすることができます。

用紙サイズラベルと用紙サイズシールが添付されています。

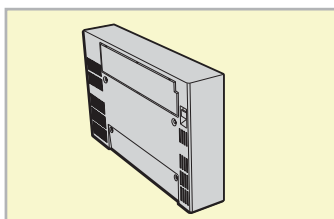
ホッパー3には用紙サイズラベルを、ホッパー4、5には用紙サイズシールをお使いください。

ホッパーの切り替えについては23ページをご覧ください。

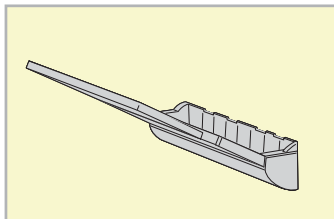
項目	型番PR-L4550-03、N1154-L4550-03		
ホッパー	ホッパー3	ホッパー4	ホッパー5
サイズ	555（W） x 521（D） x 426（H） mm		
質量	約35kg		
用紙種類 サイズ	普通紙、厚紙、穴あき紙： A3、A4、B4、B5、レター ラベル紙：B4、A4 OHP：A4	普通紙、厚紙、穴あき紙： A4、B5、レター ラベル紙：A4	普通紙、厚紙、穴あき紙： A4、B5、レター
用紙坪量	64〜180g/m^2		64〜105g/m^2
給紙容量	最大500枚（64g/m^2）	最大1000枚（64g/m^2）	
備考	サイズラベル使用	用紙サイズシール使用	

定形外用紙カセット(型番 PR-L4550-04、N1154-L4550-04)

定形外用紙を印刷するための用紙カセットです。標準ホッパー1、2または大容量ホッパー3と交換して使用します。

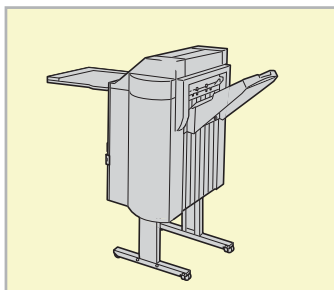
項目	型番PR-L4550-04、N1154-L4550-04
サイズ	520（W） x 490（D） x 115（H） mm
質量	約3.5kg
用紙サイズ	ホッパー1：182〜297mm x 139.7〜431.8mm ホッパー2、3：182〜297mm x 182〜431.8mm
給紙容量	最大500枚（64g/m^2）
備考	1段目、2段目、3段目に取付可能

両面印刷ユニット (型番 PR-L4550-DL、N1154-L4550-DL)

両面印刷をするためのユニットです。A3、A4、B4、B5、A5、レターサイズの用紙に両面印刷できます。

項目	型番PR-L4550-DL、N1154-L4550-DL
サイズ	92（W） x 484（D） x 169（H） mm
質量	約5.5kg
用紙種類 サイズ	普通紙、穴あき紙：A3、B4、A4、A5、B5、レター
用紙坪量	64〜120g/m^2

フェースアップトレー(型番 PR-L4050-FT、N1154-L4050-FT)

用紙をフェースアップ(印刷された面が上になる状態)でスタックするためのトレーです。

項目	型番PR-L4050-FT、N1154-L4050-FT
サイズ	414（W） x 562（D） x 100（H） mm
質量	約2.5kg
排紙容量	最大200枚（64g/m^2）

フィニッシャ (型番 PR-L4550-FS、N1154-L4550-FS)

A4サイズ横置きで最大3,000枚(64g/m^2)大容量排紙ができます。(ステープルどめする場合は、200部まで利用できます。)

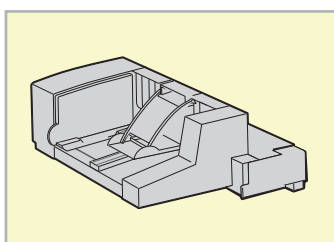
オフセット排紙機能*1があります(ステープルどめする場合は、部ごとに自動でオフセットします)。

ステープル機能付きで、最大50枚までステープルどめできます。(51枚以上の場合はステープルどめされません。)また、用紙に穴をあけることができるパンチ機能があります。

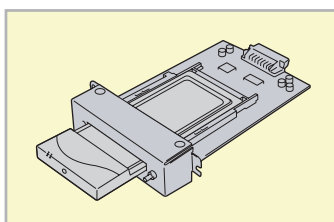
取り付けには大容量ホッパー(オプション)が必要です。

項目	型番PR-L4550-FS、N1154-L4550-FS
サイズ	751（W） x 585（D） x 1,146（H） mm
質量	約56.5kg
用紙種類サイズ	普通紙：A3、B4、A4、B5*2、レター
用紙坪量	64～105g/m^2
排紙容量	最大3000枚（64g/m^2）
後処理機能	オフセット排紙、ステープル、パンチ*3

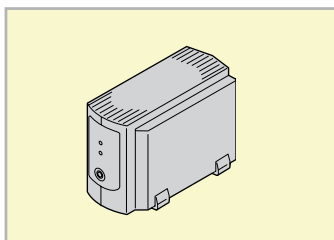
*1：印刷ジョブごとに用紙を左右にずらして排紙トレーに排出する機能です。
*2：B5縦置きは後処理機能を使用できません。
*3：A3縦、A4横のみ使用可能。

封筒フィーダ(型番：PR-L4050-EF、N1154-L4050-EF)

封筒用の給紙フィーダーです。封筒(洋形4号)を100枚までセットすることができます。

標準トレーとの併用はできません。

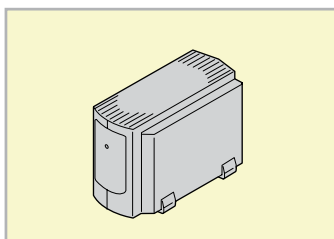
無線LANプリンタボード(型番 PR-WL-11)

IEEE 802.11b規格に準拠し、転送速度最大11Mbpsの無線LAN環境にプリンターを接続する内蔵型LANボードです。従来の有線LANシステムのようにネットワークケーブルが散乱することなく、ネットワークケーブル敷設工事の必要がないため、安価に、また手軽にLAN環境が構築できます。さらに、世界標準のPrinter-MIBに対応し、このMIBを監視するネットワーク管理ソフトウエアによって、プリンターの管理が行えます。

添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているユーティリティー「無線LANプリンタ導入ウィザード」を使用すると、無線LAN環境を初めて構築する方や不慣れな方でも、設定項目ごとにウィザード画面上でサポートされている解説や操作手順により、簡単に分かりやすく設定を行うことができます。

LANアダプタ（TCP/IP）（型番 PR-NP-03TR2）

100BASE-TX、10BASE-Tインターフェースを装備し、SNMP（ネットワーク管理プロトコル）に対応している外置き型LANアダプターです。

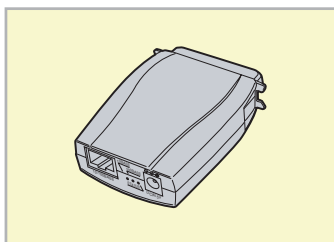
世界標準のPrinter-MIBに対応し、このMIBを監視するネットワーク管理ソフトウエアによってプリンターの管理が行えます。

PrintAgent（プリンタ管理ユーティリティ）のリモート電源制御機能を使って、コンピューターからプリンターの電源のON/OFFができます。（詳細は4章の「リモート電源制御」（274ページ）をご覧ください。）

LANアダプタ（TCP/IP）（型番 PR-NP-02T2）

100BASE-TX、10BASE-Tインターフェースを装備し、SNMP（ネットワーク管理プロトコル）に対応している外置き型LANアダプターです。

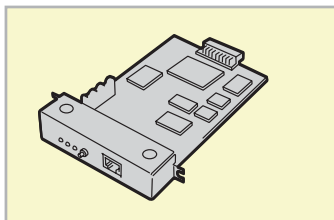
世界標準のPrinter-MIBに対応し、このMIBを監視するネットワーク管理ソフトウエアによってプリンターの管理が行えます。

LANアダプターが対応しているPrinter-MIB、操作パネルによるIPアドレス設定などの機能を有効にするためには、プリンターの動作双方向をECPモードにする必要があります。詳しくは、ユーザーズマニュアル1章の「Step4　IPアドレスとサブネットマスクを設定する」（34ページ）を参照してください。

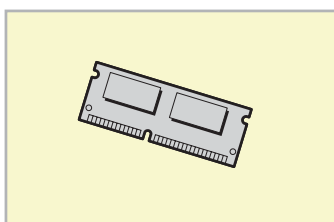
マルチプロトコルLANアダプタ（型番 PR-NPX-05）

100BASE-TX、10BASE-Tインターフェースを装備し、プリンターのインターフェースコネクターに直接接続する外付けLANアダプターです。本LANアダプターはPrintAgent、NEC Internet Printing System（IPP）、NEC TCP/IP Port、SNMP（Printer -MIB、Host Resource MIB）には対応していません。詳しくはPR-NPX-05のセットアップガイドをご覧ください。

LANアダプターネットワーク環境

<table>
<tr><th colspan="2">PR-NP-02T2/PR-NP-03TR2</th><th colspan="2">PR-NPX-05</th></tr>
<tr><th>ネットワークOS</th><th>プロトコル</th><th>ネットワークOS</th><th>プロトコル</th></tr>
<tr><td rowspan="2">Windows XP/2000</td><td rowspan="6">TCP/IP</td><td>Windows XP</td><td>TCP/IP</td></tr>
<tr><td>Windows 2000</td><td rowspan="3">TCP/IP
NetBEUI</td></tr>
<tr><td>Windows NT 4.0</td><td>Windows NT 4.0</td></tr>
<tr><td>Windows Me/98/95
（NEC TCP/IP Printing Systemにより対応）</td><td>Windows Me/98/95
（NEC Network Printer Portにより対応）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">UNIX</td><td>UNIX</td><td>TCP/IP</td></tr>
<tr><td>Netware 3.X/ 4.×/5.X</td><td>IPX/SPX</td></tr>
</table>

マルチプロトコルLANボード(型番 PC-PR-L02)

100BASE-TX、10BASE-Tインターフェースを装備しているプリンター内蔵型LANボードです。

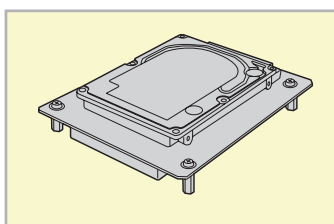
増設メモリ(64MB)、(128MB)、(256MB)

(型番 PR-MW-M012、PR-MW-M013、PR-MW-M014、N1154-MW-M012、N1154-MW-M013、N1154-MW-M014)

このボードは、SDRAMを搭載したSO-DIMMです。MultiWriter 4550には、64MB、128MB、256MBのいずれか1枚だけ取り付けることができます。取り付けにより次の効果があります。

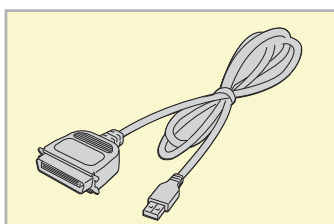
- 電子ソート機能
- 複雑な印刷データの印刷性能向上
- フォーム登録数の増加
- 受信バッファーの拡大

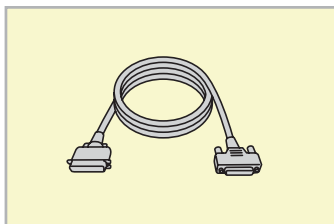
増設メモリーが対応しているメモリー容量は以下のとおりです。

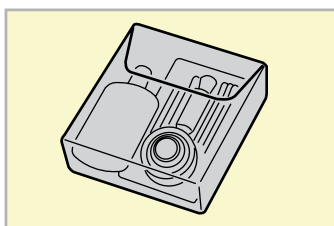
品名	型番	メモリー容量
増設メモリ（64MB）	PR-MW-M012、N1154-MW-M012	64MB
増設メモリ（128MB）	PR-MW-M013、N1154-MW-M013	128MB
増設メモリ（256MB）	PR-MW-M014、N1154-MW-M014	256MB

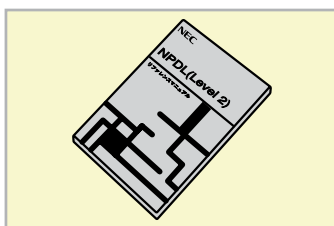
ハードディスク(型番 PR-L4550-HD、N1154-L4550-HD)

プリンター本体に内蔵することにより、より強化された電子ソート機能が可能となります。電子ソートとは、印刷データの複数部コピー要求があった場合にプリンター内部で部数毎に印刷を繰り返し、1つのトレーに出力する機能です。

電子ソート機能をご使用の場合は64MB以上のメモリーの増設が必要です。ハードディスクをご使用になることにより電子ソートの上限はサイズによらず200枚となります。

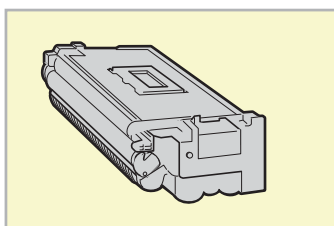
USBプリンタケーブル(型番 PR-CA-U02)

USBプリンタケーブルをご使用になる場合、コンピューターにUSBプリンタードライバーをインストールする必要があります。すでにコンピューターにケーブルドライバーがインストールされている場合でも、ケーブルドライバーのアップデートが必要になる場合があります。

プリンターケーブル

プリンターケーブルはお使いのコンピューターの種類によって違います。詳細については、47ページの「使用できるプリンターケーブル」をご覧ください。

クリーニングキット（型番 PC-PR601-14）

プリンターの清掃に便利な用具一式が入っています。

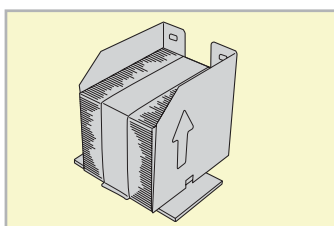
日本語ページプリンタ言語NPDL(Level 2)リファレンスマニュアル
（型番 PC-PRNPDL2-RM）

ページプリンターの様々な動作を制御する命令およびプログラミングについての詳しい解説書です。

消耗品

EPカートリッジ（型番 PR-L4550-12、EF-3464）

1個当たり、約30,000ページの印刷が可能なEPカートリッジです。

チェック

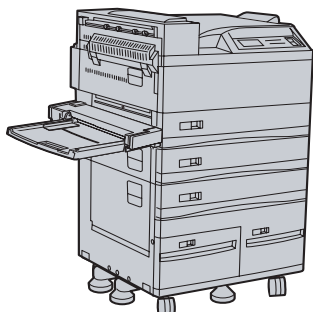
- EPカートリッジの1個あたりの印刷可能ページ数はA4用紙サイズに画像面積比5%の連続印刷を行ったときの値です。8章「日常の保守」（373ページ）を参照してください。印刷用紙サイズ、画像面積比、OPC寿命などの印刷に関する設定の要素によって、印刷可能ページ数は異なります。
- 間欠印刷を頻繁に行うとトナーが残っていてもEPカートリッジ内のOPCが劣化してEPカートリッジの寿命となる場合があります。

ステープル針（型番 PR-L4050-SP、EF-3972）

フィニッシャーで使用される替えのステープル針です。1セット15,000針（5,000針/個×3個）です。フィニッシャーには1個（5,000針）添付されています。

大容量ホッパー

大量印刷をサポートするために、MultiWriter 4550には大容量ホッパーが用意されています。

大容量ホッパーの取り付け

チェック

このオプションは、お客様による設置ができません。設置作業はサービス担当者が行いますので(有償)、ご購入の際は、お買い求めの販売店に設置を依頼してください。

大容量ホッパーを設置するために必要な高さをあらかじめ確認しておくことをお勧めします。設置に必要な高さについてはユーザーズマニュアルの「1　設置に必要なスペースを用意する」をご覧ください。

大容量ホッパーへの用紙のセット

大容量ホッパーへの用紙のセット方法については、5章の「用紙カセットに用紙をセットする」(302ページ)および「大容量ホッパーに用紙をセットする」(307ページ)をご覧ください。

大容量ホッパーの切り替え

大容量ホッパーを取り付けたときに必要なホッパーの切り替えについて説明します。

取り付けた大容量ホッパーから給紙するためには、操作パネル上でホッパー表示を「ホッパ3」、「ホッパ4」、または「ホッパ5」にします。

ホッパーの選択には、選択した状態をどこまで維持させるかによって、2つの方法があります。

- プリンターの電源がOFFされるまで維持する方法 .... [ホッパ]スイッチによる切り替え
- プリンターが初期化されても大容量ホッパーが選択される方法 .... メニューモードによる切り替え

次にそれぞれの選び方について説明します。

プリンターの電源がOFFされるまで維持する方法

操作パネルの[ホッパ]スイッチを使って大容量ホッパーを選択します。

❶ [印刷可]スイッチを押し、印刷可ランプを消灯させる。

❷ [ホッパ]スイッチを押し、ディスプレイの表示を“ホッパ3”、“ホッパ4”、または“ホッパ5”にする。

```
ホッパ゜3　 A4ヨコ ポ゜ート
```

❸ [印刷可]スイッチを押し、印刷可ランプを点灯させる。

❹ コンピューターからデータを送る。

この状態は、以下の方法で変更しない限り、設定は維持されます。

- 同じ方法でホッパーの選択を変更する
- トレー給紙に変更する
- 電源をOFFにする
- コンピューターから変更する
- プリンターを初期化する

プリンターが初期化されても大容量ホッパーが選択される方法

メニューモード内のプリンターの初期設定を変更します。

❶ メニューモードに入る。

[印刷可]スイッチを押してプリンターをディセレクト状態にし、[メニュー]スイッチを押して“テストメニュー　→”を表示させます。

```
テストメニュー　　　　→
```

❷ [∨]スイッチを2回押す。

“ヨウシメニュー　→”と表示されます。

```
ヨウシメニュー　　　　→
```

❸ [>]スイッチを2回押す。

ホッパー初期設定の表示になります。

```
ホッパ゜　ショキセッテイ
←　　　　　　ホッパ゜1*
```

❹ [設定変更]スイッチを押して、ディスプレイ下段を“←　ホッパ3＊”、“←　ホッパ4＊”、または“←　ホッパ5＊”に変更する。

```
ホッパ゜　ショキセッテイ
←　　　　　　ホッパ゜3*
```

❺ [メニュー終了]スイッチを押し、印刷可ランプを点灯させる。

ディスプレイ上段に“ホッパ3　××　×××”、“ホッパ4　××　×××”、または“ホッパ5　××　×××”と表示されていれば設定は完了です。表示されていないときはもう一度最初からやり直してください。

```
ホッパ゜3　 A4ヨコ ポ゜ート
　　　　　　　　NPDL
```

この状態は、同じ方法でホッパーの選択を変更しないかぎり維持されます。

テスト印刷

大容量ホッパーが正しく取り付けられたことを確認するために、テスト印刷のステータス印刷を行います。手順についてはユーザーズマニュアル1章の「7　テスト印刷をする」を参照してください。

> チェック
>
> 大容量ホッパーを取り付けた場合は、「給紙構成」に「ホッパー3～5」が、フィニッシャーを取り付けた場合は、「オプション」に「フィニッシャ」と印刷されます。

大容量ホッパーのステータス印刷の例

ステータス印刷が終了すると、自動的に印刷可ランプが点灯し、印刷できる状態になります。これで、大容量ホッパーの取り付けは完了です。

リレー給紙の設定

印刷している給紙先の用紙がなくなったときに、自動的に別の給紙先から用紙を吸入し印刷を続ける機能です。ホッパー、トレー、または大容量ホッパーを装着し、同じ用紙サイズおよび同じ用紙種別の用紙をセットした場合のみ実現できます。

リレー給紙を有効にするために、メニューモードのリレー給紙設定をする必要があります。以下の手順で印刷してください。詳しい設定方法は次ページで説明します。

Step 1　リレー給紙を有効にする
Step 2　給紙方法を設定する

Step 1　リレー給紙を有効にする

リレー給紙を有効にするために、プリンターの設定を行います。

❶ **メニューモードに入る。**

[印刷可]スイッチを押してプリンターをディセレクト状態にし、[メニュー]スイッチを押して“テストメニュー　→”を表示させます。

❷ **[V]スイッチを2回押す。**

“ヨウシメニュー　→”と表示されます。

ヨウシメニュー　　　　→

❸ **[>]スイッチを1回、[V]スイッチを3回、[>]スイッチを1回押す。**

リレー給紙の設定表示になります。

リレーキュウシ　セッテイ
←ホッパ゜　　リレー　OFF*

❹ **操作パネルの[V]スイッチ、[Λ]スイッチ、[設定変更]スイッチを押して、リレー給紙させるホッパーまたはトレーをONにする。**

詳しくは、7章の「メニューツリー」(333～342ページ)をご覧ください。

チェック

リレー給紙させるホッパーまたはトレーすべての“リレーキュウシ”をONにしてください。

リレーキュウシ　セッテイ
←ホッパ゜1　　リレー　ON*

❺ **[メニュー終了]スイッチを押す。**

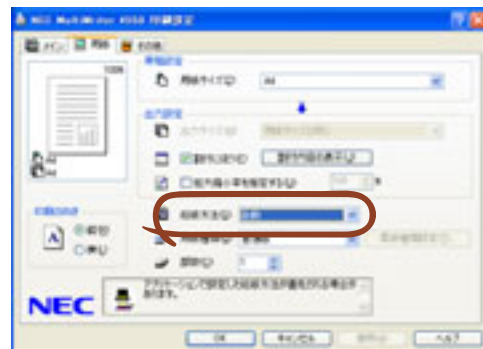
❻ **設定が終わったら、リレー給紙を有効にしたホッパーまたはトレーの用紙サイズ、用紙の種類、用紙のセット方向が同じになっているか確認する。**

Step 2　給紙方法を設定する

印刷を開始するときに[給紙方法]で[自動]を選択します。

❶ **プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスの[用紙]シートを開く。**

❷ **給紙方法が[自動]になっていることを確認する。**

プリンタードライバーの給紙方法を確認するには、ユーザーズマニュアル5章「印刷するには」を参照してください。

❸ **[印刷]ダイアログボックスで印刷範囲、印刷部数を指定し、[OK]をクリックして印刷する。**

大容量ホッパーの取り外し

大容量ホッパーの取り外し作業はサービス担当者が行いますので、プリンターに添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス窓口へお問い合わせください。

フィニッシャー

大量印刷をサポートするために、MultiWriter 4550にはフィニッシャーが用意されています。

フィニッシャーの取り付け

チェック

- このオプションは、お客様による設置ができません。設置作業はサービス担当者が行いますので(有償)、ご購入の際は、お買い求めの販売店に設置を依頼してください。
- フィニッシャーを装着した場合は、プリンター本体の排出トレーのプリント収容可能枚数は300枚(64g/m²)となります。(通常は500枚です)。
- ステープルどめをして印刷をしている場合に、針がなくなったときは、印刷は停止します。また、ステープルどめで印刷中に排紙フィニッシャートレーが一杯になった場合も、スタックフルで印刷は停止します。

テスト印刷

フィニッシャーが正しく取り付けられたことを確認するために、テスト印刷のステータス印刷を行います。手順についてはユーザーズマニュアル1章の「8　テスト印刷をする」を参照してください。

フィニッシャーのステータス印刷の例

ステータス印刷が終了すると、自動的に印刷可ランプが点灯し、印刷できる状態になります。これで、フィニッシャーの取り付けは完了です。

フィニッシャーの取り外し

フィニッシャーの取り外し作業はサービス担当者が行いますので、プリンターに添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス窓口へお問い合わせください。

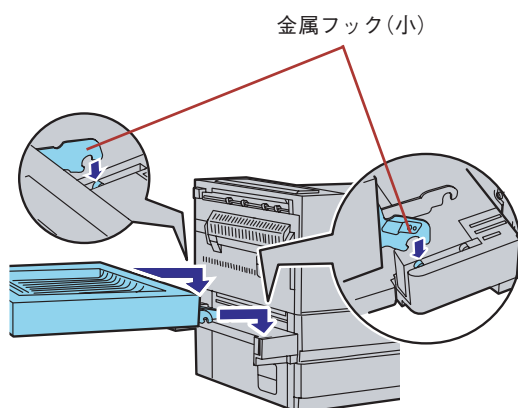
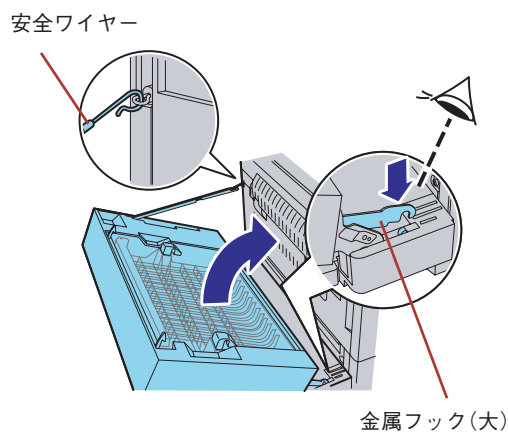
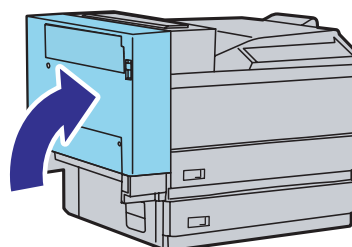
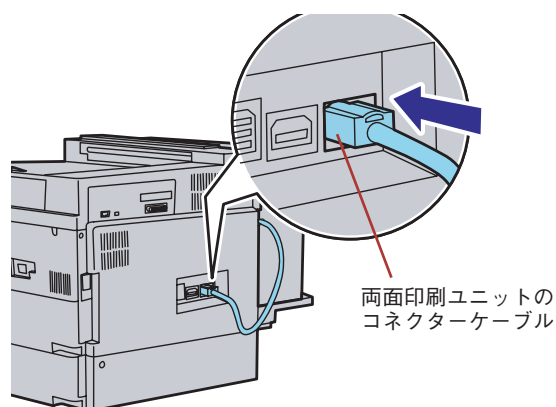
両面印刷ユニット

両面印刷をするために、MultiWriter 4550には両面印刷ユニットが用意されています。両面印刷ユニットでは、A3、A4、A5、B4、B5、レターサイズの用紙に印刷が可能です。

両面印刷ユニットの取り付け

チェック

- 両面印刷ユニットは、プリンターに接する面を常に上向きにして作業してください。
- 一度電源をOFFにし、交換後再び電源をONにしてください。電源を再投入しないと認識できません。

❶ 両面印刷ユニットを両手で水平に倒して持ち、両面印刷ユニット下側の左右の金属フック(小)をプリンターに引っ掛ける。

❷ 両面印刷ユニット右側の金属フック(大)をプリンターフレームに強く押し込む。両面印刷ユニットを支えたまま、安全ワイヤーをプリンターのフックに引っ掛ける。

❸ 両面印刷ユニットをプリンター側に起こし、「カチッ」と音がするまで閉じる。

❹ 両面印刷ユニットのコネクターケーブルをプリンターに接続する。

テスト印刷

両面印刷ユニットが正しく取り付けられたことを確認するために、テスト印刷のステータス印刷を行います。手順についてはユーザーズマニュアル1章の「7　テスト印刷をする」を参照してください。

両面印刷ユニットのステータス印刷の例

ステータス印刷が終了すると、自動的に印刷可ランプが点灯し、印刷できる状態になります。これで、両面印刷ユニットの取り付けは完了です。

両面印刷ユニットの取り外し

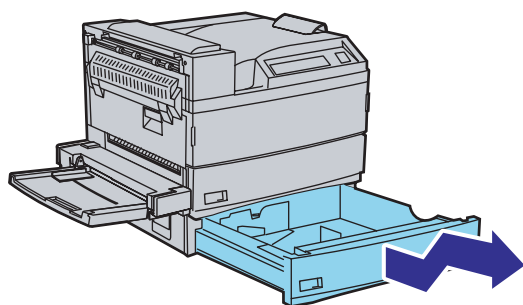
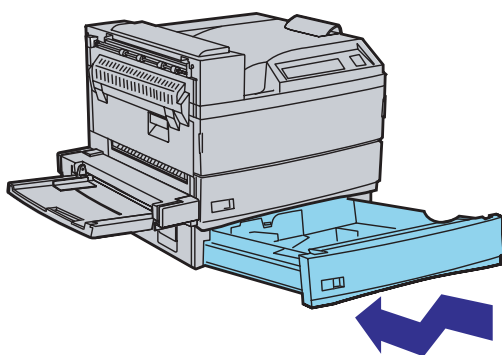
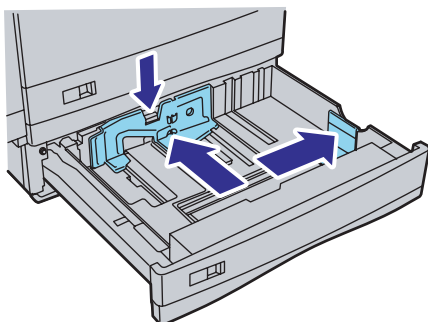
両面印刷ユニットを取り外す場合は取り付けの逆の手順で行ってください。

定形外用紙カセット

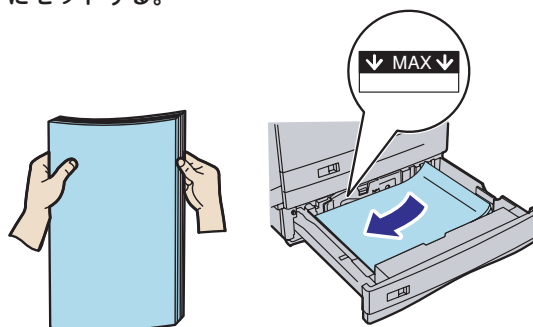
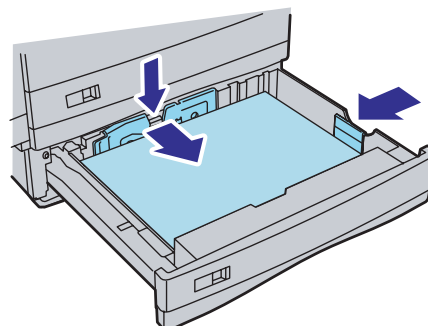
定形外用紙を印刷するために、MultiWriter 4550では定形外用紙カセットが用意されています。定形外用紙カセットは、標準ホッパー1、2および大容量ホッパー3(オプション)のそれぞれの標準用紙カセットと交換して使用します。

定形外用紙カセットの取り付け

ここでは、ホッパー2に定形外用紙カセットを取り付ける手順を説明します。

❶ 使用するホッパーの標準用紙カセットをいっぱいに引き出し、少し上方に持ち上げて取り出す。

❷ 取り外したホッパーに定形外用紙カセットを取り付ける。

❸ サイドガイド、エンドガイドをセットする用紙サイズより外側にずらす。

❹ 用紙をそろえ、印刷したい面を上にして用紙カセットの左手前に合わせて、用紙上限線を越えないようにセットする。

❺ セットした用紙のサイズに合うように、サイドガイドとエンドガイドを内側にずらす。

テスト印刷

定形外用紙カセットが正しく取り付けられたことを確認するために、テスト印刷のステータス印刷を行います。手順についてはユーザーズマニュアル1章の「7　テスト印刷をする」を参照してください。

定形外用紙カセットのステータス印刷の例

ステータス印刷が終了すると、自動的に印刷可ランプが点灯し、印刷できる状態になります。これで、定形外用紙カセットの取り付けは完了です。

定形外用紙カセットの取り外し

定形外用紙カセットを取り外す場合は取り付けの逆の手順で行ってください。

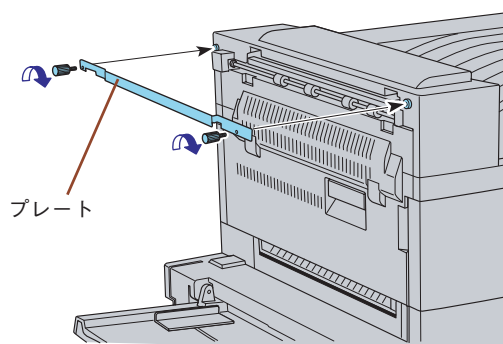
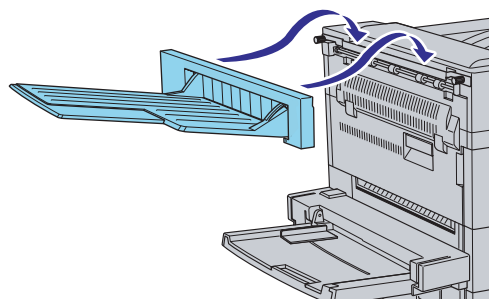
フェースアップトレー

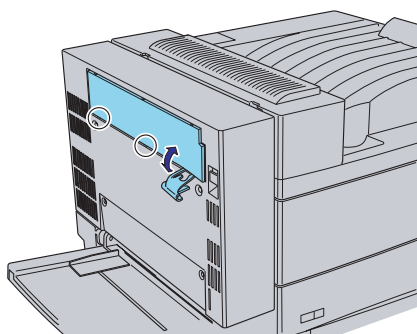
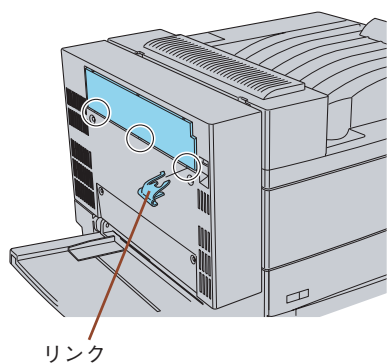
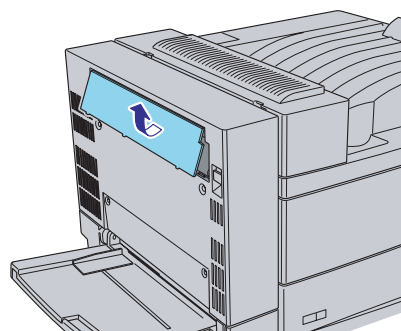
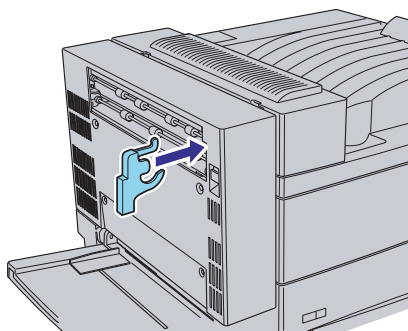
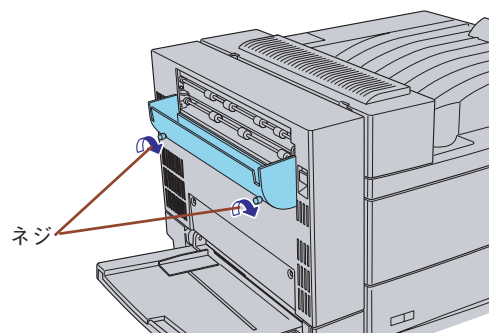
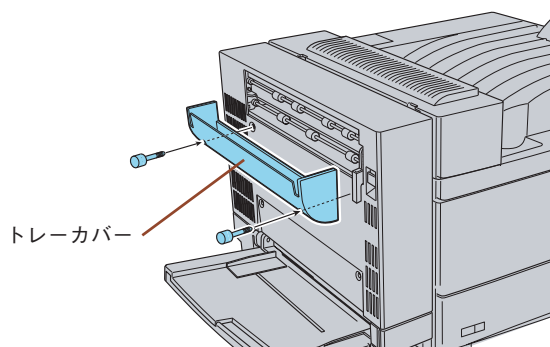
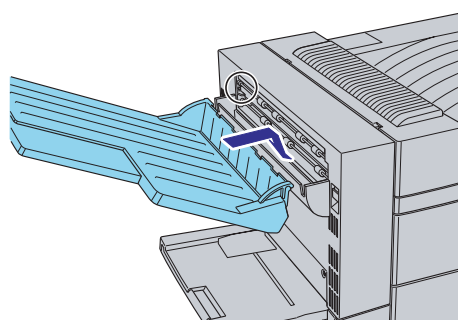
印刷された用紙の印刷面が上になるようにスタックできるトレーです。最大200枚(64g/m²)スタックできます。

フェースアップトレーの取り付け

フェースアップトレーの取り付け方法は、両面印刷ユニットが取り付けられている場合と取り付けられていない場合で異なります。

両面印刷ユニットが取り付けられていない場合

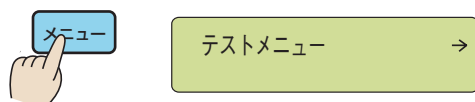
❶ 付属のプレートをネジ2本でプリンターに固定する。

❷ フェースアップトレーをプレートにしっかり固定する。

両面印刷ユニットが取り付けられている場合

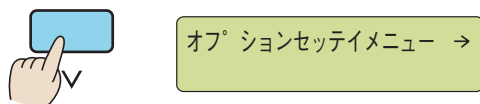
❶ 両面印刷ユニットのカバーを付属のリンクを差し込んで、下側の接続部分3か所を切り取る。

❷ カバーを手前に持ち上げて上部の接続部分を折り、切り離す。

❸ **付属のリンクを取り付ける。**

❹ **付属のトレーカバーをネジ2本で取り付ける。**

❺ **トレーを垂直に立ててから、45度傾けるようにしてトレー先端のくぼみを両面印刷ユニットの金属の凸部に掛ける。**

メニューモードの設定

フェースアップトレーを取り付けた後、操作パネルのメニューモードからプリンターの設定を行います。

❶ **メニューモードに入る。**

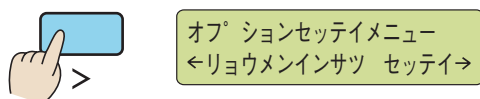
[印刷可]スイッチを押してプリンターをディセレクト状態にし、[メニュー]スイッチを押して“テストメニュー　→”を表示させます。

テストメニュー　→

❷ **[∨]スイッチを4回押す。**

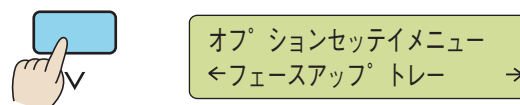
“オプションセッテイメニュー　→”と表示されます。

オプ゜ションセッテイメニュー　→

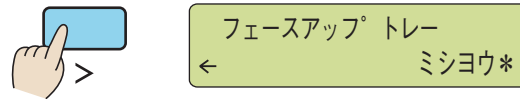
❸ **[>]スイッチを1回押す。**

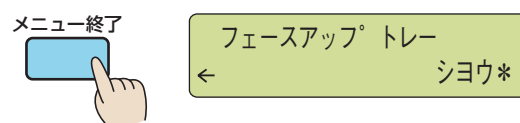
リョウメンインサツの設定の表示になります。

オプ゜ションセッテイメニュー
←リョウメンインサツ　セッテイ→

❹ **[∨]スイッチを1回押す。**

“オプションセッテイメニュー　フェースアップトレー→”と表示されます。

オプ゜ションセッテイメニュー
←フェースアップ゜トレー　→

❺ **[>]スイッチを1回押す。**

フェースアップトレーの初期設定の表示になります。

フェースアップ゜トレー
←　ミシヨウ*

❻ **[メニュー終了]スイッチを押して、ディスプレイ下段を“シヨウ”に変更する。**

フェースアップ゜トレー
←　シヨウ*

❼ **[メニュー終了]スイッチを押し、印刷可ランプを点灯させる。**

この状態は、同じ方法でフェースアップトレーの選択を変更しないかぎり維持されます。

テスト印刷

フェースアップトレーが正しく取り付けられたことを確認するために、テスト印刷のステータス印刷を行います。手順についてはユーザーズマニュアル1章の「7　テスト印刷をする」を参照してください。

フェースアップトレーのステータス印刷の例

**　プリンタ環境設定　**　　00000000

H/W情報

Version	コントローラ	14．00	メモリ容量	32MB
	エンジン	00．00		
			トナー残量	32.4%
給紙構成	ホッパ1	A4　横	オプション	両面印刷ユニット
	ホッパ2	定形外用紙		フィニッシャ
	ホッパ3	B4　縦		フェースアップトレー
	ホッパ4	A4　横		ハードディスク
	ホッパ5	A4　横		封筒フィーダ
	トレー	ハガキ		

（以下省略）

ステータス印刷が終了すると、自動的に印刷可ランプが点灯し、印刷できる状態になります。これで、フェースアップトレーの取り付けは完了です。

フェースアップトレーの取り外し

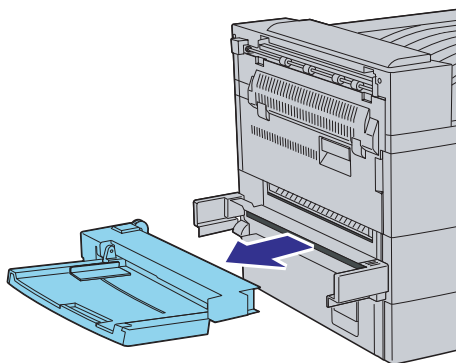
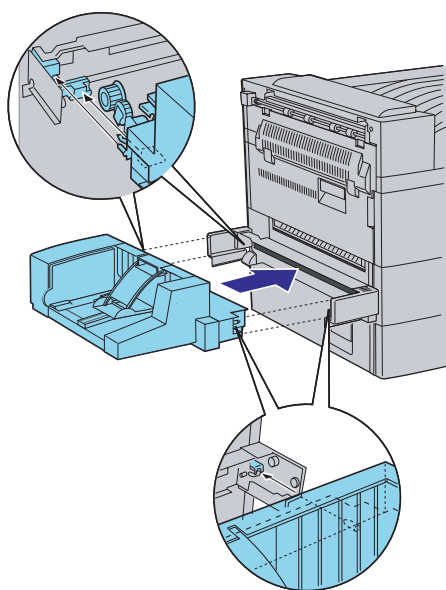
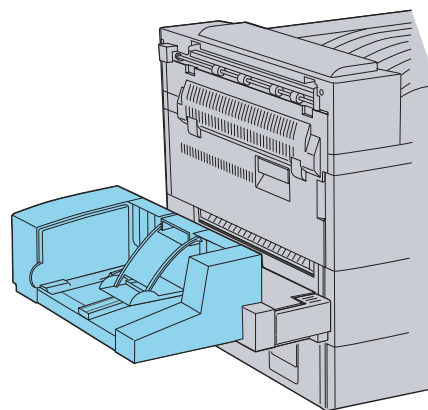
フェースアップトレーを取り外す場合は取り付けの逆の手順で行ってください。

封筒フィーダー

封筒用の給紙フィーダーです。封筒(洋形4号)を100枚までセットできます。また、封筒フィーダーはトレーとの併用はできません。

トレーから封筒フィーダー、または封筒フィーダーからトレーに交換する場合は、一度電源をOFFにし、交換後再び電源をONにしてください。電源を再投入しないと認識できません。

封筒フィーダーの取り付け

❶ トレーを取り外す。

❷ 封筒フィーダーを水平に支え、先端の突起をプリンターの支持部の穴に合わせる。

❸ 封筒フィーダーが完全に入るまでプリンターの支持部に差し込む。

テスト印刷

封筒フィーダーが正しく取り付けられたことを確認するために、テスト印刷のステータス印刷を行います。手順についてはユーザーズマニュアル1章の「7　テスト印刷をする」を参照してください。

封筒フィーダーのステータス印刷の例

** プリンタ環境設定 **　　00000000

H/W情報

Version	コントローラ	14．00	メモリ容量	32MB
	エンジン	00．00		
			トナー残量	32.4%
給紙構成	ホッパ1	A4　横	オプション	両面印刷ユニット
	ホッパ2	定形外用紙		フィニッシャ
	ホッパ3	B4　縦		フェースアップトレー
	ホッパ4	A4　横		ハードディスク
	ホッパ5	A4　横		封筒フィーダ
	トレー	ハガキ		

（以下省略）

ステータス印刷が終了すると、自動的に印刷可ランプが点灯し、印刷できる状態になります。これで、封筒フィーダーの取り付けは完了です。

封筒フィーダーの取り外し

封筒フィーダーを取り外す場合は取り付けの逆の手順で行ってください。

LANボード

MultiWriter 4550をネットワークに接続するためのLANボードはPC-PR-L02、PR-WL-11の2種類が用意されています（詳細は17ページ参照）。

それぞれのLANボードの取り付け・取り外し手順を説明します。

使い方や操作方法については、LANボードに添付の取扱説明書をご覧ください。

重要

- LANボードは大変デリケートな電子部品です。ボードを取り扱うときは、プリンター背面のコネクターが付いているフレームなどに触れて身体の静電気を逃がしてから行ってください。また、ボードは端の部分を持って取り扱い、表面の部品には触れないようにしてください。
- 無線LANボードおよびマルチプロトコルLANボードを取り付けた場合は、パラレルインターフェースは使用できません。

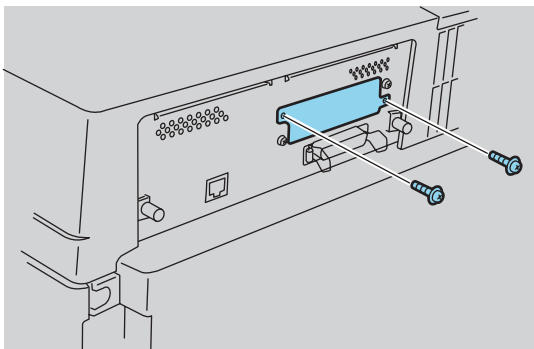
無線LANプリンタボードの取り付け

ここでは、無線LANプリンタボード（型番：PR-WL-11）の取り付け手順について説明します。

❶ プリンターの電源をOFFにし、電源コードとプリンターケーブルをプリンターから取り外す。

警告

プリンターの電源はOFFにして、電源コードをコンセントから抜いてください。電源コードを接続したまま取り付けると、故障の原因となるばかりでなく、感電のおそれがあります。

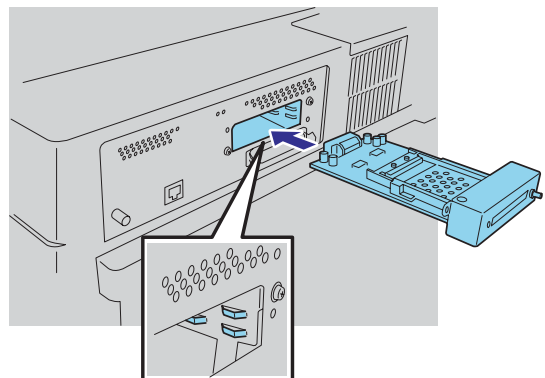
❷ LANボード用スロットからネジ2本を外して、プレートを取り外す。

チェック

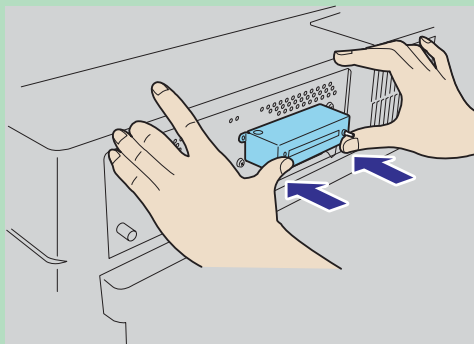
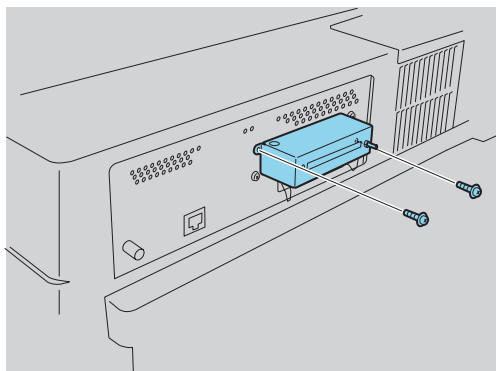
LANボード用スロットのプレートおよびネジは大切に保管しておいてください。ボードを取り外しプリンターを元に戻すときに必要です。

❸ 無線LANカード用スロットの方を上にして、図のようにガイドレールに沿って無線LANプリンタボードを両手で差し込む。

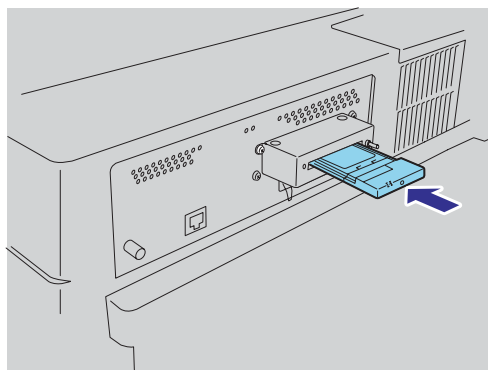
手ごたえがあるまで押し込みます。

注意

無線LANプリンタボードを差し込む際、指や手をはさまないようにゆっくり作業してください。

✔チェック

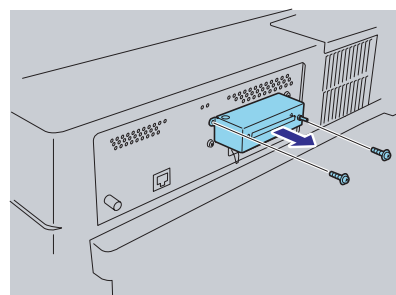
図のようにプリンターのリアカバーに手をかけながら無線LANプリンタボードの下の方に親指をあてて、水平に押してください。

❹ ネジ2本で無線プリンタLANボードを固定する。

❺ 無線LANカードを無線プリンタLANボードのスロットに差し込む。

⚠注意

- 無線LANカードを差し込む際、指や手をはさまないようにゆっくり作業してください。
- MACアドレスが記載されているラベルが貼られている面を下にして、カードをスロットに差し込んでください。向きを間違うと故障や発火の原因となります。

❻ 電源コードをプリンターに取り付ける。

無線LANプリンタボードの取り外し

無線LANプリンタボード(型番：PR-WL-11)を取り外すときは、プリンターの電源をOFFにして、電源コードを抜いてから取り付け手順を逆に行ってください。

プリンターの電源はOFFにして、電源コードをコンセントから抜いてください。電源コードを接続したまま取り外すと、故障の原因となるばかりでなく、感電のおそれがあります。

マルチプロトコルLANボードの取り付け

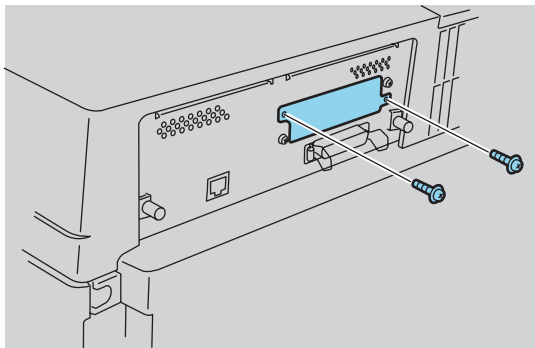
マルチプロトコルLANボード(型番 PC-PR-L02)の取り付け手順について説明します。

❶ **プリンターの電源をOFFにし、電源コードとプリンターケーブルをプリンターから取り外す。**

警告

プリンターの電源はOFFにして、電源コードをコンセントから抜いてください。電源コードを接続したまま取り付けると、故障の原因となるばかりでなく、感電のおそれがあります。

チェック

無線LANボードをお使いの場合は、LANボード用スロットから無線LANボードを取り外してください。取り外し手順は「無線LANボードの取り外し手順」(37ページ)をご覧ください。

❷ **LANボード用スロットからネジ2本を外して、プレートを取り外す。**

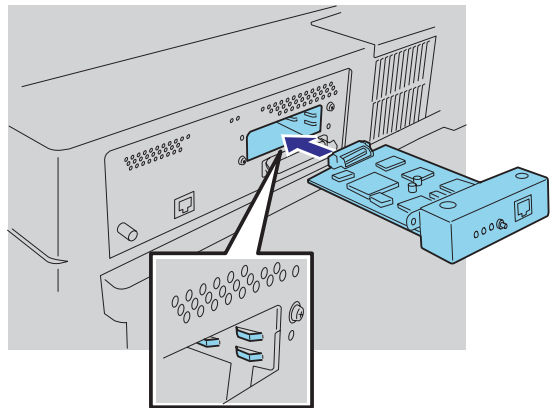
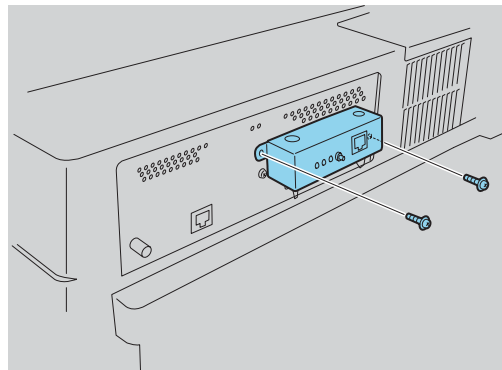
チェック

LANボード用スロットのプレートおよび、ネジは大切に保管しておいてください。ボードを取り外しプリンターを元に戻すときに必要です。

❸ **イーサネットコネクター側を手前にして、図のようにガイドレールに沿ってLANボードを差し込む。**

手ごたえがあるまで押し込みます。

注意

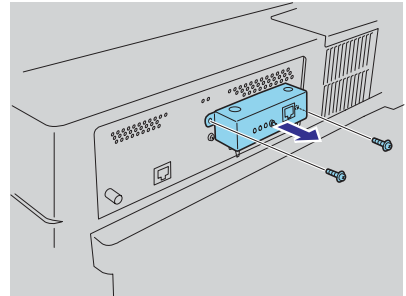
LANボードを差し込む際、指や手をはさまないようにゆっくり作業してください。

❹ **LANボードにあるネジ2本でLANボードを固定する。**

❺ **ネットワークケーブルを接続する。**

❻ **電源コードをプリンターに接続する。**

次の手順は、3章の「LANボードの設定」(86ページ)をご覧ください。

マルチプロトコルLANボードの取り外し

マルチプロトコルLANボード(型番 PC-PR-L02)を取り外すときは、プリンターの電源をOFFにして、電源コードを抜いてから取り付け手順を逆に行ってください。

プリンターの電源はOFFにして、電源コードをコンセントから抜いてください。電源コードを接続したまま取り外すと、故障の原因となります。

LANアダプター

MultiWriter 4550でご使用になれるLANアダプターのオプションは、PR-NP-02T2、PR-NP-03TR2、PR-NPX-05の3種類が用意されています。（19ページ参照）

LANアダプターの取り付け・取り外し手順を説明します。なお、PR-NP-02T2、PR-NP-03TR2、PR-NPX-05の取り付け手順は異なります。詳しくは、各LANアダプターに添付の取扱説明書をご覧ください。

使い方や操作方法については、LANアダプターに添付の取扱説明書をご覧ください。

チェック

LANアダプターのコネクター部には手を触れないでください。手を触れると、コネクター部の接点が汚れ、接触不良になることがあります。

LANアダプターの取り付け

ここでは、PR-NP-03TR2を例に取り付け手順を説明します。

1. **プリンターの電源をOFFにし、電源コード、プリンターケーブルをプリンターから取り外す。**

重要

電源は確実にOFFにしてください。ONにしたまま取り付けると、故障の原因となることがあります。

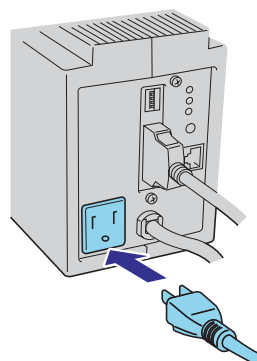
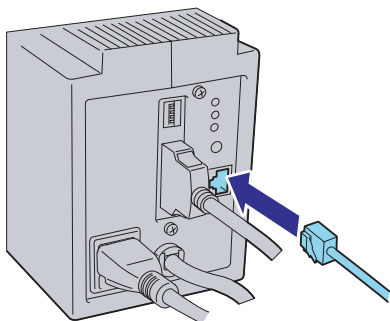
プリンターのパラレルインターフェースコネクター

2. **LANアダプターの電源をOFFにし、LANアダプターの電源コードを抜く。**

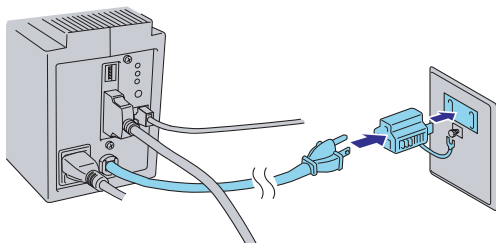
3. **LANアダプターのインターフェース用ソケットとプリンターのインターフェースコネクターをLANアダプター添付のプリンターケーブルで接続する。**

LANアダプター

4. **プリンターの電源コードのプラグをLANアダプター背面のACコンセントに差し込む。**

LANアダプタ（型番 PR-NP-02T2）の場合は、プリンターの電源コードをACコンセントに差し込んでください。

❺ ネットワークケーブルのコネクターをLANアダプターのイーサネット用コネクターに差し込む。

❻ LANアダプターの電源コードをコンセントに差し込む。

チェック

LANアダプターの電源コードは3極プラグです。2極の壁付きACコンセント(AC100V、電源容量15A以上)に差し込む場合は、3極/2極変換プラグをご使用ください。

❼ LANアダプター前面のランプが緑色に点灯することを確認する。

❽ プリンターの電源を入れてからLANアダプター前面のスイッチを押す。

LANアダプターの取り外し

LANアダプターを取り外すときは、LANアダプターがデータの受信中でないことを確認してから、プリンターおよびLANアダプターの電源をOFFにして取り付け手順❻から逆に行ってください。

増設メモリー

増設メモリーを取り付けることで、次のような効果があります。

- 電子ソート機能を有効にする
- フォーム登録数の増加
- 受信バッファーの拡大
- 両面印刷時のメモリー不足の解消
- 印刷時のメモリー不足解消
- 複雑な印刷データの印刷性能向上

重要

- MultiWriter用の増設メモリーをご使用ください。他の情報処理機器には使用しないでください。また本増設メモリー以外のRAMボードを使用すると、本プリンターが破損する場合があります。
- 指定のSO-DIMMタイプの増設メモリーを使用してください。指定以外の増設メモリーを使用すると、故障の原因となることがあります。
- MultiWriter 4050用の増設RAMサブボード(PR/MM1)は、使用できません。使用すると、故障の原因となります。

増設メモリーの取り付け

重要

増設メモリーは大変デリケートな電子部品です。増設メモリーを取り扱うときは、プリンター背面のインターフェースコネクターが付いているフレームなどに触れて身体の静電気を逃がしてから行ってください。また、ボードは端の部分を持って取り扱い、表面の部品には触れないようにしてください。

❶ **プリンターの電源をOFFにし、電源コードとプリンターケーブルをプリンターから取り外す。**

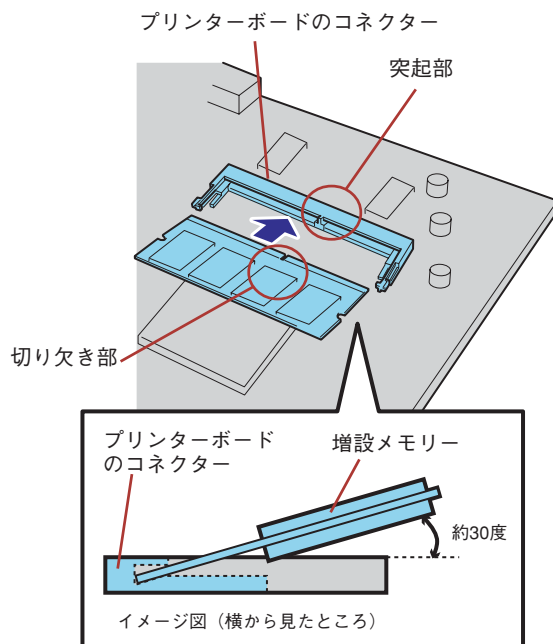
プリンターの電源はOFFにして、電源コードをコンセントから抜いてください。電源コードを接続したまま取り付けると、故障の原因となるばかりでなく、感電のおそれがあります。

❷ **ネジ2本を緩める。**

プリンターボードからネジを外す必要はありません。

❸ **プリンターボードを引き抜く。**

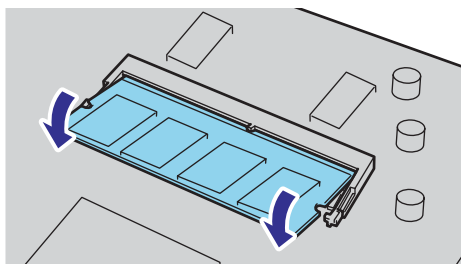
❹ 増設メモリーをプリンターボードの右側にあるコネクターに取り付ける。

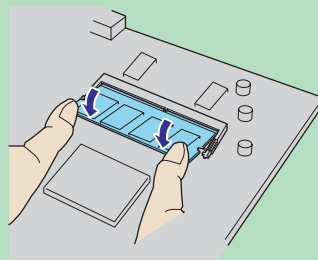
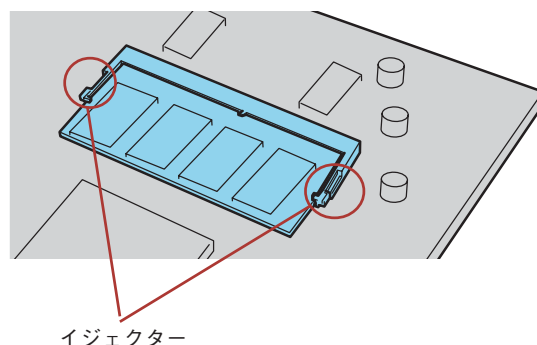
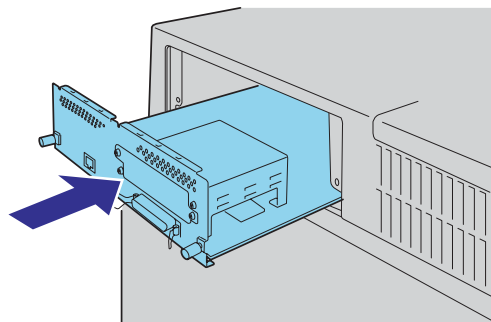
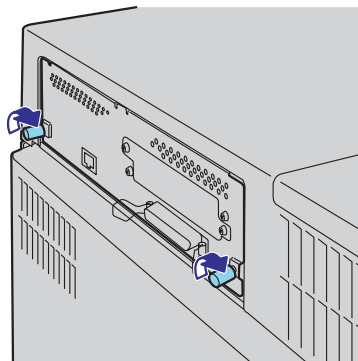
増設メモリーの切り欠き部をプリンターボードのコネクター突起部に合わせ、プリンターのコネクターに対して約30度の挿入角度で増設メモリーの端子が当たるまで挿入します。

重要

増設メモリーの切り欠き部の向きがとコネクターの突起部と正しく合っていることを確認してください。逆の場合は増設メモリーの切り欠き部とコネクターの突起部の位置が合わず、挿入することができません。

❺ 「カチッ」という音がするまでソケットに倒し込む。

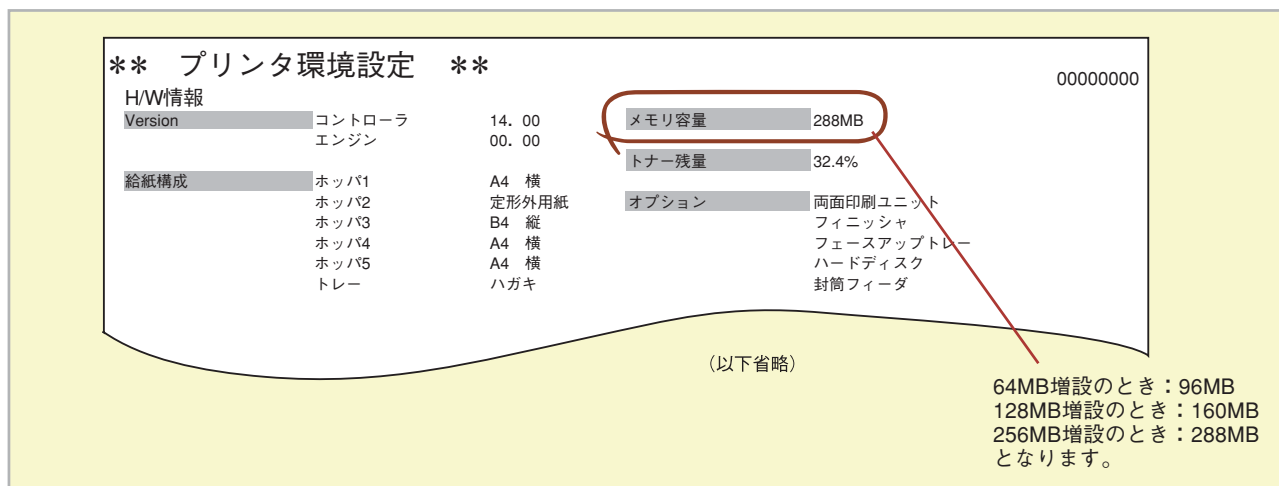
重要

奥までしっかり倒し込んでください。しっかり押し込まずに次の手順を行うと、コネクターまたは増設メモリーを破損するおそれがあります。

チェック

倒し込みが固いときは、増設メモリーの左右の角に親指を添えて倒し込んでください。

❻ イジェクターが立ち上がり、しっかり固定できたことを確認する。

❼ プリンターボードを奥まで差し込む。

❽ ネジ2本で固定する。

❾ 電源コードとプリンターケーブルを取り付ける。

テスト印刷

増設メモリーが正しく取り付けられたかを確認するために、テスト印刷のステータス印刷を行います。手順については、ユーザーズマニュアル1章の「7　テスト印刷をする」を参照してください。

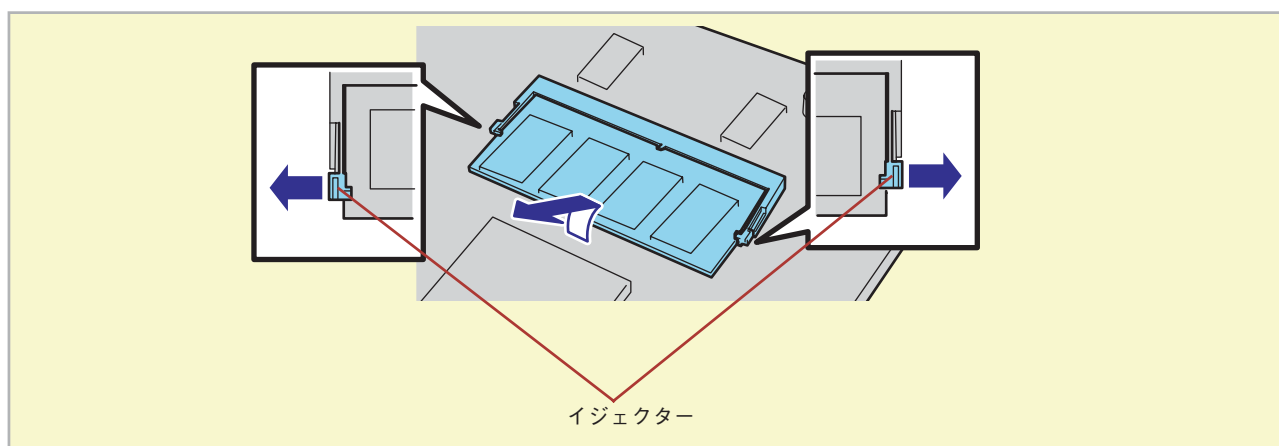
次のように印刷されていれば、増設メモリーは正しく取り付けられたことになります。

増設メモリーを増設したステータス印刷の例
（標準メモリー32MBに256MBメモリーを増設した場合）

ステータス印刷が終了すると、自動的に印刷可ランプが点灯し、印刷できる状態になります。これで増設RAMメモリーの取り付けは完了です。

増設メモリーの取り外し

増設メモリーを取り外すときは、プリンターの電源をOFFにし、電源コードをプリンターから取り外し、取り付けの手順を逆に行ってください。

プリンターの電源はOFFにして、電源コードをコンセントから抜いてください。電源コードを接続したまま取り外すと、故障の原因となります。

なお、増設メモリーを取り外すときはコネクターのイジェクターを横に押し広げて斜めに引き抜いてください。

ハードディスク

ハードディスクを取り付けると、電子ソート機能のページ数を増加させることができます。

重要

- ハードディスクを装着する場合は、64MB以上の増設メモリー(オプション)が取り付けられている必要があります。
- ハードディスクを取り付けた場合、丁合い可能なページ数は用紙サイズに関係なく一律200ページです。
- ハードディスクと増設メモリーが装着されていないと丁合い機能は動作しません。

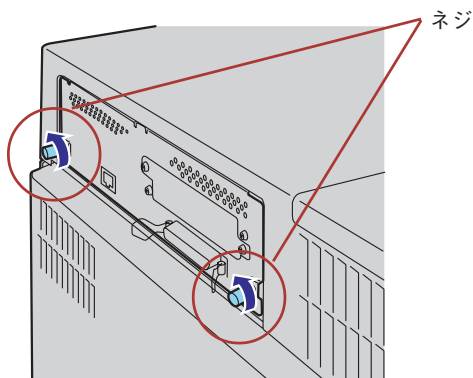
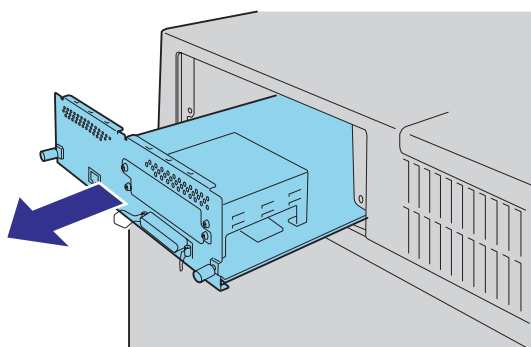
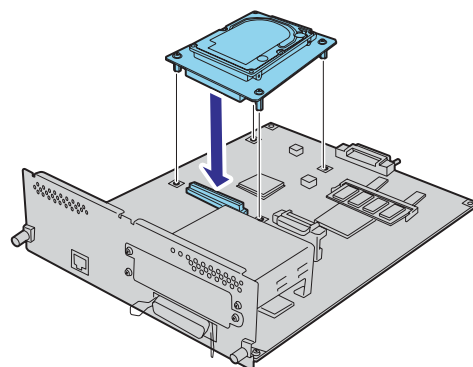
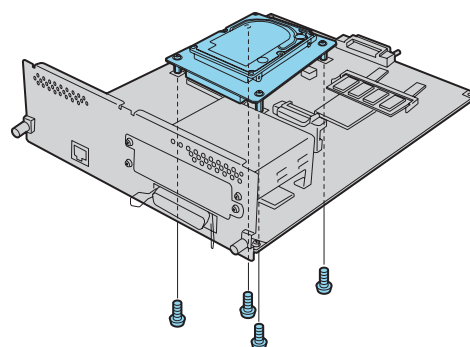
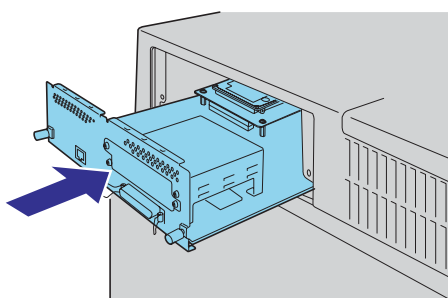
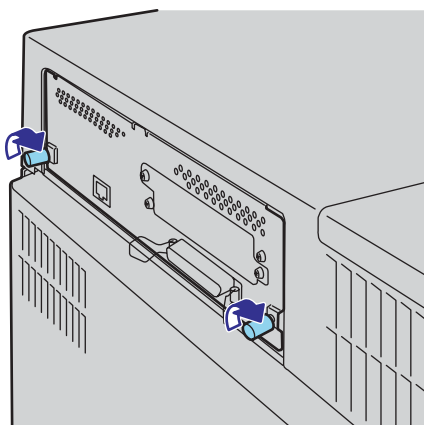
ハードディスクの取り付け

1. プリンターの電源をOFFにし、電源コードとプリンターケーブルをプリンターから取り外す。

重要

電源は確実にOFFにしてください。ONにしたまま取り付けると、故障の原因となることがあります。

2. ネジ2本を緩める。

プリンターボードからネジを外す必要はありません。

3. プリンターボードを引き抜く。

4. ハードディスクをプリンターボードに取り付ける。

5. プリンターボードの裏側から、ネジ4本でハードディスクを固定する。

6. プリンターボードを奥まで差し込む。

❼ ネジ2本で固定する。

❽ 電源コードとプリンターケーブルを取り付ける。

テスト印刷

ハードディスクが正しく取り付けられたことを確認するために、テスト印刷のステータス印刷を行います。手順についてはユーザーズマニュアル1章の「7　テスト印刷をする」を参照してください。

ハードディスクのステータス印刷の例

＊＊　プリンタ環境設定　＊＊

00000000

H/W情報

Version	コントローラ	14．00	メモリ容量	32MB
	エンジン	00．00		
			トナー残量	32.4%
給紙構成	ホッパ1	A4　横	オプション	両面印刷ユニット
	ホッパ2	定形外用紙		フィニッシャ
	ホッパ3	B4　縦		フェースアップトレー
	ホッパ4	A4　横		ハードディスク
	ホッパ5	A4　横		封筒フィーダ
	トレー	ハガキ		

（以下省略）

ステータス印刷が終了すると、自動的に印刷可ランプが点灯し、印刷できる状態になります。これで、ハードディスクの取り付けは完了です。

ハードディスクの取り外し

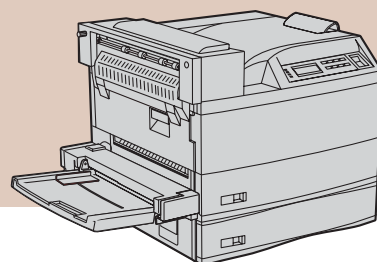
ハードディスクを取り外す場合は取り付けの逆の手順で行ってください。

使用できるプリンターケーブル

MultiWriter 4550で使用できるプリンターケーブルは次の表のとおりです。お使いになっているコンピューターによって使用できるプリンターケーブルが異なります。

コンピューター		プリンターケーブル*1
PC98-NXシリーズを含むIBM PC/AT互換機（DOS/V対応機）	PC98-NXシリーズ	PC-PRCA-01 PC-CA205*2 PR-UC-02
	IBM、富士通、東芝、DELL、その他各社	PC-PRCA-01 PR-UC-02
PC-9800シリーズ デスクトップタイプ ミニタワータイプ	98MATEシリーズ（除くAp･ As･ Ae･ Af） 98MATEサーバシリーズ 98FELLOWシリーズ（除くBA･ BX） 98MULTiシリーズ（除くCe） 98MULTi CanBeシリーズ VALUE STARシリーズ CEREB 98FINE PC-H98シリーズ *4	PC-CA202*3 PC-CA204*2
	PC-98XA･ XL･ XL^{2}･ RL*4	PC-PR801-21 （パソコン本体に標準添付）
	上記以外の14ピンパラレルインターフェースを持つデスクトップタイプ	PC-CA203*2
98サーバシリーズ	SV-H98シリーズ *4 SV-98シリーズ	PC-CA202*3 PC-CA204*2
98NOTEシリーズ	Lavieシリーズ Aileシリーズ 98NOTE Light PC-9821Nf･ Np･ Nx･ Nd･ Nm･ Ne3･ Ne2･ Nd2 PC-9801NL/A･ NS/A	PC-CA202*3 PC-CA204*2
	上記以外の20ピンパラレルインターフェースを持つ98NOTEシリーズ	PC-9801N-19
PC-9800シリーズ ラップトップタイプ	PC-9821Ts	PC-CA202*3 PC-CA204*2
プリンタ増設インタフェースボード（PC-9801-94）		PC-CA202*3 PC-CA204*2
Express 5800シリーズ		K210-10（01）*3 K210-10（04）*2

*1　他社のケーブルをお使いになる場合、運用した結果の影響については責任を負いかねます。
*2　PC-CA203、PC-CA204、PC-CA205、K210-10(04)のケーブルの長さは4.0m。
*3　PC-CA202、K210-10(01)のケーブルの長さは1.5m。
*4　ハイレゾリューションモードでは、プリンタステータスウィンドウ機能、音声メッセージ機能は利用不可。

2章
プリンターソフトウエアのインストール

この章では、Windows XP*1/2000/NT 4.0/Me/98*2/95 日本語版環境にプリンターソフトウエア*3をインストールし、プリンターを指定するまでの手順について説明します。また、その他の環境で使用する際の設定も説明します。

*1　以下、本書でWindows XPと表記している場合は、Windows XP Home EditionとProfessionalを含みます。
*2　以下、本書でWindows 98と表記している場合は、Windows 98 Second Editionを含みます。
*3　プリンターソフトウエアは、次の2つのソフトウエアから構成されます。
①　プリンタードライバー：Windows環境でプリンターへの印刷制御を行うソフトウエア。
②　PrintAgent：印刷統合管理ソフトウエア「PrintAgent（プリントエージェント）」は、ネットワークプリンターで印刷する方のために豊富なサービスを提供するソフトウエアです。

重要

- MultiWriterのプリンターソフトウエアを正しくインストールするためには、インストールする前に「PrintAgentを正しく動作させるために」（398ページ）をお読みください。
- インストールプログラムを実行する前に、起動中のアプリケーションをすべて終了させてください。

フロッピーディスクでインストールする場合

本書ではCD-ROMを使った手順を説明しています。プリンターソフトウエアCD-ROMから作成したプリンターソフトウエアディスクを使用してインストールする場合、インストールの途中でフロッピーディスクの交換を求める画面が表示されることがあります。その場合は画面の指示に従ってフロッピーディスクを入れ替えてください。

プリンターソフトウエアCD-ROMについて

MultiWriter 4550に添付のプリンターソフトウエアCD-ROMは、Windows XP/2000/NT 4.0/Me/98/95のコンピューター環境に対応した、ソフトウエアを提供しています。

このCD-ROMは、ISO9660フォーマットに従って作成されています。MacintoshでこのCD-ROMを見るためには、ISO9660機能拡張ファイルが必要です。詳しくはMacintosh本体またはOSのマニュアルをご覧ください。

CD-ROMの構成は以下のとおりです。

□ メニュープログラム

- はじめに
  プリンターソフトウエアCD-ROMについて注意事項などが書かれています。ご使用になる前にお読みください。
- インストール
  Windows XP/2000/NT 4.0/Me/98/95に対応した、プリンターソフトウエアをインストールできます。
- オンラインマニュアル
  「MultiWriter 4550 活用マニュアル」の閲覧用(HTML形式)と、印刷用(PDF形式)の2つが収録されています。オンラインマニュアルを閲覧するためにはブラウザー、印刷するためには「Adobe Acrobat Reader」が必要です。詳細については「マニュアルの種類と使い方」(Viページ)またはメニュープログラム内のユーティリティーをご覧ください。
- ユーティリティー
  - iPrinting.DeliveryService*
  - ドキュメント・ハンドリング・ソフトウエア「DocuWorks Ver.4.1（体験版）」
  - NEC Internet Printing System(Windows NT 4.0対応版およびWindows 98/95対応版)
  - NEC TrueTypeバーコードフォントキット
    NEC TrueTypeバーコードフォントとNEC TrueTypeバーコードフォントユーティリティです。
  - NEC FontAvenue TrueTypeフォント3書体
  - 帳票エディタ「帳楽」お試し版
  - EASY設定ユーティリティ
  - 無線LANプリンタ導入ウィザード
  - 印刷ログユーティリティ
  - MultiWriterドライバ配信
  - Adobe Acrobat Reader
- バージョンアップ
  CD-ROMに収録されている最新のプリンタードライバーにアップデートできます。詳細や手順については、「ご利用の前に」(Update.txt)または4章の「プリンタードライバのバージョンアップ」(293ページ)をご覧ください。

その他に、Windows XP/2000/NT 4.0/Me/98/95に対応したMultiWriterシリーズのプリンターソフトウエアを収録しています。詳しくは、それぞれのソフトウエアに関連するフォルダー内にある、「はじめにお読みください」(Readme.txt)をご覧ください。

*　詳しくは、CD-ROMの[¥PRINTDS¥MANUAL]フォルダーのオンラインマニュアル(HTML形式)を参照してください。

プリンターソフトウエアの動作環境

MultiWriter 4550に添付のプリンターソフトウエアの動作環境は以下のとおりです。

接続方法	動作コンピューター*1	対応OS	メモリー
ネットワークインターフェース パラレルインターフェース	PC98-NXシリーズを含むIBM PC/AT互換機（DOS/V対応機）	Windows XP*2（日本語版） Windows 2000（日本語版） Windows NT 4.0（日本語版） Windows Me（日本語版） Windows 98（日本語版） Windows 98 Second Edition（日本語版） Windows 95（日本語版）	OSの動作条件に準じます。
	PC-9800シリーズ		

*1　OSによって動作するコンピューター条件が異なります。詳しい動作条件は各OSのマニュアルを参照してください。
*2　Windows XP 64-Bit Editionには対応していません。

メモリーについては、PrintAgentをクライアントーサーバーシステムでご使用の場合、プリントサーバーには64Mバイト以上(Windows XP/2000の場合は256Mバイト以上)のメモリーを搭載し運用されることを推奨します。

PrintAgentが利用できるネットワーク環境について

PrintAgentはネットワーク環境で、プリンターを次の形態でご使用の場合に利用できます。

- 標準装備のLANボードやオプションのLANボード、およびLANアダプターでプリンターがネットワークに接続されている。(対応している型番については1章の「オプション」(18〜20ページ)をご覧ください。)
- 無線LAN環境ではオプションの無線LANプリンタボード(型番 PR-WL-11)で接続されている。
- 共有プリンターの場合(クライアント・サーバー接続)、プリントサーバーコンピューターのOSがWindows XP/2000/NT 4.0/Me/98/95で、プリントサーバーコンピューターに本プリンターソフトウエアがインストールされている。
- お使いのコンピューターに、ネットワークに接続するためのネットワークボード／カード／アダプターなどを接続し、ネットワークの設定にTCP/IPプロトコルがインストールされている。詳しくはOSのマニュアルをご覧ください。

重要

ネットワーク環境でネットワーク共有プリンターをお使いになるためには、あらかじめOSの共有設定を有効にしておく必要があります。詳しくはOSのマニュアルをご覧ください。

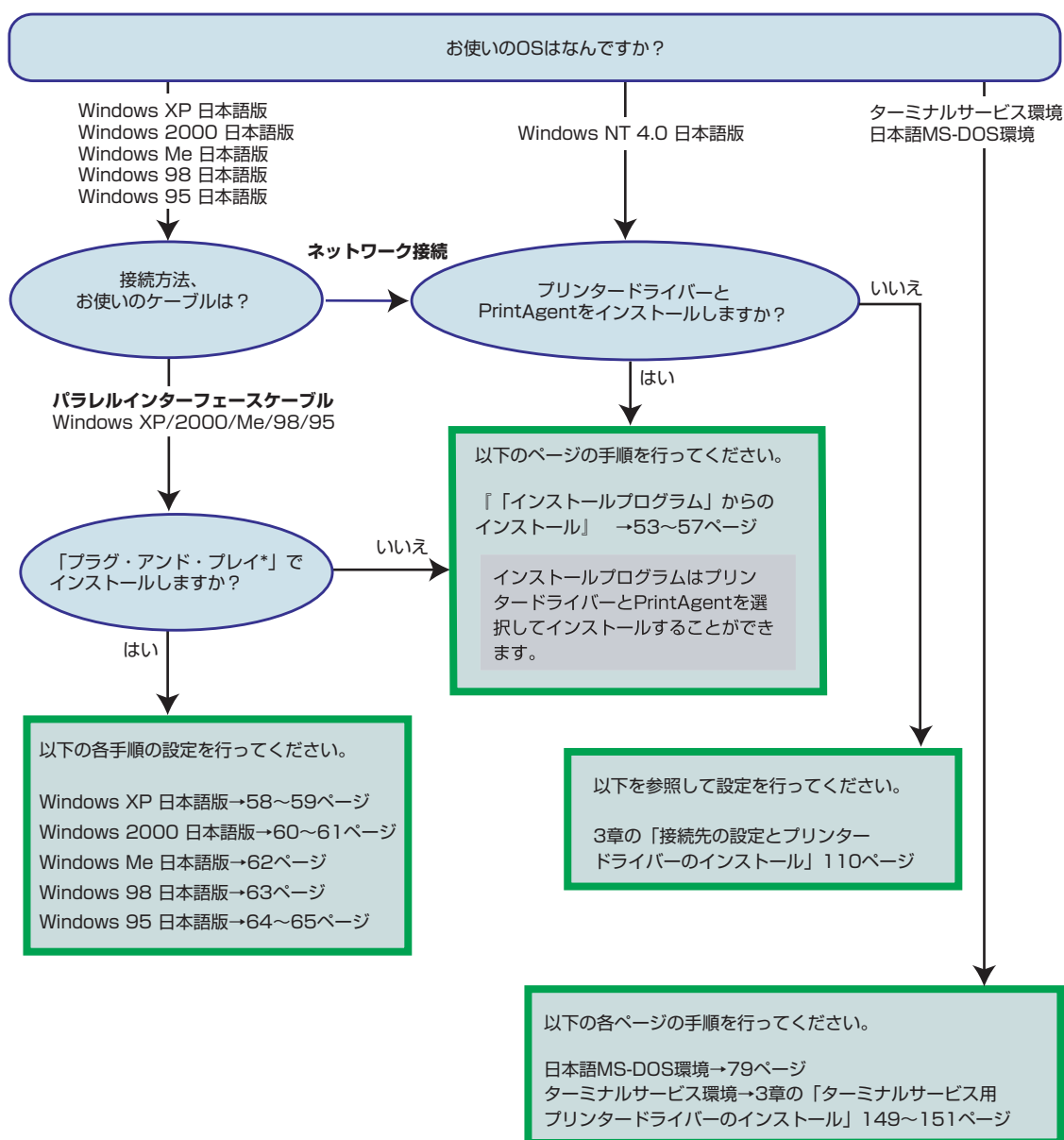
プリンターソフトウエアの容量

プリンターソフトウエアをインストールするために必要なハードディスク容量は次のとおりです。インストールする前に確認してください。

インストール方法	Windows XP/2000 日本語版	Windows NT 4.0 日本語版	Windows Me/98/95 日本語版
PrintAgentを含む標準設定	約9.8MB	約10.6MB	約9.5MB
PrintAgentを含む一般ユーザー向け（最大）	最大 約12.8MB	最大 約13.6MB	最大 約12.5MB
PrintAgentを含む管理者向け	最大 約14.8MB	最大 約15.6MB	最大 約14.5MB
プリンタードライバーのみ	約3.3MB	約4.1MB	約3.0MB

インストール方法の選択

プリンターソフトウエアをコンピューターにインストールする前に、お使いになるコンピューターの条件に従ってインストール方法を選択します。以下のフローチャートの矢印に進み、それぞれのページへ進んでください。

なお、プリンターを管理したり、LANボードまたはLANアダプターの設定を行う場合は、「管理者インストール」をする必要があります。インストール手順については、本章の「プリンター管理者用インストール」(72ページ)をご覧ください。

*　「プラグ・アンド・プレイ」機能とは、Windows XP/2000/Me/98/95がインストールされているコンピューターで新しい周辺機器などを接続すると、コンピューターの起動時や接続時にその周辺機器を検出し、自動的にインストールが実行される機能です。

「インストールプログラム」からのインストール

Windows XP/2000/NT 4.0/Me/98/95で動作しているコンピューターでMultiWriterをご利用になる場合、プリンターソフトウエアCD-ROMのインストールプログラムを使ってプリンターソフトウエア（プリンタードライバーおよびPrintAgent）をインストールします。

プリンターソフトウエアCD-ROMはドライブに挿入するだけで自動的にメニュープログラムが起動します。

LANボード（標準装備を含む）または、LANアダプターで接続されたプリンターに印刷を行なう場合は、以下の手順でインストールを行い、手順❼で、［NEC TCP/IP Port］を選択します。

ここではWindows XP 日本語版を例にとり、プリンターソフトウエア（プリンタードライバーおよびPrintAgent）のインストール手順を説明します。

チェック

Windows XPにインストールするユーザーは、アカウントの種類が［コンピュータの管理者］である必要があります。また、Windows 2000またはWindows NT 4.0にインストールするには、［Administrators］または［Domain Admins］グループのメンバーである必要があります。

❶ **Windows XP 日本語版を起動する。**

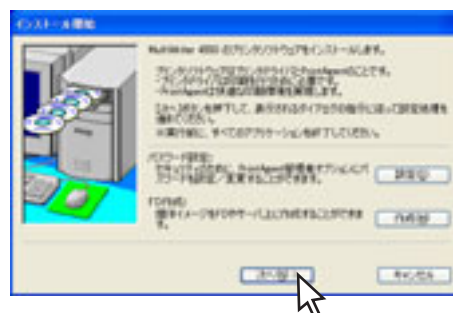
❷ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

［プリンタソフトウェアCD-ROMメニュー］が起動します。

お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合はCD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

❸ **［インストール］をクリックする。**

❹ **右側のボックスから［MultiWriter 4550］を選んで［インストール開始］をクリックする。**

お使いのOSにインストール可能なプリンター名が表示されます。

❺ **［次へ］をクリックする。**

はじめに、プリンタードライバーをインストールする設定を行います。

❻ **[プリンタドライバをインストールする]を選び、[次へ]をクリックする。**

[プリンタドライバをインストールしない]を選んだ場合は、手順❾へ進んでください。

MOPYING設定ウィンドウを表示させるには、ここで[印刷開始時にMOPYING設定ウィンドウを表示する]をチェックしてください。

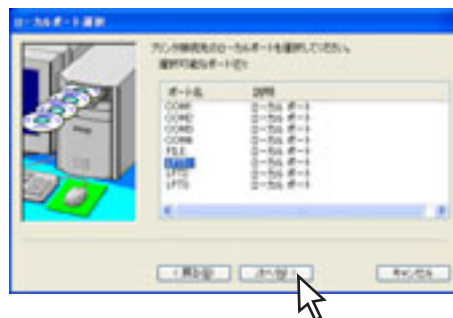
MOPYING設定ウィンドウの詳細については添付のプリンターソフトウエアCD-ROMの「¥MW4550¥Disk1¥Drivers.txt」を参照してください。

❼ **プリンターの接続先を選び、[次へ]をクリックする。**

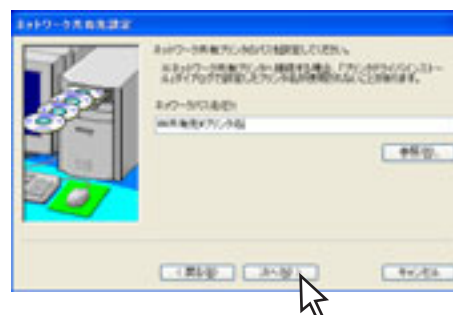
ネットワーク接続されていない場合はこのダイアログボックスは表示されません。次の「[ローカルポート]を選んだ場合」へ進んでください。

- [ローカルポート]は、コンピューターがプリンターとプリンターケーブルで接続されているときに選びます。
- [ネットワーク共有プリンタ]は、MultiWriterがプリントサーバー上に共有されているときに選びます。
- [NEC TCP/IP Port]は、プリンターがLANボード(標準装備含む)またはLANアダプターを装備しており、ネットワーク上に接続されているときに選びます。

<[ローカルポート]を選んだ場合>

希望するポートを選び[次へ]をクリックする。
手順❽へ進んでください。

<[ネットワーク共有プリンタ]を選んだ場合>

プリンターの接続先を指定し、[次へ]をクリックする。

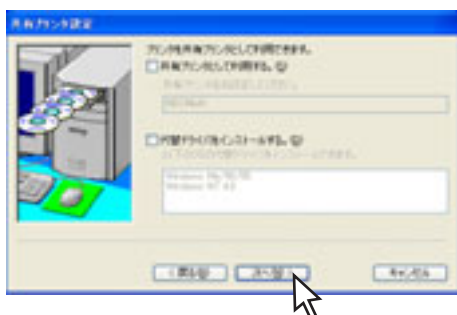
プリンターの接続先を[ネットワークパス名]に直接入力するか、[参照]をクリックして表示される一覧から指定します。
手順❾へ進んでください。

<[NEC TCP/IP Port]を選んだ場合>

LANボード、またはLANアダプターのIPアドレス、またはホスト名を設定し、[次へ]をクリックする。

IPアドレスを設定する場合

[検索]をクリックします。検索結果ダイアログボックスで使用するプリンターを選択し、[OK]をクリックすると簡単にIPアドレスが設定できます。

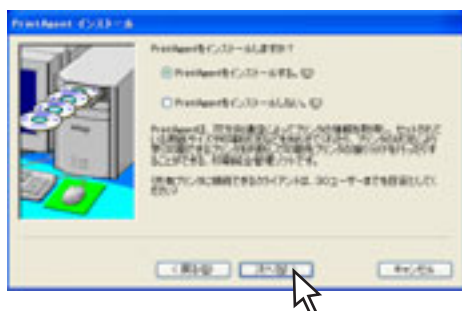
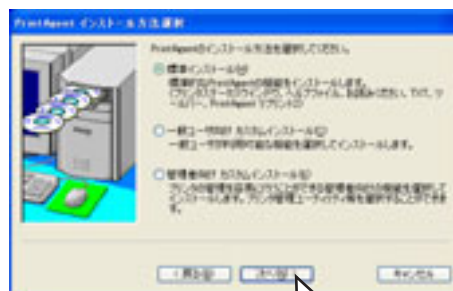
❽ **[次へ]をクリックする。**

ネットワークに接続され、Windows XP/2000またはWindows NT 4.0をご利用の場合は、次のダイアログボックスが表示されます。
このダイアログボックスが表示されない場合は、次の手順❾へ進んでください。

チェック

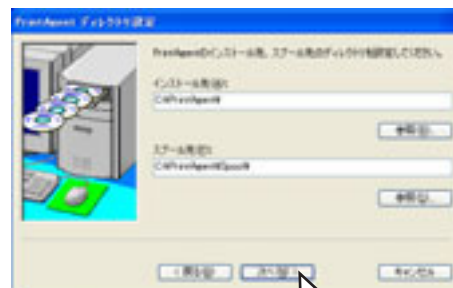
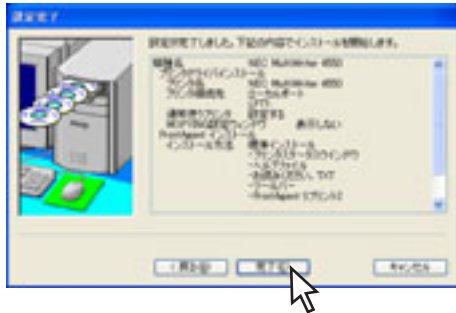
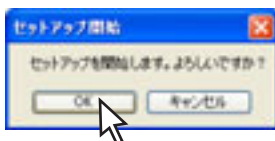
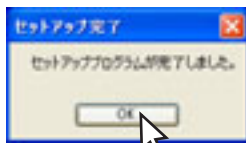
すでに代替ドライバーがインストールされている場合はリストに表示されません。

続いて、PrintAgentのインストールを行います。

❾ **[PrintAgentをインストールする]を選び、[次へ]をクリックする。**

[PrintAgentをインストールしない]を選んだときは、手順⓬へ進んでください。

❿ **使用目的に応じて[標準インストール]または[一般ユーザ向けカスタムインストール]のインストール方法を選び、[次へ]をクリックする。**

[一般ユーザ向けカスタムインストール]を選ぶと、標準的なソフトウエアの項目が表示されます。インストールする項目にチェックを付けて[次へ]をクリックしてください。[全追加]をクリックするとすべてチェックが付きます。[全削除]をクリックするとすべてチェックが外れます。

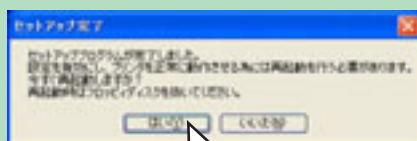
⓫ **PrintAgentのインストール先とスプールファイルの作成先を指定してからフォルダーを確認して[次へ]をクリックする。**

すでに他の機種のPrintAgentがインストールされているときはこのダイアログボックスは表示されません。手順⓬へ進んでください。

次のメッセージが表示されたときはインストール先のディスク空き容量が少なくなっています。フォルダーを変更するか不要なファイルを削除してください。

⓬ 設定した内容を確認し、[完了]をクリックする。

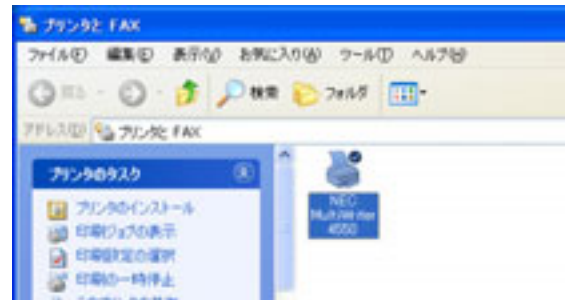
⓭ [OK]をクリックする。

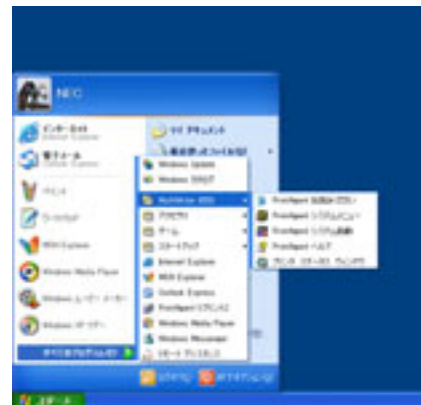
⓮ インストールが終了したら[OK]をクリックする。

✔チェック

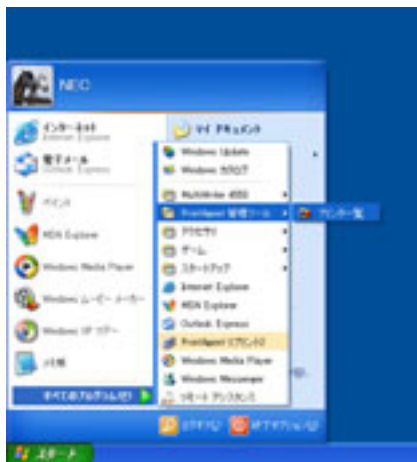
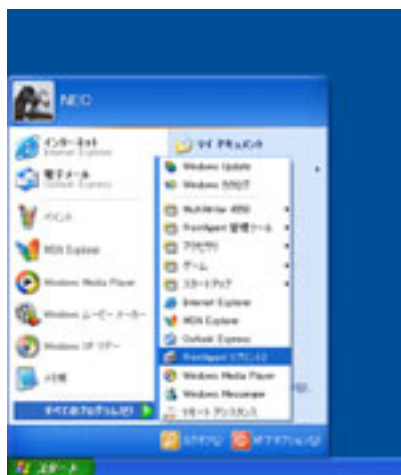
再起動を促すダイアログボックスが表示された場合は、画面の指示に従ってコンピューターを再起動してください。

⓯ プリンターソフトウエアが正常にインストールされていることを確認する。

カスタムインストールでインストールした場合、選択されたオプションによっては登録されているアイコンが異なります。

□ [プリンタとFAX]フォルダー内に[NEC MultiWriter 4550]アイコンが登録されている。

□ タスクバーのトレイに、[PrintAgentシステム]アイコンが登録されている。

□ スタートメニューの[すべてのプログラム]に[MultiWriter 4550]というフォルダーが追加され、その下にPrintAgent関連のアイコンが登録されている。

✔チェック

Windows XP以外の場合は、スタートメニューの[プログラム]から確認することができます。

□　スタートメニューの[すべてのプログラム]に[PrintAgent管理ツール]というフォルダーが追加され、[プリンター覧]が登録されている。
（カスタムインストールでプリンター覧を選択した場合）

□　スタートメニューの[すべてのプログラム]の下に[PrintAgent リプリント2]が登録されている。

チェック

Windows XPをご使用の場合、プリンターソフトウエアをインストール後にプリンターを接続すると「新しいハードウエアの検出ウィザード」が表示されることがあります。この場合は、以下の手順でウィザードを終了してください。

1.　[次へ]をクリックする。

2.　[ハードウエアのインストール]で、[インストールの停止]をクリックする。

3.　[完了]をクリックする。

「プラグ・アンド・プレイ」によるインストール

ここでは、Windows 日本語版において、プリンターソフトウエアを「プラグ・アンド・プレイ」機能を使ってインストールする手順を説明します。

Windows XP 日本語版

ここでは、Windows XP 日本語版にプリンターソフトウエアをインストールする手順を説明します。

❶ **プリンターケーブルを接続する。**

❷ **MultiWriter 4550の電源をONにする。**

❸ **コンピューターの電源をONにする。**

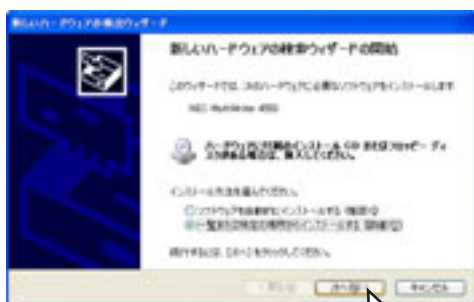
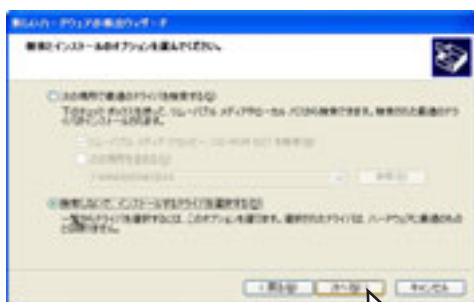
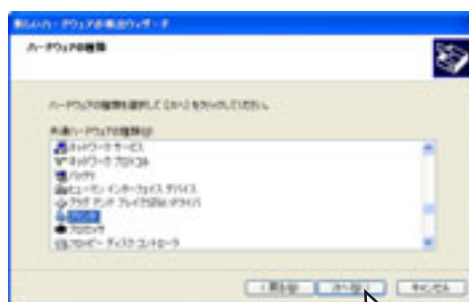
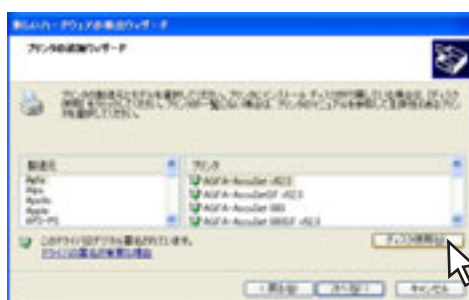
Windows XP 日本語版を起動します。

新しいハードウェアの検出画面が表示されます。

❹ **[一覧または特定の場所からインストールする(詳細)]を選び、[次へ]をクリックする。**

このダイアログボックスが表示されなかった場合、53ページの『「インストールプログラム」からのインストール』を行ってください。

チェック

接続先のポート名はプリンターケーブルを接続したポート名となり、通常は「LPT1」になります。

❺ **[検索しないでインストールするドライバを選択する]を選び、[次へ]をクリックする。**

❻ **[プリンタ]を選び、[次へ]をクリックする。**

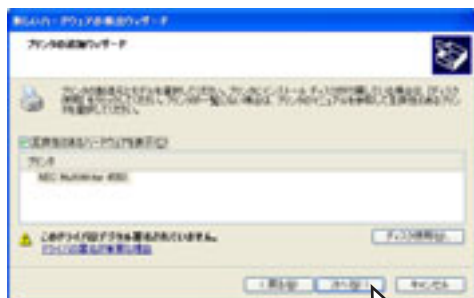
❼ **[ディスク使用]をクリックする。**

❽ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

❾ **ファイルのコピー元を指定し、[OK]をクリックする。**

ファイルの指定は、CD-ROMドライブ名、コロン(:)、円記号(¥)に続けて「MW4550¥DISK4」と入力します。

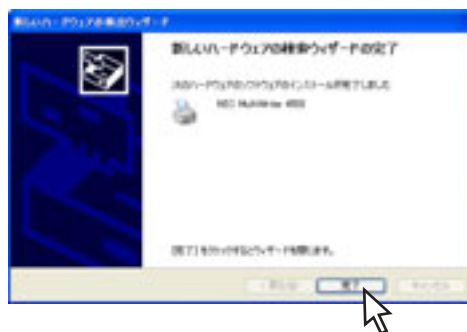
❿ **使用するプリンター名を選び、[次へ]をクリックする。**

インストールを開始します。

✔チェック

以下の[ハードウェアのインストール]ダイアログボックスが表示される場合があります。添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているソフトウエアは、弊社により動作を確認されています。

[続行]をクリックし、インストールを続行してください。

なお、[インストールの停止]をクリックした場合はインストールが中止されます。

⓫ **[完了]をクリックする。**

これでプリンタードライバーのインストールは完了です。

次にPrintAgentをインストールするには、『「インストールプログラム」からのインストール』の手順❻(54ページ)で[プリンタドライバをインストールしない。]を選んだ場合の手順に従ってインストールしてください。

Windows 2000 日本語版

ここでは、Windows 2000 日本語版にプリンターソフトウエアをインストールする手順を説明します。

❶ **プリンターケーブルを接続する。**

❷ **MultiWriter 4550の電源をONにする。**

❸ **コンピューターの電源をONにする。**

Windows 2000 日本語版を起動します。

❹ **[次へ]をクリックする。**

このダイアログボックスが表示されなかった場合、53ページの『「インストールプログラム」からのインストール』を行ってください。

> ✔チェック
> 接続先のポート名はプリンターケーブルを接続したポート名となり、通常は「LPT1」になります。

❺ **[デバイスに最適なドライバを検索する]を選び、[次へ]をクリックする。**

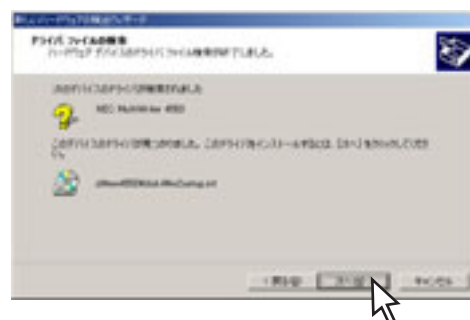
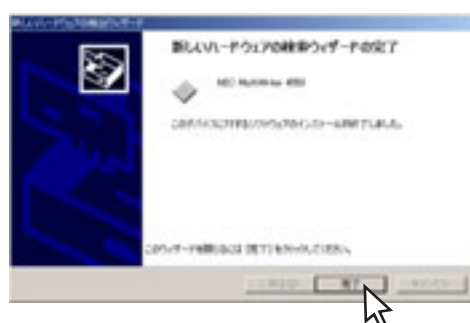
❻ **[場所を指定]を選び、[次へ]をクリックする。**

❼ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

❽ **ファイルのコピー元を指定し、[OK]をクリックする。**

ファイルの指定は、CD-ROMドライブ名、コロン（：）、円記号（¥）に続けて「MW4550¥DISK4」と入力します。

❾ **内容を確認し、[次へ]をクリックする。**

インストールを開始します。

❿ **[完了]をクリックする。**

チェック

[デジタル署名が見つかりませんでした]とメッセージダイアログボックスが表示される場合があります。プリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているプリンターソフトウエアは、弊社により動作を確認されています。

[はい]をクリックし、インストールを続行してください。

なお、[いいえ]をクリックした場合はインストールが中止されます。

これでプリンタードライバーのインストールは完了です。

次にPrintAgentをインストールするには、『「インストールプログラム」からのインストール』の手順❻(54ページ)で[プリンタドライバをインストールしない。]を選んだ場合の手順に従ってインストールしてください。

Windows Me 日本語版

ここでは、Windows Me 日本語版にプリンターソフトウエアをインストールする手順を説明します。

❶ **プリンターケーブルを接続する。**

❷ **MultiWriter 4550の電源をONにする。**

❸ **コンピューターの電源をONにする。**

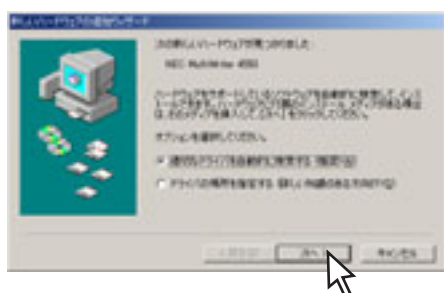
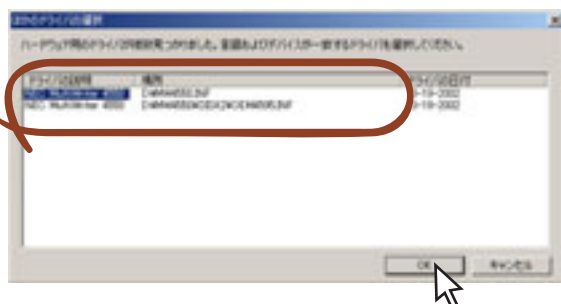
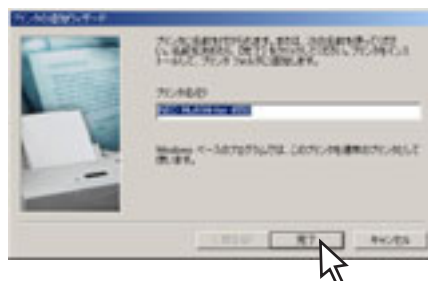
Windows Me 日本語版を起動します。

❹ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

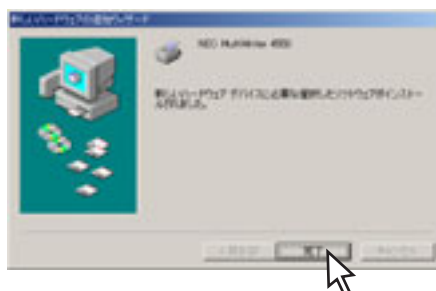
❺ **[適切なドライバを自動的に検索する]を選び、[次へ]をクリックする。**

このダイアログボックスが表示されなかった場合、53ページの『「インストールプログラム」からのインストール』の手順を行ってください。

✔チェック

接続先のポート名はプリンターケーブルを接続したポート名となり、通常は「LPT1」になります。

❻ **選択項目の中の[場所]がCD-ROMのルートを示しているドライバーを選択して、[OK]をクリックする。**

❼ **プリンターの名前を確認して、[完了]をクリックする。**

❽ **[完了]をクリックする。**

先に[PrintAgentセットアップ]ダイアログボックスが表示されますが、ここでの手順を終了した後、次の手順へ進んでください。

❾ **PrintAgentをインストールする場合は[OK]をクリックする。**

このあとは53ページの手順❺からと同じです。
PrintAgentをインストールしない場合は、[キャンセル]をクリックし、インストールを終了します。

Windows 98 日本語版

ここでは、Windows 98 日本語版にプリンターソフトウエアをインストールする手順を説明します。

❶ **プリンターケーブルを接続する。**

❷ **MultiWriter 4550の電源をONにする。**

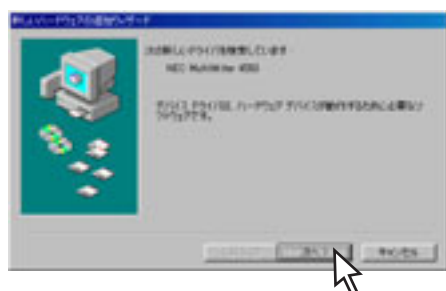
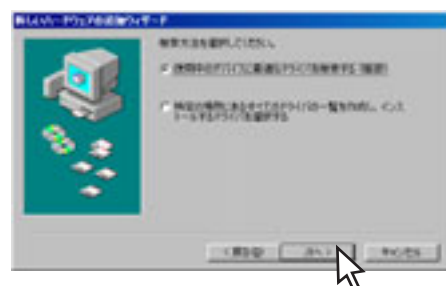
❸ **コンピューターの電源をONにする。**

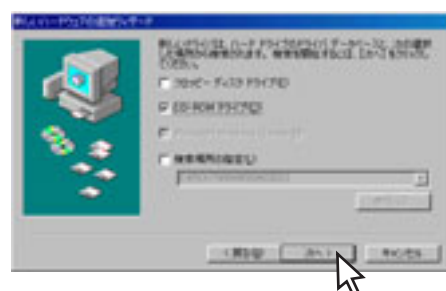
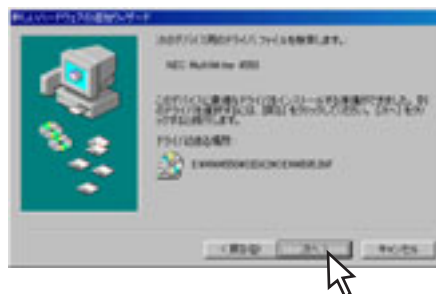
Windows 98 日本語版を起動します。

❹ **[次へ]をクリックする。**

このダイアログボックスが表示されなかった場合、53ページの『「インストールプログラム」からのインストール』を行ってください。

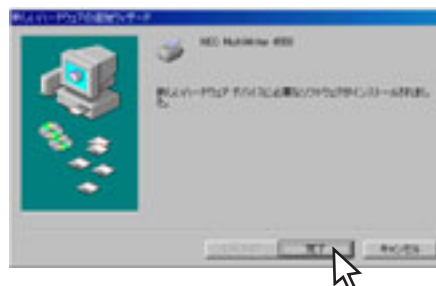
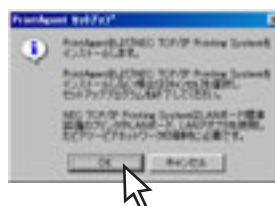
チェック

接続先のポート名はプリンターケーブルを接続したポート名となり、通常は「LPT1」になります。

❺ **[使用中のデバイスに最適なドライバを検索する]を選び、[次へ]をクリックする。**

❻ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

❼ **選択項目の中から[CD-ROMドライブ]をチェックして[次へ]をクリックする。**

❽ **[次へ]をクリックする。**

❾ **プリンターの名前を確認して、[完了]をクリックする。**

❿ **[完了]をクリックする。**

先に[PrintAgentセットアップ]ダイアログボックスが表示されますが、ここでの手順を終了した後、次の手順へ進んでください。

⓫ **PrintAgentをインストールする場合は[OK]をクリックする。**

このあとは53ページの手順❺からと同じです。
PrintAgentをインストールしない場合は、[キャンセル]をクリックし、インストールを終了します。

Windows 95 日本語版

ここでは、Windows 95 日本語版にプリンターソフトウエアをインストールする手順を説明します。

❶ **プリンターケーブルを接続する。**

❷ **MultiWriter 4550の電源をONにする。**

❸ **コンピューターの電源をONにする。**

Windows 95 日本語版を起動すると[デバイスドライブウィザード]か[新しいハードウエア]ダイアログボックスが表示されます。

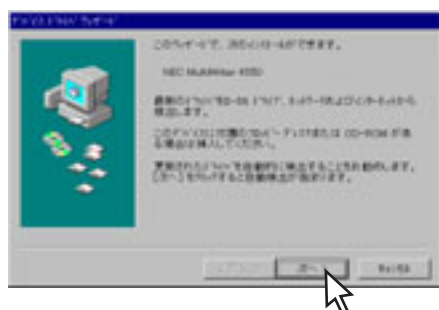
これらのダイアログボックスが表示されなかった場合、53ページの『「インストールプログラムから」のインストール』を行ってください。

チェック

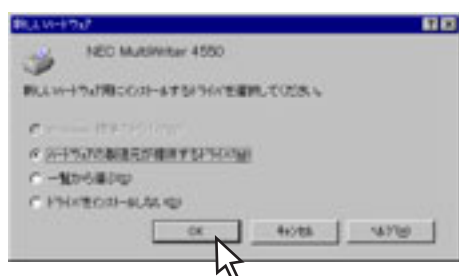
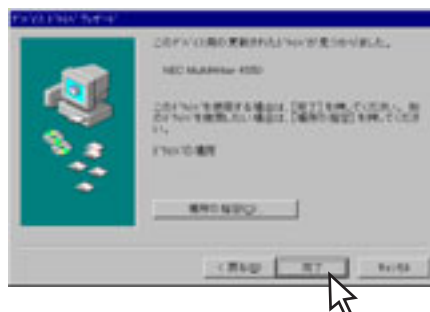
接続先のポート名はプリンターケーブルを接続したポート名となり、通常は「LPT1」になります。

<[デバイスドライバウィザード]ダイアログボックスが表示された場合>

プリンターソフトウエアCD-ROMをセットし、[次へ]をクリックする。

手順❹に進んでください。

<[新しいハードウエア]ダイアログボックスが表示された場合>

[ハードウエアの製造元が提供するドライバ]を選び、[OK]をクリックする。

手順❾に進んでください。

❹ **[完了]をクリックする。**

❺ **プリンターの名前を確認して、[完了]をクリックする。**

❻ **[OK]をクリックする。**

❼ **[ファイルのコピー元]を指定して、[OK]をクリックする。**

ファイルの指定は、CD-ROMドライブ名、コロン(:)、円記号(¥)に続けて「MW4550¥DISK2」と入力します。
プリンタードライバーがインストールされます。

❽ **PrintAgentをインストールする場合は[OK]をクリックする。**

このあとは53ページの手順❺からと同じです。
PrintAgentをインストールしない場合は、[キャンセル]をクリックし、インストール手順を終了します。

❾ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

❿ **[ファイルのコピー元]を指定して、[OK]をクリックする。**

ファイルの指定は、CD-ROMドライブ名、コロン(：)、円記号(¥)に続けて「MW4550¥DISK2」と入力します。

⓫ **プリンターの名前を確認し、[完了]をクリックする。**

プリンタードライバーがインストールされます。

⓬ **PrintAgentをインストールする場合は[OK]をクリックする。**

このあとは53ページの手順❺からと同じです。
PrintAgentをインストールしない場合は、[キャンセル]をクリックし、インストールを終了します。

プリンタードライバーの削除

必要なファイルを削除してしまったなどでプリンターが正常に動かなくなったときはプリンタードライバーを再インストールする必要があります。プリンタードライバーを再インストールするには、一度既存のプリンタードライバーを削除（アンインストール）してから行います。ここではプリンタードライバーの削除手順を説明します。

重要

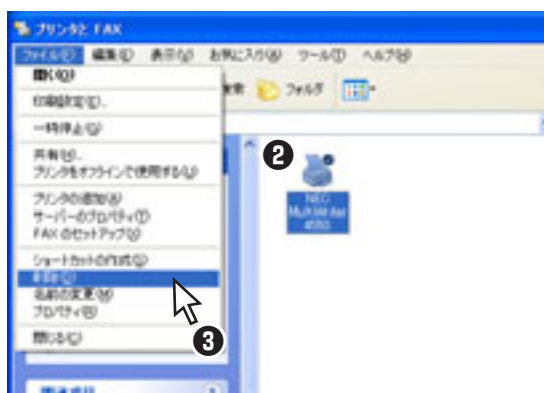
- プリンタードライバーの削除を実行する前に起動中のアプリケーションをすべて終了させてください。
- MultiWriter 4550が印刷中の場合は、プリンタードライバーの削除はできません。印刷が終了してから削除してください。

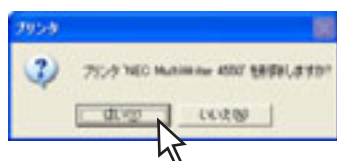
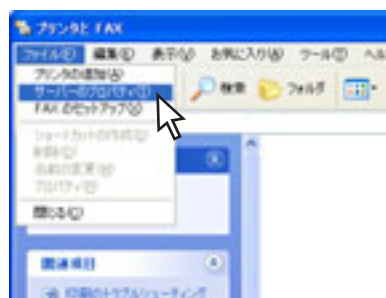
Windows XP 日本語版

❶ **［プリンタとFAX］フォルダーを開く。**

インストールされているプリンターアイコンが表示されます。

❷ **［NEC MultiWriter 4550］アイコンをクリックする。**

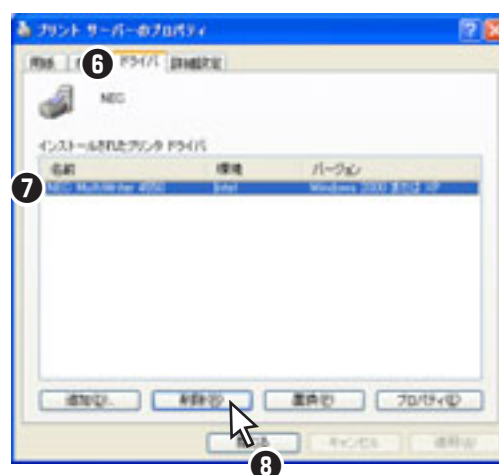
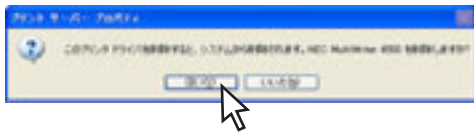
❸ **［ファイル］メニューの［削除］をクリックする。**

❹ **［はい］をクリックする。**

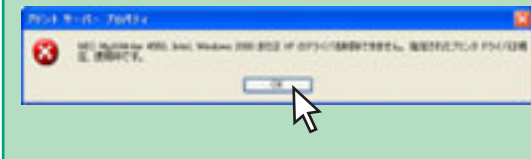
MultiWrite4550のプリンタードライバーが削除されます。

❺ **［ファイル］メニューの［サーバーのプロパティ］をクリックする。**

［プリントサーバーのプロパティ］が開きます。

❻ **［ドライバ］タブをクリックする。**

❼ **［インストールされたプリンタ ドライバ］から［NEC MultiWriter 4550］をクリックする。**

❽ **［削除］をクリックする。**

❾ **[はい]をクリックする。**

チェック

次のダイアログボックスが表示された場合は、Windows XPの再起動後、手順❺からやり直してプリンタードライバーを削除してください。

❿ **[インストールされたプリンタ ドライバ]から[NEC MultiWriter 4550]が削除されたことを確認し、[閉じる]をクリックする。**

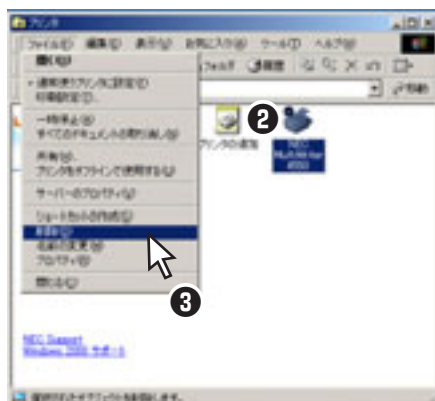
[プリントサーバーのプロパティ]を閉じます。

Windows 2000 日本語版

❶ [プリンタ]フォルダーを開く。

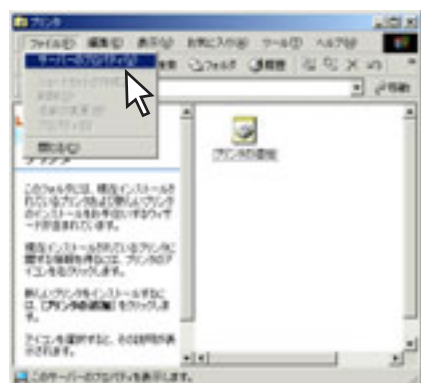
インストールされているプリンターアイコンが表示されます。

❷ [NEC MultiWriter 4550]アイコンをクリックする。

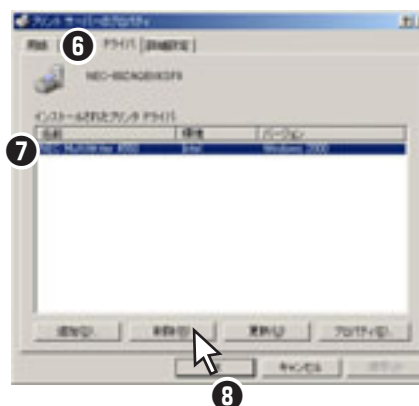
❸ [ファイル]メニューの[削除]をクリックする。

❹ [はい]をクリックする。

MultiWriter 4550のプリンタードライバーが削除されます。

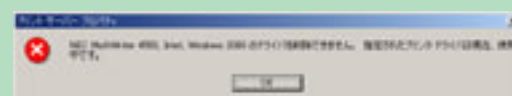
❺ [ファイル]メニューの[サーバーのプロパティ]をクリックする。

[プリントサーバーのプロパティ]が開きます。

❻ [ドライバ]タブをクリックする。

❼ [インストールされたプリンタ ドライバ]から[NEC MultiWriter 4550]をクリックする。

❽ [削除]をクリックする。

❾ [はい]をクリックする。

チェック

次のダイアログボックスが表示された場合は、Windows 2000の再起動後、手順❺からやり直してプリンタードライバーを削除してください。

❿ [インストールされたプリンタ ドライバ]から[NEC MultiWriter 4550]が削除されたことを確認し、[閉じる]をクリックする。

[プリントサーバーのプロパティ]と[プリンタ]フォルダーを閉じます。

Windows NT 4.0 日本語版

❶ [プリンタ]フォルダーを開く。

インストールされているプリンターアイコンが表示されます。

❷ [NEC MultiWriter 4550]アイコンをクリックする。

❸ [ファイル]メニューの[削除]をクリックする。

❹ [はい]をクリックする。

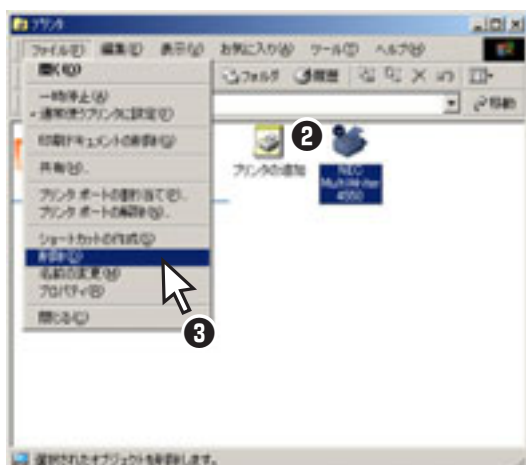
MultiWriter 4550のプリンタードライバーが削除されます。

Windows Me/98/95 日本語版

❶ [プリンタ]フォルダーを開く。

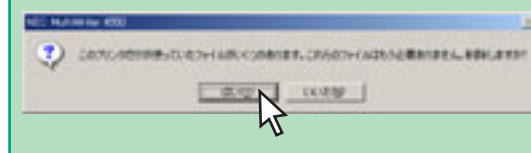
インストールされているプリンターアイコンが表示されます。

❷ [NEC MultiWriter 4550]アイコンをクリックする。

❸ [ファイル]メニューの[削除]をクリックする。

❹ [はい]をクリックする。

MultiWriter 4550のプリンタードライバーが削除されます。

チェック

次のダイアログボックスが表示された場合は、[はい]をクリックしてください。

PrintAgentの追加・削除

MultiWriter 4550のプリンターソフトウエアのインストーラーでは、プリンターソフトウエアの機能ごとに、追加と削除をすることができます。

ここではPrintAgentの追加と削除方法を説明します。

重要

追加・削除の手順を始める前に「PrintAgentをインストール/アンインストールする時の注意事項」(398ページ)をお読みください。

❶ **[コントロールパネル]フォルダーを開く。**

❷ **[プログラムの追加と削除]アイコンをダブルクリックする。**

Windows XP以外の場合は[アプリケーションの追加と削除]をクリックします。

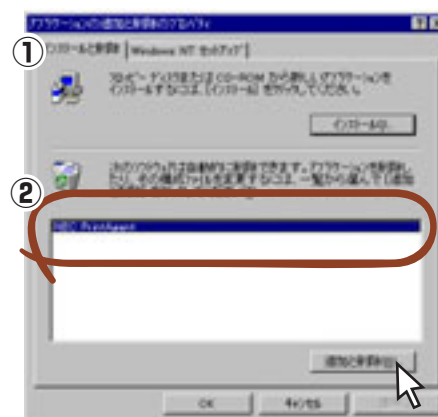
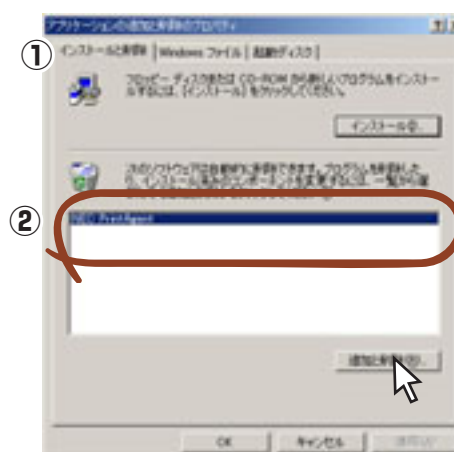
❸ **[PrintAgentオプション選択]ダイアログボックスを開く。**

<Windows XP/2000の場合>

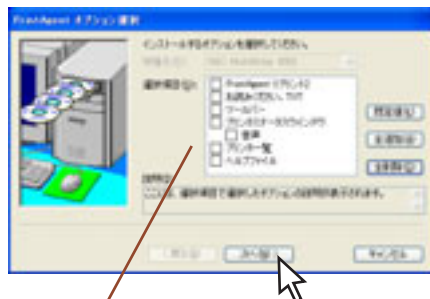
① 左側の[機能選択]バーから[プログラムの変更と削除]をクリックする。

② [NEC PrintAgent]を選んで、[変更/削除]をクリックする。

<Windows NT 4.0/Me/98/95の場合>

① [インストールと削除]シートを開く。
② 自動的に削除できるソフトウエアの一覧から[NEC PrintAgent]を選んで、[追加と削除]をクリックする。

Windows NT 4.0

Windows Me/98/95

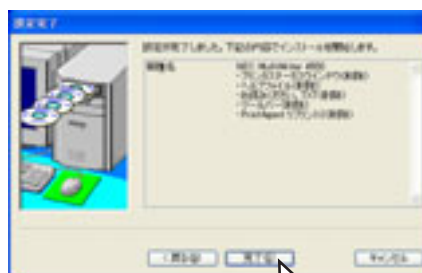
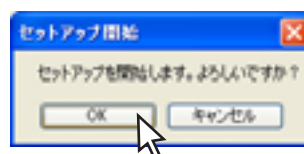
❹ 対象機種を選択してからチェックを変更し、[次へ]をクリックする。

チェックを付けると追加、チェックを外すと削除になります。
また、複数機種のチェックを付ける(外す)と複数機種のオプションを同時に追加(削除)することができます。

管理者向けカスタムインストールを行った場合は選択できるオプションが異なります。

✔チェック

- MultiWriter 2050など他のMultiWriterシリーズのプリンターソフトウエアがインストールされているとそれぞれのプリンターソフトウエアのオプションが表示される場合があります。
- オプションを追加する場合、セットアップに必要な媒体を要求する画面が表示されますが、プリンターソフトウエアCD-ROMがCD-ROMドライブに挿入されている場合、セットアップに必要なファイルを自動的に参照し、インストールされます。

❺ [完了]をクリックする。

パスワードが設定されている場合に管理者向けのオプションを削除するには、あらかじめ設定したパスワードの入力が必要です。

❻ [OK]をクリックする。

❼ 追加・削除が終了したら[OK]をクリックする。

再起動を促すダイアログボックスが表示された場合は、画面の指示に従ってコンピューターを再起動してください。

❽ すべてのオプションを削除した場合はソフトウエアの一覧から[NEC PrintAgent]が削除されたことを確認し、[OK]をクリックする。

他機種のPrintAgentがインストールされている場合は、ソフトウエアの一覧からPrintAgentは削除されません。

プリンター管理者用インストール

ここではプリンター管理者としてプリンターソフトウエアをインストールする手順を説明します。

以下は、ネットワーク環境でMultiWriter 4550を使用するときに便利な機能です。

- プリンターを一元に管理する
- プリンターを自動切替で利用する
- 印刷ログを出力する
- e-mailメンテナンスを利用する
- Web PrintAgentを利用する

以上を設定するには、プリンターソフトウエアを管理者向けでインストールする必要があります。インストールの手順は次ページを参照してください。

プリンター管理者のみ選択可能なオプション

Web PrintAgent
ブラウザーを使ってプリンターの状況を見ることができます。

プリンタ管理ユーティリティ
LANボード(標準装備も含む)/LANアダプターのリモート設定、プリンタ自動切替機能、保守情報のメール通知機能が利用できます。

印刷ログ
印刷の履歴状況を出力することができます。

- □ PrintAgent リプリント2
- □ Web PrintAgent*1
- □ お読みください．TXT
- □ ツールバー
- □ プリンタステータスウィンドウ
  - □ 音声
- □ プリンタ一覧
- □ プリンタ管理ユーティリティ
  - □ プリンタ自動切替
  - □ メール通知*2
- □ ヘルプファイル
- □ 印刷ログ*3

*1 プリントサーバーにWeb サーバーがインストールされている必要があります。詳しくは各OSのヘルプをご覧ください。

*2 ネットワーク設定にTCP/IPプロトコルがインストールされている必要があります。詳しくは各OSのヘルプをご覧ください。

*3 Windows XP/2000/NT 4.0で選択できます。

また、プリンターを管理する方は以下の機能も利用することができます。

- パスワード設定(78ページ)
  プリンター管理者以外の人による「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」の使用や、プリンターソフトウエアの削除から保護するためのパスワードの設定が可能です。

- インストール用フロッピーディスクの作成(433ページ)
  プリンターソフトウエアCD-ROMからインストール用のフロッピーディスクを作成します。またファイルサーバーのハードディスクなど任意の媒体にコピーすることができます。プリンター管理者がハードディスクなどにコピーし、複数台のコンピューターにプリンターソフトウエアを指定した内容で短時間にインストールしたい場合などに便利です。

インストール手順

プリンターソフトウエアの容量

プリンターソフトウエアをインストールするのに必要なハードディスク容量は次のとおりです。インストールする前に9章の「PrintAgentを動作させる前に」(398ページ)を参照してから確認してください。

インストール方法	Windows XP/2000 日本語版	Windows NT 4.0 日本語版	Windows Me/98/95 日本語版
PrintAgentを含む標準設定	約9.8MB	約10.6MB	約9.5MB
PrintAgentを含む一般ユーザー向け（最大）	最大 約12.8MB	最大 約13.6MB	最大 約12.5MB
PrintAgentを含む管理者向け	最大 約14.8MB	最大 約15.6MB	最大 約14.5MB
プリンタードライバーのみ	約3.3MB	約4.1MB	約3.0MB

ここでは、Windows XP/2000/NT 4.0/Me/98/95 日本語版に対応したプリンターソフトウエアをプリンター管理者としてインストールする手順をWindows XPを例に説明します。

❶ Windows XP 日本語版を起動する。

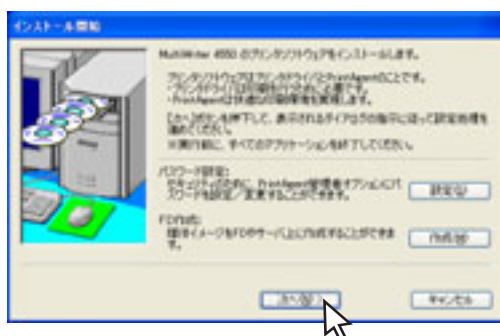
❷ プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。

［プリンタソフトウェアCD-ROMメニュー］が起動します。

お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合はCD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

❸ ［インストール］をクリックする。

❹ 右側のボックスから［MultiWriter 4550］を選んで［インストール開始］をクリックする。

お使いのOSにインストール可能なプリンター名が表示されます。

❺ [次へ]をクリックする。

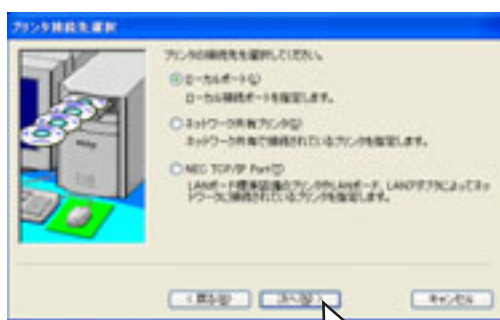
❻ [プリンタドライバをインストールする]を選び、[次へ]をクリックする。

[プリンタドライバをインストールしない]を選んだ場合は、手順❾へ進んでください。

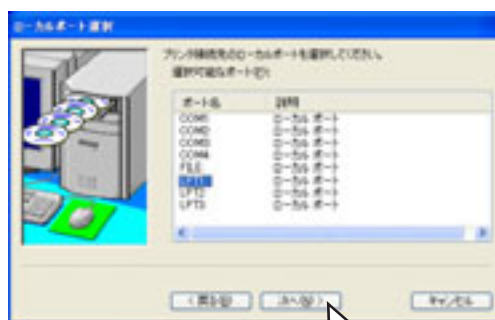
MOPYING設定ウィンドウを表示させるには、ここで[印刷開始時にMOPYING設定ウィンドウを表示する]をチェックしてください。

MOPYING設定ウィンドウの詳細については添付のプリンターソフトウエアCD-ROMの「¥MW4550¥Disk1¥Drivers.txt」を参照してください。

❼ プリンターの接続先を選ぶ。

ネットワーク接続されていない場合はこのダイアログボックスは表示されません。次の「[ローカルポート]を選んだ場合」へ進んでください。

- [ローカルポート]は、コンピューターとプリンターがプリンターケーブルで接続されているときに選びます。
- [ネットワーク共有プリンタ]は、MultiWriterがプリントサーバー上に共有されているときに選びます。
- [NEC TCP/IP Port]は、プリンターがLANボード(標準装備含む)/無線LANボード、またはLANアダプターを装備しており、ネットワーク上に接続されているときに選びます。

<[ローカルポート]を選んだ場合>

希望するポートを選び、[次へ]をクリックする。
手順❽へ進んでください。

<[ネットワーク共有プリンタ]を選んだ場合>

プリンターの接続先を指定し、[次へ]をクリックする。

プリンターの接続先を[ネットワークパス名]に直接入力するか、[参照]をクリックして表示される一覧から指定します。
手順❾へ進んでください。

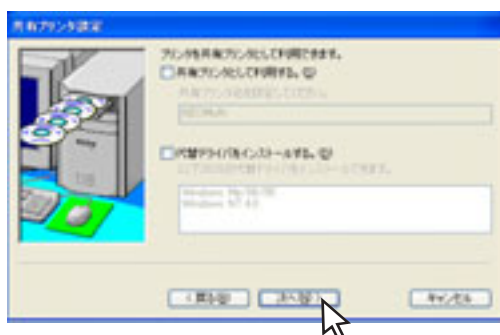
<[NEC TCP/IP Port]を選んだ場合>

LANボード、またはLANアダプターのIPアドレスあるいはホスト名を設定して[次へ]をクリックする。

IPアドレスを設定する場合

[検索]をクリックします。検索結果ダイアログボックスで使用するプリンターを選択し、[OK]をクリックすると簡単にIPアドレスが設定できます。

❽ **[次へ]をクリックする。**

ネットワークに接続され、Windows XP/2000またはWindows NT 4.0をご利用の場合は、次のダイアログボックスが表示されます。
このダイアログボックスが表示されない場合は、次の手順⓭へ進んでください。

チェック

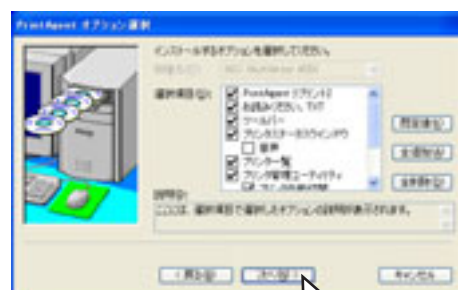
すでに代替ドライバーがインストールされている場合はリストに表示されません。

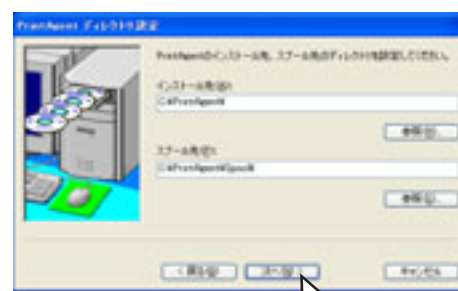
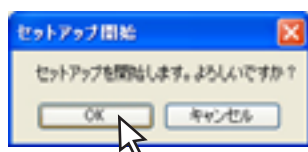
❾ **[PrintAgentをインストールする]を選び、[次へ]をクリックする。**

[PrintAgentをインストールしない]を選んだときは、手順⓭へ進んでください。

❿ **[管理者向けカスタムインストール]を選び、[次へ]をクリックする。**

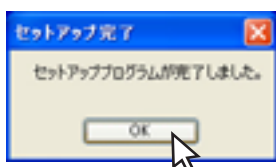
⓫ **任意の機能を選び、[次へ]をクリックする。**

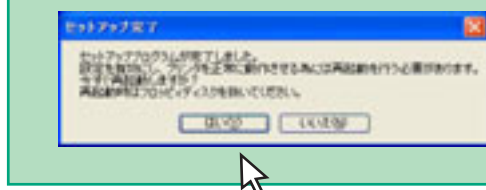
[全追加]をクリックすると、すべてチェックされます。[全削除]をクリックすると、すべてチェックが外れます。

⓬ **PrintAgentのインストール先とスプールファイルの作成先を指定し、[次へ]をクリックする。**

すでに他のMultiWriterのPrintAgentがインストールされている場合は、このダイアログボックスは表示されません。

⓭ **設定した内容を確認し、[完了]をクリックする。**

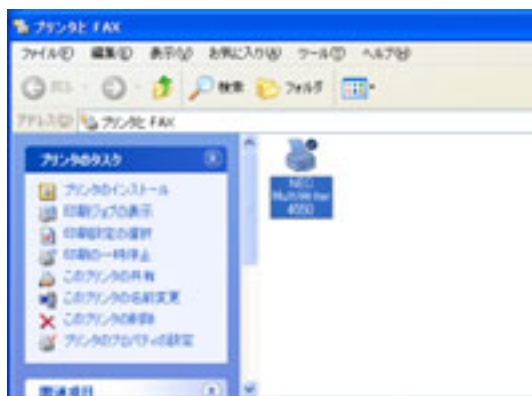
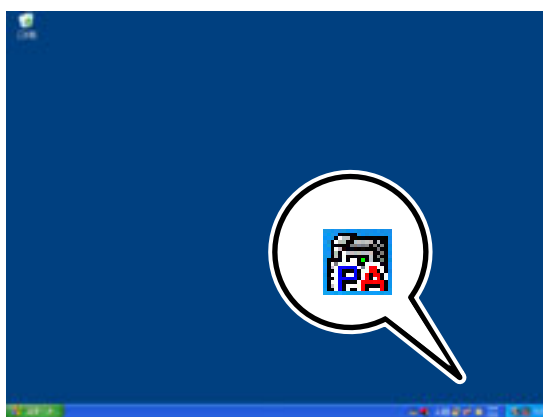
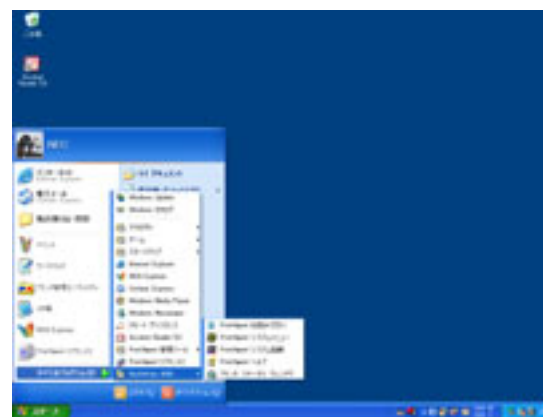
⓮ **[OK]をクリックする。**

ソフトウエアのインストールが開始されます。

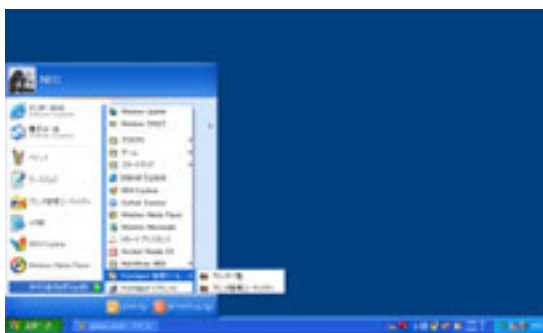
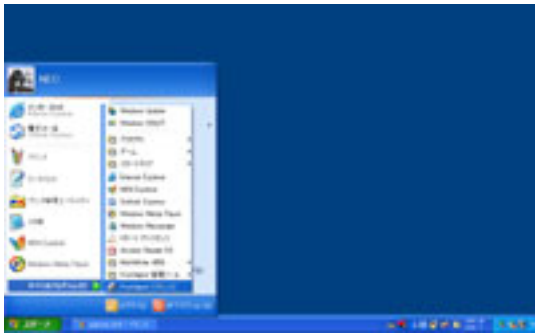
⓯ **インストールが終了したら、[OK]をクリックする。**

チェック

再起動を促すダイアログボックスが表示された場合は、画面の指示に従ってコンピューターを再起動してください。

⓰ **プリンターソフトウエアが正常にインストールされたことを確認する。**

管理者向けカスタムインストールで選択されたオプションによっては登録されているアイコンが異なります。

□ [プリンタ]フォルダー内に、[NEC MultiWriter 4550]アイコンが登録されている。

□ タスクバーのトレイに、[PrintAgentシステム]アイコンが登録されている。

□ スタートメニューの[すべてのプログラム]に[MultiWriter 4550]というフォルダーが追加され、その下にPrintAgent関連のアイコンが登録されている。

チェック

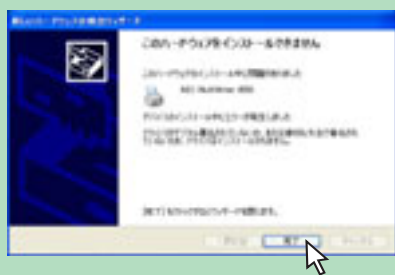
Windows XP以外の場合は、スタートメニューの[プログラム]から確認することができます。

□ スタートメニューの[すべてのプログラム]に[PrintAgent管理ツール]というフォルダーが追加され、その下に[プリンタ管理ユーティリティ]と[プリンター覧]が登録されている。

□　スタートメニューの[すべてのプログラム]に[PrintAgent リプリント2]が登録されている。

チェック

Windows XPをご使用の場合、プリンターソフトウエアをインストール後にプリンターを接続すると「新しいハードウエアの検出ウィザード」が表示されることがあります。この場合は、以下の手順でウィザードを終了してください。

1. [次へ]をクリックする。

2. [ハードウエアのインストール]で、[インストールの停止]をクリックする。

3. [完了]をクリックする。

パスワードの設定

プリンター管理者としてプリンターソフトウエアをインストールした場合、パスワードを設定できます。以下の手順で設定します。Windows XP/2000/NT 4.0/Me/98/95 日本語版に対応しています。

チェック

- パスワードで保護される機能はPrintAgentプリンタ管理ユーティリティの起動、プリンターソフトウエアの削除です。
- 設定したパスワードはPrintAgentに対応した機種で共通に使用されます。

❶ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットし、メニュープログラムを立ち上げる。**

お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合はCD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

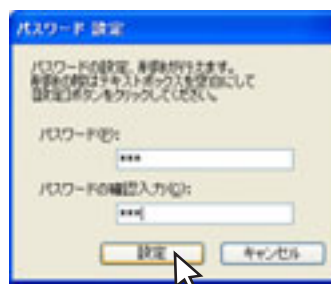
❷ **[インストール]をクリックする。**

❸ **右側のボックスから[MultiWriter 4550]を選んで[インストール開始]をクリックする。**

❹ **パスワード設定の[設定]をクリックする。**

❺ **パスワードとパスワードの確認を入力し、[設定]をクリックする。**

半角の英数文字で8文字まで入力できます。

パスワードを設定しない場合は空白のまま[設定]をクリックします。すでに入力しているパスワードを解除する場合はボックス内の文字を削除して、[設定]をクリックします。

日本語MS-DOS環境

ここでは、日本語MS-DOS環境から印刷をするために必要なプリンターの設定内容を説明します。

プリンターを選択する

使用しているアプリケーション上で印刷するときにプリンターの名称を指定します。指定できない場合は、次の表に示す優先順位で指定してください。（ただしアプリケーションによっては機能の一部が使用できないことがあります。）

優先順位	プリンター名称	動作モード*[3]
1	MultiWriter 3650N	ページプリンター（もしくは、レーザープリンター）
2	MultiWriter 2850N、2850	
3	MultiWriter 2350N、2350、2150	
4	MultiWriter 2800N、2800、2300N	
5	MultiWriter 2300、2100、210S	
6	MultiWriter 2650M、2250H	
7	MultiWriter 2650、2650E、2250	
8	MultiWriter 4050M、4050	
9	MultiWriter 2050	
10	MultiWriter 2200X2、2200XE、2000X2	
11	MultiWriter 2200X	
12	MultiWriter 2000X	
13	MultiWriter 2000FW	
14	MultiWriter 2200NW2、PC-PR2000/6W	
15	MultiWriter 2200NW、MultiWriter 2000E	
16	PC-PR2000/4R、PC-PR2000/4W	
17	PC-PR4000E/4、PC-PR4000/4	
18	MultiWriter 1250、1400X、1000EW、PC-PR1000E/4W、PC-PR1000E/4、PC-PR1000/4R、PC-PR1000/4、PC-PR2000/2、PC-PR2000/4 あるいはNPDL Level 2	
19	PC-PR1000、PC-PR1000/2	
20	PC-PR2000あるいはNPDL	
21	PC-PR602R*[1,2]、PC-PR602*[1,2]、PC-PR601*[1,2]	201PLエミュレーション
22	PC-PR201/47、PC-PR201/45L、PC-PR201/60、PC-PR201/80A、PC-PR201/65A、PC-PR201/60A、PC-PR101/60あるいは201PL	
23	PC-PR201X、PC-PR201J、PC-PR201GS、PC-PR201/45、PC-PR101GS	
24	PC-PR201G、PC-PR201V、PC-PR201V2、PC-PR201H3、PC-PR101G、PC-PR101G2	
25	上記以外のPC-PR201系、PC-PR101系プリンター（PC-PR201、PC-PR201F2、PC-PR201H2、PC-PR101、PC-PR101F2、PC-PR101E、PC-PR101E2など）	

*[1]　A4ポートレート桁数が80桁のとき、用紙の左側の余白量が異なるときは、アプリケーション上で余白量を変更してください。

*[2]　文字を縮小したときの印刷結果が異なるときは、プリンター設定の優先順位の下位機種に変更してください。

*[3]　ほとんどのアプリケーションでは、プリンターの動作モードを自動的に切り替えています。したがって、 本プリンターの動作モードは201PLエミュレーションモード（お買い上げ時の設定）のままご使用になれます。

プリンターを設定する

MS-DOS環境でコンピューターをお使いの場合、メニューモードを使ってプリンターを設定します。メニューモードの操作方法、メニューツリー、および各設定項目については7章「メニューモード」(327ページ)を参照してください。

PC-PR201系、101系プリンターを選択した場合

プリンターの指定でPC-PR201系、あるいは101系プリンターを選択した場合は、アプリケーションと本プリンターを次のような設定が標準です。

ソフトウエア：　シートフィーダー付き、単票(カット紙)、連続送り
プリンター：　201PLエミュレーションモード、136桁モード有効、用紙位置中央

MS-DOS環境での両面印刷設定

MS-DOS環境で両面印刷する際に必要な情報について説明します。MS-DOS環境で印刷する場合はメニューモード、および操作パネルの[両面]スイッチで設定します。

両面印刷の設定

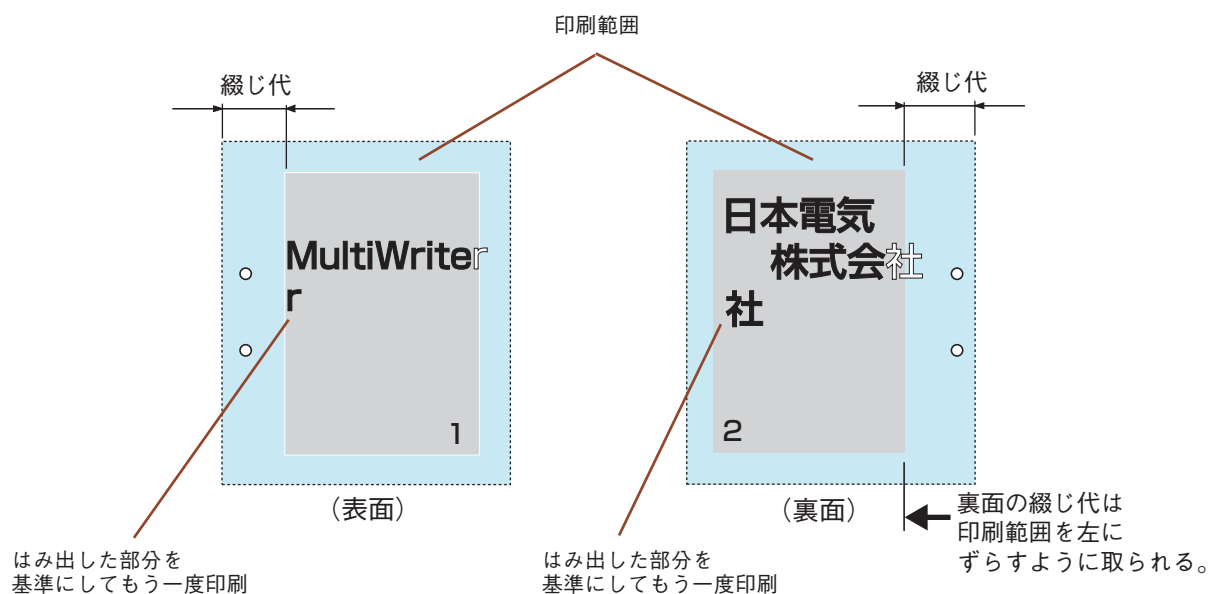
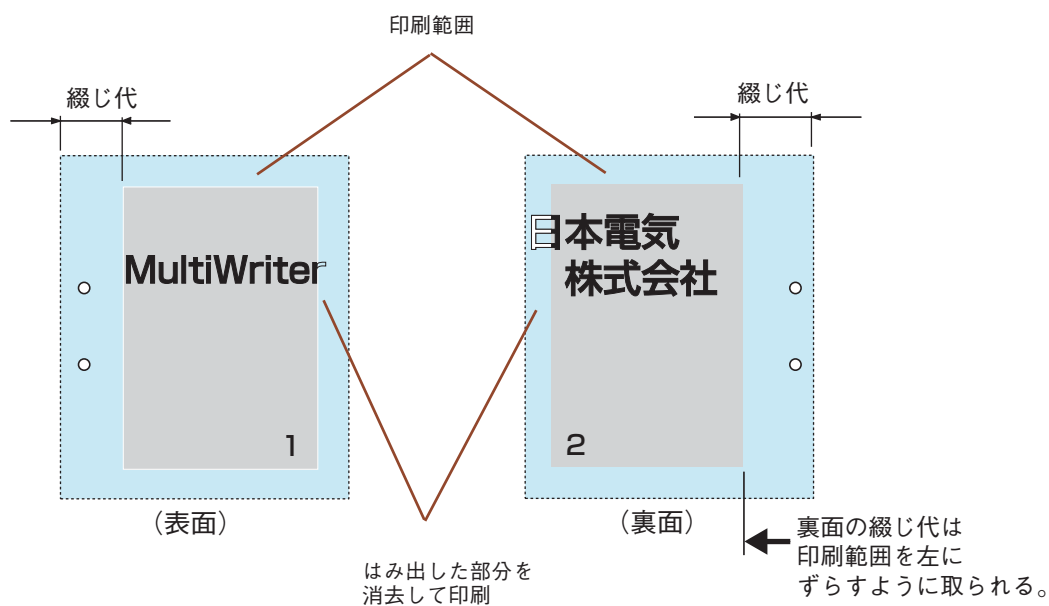
MS-DOSアプリケーションを使って両面印刷する場合、次の設定変更が必要です。
両面印刷をする場合、64MB以上のメモリーの増設をお勧めします。

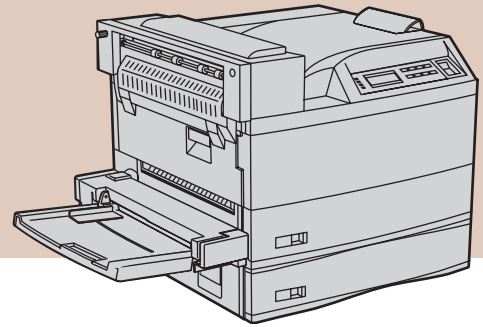
両面印刷のために必要な設定項目

メニューモード設定項目	備考
印字位置設定メニュー ー 表面微調整 ー 裏面微調整	表面、裏面ともに TM: ＋3.9　～　−3.9ミリ LM: ＋3.9　～　−3.9ミリ
両面印刷メニュー ー 初期設定ON ー 初期設定OFF	ー
両面印刷メニュー ー とじしろロング1 ー とじしろショート1 ー とじしろロング2 ー とじしろショート2	7章の「両面印刷メニュー」（328ページ）を参照してください。
両面印刷メニュー：余白	0　～　20ミリ
両面印刷メニュー ー クリップON ー クリップOFF	余白を多く取り過ぎた場合、印刷からはみ出たデータを次ページに印刷する（ON）か、消去する（OFF）かを設定します。

クリッピング機能について

余白(とじしろ)を多く取り過ぎると、印刷データが用紙の印刷範囲を超えてしまう場合があります。クリッピング機能とは、このような場合に印刷範囲からはみ出したデータを次の行に印刷するか、はみ出した分を消去してそのまま印刷するかを選択します。ただし、両面印刷時にのみ有効で、7章「オプション設定メニュー」の「両面印刷設定」(346ページ)で設定します。

- 「クリップ」をOFFにすると、はみ出した印刷データを次の行に引き続いて印刷します。それ以降の印刷データは1行ずつずれることになります。(アプリケーションによっては、はみ出したデータを消去するものもあります)。
- 「クリップ」をONにすると、はみ出した印刷データを消去して印刷を続けます。

クリップOFF(チェックしていない)の場合

クリップON(チェックしている)の場合

3章
ネットワークでの設定

この章では、ネットワークに接続してお使いになる場合のネットワーク設定およびネットワークユーティリティーの詳細について説明しています。また、無線LANボード使用時の注意事項についても説明しています。無線LANボードをお使いの方は、設定を行う前にお読みください。

- LANボードをお使いの場合は、以下の順序でお読みください。

  1 LANボードの設定
  2 LANボードおよび無線LANボードの共通設定
  3 接続先の設定とプリンタードライバーのインストール

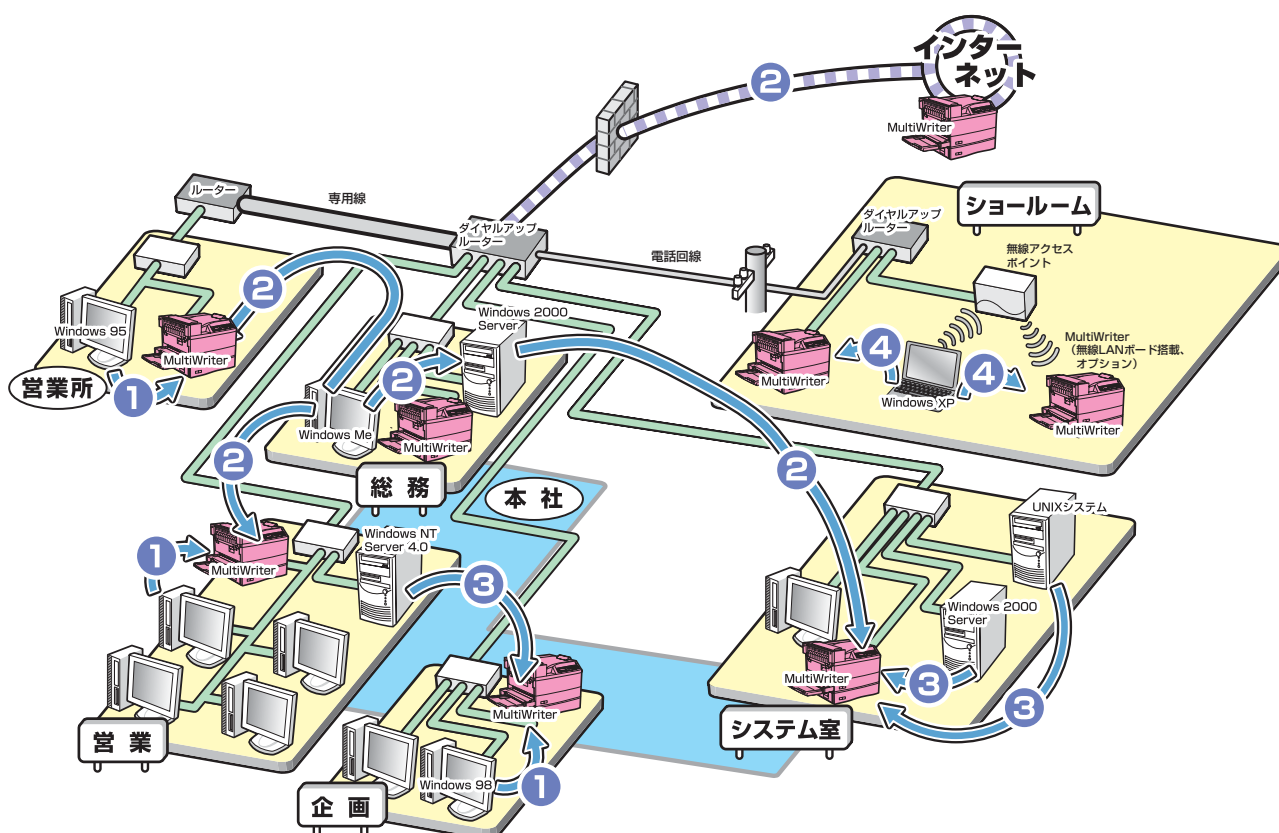
- 無線LANボードをお使いの場合は、以下の順序でお読みください。

  1 無線LANボードに関する安全上のご注意
  2 無線LANボードの設定
  3 LANボードおよび無線LANボードの共通設定
  4 接続先の設定とプリンタードライバーのインストール

- LANアダプターをお使いの場合は、以下の順序でお読みください。

  1 LANアダプターの設定
  LANアダプターのIPアドレスやサブネットマスクなどの設定は、LANボードの設定と同様に行えます。詳しくは、各LANアダプターに添付の取扱説明書を参照してください。
  2 接続先の設定とプリンタードライバーのインストール

MultiWriterを使ったネットワーク印刷

以下にMultiWriterをネットワークプリンターとして使用する場合の例を示します。

❶ PrintAgent
PrintAgentは部門内、ワークグループでの使用に適した印刷管理ソフトウエアです。
丁合い、リプリント、オフセット排紙などの機能によりMOPYINGを快適に利用できます。

❷ IPP（Internet Printing Protocol）
Windows XP/2000、Windows Meで標準サポートされたインターネット印刷プロトコルです。
印刷先をURLで指定することでインターネットに接続されている遠隔地のプリンターまたは
Windows XP/2000のIPPサーバーを経由して印刷することができます。Windows 98/95、
Windows NT 4.0用にはNEC Internet Printing Systemを使うことで利用できます。

❸ LPR
UNIXシステムネットワークで標準の1つとして利用されている印刷プロトコルです。
Windows XP/2000、Windows NT 4.0に標準で搭載されています。

❹ NEC TCP/IP Printing System（NEC Network Port）
NEC製のプリンターやネットワークオプションが使用できるプリンターで共通して使用できる
印刷方式です。
PrintAgentソフトウエアと共に使用することでプリンターとの双方向通信を実現します。

無線LANボードに関する安全上のご注意

ここでは、無線LANボードを安全にお使いいただくための注意事項について説明します。注意事項の内容をよく読んでご理解いただき、無線LANボードをより安全にご活用ください。

警告

- 心臓ペースメーカーに近づけない

  埋め込み型心臓ペースメーカーを装着されている方は、無線LANボードをペースメーカー装着部から22cm以上離して使用してください。心臓ペースメーカーの近くで使用するとペースメーカーが正しく動作しないおそれがあります。

- 使用禁止区域では使用しない

  心臓ペースメーカーや補聴器などの医療機器を使用している方が近接する可能性がある場所では使用しないでください。特に医療機関側が無線LANボードの使用を禁止した区域では、無線LANボードを使用しないでください。

  また、医療機関側が無線LANボードの使用を認めた区域でも、近くで医療用電気機器が使用されている場合には、プリンターの電源を切ってください。

  無線LANボードの電波出力は、例えば携帯電話などに比べてはるかに低く抑えられており、医療電気機器に与える影響は極めて少ないものですが、医療機器が正しく動作しないおそれがあります。使用に際しては各医療機関の指示に従ってください。詳しい内容については、各医療機関にお問い合わせください。

- 飛行機内では使用しない

  飛行機内では、無線LANボードを装着したプリンターの電源を切ってください。現在、各航空会社では航空機の飛行状態などに応じて、機内での無線機器・電子機器などの使用を禁止しており、無線LANボードもその該当機器となります。電子機器に影響を与え、事故の原因となるおそれがありますので、詳しい内容については、各航空会社にお問い合わせください。

- ぬれた手で触らない

  無線LANボードがプリンターに取り付けられているときに、ぬれた手で無線LANボードやプリンターに触らないでください。ぬれた手で触ると感電するおそれがあります。

LANボードの設定

プリンターをネットワーク環境で利用する前に、LANボードにIPアドレスやサブネットマスクなどを設定する必要があります。ここでは、標準実装LANボードを使用する際に必要な設定方法について説明しています。
以下のいずれかの方法で設定してください。また、DHCPを使用して設定する場合は、「LANボードおよび無線LANボードの共通設定」を参照してください。

- プリンターの操作パネル .... ユーザーズマニュアルを参照してください。
- EASY設定ユーティリティ ...... 添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されています。簡単にIPアドレスなどの設定ができます。
- PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ .... 添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されています。プリンターソフトウエアを管理者向けとしてインストールすると使用できます。
  ユーティリティの詳細については、「ユーティリティーによるLANボードの設定」の「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」(177ページ)を参照してください。
- UNIXコマンド .... UNIXコマンド「ping」と「arp」を使用して設定します。

ユーティリティーでIPアドレスを設定する前にコンフィグレーションページを印刷して、LANボードのMACアドレスを確認してください。コンフィグレーションページの印刷は操作パネルから行います。コンフィグレーションページ印刷については、「LANボードおよび無線LANボードの共通設定」(98ページ)の「コンフィグレーションページの印刷」を参照してください。

また、ネットワークプリンターに印刷するためには、IPアドレスを設定した後にコンピューターのOSについて設定が必要です。各OSの設定方法については、「接続先の設定とプリンタードライバーのインストール」(110ページ)を参照してください。

EASY設定ユーティリティ

添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているユーティリティー「EASY設定ユーティリティ」を使用してIPアドレスやサブネットマスクなどを設定します。このユーティリティーはWindows XP/2000、Windows NT 4.0、Windows Me/98/95で使用できます。詳細については、添付のプリンターソフトウエアCD-ROMの[EASY]フォルダー内に収録されている「README.TXT」をご覧ください。

重要

- Windows XPでご使用になる場合は、アカウントの種類を[コンピュータの管理者]のユーザーでログオンしてください。
- Windows 2000またはWindows NT 4.0でご使用になる場合は、Administratorsの権限を持ったユーザーでOSにログオンしてください。Administratorsの権限を持たないユーザーでログオンした場合には設定できません。
- プリンターにIPアドレスを設定する場合は、設定するために使うコンピューターとプリンターがIPルーターなどを介さない(同一ネットワーク内)で接続された環境で行ってください。

Windows XP上での手順を例にとって説明します。

❶ **Windows XPを起動する。**

❷ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

[プリンタソフトウエアCD-ROMメニュー]ダイアログボックスが表示されます。

お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

❸ **[ユーティリティ]をクリックする。**

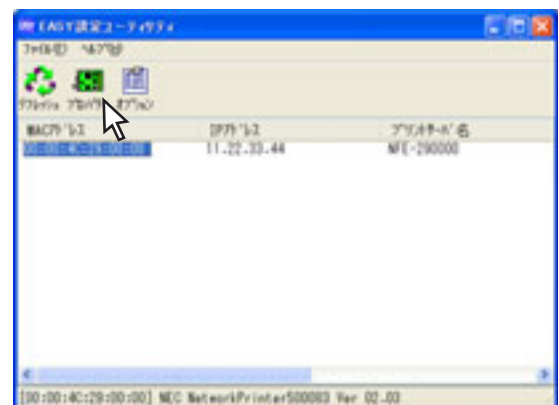
❹ **[EASY設定ユーティリティ]を選択し、[フォルダを開く]をクリックする。**

プリンターソフトウエアCD-ROM内の[EASY]フォルダーが開きます。

❺ **[NICSET]アイコンをダブルクリックする。**

[EASY設定ユーティリティ]ウィンドウが表示されます。

❻ **一覧からプリンターのMACアドレスを選択し、[プロパティ]をクリックする。**

[TCP/IP]タブが表示されます。

一覧にプリンターが表示されない場合は、[リフレッシュ]をクリックし、再検索を行ってください。

❼ **プリントサーバー名を確認する。**

ネットワーク上から見たプリンターの名前が[プリントサーバ名]ボックスに表示されます。プリントサーバー名の変更もできます。

❽ **[設定モード]で[IPアドレスを指定]を選択する。**

❾ **[IPアドレス]と[サブネットマスク]を入力する。**

❿ **ゲートウェイアドレスを設定する。**

ゲートウェイ(ルーター)を使用しないネットワーク環境では、設定の必要はありません。

⓫ **[OK]をクリックして、EASY設定ユーティリティを終了する。**

以上で設定は完了です。

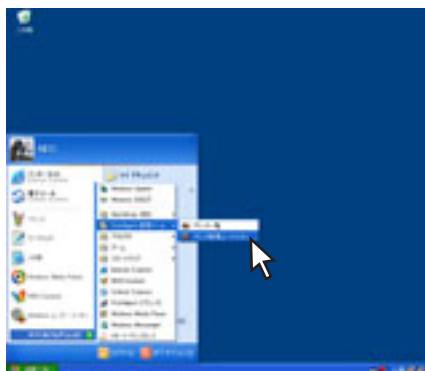
PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ

添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているユーティリティー「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」を使用してIPアドレスやサブネットマスクなどを設定します。IPアドレスの設定以外にもネットワークに接続されたプリンターの状態を監視したり、ネットワーク接続や監視に必要な各種パラメーターを設定したりすることができます。インストールについては2章の「プリンター管理者用のインストール」の「インストール手順」(72ページ)を参照してください。また、操作方法などの詳細については、「ユーティリティーによるLANボードの設定」の「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」(177ページ)をご覧ください。

重要

- Windows XPでご使用になる場合は、アカウントの種類を[コンピュータの管理者]のユーザーでログオンしてください。
- Windows 2000、またはWindows NT 4.0環境でご使用になる場合は、Administratorsの権限を持ったユーザーでOSにログオンしてください。Administratorsの権限を持たないユーザーでログオンした場合には設定できません。
- プリンターにIPアドレスを設定する場合は、設定するために使うコンピューターとプリンターがIPルーターなどを介さない(同一ネットワーク内)で接続された環境で行ってください。

❶ **プリンタ管理ユーティリティを起動する。**

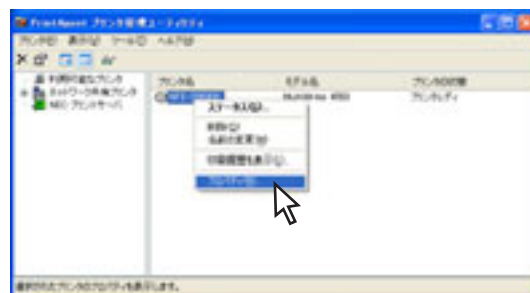
[スタート]をクリックし、[すべてのプログラム]－[PrintAgent管理ツール]をポイントします。次に[プリンタ管理ユーティリティ]をクリックします。
Windows XP以外の場合は、[プログラム]－[PrintAgent管理ツール]をポイントします。

❷ **ウィンドウの左側ボックスから[NECプリントサーバ]を選択する。**

プリンターがまだ登録されていないときは、[プリンタ]メニューから[プリンタの登録]をクリックしてプリンターを登録してください。

❸ **ウィンドウの右側ボックスから対象のプリンターを右クリックし、[プロパティ]をクリックする。**

❹ **[TCP/IP]タブをクリックする。**

❺ **[マニュアルで設定する]を選択する。**

> **重要**
> [マニュアルで設定する]を選択するとUNIXコマンドによる設定ができなくなります。UNIXコマンドでIPアドレスを再設定する場合は、[UNIXコマンドで設定する]を選んでください。

❻ **IPアドレスとサブネットマスクを入力する。**

❼ **[OK]をクリックして終了する。**

以上で設定は完了です。

UNIXコマンド

UNIXコマンドを使ってIPアドレスを設定する方法を説明します。

> **重要**
> - ここで示す方法でIPアドレスを設定すると、LANボードの設定を初期化するまで同じ方法では設定できません(「ネットワーク設定の初期化」(106ページ)参照)。
>
>   LANボードの設定を初期化すると他のOSの設定もクリアされ、工場出荷時の設定に戻ります。初期化を行う前に、コンフィグレーションページを印刷して設定を控えておいてください(「コンフィグレーションページの印刷」(107ページ)参照)。
> - プリンターにIPアドレスを設定する場合は、設定するために使うコンピューターとプリンターがIPルーターなどを介さない(同一ネットワーク内)で接続された環境で行ってください。

ここでは、設定例としてコンピューターのIPアドレスを「123.123.123.1」、プリンターに設定するIPアドレスを「123.123.123.123」とします。

❶ **プリンターの電源をOFFにし、再度電源をONにする。**

❷ **コマンドプロンプトを開き、routeコマンドを実行する。**

```
>route add 11.22.33.44 <コンピューターのIPアドレス>
```

(実行例)

```
>B:¥users¥default¥route add 11.22.33.44 123.123.123.1
```

❸ **pingコマンドを実行する。**

```
>ping 11.22.33.44
```

次のような画面が表示されます。
(画面表示例)

```
Pinging 11.22.33.44 with 32bytes of data:
Reply from 11.22.33.44: bytes=32 time =10ms TTL=32
Reply from 11.22.33.44: bytes=32 time<10ms TTL=32
Reply from 11.22.33.44: bytes=32 time<10ms TTL=32
Reply from 11.22.33.44: bytes=32 time<10ms TTL=32
```

❹ arpコマンドを実行する。

```
>arp -a 11.22.33.44
```

次のような画面が表示されます。
（画面表示例）

```
Interface: 123.123.123.1
Internet Address      Physical Address      Type
11.22.33.44           00.-00-4C-29-00-00    dynamic
```

Physical Addressには、ネットワークに接続されているプリンターのMACアドレスが表示されます。複数のプリンターが接続されている場合には、その中の1つが表示されます。IPアドレスを設定するプリンターの電源のみをONにして設定することをお勧めします。

❺ IPアドレスをコンピューターへ登録する。

以下のarpコマンドを実行します。

```
>arp -s ＜プリンターに設定するIPアドレス＞＜設定するプリンターのMACアドレス＞
```

（実行例）

```
>B:¥users¥default¥arp -s 123.123.123.123 00-00-4C-29-00-00
```

❻ pingコマンドを実行する。

```
>ping　＜プリンターに設定するIPアドレス＞
```

（実行例）

```
>B:¥users¥default¥ping 123.123.123.123
```

以上でIPアドレスの設定は終了です。

コンフィグレーションページを印刷して、IPアドレスが正しく設定されたことを確認してください（107ページの「コンフィグレーションページの印刷」参照）。

続いて他のプリンターのIPアドレスを変更する場合は、以下のコマンドを実行後、手順❸から設定を行ってください。

```
>arp -d 11.22.33.44
```

無線LANボードの設定

ここでは、無線LANプリンタボード(型番 PR-WL-11)を使用する際に必要な設定方法について説明します。

以下のいずれかの方法で設定してください。また、DHCPを使用して設定する場合は、「LANボードおよび無線LANボードの共通設定」(98ページ)を参照してください。

- 無線LANプリンタ導入ウィザード．添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されています。簡単に無線LANボードの設定ができます。設定に関する解説や操作手順がウィザードの画面上に表示されます。
- EASY設定ユーティリティ……添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されています。簡単にIPアドレスなどの設定ができます。
- PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ……..添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されています。プリンターソフトウエアを管理者向けとしてインストールすると使用できます。
  ユーティリティの詳細については、「ユーティリティーによるLANボードの設定」の「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」(177ページ)を参照してください。

ネットワークの設定を行う前に、コンフィグレーションページを印刷して無線LANボードのMACアドレスを確認してください。無線LANプリンタボード(型番：PR-WL-11)のマニュアルを参照してください。

また、ネットワークプリンターに印刷するためには、IPアドレスおよび無線設定を行った後にコンピューターのOSについて設定が必要です。各OSの設定方法については、「接続先の設定とプリンタードライバーのインストール」(110ページ)を参照してください。

無線LANプリンタ導入ウィザード

添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているユーティリティー「無線LANプリンタ導入ウィザード」を使用すると無線LANボードを簡単に設定することができます。ここではWindows XP上での手順を例にとって、無線LANプリンタ導入ウィザードの起動方法までを説明します。

重要

- Windows XPでご使用になる場合は、アカウントの種類を[コンピュータの管理者]のユーザーでログオンしてください。
- Windows 2000または、Windows NT 4.0でご使用になる場合は、Administratorsの権限を持ったユーザーでOSにログオンしてください。Administratorsの権限を持たないユーザーでログオンした場合には設定できません。
- プリンターにIPアドレスを設定する場合は、プリンターにIPアドレスを設定するために使うコンピューターとプリンターがIPルーターなどを介さない(同一ネットワーク内)で接続された環境で行ってください。
- 800×600ピクセル以上の解像度、High Color(16ビット色)以上を推奨します。

❶ **Windows XPを起動する。**

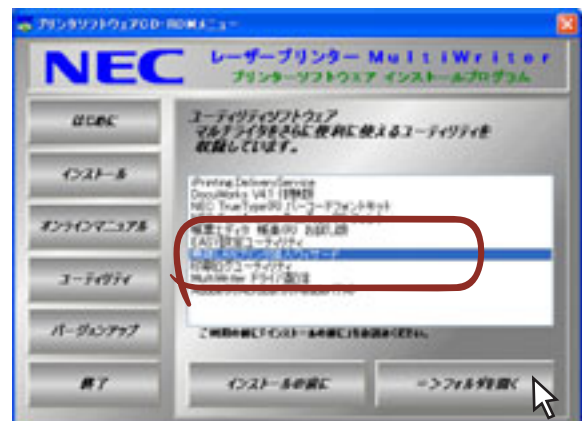
❷ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

[プリンタソフトウエアCD-ROMメニュー]ダイアログボックスが表示されます。

お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

❸ **[ユーティリティ]をクリックする。**

❹ **[無線LANプリンタ導入ウィザード]を選択し、[フォルダを開く]をクリックする。**

プリンターソフトウエアCD-ROM内の[Wireless]フォルダーが開きます。

❺ **[SetupWiz.EXE]アイコンをダブルクリックする。**

[無線LANプリンタ導入ウィザード]が起動します。

❻ **[次へ]をクリックする。**

[設定方法の選択]が表示されます。

設定方法の選択

- 初期設定 .... プリンターが出荷時の状態の場合または無線LANボード／アダプターの設定を初期化してから再度設定したい場合には、こちらを選択してください。
- 設定変更 .... パソコン・プリンター間の通信が可能な状態から無線LANボード／アダプターの設定を変更したい場合には、こちらを選択してください。
- 通信確認 .... 設定後の通信確認のために、現在のパソコン設定で通信可能なプリンターを表示確認する場合には、こちらを選択してください。

以降の手順については、無線LANプリンタ導入ウィザードに従って設定を行ってください。

EASY設定ユーティリティ

添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているユーティリティー「EASY設定ユーティリティ」を使用してIPアドレスやサブネットマスクなどを設定します。このユーティリティーはWindows XP/2000、Windows NT 4.0、Windows Me/98/95で使用できます。詳細については、添付のプリンターソフトウエアCD-ROMの[EASY]フォルダー内に収録されている「README.TXT」をご覧ください。

重要

- Windows XPでご使用になる場合は、アカウントの種類を[コンピュータの管理者]のユーザーでログオンしてください。[コンピュータの管理者]のユーザーでログオンしていない場合は設定できません。
- Windows 2000またはWindows NT 4.0でご使用になる場合は、Administratorsの権限を持ったユーザーでOSにログオンしてください。Administratorsの権限を持たないユーザーでログオンした場合には設定できません。
- プリンターにIPアドレスを設定する場合は、設定するために使うコンピューターとプリンターがIPルーターなどを介さない(同一ネットワーク内)で接続された環境で行ってください。

Windows XP上での手順を例にとって説明します。

❶ **Windows XPを起動する。**

❷ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

[プリンタソフトウエアCD-ROMメニュー]ダイアログボックスが表示されます。

お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

❸ ［ユーティリティ］をクリックする。

❹ ［EASY設定ユーティリティ］を選択し、［フォルダを開く］をクリックする。

プリンターソフトウエアCD-ROM内の［EASY］フォルダーが開きます。

❺ ［NICSET.EXE］アイコンをダブルクリックする。

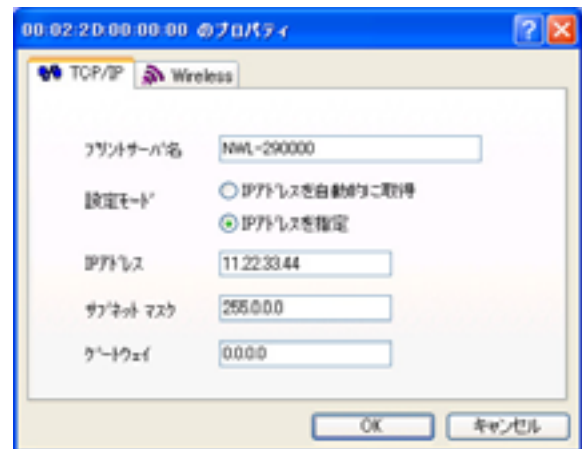
［EASY設定ユーティリティ］ウィンドウが表示されます。

❻ 一覧からプリンターのMACアドレスを選択し、［プロパティ］をクリックする。

［TCP/IP］タブが表示されます。

一覧にプリンターが表示されない場合は、［リフレッシュ］ボタンをクリックし、再検索を行ってください。

❼ プリントサーバー名を確認する。

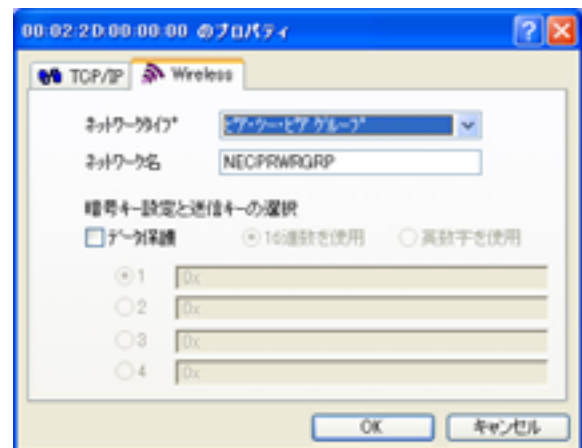
ネットワーク上から見たプリンターの名前が［プリントサーバ名］ボックスに表示されます。プリントサーバー名の変更もできます。

❽ ［設定モード］で［IPアドレスを指定］を選択する。

❾ IPアドレスやサブネットマスクを入力する。

❿ ゲートウェイアドレスを設定する。

ゲートウェイ（ルーター）を使用しないネットワーク環境では、設定の必要はありません。

⓫ ［Wireless］タブをクリックする。

［Wireless］タブが表示されます。

⓬ **［ネットワークタイプ］で接続する無線LAN環境を選択する。**

- ピア・ツー・ピアグループ
  ネットワーク名(ESS-ID)を入力設定する無線LANカード(NEC無線LANカードなど)を使用したコンピューターとピア・ツー・ピア グループ接続します。

チェック

アドホックタイプでご使用の場合は、無線LANプリンタボード(型番：PR-WL-11)のセットアップガイドに添付のPR-WL-11無線LANプリンタボードアドホック(Ad-hoc)モード接続手順書を参照してください。

アドホックは、無線通信に使用するチャネルバンドを選択設定する(ネットワーク名(ESS-ID)を設定しない)無線LANカードを使用したコンピューターと接続します。アドホック設定時は、使用するチャネルバンドが「チャネル1」固定になります。

⓭ **ネットワーク名(ESS-ID)を入力する。**

接続したいアクセスポイントや無線LANカードを装着したコンピューターに付けられているネットワーク名と同じ名前を設定します。

⓮ **データ保護を設定する。**

チェックを付けることで、WEP(Wired Equivalent Privacy)データ暗号化方式により、無線LANで転送されるデータを暗号化します。暗号キーは、次のように使用します。

- 無線LANプリンターが受信する無線メッセージを復号します。
- 無線LANプリンターが送信する無線メッセージを暗号化します。

暗号キーは、アクセスポイントやコンピューターの無線端末が、無線LANプリンターにデータを送信する時に使用する暗号キーと同じものを設定します。

使用できる文字は、半角英数字と文字記号(「*」アスタリスクを除く)。
暗号キーの5文字(16進数で10桁)または13文字(16進数で26桁)のどちらかの文字数のみで設定することができます。

重要

暗号キーを変更する場合は無線LANボードを先に変更し、その後にアクセスポイントやコンピューターの設定を変更してください。

「ネットワークタイプ」や「ネットワーク名」、「暗号キー」を間違って設定した場合は、ネットワークの初期化を実行し、再度設定を行ってください。

⓯ **［OK］をクリックして、EASY設定ユーティリティを終了する。**

以上で設定は完了です。

PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ

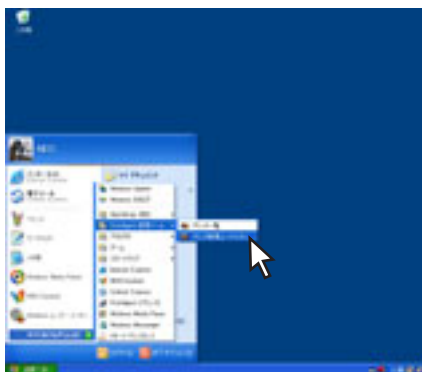
添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているユーティリティー「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」を使用してIPアドレスやサブネットマスクなどを設定します。IPアドレスの設定以外にもネットワークに接続されたプリンターの状態を監視したり、ネットワーク接続や監視に必要な各種パラメーターを設定したりすることができます。インストールについては2章の「プリンター管理者用のインストール」(72ページ)の「インストール手順」を参照してください。
また、操作方法などの詳細については、「ユーティリティーによるLANボードの設定」の「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」(177ページ)をご覧ください。

重要

- Windows XPでご使用になる場合は、アカウントの種類を[コンピュータの管理者]のユーザーでログオンしてください。[コンピュータの管理者]のユーザーでログオンしていない場合は設定できません。
- Windows 2000、またはWindows NT 4.0環境でご使用になる場合は、Administratorsの権限を持ったユーザーでOSにログオンしてください。Administratorsの権限を持たないユーザーでログオンした場合は設定できません。
- プリンターにIPアドレスを設定する場合は、設定するために使うコンピューターとプリンターがIPルーターなどを介さない(同一ネットワーク内)で接続された環境で行ってください。

Windows XP上での手順を例にとって説明します。

❶ プリンタ管理ユーティリティを起動する。

[スタート]をクリックし、[すべてのプログラム]ー[PrintAgent管理ツール]をポイントします。次に[プリンタ管理ユーティリティ]をクリックします。

❷ ウィンドウの左側ボックスから[NECプリントサーバ]を選択する。

プリンターがまだ登録されていないときは、[プリンタ]メニューから[プリンタの登録]をクリックしてプリンターを登録してください。

❸ ウィンドウの右側ボックスから対象のプリンターを右クリックし、[プロパティ]をクリックする。

プロパティダイアログボックスが表示されます。

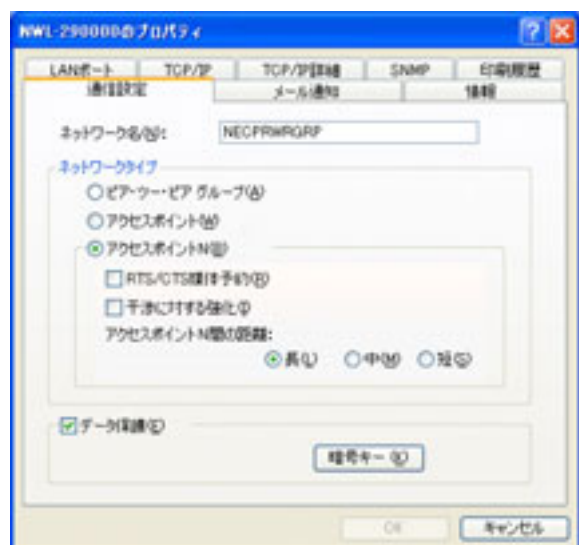
❹ [TCP/IP]タブをクリックする。

❺ [マニュアルで設定する]を選択する。

重要

無線LANボードは、UNIXコマンドによる設定には対応していません。[UNIXコマンドで設定する]は選択しないでください。

❻ IPアドレスとサブネットマスクを入力する。

❼ [通信設定]タブをクリックする。

❽ [ネットワーク名]を入力する。

接続したいアクセスポイントや無線LANカードを装着したコンピューターに付けられているネットワーク名と同じ名前を設定します。

❾ **[ネットワークタイプ]で接続する無線LAN環境を選択する。**

各項目についての説明は、196ページの「[通信設定]シート」をご覧ください。

❿ **データ保護を設定する。**

チェックを付けることで、WEP(Wired Equivalent Privacy)データ暗号化方式により、無線LANで転送されるデータを暗号化します。

各項目についての説明は、196ページの「[通信設定]シート」をご覧ください。

重要

暗号キーを変更する場合は無線LANボードを先に変更し、その後にアクセスポイントやコンピューターの設定を変更してください。

「ネットワークタイプ」や「ネットワーク名」、「暗号キー」を間違って設定した場合は、ネットワークの初期化を実行し、再度設定を行ってください。

⓫ **[OK]をクリックして終了する。**

以上で設定は完了です。

LANボードおよび無線LANボードの共通設定

ここでは、LANボードや無線LANボードで共通して行える設定について説明します。共通の設定項目は以下のとおりです。

- DHCP .... DHCPを使ってIPアドレスを設定する方法について説明しています。この方法は、DHCPサーバーからIPアドレスを自動的に取得することができます。
- ネットワーク設定の初期化 ..... LANボードおよび無線LANボードに設定されたネットワーク設定情報を初期化する方法について説明しています。
- コンフィグレーションページの印刷 .... LANボードおよび無線LANボードに設定されたネットワーク設定情報が一覧できるLANステータスを印刷する方法について説明しています。また、各項目の意味についても説明しています。

DHCP

DHCPを使用してIPアドレスを設定する場合は、ネットワーク環境にDHCPサーバーが必要です。DHCPを使用すると、DHCPサーバー（Windows 2000 Server、Windows NT Server、またはUNIX Server）からIPアドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイアドレスを自動的に取得することができます。これによりDHCPサーバーにIPアドレスの登録を行うだけで個々のLANボードに対するIPアドレスの設定が不要となります

重要

- 工場出荷時の設定では、［DHCPは使用しない］に設定されています。次に説明する方法で設定を変更してから使用してください。
- LANボードおよび無線LANボードに割り当てるIPアドレスは固定です。毎回、IPアドレスが変わると印刷データの送信先が不明となり、プリンターに印刷データが送信されなくなります。これを避けるために必ずDHCPサーバーでIPアドレスの予約をしてください（「DHCPサーバーの設定」（98ページ）参照）。すでにIPアドレスが設定されている環境では、WWWブラウザーまたはTelnetを使用してDHCPをオンにすることができます。

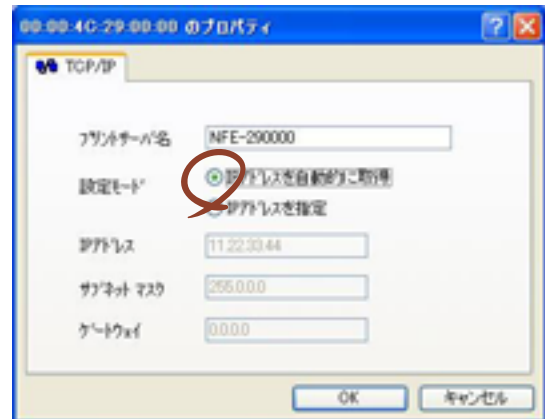
DHCPの設定

DHCP設定には、主に以下の3つの方法があります。それぞれについては次ページで説明します。

- EASY設定ユーティリティ
- PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ
- プリンターの操作パネル

EASY設定ユーティリティ

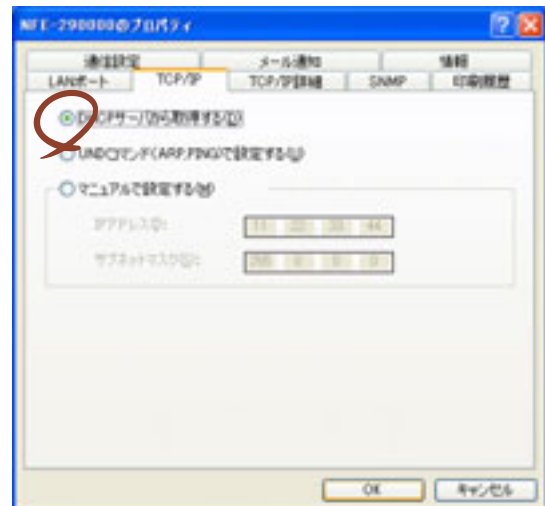
添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているユーティリティー「EASY設定ユーティリティ」を使用して設定します。

プリンターのMACアドレスを選択し、[プロパティ]をクリックすると表示される[TCP/IP]シート上で[IPアドレスを自動的に取得]を選択してください。

＜LANボードの場合の表示例＞

PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ

添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているユーティリティー「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」を使用して設定します。

プリンターアイコンを選択して[プロパティ]ダイアログボックスを開き、[TCP/IP]シート上で、[DHCPサーバから取得する]を選択してください。詳しくは、「ユーティリティーによるLANボードの設定」の「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」(177ページ)をご覧ください。

＜LANボードの場合の表示例＞

プリンターの操作パネル

プリンターの操作パネルからDHCPの設定を切り替えることができます。MultiWriter 4550に標準実装されているLANボードのDHCP設定を変更する方法について説明します。

❶ プリンターの電源スイッチをONにする。

電源ON後、プリンターが印刷可能な状態(印刷可ランプ点灯)になったことを確認します。

❷ [印刷可]スイッチを押す。

印刷可ランプが消灯します。

印刷可

❸ データランプが点灯していないことを確認する。

点灯している場合は[シフト]スイッチを押しながら[排出]スイッチを押して、プリンター内部に残っている印刷データを印刷してください。

❹ [メニュー]スイッチを押す。

プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに"テストメニュー　　→"を表示します。

テストメニュー　→

❺ ディスプレイに"I/Fセッテイメニュー"と表示されるまで[V]スイッチを数回押す。

I/Fセッテイメニュー　→

❻ [>]スイッチを1回押す。

I/Fセッテイメニュー
←インタフェース1　セッテイ　→

❼ [V]スイッチを押す。

ディスプレイ下段に"←インタフェース2　セッテイ　→"と表示されます。

I/Fセッテイメニュー
←インタフェース2　セッテイ　→

❽ [>]スイッチを1回、[V]スイッチを数回押す。

ディスプレイ上段に"DHCP"と表示されます。

DHCP
←　OFF＊

❾ [設定変更]スイッチを押す。

"ON"に設定されます。

DHCP
←　ON＊

❿ [メニュー終了]スイッチを押して、メニューモードを終了させる。

これで設定完了です。プリンターはセレクト状態になります。印刷可ランプが点灯し、ディスプレイは通常表示になります。

DHCPサーバーの設定

DHCP機能を使用するためには、DHCPサーバーとしてWindows 2000 Server/Windows NT Server 4.0、またはUNIX Serverが必要です。ここではWindows 2000 ServerとWindows NT Server 4.0によるDHCPサーバーの設定について説明します。

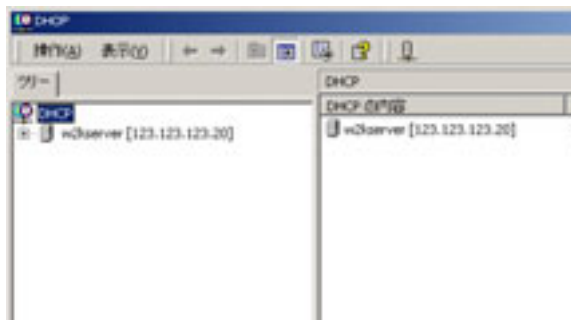
チェック

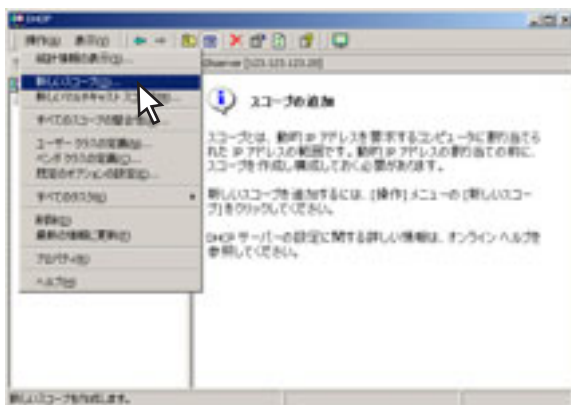
- Windows 2000 Professional/Windows NT WorkstationはDHCPサーバー機能をサポートしていません。
- UNIXサーバーについては、OSのマニュアルを参照してください。

Windows 2000の場合

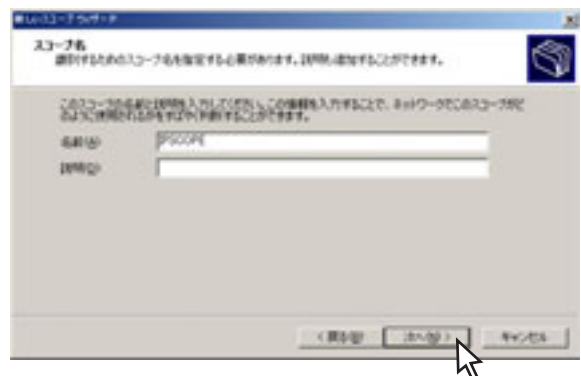
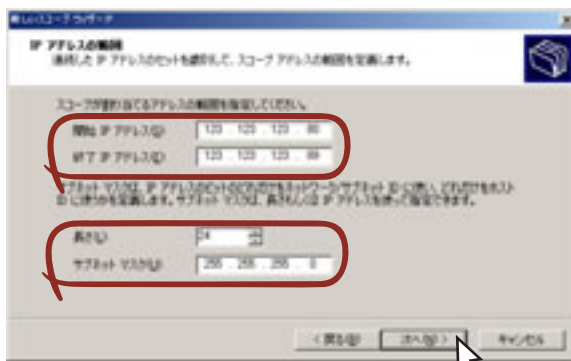
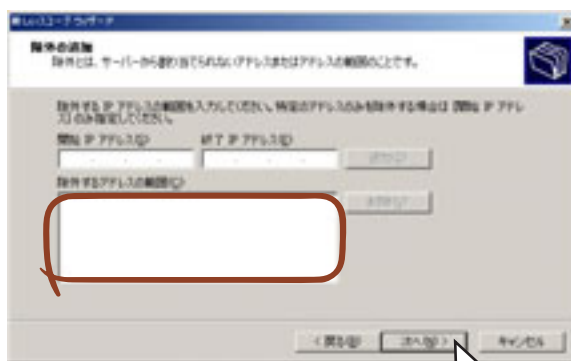
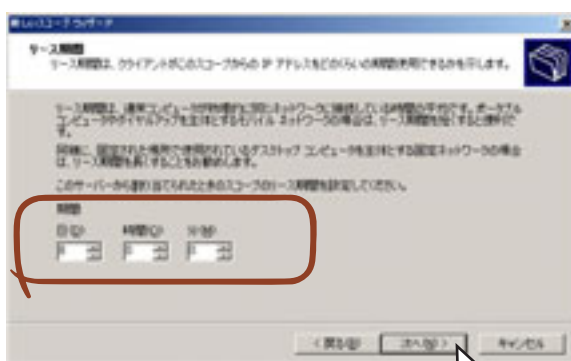
DHCPサーバーの設定を行うためには、Windows 2000 Serverに「DHCPサーバー」がインストールされている必要があります。「DHCPサーバー」のインストールについては、Windows 2000 Serverのヘルプを参照してください。

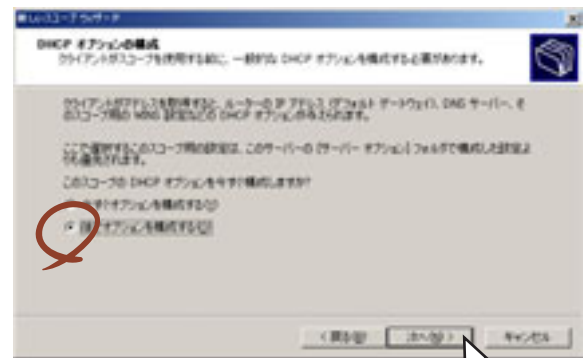
❶ **DHCPを起動する。**

［スタート］メニューから［プログラム］−［管理ツール］の順でポイントし、［DHCP］をクリックします。

❷ **DHCPサーバー（ここでは「w2kserver」）を選択し、［操作］メニューから［新しいスコープ］をクリックする。**

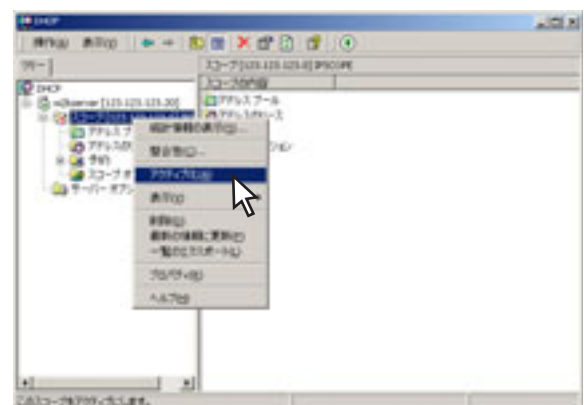
新しいスコープウィザードが起動します。

❸ **［次へ］をクリックする。**

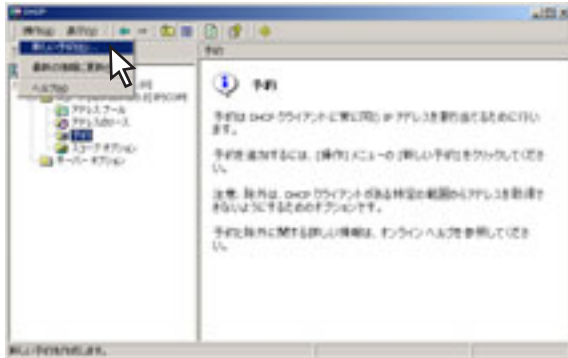
❹ **任意のスコープ名を［名前］ボックスに入力し、［次へ］をクリックする。**

ここでは、例として「IPSCOPE」と入力します。

❺ DHCPサーバーが割り当てるIPアドレスの範囲とサブネットマスクを入力し、[次へ]をクリックする。

❻ 手順5で入力したIPアドレスの範囲で、割り当てに使用したくないIPアドレスがあれば[除外するアドレスの範囲]ボックスに入力し、[次へ]をクリックする。

❼ LANボードに割り当てられたIPアドレスが使用できる期間を設定し、[次へ]をクリックする。

❽ [後でオプションを構成する]を選択し、[次へ]をクリックする。

ここで、オプションの設定を行う場合は、[今すぐオプションを構成する]を選択し、ウィザードの指示に従ってください。

❾ [完了]をクリックして、ウィザードを終了する。

❿ [スコープ](ここでは「スコープ[123.123.123.0] IPSCOPE」)上で右クリックし、[アクティブ化]をクリックする。

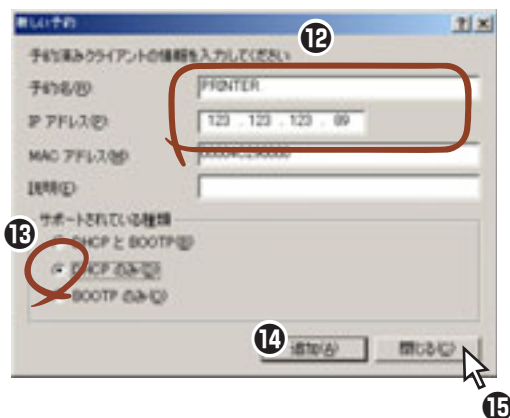
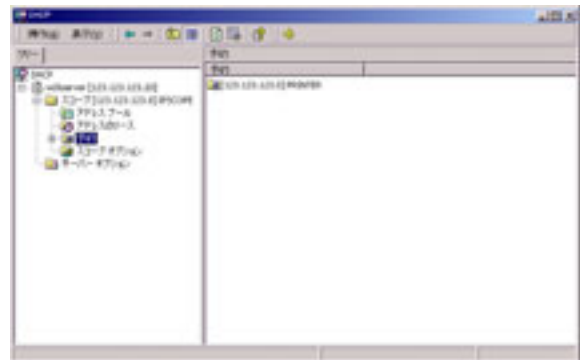
手順❾までの手順で作成したスコープ「IPSCOPE」をアクティブにするために必要な手順です。

⓫ **手順❾までの手順で作成した[スコープ](ここでは「スコープ[123.123.123.0]IPSCOPE」)上の[予約]を選択し、[操作]メニューから[新しい予約]をクリックする。**

LANボードに常時、同じIPアドレスが割り当てられるようにするために必要な手順です。

⓬ **LANボードに割り当てたいIPアドレスを入力し、[予約名]ボックスに任意の名前を入力する。**

ここでは、例として「PRINTER」と入力します。

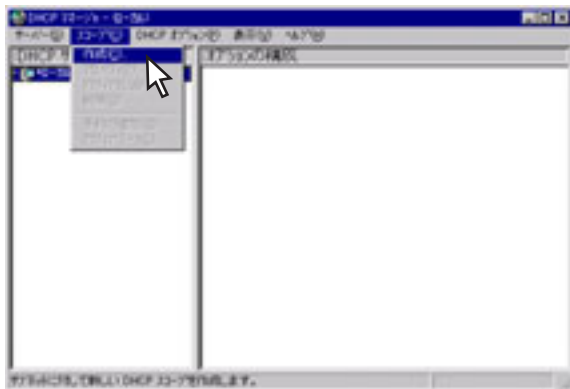
⓭ **[サポートされている種類]で[DHCPのみ]を選択する。**

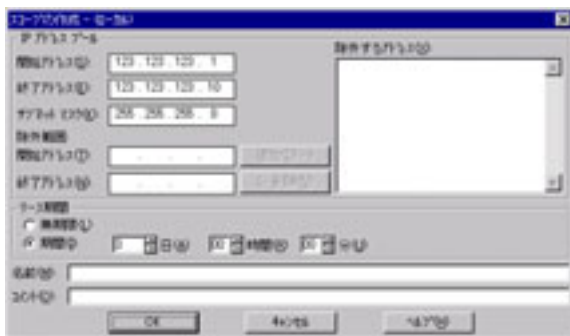
⓮ **[追加]をクリックする。**

⓯ **[閉じる]をクリックする。**

以上で設定は完了です。設定後は、以下のような画面が表示されます。

Windows NT Server 4.0の場合

DHCPサーバーの設定を行うためには、Windows NT Server 4.0に「DHCPサーバー」がインストールされている必要があります。DHCPサーバーのインストールについては、Windows NT Server 4.0のヘルプを参照してください。

❶ ［ネットワーク管理］グループのDHCPマネージャを起動する。

❷ メニューバーの［スコープ］メニューから［作成］をクリックし、スコープを作成する。

❸ ［スコープの作成］ダイアログボックスで以下の設定を入力する。

- IPアドレスプールの開始アドレス（必須）
- IPアドレスプールの終了アドレス（必須）
- サブネットマスク（必須）
- 除外範囲の開始アドレス（必要時）
- 除外範囲の終了アドレス（必要時）
- ソース期間の設定（必要時）

❹ ［OK］をクリックし、［スコープの作成］ダイアログボックスを閉じる。

❺ ［DHCPマネージャ］ダイアログボックスのメニューバーの［スコープ］メニューから［予約の追加］を選択する。

［予約クライアントの追加］ダイアログボックスが開きます。

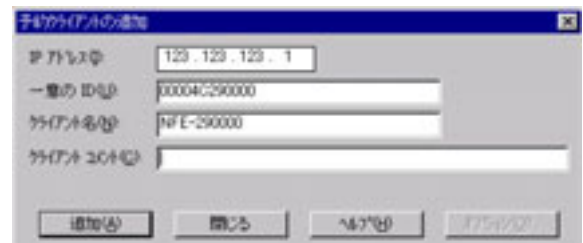
チェック

DHCPによるIPアドレス自動取得で、LANボードには毎回同じIPアドレスが割り当てられなければなりません。この［予約の追加］では、LANボードの固有情報であるMACアドレスをIPアドレスと関連付けることで、毎回同じIPアドレスをLANボードに割り当てることができるようになります。

❻ 以下の情報を入力する。

- IPアドレス：LANボードのIPアドレス（必須）
- 一意のID：LANボードのMACアドレス（必須）
- クライアント名：任意の名前（必須）
- クライアントコメント：任意のコメント（必要時）

チェック

IPアドレスはスコープ作成時に設定したIPアドレスプールの範囲内で設定してください。

❼ ［追加］をクリックし、［予約クライアントの追加］ダイアログボックスを閉じる。

以上で設定は完了です。

DHCPの動作について

LANボードおよび無線LANボードのDHCP設定を有効にした場合の動作について説明します。
DHCP機能を使用するためには、ネットワーク上にDHCPサーバーが必要です。LANボードおよび無線LANボードに電源が供給されると、DHCPサーバーを自動的に検索します。ネットワーク上に複数のDHCPサーバーが存在する場合は、最初に応答を受け取ったDHCPサーバーと通信し、IPアドレスのリース(貸し出し)を受けます。LANボードおよび無線LANボード用にIPアドレスの予約を行ったDHCPサーバーのみのネットワーク環境で使用してください。

チェック

- IPアドレスの予約を行っていないDHCPサーバーからIPアドレスがリースされるとLANボードおよび無線LANボードは誤って登録されたIPアドレスで動作します。一度受信したIPアドレスを解放するには以下のどちらかを行ってください。
  - DHCP設定を1度無効にする。
  - LANボードおよび無線LANボードの設定を初期化する(「ネットワーク設定の初期化」(106ページ)参照)。
- DHCPはルーターを越えたネットワーク上のDHCPサーバーと通信することができます。ルーターを使用している場合は、ルーターのリレーエージェントの設定を確認してください。

DHCP機能を有効にし、起動時にDHCPサーバーが検索されなかった場合、LANボードは1分周期でDHCPサーバーの検索を継続します。

チェック

一度DHCP機能を有効にしたLANボードおよび無線LANボードの設定を無効にする場合は、以下のどちらかを行ってください。

- LANボードおよび無線LANボードの設定を初期化する(「ネットワーク設定の初期化」(106ページ)参照)。
- 操作パネルでDHCPを無効(100ページ参照)にして、IPアドレスを再設定する。

ネットワーク設定の初期化

MultiWriter 4550に標準およびオプションのLANボードに設定したネットワーク設定情報を初期化する方法について説明します。

チェック

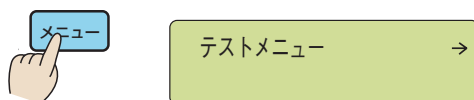
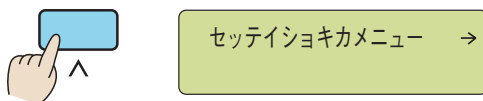
MultiWriter 4550に標準実装のLANボードの初期化は、プリンターの操作パネルから行います。以下に示すLANボード、LANアダプターや無線LANプリンタボードの初期化の手順については、それぞれのマニュアルを参照してください。

- LANアダプタ(型番 PR-NP-02T2/型番 PR-NP-03TR2)
- 無線LANプリンタボード(型番 PR-WL-11)
- マルチプロトコルLANアダプタ(型番 PR-NPX-05)

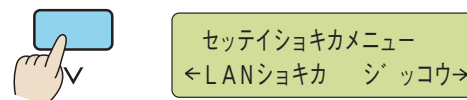
❶ **[印刷可]スイッチを押す。**

印刷可ランプが消灯します。

❷ **[メニュー]スイッチを押す。**

プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに“テストメニュー　　→”を表示します。

❸ **ディスプレイに“セッテイショキカメニュー”と表示されるまで[∧]スイッチを数回押す。**

❹ **[>]スイッチを1回押す。**

❺ **[∨]スイッチを1回押す。**

ディスプレイ下段には“←LANショキカ　ジッコウ→”と表示されます。

❻ **[>]スイッチを1回押す。**

ネットワークの設定が初期値に戻ります。

コンフィグレーションページの印刷

コンフィグレーションページとは、LANボードのIPアドレスやサブネットマスク、MACアドレスなどのネットワークの設定情報が一覧できるLANステータス印刷です。ネットワークケーブルを接続したとき、ネットワークに関する変更を行った前後などにコンフィグレーションページ印刷を行い、設定内容の確認をしてください。以下にコンフィグレーションページの印刷方法について説明します。

チェック

MultiWriter 4550に標準のLANボードのコンフィグレーションページ印刷は、プリンターの操作パネルから行います。以下に示すLANアダプターや無線LANプリンターボードのコンフィグレーションページ印刷の手順については、それぞれのマニュアルを参照してください。

- LANアダプタ(型番 PR-NP-02T2/型番 PR-NP-03TR2)
- 無線LANプリンタボード(型番 PR-WL-11)
- マルチプロトコルLANアダプタ(型番 PR-NPX-05)

❶ プリンターの電源スイッチをONにする。

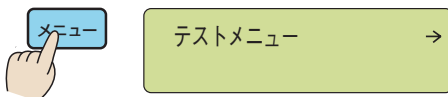
電源ON後、プリンターが印刷可能な状態(印刷可ランプ点灯)になったことを確認します。

❷ [印刷可]スイッチを押す。

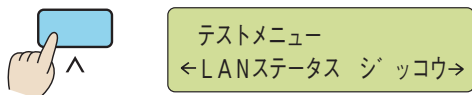
印刷可ランプが消灯します。

❸ [メニュー]スイッチを押す。

ディスプレイには"テストメニュー　→"と表示されます。

テストメニュー　→

❹ [>]スイッチを1回、[∧]スイッチを2回押す。

ディスプレイ下段には"←LANステータス　ジッコウ→"と表示されます。

テストメニュー
←LANステータス　ジ゛ッコウ→

❺ [>]スイッチを押す。

データランプが点灯し、プリンターは[インタフェース2]に標準装備されたLANボードの設定情報を印刷します。

インサツチュウ

❻ コンフィグレーションページを参照してLANボードの設定内容を確認する。

次ページ以降の印刷例を参考にしてください。印刷例は工場出荷時における印刷例です。

MultiWriter 4550のLANボード コンフィグレーションページの印刷例

```
            NEC Network Interface Configuration Page

              <Network Information>

                F/W Version             :    02.01 000.1.0008312253
*1              ID Number               :    NFE-290000
                Printer Name            :    NFE-290000
*1              MAC Address             :    00:00:4C:29:00:00
                H/W Description         :    NEC NetworkPrinter700083
                10Base/100Base          :    "Auto (10Base)"
                Half/Full Duplex        :    "Auto (Half Duplex)"
                Printing Log            :    "Off"

              <Self-Diagnosis>

                Link Test               :    "OK"
                Network Status          :    "OK"

              <TCP/IP>

*2              IP Address              :    11. 22. 33. 44
*2              Subnet Mask             :    255.  0.  0.  0
                Gateway Address         :    0.  0.  0.  0
                Auto IP Address         :    "On"
                Max. Number of Session  :    64
                Session Timeout [sec]   :    120
                Keep Alive              :    "On"
                FTP Timeout [min]       :    10
                DHCP                    :    "Off"
                e-Mail Service          :    "Off"
                Current Active Session  :    0
*3              1st Access Limitation   :     0. 0. 0. 0
                "Accept"                :     0. 0. 0. 0
*3              2nd Access Limitation   :     0. 0. 0. 0
                "Accept"                :     0. 0. 0. 0
*3              3rd Access Limitation   :     0. 0. 0. 0
                "Accept"                :     0. 0. 0. 0
*3              4th Access Limitation   :     0. 0. 0. 0
                "Accept"                :     0. 0. 0. 0
*3              5th Access Limitation   :     0. 0. 0. 0
                "Accept"                :     0. 0. 0. 0
```

＊1 ID NumberおよびMAC AddressはLANボード個々の情報を示します。
＊2 IPアドレス、サブネットマスクの工場出荷時の値です。
＊3 アクセス制限機能有効時に印刷されます。

ネットワークへ接続した後やプリンターの設定を変更した後は、必ずコンフィグレーションページを印刷して大切に保管しておいてください。

項　目	説　明
F/W Version	LANボードのファームウエアバージョンです。
ID Number	LANボード固有のIDです。
Printer Name	ネットワーク上から見たプリンターの名前です。半角大文字の英数字、ハイフン「-」、アンダーバー「_」が使用可能です。
MAC Address	プリンターに接続しているネットワークオプション固有のネットワークアドレスです。
H/W Description	プリンターに接続しているネットワークオプションの種別です。
10Base/100Base	「Auto」では10BASE-T、または100BASE-TXを自動判別し、通信速度を決定します。
Half/Full Duplex	「Auto」では通信方式を自動判別し、全二重（Full Duplex）、半二重（Half Duplex）のどちらかに決定します。
Printing Log	印刷ログの設定状況です。
Link Test	Link状態を表します。
Network Status	ハードウエアテストの結果を表します。
IP Address	IPアドレスを表します。
Subnet Mask	サブネットマスクを表します。
Gateway Address	ゲートウェイアドレスを表します。
Auto IP Address	UNIXコマンド（Arp、Ping）を用いた設定の許可を表します。
Max. Number of Session	TCP/IPの最大接続数を表します。この設定は、すべてのTCP/IPアプリケーション層プロトコルが対象になります。設定範囲は「1～64」、初期値は「64」になっています。
Session Timeout [sec]	TCP/IP接続時にホストコンピューターから応答が無い場合の通信タイムアウトの設定を表します。
Keep Alive	通信タイムアウトで設定した時間が経過した場合に、ホストコンピューターにKeepAliveパケットを送信するか、しないかの設定を表します。
FTP Timeout [min]	FTP接続時のタイムアウト時間を表します。
DHCP	DHCPを用いてアドレスを取得するかどうかの設定を表します。
e-Mail Service	トナー残少時のメール通知設定を表します。
Current Active Session	現在のTCP接続数を表します。
1st～5th Access Limitation	アクセス制限機能が有効の場合、アクセス制限1～5のそれぞれの設定値を表します。 有効（Valid）と設定した各アクセス制限の、IPアドレス（上段）、ネットマスク（下段）、アクセス許可（Accept）／拒否（Reject）が表示されます。

接続先の設定とプリンタードライバーのインストール

ここでは、各OSへの設定について説明しています。印刷方法にはIPP、LPR、PrintAgentがあります。設定方法はOSごとに異なります。使用しているOSのページを参照してください。

重要

- PrintAgentは、インターネット印刷プロトコル(IPP)やLPRプロトコルに対応していません。IPPやLPRを使用する場合は、プリンタードライバーの双方向通信機能を無効にする必要があります。詳しくは、9章を参照してください。
- インターネット印刷プロトコル(IPP)を使用した印刷の設定を行う場合には、プリンターの電源をONにする必要があります。

OSの設定を行った後に、ネットワークを介しての印刷がうまくいかなかったときは9章「故障かな？と思ったら」の「ネットワークで思うように印刷できないときは」を参照してください。

Windows XP 日本語版

Windows XPからプリントサーバーを使用せず、ネットワークプリンターへ直接印刷するための設定について説明します。Windows XPから印刷するためには、以下の4つの方法があります。

- NEC Network Port(PrintAgent) .... 添付のプリンターソフトウエアCD-ROMからプリンターソフトウエアをインストールして印刷します。
- IPP(Internet Printing Protocol) .... Windows XPに標準で実装されているソフトウエアを使用して印刷します。
- UNIX用印刷サービス(LPR) .... Windows XPに標準で収録されているUNIX用印刷サービス(LPR)を使用して印刷します。
- Standard TCP/IP Port(LPR) .... Windows XPに標準で実装されているStandard TCP/IP Port(LPR)を使用して印刷します。

これらのソフトウエアで印刷する前に、あらかじめプリンターにIPアドレスを設定する必要があります。「LANボードの設定」、「無線LANボードの設定」、または各LANアダプターに添付の取扱説明書を参照してIPアドレスを設定してください。
プリンターにIPアドレスを設定した後、各ソフトウエアをインストールしてください。

NEC Network Portを使用して印刷するには

NEC Network Port(NEC TCP/IP Port)を使用して印刷するための印刷先の変更について説明します。NEC Network Portは、PrintAgentに含まれています。PrintAgentのインストールについては2章の『「インストールプログラム」からのインストール』(53ページ)を参照してください。

印刷先の変更

印刷先を変更します。次の手順に従ってください。

❶ **[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスを表示させる。**

[プリンタとFAX]フォルダーの[NEC MultiWriter 4550]アイコンをクリックし、[ファイル]メニューの[プロパティ]をクリックします。

❷ **[ポート]タブをクリックする。**

❸ **[ポートの追加]をクリックする。**

❹ **[利用可能なポートの種類]で[NEC Network Port]を選び、[新しいポート]をクリックする。**

❺ **[インターネットアドレス入力]ボックスにプリンターのIPアドレスまたはドメインネームを入力する。**

❻ **[OK]をクリックする。**

❼ **[閉じる]をクリックする。**

[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスを閉じます。

以上で設定は完了です。

ドメインネームについて

NEC Network PortではIPアドレスの代わりにドメインネームを使用することができます。

ドメインネームを使用する場合はネットワーク上にDNSサーバーが存在し、プリンターのドメインネームが登録されていなければなりません。また、NEC Network Portをインストールしたクライアントコンピューターの[TCP/IPのプロパティ]設定画面でホスト名、ドメイン名、DNSサーバーのIPアドレスを設定する必要があります。

ドメインネームは階層構造により「.（ドット）」で区切られた名前を指します。たとえば、「sample.nec.co.jp」と呼ばれるドメインの「printer1」と呼ばれるプリンターを指定する場合のドメインネームは「printer1.sample.nec.co.jp」と入力します。
ただし、クライアントコンピューターが「printer1.sample.nec.co.jp」の同じドメインに存在する場合は、「printer1」のみで構いません。

チェック

ドメインネームとして入力可能な文字の長さは最大127文字(127バイト)です。

DNSサーバーとクライアントコンピューターの詳しい設定に関してはホストコンピューターのマニュアルを参照してください。

IPP(Internet Printing Protocol)を使用して印刷するには

Windows XPの環境でIPPを使用して印刷する手順を説明します。

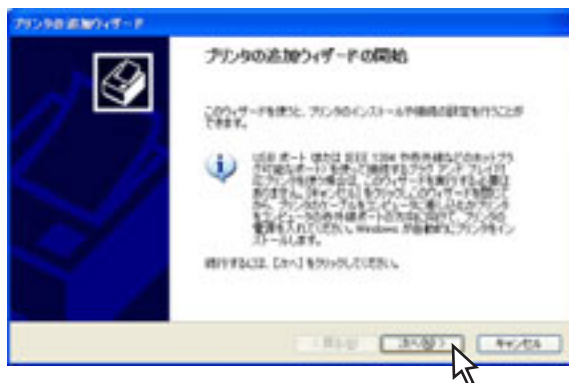
重要

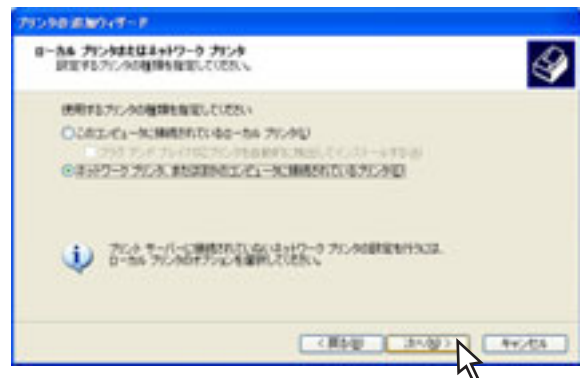
- IPP(Internet Printing Protocol)を使用する場合、[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスの[ポート]シートで[双方向サポートを有効にする]のチェックを外して、無効にしてください。
- 無線LANプリンタボードは、IPPをサポートしていません。

❶ **プリンターに添付のプリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

[プリンタソフトウエアCD-ROMメニュー]ダイアログボックスが表示されます。

❷ **[終了]をクリックする。**

❸ **[プリンタとFAX]フォルダーの[プリンタのインストール]をクリックする。**

❹ **[次へ]をクリックする。**

❺ **[ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ]を選択して、[次へ]をクリックする。**

❻ **[インターネット上または自宅/会社のネットワーク上のプリンタに接続する]を選択して、[URL]ボックスに登録するプリンターのIPアドレスを含むアドレスを入力する。**

重要

入力可能な形式は「http://」に限られます。

(入力例)

IPアドレスが「123.123.123.123」の場合

http://123.123.123.123/ipp

❼ [次へ]をクリックする。

該当するプリンターの電源が入っていないまたはIPアドレスが正しくない場合は、以下のエラーメッセージが表示されます。表示された場合は、[OK]をクリックしてください。

❽ [ディスク使用]をクリックする。

❾ [製造元のファイルのコピー元]を入力し、[OK]をクリックする。

[製造元のファイルのコピー元]に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン（：）、円記号（¥）に続けて「MW4550¥DISK4」と入力します。

❿ 使用するプリンターを選び、[OK]をクリックする。

⓫ [通常使うプリンタ]に設定するか、しないかを選び、[次へ]をクリックする。

⓬ [完了]をクリックする。

チェック

以下の[ハードウェアのインストール]ダイアログボックスが表示される場合があります。添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているプリンターソフトウエアは、弊社により動作を確認されています。

[続行]をクリックし、インストールを続行してください。

なお、[インストールの停止]をクリックした場合は、インストールが中止されます。

以上で設定は完了です。

UNIX用印刷サービス(LPR)を使用して印刷するには

LPRには、UNIX用印刷サービスによる印刷方法とStandard TCP/IP Portによる印刷方法の2種類あります。はじめに、UNIX用印刷サービス(LPR)を使用した印刷を行うための設定方法を説明します。

重要

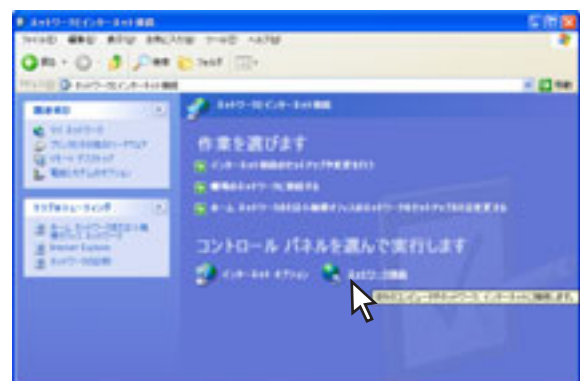
UNIX用印刷サービス(LPR)を使用する場合、[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスの[ポート]シートで[双方向サポートを有効にする]のチェックを外して、無効にしてください。

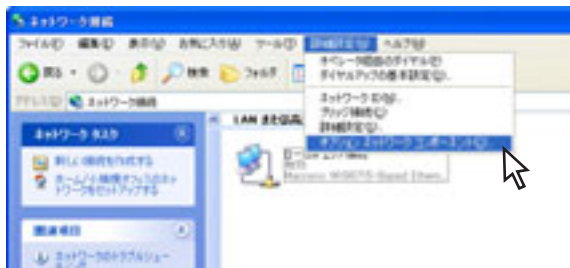
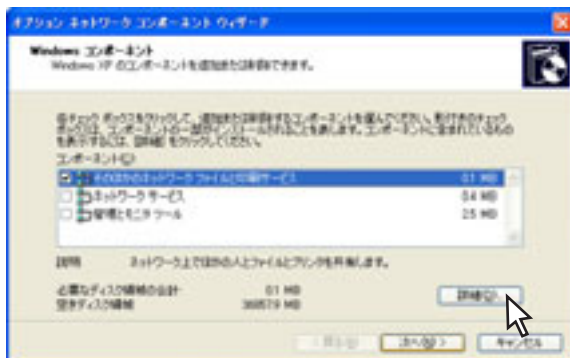
使用するコンピューターにUNIX用印刷サービスをインストールします。インストールされている場合は、「プリンターの追加」へ進んでください。

UNIX用印刷サービスのインストール

UNIX用印刷サービスを使用するには、TCP/IPプロトコルがインストールされていて、設定が完了している必要があります。TCP/IPプロトコルのインストールについては、Windows XPのヘルプ「TCP/IPプロトコルをインストールするには」を参照してください。UNIX用印刷サービスのインストール方法について説明します。

❶ **Windows XPのCD-ROMをセットする。**

❷ **コントロールパネルの[ネットワークとインターネット接続]をクリックする。**

❸ **[ネットワーク接続]をクリックする。**

❹ [詳細設定]メニューの[オプション ネットワーク コンポーネント]をクリックする。

❺ [そのほかのネットワーク ファイルと印刷サービス]を選択し、[詳細]をクリックする。

❻ [UNIX用印刷サービス]をチェックして、[OK]をクリックする。

[オプション ネットワーク コンポーネントウィザード]ダイアログボックスに戻ります。

❼ [次へ]をクリックする。

次に「プリンタードライバーのインストール」へ進んでください。

プリンタードライバーのインストール

❶ プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。

[プリンタソフトウェアCD-ROMメニュー]が起動します。

❷ [終了]をクリックする。

プリンターソフトウエアを終了します。

❸ [プリンタとFAX]フォルダーを開く。

❹ [プリンタのインストール]をクリックする。

❺ [次へ]をクリックする。

❻ [このコンピュータに接続されているローカル プリンタ]を選択し、[プラグ アンド プレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする]のチェックを外して[次へ]をクリックする。

❼ ［新しいポートの作成］をクリックし、［LPR Port］を選択する。

［LPR Port］が表示されない場合は、［UNIX用印刷サービス］をインストールしてください。

❽ ［次へ］をクリックする。

❾ ［LPDを提供しているサーバーの名前またはアドレス］ボックスに、追加するプリンターのIPアドレスまたはドメインネームを入力し、［OK］をクリックする。

❿ ［ディスク使用］をクリックする。

⓫ ［製造元のファイルのコピー元］を入力し、［OK］をクリックする。

［製造元のファイルのコピー元］に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン（：）、円記号（¥）に続けて「MW4550¥DISK4」と入力します。

⓬ 使用するプリンターを選び、［OK］をクリックする。

⓭ ［通常使うプリンタ］に設定するか、しないかを選び、［次へ］をクリックする。

⓮ ［完了］をクリックする。

チェック

以下の[ハードウェアのインストール]ダイアログボックスが表示される場合があります。添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているプリンターソフトウエアは、弊社により動作を確認されています。

[続行]をクリックし、インストールを続行してください。

なお、[インストールの停止]をクリックした場合は、インストールが中止されます。

次に、双方向通信を無効にします。以下の手順で設定してください。

❶ [プリンタとFAX]フォルダー内に作成されたプリンターの[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスを表示させる。

❷ [ポート]タブをクリックする。

❸ [双方向サポートを有効にする]のチェックを外して、[OK]をクリックする。

以上で設定は完了です。

Standard TCP/IP Port(LPR) を使用して印刷するには

Windows XPの環境でLPRを使用してプリンタードライバーのインストール手順から印刷するまでの設定方法について説明します。

重要

Standard TCP/IP Port(LPR)を使用する場合、[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスの[ポート]シートで[双方向サポートを有効にする]のチェックを外して、無効にしてください。

❶ **プリンターに添付のプリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

[プリンタソフトウエアCD-ROMメニュー]ダイアログボックスが表示されます。

❷ **[終了]をクリックする。**

❸ **[プリンタとFAX]フォルダーを開く。**

❹ **[プリンタのインストール]をクリックする。**

❺ **[このコンピュータに接続されているローカルプリンタ]を選択し、[プラグ アンド プレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする]のチェックを外して、[次へ]をクリックする。**

❻ **[新しいポートの作成]、[Standard TCP/IP Port]を選び、[次へ]をクリックする。**

[標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザード]ダイアログボックスが表示されます。

❼ **[次へ]をクリックする。**

❽ **[プリンタ名またはIPアドレス]ボックスに追加するプリンターのIPアドレスを入力し、[次へ]をクリックする。**

チェック

DNSサーバーが存在し、プリンターが登録されている場合には、DNS名を指定することもできます。

ネットワーク上にネットワークプリンターが存在する場合は、ネットワークプリンターが検出され、自動的に設定が完了します。手順❿へ進んでください。
ネットワーク上にネットワークプリンターが存在しない場合は、手順❾へ進んでください。

❾ ［デバイスの種類］の［標準］をクリックし、［NEC Network Printer］を選び、［次へ］をクリックする。

❿ 内容を確認し、［完了］をクリックする。

⓫ ［ディスク使用］をクリックする。

⓬ ［製造元のファイルのコピー元］を入力し、［OK］をクリックする。

［製造元のファイルのコピー元］に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン（：）、円記号（￥）に続けて「MW4550￥DISK4」と入力します。

⓭ 使用するプリンターを選び、［OK］をクリックする。

⓮ ［通常使うプリンタ］に設定するか、しないかを選び、［次へ］をクリックする。

⓯ ［完了］をクリックする。

✔チェック

以下の［ハードウェアのインストール］ダイアログボックスが表示される場合があります。添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているプリンターソフトウエアは、弊社により動作を確認されています。

［続行］をクリックし、インストールを続行してください。

なお、［インストールの停止］をクリックした場合は、インストールが中止されます。

次に、双方向通信を無効にします。以下の手順で設定してください。

❶ ［プリンタとFAX］フォルダー内に作成されたプリンターの［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを表示させる。

❷ ［ポート］タブをクリックする。

❸ ［双方向サポートを有効にする］のチェックを外して、［OK］をクリックする。

以上で設定は完了です。

Windows 2000 日本語版

Windows 2000からプリントサーバーを使用せず、ネットワークプリンターへ直接印刷するための設定について説明します。Windows 2000から印刷するためには、以下の4つの方法があります。

- NEC Network Port(PrintAgent) .... 添付のプリンターソフトウエアCD-ROMからプリンターソフトウエアをインストールして印刷します。
- IPP(Internet Printing Protocol) .... Windows 2000に標準で実装されているソフトウエアを使用して印刷します。
- UNIX用印刷サービス(LPR) .... Windows 2000に標準で収録されているUNIX用印刷サービス(LPR)を使用して印刷します。
- Standard TCP/IP Port(LPR) .... Windows 2000に標準で実装されているStandard TCP/IP Port(LPR)を使用して印刷します。

これらのソフトウエアで印刷する前に、あらかじめプリンターにIPアドレスを設定する必要があります。「LANボードの設定」、「無線LANボードの設定」、または各LANアダプターに添付の取扱説明書を参照してIPアドレスを設定してください。
プリンターにIPアドレスを設定した後、各ソフトウエアをインストールしてください。

NEC Network Portを使用して印刷するには

NEC Network Port(NEC TCP/IP Port)を使用して印刷するための印刷先の変更について説明します。NEC Network Portは、PrintAgentに含まれています。PrintAgentのインストールについては2章の『「インストールプログラム」からのインストール』(53ページ)を参照してください。

印刷先の変更

印刷先を変更します。次の手順に従ってください。

❶ **[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスを表示させる。**

[プリンタ]フォルダーの[NEC MultiWriter 4550]アイコンをクリックし、[ファイル]メニューの[プロパティ]をクリックします。

❷ **[ポート]タブをクリックする。**

❸ **[ポートの追加]をクリックする。**

❹ **[利用可能なポートの種類]で[NEC Network Port]を選び、[新しいポート]をクリックする。**

❺ **［インターネットアドレス入力］ボックスにプリンターのIPアドレスまたはドメインネームを入力する。**

❻ **［OK］をクリックする。**

❼ **［閉じる］をクリックする。**

［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを閉じます。

以上で設定は完了です。

ドメインネームについて

NEC Network PortではIPアドレスの代わりにドメインネームを使用することができます。

ドメインネームを使用する場合はネットワーク上にDNSサーバーが存在し、プリンターのドメインネームが登録されていなければなりません。また、NEC Network Portをインストールしたクライアントコンピューターの［TCP/IPのプロパティ］設定画面でホスト名、ドメイン名、DNSサーバーのIPアドレスを設定する必要があります。

ドメインネームは階層構造により「.（ドット）」で区切られた名前を指します。たとえば、「sample.nec.co.jp」と呼ばれるドメインの「printer1」と呼ばれるプリンターを指定する場合のドメインネームは「printer1.sample.nec.co.jp」と入力します。
ただし、クライアントコンピューターが「printer1.sample.nec.co.jp」の同じドメインに存在する場合は、「printer1」のみで構いません。

チェック

ドメインネームとして入力可能な文字の長さは最大127文字（127バイト）です。

DNSサーバーとクライアントコンピューターの詳しい設定に関してはホストコンピューターのマニュアルを参照してください。

IPP（Internet Printing Protocol）を使用して印刷するには

Windows 2000の環境でIPPを使用して印刷する手順を説明します。

重要

- IPP（Internet Printing Protocol）を使用する場合、［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスの［ポート］シートで［双方向サポートを有効にする］のチェックを外して、無効にしてください。
- 無線LANプリンタボードは、IPPをサポートしていません。

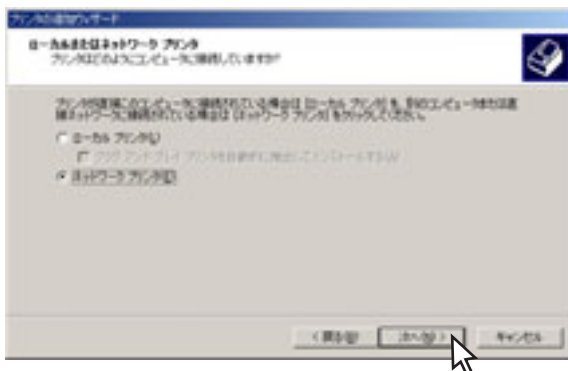
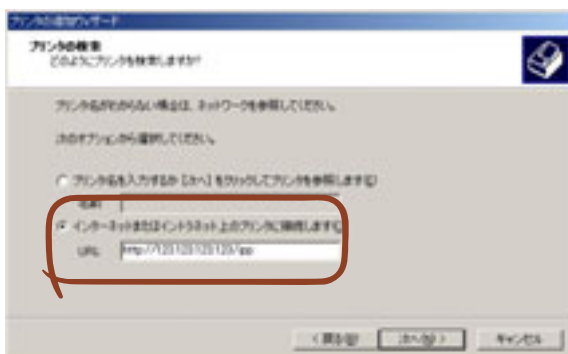
❶ **プリンターに添付のプリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

［プリンタソフトウエアCD-ROMメニュー］ダイアログボックスが表示されます。

❷ **［終了］をクリックする。**

❸ [プリンタ]フォルダーの[プリンタの追加]アイコンをダブルクリックする。

❹ [次へ]をクリックする。

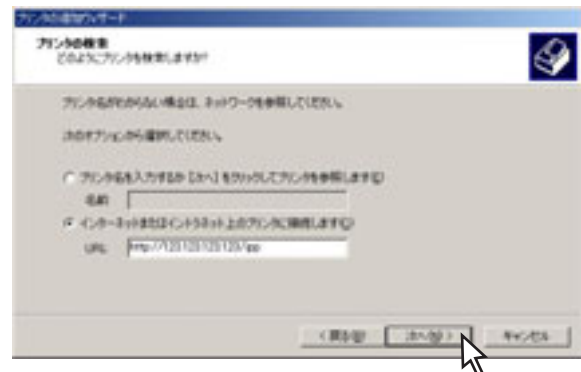
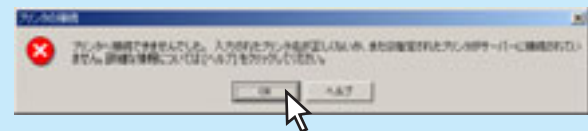
❺ [ネットワークプリンタ]を選択して、[次へ]をクリックする。

❻ [インターネットまたはイントラネット上のプリンタに接続します]を選択して、[URL]ボックスに登録するプリンターのIPアドレスを含むアドレスを入力する。

重要

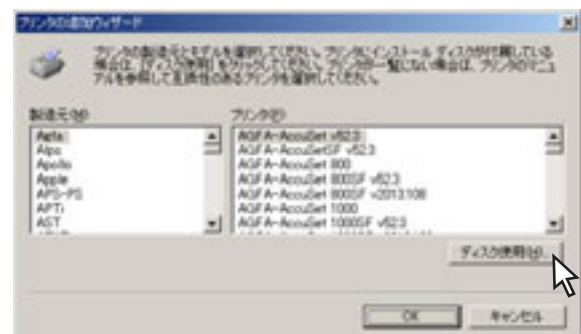
入力可能な形式は「http://」に限られます。

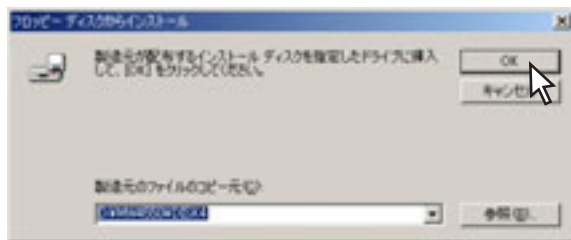
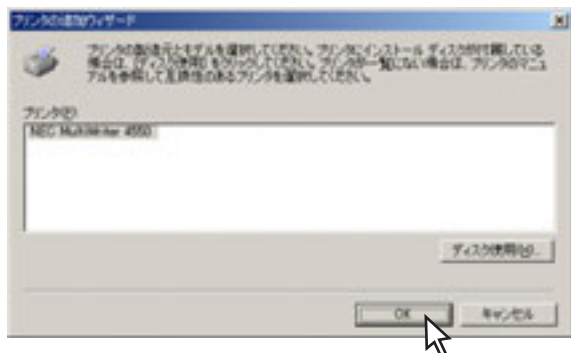
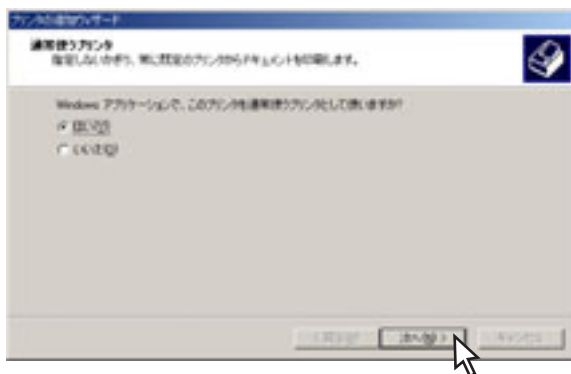
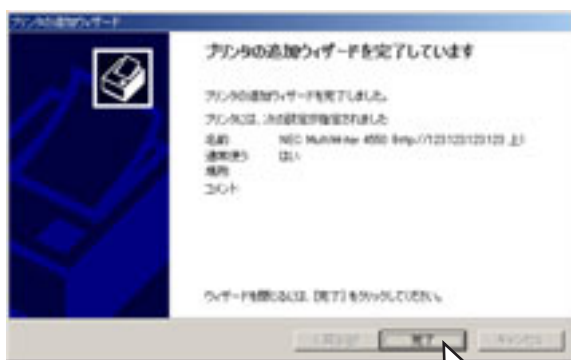
（入力例）

IPアドレスが「123.123.123.123」の場合

http://123.123.123.123/ipp

❼ [次へ]をクリックする。

該当するプリンターの電源が入っていないまたはIPアドレスが正しくない場合は、以下のエラーメッセージが表示されます。表示された場合は、[OK]をクリックしてください。

❽ [OK]をクリックする。

❾ [ディスク使用]をクリックする。

⑩ [製造元のファイルのコピー元]を入力し、[OK]をクリックする。

[製造元のファイルのコピー元]に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン(：)、円記号(¥)に続けて「MW4550¥DISK4」と入力します。

⑪ 使用するプリンターを選び、[OK]をクリックする。

⑫ [通常使うプリンタ]に設定するか、しないかを選び、[次へ]をクリックする。

⑬ [完了]をクリックする。

チェック

[デジタル署名が見つかりませんでした]とメッセージダイアログボックスが表示される場合があります。添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているプリンターソフトウエアは、弊社により動作を確認されています。

[はい]をクリックし、インストールを続行します。

[いいえ]をクリックした場合は、インストールが中止されます。

以上で設定は完了です。

UNIX用印刷サービス(LPR)を使用して印刷するには

LPRには、UNIX用印刷サービスによる印刷方法とStandard TCP/IP Portによる印刷方法の2種類あります。UNIX用印刷サービス(LPR)を使用した印刷を行うための設定方法を説明します。

重要

UNIX用印刷サービス(LPR)を使用する場合、[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスの[ポート]シートで[双方向サポートを有効にする]のチェックを外して、無効にしてください。

まず、使用するコンピューターにUNIX用印刷サービスをインストールします。インストールされている場合は、「プリンタードライバーのインストール」へ進んでください。

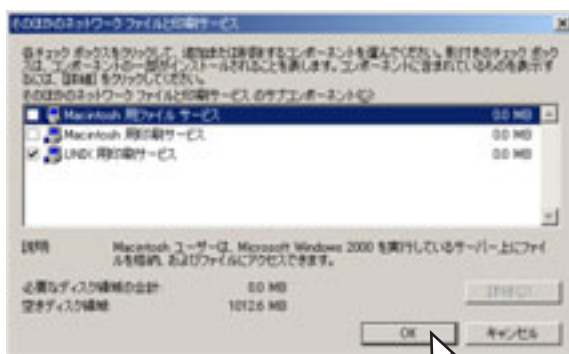
UNIX用印刷サービスのインストール

UNIX用印刷サービスを使用するには、TCP/IPプロトコルがインストールされていて、設定が完了している必要があります。TCP/IPプロトコルのインストールについては、Windows 2000のヘルプ「TCP/IPプロトコルをインストールするには」を参照してください。UNIX用印刷サービスのインストール方法について説明します。

❶ **コントロールパネルの[ネットワークとダイアルアップ接続]ダイアログボックスを開く。**

❷ **[詳細設定]メニューの[オプション ネットワーク コンポーネント]をクリックする。**

❸ **[そのほかのネットワーク ファイルと印刷サービス]を選択し、[詳細]をクリックする。**

❹ **[UNIX用印刷サービス]をチェックして、[OK]をクリックする。**

❺ **[次へ]をクリックする。**

次に「プリンタードライバーのインストール」へ進んでください。

プリンタードライバーのインストール

❶ **[プリンタ]フォルダーを開く。**

❷ **[プリンタの追加]アイコンをダブルクリックし、[次へ]をクリックする。**

❸ **[ローカル プリンタ]を選択し、[プラグ アンド プレイ プリンタを自動的に検出してインストールする]のチェックを外して[次へ]をクリックする。**

❹ **[新しいポートの作成]をクリックし、[LPR Port]を選択する。**

[LPR Port]が表示されない場合は、[UNIX用印刷サービス]をインストールしてください。

❺ [次へ]をクリックする。

❻ [LPDを提供しているサーバーの名前またはアドレス]ボックスに、追加するプリンターのIPアドレスまたはドメインネームを入力し、[OK]をクリックする。

❼ [ディスク使用]をクリックする。

❽ [製造元のファイルのコピー元]を入力し、[OK]をクリックする。

[製造元のファイルのコピー元]に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン(:)、円記号(¥)に続けて「MW4550¥DISK4」と入力します。

❾ 使用するプリンターを選び、[OK]をクリックする。

❿ [通常使うプリンタ]に設定するか、しないかを選び、[次へ]をクリックする。

⓫ [完了]をクリックする。

チェック

[デジタル署名が見つかりませんでした]とメッセージダイアログボックスが表示される場合があります。添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているプリンターソフトウエアは、弊社により動作を確認されています。

[はい]をクリックし、インストールを続行します。

[いいえ]をクリックした場合は、インストールが中止されます。

次に、双方向通信を無効にします。以下の手順で設定してください。

❶ [プリンタ]フォルダー内に作成されたプリンターの[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスを表示させる。

❷ [ポート]タブをクリックする。

❸ [双方向サポートを有効にする]のチェックを外して、[OK]をクリックする。

以上で設定は完了です。

Standard TCP/IP Port(LPR)を使用して印刷するには

Windows 2000の環境でLPRを使用して印刷するまでの設定方法について説明します。

重要

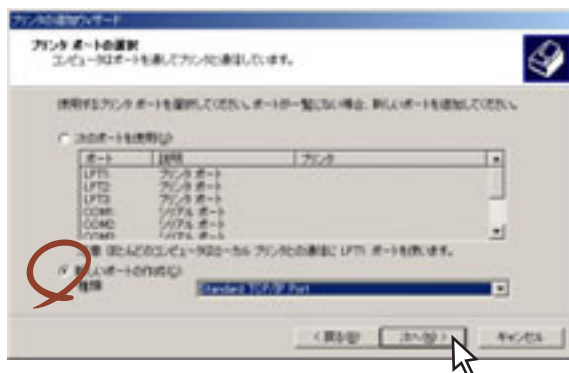
Standard TCP/IP Port(LPR)を使用する場合、[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスの[ポート]シートで[双方向サポートを有効にする]のチェックを外して、無効にしてください。

❶ **[プリンタ]フォルダーを開く。**

❷ **[プリンタの追加]アイコンをダブルクリックする。**

❸ **[ローカルプリンタ]を選択し、[プラグ アンド プレイ プリンタを自動的に検出してインストールする]のチェックを外して、[次へ]をクリックする。**

❹ **[新しいポートの作成]、[Standard TCP/IP Port]を選び、[次へ]をクリックする。**

[標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザード]ダイアログボックスが表示されます。

❺ **[次へ]をクリックする。**

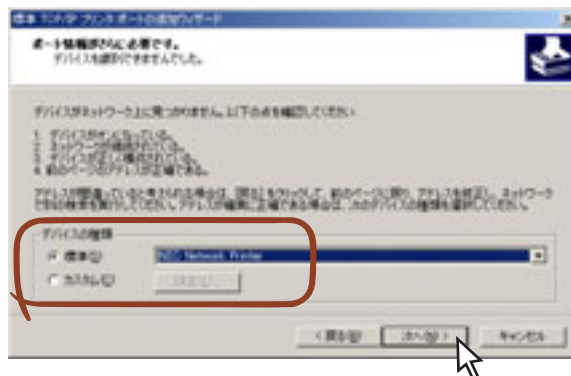
❻ **[プリンタ名またはIPアドレス]ボックスに追加するプリンターのIPアドレスを入力し、[次へ]をクリックする。**

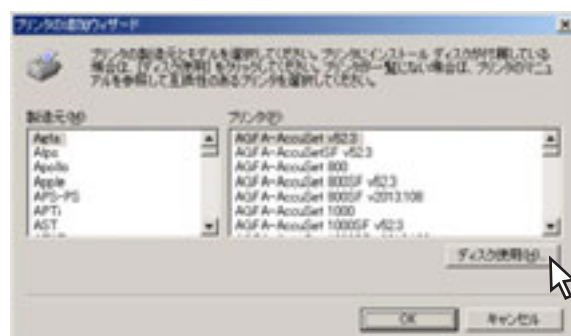
チェック

DNSサーバーが存在し、プリンターが登録されている場合には、DNS名を指定することもできます。

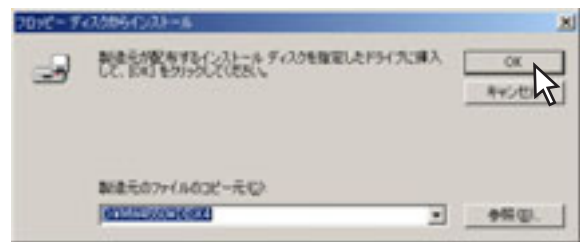
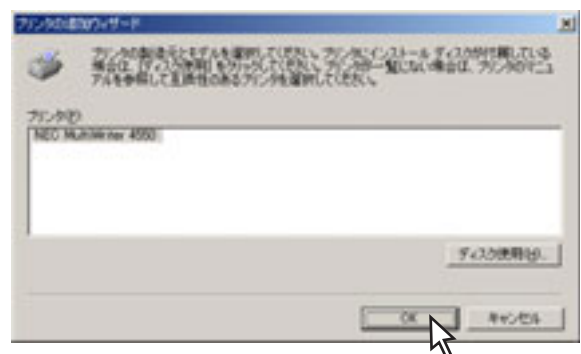
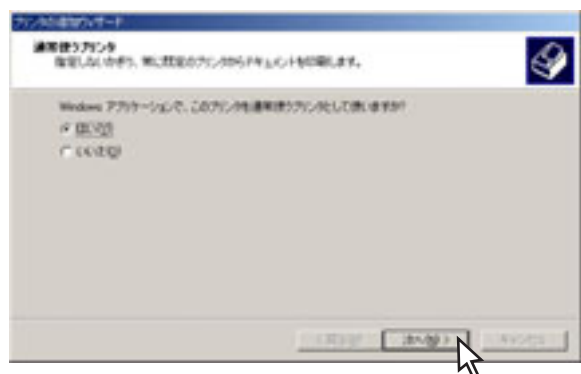
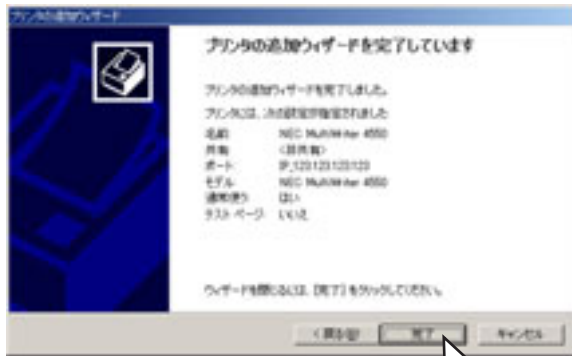
ネットワーク上にネットワークプリンターが存在する場合は、ネットワークプリンターが検出され、自動的に設定が完了します。手順❽へ進んでください。
ネットワーク上にネットワークプリンターが存在しない場合は、手順❼へ進んでください。

❼ [デバイスの種類]の[標準]をクリックし、[NEC Network Printer]を選び、[次へ]をクリックする。

この画面が表示されなかった場合は、次の手順に進んでください。

❽ 内容を確認し、[完了]をクリックする。

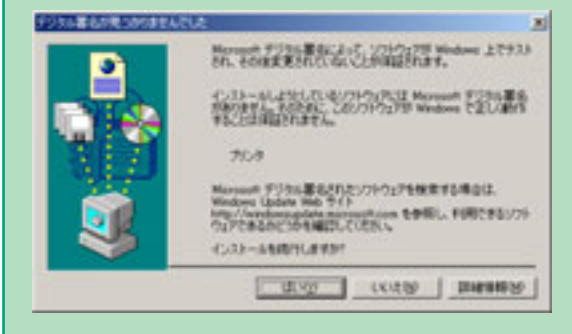
画面に表示される指示に従って、プリンターのインストールを完了してください。次に「LPRバイトカウント機能」へ進んでください。

❾ [ディスク使用]をクリックする。

❿ [製造元のファイルのコピー元]を入力し、[OK]をクリックする。

[製造元のファイルのコピー元]に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン(：)、円記号(¥)に続けて「MW4550¥DISK4」と入力します。

⓫ 使用するプリンターを選び、[OK]をクリックする。

⓬ [通常使うプリンタ]に設定するか、しないかを選び、[次へ]をクリックする。

⓭ [完了]をクリックする。

✔チェック

[デジタル署名が見つかりませんでした]とメッセージダイアログボックスが表示される場合があります。添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているプリンターソフトウエアは、弊社により動作を確認しております。

[はい]をクリックし、インストールを続行します。

[いいえ]をクリックした場合は、インストールが中止されます。

次に「LPRバイトカウント機能」へ進んでください。

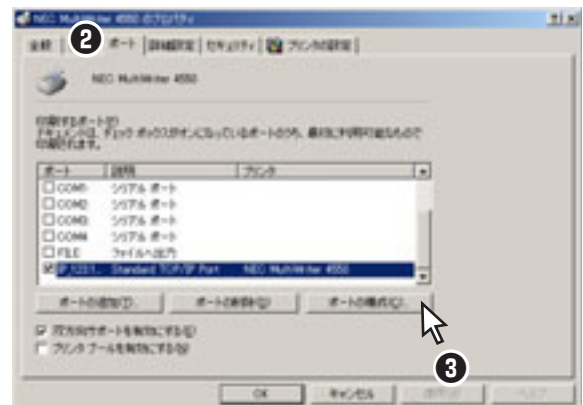
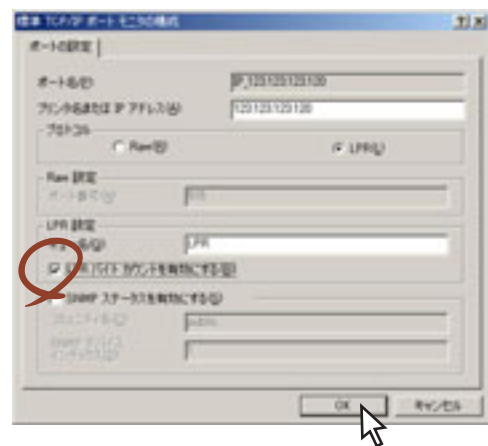
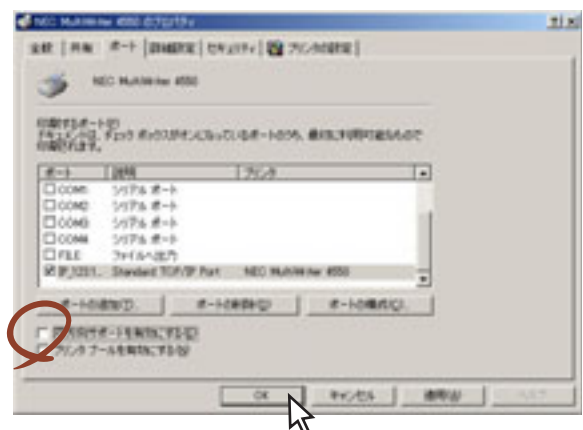
LPRバイトカウント機能

LPRプロトコルには、印刷データを送信する前に印刷データの容量を測定し、プリンターに送信する機能があります。これを「LPRバイトカウント機能」といいます。

この「LPRバイトカウント機能」を有効にすると、印刷が途中で中断されたときに、プリンターは処理されずに残っている印刷データを消去します。この機能を使用することで次の印刷データが送られてきたときにプリンター内に残っているデータと混在することを防ぐことができます。LPRバイトカウント機能を有効にするには、次の手順で設定してください。

❶ [プリンタ]フォルダー内に作成されたプリンターの[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスを表示させる。

❷ [ポート]タブをクリックする。

❸ [ポートの構成]をクリックする。

❹ [LPRバイトカウントを有効にする]をチェックして、[OK]をクリックする。

❺ [双方向サポートを有効にする]のチェックを外して、[OK]をクリックする。

以上で設定は完了です。

Windows NT 4.0 日本語版

Windows NT 4.0からプリントサーバーを使用せず、ネットワークプリンターへ直接印刷するための設定について説明します。Windows NT 4.0から印刷するためには、以下の3つの方法があります。

- NEC Network Port(PrintAgent) .... 添付のプリンターソフトウエアCD-ROMからプリンターソフトウエアをインストールして印刷します。
- NEC Internet Printing System(IPP) .... プリンターに添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているNEC Internet Printing Systemを使用して印刷します。
- Microsoft TCP/IP印刷(LPR) .... Windows NT 4.0に標準で実装されているTCP/IP印刷サービスのLPRプロトコルを使用して印刷します。

これらのソフトウエアで印刷する前に、あらかじめプリンターにIPアドレスを設定する必要があります。「LANボードの設定」、「無線LANボードの設定」、またはLANアダプターの取扱説明書を参照してIPアドレスを設定してください。
プリンターにIPアドレスを設定した後、各ソフトウエアをインストールしてください。

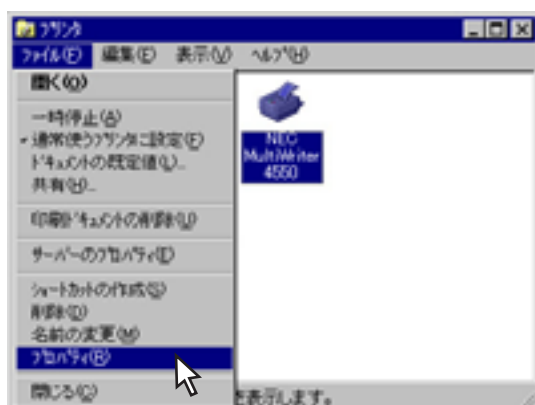
NEC Network Portを使用して印刷するには

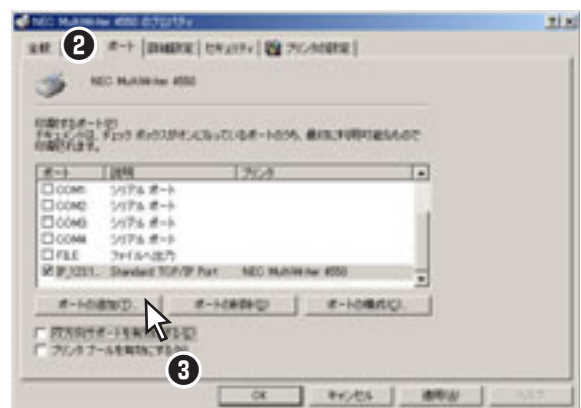
NEC Network Port(NEC TCP/IP Port)を使用して印刷するための印刷先の変更について説明します。NEC Network Portは、PrintAgentに含まれています。PrintAgentのインストールについては2章の『「インストールプログラム」からのインストール』(53ページ)を参照してください。

印刷先の変更

印刷先を変更します。次の手順に従ってください。

❶ **[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスを表示させる。**

[プリンタ]フォルダーの[NEC MultiWriter 4550]アイコンをクリックし、[ファイル]メニューの[プロパティ]をクリックします。

❷ **[ポート]タブをクリックする。**

❸ **[ポートの追加]をクリックする。**

❹ **[利用可能なプリンタポート]で[NEC Network Port]を選び、[新しいポート]をクリックする。**

❺ **[インターネットアドレス入力]ボックスにプリンターのIPアドレスまたはドメインネームを入力する。**

❻ **[OK]をクリックする。**

❼ **[閉じる]をクリックする。**

[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスを閉じます。

以上で設定は完了です。

ドメインネームについて

NEC Network PortではIPアドレスの代わりにドメインネームを使用することができます。

ドメインネームを使用する場合はネットワーク上にDNSサーバーが存在し、プリンターのドメインネームが登録されていなければなりません。また、NEC Network Portをインストールしたクライアントコンピューターの[TCP/IPのプロパティ]設定画面でホスト名、ドメイン名、DNSサーバーのIPアドレスを設定する必要があります。

ドメインネームは階層構造により「.（ドット）」で区切られた名前を指します。たとえば、「sample.nec.co.jp」と呼ばれるドメインの「printer1」と呼ばれるプリンターを指定する場合のドメインネームは「printer1.sample.nec.co.jp」と入力します。
ただし、クライアントコンピューターが「printer1.sample.nec.co.jp」の同じドメインに存在する場合は、「printer1」のみで構いません。

✔チェック

ドメインネームとして入力可能な文字の長さは最大127文字(127バイト)です。

DNSサーバーとクライアントコンピューターの詳しい設定に関してはホストコンピューターのマニュアルを参照してください。

NEC Internet Printing System(IPP)を使用して印刷するには

Windows NT 4.0 日本語版の環境でIPPを使用して印刷する手順を説明します。NEC Internet Printing Systemを使用します。

重要

- NEC Internet Printing Systemは、プロキシーサーバーには対応していません。IPP対応プリンターへのアクセスにプロキシーサーバーの設定が必要な場合は印刷できません。
- NEC Internet Printing Systemは[プリンタ]フォルダーを開くと、プリンターの状態を確認します。

1 NEC Internet Printing Systemのインストール

NEC Internet Printing Systemのインストール方法について説明します。次の手順に従ってください。

❶ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

[プリンタソフトウエアCD-ROMメニュー]ダイアログボックスが表示されます。

お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

❷ **[ユーティリティ]をクリックする。**

❸ ［NEC Internet Printing System for Windows NT 4.0］を選択し、［フォルダを開く］をクリックする。

重要

［¥NECIPS¥WINT40］フォルダーにある［Readme.txt］を必ずお読みください。

❹ ［Setup.exe］アイコンをダブルクリックする。

❺ ［次へ］をクリックする。

❻ ［登録ポートのプリンタURI］ボックスに登録するプリンターのアドレスを入力する。

ここで［登録］を行わなくても、インストール終了後に「印刷先の変更」で印刷先のポートを追加できます。

（入力例）

IPアドレスが「123.123.123.123（printer1.sample.nec.co.jp）」の場合

http://123.123.123.123/ipp

ipp://123.123.123.123/ipp

printer1.sample.nec.co.jp/ipp

チェック

IPアドレスの代わりにドメインネームを使用することができます。ドメインネームとして入力可能な文字の長さは、最大127文字（127バイト）です。

❼ ［登録］をクリックする。

❽ [次へ]をクリックする。

❾ [開始]をクリックする。

❿ [OK]をクリックする。

2 プリンタードライバーのインストール

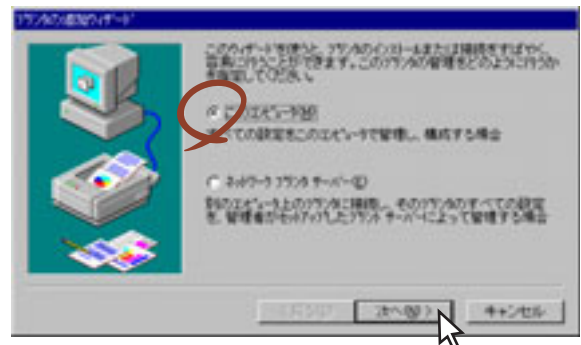
プリンタードライバーをインストールします。次の手順に従ってください。

❶ プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。

❷ [終了]をクリックする。

❸ [プリンタ]フォルダーを開く。

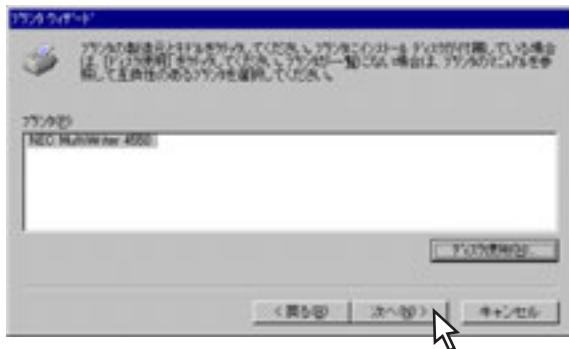
❹ [プリンタの追加]アイコンをダブルクリックする。

❺ [このコンピュータ]を選択して、[次へ]をクリックする。

❻ 使用するポートを選び、[次へ]をクリックする。

❼ [ディスク使用]をクリックする。

❽ [配布ファイルのコピー元]を入力して、[OK]をクリックする。

[配布ファイルのコピー元]に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン(:)、円記号(¥)に続けて「MW4550¥DISK3」と入力します。

❾ **使用するプリンターを選択して、[次へ]をクリックする。**

❿ **[次へ]をクリックする。**

⓫ **必要に応じて共有設定をして、[次へ]をクリックする。**

⓬ **[完了]をクリックして、終了する。**

以上で設定は完了です。

3 印刷先の変更

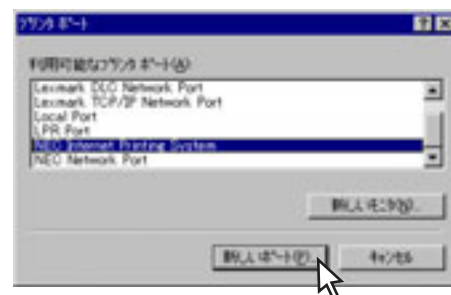
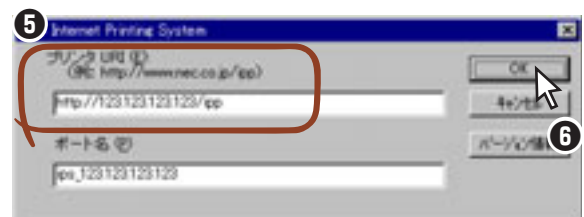
NEC Internet Printing Systemをインストールした後に印刷ポートを追加する場合の手順について説明します。

❶ **[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスを表示させる。**

[プリンタ]フォルダーの[NEC MultiWriter 4550]アイコンをクリックし、[ファイル]メニューの[プロパティ]をクリックします。

❷ **[ポート]タブをクリックする。**

❸ **[ポートの追加]をクリックする。**

❹ **[利用可能なプリンタポート]で[NEC Internet Printing System]を選択し、[新しいポート]をクリックする。**

❺ **[プリンタ URI]ボックスにプリンターのIPアドレスを含むURIを入力する。**

（入力例）

IPアドレスが「123.123.123.123（printer1.sample.nec.co.jp）」の場合

http://123.123.123.123/ipp

ipp://123.123.123.123/ipp

printer1.sample.nec.co.jp/ipp

チェック

IPアドレスの代わりにドメインネームを使用することができます。ドメインネームとして入力可能な文字の長さは、最大127文字（127バイト）です。

❻ **［OK］をクリックする。**

［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを閉じます。

以上で設定は完了です。

Microsoft TCP/IP印刷（LPR）を使用して印刷するには

Microsoft TCP/IP印刷（LPR）を使用した印刷を行うための方法を説明します。

重要

- Microsoft TCP/IP印刷（LPR）を使用した印刷を行うためには、プリンターに印刷データを送るWindows NT 4.0にLPR（OS添付のMicrosoft TCP/IP印刷サービス）をインストールする必要があります。
- LPRで印刷する場合、［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスの［ポート］シートで［双方向サポートを有効にする］のチェックを外して、無効にしてください。

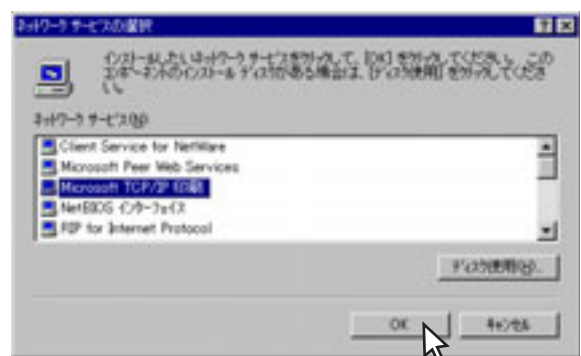
使用するコンピューターにMicrosoft TCP/IP印刷をインストールします。インストールされている場合は「プリンターの追加」へ進んでください。

Microsoft TCP/IP印刷サービスのインストール

Microsoft TCP/IP印刷を使用するには、TCP/IPプロトコルがインストールされていて、設定が完了している必要があります。TCP/IPプロトコルのインストールについては、Windows NT 4.0のヘルプ「ネットワークプロトコルをインストールするには」を参照してください。Microsoft TCP/IP印刷サービスのインストール方法について説明します。

❶ **コントロールパネルの［ネットワーク］ダイアログボックスを開く。**

❷ **［サービス］を選択し、［追加］をクリックする。**

❸ **［ネットワークサービス］の一覧から［Microsoft TCP/IP 印刷］を選択し、［OK］をクリックする。**

❹ **画面に表示される指示に従ってインストールを完了する。**

次に「プリンタードライバーのインストール」へ進んでください。

プリンタードライバーのインストール

❶ ［プリンタ］フォルダーを開く。

❷ ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックする。

❸ ［このコンピュータ］を選択し、［次へ］をクリックする。

❹ ［ポートの追加］をクリックする。

❺ ［LPR Port］を選択し、［新しいポート］をクリックする。

［LPR Port］が表示されない場合は、［Microsoft TCP/IP 印刷］サービスをインストールしてください。

❻ ［lpdを提供しているサーバの名前またはアドレス］ボックスに、追加するプリンターのIPアドレスまたはドメインネームを入力する。

❼ ［ディスク使用］をクリックする。

❽ ［配布ファイルのコピー元］を入力して、［OK］をクリックする。

［配布ファイルのコピー元］に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン（：）、円記号（¥）に続けて「MW4550¥DISK3」と入力します。

❾ 使用するプリンターを選択して、［次へ］をクリックする。

❿ ［次へ］をクリックする。

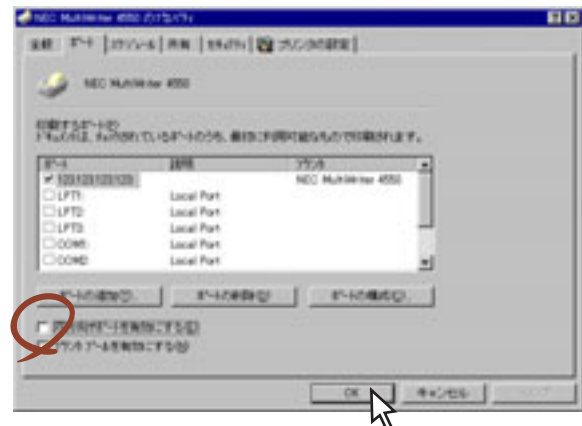
⓫ **必要に応じて共有設定をして、[次へ]をクリックする。**

⓬ **[完了]をクリックして、終了する。**

次に、双方向通信を無効にします。以下の手順で設定してください。

❶ **[プリンタ]フォルダー内に作成されたプリンターの[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスを表示させる。**

❷ **[ポート]タブをクリックする。**

❸ **[双方向サポートを有効にする]のチェックを外して、[OK]をクリックする。**

以上で設定は完了です。

Windows Me 日本語版

Windows Meからプリントサーバーを使用せず、ネットワークプリンターへ直接印刷するための設定方法について説明します。Windows Meから印刷するためには、以下の2つの方法があります。

- NEC TCP/IP Printing System(PrintAgent) .... 添付のプリンターソフトウエアCD-ROMからプリンターソフトウエアをインストールして印刷します。
- IPP(Internet Printing Protocol) .... Windows MeのCD-ROMに収録されているIPPクライアントソフトウエアを使用して印刷します。

これらのソフトウエアで印刷する前に、あらかじめプリンターにIPアドレスを設定する必要があります。「LANボードの設定」、「無線LANボードの設定」、および各LANアダプターに添付の取扱説明書を参照してIPアドレスを設定してください。
プリンターにIPアドレスを設定した後、各ソフトウエアをインストールしてください。

NEC TCP/IP Printing Systemを使用して印刷するには

NEC TCP/IP Printing System(NEC TCP/IP Port)を使用して印刷するための印刷先の変更について説明します。NEC TCP/IP Printing Systemは、PrintAgentに含まれています。PrintAgentのインストールについては2章の『「インストールプログラム」からのインストール』(53ページ)を参照してください。

印刷先の変更

印刷先を変更します。次の手順に従ってください。

❶ **[MultiWriter 4550のプロパティ]ダイアログボックスを表示させる。**

[プリンタ]フォルダーの[NEC MultiWriter 4550]アイコンをクリックし、[ファイル]メニューの[プロパティ]をクリックします。

❷ **[詳細]タブをクリックする。**

❸ **[ポートの追加]をクリックする。**

❹ **[その他]、[追加するポートの種類]で[NEC TCP/IP Printing System]を選び、[OK]をクリックする。**

❺ [インターネットアドレス入力]ボックスにプリンターのIPアドレスまたはドメインネームを入力する。

❻ [OK]をクリックする。

[MultiWriter 4550のプロパティ]ダイアログボックスを閉じます。

以上で設定は完了です。

ドメインネームについて

NEC TCP/IP Printing SystemではIPアドレスの代わりにドメインネームを使用することができます。

ドメインネームを使用する場合はネットワーク上にDNSサーバーが存在し、プリンターのドメインネームが登録されていなければなりません。また、NEC TCP/IP Printing Systemをインストールしたクライアントコンピューターの[TCP/IPのプロパティ]設定画面でホスト名、ドメイン名、DNSサーバーのIPアドレスを設定する必要があります。

ドメインネームは階層構造により「.(ドット)」で区切られた名前を指します。たとえば、「sample.nec.co.jp」と呼ばれるドメインの「printer1」と呼ばれるプリンターを指定する場合のドメインネームは「printer1.sample.nec.co.jp」と入力します。
ただし、クライアントコンピューターが「printer1.sample.nec.co.jp」の同じドメインに存在する場合は、「printer1」のみで構いません。

重要
ドメインネームとして入力可能な文字の最大は、127文字(127バイト)です。

DNSサーバーとクライアントコンピューターの詳しい設定に関してはホストコンピューターのマニュアルを参照してください。

IPP(Internet Printing Protocol)を使用して印刷するには

Windows Me環境でIPPを使用して印刷する手順を説明します。

1 IPPクライアントソフトウエアのインストール

IPPクライアントソフトウエアのインストール方法について説明します。次の手順に従ってください。

❶ Windows MeのCD-ROMをセットする。

❷ [スタート]−[ファイル名を指定して実行]をクリックする。

❸ 「Q:¥add-ons¥ipp¥wpnpins.exe」と入力し、[OK]をクリックする。

「Q」は、CD-ROMを挿入したドライブ名です。

重要
[¥add-ons¥ipp]フォルダーにある[ipp.txt]を必ずお読みください。

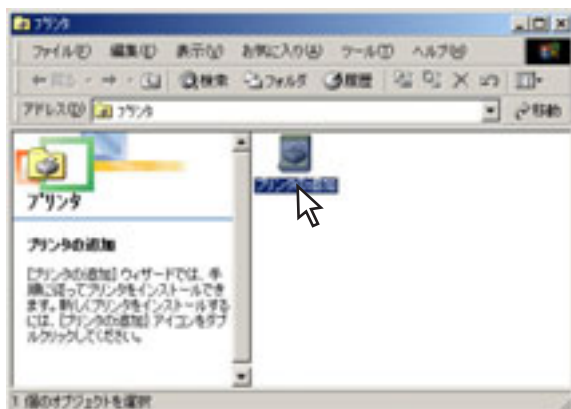
2 プリンタードライバーのインストール

プリンターをインストールします。次の手順に従ってください。

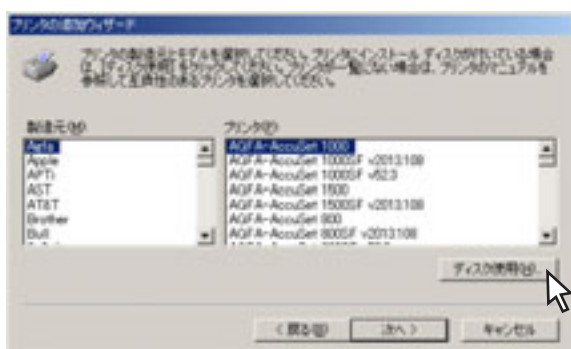
❶ プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。

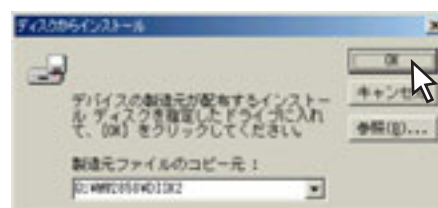
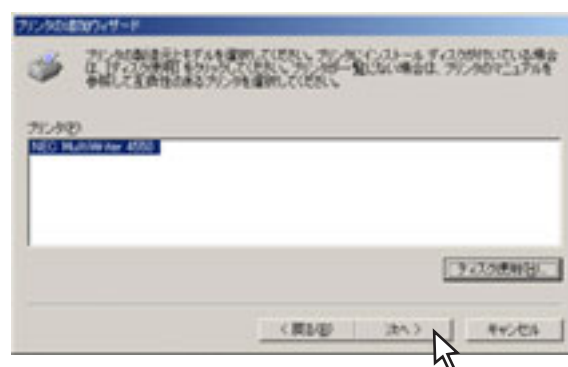
❷ [終了]をクリックする。

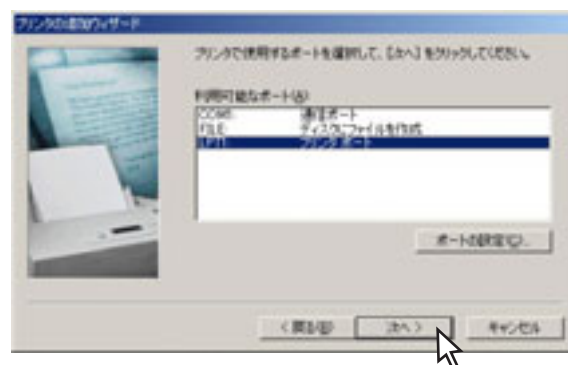
❸ [プリンタ]フォルダーを開く。

❹ ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックする。

❺ ［次へ］をクリックする。

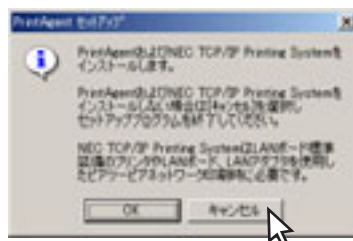
❻ ［ローカルプリンタ］を選び、［次へ］をクリックする。

❼ ［ディスク使用］をクリックする。

❽ ［製造元ファイルのコピー元］を入力して、［OK］をクリックする。

［製造元ファイルのコピー元］に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン（：）、円記号（¥）に続けて「MW4550¥DISK2」と入力します。

❾ 使用するプリンターを選択して、［次へ］をクリックする。

❿ ［LPT1:］を選び、［次へ］をクリックする。

次の「3 印刷先の変更」でIPPポートを作成するので、ここでは［LPT1:］を選びます。

⓫ **プリンターの名前を確認して、[完了]をクリックする。**

プリンタードライバーがインストールされます。

⓬ **[キャンセル]をクリックする。**

3 印刷先の変更

印刷先を変更します。次の手順に従ってください。

❶ **[MultiWriter 4550のプロパティ]ダイアログボックスを表示させる。**

[プリンタ]フォルダーの[NEC MultiWriter 4550]アイコンをクリックし、[ファイル]メニューの[プロパティ]をクリックします。

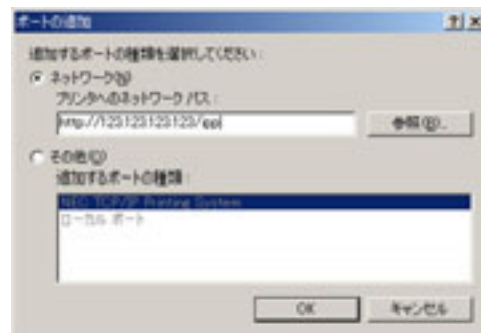
❷ **[詳細]タブをクリックする。**

❸ **[ポートの追加]をクリックする。**

❹ **[プリンタへのネットワーク パス]ボックスにプリンターのアドレスを入力する。**

重要

入力可能な形式は「http://」に限られます。

（入力例）

IPアドレスが「123.123.123.123」の場合

http://123.123.123.123/ipp

❺ **[OK]をクリックする。**

この後、テストページを印刷する場合は、[MultiWriter 4550のプロパティ]ダイアログボックスの[全般]シートで[印字テスト]をクリックしてください。テストページが印刷されます。

以上で設定は完了です。

Windows 98/95 日本語版

Windows 98/95からプリントサーバーを使用せず、ネットワークプリンターへ直接印刷するための設定について説明します。Windows 98/95から印刷するためには以下の2つの方法があります。

- NEC TCP/IP Printing System(PrintAgent) .... 添付のプリンターソフトウエアCD-ROMからプリンターソフトウエアをインストールして印刷します。
- NEC Internet Printing System(IPP) .... プリンターに添付のCD-ROMに収録されているNEC Internet Printing Systemを使用して印刷します。

これらのソフトウエアで印刷する前に、あらかじめプリンターにIPアドレスを設定する必要があります。「LANボードの設定」、「無線LANボードの設定」、または各LANアダプターに添付の取扱説明書を参照してIPアドレスを設定してください。
プリンターにIPアドレスを設定した後、各ソフトウエアをインストールしてください。

NEC TCP/IP Printing Systemを使用して印刷するには

NEC TCP/IP Printing System(NEC TCP/IP Port)を使用して印刷するための印刷先の変更について説明します。NEC TCP/IP Printing Systemは、PrintAgentに含まれています。PrintAgentのインストールについては2章の『「インストールプログラム」からのインストール』(53ページ)を参照してください。以下の手順はWindows 98 日本語版で説明しています。Windows 95 日本語版の場合も同じ手順です。

印刷先の変更

印刷先を変更します。次の手順に従ってください。

❶ **[MultiWriter 4550のプロパティ]ダイアログボックスを表示させる。**

[プリンタ]フォルダーの[NEC MultiWriter 4550]アイコンをクリックし、[ファイル]メニューの[プロパティ]をクリックします。

❷ **[詳細]タブをクリックする。**

❸ **[ポートの追加]をクリックする。**

❹ **[その他]、[追加するポートの種類]で[NEC TCP/IP Printing System]を選び、[OK]をクリックする。**

❺ **[インターネットアドレス入力]ボックスにプリンターのIPアドレスまたはドメインネームを入力する。**

❻ **[OK]をクリックする。**

[MultiWriter 4550のプロパティ]ダイアログボックスを閉じます。

以上で設定は完了です。

ドメインネームについて

NEC TCP/IP Printing SystemではIPアドレスの代わりにドメインネームを使用することができます。

ドメインネームを使用する場合はネットワーク上にDNSサーバーが存在し、プリンターのドメインネームが登録されていなければなりません。また、NEC TCP/IP Printing Systemをインストールしたクライアントコンピューターの[TCP/IPのプロパティ]設定画面でホスト名、ドメイン名、DNSサーバーのIPアドレスを設定する必要があります。

ドメインネームは階層構造により「.（ドット）」で区切られた名前を指します。たとえば、「sample.nec.co.jp」と呼ばれるドメインの「printer1」と呼ばれるプリンターを指定する場合のドメインネームは「printer1.sample.nec.co.jp」と入力します。
ただし、クライアントコンピューターが「printer1.sample.nec.co.jp」の同じドメインに存在する場合は、「printer1」のみで構いません。

チェック
ドメインネームとして入力可能な文字の最大は、127文字(127バイト)です。

DNSサーバーとクライアントコンピューターの詳しい設定に関してはホストコンピューターのマニュアルを参照してください。

NEC Internet Printing System(IPP)を使用して印刷するには

Windows 98/95の環境でIPPを使用して印刷する手順を説明します。IPPの機能は、プリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているNEC Internet Printing Systemを使用します。

重要

- NEC Internet Printing Systemは、プロキシーサーバーには対応していません。IPP対応プリンターへのアクセスにプロキシーサーバーの設定が必要な場合は印刷できません。
- NEC Internet Printing Systemは[プリンタ]フォルダーを開くと、プリンターの状態を確認します。

1 NEC Internet Printing Systemのインストール

NEC Internet Printing Systemのインストール方法について説明します。次の手順に従ってください。

❶ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

[プリンタソフトウエアCD-ROMメニュー]ダイアログボックスが表示されます。

お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

❷ **[ユーティリティ]をクリックする。**

❸ **「NEC Internet Printing System for Windows 98/95]を選択し、[フォルダを開く]をクリックする。**

重要

[¥NECIPS¥WIN98]フォルダーにある[Readme.txt]を必ずお読みください。

❹ **[Setup.exe]アイコンをダブルクリックする。**

❺ **[次へ]をクリックする。**

❻ **[登録ポートのプリンタURI]ボックスに登録するプリンターのIPアドレスを含むアドレスを入力する。**

ここで[登録]を行わなくても、インストール終了後に「印刷先の変更」で印刷先のポートを追加できます。

（入力例）

IPアドレスが「123.123.123.123（printer1.sample.nec.co.jp）」の場合

http://123.123.123.123/ipp

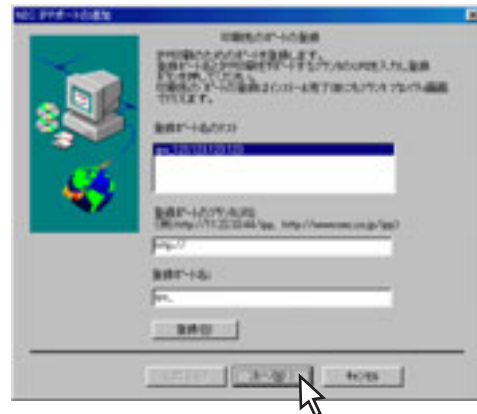
ipp://123.123.123.123/ipp

printer1.sample.nec.co.jp/ipp

チェック

IPアドレスの代わりにドメインネームを使用することができます。ドメインネームとして入力可能な文字の長さは、最大127文字(127バイト)です。

❼ **[登録]をクリックする。**

[登録ポート名のリスト]ボックスにポートが登録されます。

❽ **[次へ]をクリックする。**

❾ **[開始]をクリックする。**

❿ **[OK]をクリックする。**

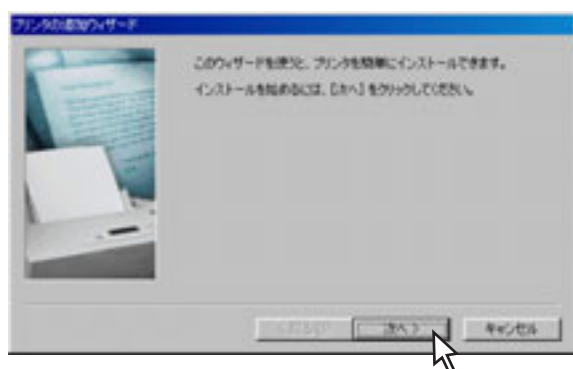
2 プリンタードライバーのインストール

プリンタードライバーをインストールします。次の手順に従ってください。

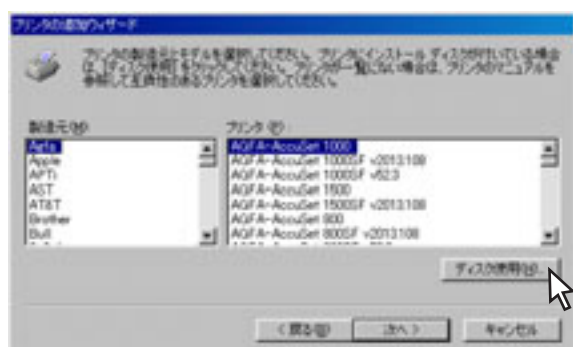
❶ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

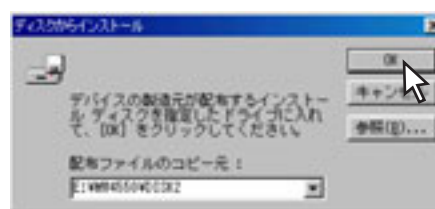
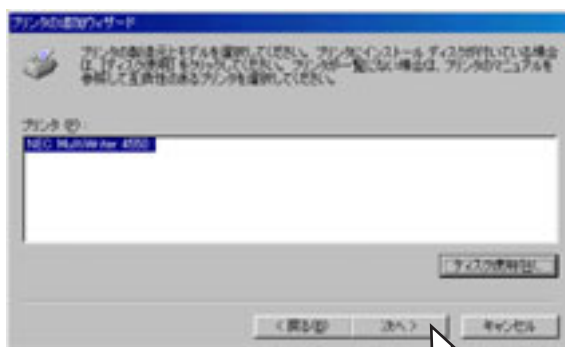
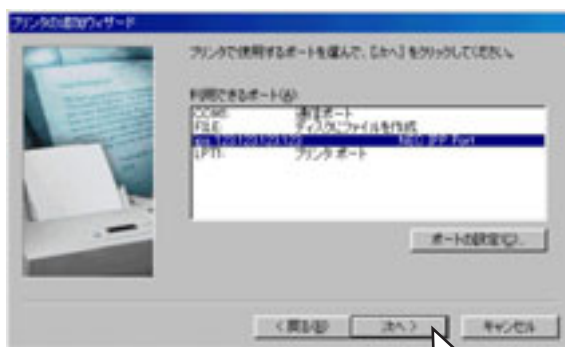
❷ **[終了]をクリックする。**

❸ **[プリンタ]フォルダーを開く。**

❹ ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックする。

❺ ［次へ］をクリックする。

❻ ［ローカルプリンタ］を選び、［次へ］をクリックする。

❼ ［ディスク使用］をクリックする。

❽ ［配布ファイルのコピー元］を入力して、［OK］をクリックする。

［配布ファイルのコピー元］に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン（：）、円記号（¥）に続けて「MW4550¥DISK2」と入力します。

❾ 使用するプリンターを選択して、［次へ］をクリックする。

❿ 使用するポートを選び、［次へ］をクリックする。

⓫ プリンターの名前を確認して、［完了］をクリックする。

プリンタードライバーがインストールされます。

⓬ **[キャンセル]をクリックする。**

この後、テストページを印刷する場合は、[MultiWriter 4550のプロパティ]ダイアログボックスの[全般]シートで[印字テスト]をクリックしてください。テストページが印刷されます。

以上で設定は完了です。

3　印刷先の変更

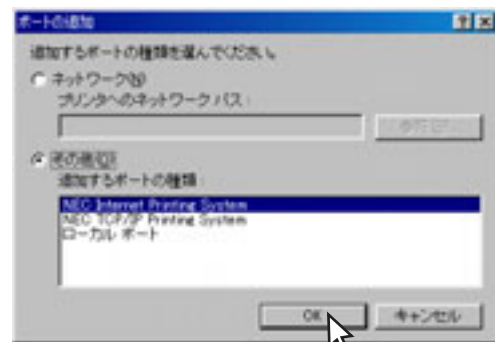
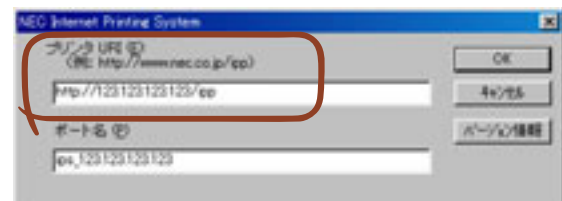
NEC Internet Printing Systemをインストールした後に印刷ポートを追加する場合の手順について説明します。

❶ **[MultiWriter 4550のプロパティ]ダイアログボックスを表示させる。**

[プリンタ]フォルダーの[NEC MultiWriter 4550]アイコンをクリックし、[ファイル]メニューの[プロパティ]をクリックします。

❷ **[詳細]タブをクリックする。**

❸ **[ポートの追加]をクリックする。**

❹ **[その他]、[追加するポートの種類]で[NEC Internet Printing System]を選択し、[OK]をクリックする。**

❺ **[プリンタURI]ボックスにプリンターのURIを入力する。**

（入力例）

IPアドレスが「123.123.123.123（printer1.sample.nec.co.jp）」の場合

http://123.123.123.123/ipp

ipp://123.123.123.123/ipp

printer1.sample.nec.co.jp/ipp

チェック

IPアドレスの代わりにドメインネームを使用することができます。ドメインネームとして入力可能な文字の長さは、最大127文字（127バイト）です。

❻ **[OK]をクリックする。**

[MultiWriter 4550のプロパティ]ダイアログボックスを閉じます。

以上で設定は完了です。

ターミナルサービス環境

Windows 2000またはWindows NT 4.0で動作しているターミナルサービス環境でMultiWriterを利用する場合は、ターミナルサービス用プリンタードライバーをインストールします。

対応するOSは、以下のとおりです。

- Microsoft Windows 2000 Server ターミナルサービス(日本語版)
- Microsoft Windows NT Server 4.0 Terminal Server Edition(日本語版)

チェック
- PrintAgentは、ターミナルサービス環境には対応していません。
- ターミナルサービス用プリンタードライバーは、PrintAgentに対応していません。

ターミナルサービス用プリンタードライバーのインストール

プリンターソフトウエアCD-ROMのインストールプログラムを使ってターミナルサービス用のプリンタードライバーをインストールします。

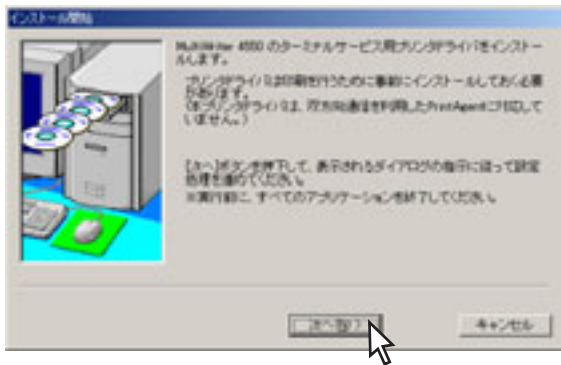
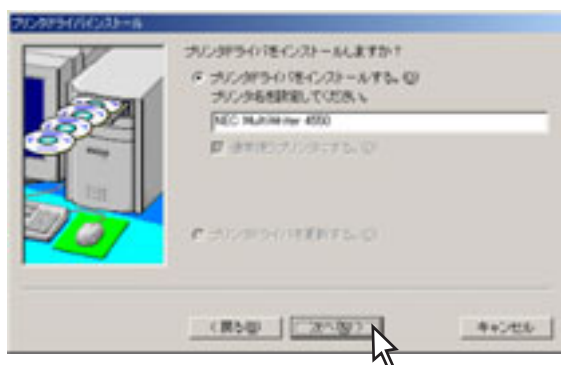
ここではWindows 2000 Server ターミナルサービス 日本語版を例にとり、プリンターソフトウエアのインストール手順を説明します。

❶ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

[プリンタソフトウェアCD-ROMメニュー]が起動します。

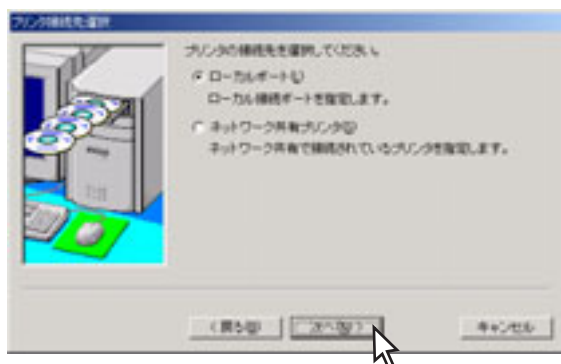
お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合はCD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

❷ **[インストール]をクリックする。**

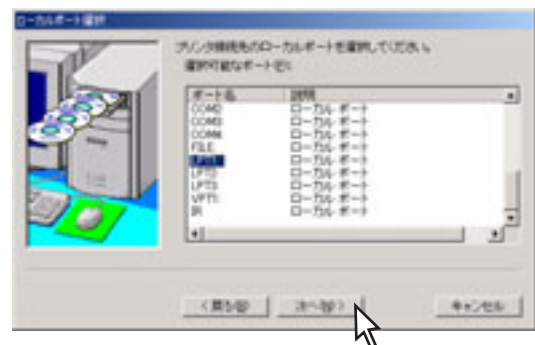
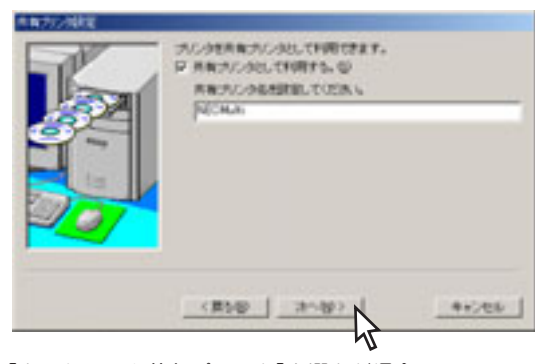
❸ **右側のボックスから[MultiWriter 4550(ターミナルサービス用プリンタドライバ)]を選んで[インストール開始]をクリックする。**

❹ [次へ]をクリックする。

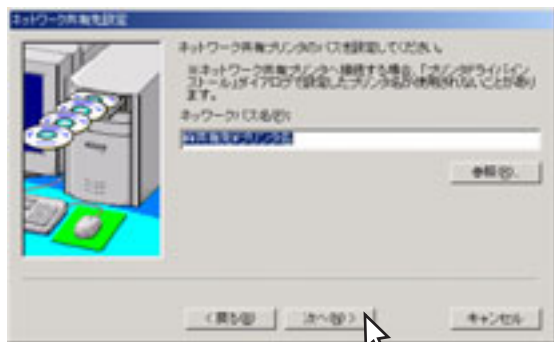
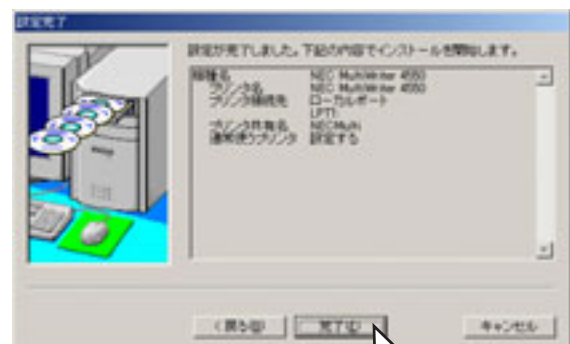
❺ [プリンタドライバをインストールする]を選び、[次へ]をクリックする。

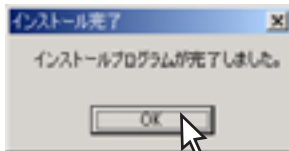
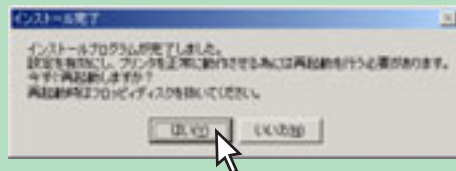
❻ プリンターの接続先を選び、[次へ]をクリックする。

ネットワーク接続されていない場合はこのダイアログボックスは表示されません。次の「[ローカルポート]を選んだ場合」へ進んでください。

- [ローカルポート]は、コンピューターがプリンターとプリンターケーブルで接続されているときに選びます。
- [ネットワーク共有プリンタ]は、MultiWriterがプリントサーバー上に共有されているときに選びます。

＜[ローカルポート]を選んだ場合＞

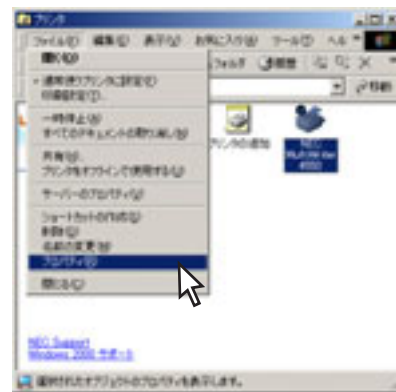
① 希望するポートを選び[次へ]をクリックする。

② 共有プリンターとして設定する場合は[共有プリンタとして利用する]をチェックして[次へ]をクリックする。

＜[ネットワーク共有プリンタ]を選んだ場合＞

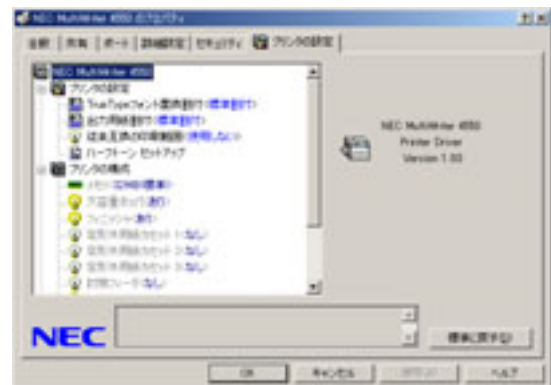
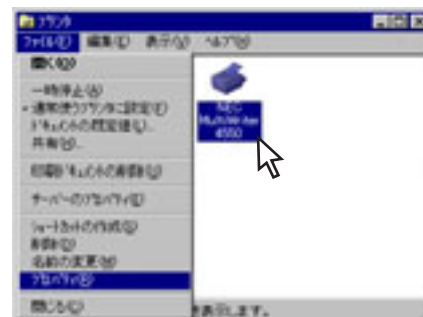
プリンターの接続先を指定し、[次へ]をクリックする。プリンターの接続先を[ネットワークパス名]に直接入力するか、[参照]をクリックして表示される一覧から指定します。

❼ 設定した内容を確認し、[完了]をクリックする。

❽ [OK]をクリックする。

❾ インストールが終了したら[OK]をクリックする。

再起動を促すダイアログボックスが表示された場合、画面のメッセージに従ってコンピューターを再起動してください。

❿ プリンタードライバーが正常にインストールされていることを確認する。

[プリンタ]フォルダー内に、[NEC MultiWriter 4550]アイコンが登録されている。

⓫ オプション機器の設定を行う。

<Windows 2000の場合>
[プリンタ]フォルダー内の[NEC MultiWriter 4550]アイコンをクリックし、ファイルメニューから[NEC MultiWriter 4550]プロパティを開く。

[プリンタの設定]シートで、プリンターの構成を設定する。

<Windows NT 4.0の場合>
プリンタフォルダー内の[NEC MultiWriter 4550]アイコンをクリックし、ファイルメニューから[NEC MultiWriter 4550]プロパティを開く。

[プリンタの設定]シートで、プリンターの構成を設定する。

UNIX環境の設定

UNIX環境で設定および印刷する方法について説明します。

IPアドレスの設定

UNIXマシンからIPアドレスを設定する方法には、主に「arp」コマンドと「ping」コマンドを使って設定する方法とTelnetの2つがあります。
Telnetを使ったIPアドレスの設定方法については「ユーティリティーによるLANボードの設定」の「Telnet」の「IPアドレス」を参照してください。

ここでは、「ping」コマンドを使った設定方法について説明します。あらかじめ、ホストマシン側のARPアドレス変換テーブルにプリンターのARPエントリーを作っておくことにより、IPアドレスを変更できます。

以下の手順に従ってください。

チェック

- ここで示す方法でIPアドレスを設定すると、LANボードを初期化しないと同じ方法では設定できません(「ネットワーク設定の初期化」(106ページ)参照)。
- LANボードの設定を初期化すると他のOSの設定もクリアされ、工場出荷時の設定に戻ります。クリアする前に、コンフィグレーションページを印刷して設定を控えておいてください(「コンフィグレーションページの印刷」(107ページ)参照)。
- プリンターにIPアドレスを設定する場合は、設定するために使うコンピューターとプリンターがIPルーターなどを介さない(同一ネットワーク内)で接続された環境で行ってください。

❶ エディターを使用して、ホストコンピューターの「/etc/hosts」ファイルにプリンターのIPアドレスとホスト名を追加する。

```
ddd.ddd.ddd.ddd <ホスト名>
```

「ddd.ddd.ddd.ddd」はプリンターの変更したいIPアドレスです。<ホスト名>はプリンター名を入力してください。

重要

設定されるプリンターのIPアドレスは設定するために使うホストと同一のネットワークアドレスでなくてはなりません。

プリンターのIPアドレスがホストと異なるネットワークアドレスの場合は、ホストのサブネットマスクを一時的に変更して、同一ネットワークにあるかのように設定し直す必要があります。

次にUNIXの/etc/hostsファイルの表示例を示します。

```
:        :         :
192.9.200.20       pr4550  #MultiWriter 4550
:        :         :
:        :         :
```

「192.9.200.20」はプリンターのIPアドレスです。
「pr4550」はプリンターのホスト名です。
「#MultiWriter 4550」はコメント文です。

❷ ホストコンピューターのアドレス変換テーブルにプリンターのエントリーを追加する。

```
arp -s <ホスト名> <Ethernetアドレス>
```

<ホスト名>は手順1で指定したプリンターのホスト名です。<Ethernetアドレス>には、コンフィグレーションページのMAC Addressの値を入力してください。

＜実行例＞

```
arp -s pr4550 00:00:4C:29:00:00
```

arpコマンドの詳細については、各システムのコマンドマニュアルを参照してください。

❸ pingコマンドを実行する。

新しいIPアドレスに変更されます。

＜実行例＞

```
ping pr4550
```

❹ コンフィグレーションページを印刷してIPアドレスが変更されたことを確認する。

手順については、「コンフィグレーションページの印刷」（107ページ）を参照してください。

以上で設定は完了です。

ホストコンピューター側のセットアップ

「lprコマンド」か「ftpコマンド」のどちらを使用する場合も、プリンターのIPアドレスとホスト名のhostsファイルに登録する必要があります。

hostsファイルにIPアドレスを登録すると、ftpコマンドを使用できるようになります。lprコマンドを使用する場合は、IPアドレスの登録の他に次に示す設定を行う必要があります。

lprコマンドを使用する場合

lprコマンドを使用する場合、通常ホストコンピューター側のprintcapファイルでリモートプリンターとなるプリンターを定義する必要があります。また、プリンターが持つフィルターを使う場合は、その定義も同時に行います。フィルターは以下のフィルター名の中からprintcapファイル内でコマンドオプションのrpで定義してください。

フィルター名	機　能	
lpb	フィルターなし	バイナリーファイルの転送に使います。
lpa	LF→CR+LF	改行コードLF（0A）をCR+LF（0D0A）に変換します。
lpbf	lpb+FF	ファイルの最後にFFコード（0C）を付加します。
lpaf	lpa+FF	LFをCR+LF（0B0A）に変換しファイルの最後にFFコード（0C）を付加します。
euc	EUC→JIS	EUCコードをプリンターJISコードに変換します。
EUC	EUC→JIS LF→CR+LF +FF	EUCコードのプリンターJISコード変換に加えてLFコード（0A）変換とFFコード（0C）付加を行います。
sjis	Shift-JIS→JIS	Shift-JISコードをプリンターJISコードに変換します。
SJIS	Shift-JIS→JIS LF→CR+LF +FF	Shift-JISコードのプリンターJISコード変換に加えてLFコード（0A）変換とFFコード（0C）付加を行います。

その他未登録のフィルター名はlpbとみなされます。

（BSD系UNIXのprintcapファイルの設定例）

```
pt0¦no convert:¥
  :lp=:rm=<ホスト名>:¥
  :sd=/usr/spool/lpd0:
pt1¦ascii file:¥
  :lp=:rm=<ホスト名>:rp=lpa:¥
  :sd=/usr/spool/lpd1:
pt2¦binary with FF:¥
  :lp=:rm=<ホスト名>:rp=lpbf:¥
  :sd=/usr/spool/lpd2:
pt3¦ascii with FF:¥
  :lp=:rm=<ホスト名>:rp=lpaf:¥
  :sd=/usr/spool/lpd3:
```

printcapの詳細についてはホストコンピューターの取扱説明書を参照してください。

印刷方法

ホストコンピューターからプリンターへのファイルの転送には、以下の2つの方法があります。

- ftpコマンドによる転送
- lprコマンドによる転送

ftpコマンドによる転送

ftp（file transfer protocol）コマンドとは、通常UNIX上でコンピューター間のデータ転送に使用されるプロトコルで、TCP/IPの上位層に位置します。

プリンターは、このftpコマンドプロトコルで、クライアント側から転送されたファイルを受け取ることができるサーバー機能をサポートしています。

印刷ファイルは、ftpコマンドを使いプリンターに転送することで印刷されます。サポートしているコマンドは次の3つです。

コマンド名	機　　能
binary	転送されたファイルはそのままプリンターへ送られます。
ascii	プリンターでLF（0A）をCR+LF（0D0A）に変換します。デフォルトはこのモードです。
put （send）	ファイルの転送に使用します。宛先ファイルとして「FEED」あるいは「feed」と入力すると、ファイルの最後にフォームフィードを付加します。

ファイルの転送は、次の例のようにクライアント側でftpコマンドプロトコルのコマンドを実行することにより行われます。

（ftpコマンドによるファイル転送例）

```
olive%ftp pr4550　（[Enter]キーを押してftpコマンドを起動します。）
Connected to pr4550
220 NEC Network Interface Version 02.02 FTP Service Ready
Name(pr4550:)　（[Enter]キーを押します。）
230 NEC Printer Log-In Complete.
ftp>binary　（[Enter]キーを押してファイルの形式を指定します。）
200 Type set to BINARY.
ftp>put data.plt　（[Enter]キーを押してdata.pltファイルを転送します。）
200 PORT command successful
250 Requested file Action okay,completed
13083 bytes sent in 0 seconds(12.78 kbytes/s)
ftp>quit　（ftpコマンドを終了します。）
221 Services closing control connection
olive%
```

転送方法は、ワークステーションまたはパーソナルコンピューター用ソフトウエアによって多少異なります。詳しくは、それぞれのコマンド説明書を参照してください。

lprコマンドによる転送

BSD系UNIXで標準的なリモートプリント機能（lprコマンド）を使ってプリンターにデータを出力することができます。

また、あらかじめprintcapファイルでプリンターにフィルターを登録しておくと、そのプリンターを指定するだけでプリンターに登録されたフィルターを使用してデータの出力を行うことができます。
フィルターを指定しない場合は、ホストコンピューターから受信したデータを無変換のままプリンターに出力するので、あらかじめホスト側で出力するデータの形式をプリンターに合わせておく必要があります。

プリンター名は、ホストコンピューターの/etc/printcapファイルにプリンターを登録するときに指定します。printcapの設定については、「lprコマンドを使用する場合」を参照してください。また、printcapの詳細については、ホストコンピューターのコマンド説明書を参照してください。

ホストコンピューターからは、次のようなコマンドを入力し、「Enter」キーを押してファイルを転送します。

＜表示例＞

```
lpr -Ppt0 <ファイル名>
```

ファイルの転送方法は、ソフトウエアまたはコンピューターによって多少異なります。詳しくは、それぞれのコマンド説明書を参照してください。

ユーティリティーによるLANボードの設定

ここでは、LANの設定項目を確認、変更する以下のユーティリティーの詳細について説明します。

- WWWブラウザー
- Telnet
- PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ

重要

LANボードの設定項目は、プリンターやLANボードの種類によって異なります。

WWWブラウザー

プリンターをネットワーク環境で利用するための設定を汎用のWWWブラウザーで実行する方法について説明します。

WWWブラウザーの起動

プリンターに設定されたIPアドレスをWWWブラウザーのURL入力欄に入力することでwebページを開くことができます。

```
http://ddd.ddd.ddd.ddd/
```

「ddd.ddd.ddd.ddd」はLANボードのIPアドレスです。

（実行例）

```
http://11.22.33.44/
```

重要

工場出荷状態または異なるネットワークアドレスのIPアドレスを設定する場合は以下のことにご注意ください。

- ホストコンピューターのルーティングテーブルにルートパスを一時的に設定する必要があります。
- 接続時はプロキシーサーバーを使用しない設定にしてください。
- プリンターとホストコンピューターがルーターなどを介さないで接続された環境で行ってください。

ホストコンピューターの設定に関してはホストコンピューターのマニュアルを参照してください。

チェック

LANの管理者設定画面ではフレーム表示対応のWWWブラウザーを使用する必要があります。Internet Explorer 3.X以降または、Netscape Navigator 3.X以降などのフレーム対応ブラウザーをご使用ください。

LANボードとの接続に成功すると右のような画面が開きます。

WWWブラウザーでは以下の情報を設定または参照することができます。

- プリンタのステータス
- プリンタの情報
- 印刷履歴
- LANの設定情報
- LANの管理者設定画面

LANボードの管理者設定画面ではフレーム表示対応のWWWブラウザーを使用する必要があります。Internet Explorer 3.X以降またはNetscape Navigator 3.X以降などのフレーム対応ブラウザーをご使用ください。

画面の構成

起動画面

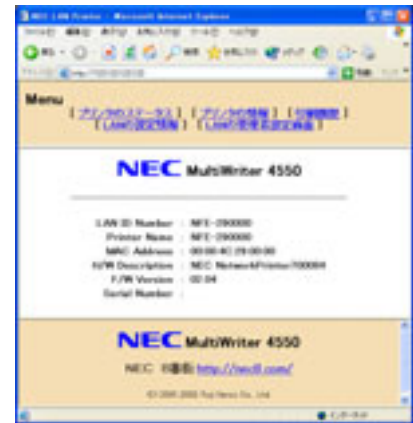
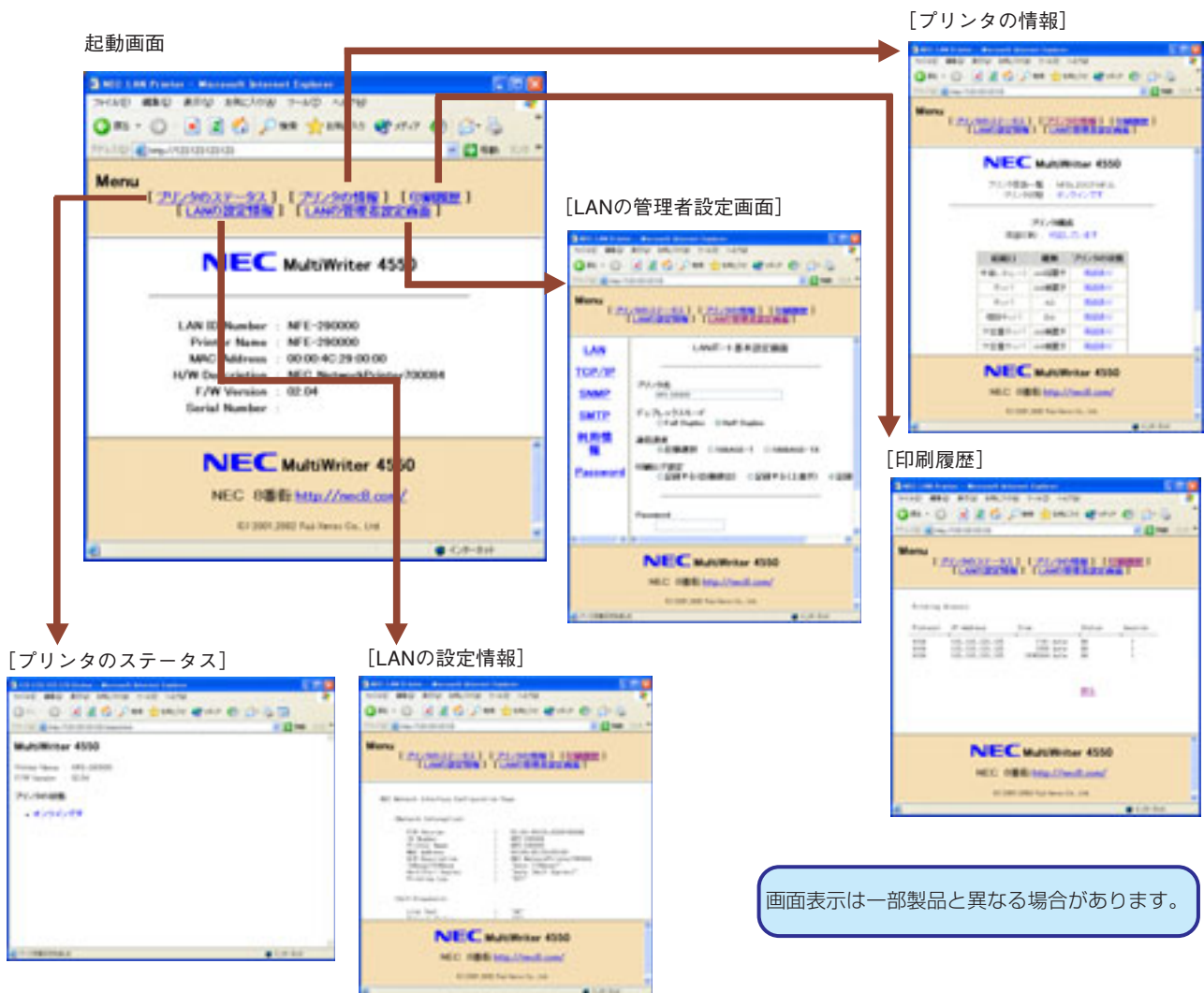
［プリンタの情報］

［LANの管理者設定画面］

［印刷履歴］

［プリンタのステータス］

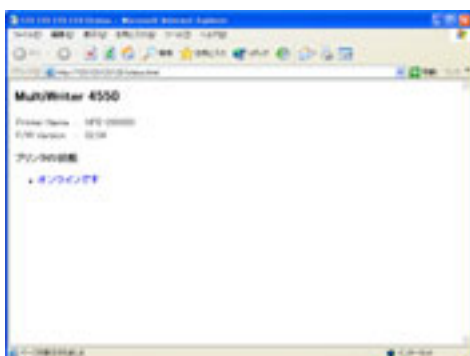
［LANの設定情報］

画面表示は一部製品と異なる場合があります。

各メニューの詳細

起動画面から選択するメニューの詳細について説明します。

プリンタのステータス

プリンタのステータス画面では、プリンターの状態が表示されます。
この画面は起動画面とは別の新規ブラウザーとして起動されます。

チェック
- 状態表示の周期は変更できません。
- プリンター名はLANボードの管理者設定画面で変更することができます。

- Printer Name
  ネットワーク上から見たプリンターの名前を示します。
- F/W Version
  ネットワーク関係のファームウェアのバージョンを示します。
- プリンタの状態
  30秒周期にプリンターの状態を監視し、状態が自動的に更新されます。

プリンタの情報

プリンタの情報画面では、プリンターの状態、構成情報が表示されます。

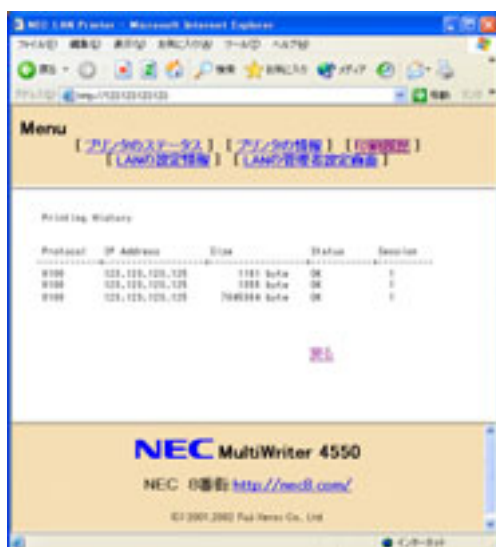
- プリンタ言語一覧
  プリンターがサポートしている処理言語を一覧表示します。
- プリンタ状態
  プリンターの情報画面を開いたときのプリンターの状態が表示されます。

> チェック
> ステータスはWWWブラウザーの表示を更新するまで変わりません。

- プリンタ構成
  プリンターの給紙ユニット情報、用紙サイズ、および用紙の有無が表示されます。

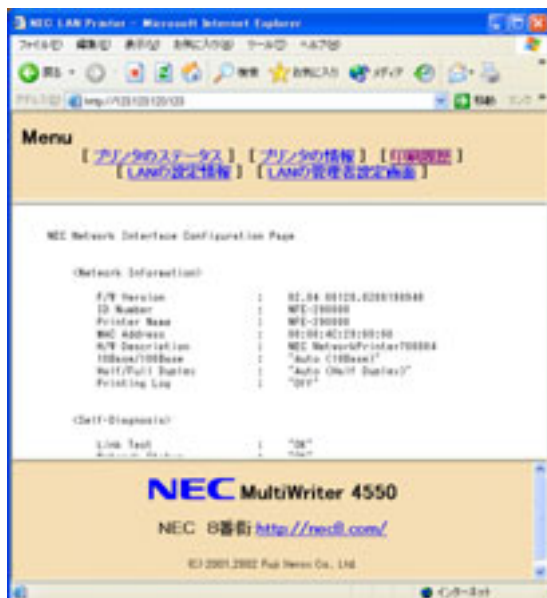
印刷履歴

印刷履歴画面では、ネットワーク経由で印刷した印刷履歴が表示されます。

- プリンターの印刷履歴を表示する場合は、印刷履歴を記録するための設定変更が必要です。工場出荷時の設定では[記録しない]になっています。
- 印刷履歴を記録するための設定変更は、LANの管理者設定画面で行います。

- Protocol：　印刷アプリケーションプロトコルを示します。
- IP Address：　ホストコンピューターのアドレスです。
- Size ：　プリンターが受信したデータサイズを示します。
- Satus：　通信結果を示します。
- Session：　プリンターが受けている印刷リクエストの数を示します。

LANの設定情報

LANの設定情報画面では、ネットワーク関係の設定一覧を表示します。

この画面は、コンフィグレーションページより得られる印刷出力情報を画面に表示したものです。

LANの管理者設定画面

LANの管理者設定画面では、ネットワーク関係の設定確認、設定変更を行うことができます。

チェック

- パスワードの変更に関してはPassword設定画面を参照してください。
- 出荷時のパスワードは「NECPRADMIN」です。
- パスワードを忘れた場合は、設定を初期化し、工場出荷時の設定に戻してください。その場合は、他の設定も工場設定値に戻るため、再設定が必要です。初期化については、「ネットワーク設定の初期化」(106ページ)を参照してください。

設定の登録は大きく分かれた個々のブロック単位で行います。設定変更後に[設定]を押して登録を行ってください。

設定項目は大きく次の6つに分かれています。

- LAN
  [LANの基本設定画面]が表示され、LAN固有の基本設定を行います。
- TCP/IP
  [TCP/IP設定画面]が表示され、IPアドレス設定など、ネットワーク接続に必要な設定を行います。
- SNMP
  [SNMP設定画面]が表示され、SNMP管理プロトコルを使用する場合に、必要な設定を行います。
- SMTP
  [SMTP設定画面]が表示され、レーザープリンターのトナー残量が少なくなった場合に電子メールを送信する設定を行います。
- 利用情報
  [利用情報 設定画面]が表示され、利用情報の設定を行います。
- Password
  [Password設定画面]が表示され、設定を変更するときに入力するパスワードの変更が行えます。

LANポート基本設定画面

LANポート基本設定画面では、プリンター名や通信速度などの基本的な設定を行います。

- プリンタ名
  ネットワークから見たプリンターの名前を示します。
  登録可能な文字列は半角大文字の英字、数字、ハイフン「-」、およびアンダーバー「_」です。
- デュプレックスモード
  スイッチングハブ接続時のパケットの送受信設定を行います。
  - Full Duplex(全二重通信)
    パケットの送受信を同時に行うことができます。
  - Half Duplex(半二重通信)
    パケットの送受信をそれぞれ別々に実行します。

「通信速度」で「自動選択」が選ばれているときはデュプレックスモードの設定は無効となり自動選択になります。

- 通信速度
  通信速度の設定を行います。
  - 自動選択
    10BASE-Tまたは100BASE-TXを自動判別し、通信速度を決定します。本設定選択時は、デュプレックスモードも自動判別し、決定します。
  - 10BASE-T
    10BASE-T固定の接続設定になります。
  - 100BASE-TX
    100BASE-TX固定の接続設定になります。

チェック

10BASE-Tまたは100BASE-TX選択時は、デュプレックスモードの設定が有効になります。

- 印刷ログ設定
  LAN経由の印刷履歴を記録するための設定を行います。
  - 記録する(自動排出)
    印刷履歴を記録するとともに、最大登録ジョブ数になると、自動的に印刷履歴を印刷出力します。
    最大登録ジョブ数：50
  - 記録する(上書き)
    印刷履歴を記録するとともに最大登録ジョブ数を超えて印刷すると、一番古いジョブから削除(上書き)されます。
  - 記録しない
    印刷履歴は記録されません。

チェック

- 印刷履歴はプリンターの電源切断時またはリセット時にすべてクリアされ、内部に保持されません。
- IPアドレス等の設定を変更した場合もクリアされます。
- 設定を[記録する]から[記録しない]に変更した場合、LANボードが保持している印刷履歴を印刷してから設定が変更されます。

- Password
  パスワードを入力します。

無線プリンタLANボード(PR-WL-11)を取り付けている場合は、無線LANプリンタボードの取扱説明書を参照してください。

TCP/IP設定画面

TCP/IPに関する設定を行います。

- DHCP
  IPアドレスをDHCPサーバーから自動的に取得する機能を使用するかしないかを設定します。[使用する]選択時にDHCPが有効となります。DHCPの詳細については「DHCPの設定」(98ページ)を参照してください。
- IPアドレス
  プリンターのIPアドレスを設定します。

> **重要**
>
> 工場出荷状態または異なるネットワークアドレスのIPアドレスを設定する場合は、次のことに注意してください。
>
> - ホストコンピューターのルーティングテーブルにルートパスを一時的に設定する必要があります。
> - 接続時はプロキシーサーバーを使用しない設定にしてください。
> - プリンターとホストコンピューターがルーターなどを介さないで接続された環境で行ってください。
> - 異なるIPアドレスを設定すると応答が返らなくなります。一度、WWWブラウザーを閉じて正しいIPアドレスをURLに指定してください。

- サブネットマスク
  LANボードのサブネットマスクを設定します。
- ゲートウェイ
  ゲートウェイアドレスを設定します。

チェック

- ゲートウェイアドレスの設定はSNMPのTrap機能および電子メール配信機能を使用する場合に必要です。
- 使用しないときは「0.0.0.0」を登録してください。

- FTPタイムアウト
  FTPログイン時のタイムアウト時間を設定します。

  設定範囲　：5～60（分）
  初期値　：10（分）
- 最大セッション数
  TCP/IPの最大接続数を設定します。
  この設定はすべてのTCP/IPアプリケーション層プロトコルが対象となります。

  設定範囲　：1～64
  初期値　：64
- 通信タイムアウト
  TCP/IP接続時にホストコンピューターから応答がない場合のタイムアウト時間を設定します。

  設定範囲　：30～7200（秒）
  初期値　：120（秒）
- AutoIp設定（PING）
  UNIXコマンドによるIPアドレス設定時にPINGによるIPアドレス設定を許可するかしないかを設定します。
  ［設定する］選択時にPINGによる設定変更が可能です。
- KeepAlive
  ［通信タイムアウト］で設定した時間が経過した場合に、ホストコンピューターにキープアライブパケットを送信するかしないかを設定します。
  キープアライブパケット送信時にホストコンピューターから対応がある場合は、TCP/IP接続が維持されます。
  ［使用する］選択時にキープアライブパケットが送信されます。
- アクセス制限
  IPアドレスによるアクセス制限機能を使用するか、しないかを設定します。詳しくは「アクセス制限」を参照してください。
- アクセス制限1
  アクセス制限1の各項目を設定します。項目は以下の4項目で構成されています。
  - 有効／無効設定
    アクセス制限1のパラメーターの有効／無効を設定する。
  - アクセス許可／拒否設定
    アクセス制限1のIPアドレス／サブネットマスクにマッチしたパケットの取り扱いを設定する。
  - アクセス制限を行うIPアドレス
    アクセス制限を行うIPアドレスを設定します。
    設定範囲　：各オクテットは0～255
    初期値　：0.0.0.0
  - アクセス制限を行うIPアドレスのサブネットマスク
    アクセス制限を行うIPアドレスのサブネットマスクを設定する。
    設定範囲　：各オクテットは0～255
    初期値　：0.0.0.0
- アクセス制限2～5
  各パラメーター、入力条件はアクセス制限 1 と同じです。

- Password
  パスワードを入力します。

SNMP設定画面

- 認証されたコミュニティ名
  Get Request、Set Requestコマンド通信に必要なコミュニティ名を設定します。
  コミュニティ名には異なる名称を最大4つまで登録できます。
- Trapの設定
  Trap送信先のTrapマネージャの登録を最大4つまで行うことができます。
  それぞれのTrapマネージャに対し、以下の設定が必要です。
  [使用する]選択時に有効となります。
  - IPアドレス
    Trap送信するホストコンピューターのIPアドレスを設定します。
  - コミュニティ名
    ホストコンピューターがTrapを受け付けるコミュニティ名を設定します。

> ✔チェック
>
> Trap送信先ホストコンピューターのIPアドレスのネットワークアドレスがプリンターのネットワークアドレスと異なる場合はゲートウェイアドレスの設定が必要です。
>
> TCP/IP設定の[ゲートウェイアドレス]欄でゲートウェイアドレスを設定してください。

SMTP設定画面

プリンターのトナー残量が少なくなると、電子メールを送信して通知します。

- トナーの残量が少ないとき、メールで通知
  プリンターのトナーの残量が少ない場合に電子メールを送信するかしないかを設定します。[する]を選択している場合に、有効となります。

チェック
- トナーの残量が少なくなった初期の状態において、プリンター側のセンサーの状況により、数回電子メールが送信される可能性があります。
- 電子メール送信後、トナーの補給またはカートリッジの交換が行われる前に送信先メールアドレスなどのパラメーターが変更されると、再度、電子メールが送信されます。

- メールサーバーのIPアドレス
  メールサーバーのIPアドレスを設定します。

チェック
メールサーバーのIPアドレスのネットワークアドレスがLANボードのネットワークアドレスと異なる場合は、ゲートウェイアドレスの設定が必要です。
TCP/IP設定画面の[ゲートウェイアドレス]ボックスでゲートウェイアドレスを設定してください。

- To:のメールアドレス
  電子メール送信先のメールアドレスを入力します。

チェック
メールのSubjectは以下で固定です。
Subject: [NECNIC Report] Printer low-toner

- Cc:のメールアドレス
  電子メール送信先の写しが必要な場合にメールアドレスを入力します。
- From:のメールアドレス
  電子メール送信元のメールアドレスを変更します。初期値として「PRN@domain-name」が設定されています。必要に応じて、送信元アドレスの変更を行ってください。

チェック
From：送信元アドレスを入力する場合
「ユーザー名@ドメイン名」の形式で必ず入力してください。
「@」がない場合や「@」の前後に文字列がない場合は入力エラーとなり、設定変更されません。

- メール本文
  電子メールの本文に記載するコメントを入力します。3行まで入力できます。各行ともに最大80文字（80バイト）、計240文字の入力可能です。

チェック
本文として使用可能な文字列は、ASCIIコード：0020h～0007Eh（16進）の範囲に限ります。ただし、以下の文字コードは使用することができません。
- “（0022h）
- &（0026h）
- ;（003Bh）
- <（003Ch）
- >（003Eh）

- Password
  パスワードを入力します。

利用情報 設定画面

- 利用情報記録
  利用情報機能を使用するか、しないかを設定します。
- 利用情報サーバーのIPアドレス
  FTPサーバーのIPアドレスを入力します。
  初期値：　0.0.0.0
  初期値の場合、利用情報はプリンターからコンピューターへ送信されず、印刷出力されます。
- ログインユーザー名
  初期値：　anonymous
  使用できる文字：　半角英数、アンダーバー「_」、およびハイフン「-」。32文字まで有効
- ログインパスワード
  初期値：　PRN@domain-name
  使用できる文字：　文字コード（0x20-0x7F）、32文字まで有効
- サーバーのポート番号
  初期値：　21
  設定範囲：　0～65535
- 利用情報ファイル名
  初期値：　prXXXXXX.csv（有線LANボードの場合）
  使用できる文字：　半角英数、アンダーバー「_」、ハイフン「-」、ドット（0x2e）「.」、64文字まで有効。
  ファイル名は、ディレクトリー指定（'/'）ができます。ファイル名は変更できません。ファイル名が存在しない場合は、エラーとなります。
- Password
  パスワードを入力します。

Password設定画面

設定変更するときに入力するパスワードの変更方法を説明します。

画面の指示に従い、以下の3つのパスワードをすべて入力して新しいパスワードの登録を行ってください。

- 現在のパスワード入力
- 新しいパスワード入力
- 新しいパスワード再入力

出荷時のパスワードは、「NECPRADMIN」です。

チェック

- パスワードとして使用可能な文字列は半角英字、数字、 ハイフン「-」、およびアンダーバー「_」です。
- 英字の大文字と小文字は区別されます。
- WWWブラウザーからのパスワード変更によりTelnetのログインに必要なパスワードも同時に変更されます。
  Telnetによるパスワード設定に関しては「Telnet」を参照してください。
- 新しいパスワードは、次回のログイン時から有効になります。
- パスワードを忘れた場合は、設定を初期化し、工場出荷時の設定に戻してください。その場合は、他の設定も工場設定値に戻るので、再設定が必要です。初期化に関しては「ネットワーク設定の初期化」(106ページ)を参照してください。

Telnet

ネットワーク環境で利用するための設定をTelnetで変更する方法について説明します。Telnetで接続(ログイン)すると以下の情報を設定または参照することができます。

- IPアドレス
- サブネットマスク
- ゲートウェイアドレス
- アクセス制限
- SNMP
- パスワード
- LANボード管理情報

チェック

- Telnetでログインする際はパスワードの入力が必要です。
- パスワードの設定に関しては「パスワード」を参照してください。
- Telnetでログインできるユーザーは1人です。2人以上で同時にログインすると最初にログインしたユーザーのみ受け付けます。

Telnet起動画面

Telnetを使用して設定を変更することができます。

❶ **ログインを希望するプリンターのIPアドレスを指定して、「Enter」キーを押す。**

```
Telnet ddd.ddd.ddd.ddd
```

「ddd.ddd.ddd.ddd」はプリンターのIPアドレスです。
(実行例)

```
Telnet 11.22.33.44
```

チェック

プリンターのIPアドレスがホストコンピューターと異なるネットワークアドレスの場合、ホストコンピューターのルーティングテーブルにルート・パスを一時的に設定する必要があります。

設定に関しては、ホストコンピューターのマニュアルを参照してください。

❷ **パスワードを入力する。**

```
Connected to:11.22.33.44
Password:
```

チェック

- パスワードに関しては「パスワード」を参照してください。
- パスワード入力を間違うと、Telnetからログアウトされます。
- 出荷時のパスワードは「NECPRADMIN」です。

セットアップのメインメニューが表示されます。

```
Main Menu
---------
1. IP Address
2. Subnet Mask
3. Gateway Address
4. Access Limitation setting
---------
5. SNMP setting
---------
6. Password
7. Management
---------
S. Save (Disconnect and Save parameters)
Q. Quit
Type Any No.>
```

❸ **各メニューにはサブメニューがあります。設定変更を行いたい項目の番号を[Type Any No.>]の後に入力する。**

各メニューの設定については、それぞれのページを参照してください。
すべての内容の変更または内容の確認が終わったら、Telnetをログアウトします。

❹ **[Type Any No.>]の後に「S」か「Q」を入力し、「Enter」キーを押してログアウトする。**

「S」入力：設定変更した内容をプリンターに登録してTelnetをログアウトします。
「Q」入力：設定変更した内容をプリンターに登録せずにTelnetをログアウトします。この場合、Telnetログイン前の設定が保持されます。

チェック

- 印刷データ受信中に「S」入力により設定変更を行うと、受信済みのすべての印刷処理終了後に設定変更が行われます。
- 設定変更時はプリンターのリセットが実行されます。リセット処理中はTelnetによるログインはできません。

各メニューの詳細

起動画面から選択するメニューの詳細について説明します。

IPアドレス

プリンターのIPアドレスを設定します。

❶ **メインメニューで「1」を入力し、「Enter」キーを押す。**

以下のように表示されます。

```
Current IP Address: 11.22.33.44
DHCP: OFF
1. Change IP Address
2. DHCP On/Off
3. Exit

Type Any No.>
```

❷ **直接IPアドレスを設定変更する場合は「1」を、DHCP設定を変更する場合は「2」を入力し、「Enter」キーを押す。**

DHCPの詳細については「LANボードおよび無線LANボードの共通設定」の「DHCP」(98ページ)を参照してください。

❸ **設定内容を保存してログアウトする。**

サブネットマスク

プリンターのサブネットマスクを設定します。

❶ **メインメニューで「2」を入力し、「Enter」キーを押す。**

以下のように表示されます。

```
Current Subnet Mask: 255.0.0.0
1. Change
2. Exit

Type Any No.>
```

❷ **「1」を入力し、「Enter」キーを押す。**

❸ **変更するサブネットマスクを入力する。**

❹ **設定内容を保存してログアウトする。**

ゲートウェイアドレス

ゲートウェイアドレスを設定します。

❶ **メインメニューで「3」を入力し、「Enter」キーを押す。**

以下のように表示されます。

```
Current Gateway Address: 0.0.0.0
1. Change
2. Exit

Type Any No.>
```

❷ **「1」を入力し、「Enter」キーを押す。**

❸ **変更するゲートウェイアドレスを入力する。**

❹ **設定内容を保存してログアウトする。**

> チェック
> ゲートウェイアドレスの設定はSNMPのTrap機能および電子メール配信機能を使用する場合に必要です。
> 使用しないときは「0.0.0.0」を登録してください。

アクセス制限

アクセス制限を設定します。IPアドレスによるアクセス制限には、次の設定が必要です。以下の手順に従ってアクセス制限を設定してください。詳しくは、「アクセス制限」(207ページ)を参照してください。

> チェック
> アクセス制限機能が有効な場合は、アクセスを拒否されているコンピューターからWWWブラウザーやTelnetなど、すべての通信を行うことができません。通信を行う場合は、設定を無効にしてください。

アクセス制限のOn／Off

- IPアドレスによるアクセス制限機能のOn/Off設定を行えます。

コミュニティ名の設定

- アクセス制限1～5の各項目の設定を行えます。項目は以下の4項目で構成されます。
  - ー 有効／無効設定
  - ー アクセス許可／拒否設定
  - ー アクセス制限を行うIPアドレス
  - ー アクセス制限を行うIPアドレスのネットマスク

❶ **メインメニューで「4」を入力し、「Enter」キーを押す。**

次のように表示されます。

```
Access Limitaion Setting
Current Access Limitaion : Off

 1. Access Limitation On/Off
 2. 1st Level Access Limitation
 3. 2nd Level Access Limitation
 4. 3rd Level Access Limitation
 5. 4th Level Access Limitation
 6. 5th Level Access Limitation
 7. Exit

Type Any No.>
```

❷ **アクセス制限On／Offの設定の場合は「1」を、アクセス制限1～5の設定の場合は「2」～「6」を入力し、「Enter」キーを押す。**

設定についてはそれぞれのページを参照してください。

❸ **設定内容を保存してログアウトする。**

アクセス制限On／Off

[1. Access Limitation On/Off]を選択した場合は、以下のように表示されます。(上段に現在の設定が表示されます。)

```
Current  Request Setting : On

 1. On
 2. Off

Type Any No.>
```

アクセス制限を使用する(Onにする)場合、「1」を入力し、「Enter」キーを押す。アクセス制限を使用しない(Offにする)場合は、「2」を入力し、「Enter」キーを押す。

アクセス制限のメニュー画面に戻ります。

アクセス制限の設定

[2. 1st Level Access Limitation]を選択した場合は、以下のように表示されます。(上段に現在の設定が表示されます。)

```
1st Level Access Limitation

Access Limitation     : Invalid
Access                : Accept
Current IP Address    : XXX.XXX.XXX.XXX
Current Net Mask      : XXX.XXX.XXX.XXX

 1. Access Limitation Valid/Invalid
 2. Access Accept/Reject
 3. Change IP Address
 4. Change Net Mask
 5. Exit

Type Any No.>
```

アクセス制限2～5の各パラメータ、入力条件はアクセス制限1と同じです。ここでは、アクセス制限1の設定を説明します。

❶ **アクセス制限１を有効にする場合、[1. Access Limitation Valid/Invalid]の設定を[Valid]にする。**

❷ **アクセス制限１のIPアドレス／ネットマスクにマッチしたパケットを[Accept](許可)または[Reject](拒否)のいずれで扱うか設定する。**

「2」、「Enter」キーを押して、Accept／Rejectを選択してください。

❸ **アクセス制限を行うIPアドレスを設定する。**

「3」、「Enter」キーを押して、IPアドレスを入力してください。

❹ **アクセス制限を行うIPアドレスのネットマスクを設定する。**

「4」、「Enter」キーを押して、ネットマスクを入力してください。

❺ **すべての設定が完了したら、「5」、「Enter」キーを押して、アクセス制限のメニュー画面に戻ります。**

SNMP

SNMPの通信には、次の設定が必要です。以下の手順に従ってSNMPを設定してください。

- SNMP Trapの設定
  SNMP Trapマネージャーの登録を最大4つまで行えます。
- コミュニティ名の設定
  GetRequest、SetRequestコマンド通信に必要なコミュニティ名を設定します。コミュニティ名には最大5つまで異なる名称を登録できます。

❶ **メインメニューで「5」を入力し、「Enter」キーを押す。**

以下のように表示されます。

```
SNMP Setting
1.  1st SNMP Trap Manager
2  2nd SNMP Trap Manager
3.  3rd SNMP Trap Manager
4.  4th SNMP Trap Manager
5.  Authentic Community
6.  Exit
Type Any No.>
```

チェック

アクセス制限機能が有効な場合は、アクセスを拒否されているコンピューターからWWWブラウザーやTelnetなど、すべての通信を行うことができません。通信を行う場合は、設定を無効にしてください。

❷ **SNMP Trapの設定の場合は、「1」〜「4」を、コミュニティ名の設定の場合は「5」を入力し、「Enter」キーを押す。**

設定についてはそれぞれのページを参照してください。

❸ **設定内容を保存してログアウトする。**

SNMP Trap

[1. 1st SNMP Trap Manager]〜[4. 4th SNMP Trap Manager]を選択した場合は、以下のように表示されます。

```
1.  1st SNMP Trap Manager
Trap :  Off
Currenet IP Address :  0.0.0.0
Current Community Name :  public
1.   Trap On/Off
2.   Change IP Address
3.   Change Community Name
4.   Exit
Type Any No.>
```

上段に現在の設定が表示されます。

❶ **SNMP Trapを使用する場合、[1. Trap On/Off]の設定を[On]にする。**

❷ **Trap送信先ホストのIPアドレスを設定する。**

「2」、「Enter」キーを押して、IPアドレスを入力してください。

❸ **Trap送信のコミュニティ名を設定する。**

「3」、「Enter」キーを押して、コミュニティ名を入力してください。

チェック

Trap送信先ホストのIPアドレスのネットワークアドレスがLANボードのネットワークアドレスと異なる場合は、ゲートウェイアドレスの設定が必要です。「ゲートウェイアドレス」を参照してゲートウェイアドレスを設定してください。

コミュニティ名の設定

[5. Authentic Community]を選択した場合は、以下のように表示されます。

```
Authentic Community
1.  Authentic Community1: public
2.  Authentic Community2: public
3.  Authentic Community3: public
4.  Authentic Community4: fxSystemMgr
5.  Exit

Type Any No.>
```

現在登録されているコミュニティ名が右側に表示されます。
変更したいコミュニティ名の番号を選択して新しいコミュニティ名を入力してください。

パスワード

Telnetでログインする際に入力するパスワードの変更方法について説明します。LANボード出荷時のパスワードは、「NECPRADMIN」です。

チェック

- パスワードとして使用可能な文字列は、半角英字、数字、ハイフン「-」、およびアンダーバー「_」です。
- 英語の大文字と小文字は区別されます。
- Telnetのパスワードを変更すると、WWWブラウザーから設定する場合に必要なパスワードも同時に変更されます。WWWブラウザーからの設定に関しては、「WWWブラウザー」を参照してください。

❶ メインメニューで[Type Any No.>]の後に「6」を入力し、「Enter」キーを押す。

❷ パスワードを入力する。

パスワードの変更時は入力ミスを防ぐために2回同じパスワードを入力します。画面の指示に従って新しいパスワードを入力してください。

チェック

- 新しいパスワードは、次回のログイン時から有効になります。
- パスワードを忘れた場合は、LANボードの設定を初期化し、工場出荷時の設定に戻してください。その場合は、他の設定も工場設定値に戻るため、再設定が必要です。LANボードの初期化に関しては「ネットワーク設定の初期化」(106ページ)を参照してください。

LANボード管理情報

Telnetにより、次の情報を参照または変更することができます。

- 設定情報一覧
  テストページの「LANステータス」で得られる情報を画面上で参照することができます。
- 印刷履歴の確認
  ネットワーク経由で印刷した印刷履歴を画面上で参照することができます。

チェック

- 印刷履歴の確認を行う場合は、印刷履歴を記録するための設定変更が必要です。工場出荷時は[記録しない]に設定されています。
- 印刷履歴の設定変更はWWWブラウザー(「WWWブラウザー」(156ページ)参照)または付属のPrintAgentプリンタ管理ユーティリティ(「ユーティリティーによるLANボードの設定」の「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」(177ページ)参照)から行います。

- 画面表示ライン数の変更
  設定情報一覧、印刷履歴を参照する場合の画面表示ライン数を変更することができます。

メインメニューで[Type Any No.>]の後に「7」を入力し、「Enter」キーを押すと以下のように表示されます。

```
Management Menu
1.  Display Configuration Data
2.  Display Printing Log Data
3.  Change Display Line Number
4.  Web Management
5.  ARP
6.  Exit
Type Any No.>
```

設定情報一覧

[1. Display Configuration Data]を選択すると、コンフィグレーションページの情報が画面に表示されます。
表示内容は「コンフィグレーションページの印刷」を参照してください。

印刷履歴の確認

[2. Display Printing Log Data]を選択すると、LAN経由で印刷した印刷履歴を画面に表示します。

印刷履歴がない、印刷履歴の記録設定がされていない場合は以下のように表示されます。

```
There is no log data.
```

印刷履歴が存在する場合は以下のように表示されます。

```
NEC Printing History
Protocol   Source Host       Size [byte]   Result    Jobs
-------------+-------------------------+----------------------+----------------+-----------
 910       123.123.123.1              12   OK           1
 ftp       123.123.123.2             123   Timeout      1
 lpr       123.123.123.3            1234   OK           1
 http      123.123.123.4           12345   Error        1
```

- Protocol　：印刷アプリケーションプロトコルを示します。
- Source Host　：ホストコンピューターのアドレスです。
- Size [byte]　：プリンターが受信したデータサイズを示します。
- Result　：通信結果を示します。
- Jobs　：印刷時に受信した印刷ジョブの待ち行列を示します。

チェック
- 印刷履歴はプリンターの電源切断時またはリセット時にすべてクリアされ、内部に保持されません。
- IPアドレス等の設定を変更した場合もクリアされます。

画面表示ライン数の変更

[3. Change Display Line Number]を選択すると、LANボード設定情報一覧、印刷履歴を参照する場合の画面表示ライン数を変更することができます。工場出荷時の表示ライン数は[20]です。画面に現在の表示ライン数が表示されますので、新しい表示ライン数を入力してください。

WWWブラウザーへの応答設定

[4. Web Management]を選択し、設定を[Access Enable]にするとWWWブラウザーからの設定、閲覧を許可します。設定を[Access Disable]にすると、WWWブラウザーへの応答はなくなり、WWWブラウザーからの設定、閲覧は行えません。

ARP機能設定変更

[5. ARP]機能設定を変更することで、ホスト側のMACアドレスの取得方法を変更することができます。

❶ **メインメニューで「7」を入力し、「Enter」キーを押す。**

次のように表示されます。

```
Management Menu
1.  Display Configuration Data
2.  Display Printing Log Data
3.  Change Display Line Number
4.  Web Management
5.  ARP
6.  Exit
Type Any No.>
```

❷ **「5」を入力し、「Enter」キーを押す。**

以下のように表示されます。

```
ARP
1. Request
2. Life Time
3. Exit

Type Any No.>
```

❸ **「1」を入力し、「Enter」キーを押す。**

次のように表示されます。

```
Current  Request Setting : On
 1.  On
 2.  Off

Type Any No.>
```

❹ **「2」を入力し、「Enter」キーを押す。**

```
1.  On : Arpリクエストによる取得
2.  Off : パケット情報により取得
```

❺ **設定内容を保存してログアウトする。**

ARP Life Time設定

ARP Life Timeは、[Current Request Setting]が[ON]の時LANボードのARPテーブルで、MACアドレスなどを保持する時間です。通常は、デフォルトのままでのご使用を推奨します。

❶ **メインメニューで「7」を入力し、「Enter」キーを押す。**

次のように表示されます。

```
Management Menu
1.  Display Configuration Data
2.  Display Printing Log Data
3.  Change Display Line Number
4.  Web Management
5.  ARP
6.  Exit
Type Any No.>
```

❷ **「5」を入力し、「Enter」キーを押す。**

以下のように表示されます。

```
ARP
1. Request
2. Life Time
3. Exit

Type Any No.>
```

❸ **「2」を入力し、「Enter」キーを押す。**

次のように表示されます。

```
Current Life Time (Sec):120
New Life Time>
```

❹ **「New Life Time」のところに1～1200(Sec.)の間で入力する。**

Current Life Timeのデフォルトは120sec.です。

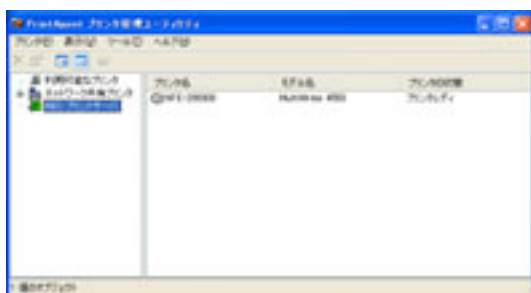
❺ **設定内容を保存してログアウトする。**

PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ

PrintAgentプリンタ管理ユーティリティは、LANを標準実装したプリンターやオプションのLANボード/LANアダプターを接続しているプリンターのネットワーク設定や状態の確認やPrintAgentのいろいろな機能を設定するユーティリティーです。
このユーティリティーは、プリンター管理者向けのツールとして以下のような設定やプリンター運用時の監視機能を提供しています。ただし、ご使用のLANボード/LANアダプターにより、その内容は異なります。

ここでは、Windows XP 日本語版環境でPrintAgentプリンタ管理ユーティリティの画面左のツリービューで[NECプリントサーバ]を選択している場合について説明します。

- ネットワークプリンターの設定と管理

  ー ネットワークプリンターの一覧の確認

  ー プリンターの状態の確認

  ー IPアドレスの設定
  ー プリンターの構成
  ー リモート電源制御(型番 PR-NP-03TR2 LANアダプタ装着時)

- PrintAgentの機能
  ー 印刷ジョブの制御
  ー プリンタステータスウィンドウの起動
  ー 保守情報のメール通知(NEC e-mailメンテナンス)の設定
  ー プリンタ自動切替の設定(グループプリンター作成の設定)

ご利用までの手順

PrintAgentプリンタ管理ユーティリティがネットワークで使用できるようになるまでの手順について説明します。

重要

プリンタ管理ユーティリティをご使用になるときは、以下の点に注意してください。

- PrintAgentプリンタ管理ユーティリティをインストールする前にコンピューターのネットワーク設定(IPアドレスなど)がすでに行われていることを確認してください。
- PrintAgentプリンタ管理ユーティリティとLANボード、LANアダプターに添付のWindows 3.1用ネットワークプリンタユーティリティを同時に実行しないでください。
- PrintAgentプリンタ管理ユーティリティを起動していることにより、メモリー不足で他のアプリケーションソフトウエアが実行できない場合は、PrintAgentプリンタ管理ユーティリティを終了してください。
- Windows XPでご使用になる場合は、アカウントの種類を[コンピュータの管理者]のユーザーでログオンしてください。
- Windows 2000またはWindows NT 4.0でご使用になる場合、Administratorsの権限を持ったユーザーでログインしてください。Administratorsの権限を持たないユーザーでログインした場合には設定を行えません。
- 設定を行う場合、プリンターと同一ネットワークアドレスに接続されたコンピューターを使用してください。
- Windows 2000で、IPX/SPX互換トランスポートを使用する場合、ネットワーク上にNetWareサーバーが起動している必要があります。NovellのNetWareクライアントソフトウエアをインストールすることで一部の機能が有効になります([NetWare]シート(200ページ)参照)。
- オプションのLANボード、LANアダプターに添付のPrintAgentプリンタ管理ユーティリティをすでにご使用の場合は、これを削除(アンインストール)した後、プリンターに添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているPrintAgentプリンタ管理ユーティリティをインストールしてください。アンインストール方法については、オプションのLANボード、LANアダプターに添付の「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ取扱説明書」をご覧ください。

Step1　使用環境を確認する

このPrintAgentプリンタ管理ユーティリティを使用できるプリンターは、MultiWriter 4550(型番 PR-WL-11装着時含む)です。

また、イーサネットコネクタを標準で装備したNEC製プリンターまたは下記のLANボード、LANアダプターを接続したNEC製プリンターが対象となります。

- PR-NP-04T　LANボード(TCP/IP)
- PR-L2800-NP　LANボード(TCP/IP)
- PR-NP-02T2　LANアダプタ(TCP/IP)
- PR-NP-03TR2　LANアダプタ(TCP/IP)
- PR-WL-11　無線LANプリンタボード
- PR-WL-12　無線LANボード
- PC-PR-L01　マルチプロトコルLANボード
- PC-PR-L02　マルチプロトコルLANボード
- イーサネットコネクターを標準で装備したプリンター

チェック

ただし、本ユーティリティーに対応していないプリンターもあります。その場合はプリンターに添付のユーティリティーを使用してください。

Step2　イーサネットコネクターを装備しているプリンターを接続する

ケーブルの接続方法などは、プリンターに添付のユーザーズマニュアルをご覧ください。

Step3　PrintAgentプリンタ管理ユーティリティをインストールする

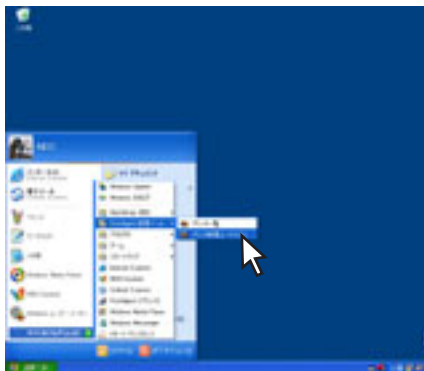
PrintAgentプリンタ管理ユーティリティをコンピューターにインストールします。インストールは、PrintAgentのインストール時に[管理者向けカスタムインストール]を選択し、[プリンタ管理ユーティリティ]にチェックを付けることで行います。

プリンターソフトウエアのインストールプログラムで後から追加インストールを行ったり、削除することができます。詳細については、2章の「プリンター管理者用インストール」(72ページ)を参照してください。

Step4　プリンターを登録する

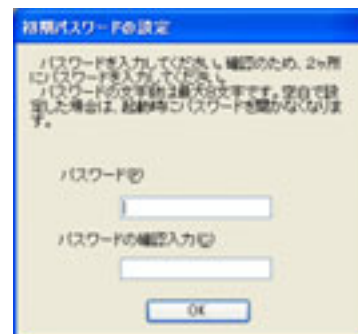
PrintAgentプリンタ管理ユーティリティを使ってLANボードの設定を行うためにプリンターの登録を行います。新規にLANボードをネットワークに接続した場合は、このプリンターのコンフィグレーションページの印刷結果にあるMACアドレス等も参照してください。コンフィグレーションページの印刷方法については、「コンフィグレーションページの印刷(107ページ)」を参照してください。

❶ PrintAgentプリンタ管理ユーティリティを起動する。

[スタート]をクリックし、[プログラム]、[PrintAgent管理ツール]をポイントします。次に[プリンタ管理ユーティリティ]をクリックします。

❷ パスワードの入力、設定をする。

パスワードを既に設定している場合は、パスワードを入力するダイアログボックスがされますので、パスワードを入力してください。

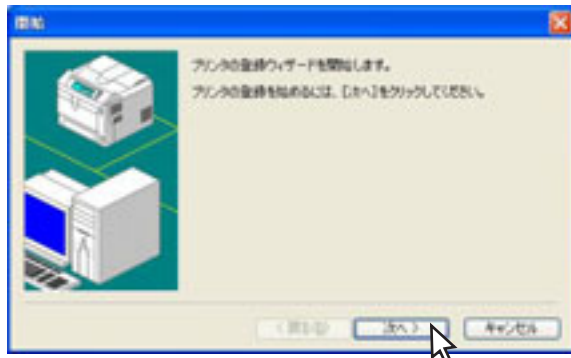
パスワードの設定をたずねるダイアログボックスが表示されます。

[はい]をクリックするとパスワードの設定ウインドウが表示されます。パスワードは、半角の英数文字で8文字まで入力できます。

パスワードが不要の場合は、[いいえ]をクリックしてください。後から[ツール]メニューの[パスワードの変更]で設定できます。

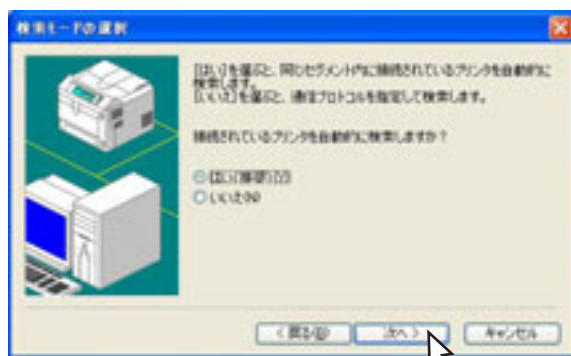
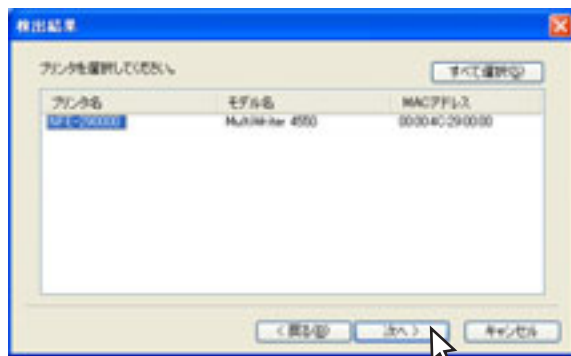
❸ プリンターを登録していない場合、プリンターを登録するかどうかの[確認]ダイアログボックスが表示されるので、どちらかをクリックする。

[はい]をクリックした時は手順❺に、[いいえ]をクリックした時は手順❹に進んでください。
このダイアログボックスが表示されなかった場合は、画面左のツリービューで[NECプリントサーバ]を選択してください。

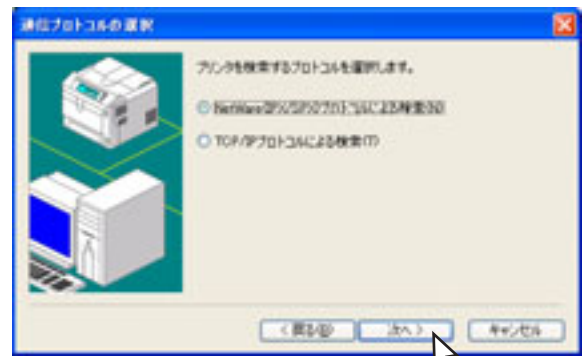
❹ [プリンタ]メニューから[プリンタの登録]をクリックする。

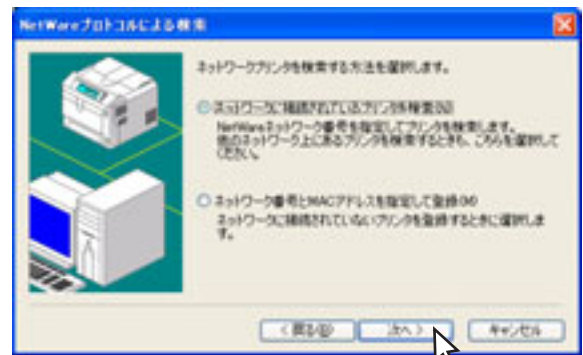
[プリンタの登録]ウィザードが開始されます。

❺ [次へ]をクリックする。

❻ 設定するプリンターを自動で検索するか、マニュアルで検索するかを選び、[次へ]をクリックする。

[はい]を選ぶと、ネットワーク内で登録されていないプリンターを自動的に検索します。手順❼に進んでください。
[いいえ]を選ぶと、プロトコル、MACアドレスなどを入力して検索します。手順❽に進んでください。

❼ 登録したいプリンターを選び、[次へ]をクリックする。

手順⓱に進んでください。

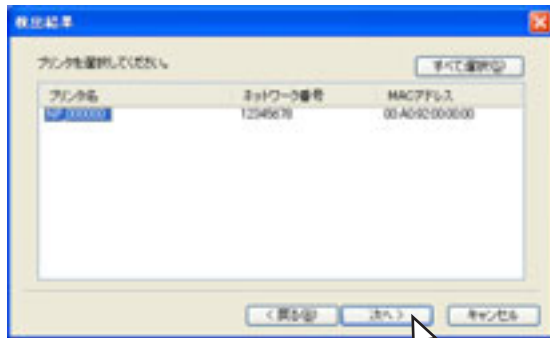
❽ LANボードと通信するプロトコルを選び、[次へ]をクリックする。

「NetWare(IPX/SPX)プロトコルによる検索」を選んだ場合は、手順❾に進んでください。
「TCP/IPプロトコルによる検索」を選んだ場合は、手順⓭に進んでください。

❾ プリンターの検索方法を選び、[次へ]をクリックする。

「ネットワークに接続されているプリンタを検索」を選んだ場合は、手順❿に進んでください。
「ネットワーク番号とMACアドレスを指定して登録」を選んだ場合は、手順⓬に進んでください。

❿ ネットワーク番号を入力して、[次へ]をクリックする。

チェック

存在しないネットワーク番号を入力しないでください。入力すると動作が遅くなることがあります。

⓫ **登録したいプリンターを選び、［次へ］をクリックする。**

手順⓱に進んでください。

⓬ **ネットワーク番号とMACアドレスを入力して、［次へ］をクリックする。**

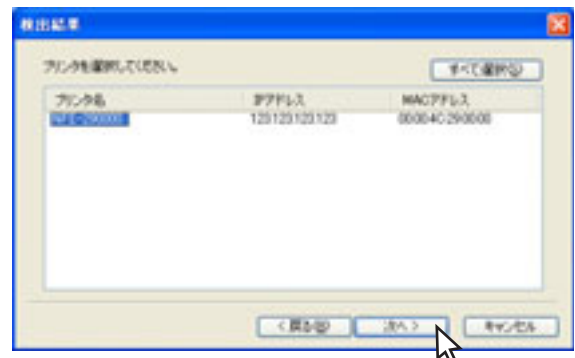
手順⓱に進んでください。

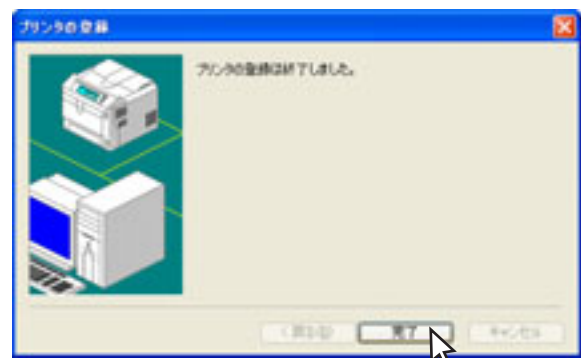
⓭ **プリンターの検索方法を選び、［次へ］をクリックする。**

「ネットワークに接続されているプリンタを検索」を選んだ場合は、手順⓮に進んでください。
「IPアドレスとMACアドレスを指定して登録」を選んだ場合は、手順⓰に進んでください。

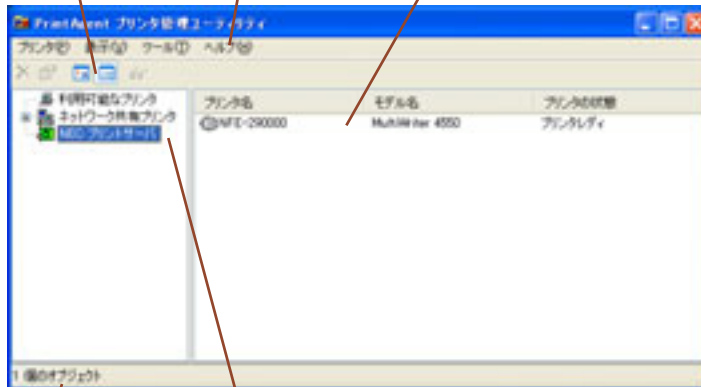
⓮ **ブロードキャストアドレス、またはIPアドレスを入力して［次へ］をクリックする。**

⓯ **登録したいプリンターを選び、［次へ］をクリックする。**

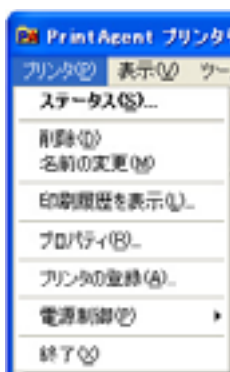
手順⓱に進んでください。

⓰ **IPアドレスとMACアドレスを入力し、［次へ］をクリックする。**

⓱ **［完了］をクリックする。**

以上でプリンターの登録は完了です。

PrintAgentプリンタ管理ユーティリティのメニュー

PrintAgentプリンタ管理ユーティリティを起動すると以下のウィンドウが表示されます。

各メニューのコマンドをポイントするとステータスバーに簡単な説明が表示されます。詳細な説明が必要な場合はヘルプをご覧ください。

[プリンタ]メニュー

リストビューでプリンターを選んでいるときに実行できる機能は次のとおりです。

■ ステータス

以下のようなプリンターのステータス画面を表示します。プリンターのステータス画面ではプリンターの状態、モデル名、プリンターの構成が表示されます。この画面は、ツールバーの[ステータス]ボタンをクリックしても表示することができます。

■ 削除

選択したプリンターを削除します。ツールバーの[削除]ボタンをクリックしても同じ機能を実行することができます。

■ 名前の変更

選択したプリンターの[プリンタ名]ボックスがハイライトし、名前を変更することができます。デフォルトでは[LANポード]シートのプリンター名と同じ名前が表示されますが、任意の名前に変更できます。また、ここでの変更は[LANポード]シートのプリンター名には影響しません。

■ 印刷履歴を表示

ネットワーク経由で印刷した履歴を表示します。

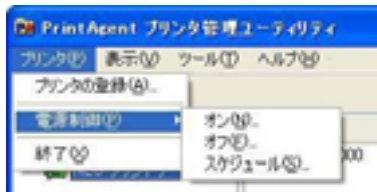
■ プロパティ

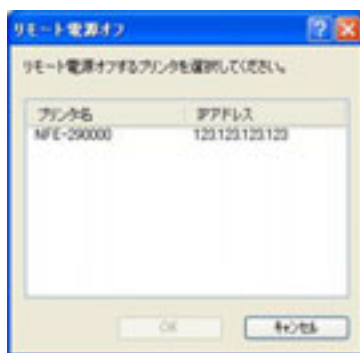
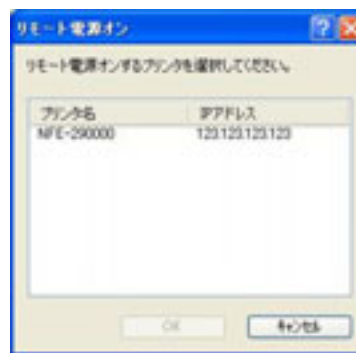
選択したプリンターの設定(LANボードまたはLANアダプター接続時は、これらの設定)を変更することができます。プロパティの内容については「[プロパティ]ダイアログボックス」をご覧ください。

■ プリンタの登録

プリンターを登録するための[プリンタの登録]ウィザードが起動します。

■ 電源制御

リモート電源制御機能を持つLANアダプター(型番 PR-NP-03TR2)を使って接続されたプリンターの電源をON/OFFできます。ON/OFFは[リモート電源制御]シートの設定に従います。NECプリントサーバーのリストビューにリモート電源制御機能をもつプリンターを登録し、次のサブメニューを実行します。

● オン(またはオフ)

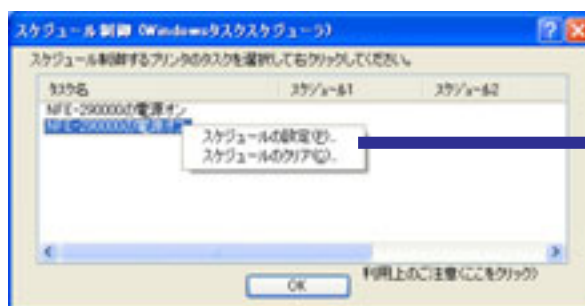
[電源制御]のサブメニュー[オン]または[オフ]をクリックすると、それぞれ電源制御可能なプリンターを選ぶダイアログボックスが表示されます。プリンターを選択し、[OK]をクリックすることで[リモート電源制御]シートの設定に従ってON/OFFします。

リモート電源オフ

リモート電源オン

● スケジュール

[電源制御]のサブメニュー[スケジュール]をクリックすると、スケジュール可能なプリンターをON/OFFするためのタスク名の一覧が表示されます。

この一覧では、電源オン、電源オフのペアで20台までスケジュール管理ができます。また、スケジュールの設定状況は、各タスク名ごとに4つまでその概要を一覧に表示します。

各タスク名の上で右クリックすると、以下の画面のようなサブメニューが表示されます。ここでプリンターをON/OFFするスケジュールを設定します。プリンターのON/OFFは[リモート電源制御]シートの設定に従います。

＜スケジュールの設定＞

[電源制御]のサブメニュー[スケジュールの設定]を選ぶと、プリンターの電源をON/OFFする日時の設定を行うダイアログボックスが表示されます。

これらのダイアログボックスは、Windowsのタスクスケジュール機能を使用しています。設定の詳細については、このダイアログボックスのポップアップヘルプも参照してください。

[電源制御]のサブメニュー[スケジュールのクリア]を選ぶと、選択したタスク名に設定した複数のスケジュールをすべて削除します。

重要

スケジュール機能使用上のご注意

- [スケジュールの設定]で表示されているダイアログボックスは、Windowsのタスクスケジューラーを使用しています。タスクスケジューラーの一時停止をしている場合は、タスクスケジュラーの続行を行ってください。[コントロールパネル]または、[マイコンピュータ]－[タスク]または、[Scheduled Tasks]の[詳細設定]から設定できます。Windows XPでは、[コントロールパネル]で[クラシックに切り替える]を行うと表示されます。
- NECプリントサーバのリストビューに表示されている[プリンタ名]を変更した場合、既に設定しているスケジュールは、変更前の状態のままになっています。

  [スケジュールのクリア]でスケジュールを削除し、新たに表示されているタスク名にスケジュールを設定し直してください。
- プリンターのIPアドレスを変更した場合、既に設定しているスケジュールは、変更前の状態のままになっています。次の手順に従ってIPアドレスを修正してください。

  ① [スケジュールの設定]から[タスク]を開く。

  ② [実行するファイル名]ボックスに表示されているIPアドレスの「IP/:」以降を修正する。

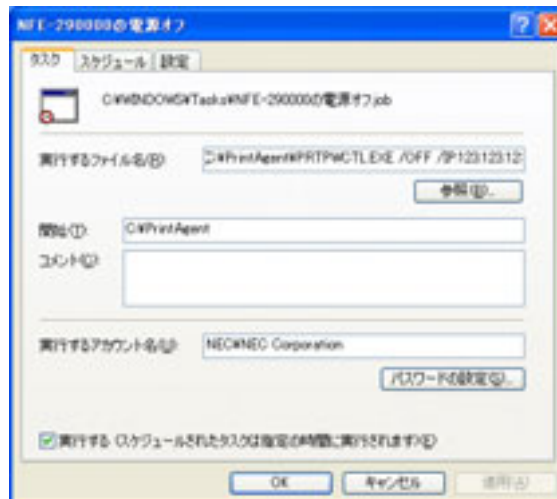
  （例）

  IPアドレス「111.222.123.123」を「100.200.123.123」に変更する場合

  「/IP:111.222.123.123」を「/IP:100.200.123.123」と修正します。
- NECプリントサーバに登録したプリンターを削除しても、このプリンターに対するスケジュールは削除されません。
- プリンタ管理ユーティリティをアンインストールすると、電源制御に必要なファイルもアンインストールされてしまい、設定時刻になってもプリンターのオン・オフができなくなります。

  [コントロールパネル]または、[マイコンピュータ]－[タスク]あるいは[Scheduled Tasks]からタスク名を表示し、タスク名を右クリックして削除してください。Windows XPでは、[コントロールパネル]で[クラシックに切り替える]を行うと表示されます。
- [電源制御]はTCP/IPプロトコルを使用していますので、ご使用のコンピューターにTCP/IPプロトコルが組み込まれていることを確認してください。

ー ［タスク］シート

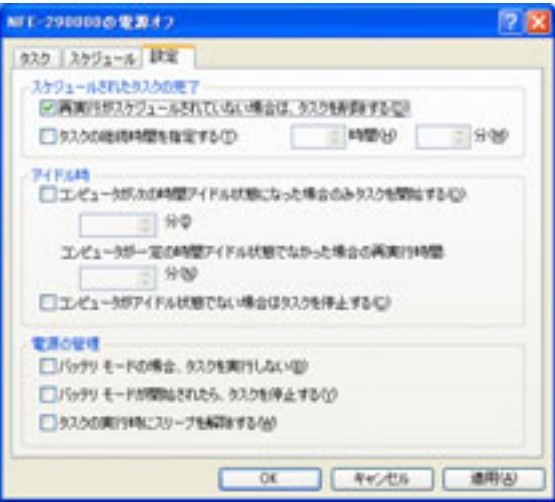
［タスク］シートでは、次のような設定ができます。

項　目	説　明
実行するファイル名	プリンターの電源をON/OFFする実行ファイル名です。
開始	プリンターの電源をON/OFFする実行ファイルへのパスです。変更しないでください。
実行する	［スケジュール］シートで設定した日時にON/OFFする実行ファイルを実行するためにチェックを付けてください。

ー ［スケジュール］シート

［スケジュール］シートでは、次のような設定ができます。

項　目	説　明
新規	プリンターをON（またはOFF）する日時の設定を行います。［タスクのスケジュール］で日単位、週単位等の選択ができます。 ［新規］を数回クリックすると、複数の日時の設定を行うことができます。複数の設定を行った場合、［スケジュール制御］の一覧には、最初の4つの設定の概要が表示されます。
削除	［新規］で設定したスケジュールを1つずつ削除します。
詳細設定	［詳細設定］をクリックすると、次の設定項目が表示されます。 ● 開始日 プリンターのON/OFFを開始する日付を設定します。 ● 終了日 プリンターのON/OFFを終了する日付を設定します。 ● タスクを繰り返し実行 チェックを外してください。
複数のスケジュールを表示する	チェックを付けてください。

ー［設定］シート

［設定］シートでは、次のような設定ができます。

項　目	説　明
タスク完了時	［今後実行する予定のないタスクは削除する］をチェックしてください。
アイドル時	チェックを外してください。
電源の管理	チェックを外してください。

[表示]メニュー

[表示]メニューでは、次のような機能が実行できます。

● ツールバー

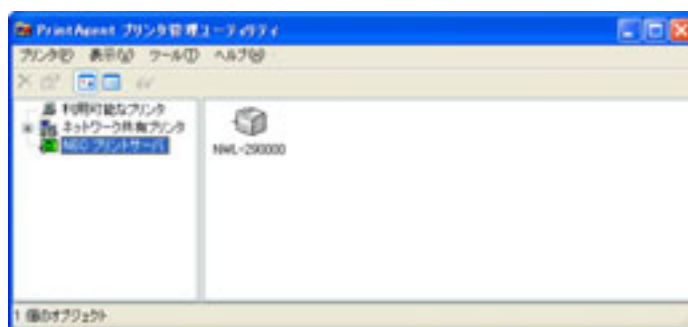
ツールバーを表示するかしないかを切り替えます。メニュー上のチェックマークは表示している状態を示しています。

● ステータスバー

ステータスバーを表示するかしないかを切り替えます。メニュー上のチェックマークは表示している状態を示しています。

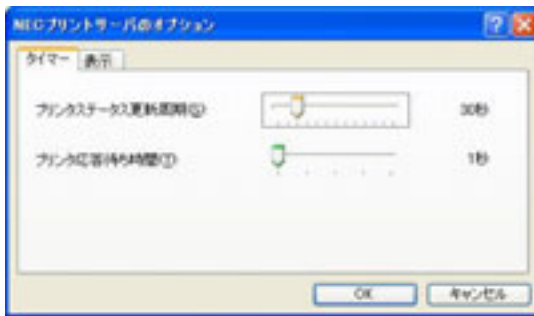
● アイコン

右のようなプリンターの一覧をアイコンで表示します。

● 詳細

右のようなプリンタの一覧をリストで表示します。

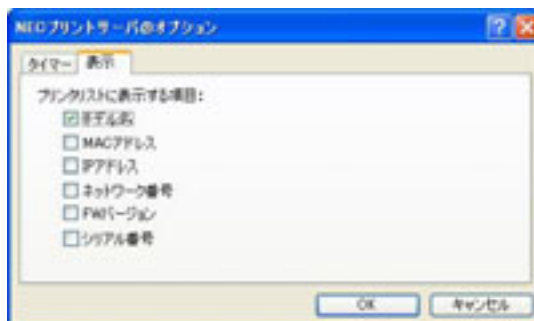
- フォルダオプション

  NECプリントサーバの設定を行います。[NECプリントサーバのオプション]ダイアログボックスを表示します。

  ー [タイマー]シート

項　目	説　明
プリンタステータス更新周期	登録されたプリンターの状態を確認しリストを更新する周期を設定します。10秒から120秒まで10秒刻みで設定できます。初期値は30秒です。
プリンタ応答待ち時間	プリンターとの通信時、本ユーティリティーがプリンターからの応答を待つ時間を設定します。プリンターからの応答が遅い場合、待ち時間をより長く設定してください。初期値は1秒です。

  ー [表示]シート

  詳細リスト表示のとき列見出しの項目を選択します。[プリンタ名]と[プリンタの状態]は、はじめから表示されています。

  デフォルトでは、[LANボード]シートのプリンター名と同じ名前が表示されますが、プリンター名を2回クリックすると、任意の名前に変更することができます。ここでの変更は、[LANボード]シートのプリンター名には影響しません。

項　目	説　明
モデル名	LANボードのモデル名を表示します。
MACアドレス	LANボードの固有のネットワークアドレスを示します。
IPアドレス	LANボードのIPアドレスを表示します。
ネットワーク番号	NetWareプロトコルで通信しているとき、NetWareネットワーク番号を表示します。
FWバージョン	LANボード内のLAN関連ファームウエアのバージョンを表示します。
シリアル番号	プリンターのシリアル番号を表示します。

- 最新の情報に更新

  登録されているプリンターと通信を行い情報を更新します。

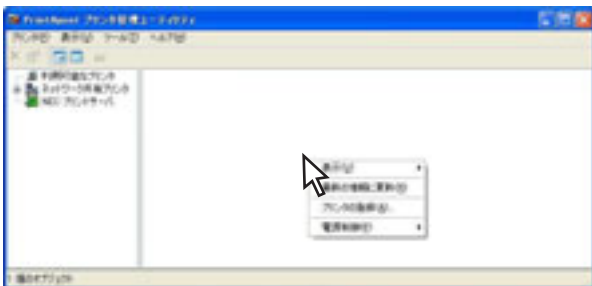
[ツール]メニュー

[ツール]メニューでは、[パスワードの変更]が選択できます。
[パスワードの変更]は、本PrintAgentプリンタ管理ユーティリティを使用するためのパスワードの設定・変更を行います。

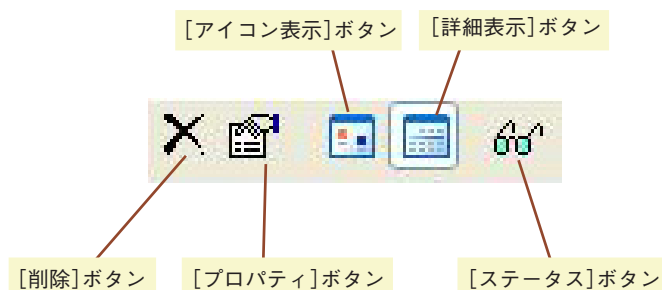
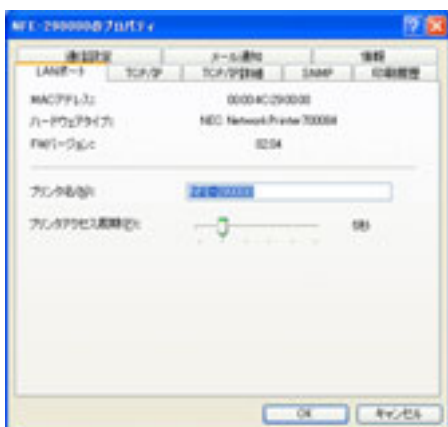
[ヘルプ]メニュー

[ヘルプ]メニューでは、PrintAgentプリンタ管理ユーティリティについてのヘルプを参照することができます。

ポップアップメニュー

リストビュー内の任意の場所で右クリックすると表示されるメニューです。以下のような機能が実行できます。

- 表示
  リストビューをアイコン形式で表示するか、リスト形式で表示するかを切り替えます。[表示]メニューの[アイコン]、[詳細]と同じ機能です。
- 最新の情報に更新
  登録されているプリンターと通信を行い情報を更新します。[表示]メニューの[最新の情報に更新]と同じ機能です。
- プリンタの登録
  プリンターを登録します。[プリンタの登録]ウィザードが起動します。[プリンタ]メニューの[プリンタの登録]と同じ機能です。
- 電源制御
  [プリンタ]メニューの電源制御と同じです。

ツールバー

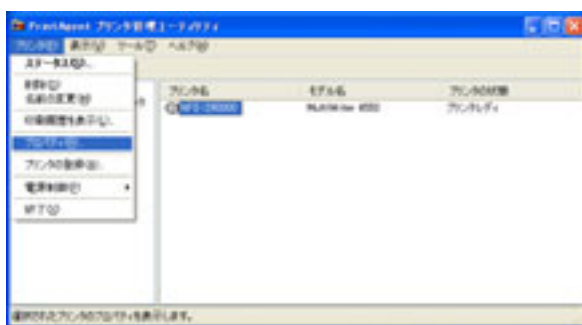
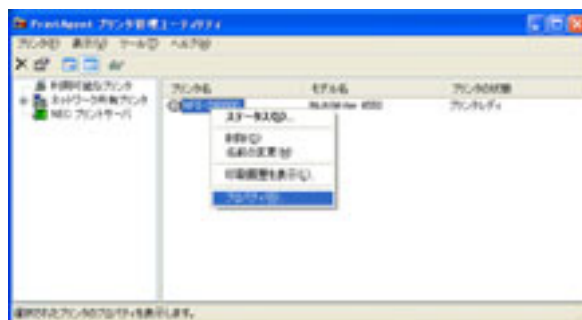
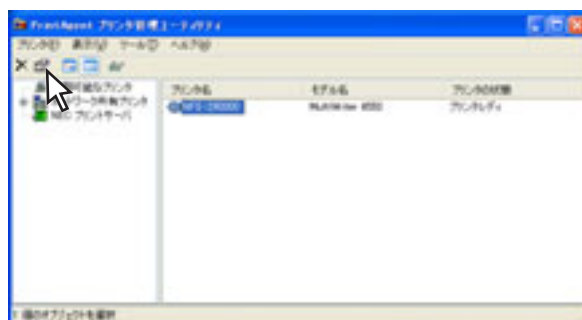
以下のようにメニューの項目をボタンにしたものがツールバーに用意されています。

[プロパティ]ダイアログボックス

LANボードの設定は、左のような[プロパティ]ダイアログボックスで行います。

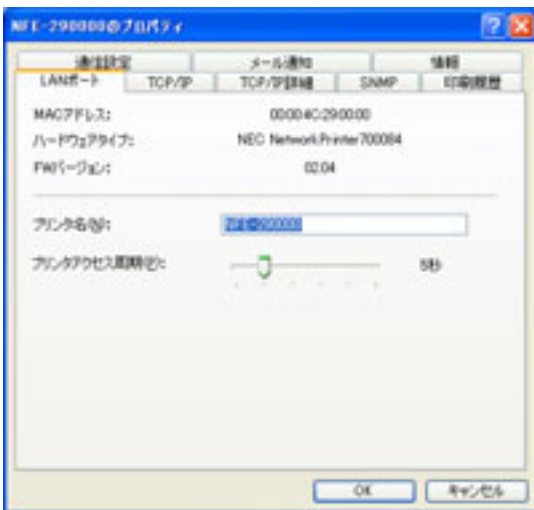
チェック

表示される内容は、プリンターやLANアダプターによって異なります。また、設定できない項目は、グレーアウトされます。

ダイアログボックスの開き方

[プロパティ]ダイアログボックスは、次の方法で開くことができます。

- [プリンタ]メニューを使う方法
  [プリンタ]アイコンを選択してから、[プリンタ]メニューの[プロパティ]を選択します。

- [プリンタ]アイコンを右クリックする方法
  [プリンタ]アイコンを右クリックして、[プロパティ]を選択します。

- [ツール]ボタンをクリックする方法
  ツールバーのアイコンをクリックします。

[LANポート]シート

LANポートの固有情報を表示設定します。

以下の固有情報を表示します。

- MACアドレス
  プリンターに接続しているネットワークオプション固有のネットワークアドレスです。
- ハードウエアタイプ
  プリンターに接続しているネットワークオプションの種別です。
- FWバージョン
  ネットワーク関係のファームウエアバージョンです。

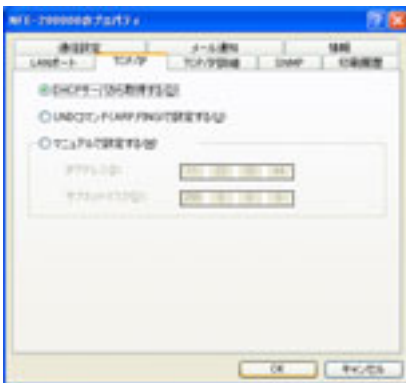
以下の固有情報を設定できます。

- プリンタ名
  ネットワーク上から見たプリンターの名前です。半角大文字の英数字、ハイフン「-」、アンダーバー「_」が使用可能です。
- プリンタアクセス周期
  プリンターの状態を更新する周期です。初期値は5秒になっています。

チェック

プリンターによっては変更が行えません。

[TCP/IP]シート

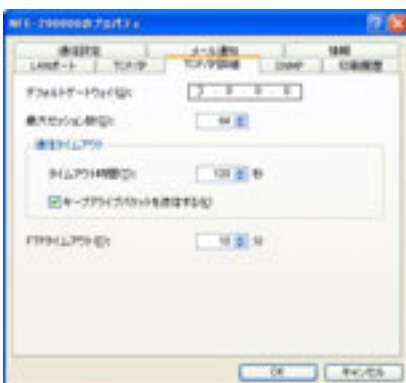
TCP/IPプロトコルを使ったときのIPアドレスとサブネットマスクを設定できます。

- DHCPサーバから取得する
  プリンターのIPアドレスとサブネットマスクをDHCPサーバーから取得して設定します。
- UNIXコマンド(ARP, PING)で設定する
  プリンターのIPアドレスをUNIXコマンドで設定できるようにします。
- マニュアルで設定する
  プリンターのIPアドレスとサブネットマスクをマニュアルで設定します。

重要

[DHCPサーバから取得する]を選択した場合は、DHCPサーバーへプリンターに設定するIPアドレスを事前に登録しておくことで、不用意なIPアドレスの変化を防止することができます。DHCPサーバーによりIPアドレスが変更された後は登録されたプリンターとしての通信ができなくなります。プリンターを再度、選んで登録し直してください。

[マニュアルで設定する]を選択するとUNIXコマンドによる設定ができなくなります。UNIXコマンドでIPアドレスを再設定する場合は、[UNIXコマンドで設定する]を選んでください。

[TCP/IP詳細]シート

TCP/IP詳細パラメータを設定します。以下の機能を持たないプリンターでは、このシートは表示されません。

- デフォルトゲートウェイ
  ゲートウェイアドレスを示します。
- 最大セッション数
  TCP/IPの最大接続数を設定します。この設定はすべてのTCP/IPアプリケーション層プロトコルが対象となります。設定範囲は「1～64」、初期値は「64」になっています。

- 通信タイムアウト
  TCP/IP接続時にホストコンピュータから応答がない場合のタイムアウト時間を設定します。
  - タイムアウト時間
    タイムアウトまでの時間を示します。設定範囲は「30～7200秒」、初期値は「120秒」になっています。
  - キープアライブパケットを送信する
    通信タイムアウトで設定した時間が経過した場合に、ホストコンピューターにKeep Aliveパケットを送信するか、しないかを設定します。Keep Aliveパケット送信時にホストコンピューターから応答がある場合には、TCP/IP接続が維持されます。
- FTPタイムアウト
  FTP接続時のタイムアウト時間を設定します。設定範囲は「5～60分」、初期値は「10分」になっています。

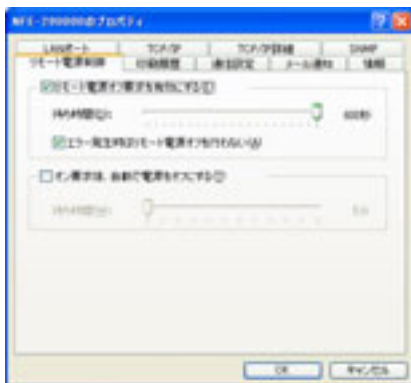
[SNMP]シート

SNMPプロトコルに必要な設定を行います。SNMP機能を持たないプリンターでは、このシートは表示されません。

- 認証するコミュニティ名
  ホストコンピューターからのSNMP通信の中で、プリンターが受け付けるコミュニティ名を設定します。コミュニティ名には異なる名称を最大4つまで登録できます。
- Trap通知先
  Trap通知先のSNMPマネージャの登録を最大4つまで行うことができます。以下でTrap通知先を設定します。
  - IPアドレス
    プリンターがホストコンピューターにTrapを通知する時のホストコンピューターのIPアドレスを設定します。
  - コミュニティ名
    プリンターがホストコンピューターにTrapを通知する時のホストコンピューターのコミュニティ名を設定します。

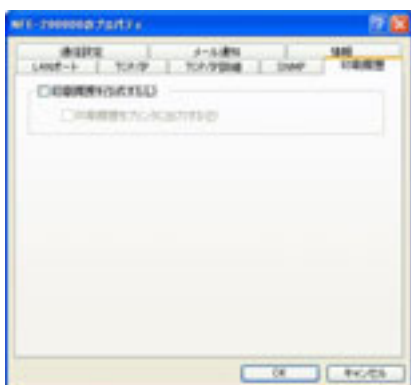
> **チェック**
> Trap通知先ホストコンピューターのIPアドレスのネットワークアドレスがLANボードのネットワークアドレスと異なる場合は、ゲートウェイアドレスの設定が必要です。
> [TCP/IP詳細]シートの[デフォルトゲートウェイ]ボックスにゲートウェイアドレスを設定してください。

[リモート電源制御]シート

リモート電源制御に関する設定を行います。プリンターの電源のオン、オフ要求は[プリンタ]メニューの[電源制御]から行います。リモート電源制御機能を持つLANアダプターでのみ、このシートは表示されます。

- リモート電源オフ要求を有効にする
  オフ要求から[待ち時間]で設定した時間後、プリンターの電源をオフにします。[待ち時間]を「0」に設定した場合は、直ちにオフにします。ただし、プリンターによっては、電源をオフできる状態(印刷中ではないなどの、待機状態)になってからオフする場合があります。
- エラー発生時はリモート電源オフを行わない
  プリンターでエラー発生時は、電源のオフを行いません。
- オン要求後、自動で電源をオフにする
  電源のオンを要求した後、[待ち時間]に設定された時間が経過すると、プリンターの電源をオフにします。

電源制御機能の詳細については、PR-NP-03TR2 LANアダプタの取扱説明書も参照してください。

[印刷履歴]シート

印刷履歴に関する設定を行います。印刷履歴機能を持たないプリンターではこのシートは表示されません。

- 印刷履歴を作成する
  チェックすると最大50までのジョブの情報を記録します。
- 印刷履歴をプリンタに出力する
  チェックすると印刷履歴の記録ジョブ数が50になると印刷履歴を印刷します。チェックを外すと印刷を行わず古いジョブの記録から上書きされます。

チェック

印刷履歴はプリンターの電源切断時、またはリセット時(LANボード、またはLANアダプターご使用の場合はこれらの電源切断時)にすべてクリアされ、内部に保持されません。

IPアドレス等の設定を変更した場合もクリアされます。設定を[記録]から[記録しない]に変更した場合、プリンターが保持している印刷履歴を印刷してから設定が変更されます。

[通信設定]シート

通信に関する設定を行います。プリンターがイーサネットで接続されている場合と無線で接続されている場合では表示内容が異なります。

■ イーサネットで接続されている場合

通信速度、通信方式の設定を行います。通信速度の指定ができないプリンターでは、このシートは表示されません。

- 自動設定

  10BASE-T、または100BASE-TXを自動判別し、通信速度を決定します。また、通信方式も自動で選択されます。

- マニュアルで設定する

  以下の項目をマニュアルで設定できます。

  － 通信速度

  100BASE-TX： 100BASE-TX固定の接続設定になります。

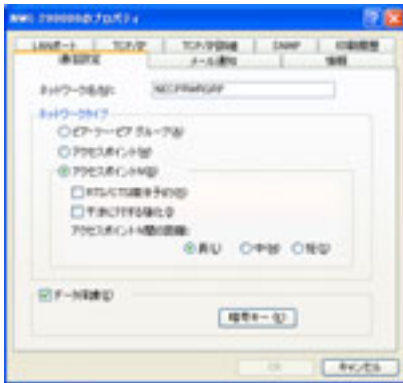
  10BASE-T： 10BASE-T固定の接続設定になります。

  － 通信方式

  全二重(Full Duplex)： パケットの送受信を同時に行うことができます。

  半二重(Half Duplex)： パケットの送受信をそれぞれ別々に行うことができます。

■ 無線で接続されている場合

ネットワークに関する設定を行います。

● ネットワーク名

接続したいアクセスポイントやコンピューターに認証機能として設定しているネットワーク名(ESS-ID)と同じ名前を設定します。

● ネットワークタイプ

以下のネットワークタイプから選択します。

ー ピア・ツー・ピアグループ(あるいはアドホック)

無線LANカードを取り付けたコンピューターと無線LANプリンターを直接、無線接続します。プリンターのLANボードの設定によって、「ピア・ツー・ピア グループ」または「アドホック」の表示が異なります。

チェック

アドホックタイプでご使用の場合は、PR-WL-11 無線LANプリンタボードに添付のPR-WL-11無線LANプリンタボードアドホック(Ad-hoc)モード接続手順書を参照してください。

[アドホック]は、無線通信に使用するチャンネルバンドを選択設定する(ネットワーク名(ESS-ID)を設定しない)無線LANカードを使用したコンピューターと接続します。アドホック設定時は、使用するチャンネルバンドが「チャンネル1」固定になります。

ー アクセスポイント

NEC無線LANアクセスポイント(PK-WL002H)経由でネットワークに無線接続します。

ー アクセスポイントN

無線LANアクセスポイント経由でネットワークに無線接続します。以下の項目は、NEC無線LANアクセスポイントN(PK-WL003)、無線LANアクセスポイントE(PK-WL005)、無線LANアクセスポイントS(PK-WL007)と無線LANプリンターを接続する場合に、アクセスポイントの設定に合わせた設定を行います。その他のアクセスポイントと接続する場合は変更の必要はありませんので、初期値のままご使用ください。

項　目	説　明
RTS/CTS媒体予約	チェックを付けることでRTS/CTS媒体予約を使用します。 ● 使用しない：CSMA/CA機構で無線メッセージの衝突検出と再送を行います。 ● 使用する：　送信メッセージが長い場合、アクセスポイントがRTSを受信するとCTSを無線端末に送信し、RTSを送信した無線LANボードが転送を完了するまで他の無線端末を待たせます。
干渉に関する強化	ネットワーク内で使用している電子レンジなどとの干渉により、無線ネットワークの性能が落ちている場合にチェックします。
アクセスポイントN間の距離	無線LANボードのローミング感度を設定します。「長」から「短」になるほどローミングしやすくなります。 無線ネットワーク環境では、通常、複数のアクセスポイントの設置が密集してくると「長」から「短」の設定になります。無線ネットワーク環境で一致しない値を使うと無線通信性能に著しく影響するおそれがあります。

- データ保護

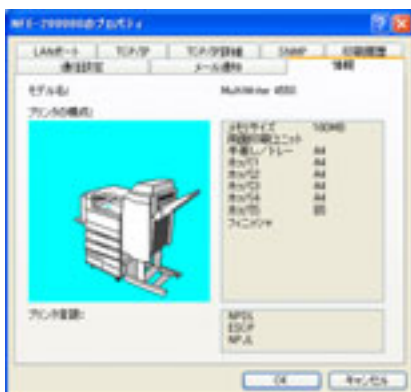
  チェックすると、WEP(Wired Equivalent Privacy)データ暗号化方式により、無線LANで転送されるデータを暗号化します。暗号キーは次のように使用します。

  ー キー1から4の暗号キーは、無線LANボードが受信する無線メッセージを複合します。

  ー キー1から4の中から選択された1つの暗号キーは、無線LANボードが送信する無線メッセージを暗号化します。選択された暗号キーは、必ず設定する必要があります。

  [暗号キー]は、アクセスポイントやコンピューターの無線端末が、無線LANボードにデータを送信するときに使用する暗号キーと同じものを設定します。
  使用できる文字は、[英数字を使用]を選択時は、半角英数字「a〜z」、「A〜Z」、「0〜9」です。[16進数を使用]を選択時は、「0〜9」、「A〜F」です。
  暗号キーの文字数は、5文字(16進数で10桁)または13文字(16進数で26桁)のどちらかの文字数でのみ設定することができます。

[情報]シート

プリンターの構成情報を以下の項目で文字とイラストを使って表示します。プリンターと双方向通信ができず、プリンターの情報が取得できないときはこのシートは表示されません。

- モデル名
  プリンターのモデル名です。
- プリンタの構成
  プリンターに装着されているオプションなどの情報です。
- プリンタ言語
  プリンターで使用可能なプリンターの言語を一覧します。

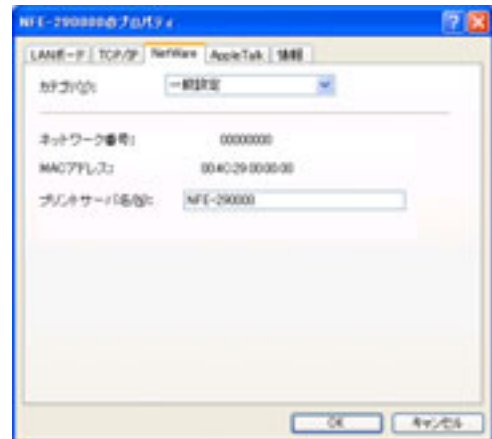
[NetWare]シート

NetWareネットワーク環境で印刷する場合の設定をします。[カテゴリ]の設定によってシートの表示が切り替わります。

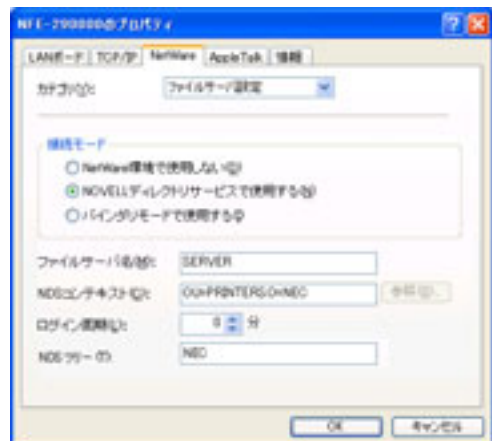
NetWareプロトコルを持たないプリンターではこのシートは表示されません。

■ 一般設定

[一般設定]を選ぶと、以下のような表示や設定ができます。

- ネットワーク番号
  NetWareネットワーク番号を示します。
- MACアドレス
  プリンターのMACアドレスを示します。
- プリントサーバ名
  NetWareで使用するプリントサーバー名を設定します。

■ ファイルサーバ設定

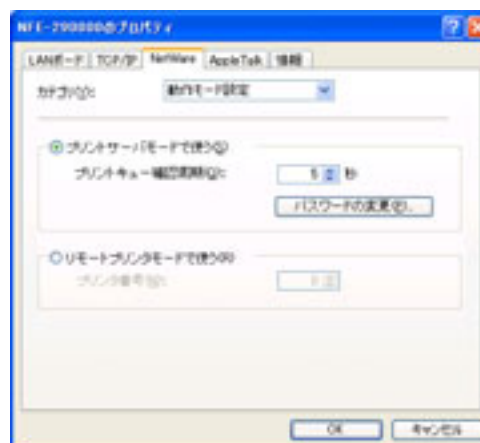
[ファイルサーバ設定]を選択すると、以下のような設定ができます。

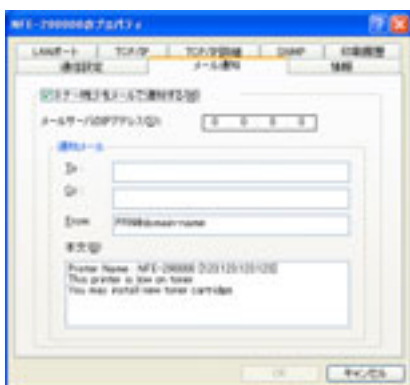
- 接続モード
  NetWareサーバーへの接続モードを指定します。
  - NetWare環境で使用しない
    NetWareプリントサービスを使用しないとき選択します。
  - NOVELLディレクトリサービスで使用する
    NetWare 4.1以降のNDSモードで接続するときに使用します。
  - バインダリモードで使用する
    NetWare 3.1以降で使用できるモードです。
- ファイルサーバ名
  プリントサーバーが定義されているファイルサーバー名を指定します。

- NDSコンテキスト
  NDSモードで接続するときプリントサーバーが定義されているコンテキストを入力します。
- ［参照］
  NDSコンテキスト情報を入力するときに利用します。クリックすると以下のダイアログボックスが表示されます。このボタンは、ご使用のコンピューターにNovellのNetWareクライアントソフトウエアがインストールされていることで有効になります。また、NetWareサーバーにログインしていることが必要です。

– コンテキスト
  現在選択されているコンテキストを表示します。
– コンテキスト選択
  ディレクトリツリーを表示しコンテキストを選択します。
– ログイン周期
  ファイルサーバーとの接続が切れたときに再ログインする周期を設定します。
– NDSツリー
  NDSツリー名を設定します。NDSコンテキストを［参照］で設定した場合、参照したツリーの名前が［NDSツリー］に設定されます。

■ 動作モード設定

NetWareプリントサービスのモードを指定します。

- プリントサーバモードで使う
  プリントキューの印刷ジョブを確認する周期を設定できます。また、［パスワードの変更］をクリックすると以下のダイアログボックスが表示され、NetWareのファイルサーバーにログインするためのパスワードの設定ができます。
- リモートプリンタモードで使う
  リモートプリンターの番号を選択できます。

[メール通知] シート

トナー残少をメールで通知する設定を行います。

- トナー残少をメールで通知する

  この項目にチェックするとプリンターが「トナー残少」となった場合、設定されたアドレスへメールが送信されます。

> チェック
>
> 電子メール送信後、トナーの補給またはカートリッジの交換が行われる前に送信先メールアドレスなどのパラメーターが変更されると、再度、電子メールが送信されます。

- メールサーバのIPアドレス

  メールサーバーのIPアドレスを設定します。

- To：

  メールの送信先アドレスを設定します。

> チェック
>
> メールのSubjectは以下で固定です。
>
> Subject: [NECNIC Report] Printer low-toner

- Cc：

  メールの配付先アドレスを設定します。

- From：

  メールの送信元アドレスを設定します。仮のアドレスが使用できますが、必ず「@（アットマーク）」付きの形式で入力してください。

- 本文

  メールの本文を記述します。使用可能な文字は半角文字のうち、「；（セミコロン）」を除いたものです。

より便利なネットワーク機能

MultiWriter 4550には、ネットワーク上にあるプリンターの情報を取得することやネットワークからの利用者を制限することができる便利なネットワーク機能があります。 ここでは、それぞれの機能の設定方法や利用方法について説明しています。

SNMP

SNMP(Simple Network Management Protocol)を使用することで汎用のSNMPマネージャソフトウエアからプリンターの情報を取得することができます。

Get Request、Set Requestによる管理

通信に必要なコミュニティ名を4つまで登録できます。コミュニティ名の変更方法は、以下の3つです。

> チェック
>
> 工場出荷時のコミュニティ名には「public」もしくは「fxSystemMgr」が登録されています。必要に応じて設定変更を行ってください。

- PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ
  設定の詳細については、本章の「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」の「SNMPシート」(194ページ)を参照してください。
- WWWブラウザー
  設定の詳細については、「WWWブラウザー」の「SNMP設定画面」(165ページ)を参照してください。
- Telnet
  設定の詳細については、「Telnet」の「SNMP」(172ページ)を参照してください。

サポートしているMIBは、MIB-II(RFC1213)、ホストリソースMIB(RFC1514)、およびプリンターMIB(RFC1759)です。

SNMP MIB-II(RFC1213)オブジェクト一覧

[system] グループ	[ip] グループ	[icmp] グループ
sysDescr	ipForwarding	icmpInMsgs
sysObjectID	ipDefaultTTL	icmpInErrors
sysUpTime	ipInReceives	icmpInDestUnreachs
sysContact	ipInHdrErrors	icmpInTimeExcds
sysName	ipForwDatagrams	icmpInParmProbs
sysLocation	ipInDiscards	icmpInSrcQuenchs
sysServices	ipInDelivers	icmpInRedirects
	ipOutRequests	icmpInEchos
[interface] グループ	ipOutDiscards	icmpInEchoReps
	ipReasmTimeout	icmpInTimestamps
ifNumber	ipReasmReqds	icmpInTimestampReps

(次ページへ続く)

ifIndex
ifDescr
ifType
ifMtu
ifSpeed
ifPhysAddress
ifAdminStatus
ifOperStatus
ifLastChange
ifInOctets
ifInUcastPkts
ifInNUcastPkts
ifInDiscards
ifInErrors
ifInUnknownProtos
ifOutOctets
ifOutUcastPkts
ifOutNUcastPkts
ifOutDiscards
ifOutErrors
ifOutQLen
ifSpecific

ipReasmOKs
ipFragOKs
ipFragFails
ipFragCreates
ipAdEntAddr
ipAdEntIfIndex
ipAdEntNetMask
ipAdEntBcastAddr
ipRouteDest
ipRouteIfIndex
ipRouteMetric1
ipRouteMetric2
ipRouteMetric3
ipRouteMetric4
ipRouteNextHop
ipRouteMask
ipRouteMetric5

icmpInAddrMasks
icmpInAddrMaskReps
icmpOutMsgs
icmpOutDestUnreachs
icmpOutTimeExcds
icmpOutParmProbs
icmpOutSrcQuenchs
icmpOutRedirects
icmpOutEchos
icmpOutEchoReps
icmpOutTimestamps
icmpOutTimestampReps
icmpOutAddrMasks
icmpOutAddrMaskReps

[tcp] グループ
tcpRtoAlgorithm
tcpRtoMin
tcpRtoMax
tcpMaxConn
tcpCurrEstab
tcpInSegs
tcpOutSegs
tcpRetransSegs
tcpConnState
tcpConnLocalAddress
tcpConnLocalPort
tcpConnRemAddress
tcpConnRemPort
udpOutDatagrams
tcpInErrs

[udp] グループ

udpInDatagrams
udpNoPorts
udpInErrors
udpOutDatagrams
udpLocalAddress
udpLocalPort

[snmp] グループ
snmpInPkts
snmpOutPkts
snmpInBadVersions
snmpInBadCommunityNames
snmpInBadCommunityUses
snmpInASNParseErrs
snmpInTotalReqVars
snmpInTotalSetVars
snmpInGetRequests
snmpInGetNexts
snmpInSetRequests
snmpInGetResponses
snmpInTraps
snmpOutTooBigs
snmpOutNoSuchNames
snmpOutBadValues
snmpOutGenErrs
snmpOutGetRequests
snmpOutGetNexts
snmpOutSetRequests
snmpOutGetResponses
snmpOutTraps
snmpEnableAuthenTraps

SNMPホストリソースMIB(RFC1514)オブジェクト一覧

[Device] グループ
hrDeviceIndex
hrDeviceType
hrDeviceDescr
hrDeviceStatus
hrPrinterStatus
hrPrinterDetectedErrorState

プリンターMIB(RFC1759)オブジェクト一覧

[General Printer] グループ
prtGeneralConfigChanges
prtGeneralCurrentLocalization
prtGeneralReset
prtInputDefaultIndex
prtOutputDefaultIndex
prtMarkerDefaultIndex
prtMediaPathDefaultIndex
prtConsoleLocalization
prtConsoleNumberOfDisplayLines
prtConsoleNumberOfDisplayChars
prtConsoleDisable
prtDeviceRefIndex
prtCoverDescription
prtCoverStatus
prtLocalizationLanguage
prtLocalizationCountry
prtLocalizationCharacterSet

[Input]グループ
prtInputType
prtInputDimUnit
prtInputMediaDimFeedDirDeclared
prtInputMediaDimXFeedDirDeclared
prtInputMediaDimFeedDirChosen
prtInputMediaDimXFeedDirChosen
prtInputCapacityUnit
prtInputMaxCapacity
prtInputCurrentLevel
prtInputStatus
prtInputMediaName

[Extended Input]グループ
prtInputName
prtInputVendorName
prtInputModel
prtInputVersion
prtInputSerialNumber
prtInputDescription
prtInputSecurity

[Output] グループ
prtOutputType
prtOutputCapacityUnit
prtOutputMaxCapacity
prtOutputRemainingCapacity
prtOutputStatus

[Extended Output]グループ
prtOutputName
prtOutputVendorName
prtOutputModel
prtOutputVersion
prtOutputSerialNumber
prtOutputDescription
prtOutputSecurity

[Output Dimensions]グループ
prtOutputDimUnit
prtOutputMaxDimFeedDir
prtOutputMaxDimXFeedDir
prtOutputMinDimFeedDir
prtOutputMinDimXFeedDir

[Output Features]グループ
prtOutputStackingOrder
prtOutputPageDeliveryOrientation
prtOutputBursting
prtOutputDecollating
prtOutputPageCollated
prtOutputOffsetStacking

[Marker]グループ
prtMarkerMarkTech
prtMarkerCounterUnit
prtMarkerLifeCount
prtMarkerPowerOnCount
prtMarkerProcessColorants
prtMarkerSpotColorants
prtMarkerAddressabilityUnit
prtMarkerAddressabilityFeedDir
prtMarkerAddressabilityXFeedDir
prtMarkerNorthMargin

(次ページへ続く)

prtMarkerSouthMargin
prtMarkerWestMargin
prtMarkerEastMargin
prtMarkerStatus

[Marker Supplies]グループ
prtMarkerSuppliesMarkerIndex
prtMarkerSuppliesColorantIndex
prtMarkerSuppliesClass
prtMarkerSuppliesType
prtMarkerSuppliesDescription
prtMarkerSuppliesSupplyUnit
prtMarkerSuppliesMaxCapacity
prtMarkerSuppliesLevel
[Marker Colorant]グループ

prtMarkerColorantMarkerIndex
prtMarkerColorantRole
prtMarkerColorantValue
prtMarkerColorantTonality

[Media Path]グループ
prtMediaPathMaxSpeedPrintUnit
prtMediaPathMediaSizeUnit
prtMediaPathMaxSpeed
prtMediaPathMaxMediaFeedDir
prtMediaPathMaxMediaXFeedDir
prtMediaPathMinMediaFeedDir
prtMediaPathMinMediaXFeedDir
prtMediaPathType
prtMediaPathDescription
prtMediaPathDescription
prtMediaPathDescription.3
prtMediaPathStatus
prtMediaPathStatus
prtMediaPathStatus.3

[Channel]グループ
prtChannelType
prtChannelProtocolVersion
prtChannelCurrentJobCntlLangIndex
prtChannelDefaultPageDescLangIndex
prtChannelState
prtChannelIfIndex
prtChannelStatus

[Interpreter]グループ
prtInterpreterLangFamily
prtInterpreterLangLevel
prtInterpreterLangVersion
prtInterpreterDescription
prtInterpreterVersion
prtInterpreterDefaultOrientation
prtInterpreterFeedAddressability
prtInterpreterXFeedAddressability
prtInterpreterDefaultCharSetIn
prtInterpreterDefaultCharSetOut
prtInterpreterTwoWay
[Console]グループ
prtConsoleDisplayBufferText
prtConsoleOnTime
prtConsoleOffTime
prtConsoleColor
prtConsoleDescription

[Alerts]グループ
prtAlertSeverityLevel
prtAlertTrainingLevel
prtAlertGroup
prtAlertGroupIndex
prtAlertLocation
prtAlertCode
prtAlertDescription

Trapによる管理

プリンターのエラーまたは状態変化が発生した場合に指定されたホストコンピューターにTrapを発信することができます。最大4台のホストコンピューターにTrapを送信することができます。

Trapの設定

Trapによる管理を行うためには以下の設定が必要です。

- Trap使用の要否設定
- 送信先ホストコンピューターのIPアドレス
- Trap通信のコミュニティ名
- ゲートウェイアドレスの設定

チェック

- ゲートウェイアドレスの設定について
  - 4つのホストコンピューターのIPアドレス設定の中で、LANボードのネットワークアドレスと異なるものが含まれている場合は、ゲートウェイアドレスの設定が必要です。
  - 同じネットワークアドレスのホストコンピューターにTrap送信する場合は、ゲートウェイアドレスの設定は不要です。「0.0.0.0」（工場出荷設定）のままでご使用ください。
- SNMP MIB IIの[SNMP]グループで「snmpEnableAuthenTraps」の設定が[Disabled（2）]になっている場合は、すべてのTrap設定が無効となります。Trapをご使用の場合は、[Enabled（1）]に設定してください。なお、工場出荷時は[Enabled（1）]に設定されています。
- 「SnmpEnableAuthenTraps」の設定に関わらず、LANボードに登録されたIPアドレス等の情報は保持されます。

Trapの設定方法は、以下の3つです。

- PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ
  設定の詳細については、「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」の「SNMPシート」（194ページ）を参照してください。
- WWWブラウザー
  設定の詳細については、「WWWブラウザー」の「SNMP設定画面」（165ページ）を参照してください。
- Telnet
  設定の詳細については、「Telnet」の「SNMP」（172ページ）を参照してください。

Trapの送信

プリンターのエラーまたは状態変化が発生すると登録されたすべてのホストコンピューターにTrapが送信されます。Trapはプリンターのエラーが取り除かれるまで10分おきに送信されます。Trap-PDUで通知される情報は次のとおりです。

- プリンターCold Start発生情報
- プリンターWarm Start発生情報
- プリンターエラー発生情報

  Variable-bindings
  - hrPrinter Detected Error State
  - prtAlert Index
  - prtAlert Severity Level
  - prtAlert Group
  - prtAlert Group Index
  - prtAlert Location
  - prtAlert Code

アクセス制限

アクセス制限とは、例えばサーバ(課金サーバなど)を特定した印刷実行ニーズに対応するために、ある特定のコンピュータまたはネットワークからの印刷を許可または拒否する機能です。あらかじめ設定されたアクセス許可／拒否設定、IPアドレス、ネットマスクにより指定される送受信パケットはフィルタリングが実行され、印刷が行えるコンピューターを制限できます。

チェック

アクセス制限機能が有効な場合は、アクセスを拒否されているコンピューターからWWWブラウザーやTelnetなど、すべての通信を行うことができません。通信を行う場合は、設定を無効にしてください。

概要

アクセス制限による送受信パケットのフィルタリングはプリンター内で以下のように実行されます。

準備動作として、設定されているアクセス制限設定値のIPアドレスとネットマスクの論理積(AND)を行い、比較アドレスを作成する。

設定IPアドレス　192.168.100.0
設定ネットマスク　255.255.255.192
論理積結果　192.168.100.0（比較アドレス）

↓

ネットワーク通信が行われると、送受信パケットからIPアドレスを抽出する

↓

抽出したIPアドレスとネットマスクの論理積(AND)を行い対象アドレスを作成する。

抽出IPアドレス　192.168.100.7
設定ネットマスク　255.255.255.192
論理積結果　192.168.100.0（対象アドレス）

↓

比較アドレスと対象アドレスを比較し、上記の例では比較アドレスと対象アドレスが一致したため、アクセス制限の処理の対象となる。不一致の場合は対象外となり次優先順位のアクセス制限設定による比較の対象となる。

アクセス制限の設定

アクセス制限設定には、以下の3つの方法があります。

- WWWブラウザー
  汎用のWWWブラウザーを使用して設定します。
  WWWブラウザーからLANボードのページを起動し、[LANボードの管理者設定画面]ー[TCP/IP]から「TCP/IP設定画面」を開き、アクセス制限に関する各項目を設定してください。詳しくは、「ネットワークでの設定」の「WWWブラウザー」をご覧ください。
- Telnet
  Telnetでプリンターに接続(ログイン)して設定します。
  メインメニューで「4」を入力し、「Enter」キーを押して「Access Limitation Setting」を表2示して、アクセス制限に関する各項目を設定してください。詳しくは、「ネットワークでの設定」の「Telnet」をご覧ください。

- プリンターの操作パネル
  プリンターの操作パネルからアクセス制限のON/OFFを切り替えることができます。
  アクセス制限を「ON」→「OFF」とすることでアクセス制限は無効となります。再度、「OFF」→「ON」とした時に、前回「ON」時に設定された条件でアクセス制限が有効となります。
  プリンターの操作パネルからの設定は、一時的なアクセス制限の解除やユーザーの設定ミスによって生じたネットワーク不通状態からの復旧のために使用し、詳細な設定は「WWWブラウザー」、「Telnet」から行ってください。

アクセス制限の解除

❶ プリンターの電源スイッチをONにする。

電源ON後、プリンターが印刷可能な状態(印刷可ランプ点灯)になったことを確認します。

❷ [印刷可]スイッチを押す。

[印刷可]ランプが消灯します。

印刷可

❸ データランプが点灯していないことを確認する。

点灯している場合は[シフト]スイッチを押しながら[排出]スイッチを押して、プリンター内部に残っている印刷データを印刷してください。

❹ [メニュー]スイッチを押す。

プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに"テストメニュー"を表示します。

❺ ディスプレイに"I／Fセッテイメニュー"と表示されるまで[∨]スイッチを数回押す。

I／Fセッテイメニュー　→

❻ [>]スイッチを1回押す。

❼ [∨]スイッチを1回押す。

ディスプレイ下段に"←インタフェース2　セッテイ　→"と表示されます。

I／Fセッテイメニュー
←インタフェース2　セッテイ　→

❽ [>]スイッチを1回、[∨]スイッチを数回押す。

ディスプレイ上段に"アクセスセイゲン"と表示されます。

アクセスセイゲン
←　ON＊

❾ [設定変更]スイッチを押す。

"OFF"に設定されます。

アクセスセイゲン
←　OFF＊

❿ [メニュー終了]スイッチを押して、メニューモードを終了させる。

これでアクセス制限の解除終了です。プリンターはセレクト状態になります。印刷可ランプが点灯し、ディスプレイは通常表示になります。

アクセス制限使用例

使用例①　特定クライアントをアクセス制限の対象とする場合

192.168.1.10 からの印刷のみ許可したい

設定名称	有効/無効	許可/拒否	IPアドレス	ネットマスク	コメント
アクセス制限1	有効	アクセス許可	192.168.1.10	255.255.255.255	192.168.1.10 許可
アクセス制限2	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限3	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限4	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限5	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない

192.168.1.50 からの印刷のみ拒否したい

設定名称	有効/無効	許可/拒否	IPアドレス	ネットマスク	コメント
アクセス制限1	有効	アクセス拒否	192.168.1.50	255.255.255.255	192.168.1.50 拒否
アクセス制限2	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限3	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限4	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限5	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない

使用例②　特定ネットをアクセス制限の対象とする場合

192.168.1 ネットからの印刷のみ許可したい

設定名称	有効/無効	許可/拒否	IPアドレス	ネットマスク	コメント
アクセス制限1	有効	アクセス許可	192.168.1.0	255.255.255.0	192.168.1　ネット許可
アクセス制限2	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限3	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限4	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限5	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない

192.168.2 ネットからの印刷のみ拒否したい

設定名称	有効/無効	許可/拒否	IPアドレス	ネットマスク	コメント
アクセス制限1	有効	アクセス拒否	192.168.2.0	255.255.255.0	192.168.2　ネット拒否
アクセス制限2	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限3	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限4	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限5	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない

使用例③　応用例

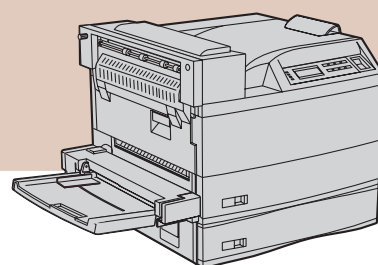
192.168 ネットのみ許可したい
ただし192.168.2 ネットは拒否したい
しかし192.168.2.10 は許可したい

設定名称	有効/無効	許可/拒否	IPアドレス	ネットマスク	コメント
アクセス制限1	有効	アクセス許可	192.168.2.10	255.255.255.255	192.168.2.10　ネット許可
アクセス制限2	有効	アクセス拒否	192.168.2.0	255.255.255.0	192.168.2　ネット拒否
アクセス制限3	有効	アクセス許可	192.168.0.0	255.255.0.0	192.168　ネット許可
アクセス制限4	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限5	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない

使用例④　応用例

192.168.1.64 ～192.168.1.127 まで許可したい

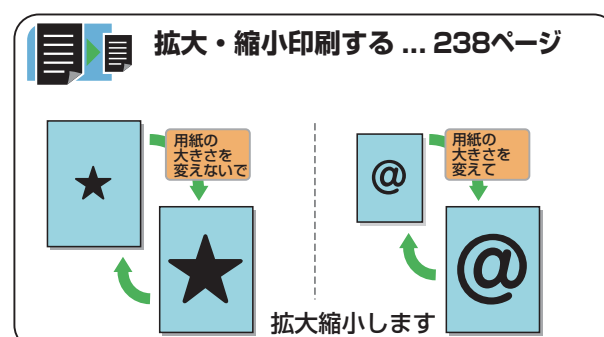
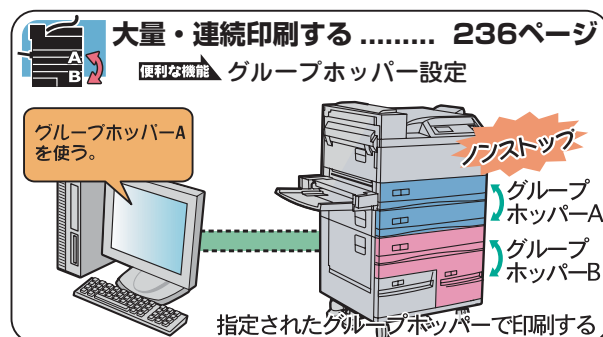
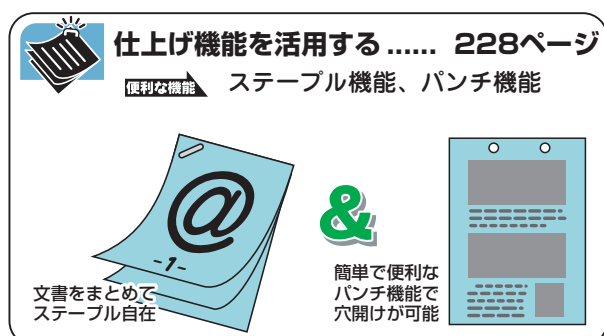
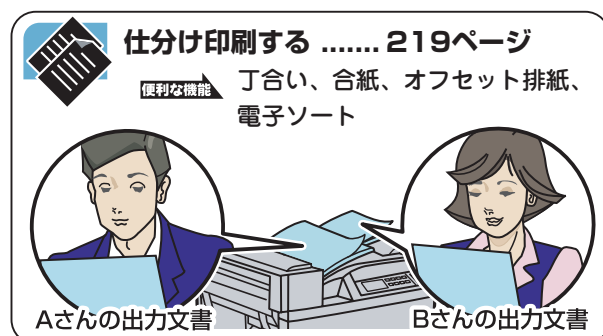
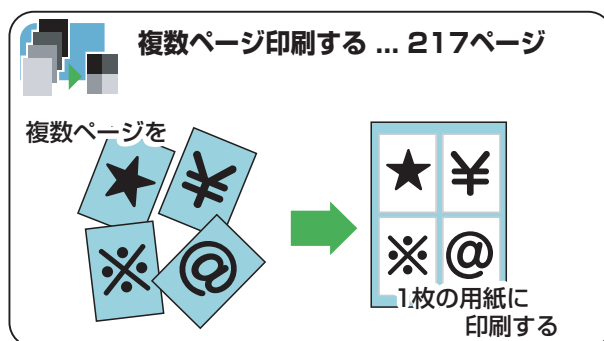
設定名称	有効/無効	許可/拒否	IPアドレス	ネットマスク	コメント
アクセス制限1	有効	アクセス拒否	192.168.1.0	255.255.255.192	192.168.1.0～63　拒否
アクセス制限2	有効	アクセス許可	192.168.1.0	255.255.255.128	192.168.1.0～127　許可
アクセス制限3	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限4	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限5	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない

4章
より進んだ使い方

この章では、MultiWriter 4550の便利な機能の紹介とその使い方について説明します。
本プリンターがもつ様々な機能を組み合わせて使うことにより、MOPYINGをより快適に使用することができ、印刷コストの削減も図れます。この章をよくお読みになり、MultiWriter 4550を使いこなしてください。

機能の紹介

MultiWriter 4550には、「MOPYINGとは」(8ページ)で紹介した機能の他にもPrintAgentやプリンターステータスウィンドウ(PSW)と言った様々な機能があります。

各機能の詳細、および設定方法についてはプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている活用マニュアルまたはヘルプをご覧ください。

MultiWriter 4550を使った便利な印刷機能は以下のとおりです。

手間とコストを削減して印刷する 243ページ
MOPYING
MOPYING設定
ウィンドウを使うと…
両面印刷
複数ページ印刷
などの
印刷設定が簡単!!

よく使う設定を登録する.245ページ
便利な機能
「かんたん設定」
いつもの設定で
お願いね。
クリック
早くきれいに

定形外サイズの用紙に印刷する
..............................247ページ
定形外の紙に印刷

印刷位置をずらす 251ページ
位置をずらして
印刷する

リプリントする 252ページ
便利な機能
PrintAgent リプリント2
アプリケーションを
立ち上げないで
一度印刷した文書を
再印刷

文書を結合する 258ページ
便利な機能
PrintAgent リプリント2
一度印刷した別々の文書を
自由に・・・
組み合わせたり
結合したり

「PrintAgent」ツールバー
............................261ページ
PA
再印刷
ボタン操作ひとつで・・・
PrintAgentの機能を呼び出す

プリンターの状態や印刷状況を見る
.... 262ページ
便利な機能
プリンタステータスウィンドウ
プリンターの状態を
印刷できます。
パソコンに表示する

太枠線で囲んで記載している機能は、ネットワーク環境でMultiWriterを使用するときに便利な機能です。MultiWriter 4550を一元管理することができます。

両面印刷

両面印刷はA3、B4、A4、B5、A5、レターサイズの普通紙を選択しているときに可能です。（用紙に関しては、付録の「用紙の規格」の両面印刷時をご覧ください。）

両面印刷の設定は、Windows XP/2000/NT 4.0/Me/98/95が動作しているコンピューターでご利用できます。

重要

指定以外の用紙を使わないでください。また、両面印刷をする際は両面とも印刷されていない用紙をお使いください。指定以外の用紙や、すでに印刷されている用紙をセットして両面印刷をすると紙づまりやプリンターの故障の原因となります。

❶ 両面印刷を有効に設定する。

<Windows XPの場合>

① Windows XPは[プロパティ]ダイアログボックスの[メイン]シートを開き、左側の[機能選択]バーから[両面印刷]ボタンを選択します。

② [両面印刷]で[長辺綴じ]または[短辺綴じ]のいずれかを選びます。

<Windows 2000/NT 4.0の場合>

① Windows 2000は[印刷設定]ダイアログボックス、Windows NT 4.0は[ドキュメントの既定値]ダイアログボックスの[メイン]シートを開き、左側の[機能選択]バーから[両面印刷]ボタンを選択します。

② [両面印刷]で[長辺綴じ]または[短辺綴じ]のいずれかを選びます。

<Windows Me/98/95の場合>

- Windows Me/98/95は[プロパティ]ダイアログボックスの[レイアウト]シートを開き、[両面印刷]で[長辺綴じ]または[短辺綴じ]のいずれかを選びます。

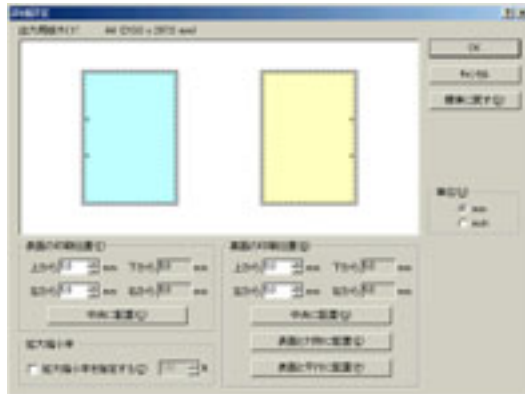
❷ 印刷開始ページを設定する。

❸ 必要に応じて、綴じしろの位置、印刷位置を設定する。

<Windows XP/2000/NT 4.0の場合>

[その他]シートの[拡張機能]ツリーメニューの[印刷位置微調整]ダイアログボックスを開きます。

＜Windows Me/98/95の場合＞

[レイアウト]シートの[詳細設定]ダイアログボックスを開きます。

❹ **[OK]をクリックする。**

ダイアログボックスを閉じます。

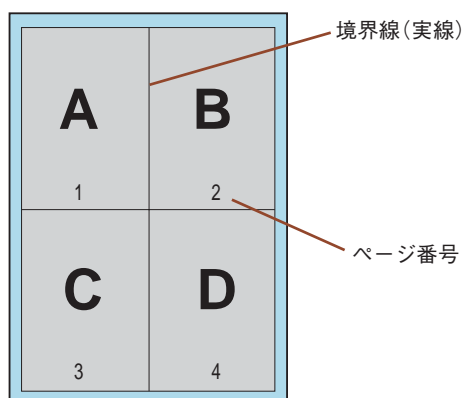
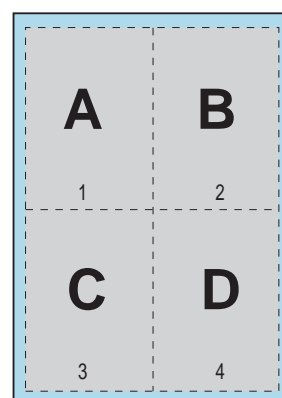
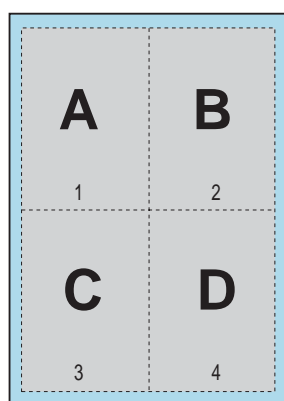
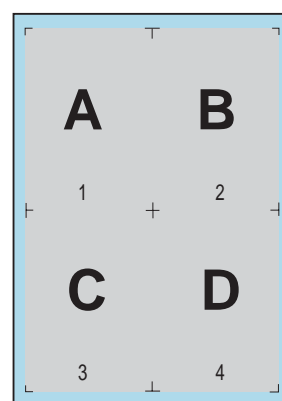
❺ **[印刷]ダイアログボックスで印刷範囲を指定して[OK]をクリックする。**

プリンターの両面ランプが点灯して両面印刷を始めます。

丁合いや印刷部数はプリンタードライバーのプロパティダイアログボックスで設定してください。

複数ページ印刷

複数ページ印刷では、連続した複数ページの印刷データを1枚の用紙に縮小配置して印刷することができます。さらに境界線や、ページ番号を次のとおり設定することができます。
他の印刷機能とも組み合わせることができるのでドラフト印刷、カタログ印刷などに有効な機能です。

Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0、Windows Me/98/95でご利用できます。

境界線(実線)、ページ番号付加の場合

境界線(破線)、ページ番号付加の場合

境界線(点線)、ページ番号付加の場合

境界線(カットマーク)、ページ番号付加の場合

境界線のイメージ(ページ数"4ページ→1ページ"、配置Z型に設定した場合)

設定方法

以下に設定方法を説明します。

❶ ［プロパティ］ダイアログボックスの［レイアウト］シートを開き、［複数ページ印刷］を選択する。

Windows XP/2000は［印刷設定］ダイアログボックス、Windows NT 4.0は［ドキュメントの既定値］の［メイン］シートを開き、左側の［機能選択］バーから［複数ページレイアウト］を選択します。

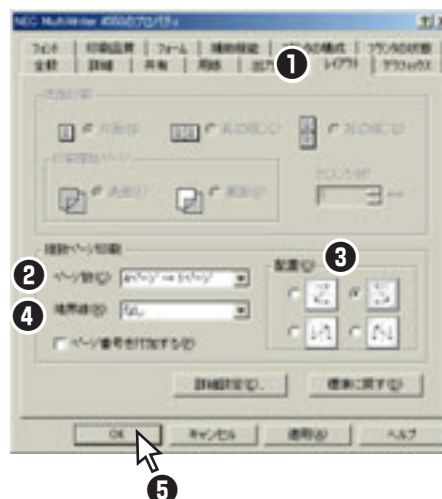
❷ ［ページ数］から縮小配置するページ数を選択する。

❸ ［配置］から配置方法を選択する。

❹ 必要に応じて、［境界線］および［ページ番号を付加する］を選択する。

❺ ［OK］をクリックする。

<Windows XP/2000/NT 4.0の場合>

<Windows Me/98/95の場合>

仕分け印刷

MultiWriter 4550では印刷時の仕分け機能として、丁合い機能、合紙機能、オフセット排紙、丁合い印刷機能を高速にする電子ソート機能があります。複数部数を印刷する場合に、これらの機能を組み合わせて使うことによって簡単に仕分け印刷することができます。ここではそれぞれの機能を組み合わせた場合の便利な使い方についても説明します。

重要

これらの機能を使用するにはOSスプールの設定が双方向通信機能をサポートする設定になっていることが必要です。双方向通信を有効に設定していない場合、または双方向通信ができない場合は、部単位ごとの仕分け印刷ができない場合があります。詳しくは、9章の「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」(401ページ)をご覧ください。

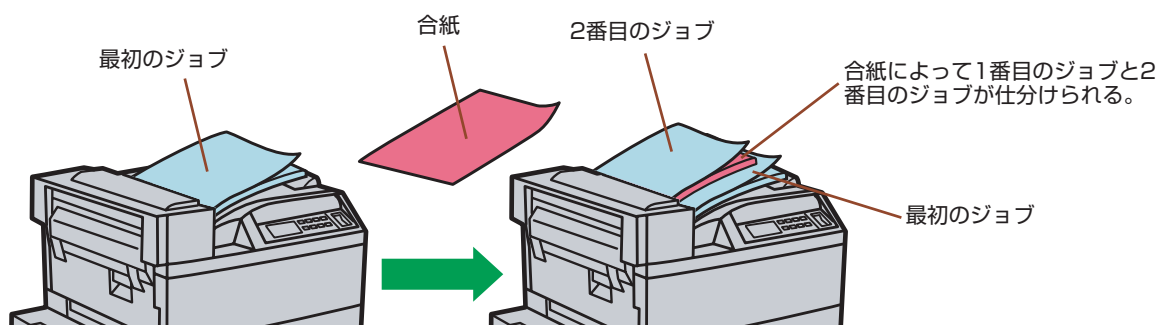
丁合い機能

丁合い機能とは、部単位(1ページ・2ページ・3ページ、1ページ・2ページ・3ページ・・・・)に印刷する機能のことです。
さらに、ステープル機能やパンチ機能を組み合わせると簡易製本ができます。詳しくは、「仕上げ機能」(228ページ)をご覧ください。

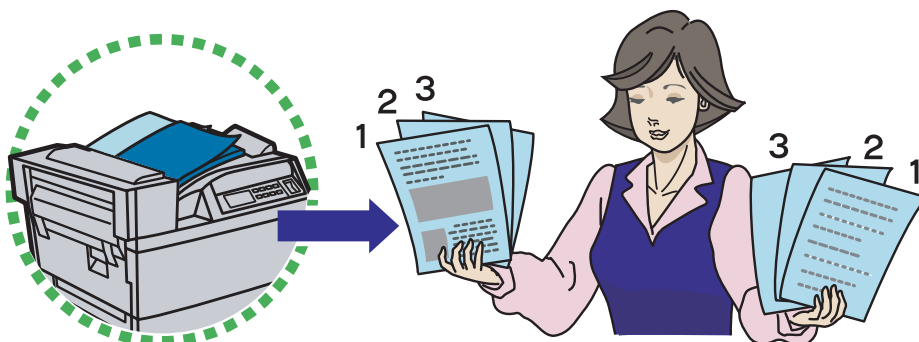
丁合い機能はWindows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0、Windows Me/98/95で双方向通信が有効な場合に利用できます。双方向通信については、9章の「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」(401ページ)をご覧ください。

また、双方向通信が無効な環境の場合には、メモリーを増設して増設ハードディスクを取り付けた上で電子ソート機能を有効にすることにより利用できます。(電子ソート機能については220ページをご覧ください。)

合紙機能

合紙機能とは、印刷ジョブ(ひとつの文書)ごとに仕分けるために、ホッパーにセットしてある色のついた紙を間に挟んで、排出される用紙を排紙トレー上で仕分ける機能です。ホッパー、トレー、あるいは大容量ホッパーにジョブの用紙サイズと同じで、色のついた用紙がセットされている必要があります。ネットワークで共有プリンターとしてご利用の場合などは、他の人のドキュメントと区別されるので自分のドキュメントを簡単に見つけることができ、便利です。

オフセット排紙機能を使った仕分け印刷

オフセット排紙機能*1を使った仕分け印刷とは、印刷ジョブを部単位ごとに印刷するとともに、用紙を左右にずらして排紙トレーまたはフィニッシャー上に仕分けて排出します。
ネットワークで共有プリンターとしてご利用の場合などは、他の人のドキュメントと区別されるので自分のドキュメントを簡単に見つけることができ、便利です。

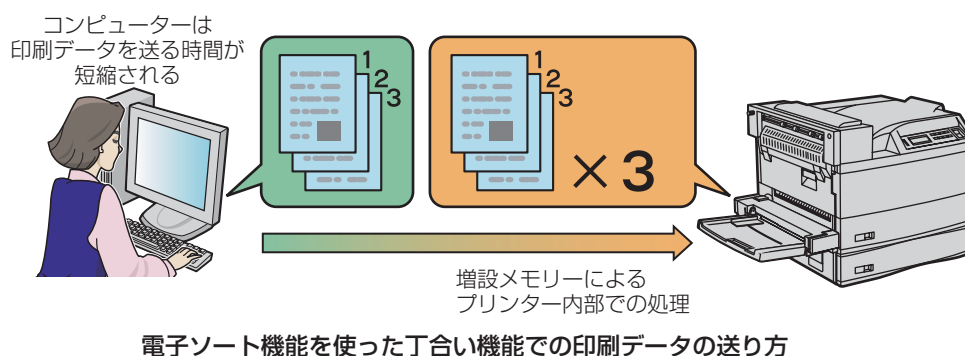
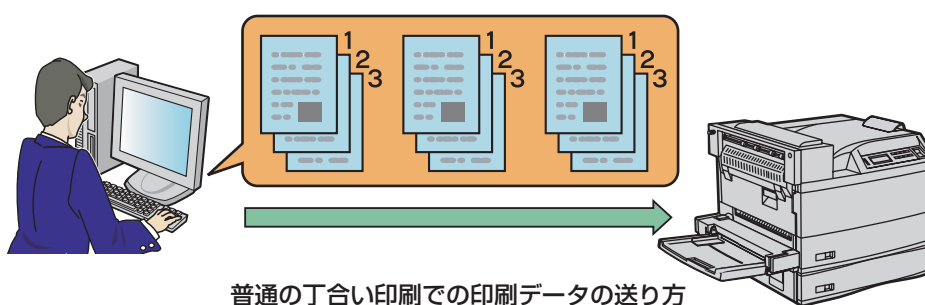
*1 ステープル機能を使用する場合には、オフセット排紙機能はご使用できません。

電子ソート機能

電子ソート機能とは、複数部数を印刷する場合にコンピューターから1部目だけ印刷データを送り、2部目以降はプリンターで印刷データ処理を行う機能*2のことです。オプションの増設メモリーをプリンターに取り付けることにより実現できます。また、オプションの増設メモリーおよび、増設ハードディスクをプリンターに取り付けることにより印刷保証枚数を増やすことができます。(印刷保証枚数については511ページを参照してください。)

これにより、コンピューターはプリンターに印刷データを送る時間を短縮することができ、コンピューターの印刷処理を早期に解放できます。2部目以降はプリンター内で印刷データを高速に処理させて印刷するので、複数部数印刷時の高速化が可能です。また、丁合い機能、オフセット排紙機能やパンチ・ステープル機能と組み合わせてお使いになると複数の文書を高速に印刷することができるので、さらに便利です。

*2 増設メモリー容量、文書のページ数、解像度、用紙サイズ、両面印刷の設定の条件によっては2部目以降でもデータを送る場合があります。(双方向通信有効時)

普通の丁合い印刷での印刷データの送り方

電子ソート機能を使った丁合い機能での印刷データの送り方

設定方法

以下の4つの機能の設定方法について説明します。

- 丁合い機能 221ページ
- 合紙機能 223ページ
- オフセット排紙機能 225ページ
- 電子ソート機能 226ページ

それぞれの機能を組み合わせて仕分け印刷を行う場合、各機能の設定方法をよくお読みになり、組み合わせたい機能をそれぞれ設定した後に印刷を行ってください。

丁合い機能

丁合い機能とは、部単位(1ページ・2ページ・3ページ、1ページ・2ページ・3ページ・・・・)に印刷する機能のことです。

丁合い機能はWindows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0、Windows Me/98/95で双方向通信が有効な場合に利用できます。双方向通信については、9章の「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」(401ページ)をご覧ください。

チェック

丁合い機能の設定はプリンターのプロパティダイアログボックスで行ってください。アプリケーションによっては、印刷機能で丁合い*、部数の指定ができるものがありますが、これらの機能を使って丁合いを指定しても正しく機能しない場合があります。この機能を利用する場合はアプリケーションで丁合い、部数の指定をしないでください。

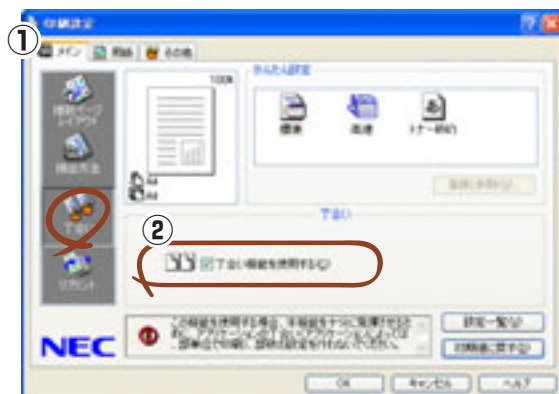
またアプリケーションによってはアプリケーションで設定した部数が優先される場合があります。その場合はアプリケーションで設定を行ってください。

* アプリケーションによっては、「部単位で印刷」という表示になっている場合があります。

❶ **プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスを開き、丁合い機能を有効にする。**

＜Windows XP/2000/NT 4.0の場合＞

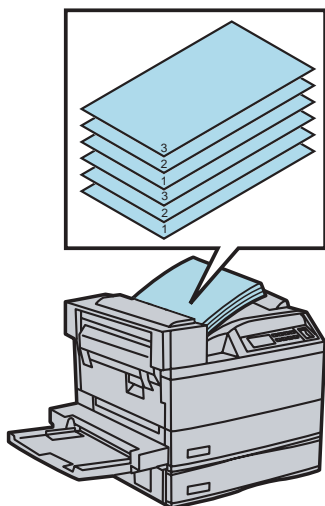
① Windows XP/2000は[プロパティ]ダイアログボックス、Windows NT 4.0は[ドキュメントの既定値]ダイアログボックスの[メイン]シートを開き、左側の[機能選択]バーから[丁合い]ボタンを選択します。

② [丁合い]の[丁合い機能を使用する]をチェックします。

＜Windows Me/98/95の場合＞

Windows Me/98/95は[プロパティ]ダイアログボックスの[出力制御]シートを開き、[丁合い機能を使用する]ボタンをクリックします。

❷ ［印刷］ダイアログボックスで印刷範囲を指定して［OK］をクリックする。

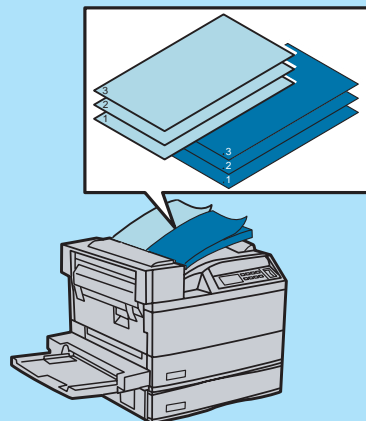
部単位（1ページ・2ページ・3ページ、1ページ・2ページ・3ページ・・・・）に仕分けされながら排紙トレー上に排出されます。

丁合いや印刷部数はプリンタードライバーのプロパティダイアログボックスで設定してください。

オフセット排紙機能と丁合い機能を組み合わせた使い方

オフセット排紙機能と丁合い機能を組み合わせて使うと、部単位ごとに用紙が左右交互に仕分けされながら排紙トレー上に排出されます。

オフセット排紙機能と丁合い機能は標準で有効になっています。

オフセット排紙機能と丁合い機能を組み合わせて使う場合、丁合い機能の設定と225ページの「オフセット排紙機能」手順❶〜❹の設定をしてから印刷を行ってください。

アプリケーションのダイアログボックスで「丁合い」もしくは「部単位で印刷」の指定ができる場合がありますが、アプリケーションの印刷ダイアログボックスの丁合い機能は使用せずにプリンターのプロパティで丁合い機能を有効にしてください。

合紙機能

合紙(あいし)とは、文書(印刷ジョブ)をそれぞれ仕分けるためにあらかじめホッパーにセットしてある色のついた用紙を文書ごとに挟む機能です。合紙機能を使って印刷するには次の手順で行います。

チェック

- 合紙機能を使用する場合は、用紙サイズや用紙の給紙方向(横置き、縦置き)をそろえてホッパーやトレーにセットしてください。
- 丁合機能の選択は[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスで行ってください。アプリケーションによっては、印刷機能で丁合いの指定ができるものがありますが、これらの機能を使って丁合いを指定しても正しく機能しない場合があります。この機能を利用する場合はアプリケーションの丁合いは指定しないでください。
- 合紙に設定したホッパーまたはトレーは、通常の印刷ページ用としては使用できません。

❶ トレーまたは任意のホッパー(大容量ホッパーを含む)に色のついた用紙をセットする。

チェック

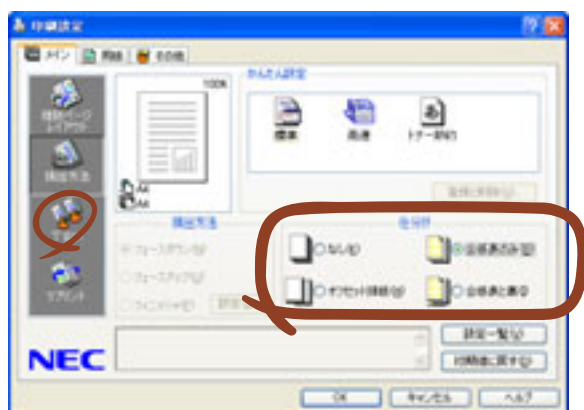
合紙と、印刷する文書に使用する用紙の種類とサイズ、給紙方向が適切であることを確認してください。

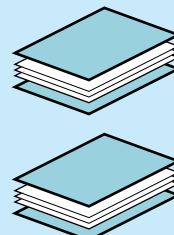
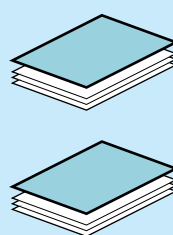
❷ 操作パネルから合紙のホッパーまたはトレー(色のついた用紙をセットしたホッパー)を設定する。

メニューモードについては7章「メニューモード」(327ページ)を参照してください。

❸ [プロパティ]ダイアログボックスの[メイン]シートを開く。

❹ 左側の機能選択バーから[排出方法]をクリックする。

❺ [仕分け]で[合紙(表のみ)]または[合紙(表と裏)]を選択し、[OK]をクリックする。

<Windows XP/2000/NT 4.0の場合>

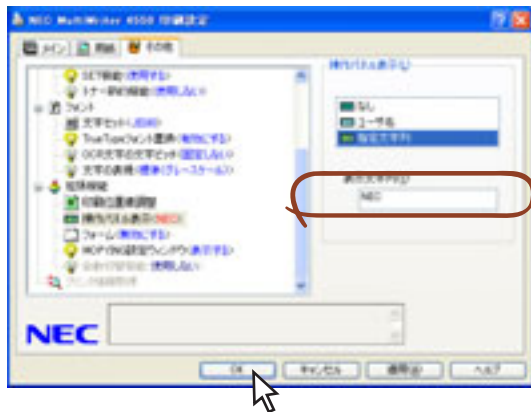
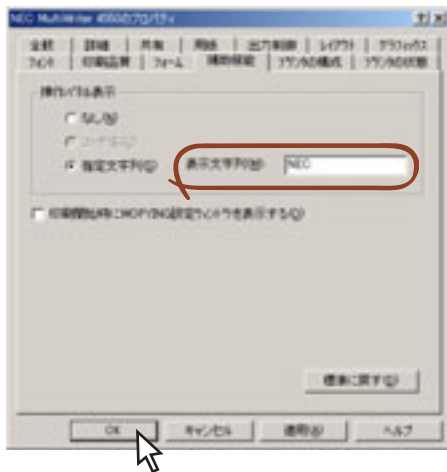
<Windows Me/98/95の場合>

Windows Me/98/95は[プロパティ]ダイアログボックスの[出力制御]シートで確認します。

❻ [その他]シートを開いて、[操作パネル表示]選択する。

❼ 合紙の表に印刷する文字列を指定し、[OK]ボタンをクリックする。

日付、時間、および操作パネルに表示する文字列と同じ文字列を合紙に印刷します。[なし]を選んだ場合は合紙には何も印刷されません。

<Windows XP/2000の場合>

<Windows Me/98/95の場合>

[補助機能]シートを開いて、合紙の表に印刷する文字列を指定し、[OK]ボタンをクリックする。

❽ [印刷]ダイアログボックスで印刷範囲と印刷部数を指定し、[部単位で印刷]をチェックしてある場合はチェックを外す。

❾ [OK]をクリックする。

印刷が始まり、合紙がセットされている給紙部から給紙され、排紙トレー上に文書を仕分けして排出されます。

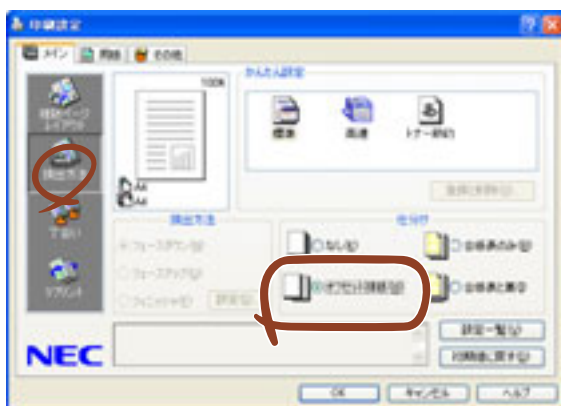
オフセット排紙機能

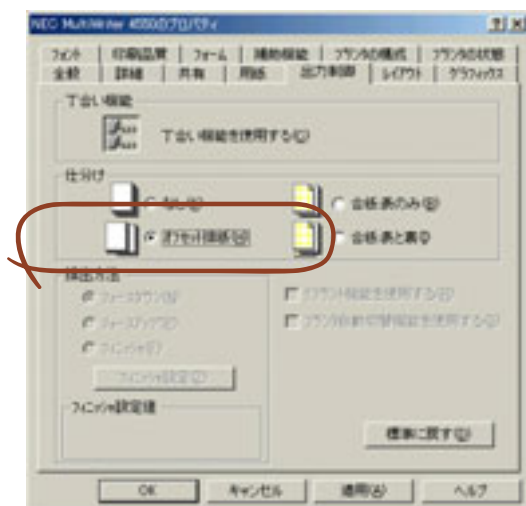
オフセット排紙は、印刷ジョブごとに用紙を左右にずらして排紙トレーに排出する機能です。

❶ プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスを開き、オフセット機能を有効にする。

＜Windows XP/2000/NT 4.0の場合＞

① Windows XP/2000は[印刷設定]ダイアログボックス、Windows NT 4.0は[ドキュメントの既定値]ダイアログボックスの[メイン]シートを開き、左側の[機能選択]バーから[排出方法]ボタンを選択します。

② [仕分け]の[オフセット排紙]をチェックします。

＜Windows Me/98/95の場合＞

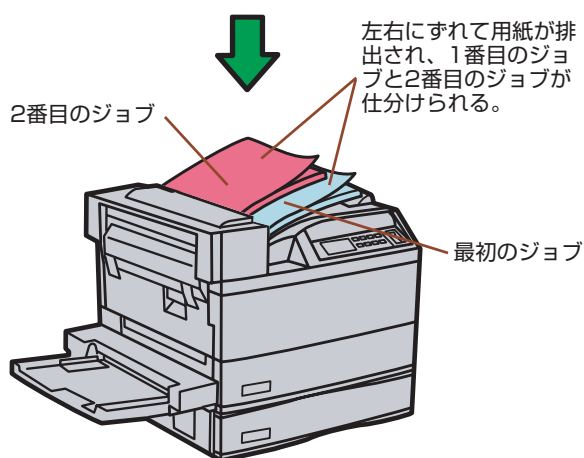
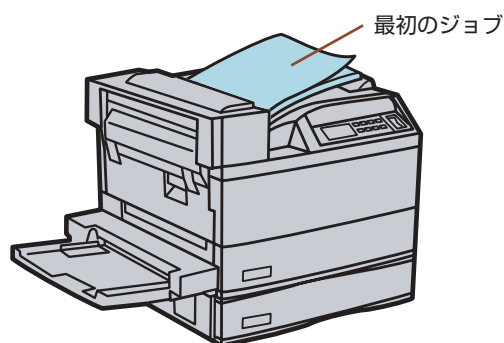
Windows Me/98/95は[プロパティ]ダイアログボックスの[出力制御]シートを開き、[仕分け]で[オフセット排紙]を選択する。

✔チェック

次の場合、オフセット排紙は使用できません。

- 普通紙・厚紙1以外の用紙
- ステープル機能を使用する場合
- フェースアップを使用する場合

❹ [印刷]ダイアログボックスで印刷範囲と印刷部数を指定し、[部単位で印刷]をチェックしてある場合はチェックを外す。

❺ [OK]をクリックする。

印刷が始まり、給紙設定されている（プリンターのディスプレイに表示されている）ホッパー（またはトレー）から用紙が給紙され、排紙トレー上に排出されます。

✔チェック

丁合い・部数の設定は、プリンタのプロパティダイアログボックスで設定してください。

電子ソート機能

電子ソート機能とは、複数部数の印刷を行う場合、コンピューターから1部目だけ印刷データを送り、2部目以降はプリンター内部で印刷処理を行う機能*のことです。オプションの増設メモリーまたは、増設メモリーと増設ハードディスクをプリンターに取り付けることにより実現できます。(増設メモリー、増設ハードディスクの取り付け方は1章「オプション」(42ページ)を参照してください。)

*　増設メモリー容量、文書のページ数、解像度、用紙サイズ、両面印刷の設定の条件によっては2部目以降でもデータを送る場合があります。

重要

MultiWriter 4550を双方向通信が無効な環境でお使いの場合には、プリンター本体に装備したメモリー容量または、増設ハードディスクを追加したことをプリンタードライバーで設定する必要があります。次の手順に従って、メモリー容量を設定してください。ただし、双方向通信が有効な環境ではPrintAgentの機能により自動的に設定されます。

電子ソート機能はWindows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0、Windows Me/98/95で動作しているコンピューターで利用できます。

また、印刷保証枚数については、「電子ソート機能有効時の印刷保証枚数表」(511ページ)を参照してください。

チェック

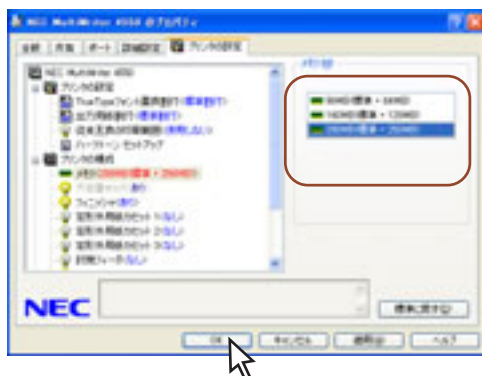
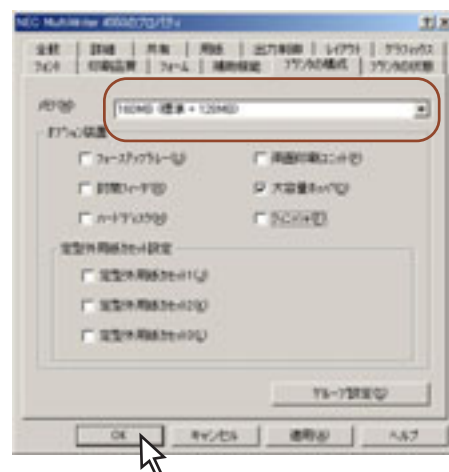
電子ソート機能を有効にするためには、プリンターに64MB以上のメモリーを増設してください。または、増設メモリーと増設ハードディスクを実装すると、印刷保証枚数を増やすことができます。

プリンタードライバーでの増設メモリーの設定方法

双方向通信が無効な環境の場合、以下のダイアログボックスの[プリンタの構成]シートを開き、[メモリ]を増設したメモリーの構成に合わせます。

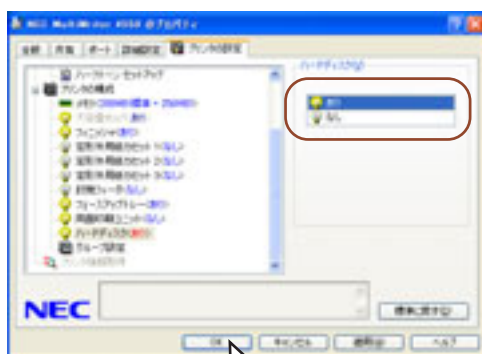
<Windows XP/2000/NT 4.0の場合>

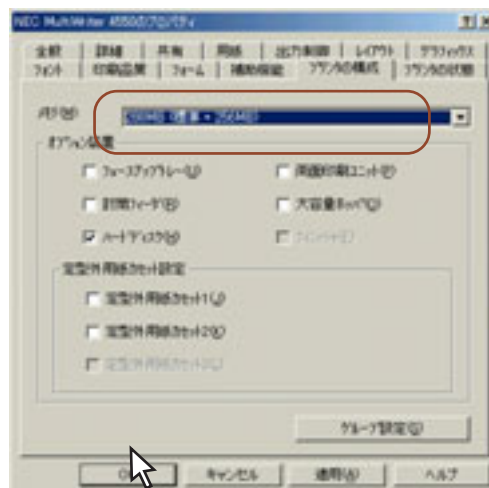
- Windows XP/2000は[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスの[プリンタの設定]シート
- Windows NT 4.0は[プロパティ]ダイアログボックスの[プリンタの設定]シート

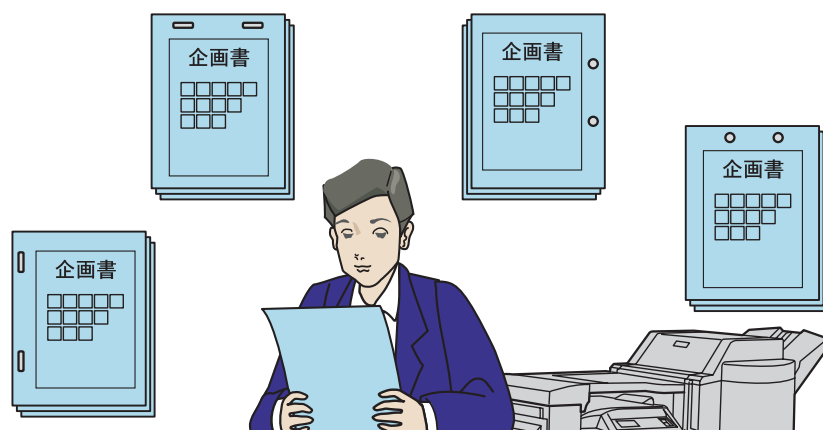
<Windows Me/98/95の場合>

Windows Me/98/95は[プロパティ]ダイアログボックスの[プリンタの構成]シート

プリンタードライバーでの増設ハードディスクの設定方法

双方向通信が無効な環境の場合、以下のダイアログボックスの[プリンタの構成]シートを開き、ハードディスクを装着した状態に設定します。

＜Windows XP/2000/NT 4.0の場合＞

- Windows XP/2000は[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスの[プリンタの設定]シート
- Windows NT 4.0は[プロパティ]ダイアログボックスの[プリンタの設定]シート

＜Windows Me/98/95の場合＞

Windows Me/98/95は[プロパティ]ダイアログボックスの[プリンタの構成]シート

仕上げ機能

フィニッシャー(オプション)のステープル機能とパンチ機能を利用すると、出力した文書を一部ずつにまとめて出力できるので、会議の時などの書類をプリンター1台で作成することができて便利です。

ステープル機能

ステープルできる用紙サイズと種類

ステープル機能をお使いになるためには、以下の条件である必要があります。ご使用前に確認してください。

<table>
<tr><th>ステープル可能な用紙サイズ</th><th>ステープル可能な用紙種類</th></tr>
<tr><td>A3　縦</td><td rowspan="5">• 普通紙
用紙厚 64g/m^2、最大50枚
• 厚紙1
用紙厚 90g/m^2まで、最大40枚
用紙厚 105g/m^2まで、最大30枚</td></tr>
<tr><td>A4　縦*、横</td></tr>
<tr><td>B4　縦</td></tr>
<tr><td>B5　横</td></tr>
<tr><td>レター　縦*、横</td></tr>
</table>

＊ A4縦、レター縦はトレー給紙のみ使用できます。

ステープル位置

印刷する向きが縦または横の場合、ステープルどめできる位置と用紙サイズ、用紙のセット方向*は以下のとおりです。用紙のセット方向については5章の「用紙のセット方向」(301ページ)を参照してください。

印刷の向き	綴じ方	イメージ	用紙サイズ							
			A3縦*	A4		B4縦*	B5		レター	
				縦*	横*		縦*	横*	縦*	横*
ポートレート	左上綴じ・ステープル1点		○	×	○	○	×	○	×	○
	右上綴じ・ステープル1点		○	○	○	○	×	○	○	○
	上綴じ・ ステープル2点		○	○	×	○	×	×	○	×
	上綴じ・ ステープル1点		×	○	×	×	×	×	○	×
	左綴じ・ステープル2点		×	×	○	×	×	○	×	○
	右綴じ・ステープル2点		×	×	○	×	×	○	×	○
ランドスケープ	左上綴じ・ステープル1点		○	○	○	○	×	○	○	○
	右上綴じ・ステープル1点		○	×	○	○	×	○	×	○
	上綴じ・ステープル2点		×	×	○	×	×	○	×	○
	右綴じ・ステープル1点		×	○	×	×	×	×	○	×
	左綴じ・ステープル2点		○	○	×	○	×	×	○	×
	右綴じ・ステープル2点		○	○	×	○	×	×	○	×

＊ 縦：縦通紙　横：横通紙

パンチ機能

パンチできる用紙サイズと種類

パンチ機能をお使いになるためには、以下の条件である必要があります。ご使用前に確認してください。

パンチ可能な用紙サイズ	パンチ可能な用紙種類
A3　縦 A4　横	• 普通紙 用紙厚 64～70g/m2 • 厚紙1 用紙厚 90～105g/m2まで

パンチ位置

印刷する向きが縦または、横の場合、パンチできる位置と用紙サイズ、用紙のセット方向*は以下のとおりです。用紙のセット方向については5章の「用紙のセット方向」(301ページ)を参照してください。

印刷の向き	綴じ方	イメージ	用紙サイズ	
			A3縦*	A4横*
ポートレート	上二点穴開け		○	×
	左二点穴開け		×	○
	右二点穴開け		×	○
ランドスケープ	上二点穴開け		×	○
	左二点穴開け		○	×
	右二点穴開け		○	×

＊ 縦：縦通紙　横：横通紙

設定方法

ステープル機能

オプションのフィニッシャーを使用し、実現できる機能です。最大50枚(片面50ページ、両面100ページ)の用紙をステープルどめすることができます。複数枚・複数部印刷し、排紙される用紙に対してステープルを行う機能です。また、このステープル機能とパンチ機能を両方組み合わせて使用することもできます。

チェック

- 印刷したい文書の用紙が同じ用紙サイズであることを確認してください。異なった用紙サイズがあると、正常にステープル機能が動作しません。
- 機能させたい用紙の枚数が50枚以下であることを確認してください。51枚以上の場合はステープルどめされません。

❶ **プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスを開き、ステープル機能を有効にする。**

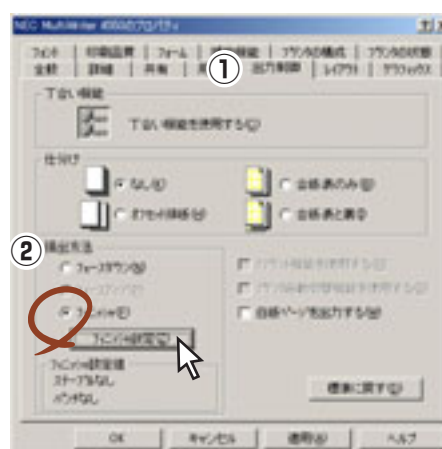
<Windows XP/2000/NT 4.0の場合>

① Windows XP/2000は[印刷設定]ダイアログボックス、Windows NT 4.0は[ドキュメントの既定値]ダイアログボックスの[メイン]シートを開き、左側の[機能選択]バーから[排紙方法]をクリックします。

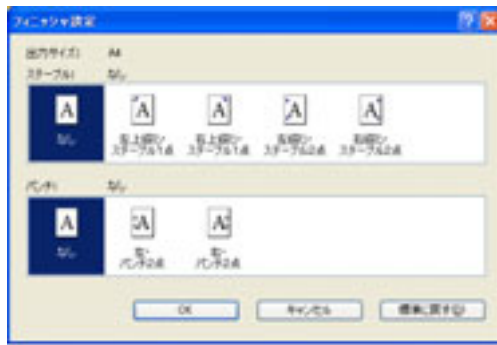
② [排紙方法]の[フィニッシャ]を選択し、[設定]をクリックします。

<Windows Me/98/95の場合>

① [プロパティ]ダイアログボックスの[出力制御]シートを開きます。

② [排出方法]の[フィニッシャ]を選択し、[フィニッシャ設定]をクリックします。

チェック

- フィニッシャーの機能を選ぶと、排出先は自動的にフィニッシャーになります。
- ステープルは印刷ジョブ単位で最大50枚までとじることができます。複数の印刷ジョブをまとめてとじることはできません。

❷ [フィニッシャ]ダイアログボックスでフィニッシャモードを設定し、[OK]をクリックする。

[フィニッシャ機能]と[綴じ方向]および[綴じ位置]の組み合わせによって出力結果が決まります。出力のイメージは235ページを参照してください。

❸ [印刷]ダイアログボックスで印刷範囲、印刷部数を指定し、[OK]をクリックする。

[印刷]ダイアログボックス上の[部単位で印刷]をチェックしてある場合、フィニッシャーが指定したとおり動作しないことがあります。その場合は[部単位で印刷]のチェックを外して、正しく動作するかどうか確認してください。

✔チェック

- フィニッシャー機能を使用できるのは給紙用紙として次の[用紙種類]および[用紙サイズ]が設定されているときのみです。それ以外の設定では警告メッセージが表示され、フィニッシャー機能を使用することはできません。
  - 用紙種類　：普通紙、厚紙1
  - 用紙サイズ：A3／A4／厚紙1／B4／B5／レター
- フィニッシャー機能を利用する場合は、用紙サイズや用紙の給紙方向（横置き、縦置き）を揃えてホッパーやトレーに用紙をセットしてください。
- 長辺綴じを行うには用紙を横置きに、短辺綴を行うには用紙を縦置きにセットしてください。
- A3、B4サイズは短辺綴じのみ設定できます。
- ステープルを指定して異なる用紙サイズを含む文書を印刷すると、まとめてステープルされず、複数に分かれてしまいます。アプリケーションによっては、印刷する際に「印刷用紙の大きさにあわせて拡大／縮小」の指定を行うことにより、同一の用紙サイズへ印刷することができ、まとめてステープルすることができます。

パンチ機能

オプションのフィニッシャーを使用すると、印刷した文書をまとめて穴をあけることができます。また、このパンチ機能とステープル機能を組み合わせて使うこともできます。

チェック

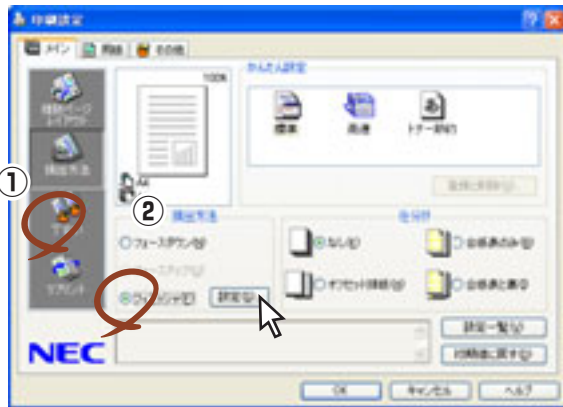
文書のグラフィックやテキストに穴があかないように十分な余白があることを確認してください。

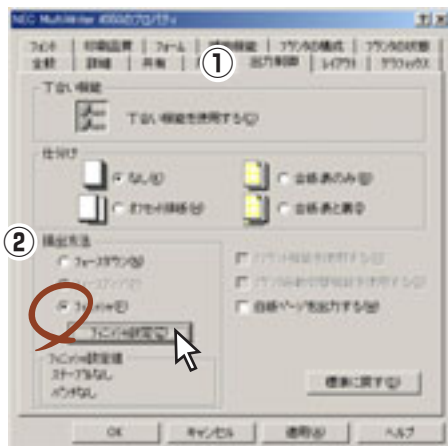
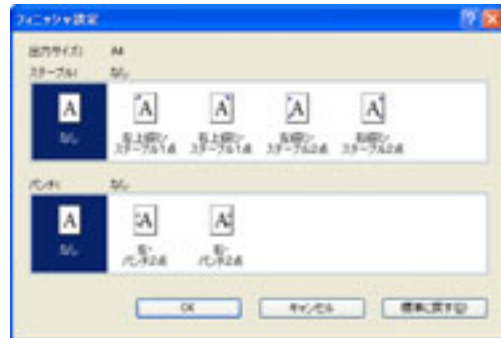
❶ **プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスを開き、パンチ機能を有効にする。**

<Windows XP/2000/NT 4.0の場合>

① Windows XP/2000は[印刷設定]ダイアログボックス、Windows NT 4.0は[ドキュメントの既定値]ダイアログボックスの[メイン]シートを開き、左側の[機能選択]バーから[排紙方法]をクリックします。

② [排紙方法]の[フィニッシャ]を選択し、[設定]をクリックします。

<Windows Me/98/95の場合>

① [プロパティ]ダイアログボックスの[出力制御]シートを開きます。

② [排出方法]の[フィニッシャ]を選択し、[フィニッシャ設定]をクリックします。

❷ **[フィニッシャ]ダイアログボックスでフィニッシャモードを設定し、[OK]をクリックする。**

[フィニッシャ機能]と[綴じ方向]および[綴じ位置]の組み合わせによって出力結果が決まります。出力のイメージはそれぞれ次ページのようになります。

❸ **[印刷]ダイアログボックスで印刷範囲、印刷部数を指定し、[OK]をクリックする。**

[印刷]ダイアログボックス上の[部単位で印刷]をチェックしてある場合、フィニッシャーが指定したとおり動作しないことがあります。その場合は[部単位で印刷]のチェックを外して、正しく動作するかどうか確認してください。

丁合い機能、仕上げ機能を組み合わせて簡易製本する

ひとつの文書を2部以上印刷(コピー印刷)する場合、丁合い機能、合紙機能、オフセット排紙、仕上げ機能のステープル機能を組み合わせて使用することにより、仕分けが簡単になり、簡易製本も作成することができます。
以下に、その例を挙げて説明します。

チェック

- 丁合い機能の選択は[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスで行ってください。アプリケーションによっては、印刷機能で丁合いの指定ができるものがありますが、これらの機能を使って丁合いを指定しても正しく機能しない場合があります。この機能を利用する場合はアプリケーションの丁合いは指定しないでください。
- 丁合い機能を選択した場合、ご使用のアプリケーションの丁合い([部単位で印刷]など)のチェックは外してください。

❶ 合紙機能、オフセット排紙、フィニッシャー機能、それぞれに必要な準備をする。

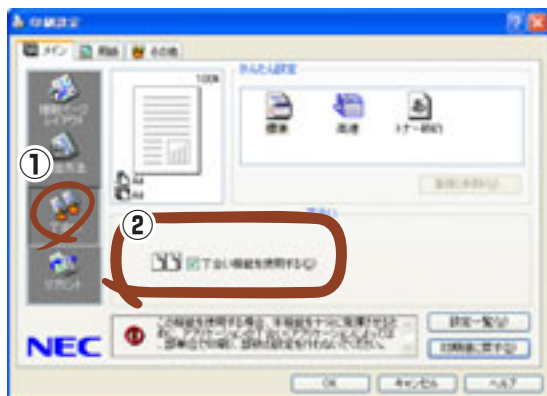
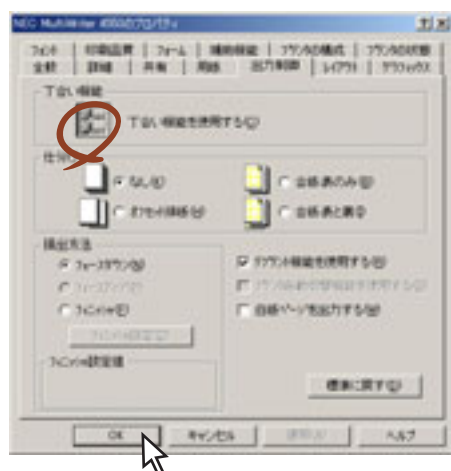
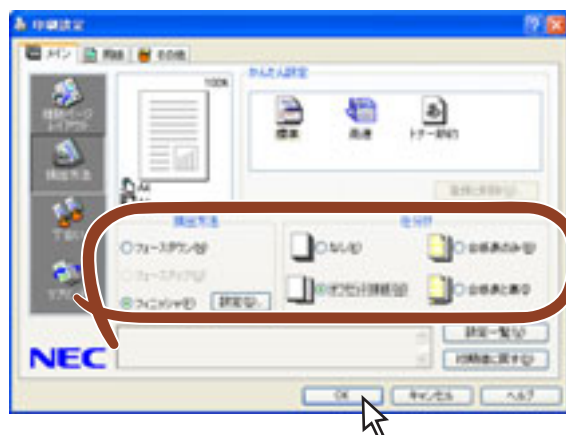
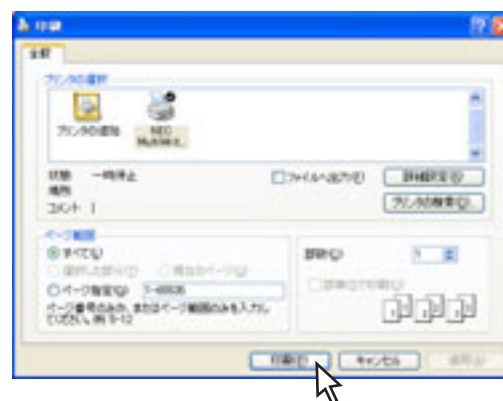
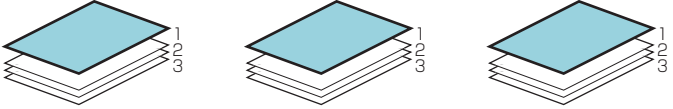
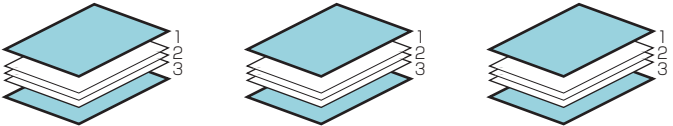
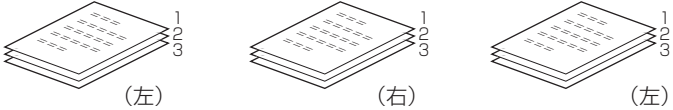
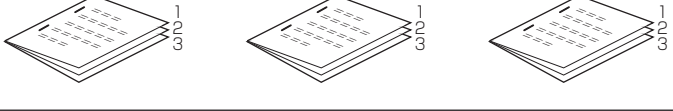
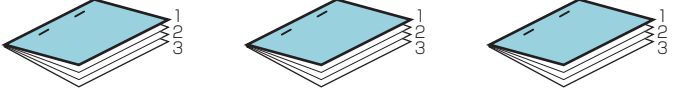
合紙機能について 223ページ
オフセット排紙について 225ページ
仕上げ機能について 228ページ

❷ プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスを開き、丁合い機能を有効にする。

<Windows XP/2000/NT 4.0の場合>

① Windows XP/2000は[印刷設定]ダイアログボックス、Windows NT 4.0は[ドキュメントの既定値]ダイアログボックスの[メイン]シートを開き、左側の[機能選択]バーから[丁合い]ボタンを選択します。

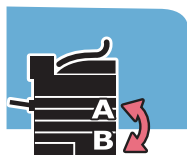
② [丁合い]の[丁合い機能を使用する]をチェックします。

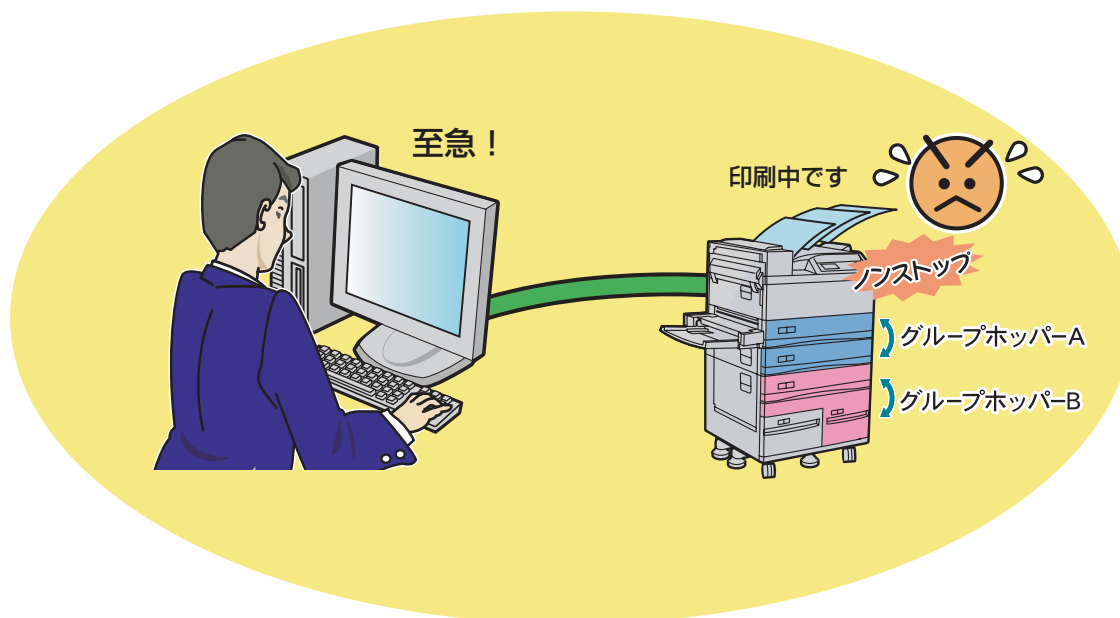
<Windows Me/98/95の場合>

[プロパティ]ダイアログボックスの[出力制御]シートを開き、[丁合い機能を使用する]ボタンをクリックします。

❸ 左の機能選択バーから[排出方法]を選択し、[仕分け]や[排出方法]の設定を行い、[OK]をクリックする。

❹ [印刷]ダイアログボックスで印刷範囲、印刷部数を指定して[OK]をクリックする。

丁合い機能と仕分け・排紙機能の組み合わせの種類としては次のようなものがあり、それぞれ出力のイメージは以下のようになります。

丁合い、合紙、オフセット排紙、フィニッシャー機能の組み合わせ

○：設定する　－：設定しない

丁合い	仕分け			排紙	出来上がりイメージ（3部印刷した場合）
	合紙／表のみ	合紙／表と裏	オフセット排紙	フィニッシャー*	
○	○	－	－	－	
○	－	○	－	－	
○	－	－	○	－	（左）（右）（左）
○	－	－	－	○	
○	○	－	－	○	
○	－	○	－	○	

*　とじ方は長辺とじを例として挙げてあります。

大量・連続印刷する

複数のホッパーをグループにして給紙を行わせ、印刷データを休止することなくノンストップで出力できる機能です。

グループホッパー

オプションの大容量ホッパーを装着するとより効果がある機能です。標準ホッパー1、2・大容量ホッパー(オプション)3、4、5とトレー(標準)の6つの給紙先を組み合わせてグループに設定し、一つのホッパーとして扱います。
グループとして設定できるのは2グループまでです。同じグループ内の一つのホッパーに紙が無くなってもグループ設定している他のホッパーから給紙します。用紙が足りなくなったホッパーには、印刷中でも用紙をつぎ足すことができます。用紙を足すことでノンストップ印刷が可能になります。

次ページで、詳細な設定方法を説明します。

設定方法

複数のホッパーおよびトレーを一つのホッパーとして取り扱うことで、用紙を補給する手間が省けます。グループ化は、2個までできます。

チェック

双方向通信時は、プリンター本体の設定状態が自動的に反映されます。双方向通信をしていない場合は、グループ設定でグループ選択をする必要があります。

例）グループA........................ホッパー1、2
グループB........................ホッパー3、5、トレー

グループホッパー機能を使うには次のステップで設定する必要があります。

Step 1　グループホッパーを有効にする
Step 2　給紙方法を設定する

Step 1　グループホッパーを有効にする

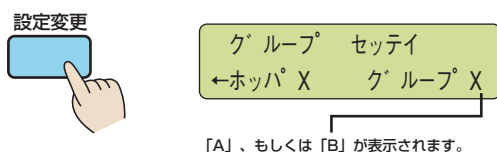
グループホッパーを有効にするために、プリンターの設定を行います。

❶ **メニューモードに入る。**

[印刷可]スイッチを押してプリンターをディセレクト状態にし、[メニュー]スイッチを押して“テストメニュー　→”を表示させせます。

❷ **操作パネルの[∨]スイッチ、[>]スイッチ、[設定変更]スイッチを押して、“ヨウシメニュー”の“グループセッテイ”を選択する。**

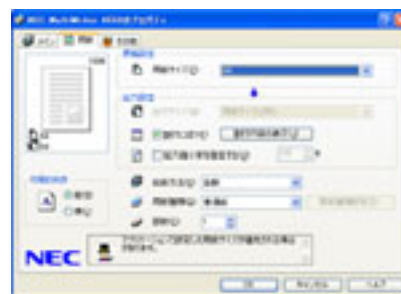
詳しくは、「メニューツリー」（333〜342ページ）をご覧ください。

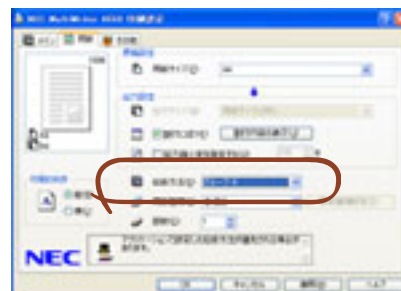
「A」、もしくは「B」が表示されます。

❸ **[印刷終了]スイッチを押す。**

❹ **設定が終わったら、グループホッパーを有効にしたホッパーおよびトレーの用紙サイズ、用紙の種類、用紙のセット方向が同じになっているか確認する。**

Step 2　給紙方法を設定する

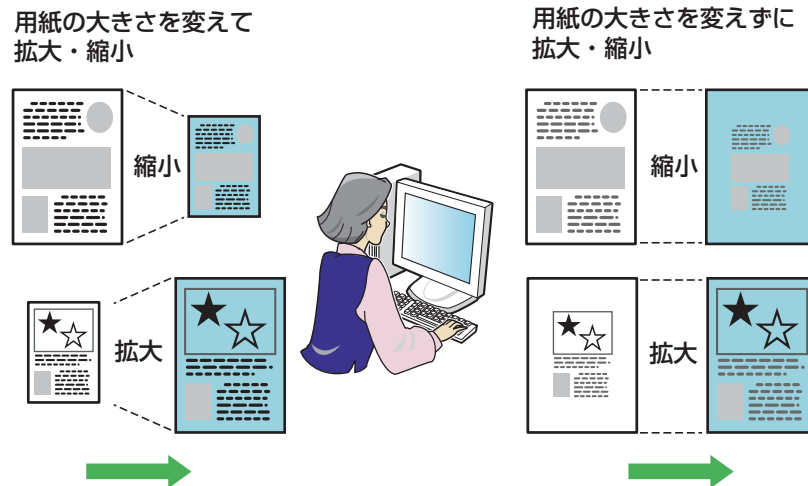
印刷を開始するときに[給紙方法]で[グループA]または[グループB]を選択します。

❶ **プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスの[用紙]シートを開く。**

❷ **ホッパーの給紙方法が[グループA]または[グループB]になっていることを確認する。**

プリンタードライバーの給紙方法を確認するには、ユーザーズマニュアル5章の「印刷の詳細設定」（122ページ）を参照してください。

❸ **用紙の種類、用紙のサイズがプリンターのメニューモードと同じになっていることを確認する。**

❹ **[印刷]ダイアログボックスで印刷範囲、印刷部数を指定し、[OK]をクリックして印刷する。**

拡大・縮小印刷

用紙の大きさを変えて拡大・縮小する方法と、用紙の大きさを変えないで拡大・縮小するという方法があります。

用紙の大きさを変えて拡大・縮小

- 出力用紙サイズを指定する 239ページ

  Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0、Windows Me/98/95で利用できます。

  アプリケーションであらかじめ設定されている論理上の用紙サイズに対して、原稿を実際に印刷する出力用紙サイズを設定することにより、印刷データの拡大・縮小を行います。印刷データは出力用紙サイズに合わせて自動的に拡大・縮小されます。

- 拡大・縮小印刷に対応した用紙サイズを指定する 242ページ

  Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0、Windows Me/98/95で利用できます。

  アプリケーションの用紙サイズを拡大・縮小印刷対応用紙サイズ(「A4×2→A4」など)に指定します。この設定はプリンターの機能を利用して印刷を行います。

用紙の大きさを変えないで拡大・縮小

- 拡大・縮小率を指定する 241ページ

  Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0、Windows Me/98/95で利用できます。
  任意の倍率を指定することで、印刷データの拡大・縮小を行います。拡大・縮小率は10%～400%の範囲で設定可能です。

  後述の「出力用紙サイズを指定する」と組み合わせると希望の出力用紙に任意の倍率で拡大・縮小して印刷データを出力することができます。

設定方法

出力用紙サイズを指定する

❶ **[プロパティ]ダイアログボックスの[用紙]シートを開く。**

Windows XP/2000は[印刷設定]ダイアログボックス、NT 4.0は[ドキュメントの既定値]ダイアログボックスの[用紙]シートを開きます。

❷ **[用紙サイズ]ボックスからアプリケーションで設定した用紙サイズを選択する。**

ユーザ定義を選択した場合の設定は「定形外用紙サイズの用紙に印刷」(236ページ)を参照してください。

❸ **[出力用紙サイズ]に任意の出力用紙サイズを設定する。**

出力用紙サイズの設定方法には次の2通りがあります。

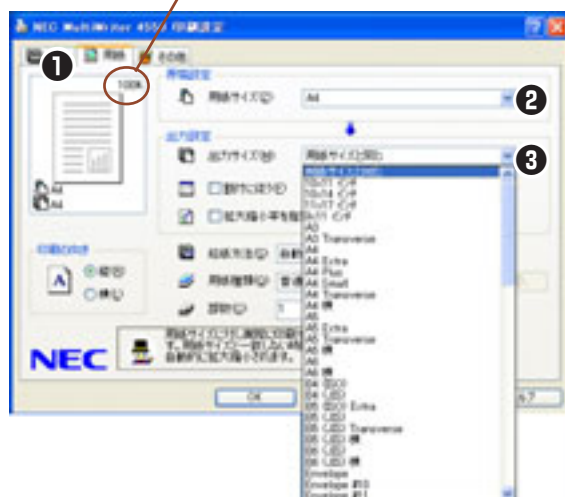
- サポートするすべての用紙サイズに対して、共通の出力用紙サイズを割り付ける場合→❸-(a)
- すでに設定してある用紙割り付けに従って出力用紙サイズを設定する場合→❸-(b)

❸-(a)

<Windows XP/2000/NT 4.0の場合>

[出力設定]の[割付に従う]のチェックを外し、[出力サイズ]ボックスから任意の出力用紙サイズを選択する。手順❻に進んでください。

[用紙サイズ]と[出力サイズ]に設定された用紙サイズに応じて、拡大・縮小率が表示されます。

<Windows Me/98/95の場合>

[出力用紙サイズ]で[指定する]を選び、[出力用紙サイズ]ボックスから任意の出力用紙サイズを選択します。手順❻に進んでください。

[用紙サイズ]と[出力用紙サイズ]に設定された用紙サイズに応じて、拡大・縮小のイメージが表示されます。

❸-(b)　[割付に従う]をチェックする。

現在[用紙サイズ]で選択されている用紙サイズに割り付けてあるサイズが、出力用紙サイズとして自動的に設定されます。

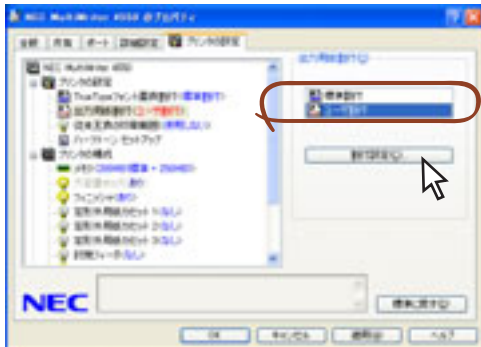
割り付けの設定を変更したい場合は手順❹に進んでください。変更しない場合は手順❻に進んでください。

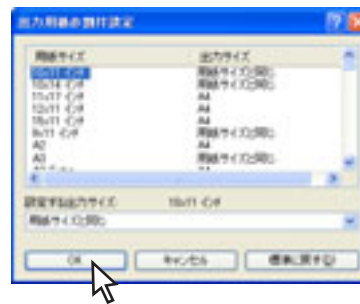
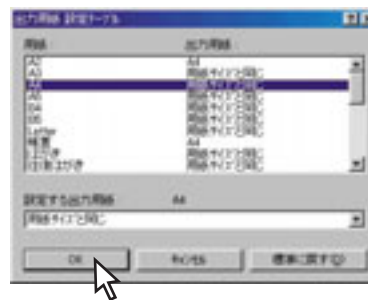
❹ **出力用紙の割付設定をするダイアログボックスを開く。**

<Windows XP/2000/NT 4.0の場合>

[プロパティ]ダイアログボックスを開きます。[プリンタの設定]シートの[出力用紙割付]で[ユーザ割付]を選び、[割付設定]をクリックします。

[用紙]シートの[割付内容の表示]をクリックすると、組み合わせの表示のみ行います。

<Windows Me/98/95の場合>

[プロパティ]ダイアログボックスを開きます。[用紙]シートの[割付内容の表示]をクリックします。

❺ **設定したい出力用紙サイズを選択し、[OK]または[閉じる]をクリックする。**

Windows XP/2000/NT 4.0

Windows Me/98/95

❻ **[用紙]シートの[OK]をクリックする。**

Windows XP/2000/NT 4.0の場合は[プリンタの設定]シートの[OK]をクリックし、[用紙]シートの[OK]をクリックします。

✔チェック

- 以下の用紙サイズを指定した場合は[出力用紙サイズ]が固定となり、[出力用紙サイズ]で指定する拡大・縮小印刷機能は使用できません。

  A3→A4、A3→B4、A4→A3、A4→B4、A4→B5、A4×2→A4、B4→A3、B4→A4、B4→B5、B5→A4、B5→B4、B5×2→B5、LP→A4、LP→B4

- [給紙方法]に増設ホッパ(500)が設定されている場合はA5、B5は指定できません。

拡大・縮小率を指定する

この機能は次の場合以外はいつでも有効で、他の印刷機能と組み合わせることができます。

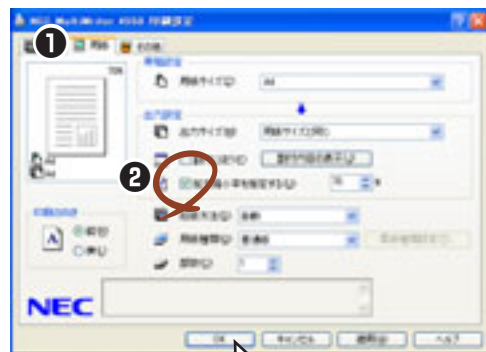
- ［レイアウト］*1シートで複数ページ印刷を設定している
- ［フォーム］*2シートでフォーム印刷を設定している
- ［用紙］シートで以下の用紙サイズを設定している
  A3→A4、A4→B5、A4×2→A4、B4→A4、B4→B5、B5→A4、B5×2→B5、LP→A4、A3→B4、A4→A3、A4→B4、B4→A3、B5→B4、LP→B4

*1 Windows XP/2000/NT 4.0の場合は［メイン］シートの［複数ページレイアウト］シートになります。
*2 Windows XP/2000/NT 4.0の場合は［その他］シートになります。

❶ **［プロパティ］ダイアログボックスの［用紙］シートを開く。**

Windows XP/2000は［印刷設定］ダイアログボックス、Windows NT 4.0は［ドキュメントの既定値］ダイアログボックスの［用紙］シートを開きます。

❷ **［拡大縮小率を指定する］をチェックし、右のボックスで拡大・縮小率を設定する。**

❸ **［OK］をクリックする。**

Windows XP/2000/NT 4.0

Windows Me/98/95

拡大・縮小印刷に対応した用紙サイズを指定する

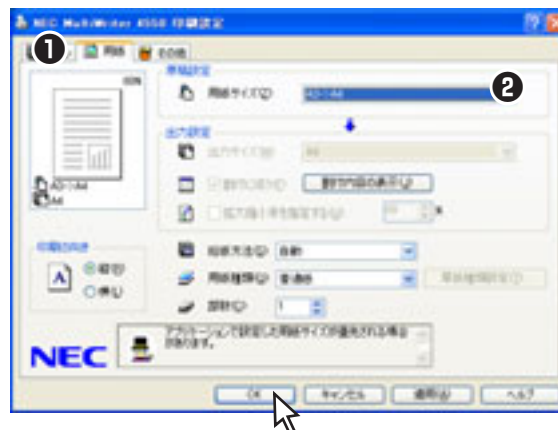
プリンターの拡大・縮小モードを設定します。設定は印刷時のみ有効になります。

❶ **［プロパティ］ダイアログボックスの［用紙］シートを開く。**

- Windows XP/2000は［印刷設定］ダイアログボックスの［用紙］シートを開きます。
- Windows NT 4.0［ドキュメントの既定値］ダイアログボックスの［用紙］シートを開きます。

❷ **［用紙サイズ］ボックスから用紙サイズ（下記の拡大・縮小率）を選ぶ。**

A3→A4、A4→B5、A4×2→A4、B4→A4、B4→B5、B5→A4、B5×2→B5、LP→A4、A3→B4、A4→A3、A4→B4、B4→A3、B5→B4、LP→B4

❸ ［OK］をクリックする。

Windows XP/2000/NT 4.0

Windows Me/98/95

MOPYING設定ウィンドウ

MultiWriter 4550のプリンタードライバーには、より快適にMOPYINGを実現するために、MOPYING設定ウィンドウがあります。複数ページ印刷や両面印刷などの設定を簡単に行うことができます。

MOPYING設定ウィンドウは、一部のアプリケーションのみ対応しております。対応アプリケーションや使用する際の注意事項などについては、プリンタードライバーのヘルプ、または添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている「MW4550¥Disk1¥Drivers.txt」をお読みください。

設定方法

MOPYING設定ウィンドウを使って印刷する場合は以下の手順を行ってください。

Step 1　MOPYING設定ウィンドウを有効にする
Step 2　MOPYING設定ウィンドウを使って印刷する

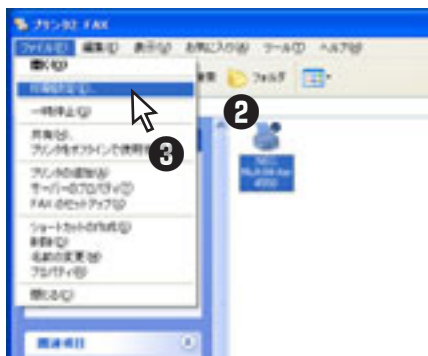
Step 1　MOPYING設定ウィンドウを有効にする

MOPYING設定ウィンドウを表示するため、設定を有効にします。

❶ **[プリンタとFAX]フォルダー(Windows XP以外の場合は、[プリンタ]フォルダー）を開く。**

❷ **[NEC MultiWriter 4550]アイコンをクリックする。**

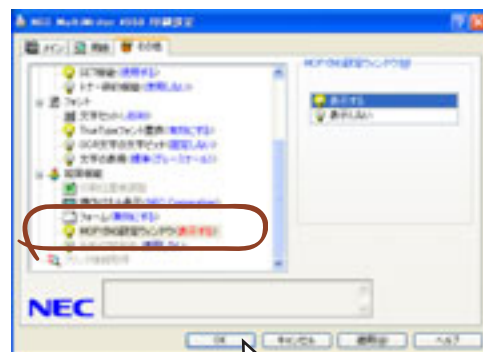
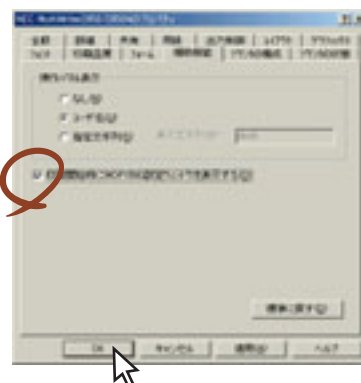
❸ **[ファイル]メニューの[印刷設定]*をクリックする。**

プロパティダイアログボックスが表示されます。

* Windows Me/98/95の場合は[プロパティ]
Windows NT 4.0の場合は[ドキュメントの既定値]

❹ **MOPYING設定を有効にする。**

<Windows XP/2000/NT 4.0の場合>

[その他]シートをクリックします。
[拡張機能]の下の[MOPYING設定ウィンドウ]を選び[表示する]を選択し、[OK]をクリックします。

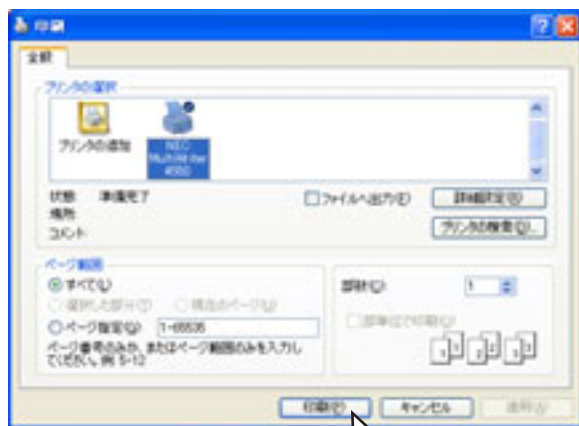
<Windows Me/98/95の場合>

[補助機能]シートを開きます。[印刷開始時にMOPYING設定ウィンドウを表示する]をチェックし、[OK]をクリックします。

Step 2　MOPYING設定ウィンドウを使って印刷する

❶ **アプリケーションの[ファイル]メニューで[印刷]をクリックし、[印刷]ダイアログボックスを開く。**

❷ **[印刷]ダイアログボックスの[印刷]をクリックする。**

MOPYING設定ウィンドウが表示されます。

❸ **複数ページレイアウト印刷、両面印刷などの設定をし、[印刷開始]をクリックする。**

印刷が開始されます。

設定を解除する

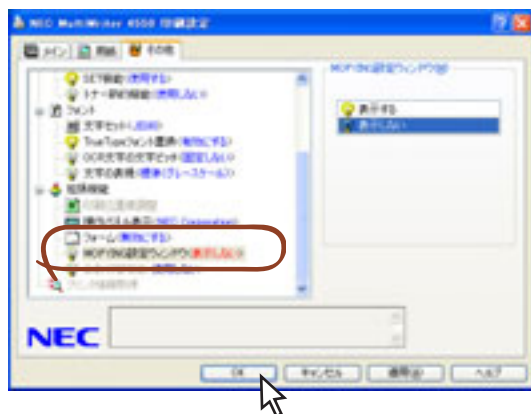
MOPYING設定ウィンドウの表示を無効にする手順を説明します。

❶ **243ページの手順❶〜❸を行い、プロパティダイアログボックスを開く。**

❷ **MOPYING設定を解除する。**

<Windows XP/2000/NT 4.0の場合>

[その他]シートをクリックします。
[拡張機能]で[MOPYING設定ウィンドウ]を選び、[表示しない]を選択し、[OK]をクリックします。

<Windows Me/98/95の場合>

[補助機能]シートを開きます。[印刷開始時にMOPYING設定ウィンドウを表示する]のチェックを外し、[OK]をクリックします。

チェック

この手順以外でもMOPYING設定ウィンドウが表示されているときに、[今後、このウィンドウを表示しない]をチェックすることにより、MOPYING設定を無効にすることができます。

「かんたん設定」の使い方

「かんたん設定」はWindows XP/2000/NT 4.0のプリンタードライバーでご利用になれます。[印刷設定]ダイアログボックスおよび[ドキュメント既定値]ダイアログボックス内の設定内容をまとめて登録できる機能で、アイコンをクリックすれば登録した設定内容で簡単に印刷することができます。

ここでは、「かんたん設定」の登録と削除方法について説明します。

なお、「かんたん設定」には、あらかじめ3つの機能が設定された[プリンターで登録済みの設定]アイコンがあります。それぞれのアイコンに設定されている内容は以下の表のとおりです。

[プリンターで登録済みの設定]アイコン	設定内容			
	解像度	ブラシパターン	SET機能	トナー節約機能
標準	600dpi	拡大する	使用する	使用しない
高速	300dpi	拡大する	使用する	使用しない
トナー節約	600dpi	拡大する	使用する	使用する

設定方法

ユーザー設定の登録

❶ **任意のプロパティシートで登録したい設定内容に変更する。**

設定内容を確認したい場合は[設定一覧]をクリックして、[設定一覧]ダイアログボックスを表示させます。

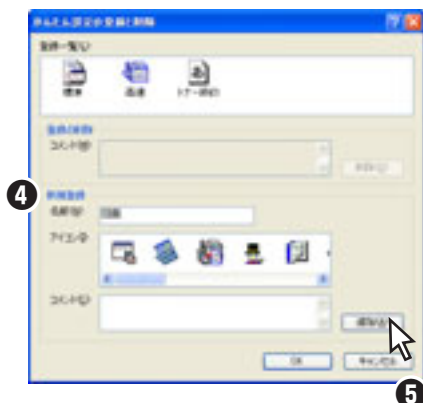
❷ **[メイン]シートを開く。**

❸ **[登録と削除]をクリックする。**

[かんたん設定の登録と削除]ダイアログボックスが表示されます。

❹ **名前を入力し、任意のアイコンを選択する。**

名前は必ず入力してください。名前の入力文字は全角/半角に関係なく、15文字までです。
登録する設定の簡単な説明を全角/半角に関係なく、127文字まで[コメント]ボックスに入力することができます。

❺ ［追加］をクリックする。

❻ 設定内容が表示されるので、確認して［OK］をクリックする。

［印刷設定］ダイアログボックスを開いた後に変更された内容は、赤で表示されています。

❼ ［登録一覧］リストビューに登録したアイコンが追加されたことを確認し、［OK］をクリックする。

アイコンの表示順は、アイコンを直接ドラッグすることで変更できます。

各シートの右クリックメニューからも［かんたん設定の登録と削除］ダイアログボックス［設定一覧］ダイアログボックスを開くことができます。

ユーザー設定の削除

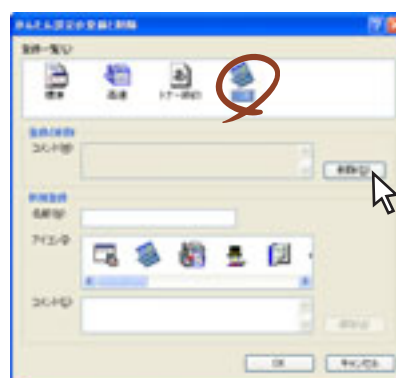
❶ ［メイン］シートを開く。

❷ ［登録と削除］をクリックする。

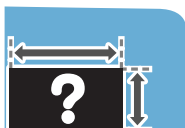
［かんたん設定の登録と削除］ダイアログボックスが表示されます。

❸ 削除したいアイコンを選択し、［削除］をクリックする。

✔チェック

［プリンターで登録済みの設定］アイコンは削除できません。

❹ ［OK］をクリックする。

❺ ［登録一覧］リストビューから登録していたアイコンが削除されたことを確認し、［OK］をクリックする。

各シートの右クリックメニューからも［かんたん設定の登録と削除］ダイアログボックス［設定一覧］ダイアログボックスを開くことができます。

定形外用紙サイズ（特殊）の用紙に印刷

設定方法

定形外用紙に印刷する

定形外用紙（ユーザー定義）の用紙に出力するには、以下の手順を行ってください。
Step 2およびStep 3は、OSごとに説明します。

Step 1　定形外用紙をセットする
Step 2　定形外用紙（ユーザー定義）サイズを設定する
Step 3　定形外用紙（ユーザー定義）サイズで印刷する

重要

- 定形外の用紙は、トレーおよび定形外用紙カセットのみにセットすることができます。
- トレー、定形外用紙カセットに定形外の用紙をセットする場合はあらかじめ使用できる用紙の種類、用紙サイズを確認しておいてください。（用紙については付録の「用紙の規格」（412ページ）をご覧ください。）
- プリンターにセットできる用紙サイズは、幅100～297mm、長さは105～431.8mmです。

Step 1　定形外用紙をセットする

＜定形外用紙カセットにセットする場合＞

❶ **定形外用紙カセットに用紙をセットする。**

手順は、5章の「定形外用紙カセットに用紙をセットする」（309ページ）を参照してください。

＜トレーにセットする場合＞

❶ **トレーに用紙をセットする。**

手順は、5章の「トレーに用紙をセットする」（305ページ）を参照してください。

❷ **操作パネル上の［トレー］スイッチで給紙先を「トレー」にする。**

このとき、操作パネルの［トレー］スイッチによる用紙サイズ設定は必要ありません。設定は無効になります。

Step 2　定形外用紙（ユーザー定義）サイズを設定する

定形外用紙の用紙サイズをユーザー定義サイズとして、次の手順で設定します。各OSごとに説明します。

- Windows XP/2000/NT 4.0の場合、複数の用紙サイズ（ユーザー定義サイズ）を追加することができます。設定できる用紙サイズは、幅：100～597mm、長さ：105～840mmです。詳しくはOSのヘルプを参照してください。

- Windows Me/98/95の場合、設定できる用紙サイズ（ユーザー定義サイズ）は一種類のみです。設定できる用紙サイズは、幅：100～297mm、長さ：105～431.8mmです。

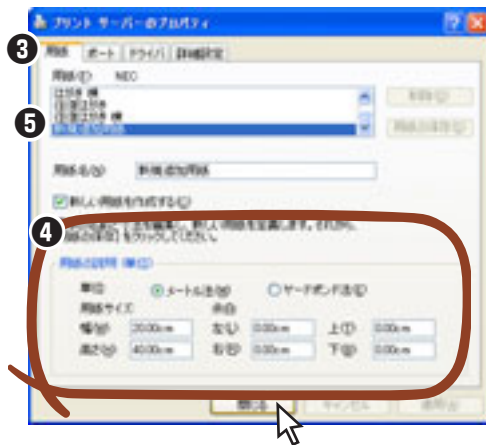
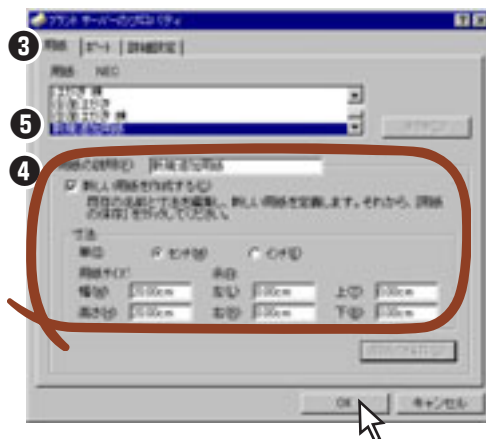
<Windows XP/2000/NT 4.0の場合>

❶ [プリンタとFAX]フォルダー(Windows XP以外の場合は、[プリンタ]フォルダー) を開く。

❷ [ファイル]メニューから[サーバーのプロパティ]をクリックする。

❸ [用紙]シートを開く。

❹ [新しい用紙を作成する]をチェックして、[用紙の説明]に任意の用紙名、[寸法]にサイズを入力し、[用紙の保存]をクリックする。

❺ リストボックスに新規作成した用紙名が追加されたことを確認して[閉じる]をクリックする。

Windows XP/2000

Windows NT 4.0

これで新しい用紙サイズが追加されました。

<Windows Me/98/95の場合>

❶ [プリンタ]フォルダーを開く。

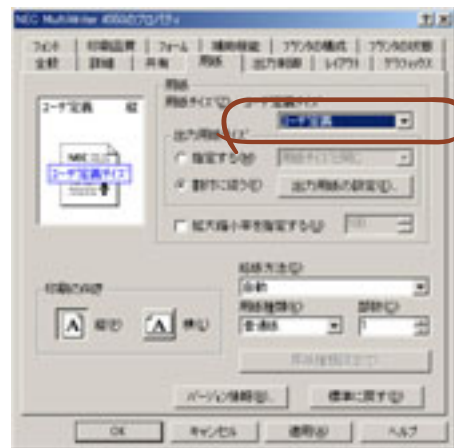
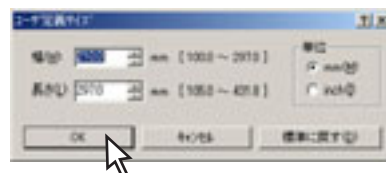
❷ 使用するプリンターのアイコンをクリックする。

❸ [ファイル]メニューの[プロパティ]をクリックする。

[プロパティ]ダイアログボックスが表示されます。

❹ [用紙]シートを開き、[用紙サイズ]ボックスから[ユーザ定義]を選ぶ。

✔チェック

[ユーザ定義]を選択すると給紙方法で[ホッパ]は選択できません。

❺ 用紙の[幅]と[長さ]を入力し、[OK]をクリックする。

❻ [OK]をクリックし、[プロパティ]ダイアログボックスを閉じる。

これでユーザー定義の用紙サイズが設定できました。

Step 3　定形外(ユーザー定義)の用紙サイズで印刷する

Step2で設定した用紙サイズで印刷する手順を説明します。なお、アプリケーションによっては手順が異なる場合があります。

各OSとも、プロパティダイアログボックスはアプリケーションのメニューから開く方法と[プリンタとFAX]フォルダー(Windows XP以外は[プリンター]フォルダー)から開く方法があります。

アプリケーションメニューから開いた場合は、一般的にそのアプリケーションでのみ有効な設定になります。また、[プリンタとFAX]フォルダー(Windows XP以外は、[プリンタ]フォルダー)から開いた場合は、すべてのアプリケーションの基本設定になります。

<Windows XP/2000/NT 4.0の場合>

❶ **アプリケーションの[ファイル]メニューで[印刷]をクリックし、[印刷]ダイアログボックスを開く。**

アプリケーションによっては、この手順後に[印刷]ダイアログボックスの[プロパティ]をクリックします。

❷ **[詳細設定]をクリックする。**

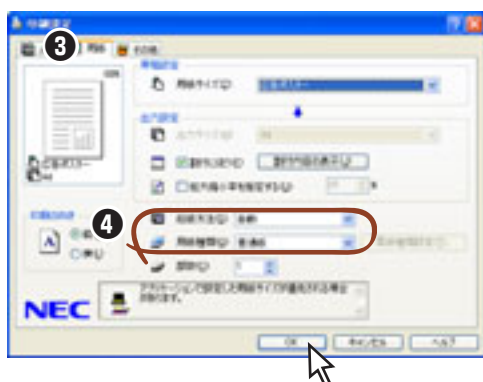
❸ **[用紙]シートを開き、[用紙サイズ]ボックスから、Step2で追加した用紙サイズを選択する。**

チェック

- [ユーザ定義]を選択すると給紙方法で[ホッパ]は選択できません。
- 坪量81.4g/m²(連量70kg)を越える用紙の場合[用紙種類]ボックスで[厚紙]を指定してください。

❹ **[給紙方法]と[用紙種類]を指定する。**

❺ **印刷部数を指定して、[OK](または[印刷])をクリックする。**

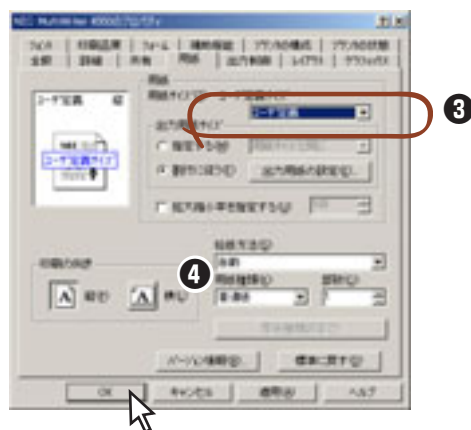
<Windows Me/98/95の場合>

❶ **アプリケーションの[ファイル]メニューで[印刷]をクリックし、[印刷]ダイアログボックスを開く。**

❷ **[プロパティ]をクリックする。**

❸ **[用紙]シートを開き、[用紙サイズ]ボックスから、[ユーザ定義]を選択する。**

チェック

- [ユーザ定義]を選択すると給紙方法で[ホッパ]は選択できません。
- 坪量81.4g/m²(連量70kg)を越える用紙の場合[用紙種類]ボックスで[厚紙]を指定してください。

❹ **[給紙方法]と[用紙種類]を指定し、[OK]をクリックする。**

❺ **[ユーザー定義]ダイアログボックスで[幅]と[長さ]を確認し、[OK]をクリックする。**

❻ **印刷部数を指定して、[OK]をクリックする。**

厚紙に印刷する

用紙カセットまたはトレーに厚紙をセットする場合はあらかじめ設定できる用紙の厚さを確認しておいてください。(用紙については付録の｢用紙の規格｣をご覧ください。)
ホッパー1、5では厚紙レベル1(坪量64～105g/m²)まで、ホッパー2～4、およびトレーでは厚紙レベル6(坪量64～200g/m²)まで、選択できます。使用できる用紙坪量と厚紙レベルの関係は、下表のとおりです。

用紙種類	用紙坪量
普通紙	64～70g/m²
厚紙1	70～105g/m²
厚紙2	105～120g/m²
厚紙3	120～140g/m²
厚紙4	140～160g/m²
厚紙5	160～180g/m²
厚紙6	180～200g/m²

Step 1　厚紙をセットする

手順は、5章｢用紙のセット｣を参照してください。

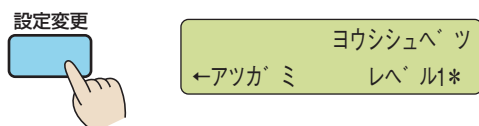
Step 2　厚紙設定を有効にする

厚紙を使用するために、プリンターの設定を行います。

❶ **メニューモードに入る。**

[印刷可]スイッチを押してプリンターをディセレクト状態にし、[メニュー]スイッチを押して“テストメニュー　→”を表示させます。

❷ **操作パネルの[V]スイッチ、[>]スイッチ、[設定変更]スイッチを押して、“ヨウシメニュー”の“ヨウシシュベツセッテイ”を選択する。**

詳しくは、｢メニューツリー｣(111～113ページ)をご覧ください。

❸ **操作パネルの[V]スイッチを押して、厚紙の種類を選択する。**

❹ **[メニュー終了]スイッチを押す。**

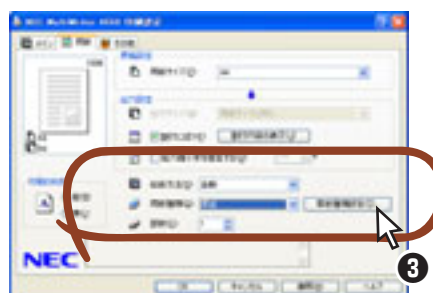
Step 3　用紙の種類を選択する

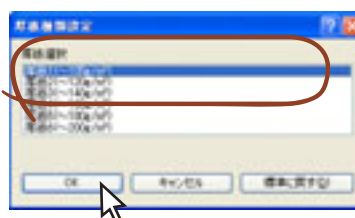
印刷を開始するときに[用紙種類]で[厚紙]を選択します。

❶ **プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスの[用紙]シートを開く。**

❷ **用紙の種類が[厚紙]になっていることを確認する。**

❸ **[厚紙種類設定]をクリックする。**

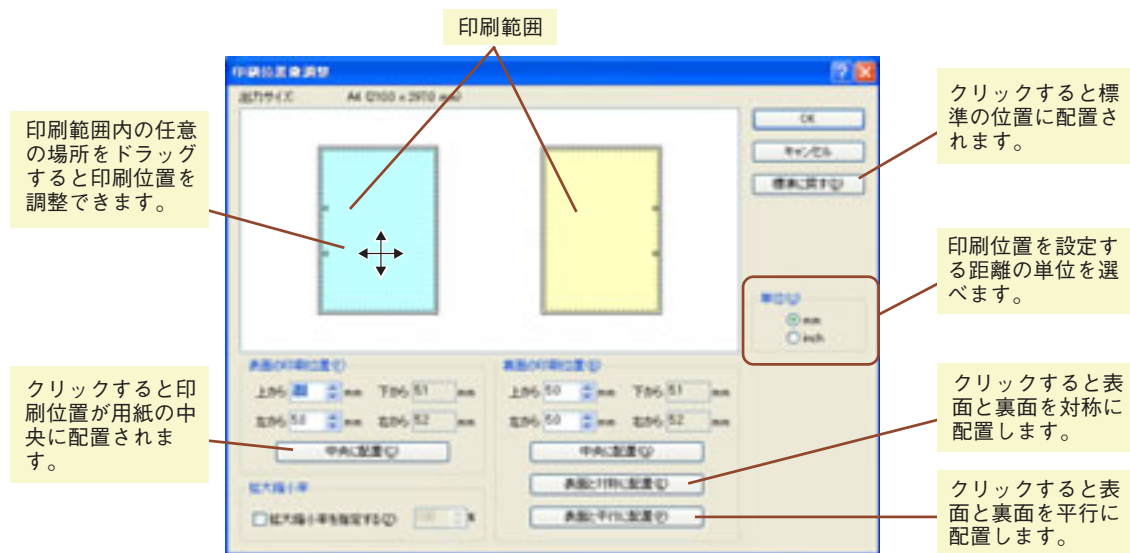
[厚紙種類設定]ダイアログボックスが開きます。

❹ **印刷する厚紙の種類を選択して[OK]をクリックする。**

❺ **[印刷]ダイアログボックスで印刷範囲、印刷部数を指定し、[OK]をクリックして印刷する。**

印刷位置の調整

OSごとに以下のダイアログボックスで印刷位置を細かく調整します。

- Windows XP/2000/NT 4.0：　[その他]シートの[拡張機能]ツリービューの[印刷位置微調整]ダイアログボックス
- Windows Me/98/95：　[レイアウト]シートの[詳細設定]ダイアログボックス

以下は両面印刷するときのダイアログボックスの例です。片面印刷する場合には片面のみ設定するダイアログボックスが表示されます。

印刷位置は用紙上端と左端からの距離で設定します。下端、右端からの距離はそれに合わせて自動的に変化します(テキストボックスに入力はできません)。また、このダイアログボックスには入力された数値に応じて変化する印刷範囲のイメージが表示されます。さらにこの印刷範囲のイメージを直接マウスで変化させて「感覚的」に位置調整することも可能です。

[印刷位置微調整]ダイアログボックス(Windows XP/2000/NT 4.0)
[詳細設定]ダイアログボックス(Windows Me/98/95)

リプリント機能

リプリント(再印刷)は、一度印刷したデータをアプリケーションから再び印刷を実行することなく、再印刷する機能です。MultiWriter 4550ではコピー機感覚で操作できる「PrintAgent リプリント2」を提供しています。

PrintAgent リプリント2

この機能をご利用になるには、あらかじめPrintAgent リプリント2がインストールされている必要があります。(PrintAgentのインストール方法について「2章　プリンターソフトウエアのインストール」(41ページ)をご覧ください)。「PrintAgent」ツールバーを使えば、PrintAgent リプリント2を簡単に呼び出し、再印刷することができます。

PrintAgent リプリント2では以下の便利な機能を備えています。

- 標準モード：　再印刷する文書に対して丁合い機能、ステープル機能*、パンチ機能*を選択して仕分け印刷や、オフセット排紙、両面印刷をすることができます。
- ジョブ結合モード：　一度印刷された複数の文書を結合し、一文書として再印刷することができます。(ジョブ結合の概要については次ページ以降の解説をご覧ください。)

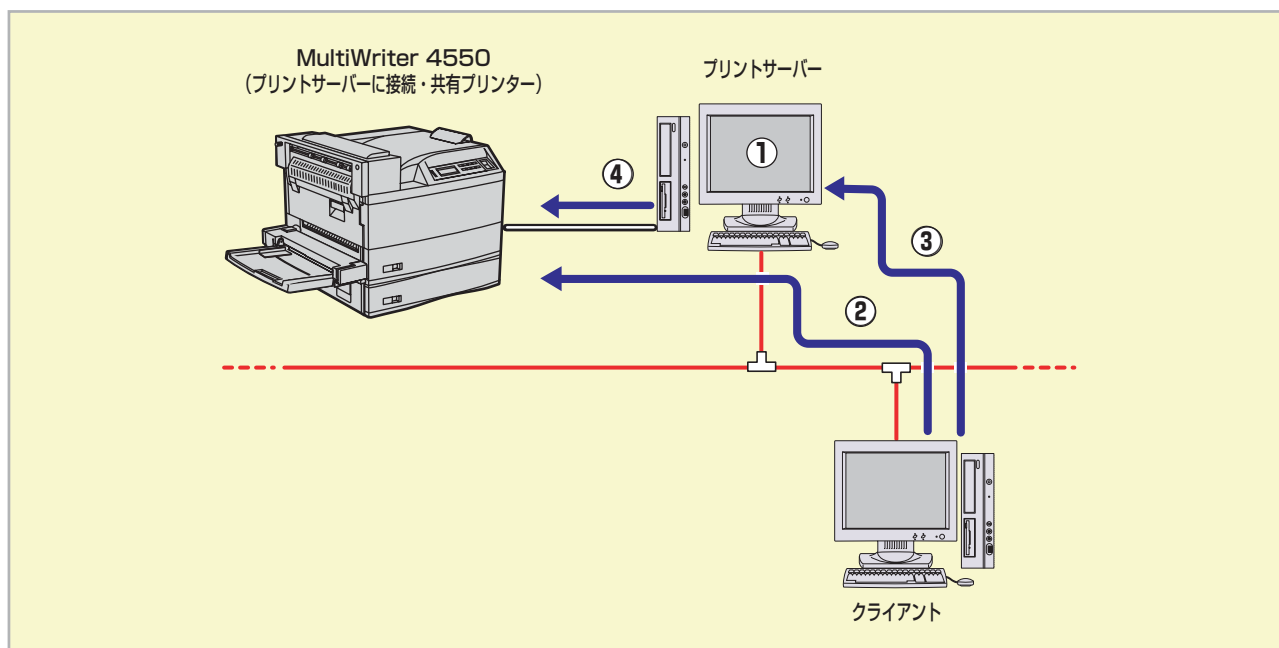
*　オプションのフィニッシャーを装着しているときのみ使用可能です。

PrintAgent リプリント2を起動するには、以下のとおり「PrintAgent」ツールバーの[再印刷]ボタンをクリックします。

PrintAgentおよびPrintAgent リプリント2がインストールされている必要があります。PrintAgent リプリント2はWindows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0、Windows Me/98/95で利用できますが、そのためにはPrintAgentをインストールする際に「PrintAgent リプリント2」オプションをチェックしておく必要があります。

設定方法

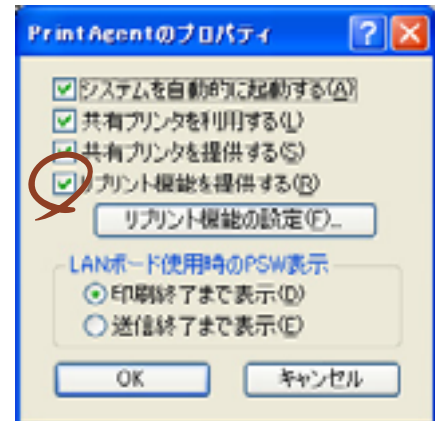
Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0、Windows Me/98/95が動作しているコンピューターで利用できます。リプリント機能を使うには次のステップが必要です。

Step 1　リプリント機能を設定する(リプリント機能の提供)
Step 2　印刷する(リプリント用ファイルのスプール)
Step 3　リプリントしたい文書を選ぶ(スプールファイルの選択)
Step 4　リプリントする(スプールファイルの出力)

Step 1　リプリント機能を設定する

ローカル接続されているコンピューターまたはプリントサーバーの「PrintAgent」ツールバーの設定ボタンメニューからPrintAgentのプロパティを開くか、あるいはPrintAgentのシステムメニューからPrintAgentのプロパティを開き、［リプリント機能を提供する］をチェックする。

重要

この設定が行えるのは、以下のユーザーのみです。

- プリントサーバーがWindows XPの場合、アカウントの種類が［コンピュータの管理者］である。
- プリントサーバーがWindows 2000/NT 4.0の場合、Administratorsの権限がある。

［リプリント機能を提供する］

リプリントを行う場合には、本項目をチェックしておきます。チェックすると、一度印刷したデータをコンピューター上でプライベートスプールします。プライベートスプールするときの設定を行うには［リプリント機能の設定］ボタンをクリックします。プライベートスプールとは、リプリントを行うためにPrintAgentがドキュメントを保有することです。印刷をしたコンピューター上のハードディスクに印刷ドキュメントが保存されます。

［リプリント機能の設定］ボタン

このボタンをクリックすると、下図に示すダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスでリプリント機能に関する詳細な設定を行います。

*1　ここで設定した値のうちのいずれかを超えると、すでにスプールしているドキュメントの中から最も古いファイルの順に消去されます。

*2　空き容量が不足した場合など、このボタンからスプール先のフォルダーを変更できます。ネットワークで接続されたフォルダーやリムーバブルディスクはスプールするフォルダーとして指定できません。

Step 2 印刷する

❶ **リプリント機能を利用するプリンターのプロパティダイアログボックスを開き、[リプリント機能を使用する]をチェックする。**

リプリント機能は標準で有効になっています。

<Windows XP/2000/NT 4.0の場合>

[印刷設定]ダイアログボックスの[メイン]シートの[機能選択]バーで[リプリント]ボタンを選択

<Windows Me/98/95の場合>

プリンターのプロパティの[出力制御]シート

❷ **アプリケーションでドキュメントを印刷する。**

チェック

[MOPYING設定ウィンドウを表示する]が有効になっている場合は、MOPYING設定ウィンドウで「リプリント機能を使用する」を有効にすることができます。

Step 3 リプリントしたい文書を選ぶ

❶ **「PrintAgent」ツールバーの[再印刷]ボタンをクリックする。**

❷ **[標準]シートを開く。**

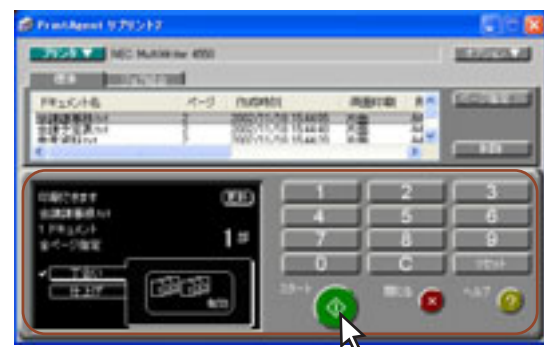
❸ **[PrintAgent リプリント2]でリプリントしたいドキュメントを選ぶ。**

チェック

標準ではリプリントできるドキュメント数は「10」に設定されています。変更するときは254ページを参照してください。

Step 4 リプリントする

再印刷するドキュメントの印刷部数、丁合い、オフセット排紙、両面印刷を設定して印刷する。

次ページの「リプリント機能を使用するときの注意事項」を参考にして設定してください。

リプリント機能を使用するときの注意事項

リプリント機能を利用するにあたっては、以下の内容を参考にしてください。

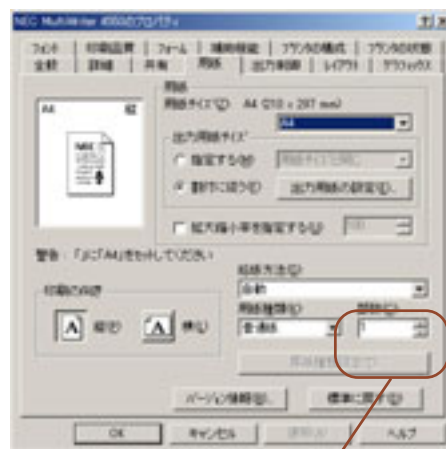
- **リプリントされるページは、最初に印刷したときのプロパティダイアログボックスの設定をそのまま使って印刷されます。**

  たとえば給紙方法や縮小・拡大率の設定、印刷位置の調整などはそのままの設定で印刷されます。

部数、丁合い、オフセット排紙、ステープル機能、パンチ機能の設定は初期化されますので、再設定が必要です。

<Windows XP/2000/NT 4.0の場合>

リプリント出力時はクリアされます。リプリントするごとに部数を指定する必要があります。

<Windows Me/98/95の場合>

リプリント出力時はクリアされます。リプリントするごとに部数を指定する必要があります。

- **リプリント機能で印刷できるページはアプリケーションで実際に印刷したページのみです。**

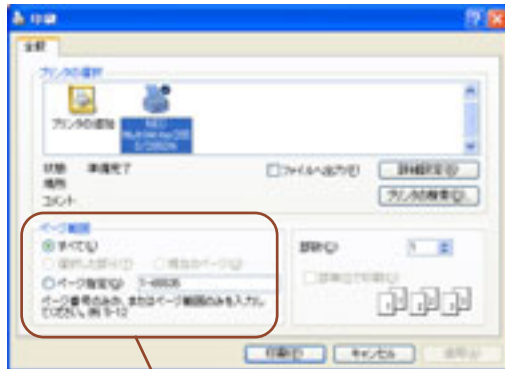
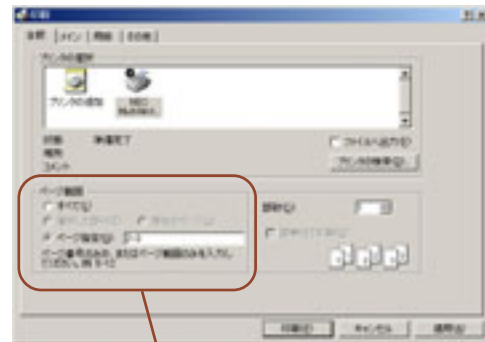
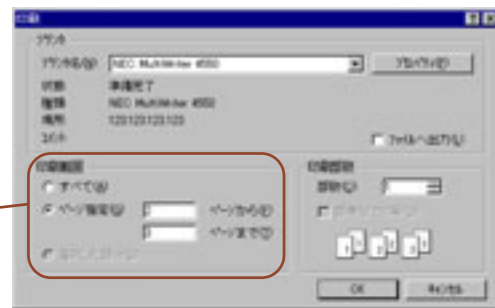
たとえば10ページある文書の中から下の[印刷]ダイアログボックスのように2～3ページを印刷した場合、1ページと4～10ページをリプリントすることはできません。

<Windows XPの場合>

リプリントに有効なページは2～3ページです。

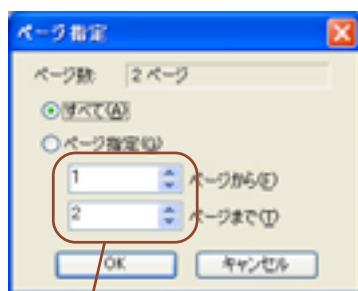
<Windows 2000の場合>

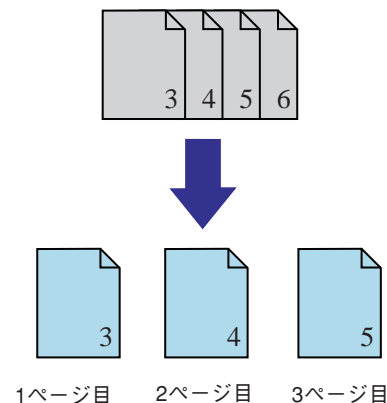
リプリントに有効なページは
2～3ページです。

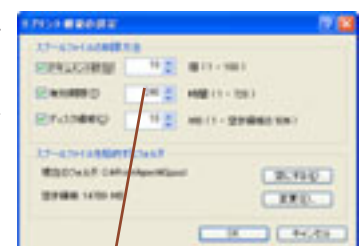
<Windows NT 4.0/Me/98/95の場合>

リプリントに有効なページは
2～3ページです。

- **リプリント機能で印刷するページを指定する場合、最初にアプリケーションで印刷したときの開始ページが「1ページ目」として設定されます。**

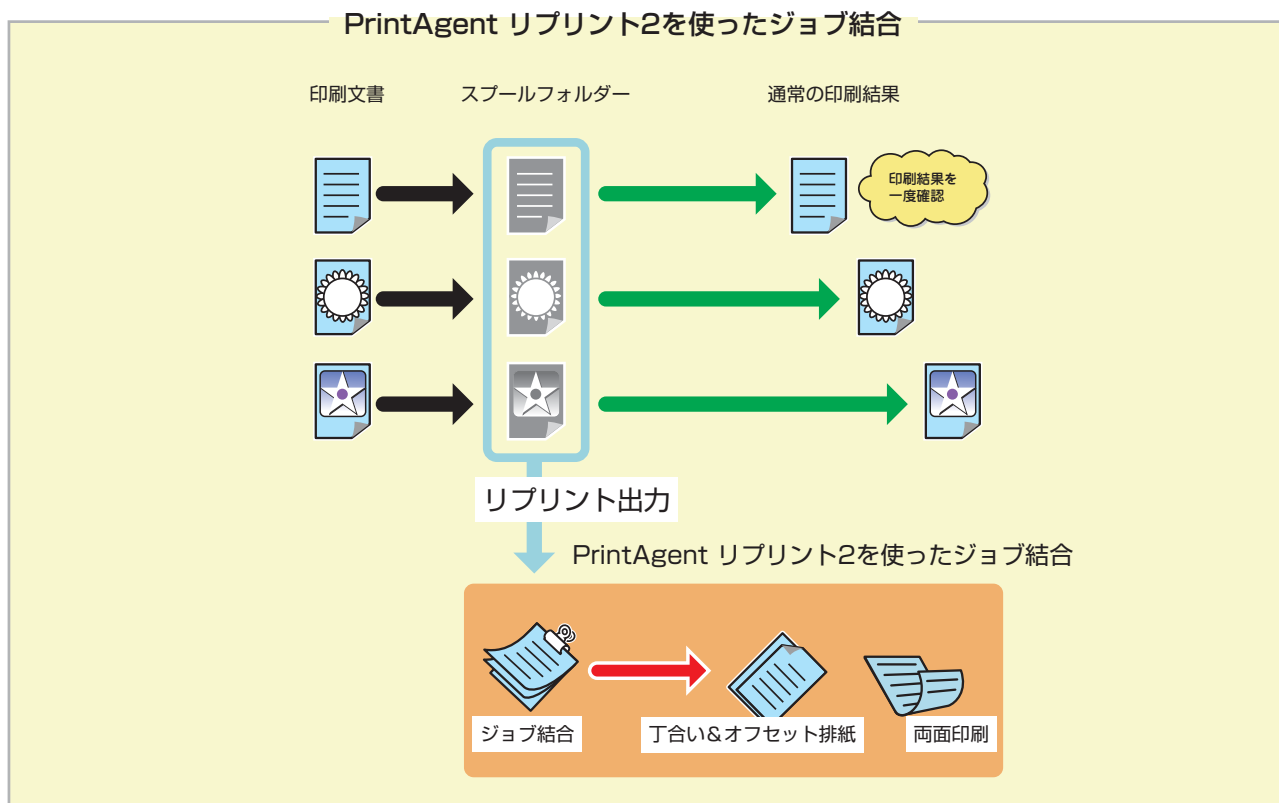
たとえばアプリケーションで文書の3～6ページを印刷して、リプリント機能で3ページのみを印刷するときのページ指定は「1」です。また、4、5ページを印刷するときの開始ページは「2」、終了ページは「3」です。

PrintAgent リプリント2の場合

リプリント機能での印刷：[1]ページから[3]ページまで

1ページ目　2ページ目　3ページ目

- **サーバー／クライアント環境での印刷ファイルはプリントサーバーにスプールされます。**

スプールされたファイルは[リプリント機能の設定]ダイアログボックスで設定された制限に従って古いものから消去されます。

スプールファイルの有効期限

文書を結合する

PrintAgent リプリント2を使い、一度印刷した複数の異なる文書を結合する(ジョブ結合)ことができます。

ジョブ結合

PrintAgentリプリント2で実現する機能です。一度印刷した複数の文書を選択した順番で自由に組み合わせ、ひとつのジョブとして再印刷することができます。さらにジョブ結合した文書に対しても丁合い出力やオフセット排紙出力による仕分け印刷ができます。コピー作業のように原稿を並べ替える必要はありません。すべてパソコンのデスクトップ上で原稿を並び替えることができ、しかもオリジナルでの出力(MOPYING)が可能です。

設定は[PrintAgent リプリント2]の[ジョブ結合]シートで行います。

設定方法

ジョブ結合設定の最初の手順は、PrintAgent リプリント2でリプリントする場合と同じです。

❶ **PrintAgentでリプリント機能の設定をする。**

PrintAgentリプリント2を使用するために、PrintAgentのプロパティでリプリント機能の設定をします。（詳細は254ページ）

❷ **アプリケーションから印刷する。**

リプリント機能を使用する設定でアプリケーションからドキュメントを印刷します。（詳細は243ページ）

❸ **「PrintAgent」ツールバーの[再印刷]ボタンをクリックする。**

PrintAgent リプリント2が起動します。

❹ **[ジョブ結合]シートを開く。**

❺ **ジョブ結合したいドキュメントを選択する。**

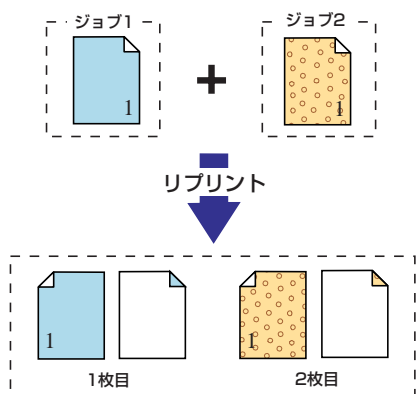
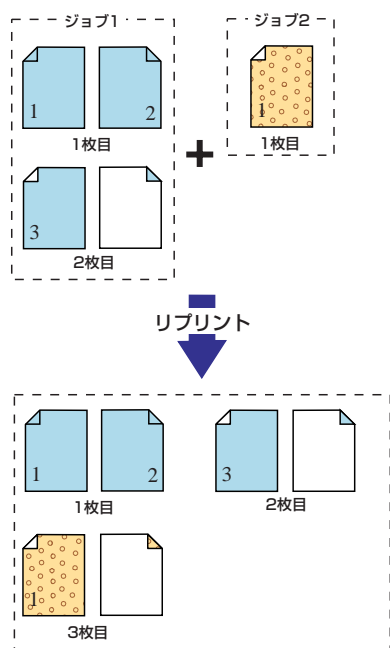
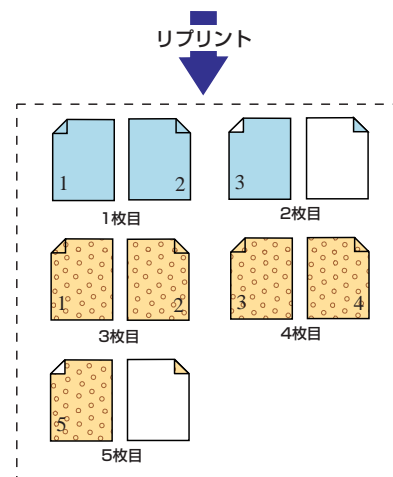
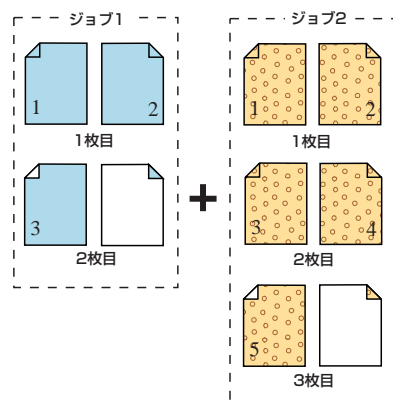
チェックした順に印刷順が指定されます。印刷順を変えたい場合は[前へ]ボタンまたは[後へ]ボタンをクリックして変更してください。

❻ **必要に応じて仕上げ、丁合い機能を選択して、印刷仕上がりを設定する。**

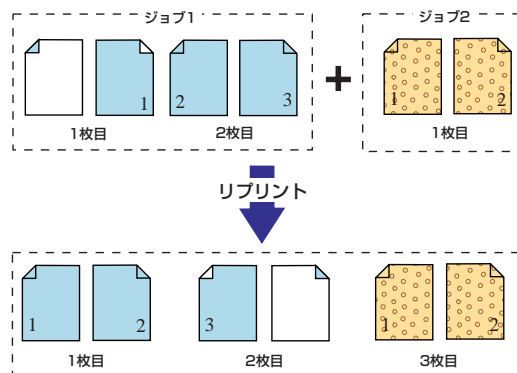
❼ **再印刷するドキュメントの印刷部数を設定し[スタート]ボタンをクリックする。**

ジョブ結合における両面印刷の注意事項

PrintAgent リプリント2のジョブ結合で両面印刷を利用するにあたっては、以下の内容を参考にしてください。

- **プリンタードライバーで片面に印刷設定されたドキュメントジョブを結合し、両面印刷設定をして印刷したときは、次のように印刷されます。**

ジョブ1が1ページ（片面）、
ジョブ2が1ページ（片面）の場合

ジョブ1が3ページ（両面）、
ジョブ2が1ページ（片面）の場合

ジョブ1が3ページ（両面）、
ジョブ2が5ページ（両面）の場合

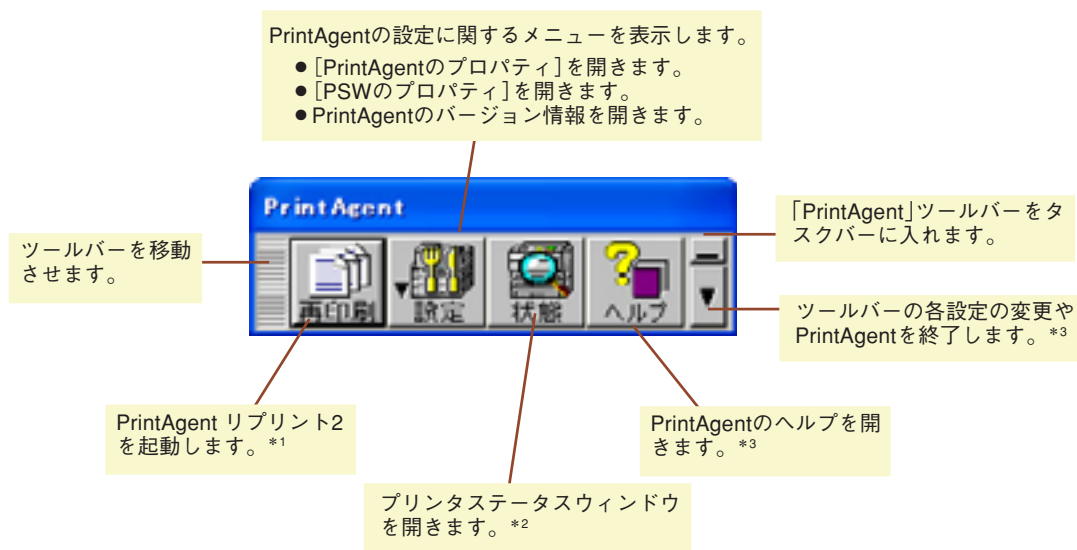
- **プリンタードライバーで裏面から印刷した両面のドキュメントジョブを結合し、両面設定をして印刷した場合は、次のように印刷されます。**

  開始ページを裏面からにして両面印刷したい場合は、「変更しない」を選択してください。

「PrintAgent」ツールバー

「PrintAgent」ツールバーでは、ボタン操作ひとつで簡単にPrintAgentの機能を呼び出すことができます。このツールバーはPrintAgentオプションの「ツールバー」をインストールすると、お使いになれます。

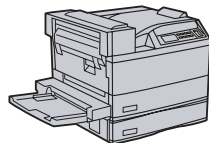
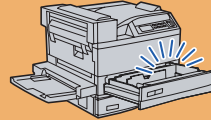
「PrintAgent」ツールバーを表示させるには、次のような方法があります。

- タスクバーのPrintAgentアイコンを左または右クリックし、[ツールバーを表示]をクリックする。
- タスクバーのPrintAgentアイコンをダブルクリックする。
  前回ツールバーを表示した状態でPrintAgentを終了した場合、「PrintAgent」ツールバーはPrintAgentの起動と同時に表示されます。

「PrintAgent」ツールバーの詳しい説明は、「PrintAgent」ツールバーのヘルプをご覧ください。

*1 PrintAgent リプリント2がインストールされていない場合、[再印刷]ボタンはご利用になれません。
*2 PrintAgent対応プリンタでない場合、[状態]ボタンはご利用になれません。
*3 ヘルプがインストールされていない場合、ヘルプボタンとツールバー設定ボタンメニューの[ヘルプ]ボタンはご利用になれません。

チェック

PrintAgentおよびツールバーがインストールされている必要があります。「PrintAgent」ツールバーはWindows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0、Windows Me/98/95で利用できますが、そのためにはPrintAgentをインストールする際に「PrintAgent」ツールバーオプションをチェックしておく必要があります。

プリンタステータスウィンドウ

プリンタステータスウィンドウは印刷の進行状況やプリンターの状態を画面と音声*によるメッセージで通知します。

*　音声は標準ではインストールされません。

通常プリンターが印刷を開始したり、印刷中にエラーが発生したりするとプリンタステータスウィンドウが自動的に起動します。設定により画面上にアイコンや下のようなウィンドウを表示することができます。手動で起動する方法は次の3種類です。

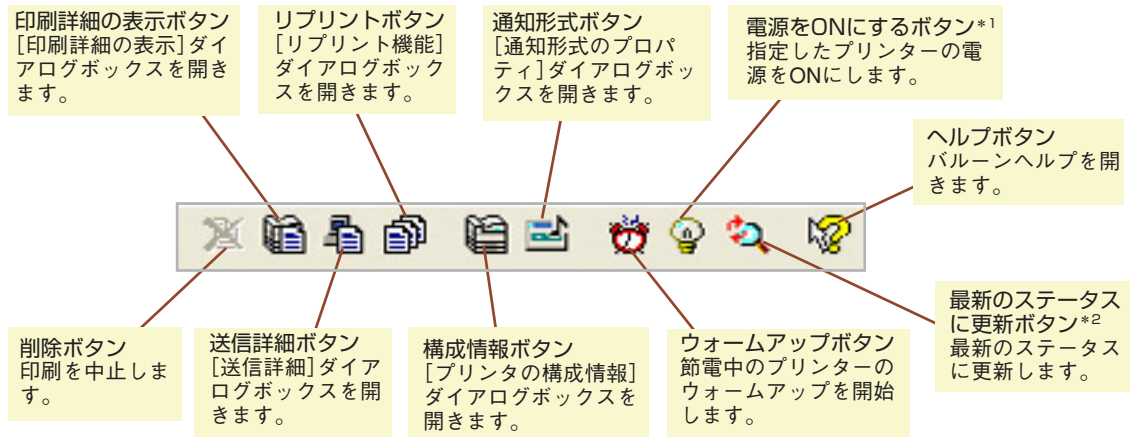
- 「PrintAgent」ツールバーから起動する
- スタートメニューから起動する
- タスクバーのアイコンから起動する

また、印刷の中止などの指示もこのウィンドウから行うことができます。

チェック

PrintAgentがインストールされている必要があります。PrintAgentはWindows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0、Windows Me/98/95で利用できます。プリンタードライバーのみをインストールしている場合は利用できません。

ツールバー

プリンタステータスウィンドウには、次のような機能があります。それぞれの機能はツールバーのボタンをクリックして設定、または実行できます。
また常に情報取得をするか、ウィンドウ表示するかどうかなどを選択できます。

*1　プリンターがオプションのリモート電源制御対応LANアダプタ(型番PR-NP-03TR2)に接続されている状態で、電源制御の設定が有効な場合に表示されます。

*2　初期設定では印刷中以外はプリンターの状態を監視しないことになっています。プリンターの最新の状態を知るためには[最新のステータスに更新]ボタンをクリックしてください。常にプリンターの状態を取得できるようにするには、次ページの「通知形式を変更する」をご覧ください。

送信中のドキュメントの印刷を中止する

「送信中ドキュメント情報」に表示されているドキュメントの印刷を中止する機能です。
[削除]ボタンをクリックします。

プリンターの構成情報を見る

プリンターの構成情報(給紙構成、オプション、メモリー、トナー残量)を確認するダイアログボックスです。

このダイアログボックスを表示させるには[構成情報]ボタンをクリックするか、[オプション]メニューの[プリンタの構成情報]を選択します。ただし、常に最新の情報を取得する設定になっていないと、このダイアログボックスの構成情報と実際の構成情報が一致しない場合があります。

最新の情報に更新するにはツールバーの[最新のステータスに更新]ボタンをクリックするか、[オプション]メニューの[最新のステータスに更新]を選択してください。

常に最新の情報を取得したい場合は[通知形式のプロパティ]ダイアログボックスで[常にステータスを取得]をチェックしてください。[通知形式のプロパティ]ダイアログボックスの開き方については次ページの「通知形式を変更する」を参照してください。

✔チェック

プリンターとコンピューターで双方向通信機能を無効に設定しているときは、各OSごとに以下のダイアログボックスの「プリンタの構成」の内容が表示されます。

- Windows XP/2000：［プリンタのプロパティ］ダイアログボックス
- Windows NT 4.0：［プロパティ］ダイアログボックス
- Windows Me/98/95：［プロパティ］ダイアログボックス

通知形式を変更する

プリンタステータスウィンドウの表示内容を選択します。必要とする項目だけを表示させることで、ウィンドウをコンパクトにすることができます。また、常にステータスを取得するかどうかなどの設定ができます。

このダイアログボックスを表示させるためには、［通知形式］ボタンをクリックするか［オプション］メニューの［通知形式］を選択します。

✔チェック

［常にステータスを取得］について

- ［常にステータスを取得］をチェックすると印刷中以外でもプリンターの状態を常に監視します。
- ネットワーク共有プリンターの場合は、サーバーで設定してください。

  Windows XPの場合、アカウントの種類が［コンピュータの管理者］であるユーザーのみが設定を変更できます。
  Windows 2000/NT 4.0の場合、Administrators権限のユーザーのみが設定を変更できます。
- プリンタ自動切替機能をご利用の場合、グループを構成するプリンターではプリンターの状態を常に監視しているため設定の変更はできません。

ウォームアップを行う

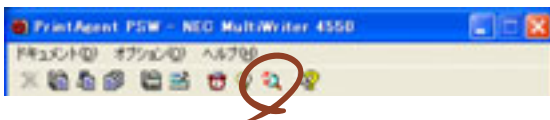
［ウォームアップ開始］ボタンをクリックするか［オプション］メニューの［ウォームアップ開始］を選択すると節電状態のプリンタのウォームアップを開始します。通常はデータ受信とともにウォームアップを開始しますが印刷前にあらかじめウォームアップを開始させておくと印刷までの時間が早くなります。
なお、節電機能のON/OFFと節電状態に入るまでの時間はプリンターの操作パネルによるメニューモードで設定できます。

プリンターの電源をONにする

[電源をＯＮにする]ボタンをクリックするか、[オプション]メニューの[電源をONにする]を選択すると指定したプリンターの電源をONにすることができます。リモート電源制御機能を有効にするためには、「リモート電源制御」(274ページ)をご覧ください。

チェック

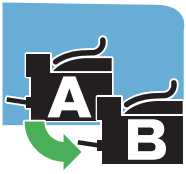
プリンターがオプションのリモート電源制御対応LANアダプタ(型番PR-NP-03TR2)に接続されている場合のみ有効な機能です。

最新のステータスに更新する

初期設定では、印刷していない時はプリンターの状態を定期的に監視していません。最新のステータスを取得するには[最新のステータスに更新]ボタンをクリックするか、[オプション]メニューの[最新のステータスに更新]を選択してください。

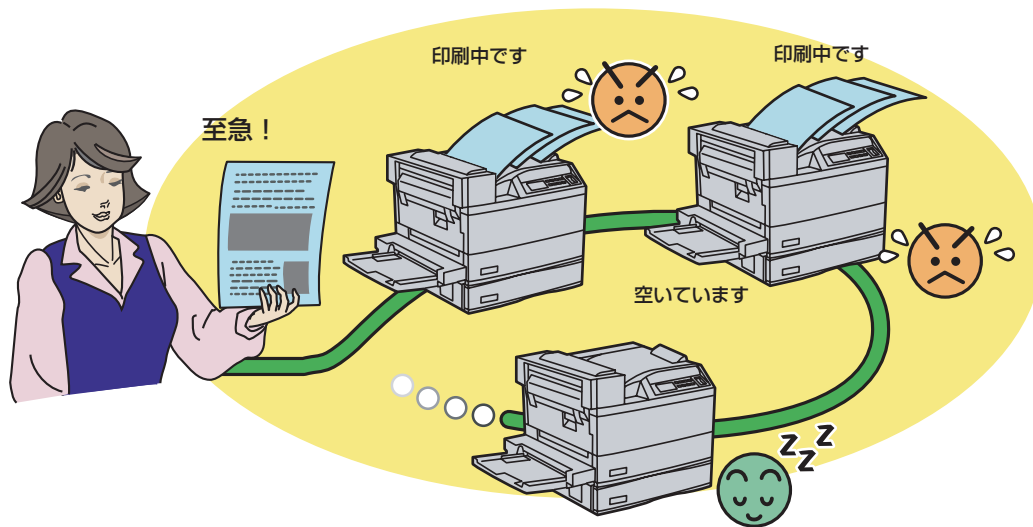
リプリント機能を使う

このダイアログボックスは[リプリント]ボタンをクリックするか、[ドキュメント]メニューの[リプリント機能]を選択すると表示されます。

リプリント機能を利用すると一度印刷したデータであればアプリケーションから再び印刷を実行することなく、プリンタステータスウィンドウのダイアログボックスから直接再印刷(リプリント)できるようになります。

リプリント機能についてはPrintAgent リプリント2をご利用になると、より多くの機能がご利用できます。 PrintAgent リプリント2をお使いになることをお勧めします。PrintAgent リプリント2の使用方法については、243ページをご覧ください。

プリンターの自動切替

複数のプリンターをグループ化することにより、自動的に空いているプリンターへ出力する機能です。ネットワーク共有プリンターとして設定することにより、ネットワーク内のクライアントも利用することができます。設定方法については、256ページをご覧ください。

MultiWriter 4550のプリンタードライバーを使用して、グループプリンタとして設定可能なプリンターはMultiWriter 4550のみです。

使用条件

- プリンター管理者が複数のMultiWriterをグループプリンタとして登録することが必要です。
- Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0、Windows Me/98/95でご利用できます。
- プリンタードライバーのみをインストールしている場合は利用できません。
- グループプリンタに設定するには、管理者向けインストールで「プリンタ自動切替」オプションを選択してインストールする必要があります。
- MultiWriter 4550やグループ可能なMultiWriterをコンピューター上で複数台接続しているネットワーク環境でのみ利用できます。
- Windows Me/98/95をお使いの場合、コンピューター上でグループプリンタとして登録できるプリンターは2台までです。

設定方法

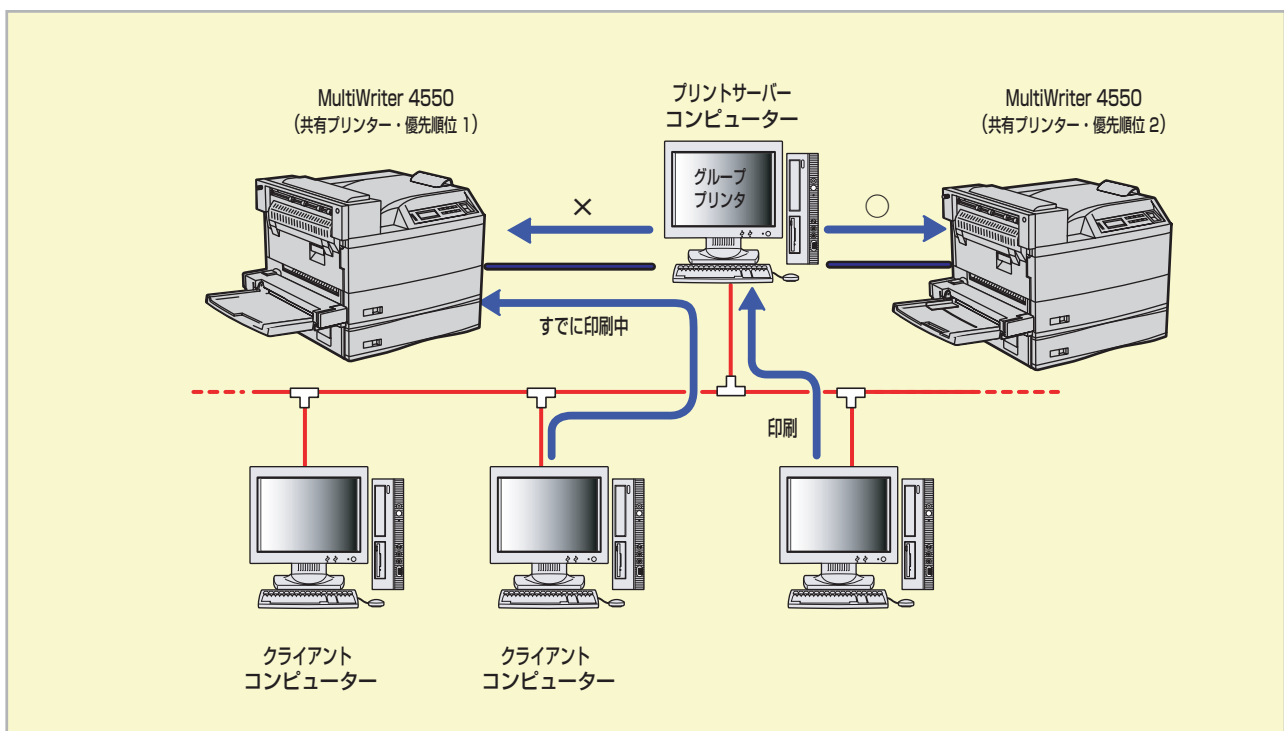
プリントサーバーで管理する複数台のMultiWriterをグループプリンターとしてグループ化することで、印刷ジョブを自動的に切替えて印刷する「プリンタ自動切替」機能を利用することができます。また、グループプリンターを共有化することで、ネットワーク上のクライアントコンピューターからも利用することができます。グループプリンターとして設定可能なプリンターはMultiWriter 4550のみです。（プリントサーバーのOSがWindows Me/98/95の場合、グループ化できるプリンターは2台までです。）
プリンターの切替は、プリンターの状態(印刷中など)、用紙サイズ、両面印刷機能の有無、優先順位(プリンター管理者が設定します)の要素から決定し、印刷を行います。以下の図はプリンタ自動切替機能を利用した構成例を表したものです。
また、設定は次の手順で行ってください。

Step1　グループプリンタの設定
Step2　グループプリンタを共有プリンタにする
Step3　共有されたグループプリンタに接続する
Step4　グループプリンタへ出力する

重要

Step2、Step3を行う場合、プリントサーバーに以下のことが必要です。

- ネットワーク環境で共有プリンターをお使いになるためには、コンピューターにあらかじめ以下のネットワークコンポーネントをインストールしておく必要があります。詳しくは各OSのヘルプをご覧ください。
  - Windows XP/2000の場合：「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有」
  - Windows NT 4.0の場合：「サーバー」
  - Windows Me/98/95の場合：「Microsoft ネットワーク共有サービス」
- ネットワーク環境でLANプリンターとしてお使いになるためには、あらかじめコンピューターのネットワーク設定にTCP/IPプロトコルをインストールしておく必要があります。詳しくは各OSのヘルプをご覧ください。

プリンタ自動切替機能を利用した構成例

Step1　グループプリンタの設定

ここでは、グループプリンタの作成・編集方法を説明します。グループプリンタへの印刷方法とグループプリンタ使用時のプリンタステータスウィンドウについては、「グループプリンタ用プリンタステータスウィンドウ」をご覧ください。
グループプリンタを作成するには、次の手順が必要です。

1. グループプリンタを作成する前に確認する
2. 場所を設定する
3. グループプリンタを作成する
4. グループプリンタを編集する

1　グループプリンタを作成する前に確認する

グループプリンタを作成する前に、以下の点を確認してください。

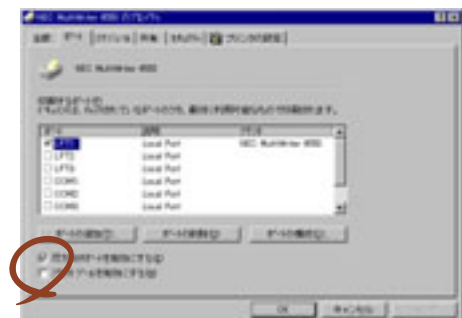
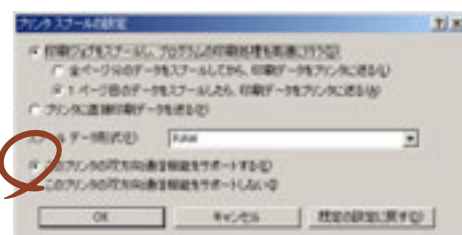
グループを構成できるプリンターについて

グループを構成できるプリンターは次の条件をすべて満たしているプリンターです。

- グループプリンタとして設定可能なプリンターはMultiWriter 4550のみです。グループ化するプリンターがグループ化できるプリンターであることを確認してください。

- 双方向通信していること

【Windows XP/2000の場合】
［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスの［ポート］シートで［双方向サポートを有効にする］がチェックされていることを確認します。

【Windows NT 4.0】
［デバイスプロパティ］ダイアログボックスの［ポート］シートで［双方向サポートを有効にする］がチェックされていることを確認します。

【Windows Me/98/95の場合】
プリンターの［プロパティ］ダイアログボックスの［詳細］シートで［プリンタスプールの設定］ダイアログボックスを表示させ、以下の項目がチェックされていることを確認します。

Windows Meの場合　：［このプリンタの双方向通信機能をサポートする］
Windows 98/95の場合：［このプリンタで双方向通信機能をサポートする］

- 双方向通信が可能なポートに接続していること
  それぞれの接続形態において双方向通信が可能な以下のポートを使っていることを確認してください。

接続先がプリントサーバーの共有プリンターの場合はグループを構成できません。

OS	プリンター ケーブル接続	LANプリンター接続
Windows XP/2000	LPTx	NEC Network Port
Windows NT 4.0	LPTx	NEC Network Port
Windows Me/98/95	LPTx	NEC TCP/IP Printing System

*　Windows 95は対応していません。

［設置場所の表示について］

グループプリンタの印刷が終了すると利用者には、印刷の終了を通知するダイアログボックスが表示されます。

このダイアログボックスに[設置場所]が設定されていると、どこのどのプリンターで印刷されているのかが利用者に表示されるので設定しておくと便利です。

Windows XPの場合は、アカウントの種類が[コンピュータの管理者]のユーザーであるとき、Windows 2000/NT 4.0の場合は、Administratorsの権限で[設置場所]を設定することができます。詳しくは、それぞれのOSのヘルプをご覧ください。Windows Me/98/95の場合は、[PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ]を使って[利用可能なプリンタ]に[設置場所]を設定することができます。設定方法については、次ページをご覧ください。

2　場所を設定する

プリンターの設置場所を設定しておくと、PrintAgentの機能を使ってプリンターの状況を確認するときや印刷終了通知を受け取ったときにプリンターの場所が参照できて便利です。以下の手順でプリンターの場所を設定します。

<Windows XP/2000/NT 4.0の場合>

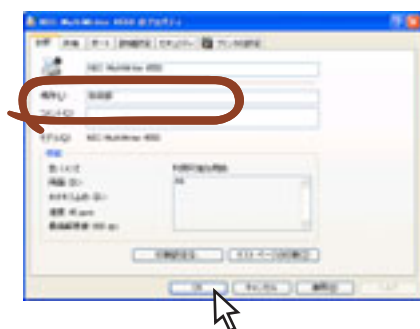
❶ **[プリンタとFAX]フォルダー(Windows 2000/NT 4.0の場合は、[プリンタ]フォルダー)を開く。**

インストールされているプリンターアイコンが表示されます。

❷ **[NEC MultiWriter 4550]アイコンをクリックする。**

❸ **[ファイル]メニューの[プロパティ]をクリックする。**

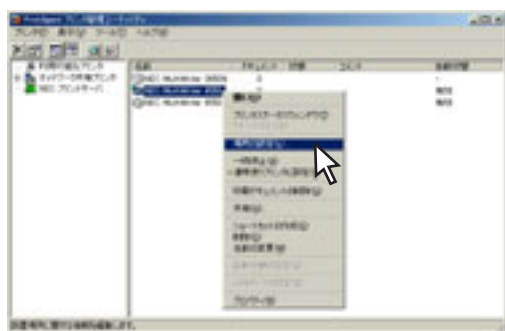
❹ **場所を設定し、[OK]をクリックする。**

<Windows Me/98/95の場合>

❶ **[PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ]を起動する。**

❷ **パスワードを入力する。**

❸ **ツリービューから[利用可能なプリンタ]を選ぶ。**

❹ **リストビューから対象のプリンターを右クリックし[場所の設定]を選ぶ。**

[場所の設定]ダイアログボックスが表示されます。

❺ **場所を設定し、[OK]をクリックする。**

3　グループプリンタを作成する

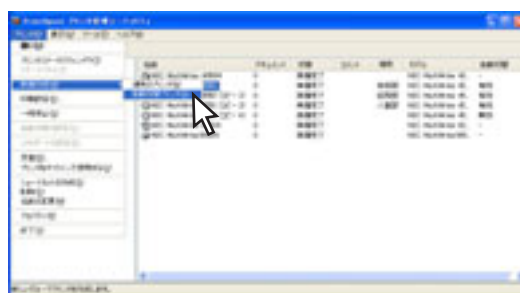
以下の手順でグループプリンタを作成します。

❶ **[PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ]を起動する。**

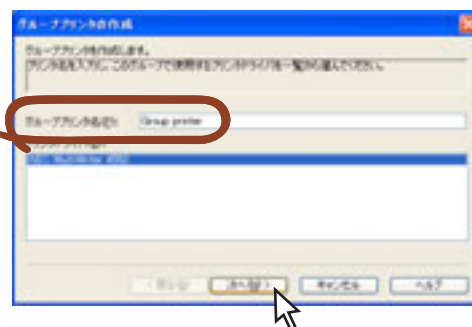
❷ **パスワードを入力する。**

❸ **ツリービューから[利用可能なプリンタ]を選ぶ。**

❹ **[自動切替プリンタの作成]ウィザードを起動する。**

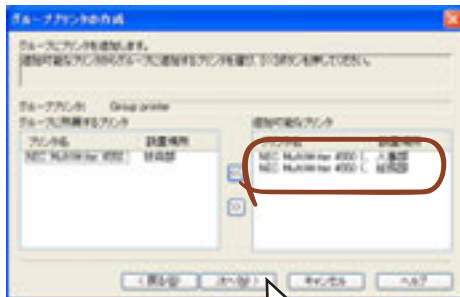
[プリンタ]メニューの[新規作成]をポイントし、[自動切替プリンタ]をクリックします。

> ✔チェック
>
> グループプリンタを設定するためには、あらかじめ管理者インストールで、自動切替オプションがインストールされている必要があります。(PrintAgentの追加については72ページを参照してください。)

❺ **[グループプリンタ名]を入力し、基本となる[プリンタドライバ]を選択し、[次へ]をクリックする。**

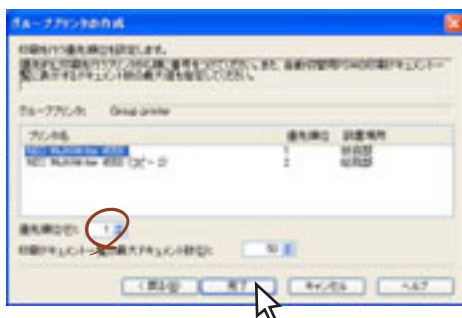
> ✔チェック
>
> グループプリンターとして設定可能なプリンターはMultiWriter 4550のみです。

❻ **グループを構成するプリンターを選び、[次へ]をクリックする。**

[追加可能なプリンタ]ボックスから希望のプリンターを選び[<<]をクリックします。

✔チェック

Windows Me/98/95をプリントサーバーのOSとして使用する場合、追加できるプリンターは2台までです。

❼ **印刷の優先順位を設定し、[完了]をクリックする。**

希望のプリンター名を選び、[▲]か[▼]をクリックして順位を変更します。

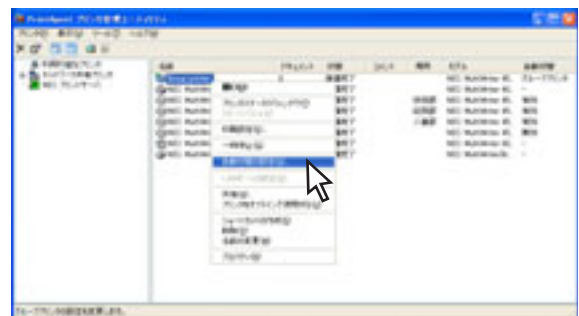
また、ここでグループプリンタ用プリンタステータスウィンドウの[印刷ドキュメント一覧]で表示できる最大ドキュメント数も設定できます。(設定可能範囲は1～100)

4 グループプリンタを編集する

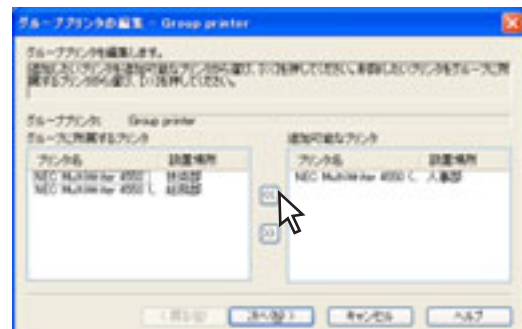
以下の手順でグループプリンタを編集します。

❶ **[PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ]を起動する。**

❷ **パスワードを入力する。**

❸ **ツリービューから[利用可能なプリンタ]を選ぶ。**

❹ **リストビューから希望のグループプリンタを右クリックし、[自動切替の設定]をクリックする。**

❺ **必要に応じてプリンターを追加・削除する。**

[次へ]をクリックすると、[グループプリンタの編集]ダイアログボックスが表示されます。

❻ **必要に応じて印刷の優先順位を変更する。**

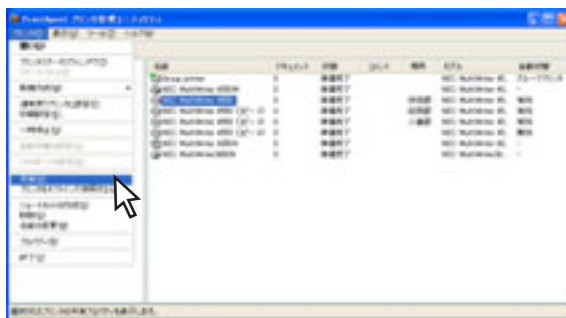
グループプリンタ用プリンタステータスウィンドウの[印刷ドキュメント一覧]で表示できる最大ドキュメント数も変更できます。(設定可能範囲は1～100)

Step2　グループプリンタを共有プリンタにする

❶ ［PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ］を起動する。

❷ パスワードを入力する。

❸ ツリービューから［利用可能なプリンタ］を選ぶ。

❹ ［プリンタ］メニューの［共有］をクリックする。

Step3　共有されたグループプリンタに接続する

❶ クライアントコンピューター上で接続先を［ネットワークコンピュータ］を選択し、プリンターソフトウエアをインストールする。

プリンターソフトウエアのインストールについては、2章「プリンターソフトウエアのインストール」を参照してください。

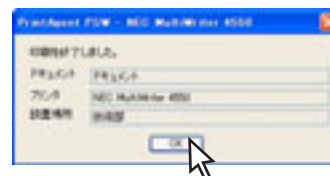
Step4　グループプリンタへ出力する

ここでは、グループプリンタへの印刷方法とグループプリンタ使用時のプリンタステータスウィンドウについて説明します。

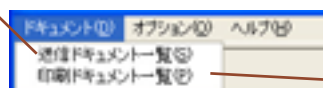
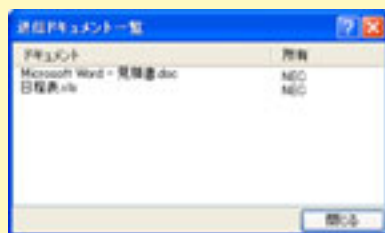
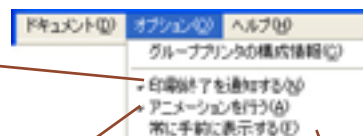
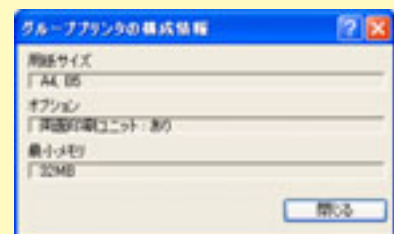
印刷方法

❶ 共有プリンタを接続先としてインストールしたプリンターを指定して、アプリケーションから印刷する。

❷ ［印刷］ダイアログボックスで印刷範囲、印刷部数を指定して［OK］をクリックする。

印刷が終了すると、このような「印刷終了通知」が表示されます。

グループプリンタ用プリンタステータスウィンドウ

グループプリンタ使用時に表示されるプリンタステータスウィンドウは、通常のプリンター用のプリンタステータスウィンドウを簡略したものが表示されます。このプリンタステータスウィンドウは複数台のプリンターステータスを扱うので、印刷ジョブの削除などプリンター個別の処理は[PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ]か[プリンタ一覧]で行ってください。

● ［ドキュメント］

● ［オプション］

リモート電源制御

ネットワーク上にあるLANプリンターの電源をプリンタステータスウィンドウからONすることができます。この機能を利用するためには次の手順が必要です。Windows XP/Me/98/95/2000/NT 4.0でご利用になれます。

チェック
プリンターがリモート電源制御対応LANアダプタ（型番 PR-NP-03TR2）に接続されている場合のみ有効な機能です。

1 電源制御の設定をする
2 プリンターの電源をONにする

1　電源制御の設定をする

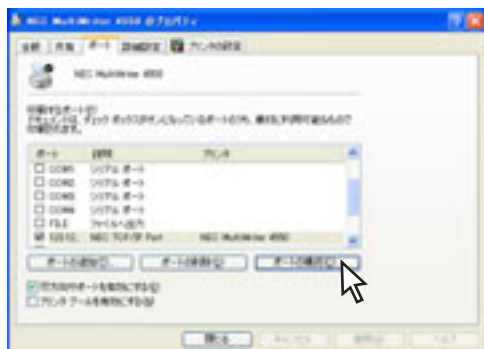
OSごとに次の手順で設定します。

チェック
LANアダプターの設定が正しく行われていることを確認してください。（設定方法はLANアダプターの取扱説明書またはLANアダプターに添付のCD-ROMに収録されているオンラインマニュアルをご覧ください。）

＜Windows XPの場合＞

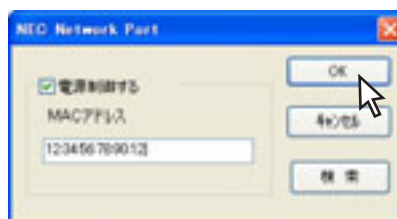
❶ ［プリンタとFAX］フォルダーから対象プリンターの［プロパティ］ダイアログボックスを開く。

チェック
アカウントの種類が［コンピュータの管理者］のユーザーが設定してください。

❷ ［ポート］シートの［印刷するポート］で「NEC TCP/IP Port」を選び、［ポートの構成］をクリックし［NEC Network Port］ダイアログボックスを開く。

❸ ［電源制御する］をチェックする。

❹ LANアダプターの［MACアドレス］を入力し、［OK］をクリックする。

プリンター本体および、LANアダプターの電源が入っている場合は、［検索］をクリックすることで、自動的にMACアドレスを検索することができます。

＜Windows 2000の場合＞

❶ ［プリンタ］フォルダーから対象プリンターの［プロパティ］ダイアログボックスを開く。

チェック
Administrators権限を持つユーザーが設定してください。

❷ ［ポート］シートの［印刷するポート］で「NEC TCP/IP Port」を選択後、［ポートの構成］を選択し［NEC Network Port］ダイアログボックスを開く。

❸ **[電源制御する]をチェックする。**

❹ **LANアダプターの[MACアドレス]を入力し、[OK]をクリックする。**

プリンター本体および、LANアダプターの電源が入っている場合は、[検索]をクリックすることで、自動的にMACアドレスを検索することができます。

＜Windows NT 4.0の場合＞

❶ **[プリンタ]フォルダーから対象プリンターの[プロパティ]ダイアログボックスを開く。**

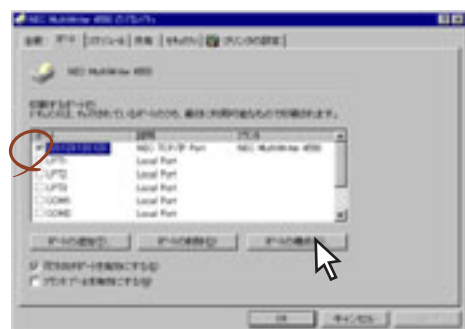
Administrators権限を持つユーザーが設定してください。

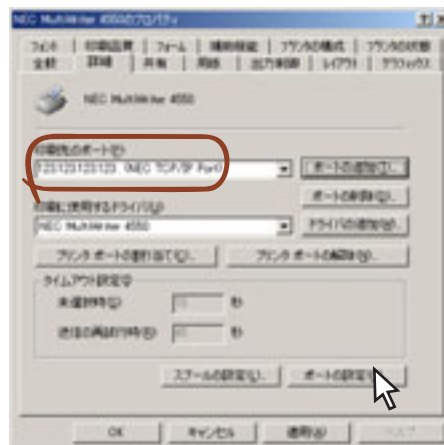
❷ **[ポート]シートの[印刷するポート]で「NEC TCP/IP Port」を選択後、[ポートの構成]を選択し[NEC Network Port]ダイアログボックスを開く。**

❸ **[電源制御する]をチェックする。**

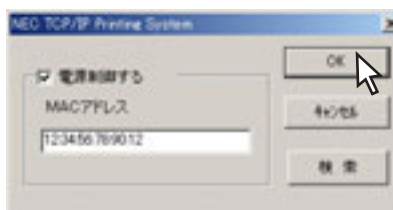
❹ **LANアダプターの[MACアドレス]を入力し[OK]をクリックする。**

プリンター本体および、LANアダプターの電源が入っている場合は、[検索]をクリックすることで、自動的にMACアドレスを検索することができます。

＜Windows Me/98/95の場合＞

❶ **[プリンタ]フォルダーから対象プリンターの[プロパティ]ダイアログボックスを開く。**

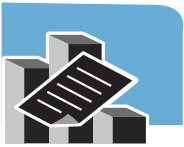
❷ **[詳細]シートの[印刷先のポート]で「NEC TCP/IP Port」を選択後、[ポートの設定]を選択し、[NEC TCP/IP Printing System]ダイアログボックスを開く。**

❸ **[電源制御する]をチェックする。**

❹ **LANアダプターの[MACアドレス]を入力し、[OK]をクリックする。**

プリンター本体および、LANアダプターの電源が入っている場合は、[検索]をクリックすることで、自動的にMACアドレスを検索することができます。

2　プリンターの電源をONにする

プリンタステータスウィンドウの[リモート電源ON]ボタンをクリックするか、[オプション]メニューの[電源をONにする]を選択します。

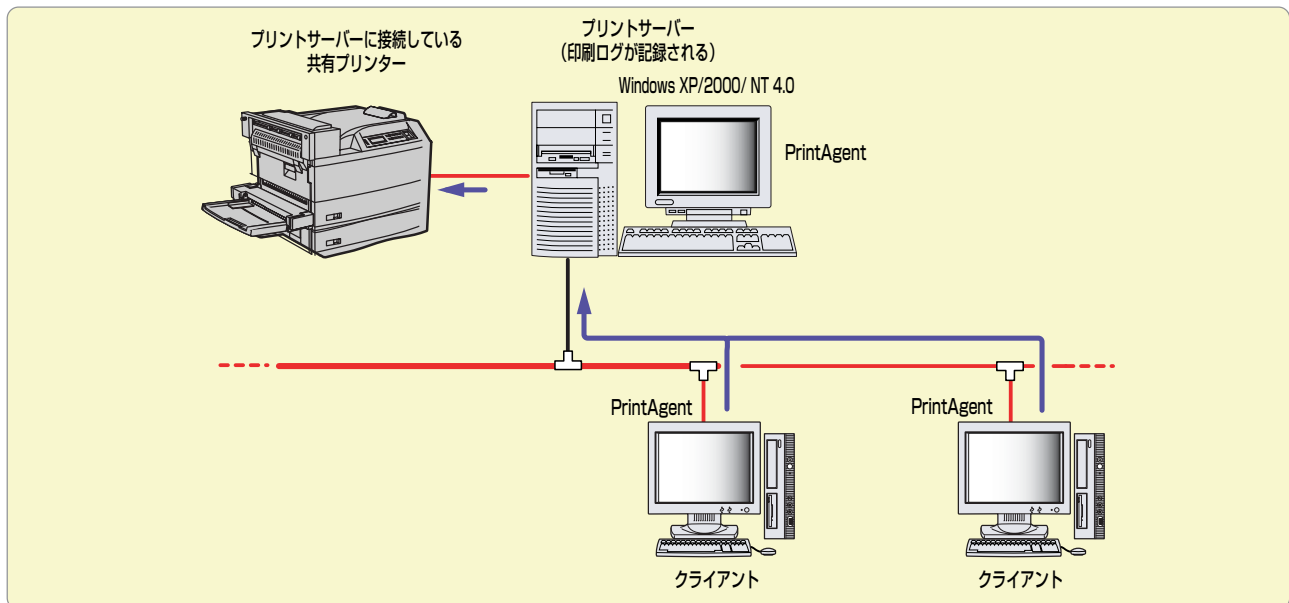
チェック

プリンタステータスウィンドウからプリンターの電源をOFFにすることはできません。プリンターの電源をOFFにするには、PrintAgentプリンタ管理ユーティリティを利用すると行えます。

PrintAgentによる印刷ログの出力

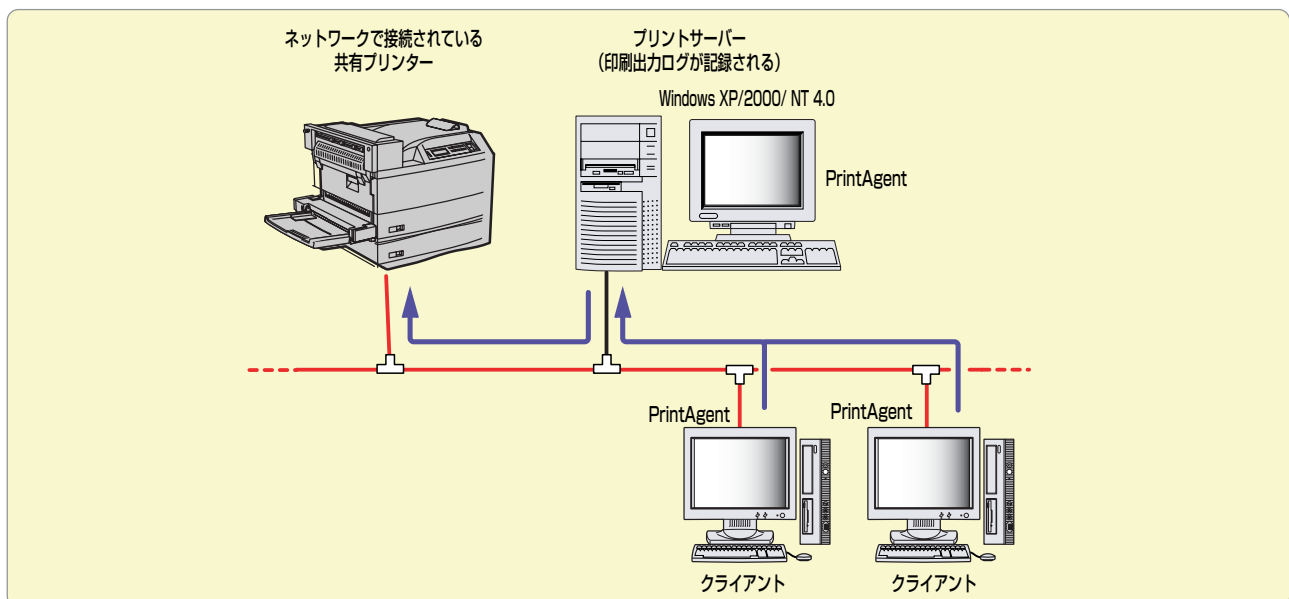
プリントサーバーで管理されているプリンターがどのくらい印刷したかを確認できるように、印刷履歴を残すことができる機能です。Windows XP/2000とWindows NT 4.0に対応しています。

この機能を利用するにはプリントサーバーとMultiWriter 4550が以下のいずれかの形態で接続されている必要があります。

ローカル接続

プリントサーバーが、直接接続されているMultiWriter 4550を共有プリンターに設定している例です。

ローカル接続されたプリンターの共有

ネットワーク接続

プリントサーバーが、ネットワークに接続されているMultiWriter 4550を共有プリンターに設定している例です。

ネットワークに直接接続されたプリンターの共有

設定方法

チェック

この設定が行えるのは以下の場合のみです。

- プリントサーバーがWindows XPの場合、アカウントの種類が[コンピュータの管理者]である。
- プリントサーバーがWindows 2000/NT 4.0の場合、Administratorsの権限がある。

1 印刷ログ出力機能を設定する
2 印刷ログファイルを出力する

1　印刷ログ出力機能を設定する

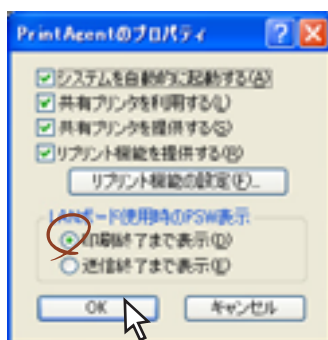
❶ **PrintAgentのプロパティを開く。**

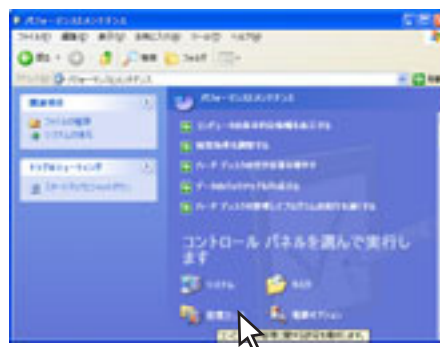
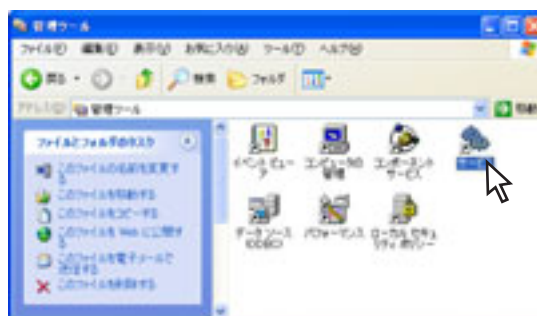
「PrintAgent」ツールバーの設定ボタンメニュー、または[スタート]メニューから[プログラム]を選び、[MultiWriter 4550]の[PrintAgentシステムメニュー]から開きます。

❷ **[LANボード使用時のPSW表示]を[印刷終了まで表示]を選び、[OK]をクリックする。**

LANボード接続されているプリンターを共有している場合のみ、[PrintAgentのプロパティ]ダイアログボックスで設定してください。

この後の手順 ❸以降はOSごとに説明します。

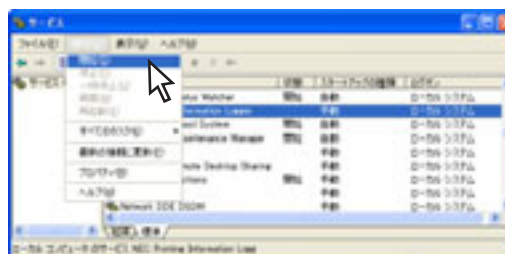
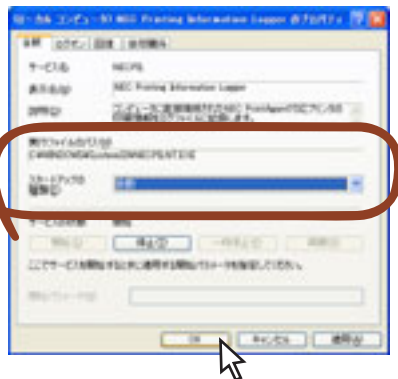
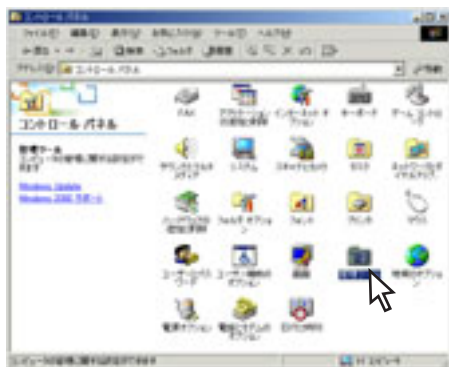
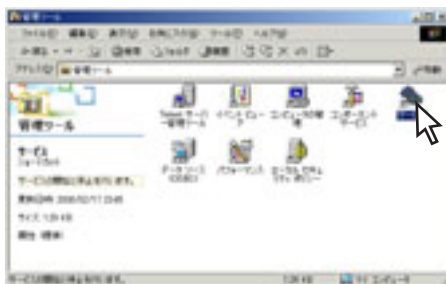
<Windows XPの場合>

❸ **[コントロールパネル]の[パフォーマンスとメンテナンス]アイコンをクリックする。**

❹ **[管理ツール]アイコンをクリックする。**

❺ **[サービス]アイコンをダブルクリックする。**

❻ **リストビューから[NEC Printing Information Logger]を選び、[操作]メニューの[開始]をクリックする。**

❼ OSを再起動したときにも自動的にサービスを起動する場合は、下記の手順でサービスの設定をする。

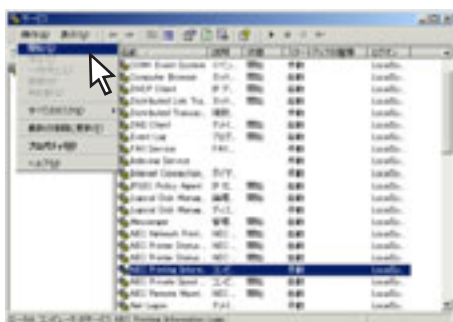
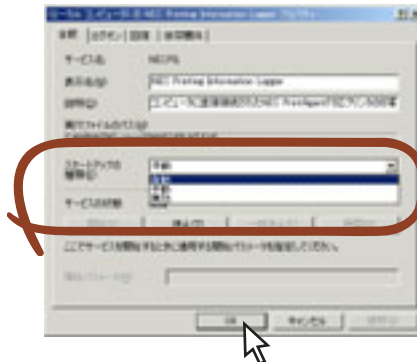
① [操作]メニューから[プロパティ]を開く。
② [全般]シートの[スタートアップの種類]で[自動]を選び、[OK]をクリックする。

＜Windows 2000の場合＞

❸ [コントロールパネル]の[管理ツール]アイコンをダブルクリックする。

❹ [サービス]アイコンをダブルクリックする。

❺ リストビューから[NEC Printing Information Logger]を選び、[操作]メニューの[開始]をクリックする。

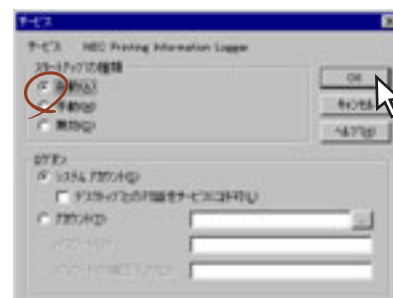
❻ OSを再起動したときにも自動的にサービスを起動する場合は、下記の手順でサービスの設定をする。

① [操作]メニューから[プロパティ]を開く。
② [全般]シートの[スタートアップの種類]で[自動]を選び、[OK]をクリックする。

＜Windows NT 4.0の場合＞

❸ [コントロールパネル]の[サービス]アイコンをダブルクリックする。

❹ リストボックスから[NEC Printing Information Logger]を選んで、[開始]をクリックする。

❺ OSを再起動したときにも自動的にサービスを起動する場合は、下記の手順でサービスの設定をする。

① [スタートアップ]をクリックする。
② [サービス]ダイアログボックスの[スタートアップの種類]で[自動]を選び、[OK]をクリックする。

2　印刷ログファイルを出力する

印刷ログ出力機能を有効にする設定をして、サービスが起動すると、PrintAgentをインストールしたフォルダーに「LOG」というフォルダーが作成されます。

また、印刷が行われると、そのフォルダー内に「NEC MultiWriter 4550.log」というログファイルが作成され、印刷履歴情報が記録されます。

PrintAgentをインストールした時、インストール先フォルダーをデフォルトのWindowsインストールドライブにインストールし印刷を行ったとき、ログファイルは以下のフォルダーに作成されます。なお、ログファイルのファイルネームはプリンタフォルダーに登録した名前になります。

ログファイル：C:¥PrintAgent¥LOG¥NEC MultiWriter 4550.log

印刷するたびにログファイルには次のような情報が記録されます。

“プリンタ名”, “ドキュメント名”, “ドキュメント所有者名”, 印刷開始日, 印刷開始時刻, 印刷終了日, 印刷終了時刻,印刷枚数,

（例）　ログファイルの内容

"NEC MultiWriter 4550", "アドレス一覧 - メモ帳", "吉田", 2002/12/23, 13:28:46,2002/12/23, 13:28:58, 2,
"NEC MultiWriter 4550", "「PSW」とは？", "梁川", 2002/12/24, 13:29:11, 2002/12/24, 13:29:15, 1,
"NEC MultiWriter 4550", "W2Kprlog", "白井", 2002/12/25, 13:30:09, 2002/12/25, 13:30:18, 1,
"NEC MultiWriter 4550", "会議資料", "井口", 2002/12/27, 13:30:38, 2002/12/27, 13:30:54, 4,

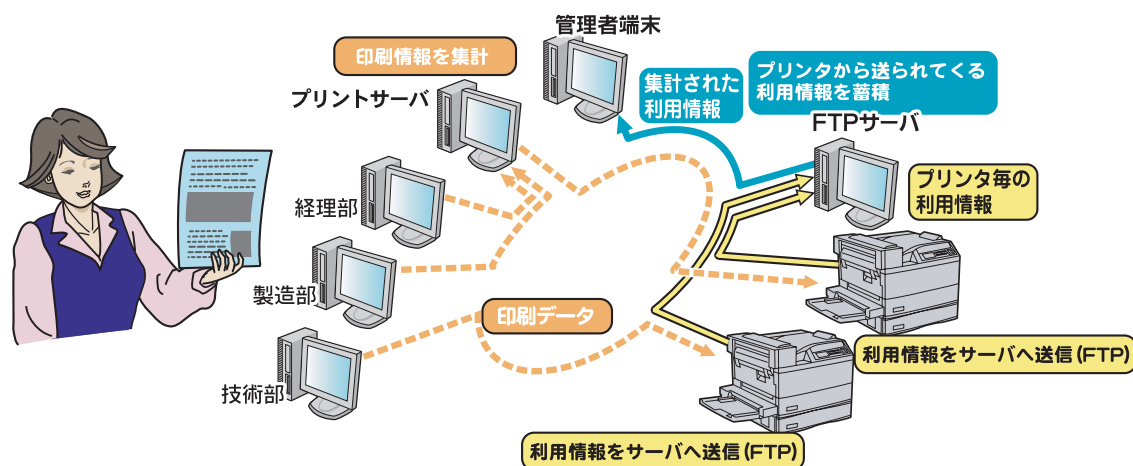
✔チェック

ログファイルについて

- ログファイルはCSV形式で記録されます。このファイル形式は表計算ソフトやデータベースソフトなどで読み込むことができます。
- ログファイルのサイズが1MB を超えると自動的にバックアップされます。バックアップファイルの拡張子は".log"から".000", ".001"...のようになります。
- OSによっては、日付、時間の記録形式が上記の例とは異なる場合があります。

プリンタ利用情報通知機能を利用した印刷ログ集計

プリンタ利用情報通知機能とは

プリンターを使用したユーザーの印刷枚数・使用用紙サイズなどの情報をプリンターが蓄積し、一定の条件が揃うとFTPサーバーへ送信する機能です。FTPサーバーに蓄積される利用情報を集計することにより、管理者が各部門や個人の印刷量を管理するのに役立てられます。

FTPサーバーに通知された各プリンターからの利用情報を集計し、条件に合わせて印刷ログとして集計するには、「NEC印刷ログユーティリティ」が必要です。

「NEC 印刷ログユーティリティ」とは

「NEC 印刷ログユーティリティ」とは、以下の2つで構成されいる利用情報を集計するツールで、本プリンターに添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されています。

- 合成サービス
- 集計サービス

合成サービス

プリンタ利用情報通知機能に対応した各プリンターからFTPサーバーに送信された利用情報をひとつのログファイル(以下マスターログと言います。)に合成するサービスです。Windows XP/2000、Windows NT 4.0で動作します。

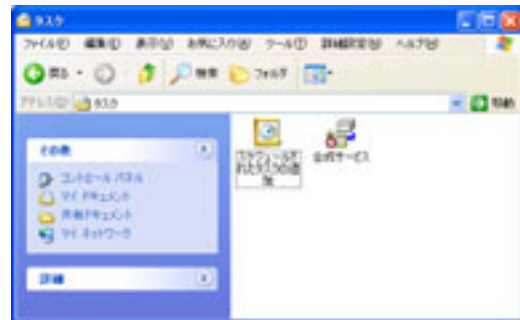
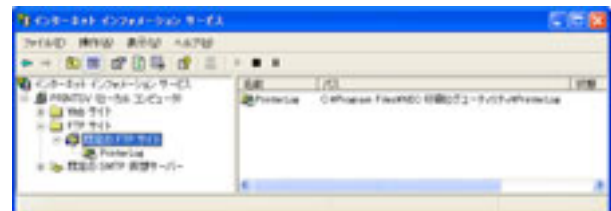
集計サービス

Microsoft Excelのマクロで作成されたユーティリティーです。合成サービスが作成したマスターログを利用者ごとに分類して一覧表示したり、用紙サイズ毎に印刷枚数の集計が可能です。これらの表示/集計結果はMicrosoft Excelのブック形式で保存することができ、グラフ作成などの編集にも利用可能です。

「NEC 印刷ログユーティリティ」を使用すると

合成サービス

合成サービスをインストールすると、以下のようになります。

● タスクスケジュラーに「合成サービス」のタスクが追加され、一定時間ごとにマスターログが生成/更新されます。

● FTPサーバーにはプリンターログを保存するための仮想ディレクトリー“/PrinterLog”が作成されます。

集計サービス

部署別に集計、利用者別に集計、プリンター別に集計することができます。

部署別の例

集計範囲（区分：所属部門別、期間：2002/12/23～2002/12/26）

所属部門	印刷枚数	A3枚数	A4枚数	A5枚数	B4枚数	B5枚数
技術部	83	0	83	0	0	0
経理部	358	0	358	0	0	0
製造部	46	0	46	0	0	0

利用者別の例

集計範囲（区分：利用者別、期間：2002/12/23～2002/12/26）

所属部門	利用者名	社員番号	印刷枚数	A3枚数	A4枚数	A5枚数
技術部	[illegible]	1000013	29	0	29	0
技術部	寺沢主任	1000014	54	0	54	0
経理部	[illegible]	1000011	91	0	91	0
経理部	[illegible]	1000010	128	0	128	0
経理部	[illegible]	1000012	139	0	139	0
製造部	川村部長	1000015	17	0	17	0
製造部	田村主任	1000016	27	0	27	0
製造部	[illegible]	1000017	2	0	2	0

プリンタ別の例

集計範囲（区分：プリンタ名別、期間：2002/12/23～2002/12/26）

プリンタ名	設置場所	印刷枚数	A3枚数	A4枚数	A5枚数	B4枚数	B5枚数
MW 4550	製造部	46	0	46	0	0	0
MW 4550	技術部	83	0	83	0	0	0
MW 4550	経理部	358	0	358	0	0	0

設定方法

以下の手順で利用情報を集計するFTPサーバーとプリンターの設定を行います。

> **チェック**
>
> 詳細な設定方法は、本プリンター添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている「NEC 印刷ログユーティリティー合成サービス」（ファイル名：m_readme.txt）と「NEC 印刷ログユーティリティー集計サービス」（ファイル名：edreadme.txt）を参照してください。

1 集計するサーバーの設定（合成サービスのインストールと設定）
2 プリンターの設定

1　集計するサーバーの設定（合成サービスのインストール設定）

❶ Windows XP/2000、もしくはWindows NT 4.0でFTPサーバーを起動する。

詳しくは、OSのマニュアルをご覧ください。

❷ 印刷ログユーティリティー合成サービスをインストールする。

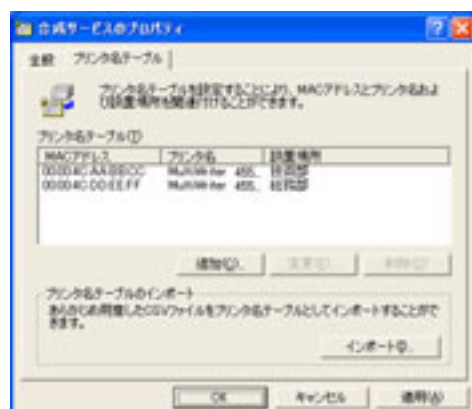
プリンターソフトウエアCD-ROMから印刷ログユーティリティー合成サービスをインストールします。インストールを行うと、FTPサーバーに”/PrinterLog”仮想ディレクトリーが自動的に作成されます。

タスクスケジュラーには「合成サービス」のタスクが追加され、一定時間ごとにマスタログを生成/更新します。

❸ [プリンタ名テーブル]シートを開いて、プリンターを登録する。

＜Windows XPの場合＞
[スタート]ー[すべてのプログラム]ー[NEC印刷ログユーティリティー]ー[合成サービスのプロパティ]を開くと以下の設定が可能です。

＜Windows 2000/NT 4.0の場合＞
[スタート]ー[プログラム]ー[NEC印刷ログユーティリティー]ー[合成サービスのプロパティ]を開くと以下の設定が可能です。

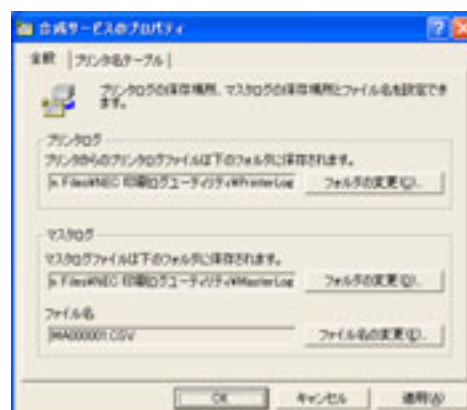
[プリンタ名テーブル]シート
プリンター名テーブルの追加/変更/削除およびインポート

[プリンタ名テーブル]
プリンターに装着されているLANボードのMACアドレスとプリンタ名、設置場所を関連付けるテーブルです。この情報を設定しておくと、マスタログにプリンター名、設置場所の情報が追加されます。

> **チェック**
>
> プリンタ名には、同じ名前は使用できません。

[プリンタ名テーブルのインポート]
あらかじめ用意したCSVファイルをプリンタ名テーブルとしてインポートできます。
データ順序：MACアドレス、プリンタ名、設置場所（設置場所は省略可能）

例）
00:00:4C:AA:BB:CC,MultiWriter 4550,技術部
00:00:4C:DD:EE:FF,MultiWriter 4550,総務部

[全般]シート
必要に応じて、以下のフォルダーおよびファイル名を設定します。通常は標準設定でご利用ください。

- プリンターから通知された利用情報を保存する保存先フォルダー
- マスタログの保存先フォルダおよびファイル名

2 プリンターの設定

❶ プリンター（LANボード）の設定をする。

プリンターのIPアドレス等の設定を行います。

❷ 利用情報機能の設定をする。

Webブラウザのアドレスに、❶で設定したIPアドレスを指定し、「LANボードの管理者設定画面」を表示して、「利用情報」の設定を行います。

印刷を行うと利用情報がプリンターのメモリーに記録され、一定の条件が揃うとプリンターがFTPサーバーに利用情報を送信します。

* 各設定値については、サーバー管理者におたずねください。

利用情報の集計方法

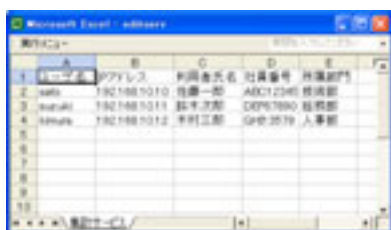
❶ **NEC 印刷ログユーティリティー集計サービスのインストールをする。**

プリンターソフトウエアCD-ROMからNEC 印刷ログユーティリティー集計サービスをインストールします。

❷ **集計サービスを起動する。**

[スタート]ー[プログラム]ー[NEC 印刷ログユーティリティ]ー[集計サービス]を開きます。

❸ **ユーザー情報テーブルの設定をする。**

集計サービスの[実行メニュー]ー[環境設定]ー[ユーザー情報設定]を選択し、ユーザー名、IPアドレス、利用者名、社員番号、所属部門で分類し集計を行います。

❹ **マスターログの指定をする。**

集計サービスの[実行メニュー]ー[環境設定]ー[マスタログ指定]を選択し、合成サービスで設定したマスターログを指定します。

❺ **利用情報の集計する。**

- 利用情報の一覧表示
  - ー 集計サービスの[実行メニュー]ー[ログ一覧]を選択します。
  - ー [取り込み]をクリックすると利用情報を一覧表示します。
  - ー 必要に応じて[保存]をクリックして別名で保存します。

- 利用情報の集計
  - ー 集計サービスの[実行メニュー]ー[集計]を選択します。
  - ー [集計]ダイアログボックスで、集計期間を設定し、集計区分を選択します。
    集計区分：所属部門別・利用者別・プリンタ別・所属部門/プリンタ別・利用者/プリンタ別
  - ー [開始]をクリックすると、設定した条件で収集を行います。
  - ー 必要に応じて、[保存]をクリックして別名で保存します。

必要な環境

FTPサーバー

次のコマンドをサポートしたFTPサーバー（Microsoft社製FTPサーバーを推奨）

```
USER/PASS/QUIT/PORT/TYPE/APPEND
```

対応プリンター

- MultiWriter 4550
- MultiWriter 3650NまたはMultiWriter 3650N+無線LANボード　PR-WL-12
- MultiWriter 2850NまたはMultiWriter 2850N+PR-WL-12
- MultiWriter 2850+LANボード（TCP/IP）PR-NP-04Tまたは無線LANボード　PR-WL-12
- MultiWriter 2350NまたはMultiWriter 2350N+PR-WL-12
- MultiWriter 2350+LANボード（TCP/IP）PR-NP-04Tまたは無線LANボード　PR-WL-12
- MultiWriter 2150+LANボード（TCP/IP）PR-NP-04Tまたは無線LANボード　PR-WL-12
- MultiWriter 2800N
- MultiWriter 2800+PR-L2800-NP
- MultiWriter 2300N

集計ツール

プリンタ利用情報通知機能の集計ツールとして、以下の「NEC 印刷ログユーティリティ」を添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録しています。

	NEC 印刷ログユーティリティー合成サービス	NEC 印刷ログユーティリティー集計サービス
動作可能OS	● Windows XP Professional 日本語版 ● WIndows 2000 Professional/Server 日本語版 ● Windows NT Workstation/Server 4.0　日本語版	● WIndows XP 日本語版 ● Windows 2000 日本語版 ● Windows NT 4.0 日本語版 ● Windows Me 日本語版 ● WIndows 98 日本語版 ● Windows 95 日本語版
必要なソフトウエア	Microsoft社製FTPサーバー、 タスクスケジュラーサービス	Microsoft Excel 97 以降のWindows版 Excel

その他

LANボードのプリンターの利用情報通知機能を設定するには、Internet Explorer 3.0以降またはNetscape Navigator 3.0以降と動作するコンピューターが必要です。

補足情報

利用情報詳細

記憶順	情報名称	説　明	備　考
1	プリンタ名	印刷出力したプリンターの名称	製品内に定義されている名称
2	――――――	未使用	
3	ユーザ名	印刷データを送信したユーザー名	NEC製プリンタードライバー（Windows用）使用時に有効。最大8バイト。
4	印刷開始日	印刷データを生成した日	NEC製プリンタードライバー（Windows用）使用時に有効。
5	印刷開始時刻	印刷データを生成した時刻	NEC製プリンタードライバー（Windows用）使用時に有効。
6	印刷終了日	印刷出力が終了した日	未設定（合成サービスを使用している場合は合成サービスが付加）
7	印刷終了時刻	印刷出力が終了した時刻	未設定（合成サービスを使用している場合は合成サービスが付加）
8	印刷枚数*	印刷出力した用紙の枚数	
9	ポート識別情報	印刷データを受信したポートの識別情報	Network/Parallel/USB/Other
10	IPアドレス	印刷データを送信した装置のIPアドレス	プリントサーバー経由の場合はサーバーのアドレスとなる。
11	A3サイズの印刷枚数	印刷出力したA3サイズの用紙の枚数	
12	A4サイズの印刷枚数	印刷出力したA4サイズの用紙の枚数	
13	A5サイズの印刷枚数	印刷出力したA5サイズの用紙の枚数	
14	B4サイズの印刷枚数	印刷出力したB4サイズの用紙の枚数	
15	B5サイズの印刷枚数	印刷出力したB5サイズの用紙の枚数	
16	レターサイズの印刷枚数	印刷出力したレターサイズの用紙の枚数	
17	その他のサイズの印刷枚数	印刷出力したその他のサイズの用紙の枚数	
18	総印刷枚数*	印刷出力した面数	

*　両面印刷で2ページ分のデータを1枚の紙に印刷した場合、印刷枚数=1、総印字枚数=2とカウントします。
用紙サイズ設定では[A4×2→A4]を選択して印刷した場合は、印刷枚数=1、総印字枚数=1とカウントします。
複数ページ印刷で[2ページ→1ページ]を選択して印刷した場合は、印刷枚数=1、総印字枚数=1とカウントします。

利用情報例

チェック

- 利用情報記録ファイルはCSV形式です。
- FTPサーバーにすでにファイルが存在する場合は、そのファイルに追加されます。ない場合は、ファイルを作成します。
- 標準装備以外のLANボードやLANアダプターで接続している場合も「Parallel」と表示されます。

TCP/IPを使用したネットワーク印刷

¨ NEC MultiWriter 4xxxx ¨ ,,“AAA”,2002/6/05,19:52:01,,,21, ¨ Network ¨ ,,192.168.0.131,21,0,0,0,0,0,0,2,,,,,,,,[CR][LR]

TCP/IPを使用しないネットワーク印刷

¨ NEC MultiWriter 4xxxx ¨ ,,“BBB”,2002/6/05,20:00:12,,,10, ¨ Network ¨ ,,0,10,0,0,0,0,0,0,10,,,,,,,,[CR][LR]

パラレルインターフェースによる印刷

¨ NEC MultiWriter 4xxxx ¨ ,,“DDD”,2002/6/05,10:00:00,,,1 , ¨ Parallel ¨ ,,0,0,1,0,0,0,0,0.1,,,,,,,,[CR][LR]

ステータス印刷/サンプル印刷によるポートを使用しない印刷

¨ NEC MultiWriter 4xxxx ¨ ,,“,,,,,,,,2, ¨ Other ¨ ,,2,0,0,0,0,0,0,2.2,,,,,,,,[CR][LR]

プリンターがFTPサーバーへ利用情報を送信するタイミング

- 一定時間経過時
  10分間(固定)経過したとき
- 利用情報格納エリアニアフル
  FTPサーバーへ利用情報を送信する間に生成される利用情報を格納するエリアを除いて、保存エリアがニアフルになったとき
- オペレータパネルリセット時
  ユーザーが操作パネルでリセット操作をしたとき

チェック

- FTPサーバーへの送信に失敗した場合は、ログ情報を印刷します。
- 利用情報がない場合は送信されません。

保守情報のメール通知

保守情報のメール通知機能は、設定されたプリンターのトナーが少なくなったときや、定期保守が必要になった時に自動的に電子メールを送信して管理者にプリンターの状態を通知する機能です。

メール通知の設定は、ご利用のコンピューターで[利用可能なプリンタ]としてインストールされたプリンターのみに対し設定できます。ネットワーク共有プリンターとグループプリンタには設定できません。
この機能は管理者インストールでプリンターソフトウエアをインストールした場合のみ使用できます。

To：xxxx@yyy.zzzz
From：日電太郎<yyyy@zzz.xxxx>
Reply-To：日電太郎<yyyy@zzz.xxxx>
Cc：zzzz@xxxx.yyyy
Subject：[PA Report]xxxxxxxxx

NEC MultiWriter PrintAgent　メール通知

通知概要：　EPカートリッジの交換
プリンタ名：　NEC MultiWriter　4550
通知アラーム：　76 トナーナシ
通知アラーム検出：　2002/12/25　00:00

入り口近くの柱の脇にあるプリンターです。
EPカートリッジを交換してください。

****

NEC　☆※部

日電太郎

東京都○×区△1丁目2番3号

□■ビル　1F

03-XXXX-XXXX

保守情報の通知例

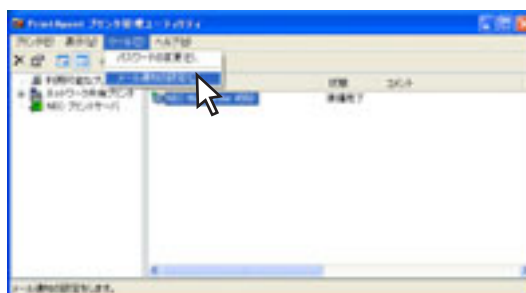
設定方法

❶ [PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ]を起動する。

❷ パスワードを入力する。

❸ ツリービューから[利用可能なプリンタ]を選ぶ。

❹ [ツール]メニューの[メール通知の設定]をクリックする。

[メール通知の設定]ダイアログボックスが表示されます。

❺ **メール送信情報と、ユーザー情報を入力する。**

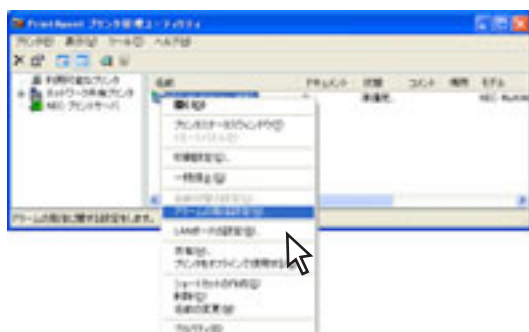
> ✔チェック
> メール送信元情報の項目は必須です。管理者名、メールアドレス、メールサーバー名のすべてが入力されていないと設定が終了できません。

> このダイアログボックスの設定は、メール通知設定の共通設定です。このダイアログボックスで各種設定を行っておくと、複数のプリンターのメール通知設定のときに複写でき、便利です。

［メール送信情報］シート

［ユーザ情報］シート

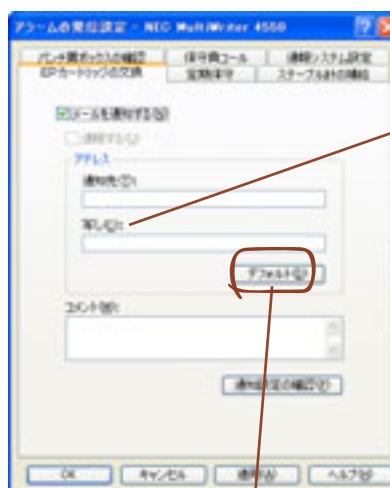
❻ **リストビューから希望のプリンターを右クリックし、メニューの［アラームの発信設定］をクリックする。**

［アラームの発信設定］ダイアログボックスが表示されます。

❼ **［メール通知する］をチェックする。**

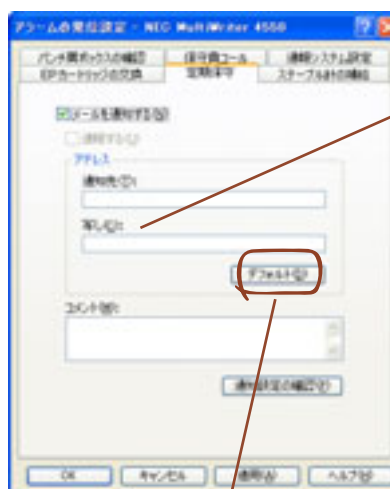
［通知先］、［写し］、［コメント］を入力することができます。

❽ **必要に応じてEPカートリッジの交換と定期保守の設定の通知先情報を入力する。**

［通知設定の確認］をクリックして送信されるメールのイメージを確認してください。

> ✔チェック
> - 保守員コール、通報システム設定シートの設定は、お客様はご利用頂けません。設定は行わないでください。
> - 通知先のメールアドレスが入力されていないと設定が終了できません。
> - 「定期保守通知」は印刷枚数が29万、29万5千、30万ページに達したら、その都度一回だけ発信されます。

このシートの通知先の他に発信者（プリンター管理者）には、自動的に写しが送信される設定になっていますので改めて、ここの［写し］に発信者のメールアドレスを入力する必要はありません。

［デフォルト］をクリックすると［メール通知の設定］ダイアログボックスで入力された通知先、写しのメールアドレスがそれぞれ入力されます。

［EPカートリッジの交換］シート

このシートの通知先の他に発信者（プリンター管理者）には、自動的に写しが送信される設定になっていますので改めて、ここの［写し］に発信者のメールアドレスを入力する必要はありません。

［デフォルト］をクリックすると［メール通知の設定］ダイアログボックスで入力された通知先、写しのメールアドレスがそれぞれ入力されます。

［定期保守］シート

このシートの通知先の他に発信者（プリンター管理者）には、自動的に写しが送信される設定になっていますので改めて、ここの［写し］に発信者のメールアドレスを入力する必要はありません。

［デフォルト］をクリックすると［メール通知の設定］ダイアログボックスで入力された通知先、写しのメールアドレスがそれぞれ入力されます。

［ステープル針の補給］シート

このシートの通知先の他に発信者（プリンター管理者）には、自動的に写しが送信される設定になっていますので改めて、ここの［写し］に発信者のメールアドレスを入力する必要はありません。

［デフォルト］をクリックすると［メール通知の設定］ダイアログボックスで入力された通知先、写しのメールアドレスがそれぞれ入力されます。

［パンチ屑ボックスの確認］シート

このチェックはしないでください。
［保守員コール］シートは将来の保守サービス用です。お客様の設定は必要ありません。

［保守員コール］シート

このチェックはしないでください。［通報システム設定］シートは将来の保守サービス用です。お客様の設定は必要ありません。

［通報システム設定］シート

メール通知ログファイルの出力

PrintAgentでは、保守情報のメール通知(NEC e-mailメンテナンス)で通知したメールの履歴をログ情報としてプリントサーバーの[PrintAgent]フォルダーに出力し、記録させることができます。

メール通知が行われると、PrintAgentをインストールしたフォルダーに「LOG」というサブフォルダーが作成され、そのサブフォルダー内に「PAMail.log」というログファイルが作成されます。
また、PrintAgentをインストールした時のインストール先ディレクトリーを変更せずに(Cドライブ)にインストールした場合、ログファイルは以下のフォルダーに作成されます。

ログファイル：C:¥PrintAgent¥LOG¥PAMail.log

メールを通知するたびにログファイルには次のような情報が記録されます。

通知アラーム検出日時：通知先：写し：プリンター名：通知概要

エラーが検出されメール通知が行われなかった場合には次のような情報が記録されます。

通知アラーム検出日時 ：通知先：写し：プリンター名：通知概要：エラー情報

Web PrintAgent

Web PrintAgentとは、ネットワーク上のクライアントコンピューターの汎用ブラウザーを利用して、プリントサーバーが管理しているプリンターの状態や設定を参照することができる機能です。

次の手順でWeb PrintAgentの準備をします。

❶ **プリントサーバーのコンピューターにWebサーバーをインストールする。**

Webサーバーはマイクロソフト社のホームページからダウンロードするかOSに添付のものを使用してください。

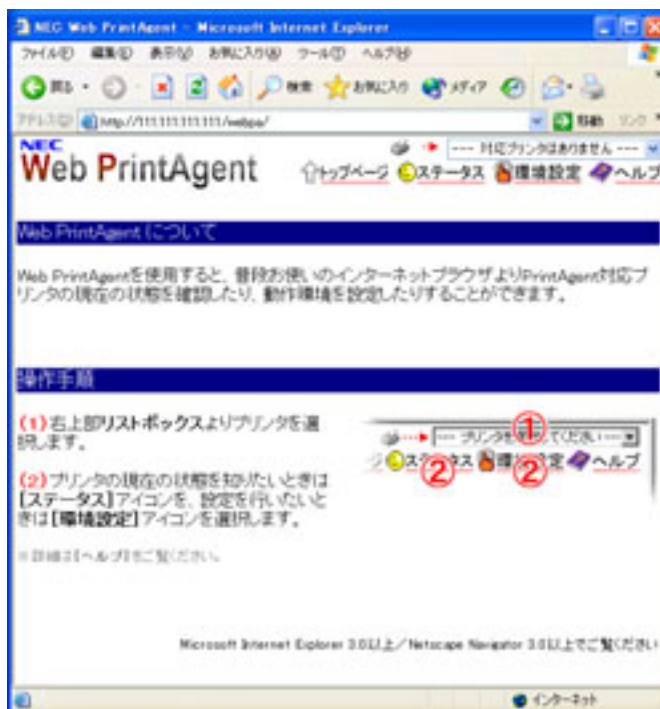
❷ **クライアントのコンピューターにブラウザーソフトウエアをインストールする。**

❸ **プリントサーバーのコンピューターに、Web PrintAgentをインストールする。**

プリンターソフトウエアを管理者向けとしてインストールします。（詳しくは2章の「プリンタ管理者用インストール」（72ページ）を参照してください。）

お使いのブラウザーで次の場所を指定して開くと、以下のトップページ画面が表示されます。詳細なWeb PrintAgentの使い方についてはWeb PrintAgentの「ヘルプ」を参照してください。

http://xxx.xxx.xxx.xxx/webpa/

下線部はWebサーバーをインストールしたコンピューターのIPアドレスか、IPアドレスと対応させたコンピューター名です。

上記の画面はMicrosoft Internet Explorer 6.0 日本語版で表示したときの例です。お使いのブラウザーの種類、バージョンによって画面の表示が多少異なります。また、画面のデザインはソフトウエアの改版によって変更されることがあります。

プリンタードライバーのバージョンアップ

MultiWriterには、プリンターソフトウエアCD-ROMからとネットワーク上のサーバ-クライアント環境で自動的にクライアントへプリンタードライバーの自動配信を行う機能があります。これにより、プリンタードライバーの更新手間を大幅に軽減します。

プリンターソフトウエアCD-ROMからの更新

お使いのコンピューターにインストールされているプリンタードライバー(OSに収録されているプリンタードライバーも含む)について、添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているプリンタードライバーのバージョンが新しい場合に、自動的にバージョンアップ(更新)することができます。

動作環境

以下のOSで使用が可能です。

- Microsoft Windows XP 日本語版
- Microsoft Windows 2000 日本語版
- Microsoft Windows NT 4.0 日本語版
- Microsoft Windows Me 日本語版
- Microsoft Windows 98 Second Edition 日本語版
- Microsoft Windows 98 日本語版
- Microsoft Windows 95 日本語版

設定方法

ご使用の前に、起動しているすべてのアプリケーションを終了してください。

❶ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットし、メニュープログラムを立ち上げる。**

お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合はCD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

❷ **画面左側の[バージョンアップ]をクリックする。**

お使いのコンピューターにインストールされているプリンタードライバーの内、バージョンアップの対象となる製品名が表示されます。

❸ **製品名のチェックボックスをクリックし、バージョンアップを行う製品を選択する。**

または[全追加][全削除]をクリックすることで、対象製品をすべて選択したり、解除することができます。

❹ [バージョンアップ開始]をクリックし、プリンタードライバーをバージョンアップする。

確認メッセージが表示されます。[OK]をクリックするとバージョンアップが開始されます。

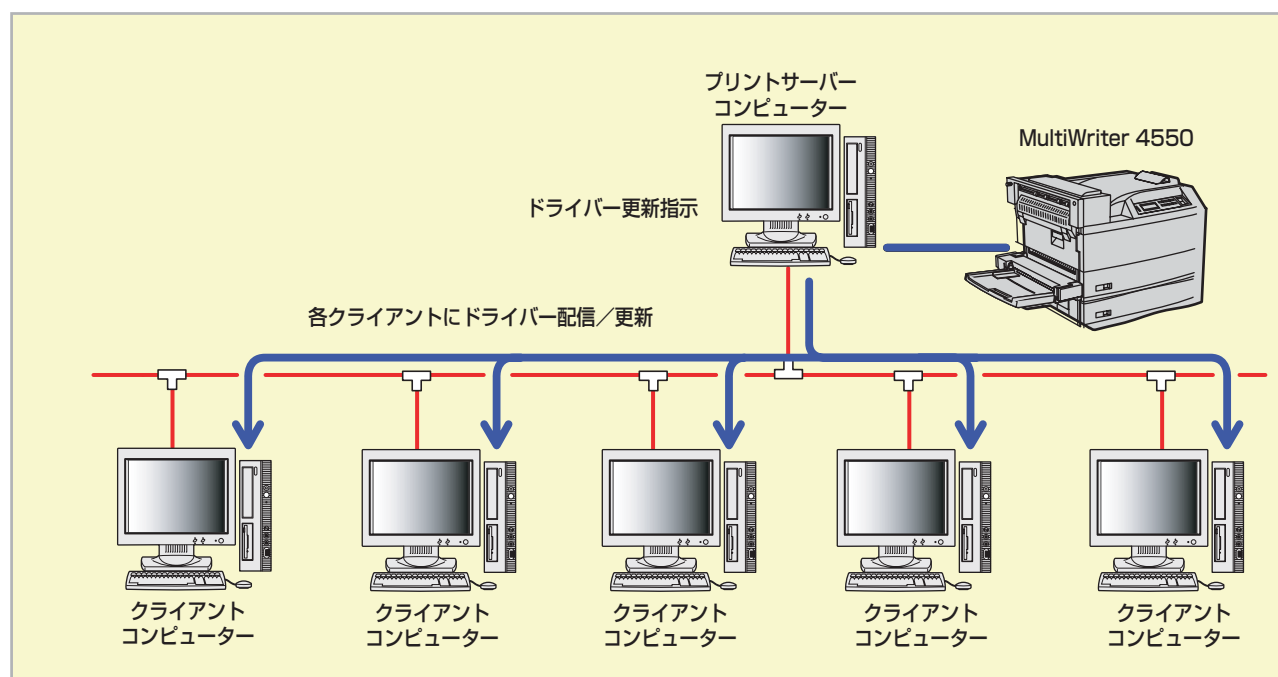
バージョンアップが終了すると、終了メッセージが表示されます。

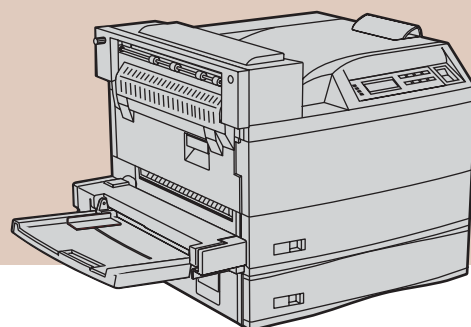
> **チェック**
>
> OSの再起動が必要な場合は、再起動を促すメッセージが表示されます。表示された場合は、再起動を行ってください。再起動しない場合は、正しくプリンタードライバーの更新が行えない場合があります。

使用上の注意事項

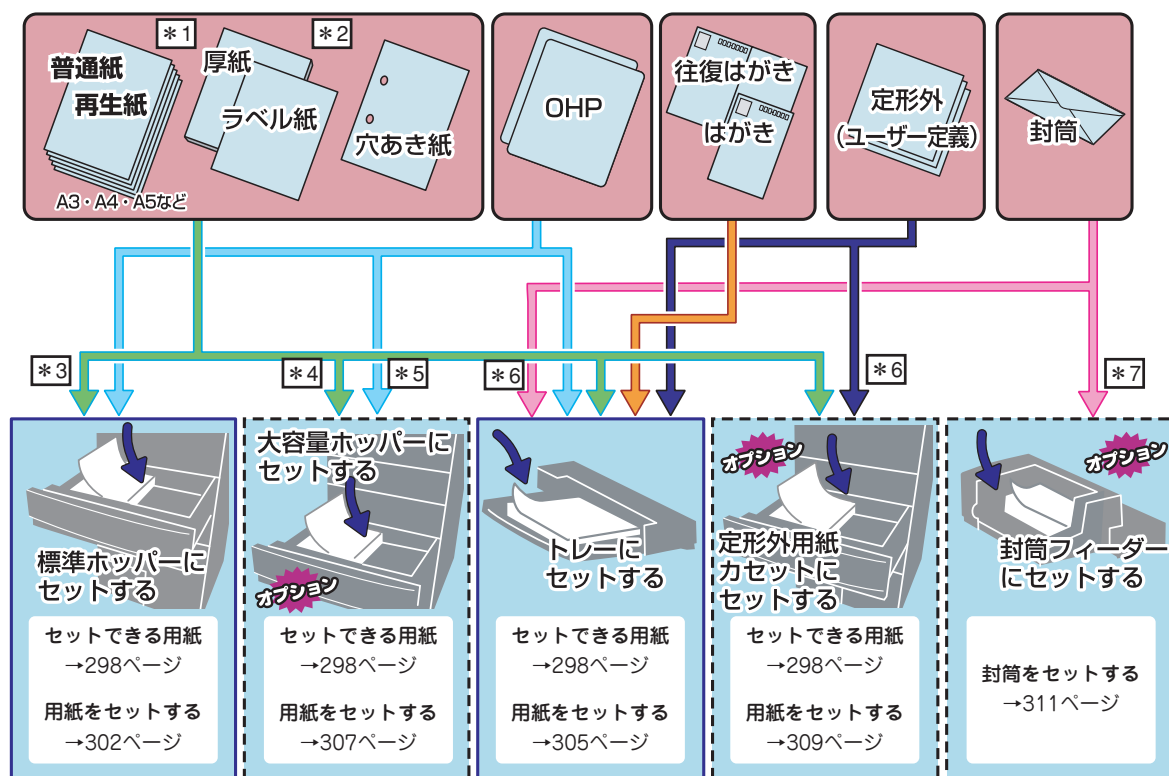
- バージョンアップを行えるのはプリンタードライバーのみです。PrintAgentのバージョンアップは行えません。
- OSに添付されているプリンタードライバーをインストールされている場合も自動バージョンアップの対象となります。この場合は、CD-ROMに格納されているプリンタードライバーに置き換わります。
- Windows XPにインストールしようとしている時に、他のユーザーがそのコンピューターにログオンしている場合は、インストールできません。すべてのユーザーをログオフしてからインストールしてください。
- Windows XPでご使用になる場合には、アカウントの種類が[コンピュータの管理者]の権限を持ったユーザーでログオンしてください。
- Windows 2000、またはWindows NT 4.0 でご使用になる場合には、Administratorsの権限を持ったユーザー名でログオンしてください。Administrators権限を持たないユーザー名でログオンした場合にはバージョンアップを行えません。

MultiWriter ドライバ配信機能

ネットワーク上のサーバークライアント環境で自動的にクライアントコンピューターへプリンタードライバーの配信を行い、更新を行う機能です。

詳しくは、プリンターソフトウェアCD-ROMの[¥MWDUP]フォルダーの[Readme.txt]および[¥MWDUP¥MANUAL]フォルダーのオンラインマニュアル(HTML形式)を参照してください。

5章
用紙のセット

この章では、MultiWriter 4550で使用できる用紙、用紙のセット方法について説明します。

MultiWriter 4550は豊富な給紙機構(ホッパーおよびトレー)を持つプリンターです。用途に合わせて使い分けてください。

MultiWriter 4550では大量給紙するのに便利なリレー給紙機能やグループホッパー機能がご利用できます。ホッパー、大容量ホッパーおよびトレーに用紙をセットし印刷中に用紙がなくなると、自動的に同じ用紙サイズがセットされている給紙先に切り替える機能です。設定手順については1章の「リレー給紙の設定」(24ページ)、4章の「グループホッパーの設定」(237ページ)をご覧ください。

＊1 坪量64.0～105g/m²の用紙です。
＊2 厚紙は坪量106～200g/m²の用紙です。
＊3 厚紙、ラベル紙はホッパー2にセット可能。
＊4 厚紙、ラベル紙はホッパー3、4にセット可能。
＊5 OHPはホッパー3にセット可能。
＊6 ユーザー定義サイズとしてセット可能。
＊7 洋形4号のみセット可能。

用紙について

ここではMultiWriter 4550で使用できる用紙、用紙のセット方向について説明します。用紙をセットする前に必ずお読みになり、使用できる用紙を確認してから印刷してください。

使用できる用紙

使用できる用紙の種類、サイズ、および枚数は以下の表のとおりです。用紙の規格、印刷範囲については「付録　技術情報」(437ページ)を参照してください。

給紙口	セットできる用紙			両面印刷
	種類	サイズ	枚数*2	
ホッパー1（標準ホッパー1）	普通紙*1（乾式PPC用紙）	A3、B4、A4、B5、A5、レター	500	○
	OHPフィルム	A4	—	×
	穴あき紙	A3、B4、A4、B5、A5、レター	—	○
ホッパー2（標準ホッパー2）・ホッパー3（大容量ホッパー3）	普通紙*1（乾式PPC用紙）	A3、B4、A4、B5、レター	500	○
	厚紙（〜180g/m^2）	A3、B4、A4、B5、レター	—	○ *3
	OHPフィルム	A4	—	×
	ラベル紙	A4、B4	—	×
	穴あき紙	A3、B4、A4、B5、レター	—	○
ホッパー4（大容量ホッパー4）	普通紙*1（乾式PPC用紙）	A4、B5、レター	1000	○
	厚紙（〜180g/m^2）	A4、B5、レター	—	○ *3
	ラベル紙	A4	—	×
	穴あき紙	A4、B5、レター	—	○
ホッパー5（大容量ホッパー5）	普通紙*1（乾式PPC用紙）	A4、B5、レター	1000	○
	穴あき紙	A4、B5、レター	—	○
ホッパー1（定形外用紙カセット）	普通紙*1	— A3、B4、A4、B5、A5、レター — 定形外用紙（182〜297× 139.7〜431.8mm）	500	×
	OHPフィルム	A4	—	×
	穴あき紙	普通紙と同じ	—	○
ホッパー2（定形外用紙カセット）・ホッパー3（定形外用紙カセット）	普通紙*1（乾式PPC用紙）	— A3、B4、A4、B5、レター — 定形外用紙（182〜297× 182〜431.8mm）	500	×
	厚紙（〜180g/m^2）		—	×
	OHPフィルム	A4	—	×
	ラベル紙	A4、B4	—	×
	穴あき紙	普通紙と同じ	—	×
トレー	普通紙*1（乾式PPC用紙）	— A3、B4、A4、B5、A5、レター — 定形外用紙（100〜297×105〜431.8mm）	50	○
	厚紙（〜200g/m^2）		—	○ *3,*5
	OHPフィルム	A4	—	×
	ラベル紙	A4、B4	—	×
	はがき	官製はがき、官製往復はがき	—	×
	穴あき紙	A3、B4、A4、B5、A5、レター	—	○
	封筒*4	100〜297×105〜431.8mm以内の封筒	—	×
封筒フィーダー	封筒	洋形4号	100	×

*1　坪量64.0g/m^2〜105.0g/m^2(連量55〜90kg)の用紙です。用紙種類の選択については、下表を参照してください。
*2　坪量64.0g/m^2(連量55kg)の用紙を使用した場合です。普通紙以外は用紙厚によりセット枚数が異なります。
*3　坪量120.0g/m^2(連量103kg)以上の用紙は両面印刷できません。
*4　定形外用紙、厚紙として使用可能です。プリンタードライバーでユーザー定義サイズ、厚紙を選択してご使用ください。
*5　定形外用紙は両面印刷できません。

使用できる用紙坪量とプリンタードライバーの用紙種類の選択の関係は、以下の表のとおりです。

本マニュアルでの用紙分類	プリンタードライバーでの用紙種類	用紙坪量	両面印刷
普通紙	普通紙	64～70g/m²	○
	厚紙1	70～105g/m²	○
厚紙	厚紙2	105～120g/m²	○
	厚紙3	120～140g/m²	×
	厚紙4	140～160g/m²	×
	厚紙5	160～180g/m²	×
	厚紙6	180～200g/m²	×
ラベル紙	ラベル紙	—	×
OHP	OHP	—	×
穴あき紙	穴あき紙	—	○

厚紙2～6と用紙の坪量の関係は、目安です。用紙の種類等により定着性は変化します。テスト印刷を実施し、確認を行ってください。

定形外用紙のご使用について

MultiWriter 4550では、次の方法により定形外サイズの用紙に印刷ができます。

- トレー(標準)
  幅：100mm～297mm×長さ：105mm～431.8mm
- ホッパ1(定形外用紙カセット装着時)
  幅：182mm～297mm×長さ：139.7mm～431.8mm
- ホッパ2およびホッパ3(定形外用紙カセット装着時)
  幅：182mm～297mm×長さ：182mm～431.8mm

チェック

- 定形外用紙をご使用になる際は、必ず事前確認を行ってからご使用ください。
- 用紙の縦横比が極端なサイズの用紙では、紙づまりや斜行の原因となる場合があります。
  (例)幅：182mm×長さ：431.8mm、幅：297mm×長さ：1139.7mmなど
  目安として、縦横比を1：2程度までの用紙をご使用ください。

用紙についての注意事項

用紙をセットする前に以下の注意事項をお読みください。また、はがき、往復はがき、OHPフィルム、ラベル紙、穴あき紙、プレ印刷用紙、封筒、定形外用紙をセットする際の注意事項については312～315ページに記載していますので、併せてお読みください。

■ 次のような用紙への印刷は避けてください。ご使用になると印刷不良、紙づまり、プリンターの故障の原因となるおそれがあります。

- 無塵紙
- 裏移り防止用の白粉（ミクロパウダー）が塗布された用紙
- 熱で変質するインクを使った用紙、変質しやすい用紙
- カーボン紙、ノンカーボン紙、感圧紙、感熱紙、酸性紙
- ざら紙や繊維質の用紙など、表面が滑らかでない用紙
- ミシン目のある用紙
- 紙の表面に特殊コーティングした用紙、表面加工したカラー用紙
- シワがある、折れている、破れている、湿っている、ぬれている、長期間放置した、カールしている、静電気で密着している、貼り合わせてある、のりが付いているなどの用紙
- ステープル針、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
- のりが付いている封筒
- 熱転写プリンター、インクジェットプリンターで印刷した後の用紙
- 次のような状態のラベル紙
  - 台紙全体がラベル紙で覆われていないもの。
  - 部分的に使用したもの。
  - ラベルがはがれかかっているもの。
  - カールしているもの。
  - 表面にのりがしみ出ているもの。
- すでに一度印刷した用紙

■ はがき、往復はがき、封筒、OHPフィルム、およびラベル紙の印刷品質は、規格を満たす普通紙の印刷品質より劣る場合があります。

■ OHPフィルム、ラベル紙、穴あき紙をプリンターにセットするときは十分にさばいてから行ってください。

■ ラベル紙への印刷は、ラベルの切れ目部分に文字やイラストがかからないようにしてください。

■ 吸湿した用紙への印刷は避けてください。ご使用になるとしわの原因となる可能性があります。しわが発生した場合は、新しい用紙と交換してください。

■ 高温・高湿や低温・低湿などの環境条件でプリンターを使用する場合は、常温に比べて用紙が環境の影響を受けやすいため、用紙保管方法に注意する必要があります。ご使用にならない用紙は、プリンター内に放置せずに梱包時の包装紙や段ボール箱に入れて保管してください。

■ 用紙の保管について

用紙の保管について次の点に注意してください。印刷不良、紙づまり、故障の原因となります。

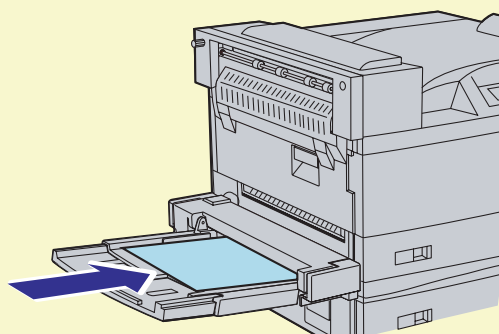
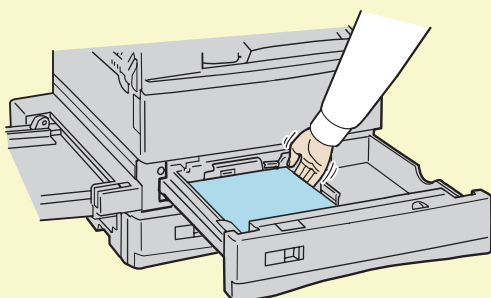
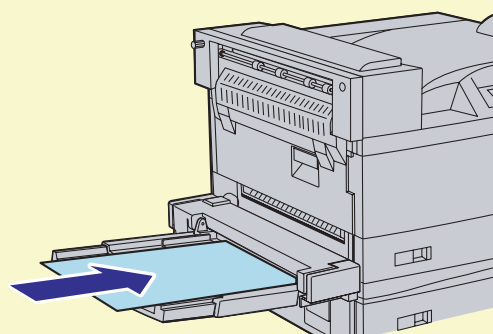
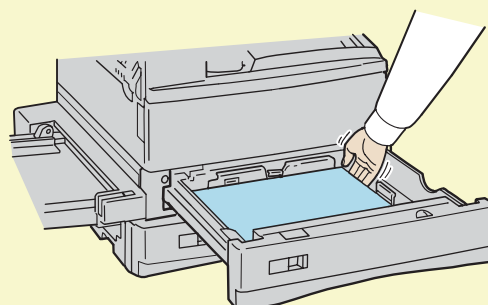
- 湿気を避ける。
- 使用直前まで開封しない。
- 用紙が変形しないような状態で保管する。
- 保管場所と使用場所との間に環境の差がある場合は、使用場所の環境になじませるような保管をする。

用紙のセット方向

横置きにセットできる用紙サイズはA4、A5、B5、レター、官製はがき、封筒の6種類です。
縦置きにセットできる用紙サイズはA3、A4、A5、B4、B5、レター、官製往復はがきの7種類です。
また、はがき、往復はがきをトレーにセットする場合は、あらかじめ「用紙をセットするときの注意」の「はがき、往復はがき」(312ページ)をお読みください。

用紙のセット方向については以下のとおりです。

給紙先／用紙サイズ		A3	A4	A4	A5	A5	B4	B5	B5	レター	レター	はがき	往復はがき	封筒
		タテ	ヨコ	タテ	ヨコ	タテ	タテ	ヨコ	タテ	ヨコ	タテ	ヨコ	タテ	ヨコ
標準ホッパー	1	○	○	×	○	×	○	○	×	○	×	×	×	×
	2	○	○	×	×	×	○	○	×	○	×	×	×	×
大容量ホッパー	3	○	○	×	×	×	○	○	×	○	×	×	×	×
	4	×	○	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×
	5	×	○	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×
トレー		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○*1
封筒フィーダー		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○*2

*1　定形外用紙として使用(ユーザー定義サイズにて、用紙サイズを入力)。
*2　洋形4号のみ。

横置き(A4)の場合の用紙セット方向

縦置き(A3)の場合の用紙セット方向

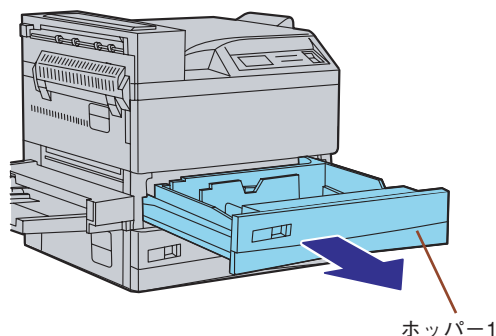
用紙カセットに用紙をセットする

ホッパーから印刷するには、標準用紙カセットに用紙をセットします。用紙は、ホッパー1～3には坪量64.0g/m^2(連量55kg)の普通紙なら各500枚まで、ホッパー4、5には坪量64.0g/m^2(連量55kg)の普通紙なら各1000枚までセットできます。各ホッパーで使用できる用紙については、「用紙について」(298ページ)をご覧ください。

重要

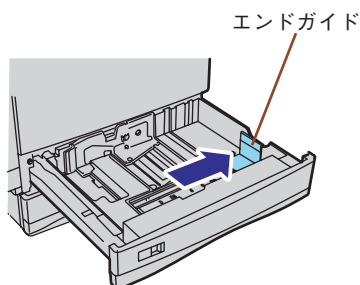
用紙カセットにセットする用紙は、両面とも印刷のされていない用紙をセットしてください。すでに一度印刷された用紙を用紙カセットにセットしないでください。一度印刷された用紙をセットして、その用紙の裏に印刷すると、印刷不良や給紙できなかったり、紙づまりを起こすばかりでなく、プリンターの故障の原因となる場合があります。また、異なる用紙サイズの用紙を同じ用紙カセットにセットしないでください。紙づまりの原因となります。

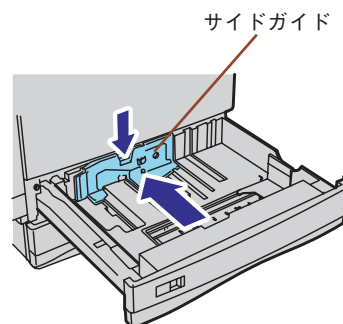
ここでは、例としてホッパー1に用紙をセットするときの手順を示しますが、ホッパー2にセットする場合も同じです。

1. **用紙カセットを手前に引き出す。**

重要

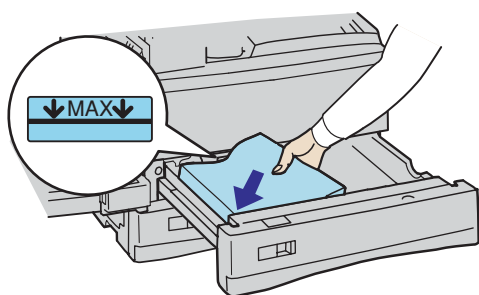
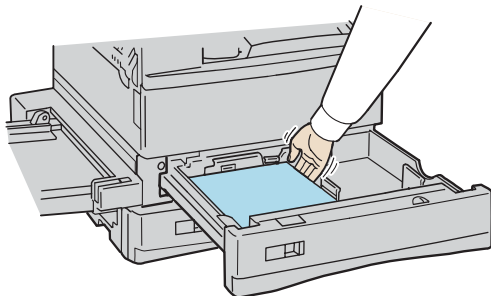
用紙カセットを取り外す必要がある場合(定形外用紙カセットと交換する場合)、取り外した用紙カセットは平たんで固い表面の場所に置いてください。用紙カセットをじゅうたんなどの上に置くと、用紙カセットの下側のばねやワイヤーが引っかかり、破損するおそれがあります。

2. **エンドガイドを軽く持ち上げて、セットする用紙サイズより外側にずらす。**

用紙サイズの位置は、用紙カセットの底面に表示されています。

3. **サイドガイドのつまみを下げながら、サイドガイドをセットする用紙サイズより外側にずらす。**

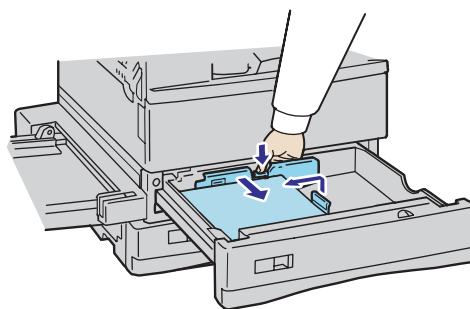
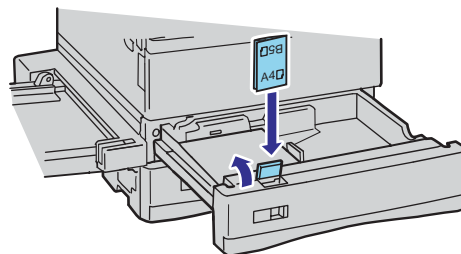
用紙サイズの位置は、用紙カセットの底面に表示されています。

❹ **用紙の端をそろえ、印刷したい面を上にして用紙カセットの左手前に合わせてセットする。**

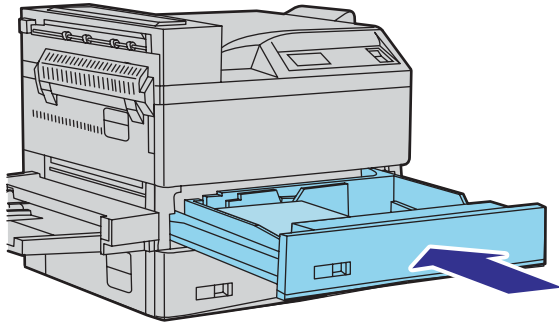
チェック

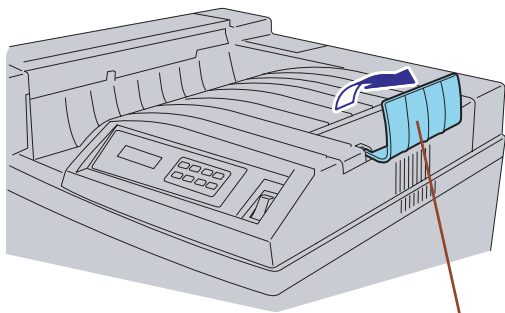
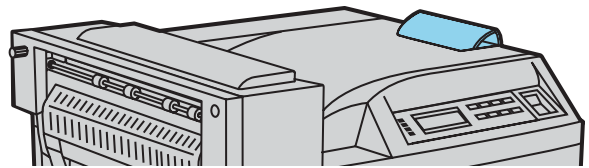
- 包みから出した新しい用紙は、さばかないでください。用紙をさばくと静電気が起きて紙づまりの原因になることがあります。
- ホッパーに収容できる枚数は約500枚(64g/m²)です。用紙上限線を越えないように用紙を入れてください。紙づまりの原因となります。
- 1つのホッパー内にサイズや質の異なる用紙をセットしないでください。紙づまりの原因になります。

❺ **手で用紙の端をそろえる。**

❻ **セットした用紙のサイズに合うように、エンドガイドとサイドガイドを内側にずらす。**

用紙カセットの底面に表示されている用紙サイズを参考にしてガイドをセットしてください。
このとき、それぞれのガイドが正しくセットされていればガイドは動きません。もしガイドが動くようでしたらもう一度正しくセットし直してください。

チェック

用紙およびエンドガイド、サイドガイドが正しくセットされていないと、用紙サイズが検知されず紙づまりが起こることがあります。

❼ **付属の用紙サイズラベルをセットしたサイズを表面にして用紙カセットに差し込む。**

❽ 用紙カセットを奥に突き当たるところまでゆっくりと押し込む。

> **チェック**
>
> 用紙をセットし終えた用紙カセットは、重くなっています。取り付ける際は用紙カセットを両手で持ってプリンターに差し込んでください。

❾ 用紙ストッパーを準備する。

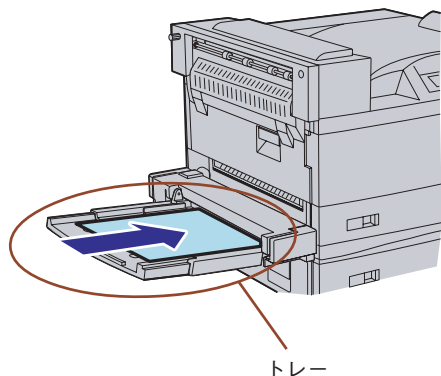
A3、B4サイズの場合、用紙ストッパーを引き出します。

A3、B4サイズ以外の場合は、そのままお使いください。

残った用紙の保管方法

残った用紙は変質を防ぐため、次のことに注意して正しく保管してください。

- 用紙は包装してあった紙で包み直してください。
- キャビネットの中など直射日光の当たらない、湿気の少ない場所に保管してください。
- 用紙はしわ、折れ、カールなど、癖がつかないように平らな場所に水平にして保管してください。

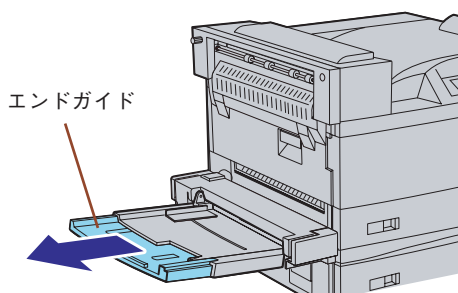
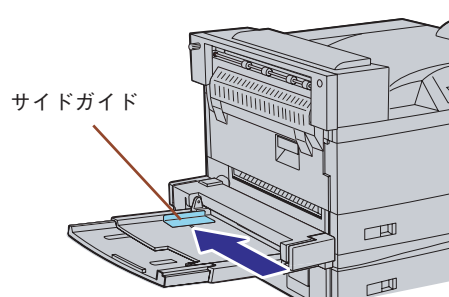
> **チェック**
>
> 普通紙以外を使用する際は、メニューモードの「ヨウシメニュー」―「ヨウシシュベツ」でセットした用紙の種別を設定する必要があります。詳細は333～342ページのメニューツリーを参照してください。

トレーに用紙をセットする

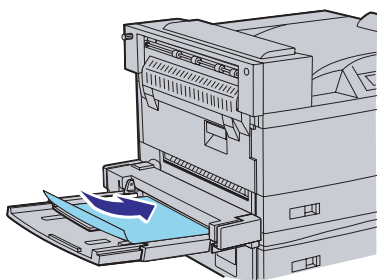
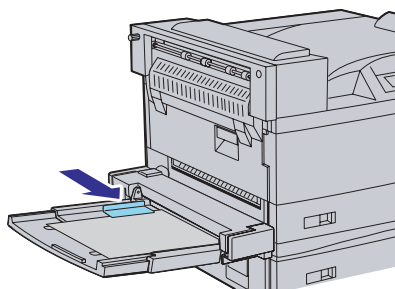
トレーには普通紙をはじめ、ラベル紙や厚紙、はがき、往復はがき、封筒、OHPフィルム、定形外用紙、穴あき紙をセットすることができます。
トレーの容量は坪量64.0g/m²(連量55kg)の普通紙、穴あき紙で約50枚です。ラベル紙、はがき、往復はがき、封筒、OHPフィルムは約20枚までセットすることができます。

普通紙以外を使用する際は、メニューモードの「ヨウシメニュー」─「ヨウシシュベツ」─「トレー　ヨウシシュベツ」でそれぞれ「アツガミ」、「OHP」、「ラベルシ」、「アナアキシ」に設定する必要があります。詳細は333～342ページのメニューツリーを参照してください。

重要

- トレーに用紙以外の物や手を載せないでください。トレーが破損するおそれがあります。
- トレーから印刷しないときは、必ずエンドガイドを閉じてご使用ください。ほこりや異物が入りやすくなり、プリンターの破損や故障のおそれがあります。
- トレーにセットする用紙は両面とも印刷のされていない用紙をセットしてください。すでに一度印刷された用紙をトレーにセットしないでください。一度印刷された用紙をセットして、その用紙の裏に印刷すると、印刷不良や給紙できなかったり、紙づまりを起こすばかりでなく、プリンターの故障の原因となる場合があります。
- トレーに用紙をセットした時は、用紙サイズを操作パネルで設定する必要があります。詳細は「6章　操作パネル」(317ページ)を参照して、[トレー]スイッチで設定してください。また、異なる用紙サイズをセットした時にもそのつど操作パネルで設定を行ってください。
- トレーに封筒をセットした時は、プリンタードライバーで以下の設定をして印刷を行ってください。
  —用紙サイズで[ユーザー定義サイズ]を選択し、用紙サイズを入力してください。
  —用紙種類で[厚紙]を選択し、任意の厚紙レベルを選択してください。

❶ トレーを横に倒し、必要に応じてエンドガイドを引き出す。

❷ サイドガイドを奥側にずらす。

❸ 用紙の端をそろえ、印刷したい面を下にして、トレーの手前に合わせ、差し込み口に軽く突き当たるまで入れる。

チェック

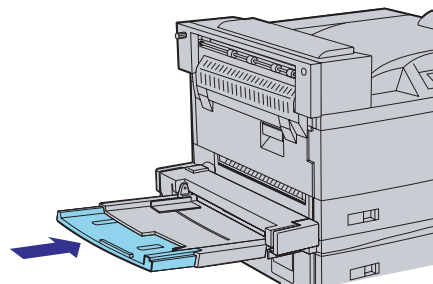
- 用紙の間に空気が入るように、紙をさばいてください。これにより複数枚の紙送り(重送)や紙づまりなどの発生を防ぎます。
- トレーに表示されている用紙上限線を越えて用紙を入れないでください。紙づまりの原因になります。

❹ サイドガイドを、これから使用する用紙サイズの目盛りに合わせる。

❺ 操作パネルでセットした用紙サイズを設定する。

操作パネルの[印刷可]スイッチを押してから、[トレー]スイッチを押して、用紙サイズを設定します。(操作パネルの詳細は317ページ参照。)

- [トレー]スイッチを1回押すごとに用紙サイズは以下のように変わります。

  「A4タテ→A4ヨコ→A5タテ→A5ヨコ→B4タテ→B5タテ→B5ヨコ→LTタテ→LTヨコ→ハガキ→ハガキ2→フウトウ→A3タテ」

- Windows環境で定形外サイズを印刷する場合、操作パネルで用紙サイズを設定する必要はありません。

❻ 印刷が終了したら、引き出したエンドガイドとトレーを元に戻す。

重要

往復はがきは、折り返しや折り目がついているものを使用しないでください。折れた状態でトレーにセットすると、紙づまりの原因となるだけでなくプリンターが故障するおそれがあります。

チェック

普通紙以外を使用する際は、メニューモードの「ヨウシメニュー」ー「ヨウシシュベツ」でセットした用紙の種別を設定する必要があります。詳細は333～342ページのメニューツリーを参照してください。

大容量ホッパーに用紙をセットする

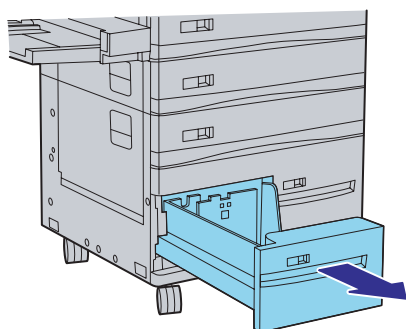
大容量ホッパーのホッパー3に用紙をセットする方法は用紙カセット1、2にセットする方法と同じです（302ページをご覧ください。）ここではホッパー4、ホッパー5に用紙をセットする方法を説明します。

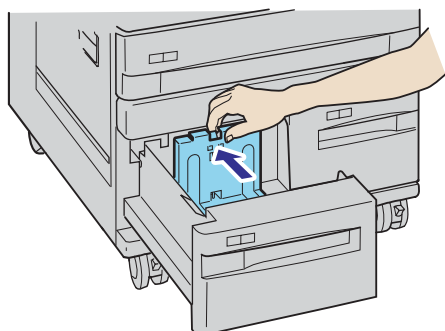
ホッパー3にはA3、A4、B4、B5、レターがセットでき、坪量64.0g/m²（連量55kg）の普通紙なら500枚までセットできます。ホッパー4、ホッパー5にはA4、B5、レターがセットでき、坪量64.0g/m²（連量55kg）の普通紙なら各1000枚までセットできます。

重要

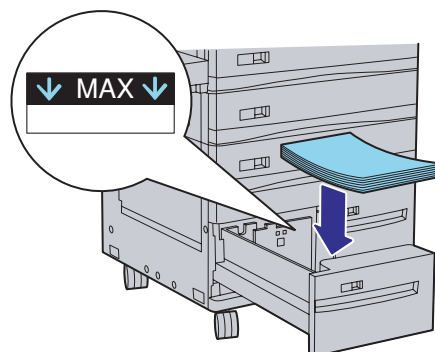
大容量ホッパーにセットする用紙は、両面とも印刷のされていない用紙をセットしてください。すでに一度印刷された用紙を用紙カセットにセットしないでください。一度印刷された用紙をセットして、その用紙の裏に印刷すると、印刷不良や給紙できなかったり、紙づまりを起こすばかりでなく、プリンターの故障の原因となる場合があります。また、異なる用紙サイズの用紙を同じ用紙カセットにセットしないでください。紙づまりの原因となります。

ここでは例としてホッパー4に用紙をセットする手順について説明します。

❶ **用紙カセットを手前に引き出す。**

❷ **サイドガイドのつまみを引きながら、セットする用紙サイズより外側にずらす。**

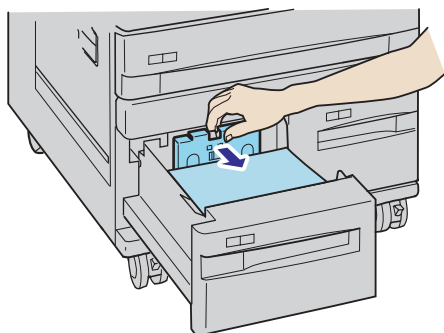
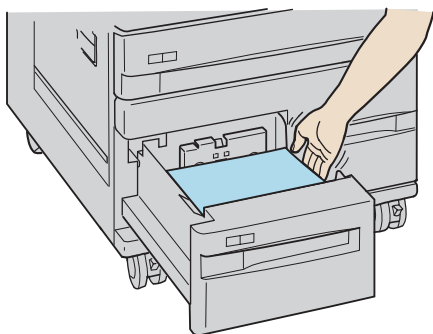
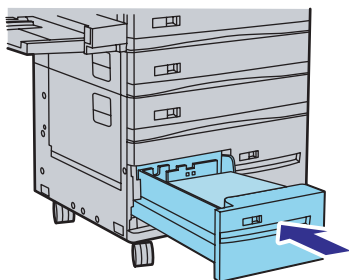
用紙サイズの位置は、用紙カセットの底面に表示されています。
サイドガイドの位置を変えることにより、ホッパーのサイズを変更することができます。

❸ **用紙の端をそろえ、印刷したい面を上にして用紙カセットの左手前に合わせてセットする 。**

重要

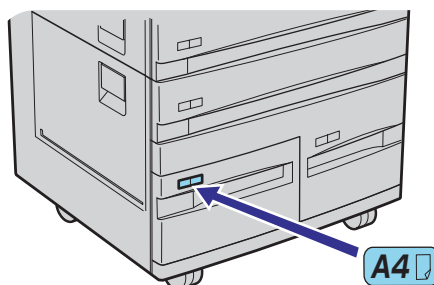
- 用紙上限線を越えないように用紙を入れてください。紙づまりの原因になります。
- 1つのホッパー内にサイズや質の異なる用紙をセットしないでください。紙づまりの原因になります。
- 包みから出した新しい用紙をセットしてください。

❹ **セットした用紙のサイズに合うように、サイドガイドを内側にずらす。**

用紙カセットの底面に表示されている用紙サイズを参考にしてサイドガイドをセットしてください。
このとき、サイドガイドが正しくセットされていればサイドガイドは動きません。もしサイドガイドが動くようでしたらもう一度正しくセットし直してください。

チェック

用紙およびサイドガイドが正しくセットされていないと用紙サイズが検知されず、紙づまりが起ることがあります。

❺ **手で用紙の端をそろえる。**

❻ **用紙カセットをホッパーの奥に突き当たるところまでゆっくりと押し込む。**

❼ **セットしたサイズの用紙サイズシール(付属品)をホッパーに貼る。**

チェック

付属の用紙サイズラベルは用紙カセット3に、用紙サイズシールは用紙カセット4、5でお使いください。

残った用紙の保管方法

残った用紙は変質を防ぐため、次のことに注意して正しく保管してください。

- 用紙は包装してあった紙で包み直してください。
- キャビネットの中など直射日光の当たらない、湿気の少ない場所に保管してください。
- 用紙はしわ、折れ、カールなど、癖がつかないように平らな場所に水平にして保管してください。

チェック

普通紙以外を使用する際は、メニューモードの「ヨウシメニュー」―「ヨウシシュベツ」でセットした用紙の種別を設定する必要があります。詳細は333～342ページのメニューツリーを参照してください。

定形外用紙カセットに用紙をセットする

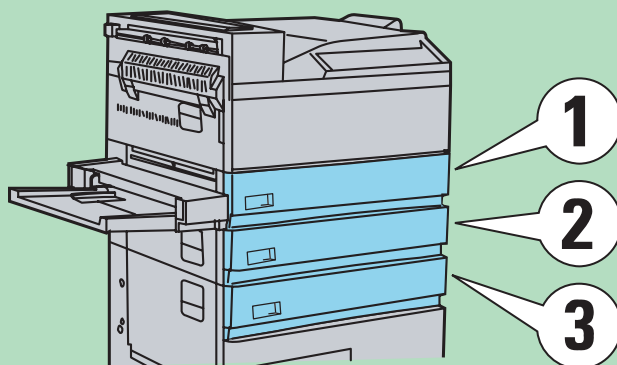
定形外用紙カセットは、ホッパー1、2または大容量ホッパー3の標準用紙カセットと交換して使用することができます。定形外用紙カセットには普通紙やラベル紙をはじめ、厚紙、OHPフィルム、穴あき紙、定形外用紙をセットすることができます。

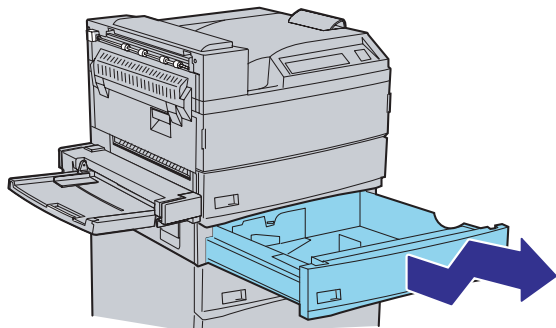
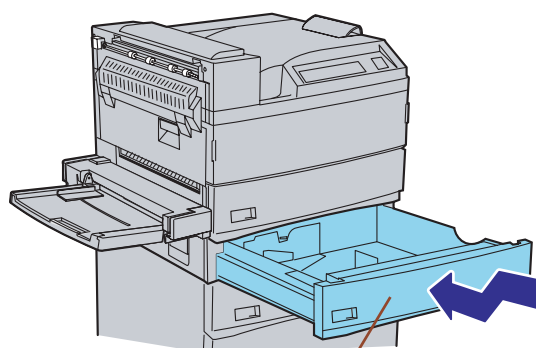
定形外用紙カセットの容量は坪量64.0g/m^2(連量55kg)の普通紙で約500枚です。
片方向通信の場合は、プリンタードライバーのプロパティで[プリンタ構成シート]を開き、使用する定形外カセットを選択する必要があります。
両面印刷およびフィニッシャーへの排出は対応していません。

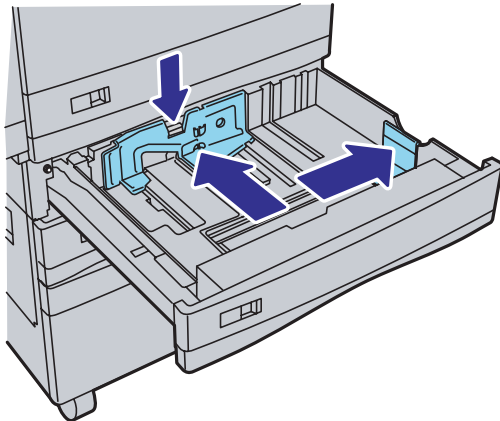
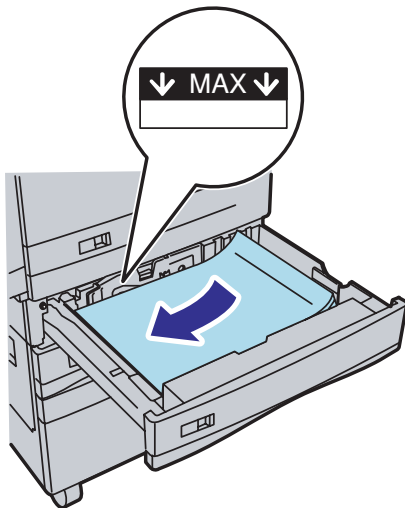
重要

定形外用紙カセットにセットする用紙は両面とも印刷のされていない用紙をセットしてください。すでに一度印刷された用紙を定形外用紙カセットにセットしないでください。一度印刷された用紙をセットして、その用紙の裏に印刷すると、印刷不良や給紙できなかったり、紙づまりを起こすばかりでなく、プリンターの故障の原因となる場合があります。

チェック

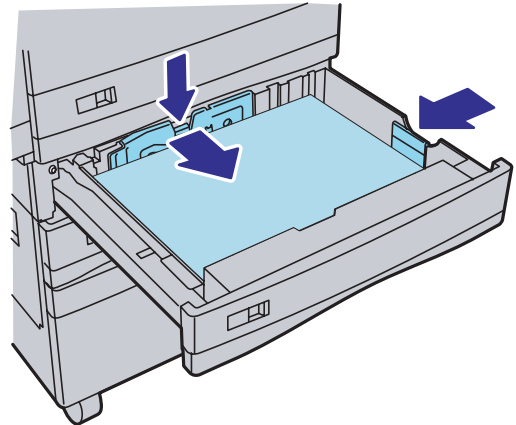
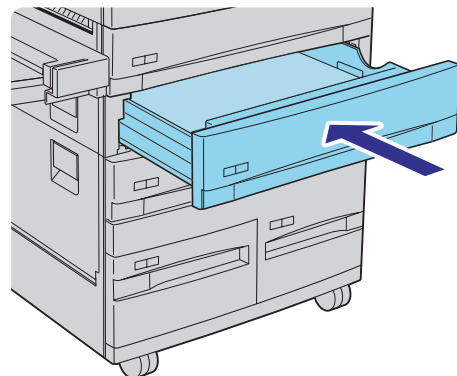
- 定形外用紙カセットはホッパー1、ホッパー2、ホッパー3にセットできます。
- 定形外用紙カセットにセットされた用紙は定形用紙(A4など)がセットされていても定形外用紙として扱われます。

ここでは例としてホッパー2に用紙をセットするときの手順について説明します。

❶ **使用するホッパーの用紙カセットをいっぱいに引き出し、少し上方に持ち上げて取り外す。**

❷ **取り外したホッパーに定形外用紙カセットを取り付ける。**

❸ **サイドガイド、エンドガイドをセットする用紙サイズより外側にずらす。**

❹ **用紙をそろえ、印刷したい面を上にして用紙カセットの左手前に合わせて、用紙上限線を越えないようにセットする。**

チェック

- 用紙上限線を越えないように用紙を入れてください。紙づまりの原因となります。
- 一つの用紙カセット内にサイズや質の異なる用紙をセットしないでください。紙づまりの原因となります。

❺ **セットした用紙のサイズに合うように、サイドガイドとエンドガイドを内側にずらす。**

用紙カセットの底面に表示されている用紙サイズを参考にしてガイドをセットしてください。
このとき、それぞれのガイドが正しくセットされていればガイドは動きません。もしガイドが動くようでしたら、もう一度、正しくセットし直してください。

❻ **用紙カセットをホッパーの奥に突き当たるところまでゆっくりと押し込む。**

封筒フィーダーに封筒をセットする

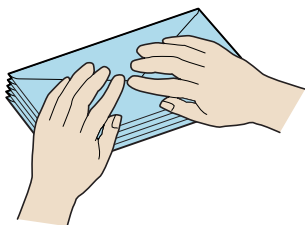
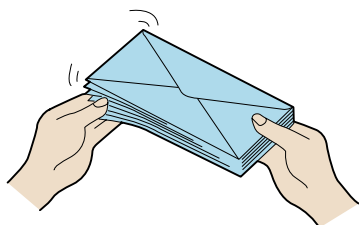
封筒フィーダーにセットする封筒は、洋形4号(内カマス*、のりなし)をご使用ください。封筒フィーダーには最大100枚セットすることができます。トレーとの併用はできません。

重要

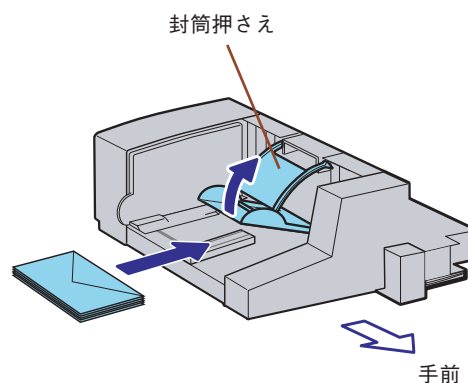
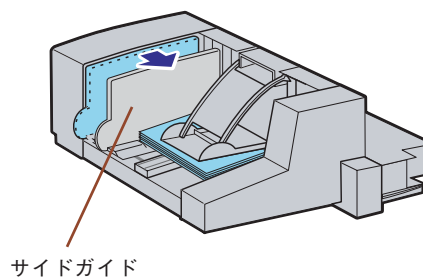
フラップ(封筒の折り返し部分)面は印刷を行わないでください。紙づまりの原因となるだけでなく、プリンターが故障するおそれがあります。

* 封筒の裏側ののりしろが内側にあるものです。

❶ **フラップ(封筒の折り返し部分)をきちんと折り曲げる。**

フラップがはね上がらないように、平らなところできちんと折り曲げてください。

❷ **封筒の両端を持って、十分にさばく。**

❸ **封筒押さえを持ち上げ、封筒を手前にセットする。**

チェック

印刷する面を下にしてください。

❹ **セットした封筒が固定されるように、サイドガイドを封筒に合わせてずらす。**

チェック

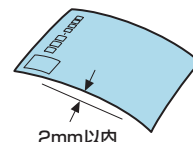
封筒フィーダーを本体に取り付ける方法は、1章「オプション」の「封筒フィーダー」(34ページ)を参照してください。

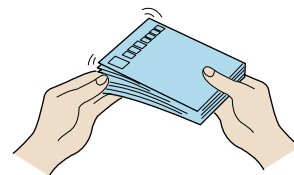
用紙をセットするときの注意

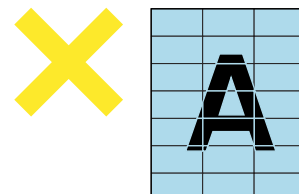
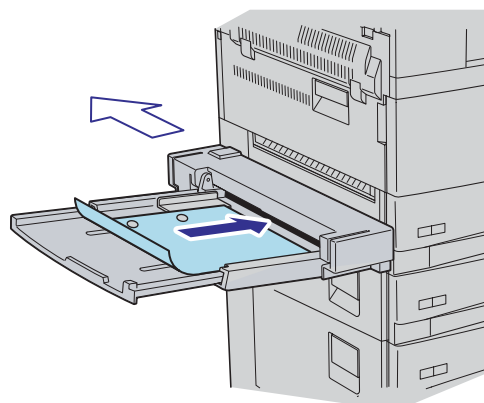
はがき、往復はがき

重要

往復はがきは、折り返しや折り目がついているものを使用しないでください。折れた状態でトレーにセットすると、紙づまりの原因となるだけでなく、プリンターが故障するおそれがあります。

- はがき、往復はがきに反りがあるときは、反りの幅が2mm以内になるようにし、反りの方向が右の図のようになるように直してからセットしてください。

- 印刷所で印刷を施された官製はがき(年賀状など)には裏移り防止用の白い粉が塗布されていることがあります。このプリンターでこのようなはがきへの印刷を繰り返すと、白い粉によりプリンター内部のローラーの摩擦力が低下し、はがきがうまく送れなくなることがあります。このようなはがきを使用するときは、印刷の前にはがきの両面についている粉を乾いた布などで軽く払ってください。
- はがきをまとめてセットする場合は、はがきを十分さばいてからセットしてください。

- 印刷したはがきは反りが5mm以内になるように直してください。反りが大きいと郵便番号読取機の処理に不都合が生じます。
- 往復はがきを使用する場合は、プリンタードライバーの用紙サイズで[ユーザー定義サイズ]を選択し、サイズを指定して使用してください。

OHPフィルム、ラベル紙、穴あき紙

- OHPフィルム、ラベル紙、穴あき紙は十分にさばいてからセットしてください。
- OHPフィルムは使用環境、種類によっては静電気が発生し、正常に給紙できないときがあります。その際は、トレーに1枚ずつセットして印刷することをお勧めします。
- ラベル紙は保管状態によっては反りが生じ、正常に給紙できないときがあります。その際は、反りを直して印刷してください。
- ラベル紙への印刷は、ラベルの切れ目部分に文字やイラストがかからないようにしてください。

- 次のような状態のラベル紙への印刷は避けてください。印刷不良、紙づまり、プリンターの故障の原因となります。
  - 台紙全体がラベルで覆われていないラベル紙
  - 部分的に使用したラベル紙
  - ラベルがはがれかかっているラベル紙
  - カールしているラベル紙
  - 表面にのりがしみ出ているラベル紙
- 穴あき紙に印刷する場合は、プリンタードライバーの用紙種別で穴あき紙を選択して印刷を行ってください。また、用紙をセットする際は、穴のある辺がプリンター奥側になるようにセットしてください。

封筒

重要

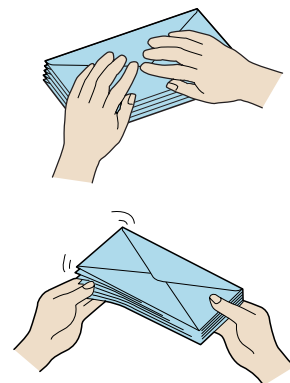
フラップ(封筒の折り返し部分)面には印刷をしないでください。紙づまりの原因となるだけでなく、プリンターが故障することがあります。

- 洋形4号は、封筒フィーダー(オプション)、トレーにセットできます。
その他のサイズは、トレーにのみセットできます。

- 封筒は、洋形4号、内カマス、のりなしをご使用ください。
ただし、封筒の材質により、ご使用になれない場合があります。

- 封筒をセットする前に、封筒の束を平らなところへ置き、フラップ(封筒の折り返し部分)をきちんと折り曲げてフラップがはね上がらないようにしてください。フラップをきちんと折り曲げない状態でセットすると、用紙サイズエラーになることがあります。

- 封筒の両端を持って、十分さばいてからセットしてください。

- トレーで封筒を使用する場合は、プリンタードライバーから[ユーザ定義サイズ]を選択し、サイズを指定してご使用ください。また、[厚紙]を選択し、用紙厚に合わせた厚紙レベルを指定してご使用ください。

定形外用紙

重要

形状が長方形以外の不規則な形状の用紙、角が直角でない用紙は正常な給紙ができません。紙づまりの原因となるだけでなく、プリンターが故障するおそれがあります。

チェック

定形外用紙は、Windows XP/2000、Windows NT 4.0、Windows Me/98/95からの印刷が可能です。

- 対応可能な用紙の厚み(坪量)は、定形用紙に比べて扱える範囲がせまくなる場合があります。定形外用紙を使用する場合は、事前に十分な試し印刷をして印刷動作を確認することをお勧めします。

- 用紙の紙質、繊維目方向、プレ印刷、ホールパンチ、ミシン目などにより正常に印刷されない場合があります。

- 用紙の種類、繊維目方向によっては印刷後大きくカールするものがあります。

- 印刷した用紙が正常にスタックされない場合があります。この場合はそのつど用紙を取り除いてください。

プレ印刷用紙

プレ印刷用紙は、PPC用紙に比べ印刷時の転写不良や定着時のカールが大きくなる傾向にあるので、PPC用紙に比べ斜行やひどい場合は角折れ、紙づまりなどの障害率が高くなることがあります。本プリンターの印刷位置誤差が許容される範囲および使用用紙を事前に確認の上、十分使用可能という範囲においてプレ印刷用紙を使用する場合は、以下の収納および保管条件を守ってください。

- 原則として、プレ印刷をしてから環境の影響を避けるため、即納入の形態をとること。
- プレ印刷業者から納入された用紙は保管環境を守り、プレ印刷時点より6か月を最大保管期間とする。

詳細については下記のチェックポイントを参照してください。

- プレ印刷用紙使用上のチェックポイント
  - プレ印刷用紙を使用する場合には、用紙は推奨紙に準ずる上質なPPC用紙を使用してください。（プレ印刷をする際の表面に薄く塗る水分や油分による影響や、インク自身の収縮により、用紙は変形しやすくなります。）
  - プレ印刷は、片面のみで行ってください。
- プレ印刷の事前チェックポイント

□ 定着部のジャム（紙づまり）、巻き込み角折れの有無

内容：　プレ印刷時に印刷面に薄く水分を含ませ、印刷後乾燥させるような印刷は水分が多かったり、乾燥が不十分だったりして、通常の用紙より多くの水分を含んでいます。このように水分などがある状態で定着すると激しいカールを伴い、定着ローラーへの巻き込みジャムあるいは爪へ当たり、角折れが起こることがあります。

処置：　プレ印刷業者と相談の上、印刷方法、用紙の変更、包装方法などを含め、協議してください。

□ 転写不良の有無、用紙カールの程度

内容：　プレ印刷のインクの凹凸や部分的吸湿、包装などの不備により用紙が変形し、OPCドラムに密着できなくなります。

処置：　包装方法、保管方法をチェックし、改善してください。また、必要に応じて印刷方法、用紙を変更してください。

□ 重送の有無

内容：　プレ印刷時のインクにより用紙とインクがくっついています。

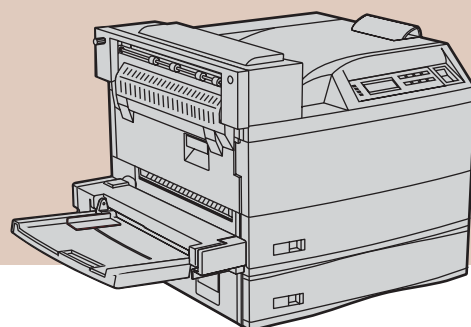
処置：　プレ印刷業者に印刷方法などの変更を依頼してください。

□ ジャム（紙づまり）

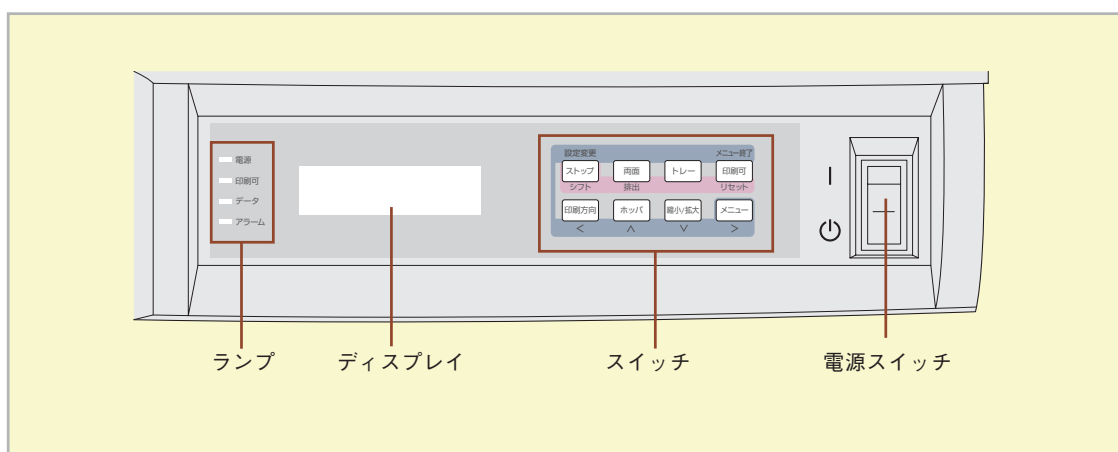
内容：　マイクロパウダー*やインクなどによって用紙の摩擦力が下がることにより、フィード力が失われジャムが発生します。2,000～7,000枚印刷後ぐらいから発生するケースがあります。

処置：　マイクロパウダーやある種のインクには滑りやすい物質が含まれています。マイクロパウダーを使用している場合は使用を中止してください。また、インクに問題がある場合は印刷方法（インク）の変更などを行ってください。

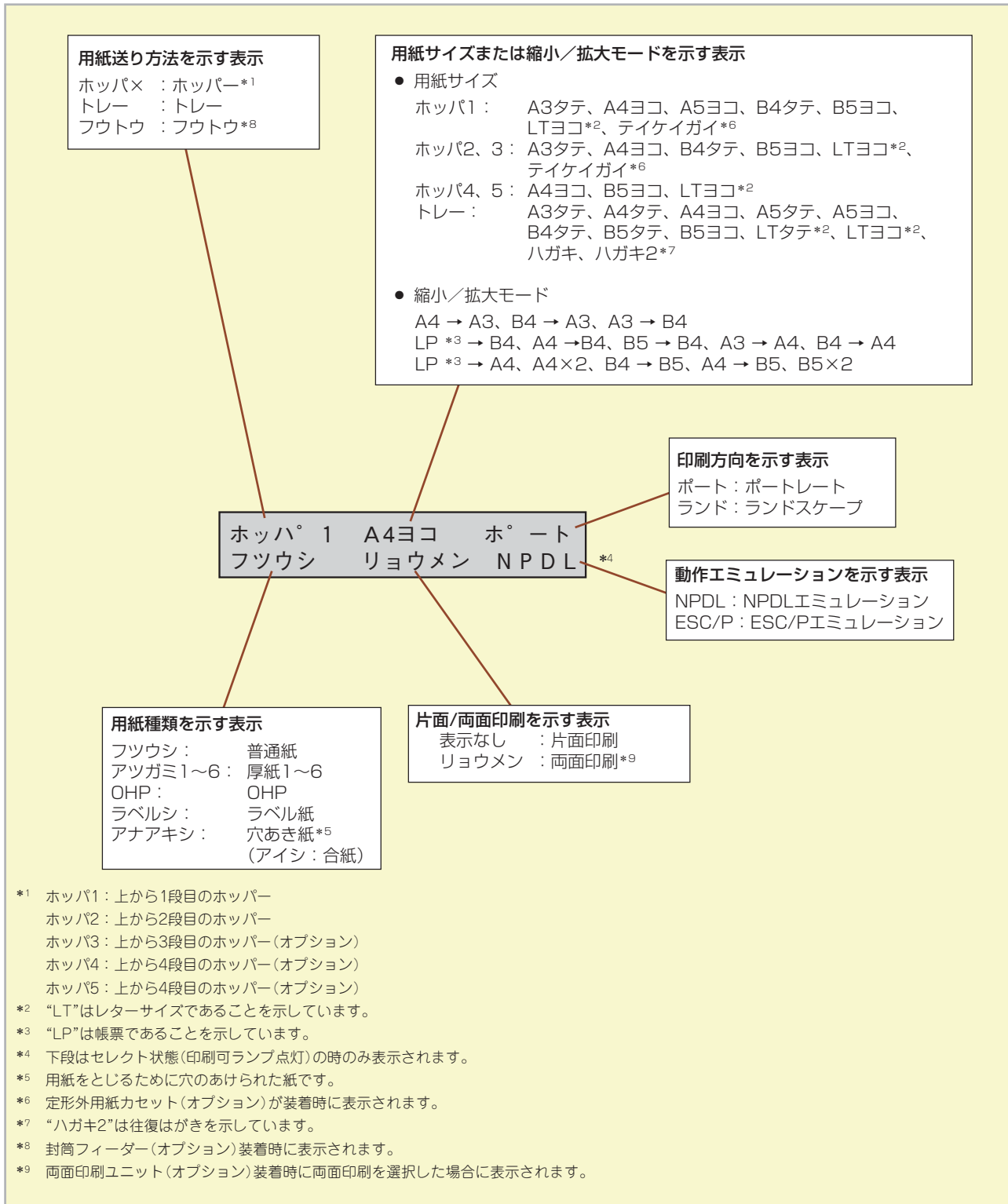
* マイクロパウダーとは、プレ印刷時に裏にプレ印刷のバック転写が生じないように利用するものです。また、インク自身にもその役割を持っているものがあります。

6章
操作パネル

この章では、操作パネルにあるスイッチやランプついて説明しています。

操作パネルはユーザーがプリンターの状態を見たり、設定を行ったりするためのものです。ここでは主にNPDL(Level 2)で使用する時の、操作パネル上の「ディスプレイ」および「ランプ」の表示の意味と、「スイッチ」の使い方について説明します。

ESC/Pエミュレーションでの機能では、一部機能が異なります。詳しくは330〜332、357〜358ページの表をご覧ください。

操作パネル

ディスプレイ

16桁2行の液晶ディスプレイです。英数字とカナで、プリンターの状態や操作に関する情報を表示します。双方向通信をしている時は“ジュシンチュウ”および“ショリチュウ”が表示されます。

ディスプレイの表示

その他の表示内容については本書の9章の「アラーム表示が出ているときは」（381ページ）、「メニューツリー」（333～342ページ）または、「ディスプレイ表示一覧」（503ページ）をご覧ください。

ランプ

▭ 印刷可

印刷可ランプ(緑)

点灯(緑)　プリンターがセレクト状態（印刷データを受信できる状態）になっています。

消灯　プリンターがディセレクト状態（印刷データを受信できない状態）になっています。（ただし、I/F設定がECPモード中は印刷データを受信します。）

▭ 電源

電源ランプ(緑)

点灯　プリンターの電源がONになっています。

消灯　プリンターの電源がOFFになっています。

▭ データ

データランプ(橙)*

* I/F設定がECPモード中にディセレクト状態でデータ受信しているときはデータランプは点滅/点灯しません。

点灯
- プリンター内に印刷データが残っています。
- プリンターはデータを受信中ではありません。

点滅　プリンターが印刷データを受信中です。

消灯
- プリンター内にデータが残っていません。
- プリンターはデータを受信中ではありません。

▭ アラーム

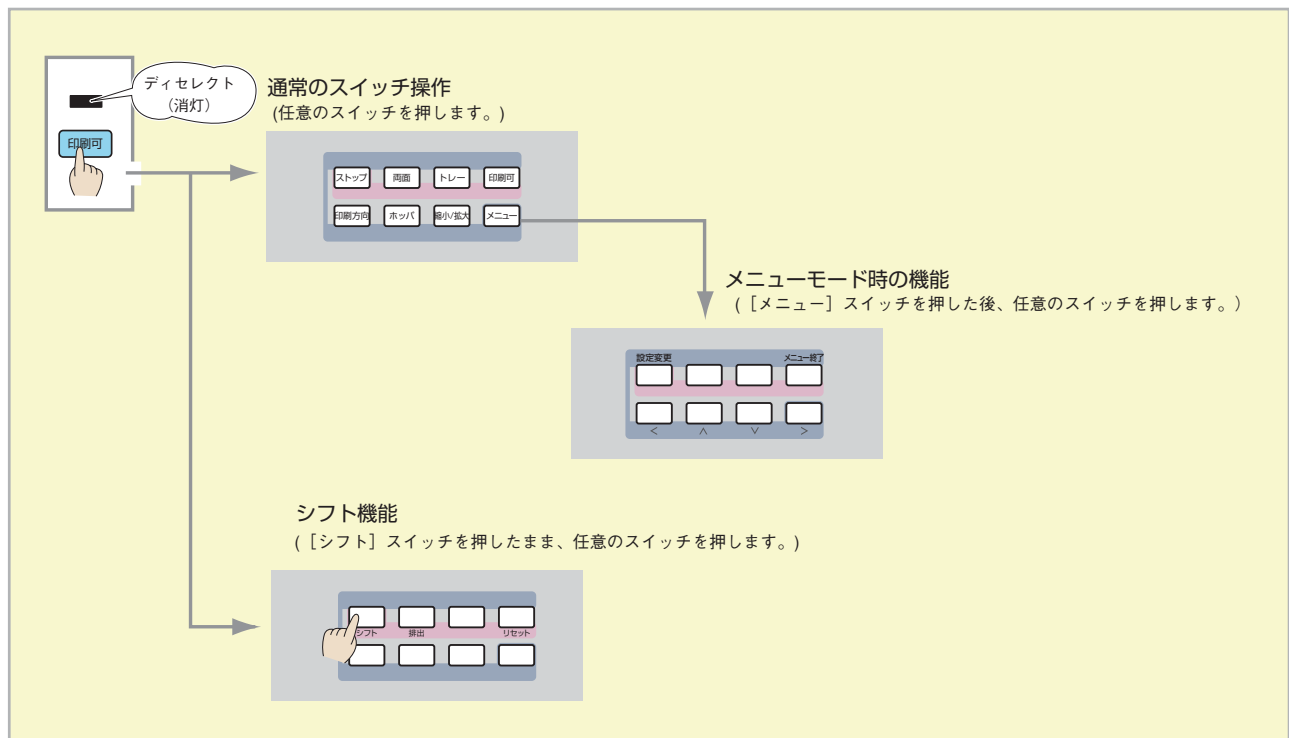
アラームランプ(赤)

点灯　EPカートリッジのトナーの残量が少ない、またはEPカートリッジの寿命です。新しいEPカートリッジと交換してください。詳細については8章「EPカートリッジの交換」(367ページ)をご覧ください。

点滅　用紙なし、指定用紙なし、用紙ホッパーオープン、またはプリンターに異常が発生していることを示します。詳細はディスプレイに表示されます。

消灯　プリンターが正常であることを示します。

スイッチ

プリンターの操作パネルには8個のスイッチがあり、それぞれのスイッチは2つまたは3つの機能をもっています。

スイッチのモード

通常のスイッチ機能 — [印刷可]スイッチを押し、ディセレクト状態(印刷可ランプが消灯している状態)になって初めて機能します([ストップ]スイッチを除く)。

メニューモード時のスイッチ機能 — [メニュー]スイッチを押してメニューモードに入ると働く機能です。

シフト時のスイッチ機能 — [シフト]スイッチを押しながら押すと働く機能です。

チェック

- アラームランプが点滅している間はどのスイッチも機能しません。アラームの詳細については「アラーム表示が出ているときは」(381ページ)をご覧ください。
- アプリケーションによっては、スイッチによる設定をアプリケーション側で行えるものもあります。

通常のスイッチ機能

[印刷可]スイッチ

このスイッチはプリンターが初期化中でないとき、およびテスト印刷中でないときに機能します。

データを受信できる状態にする。

スイッチを押すごとにデータを受信できる状態(セレクト状態、印刷可ランプ緑点灯)と受信できない状態(ディセレクト状態、印刷可ランプ消灯)に交互に切り替わります。

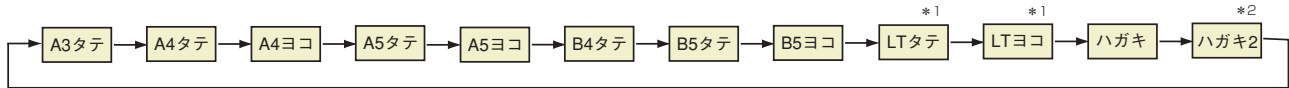
[トレー]スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

給紙先をトレーにする。

ホッパーから用紙を給紙する状態でこのスイッチを押すと、トレーから用紙を給紙する状態に切り替わります。また、オプションの封筒フィーダー装着時は封筒フィーダーから給紙されます。

トレー給紙の用紙サイズを変更する。

トレー給紙を選択中に、このスイッチを押すたびに用紙サイズの設定が次のように変わります。

チェック

- 本スイッチによる設定とトレーにセットされる用紙のサイズは一致させて使用してください。
- トレーがメニューモードで「合紙」に設定されていた場合は、通常印刷でトレーは使用できません。

＊1　「LT」は「レター」を意味します。
＊2　「ハガキ2」は往復はがきを意味します。

両面

[両面]スイッチ＊3

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

両面印刷モードにする（両面印刷モードを解除する）。

このスイッチを押すたびに両面印刷モードの設定と解除が切り替わります。用紙種別で「厚紙3～6」または「OHP」、「ラベル紙」を指定した場合は、「リョウメン」が表示されていても、印刷は片面で行われます。

＊3　両面印刷ユニット（オプション）装着時に機能します。
選択した用紙サイズがはがき、往復はがき、封筒、定形外用紙以外であること、また用紙種別が普通紙、厚紙1、厚紙2、穴あき紙のときに有効です。

ストップ

[ストップ]スイッチ

このスイッチは常に機能します。

データの受信と印刷を停止し、ディセレクト状態にする。

鳴動中のアラームブザーを止める。

印刷中にこのスイッチを押すと、印刷中の用紙を排出した後、一時的に印刷を停止します。受信済みのデータは、プリンター内に残ったままになります。
印刷を再開するときは、[印刷可]スイッチを押します。

[メニュー]スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

メニューモードに入る。
このスイッチを押すと、メニューモードに入ります。

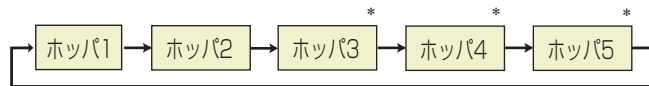
[ホッパ]スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

給紙先を切り替える。

トレーから用紙を給紙する状態でこのスイッチを押すと、ホッパーから用紙を給紙する状態に切り替わります。

給紙先を選択する(ホッパーを使用しているとき)。

ホッパー給紙を選択中にこのスイッチを押すたびに給紙するホッパーを次のように切り替えます。(選択されたホッパーがディスプレイに表示されます。)

* 大容量ホッパー装着時のみ表示されます。

チェック

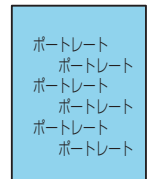
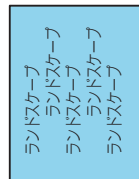
- トレーから用紙を給紙する状態でホッパー給紙に切り替えると、メニューモードのホッパー初期設定で指定されているホッパーが選択されます。
- 選択したホッパーがメニューモードで「合紙」に設定されていた場合、そのホッパーは表示されません。通常印刷ではそのホッパーは使用できませんので、選択するホッパーが「合紙」に設定されているかどうか注意してください。

印刷方向

[印刷方向]スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

印刷方向をポートレートまたはランドスケープに選択する。

このスイッチを押すごとに、ポートレートとランドスケープを交互に切り替えます。

用紙の置き方に関係なく、縦長にした内容を印刷するときはポートレートを、横長にした内容を印刷するときはランドスケープを指定します。選択されている印刷方向は、ディスプレイに表示されています。

縮小/拡大

[縮小/拡大]スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。また、選択されている用紙サイズがA3、A4、B4、B5のときに機能します。

チェック

- アプリケーションによっては縮小・拡大が正しく印刷されないものがあります。
- 印刷データの前に用紙サイズの指定コマンド(FS f c1c2c3)によってA3、B4、または帳票サイズが指定されており、ホッパーにA4サイズの用紙が入っている場合は自動的に縮小して印刷します。詳しくは別売の「NPDL(Level 2)リファレンスマニュアル」をご覧ください。
- 縮小を行った場合、座標などの数値の丸め誤差により、縮小しない場合と印刷結果が異なる場合があります。

縮小／拡大モードの設定をする。

このスイッチを押すと以下のような縮小／拡大印刷ができます。

- A3サイズに印刷する

A3 → A4→A3 → B4→A3 → A3 → （繰り返し）

- A4サイズに印刷する

A4 → B4→A4 → LP→A4 [*1] → A3→A4 → A4×2 [*2] → B5→A4 → A4 → （繰り返し）

- B4サイズに印刷する

B4 → LP→B4 [*1] → A3→B4 → B5→B4 → A4→B4 → B4 → （繰り返し）

- B5サイズに印刷する

B5 → A4→B5 → B4→B5 → B5×2 [*3] → B5 → （繰り返し）

---

*1　LPは帳票サイズ（136桁×66行）を意味します。

*2　A4×2はA4サイズの2ページ分のデータをA4用紙1枚に印刷します。

*3　B5×2はB5サイズの2ページ分のデータをB5用紙1枚に印刷します。

メニューモード時のスイッチ機能

メニュー終了

[メニュー終了]スイッチ

メニューモードを終了させる。
メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューモードを終了します。

設定変更

[設定変更]スイッチ

設定変更したい項目(レベル3)を選択する。

メニューモード時でメニューツリーのレベル3の項目を選択中にこのスイッチを押すと、任意の項目の設定を変更することができます。
なお、メニューモードのレベルについては、333～342ページの「メニューツリー」を参考にしてください。

>

[>]スイッチ

ディスプレイに表示されている設定項目を選択する([→]スイッチとして機能)。

メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーの次のレベル(レベル2またはレベル3)の項目を選択することができます。

∧

[∧]スイッチ

ディスプレイに表示されている設定項目を選択する([↑]スイッチとして機能)。

メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーの同じレベルの項目を選択することができます。

<

[<]スイッチ

ディスプレイに表示されている設定項目を選択する([←]スイッチとして機能)。

メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーのひとつ前のレベル(レベル1またはレベル2)の項目を選択することができます。

∨

[∨]スイッチ

ディスプレイに表示されている設定項目を選択する([↓]スイッチとして機能)。

メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーの同じレベルの項目を選択することができます。

メニューツリーの詳細については「メニューツリー」(333～342ページ)をご覧ください。

シフト時のスイッチ機能

シフト

[シフト]スイッチ

このスイッチが押されている間、[両面]スイッチおよび[印刷可]スイッチの3つは、それぞれのスイッチの下に表記された機能「排出」、「リセット」が有効となります。

このスイッチを押すと、自動的に印刷可ランプが消灯します。

排出

[排出]スイッチ

このスイッチは印刷可ランプが消灯していて、データランプが点灯している(ディスプレイに“データガノコッテイマス”と表示されている)ときに機能します。アラーム中および用紙がない状態では機能しません。

プリンターに残っている未印刷データをすべて印刷する。

[シフト]スイッチを押した状態でこのスイッチを押すとプリンターに残っているデータをすべて印刷出力します。ただし、インターフェース設定がECPモードでディセレクト中に受信したデータは排出されません。

> ✔チェック
>
> プリンター内にデータを残したまま次の印刷を行うと、プリンターは残っているデータと次の印刷データを重ねて印刷する場合があります。

リセット

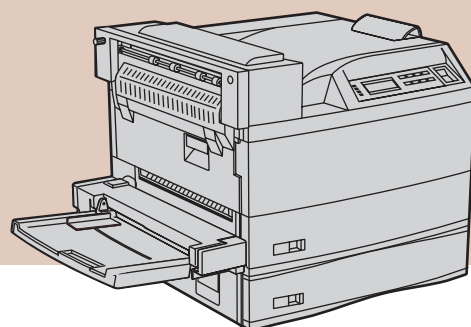
[リセット]スイッチ

このスイッチは印刷可ランプが消灯しているときに機能します。アラーム(保守員コール以外)中も機能します。

プリンターを初期状態にする。

[シフト]スイッチを押した状態でこのスイッチを2回続けて押すと、ディスプレイに“リセットジッコウ”と表示され、未印刷データは消失し、プリンターは初期状態(電源スイッチON直後の状態)になります。リセット後、ブザーが2回鳴ります。

> ✔チェック
>
> リセットすると、スイッチを使って変更したプリンターの設定も、初期状態(電源ON直後の状態)に戻ります。ただし、メニュースイッチを使って変更したメニューモードの内容はリセットされません。詳細は「NPDLの初期状態」(456ページ)をご覧ください。

7章
メニューモード

メニューモードでは、プリンターの操作パネル上のスイッチを使ってプリンターのさまざまな設定を変更することができます。

メニューモードで変更した設定内容は電源をOFFにしても変わりません。

操作パネルでの設定方法

メニューモードの設定変更のしかた

❶ **[印刷可]スイッチを押して、ディセレクト状態にする。**

印刷可ランプが消灯します。

印刷可

❷ **データランプが点灯していないことを確認する。**

点灯している場合は[シフト]スイッチを押しながら[排出]スイッチを押して、プリンター内部に残っている印刷データを印刷してください。

❸ **[メニュー]スイッチを押す。**

プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに"テストメニュー　　→"と表示します。

テストメニュー　　→

❹ **メニューモードの設定を変更する。**

メニューモードの内容は330ページの「メニューモード設定項目一覧」および333ページの「メニューツリー」を参照してください。
メニューモード中は次の5個のスイッチで項目の選択、設定の変更を行います。

[<]、[V]、[>]、[Λ]スイッチ：
このスイッチを押すとその方向へ進むことを示しています。

[設定変更]スイッチ：
押すたびにレベル3をひとつずつ表示し、その内容が自動的に選択されます。

❺ **[メニュー終了]スイッチを押して、メニューモードを終了する。**

プリンターはセレクト状態になり、印刷可ランプが点灯し、ディスプレイは通常の表示に戻ります。

ホッパ1　A4ヨコ　ポート
フツウシ　　　NPDL

メモリースイッチの設定変更のしかた

ここでは、ブザー機能の有効/無効のメモリースイッチの設定変更を例にして説明します。対象となるメモリースイッチは「3-8」です。

❶ **プリンターの電源をONにする。**

❷ **[印刷可]スイッチを押して、ディセレクト状態にする。**

印刷可ランプが消灯します。

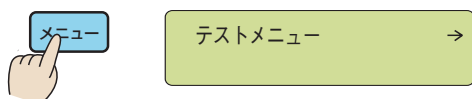
印刷可

❸ **データランプが点灯していないことを確認する。**

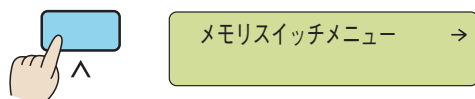
点灯している場合は[シフト]スイッチを押しながら[排出]スイッチを押して、プリンター内部に残っている印刷データを印刷してください。

❹ **[メニュー]スイッチを押す。**

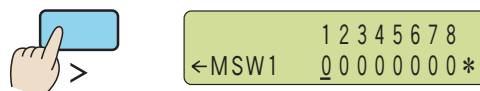
プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに“テストメニュー　　→”と表示します。

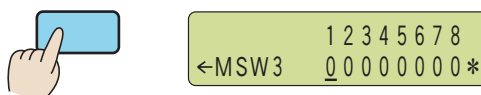
```
テストメニュー          →
```

❺ **[∧]スイッチを1回押す。**

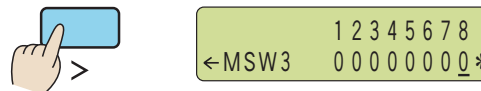
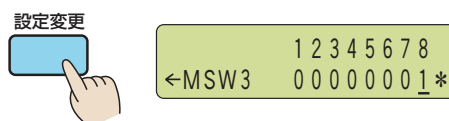
ディスプレイに“メモリスイッチメニュー　　→”と表示します。

```
メモリスイッチメニュー    →
```

❻ **[>]スイッチを1回押す。**

MSW1が表示されます。

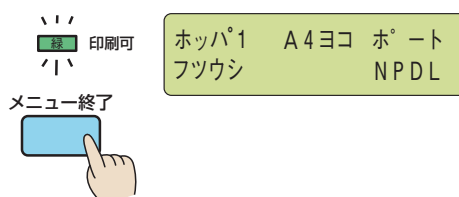
```
        12345678
←MSW1   00000000*
```

❼ **[∧]スイッチ、または[∨]スイッチを押して、MSW3を表示させる。**

```
        12345678
←MSW3   00000000*
```

❽ **[>]スイッチを7回押して、カーソルをMSW3-8に移動する。**

```
        12345678
←MSW3   00000000*
```

❾ **[設定変更]スイッチを1回押して、MSW3-8を“1”に変更する。**

```
        12345678
←MSW3   00000001*
```

❿ **[メニュー終了]スイッチを押して、メニューモードを終了する。**

プリンターはセレクト状態になり、印刷可ランプが点灯し、ディスプレイは通常の表示に戻ります。

```
ホッパ゜1   A4ヨコ  ホ゜ート
フツウシ           NPDL
```

メニューモード設定項目一覧

メニューモードで設定できる項目の一覧とそれらの簡単な説明を以下に示します。これらの設定の一部はメモリースイッチからも設定できます。各設定方法で設定できる項目の一覧も以下に示します。

メニューモード設定項目一覧

○：有効　　×：無効

設定項目		説　明	メモリースイッチ(MSW)	ESC/Pエミュレーション
テスト印刷メニュー	ステータス印刷	ステータス印刷を行います。ステータス印刷では、オプションの接続やメモリースイッチの状態など、プリンターの状態が印刷されます。	×	○
	連続印刷	連続印刷を行います。	×	○
	16進ダンプ印刷	16進ダンプ印刷を行います。	×	○
	LANステータス印刷	［インタフェース2］に実装のLANボードのコンフィグレーションページ（LANステータス）を印刷します。	×	○
	通信ログ印刷	［インタフェース2］に実装のLANボードの通信ログを印刷します。	×	○
印刷設定メニュー	コピー枚数設定	コピー枚数は“01”から“99”まで設定できます。	×	○
	トナー節約機能	トナー節約機能を使用するかどうかを選択します。	×	○
用紙メニュー	ホッパ初期設定	電源投入時およびリセット時のホッパー、トレー設定を選択します。	×	○
	用紙種別	使用する用紙の種別を選択します。	×	○
	合紙モード設定	合紙（色紙など）給紙するホッパー/トレーを設定します。*1	×	×*4
	リレー給紙設定	リレー給紙機能を使用するかどうかを選択します。*2	×	○
	グループ設定	グループホッパー機能を使用するかどうかを選択します。	×	×*4
	ホッパ1 定形外*3	ホッパ1に取り付けられている定形外用紙カセットの定形外用紙のサイズを設定します。	×	×*4
	ホッパ2 定形外*3	ホッパ2に取り付けられている定形外用紙カセットの定形外用紙のサイズを設定します。	×	×*4
	ホッパ3 定形外*3	ホッパ3に取り付けられている定形外用紙カセットの定形外用紙のサイズを設定します。	×	×*4

*1　合紙モードに設定されたホッパー/トレーからは通常では使用できません。ホッパースイッチから選択もできません。合紙モードを設定する場合は、通常使用するホッパーと違うホッパーを選択してください。また、トレーを合紙に設定する場合は、合紙設定を行う前に用紙サイズをトレースイッチで選択しておいてください。
*2　リレー給紙は、リレー前のホッパー（トレー）とリレーに使用するホッパー（トレー）を共にONに設定してください。
*3　定形外用紙カセット（オプション）装着時。
*4　メニューモードでの設定は可能ですが、ESC/Pエミュレーションの印刷ではこの機能を使用することはできません。

メニューモード設定項目一覧（続き）

○：有効　　×：無効

設定項目		説　明	メモリースイッチ（MSW）	ESC/Pエミュレーション
印字位置設定メニュー	ホッパ1微調整	ホッパー、トレー、封筒、両面印刷時の表面・裏面の印刷位置を調整します。	×	○
	ホッパ2微調整		×	○
	ホッパ3微調整*1		×	○
	ホッパ4微調整*1		×	○
	ホッパ5微調整*1		×	○
	トレー微調整		×	○
	封筒微調整*2		×	○
	表面微調整*4		×	○
	裏面微調整*4		×	○
オプション設定メニュー	両面印刷設定*4	両面印刷の初期設定、綴じしろ、余白、クリップを設定します。	×	○
	フェースアップトレー	オプションのフェースアップトレーを使用するか、しないかを設定します。	×	○
	排出先設定	排出先を設定します。	×	○
運用メニュー	節電機能	節電機能を使用するかしないかを設定します。	○	○
	節電時間設定*3	節電するまでの時間を設定します。	×	○
	自動排出*5	自動排出の有効／無効、および設定時間を選択します。	×	○
	メモリー設定*6	プリンターメモリーの使用方法を選択します。	×	○
フォントメニュー	1バイト系ゼロ*8	1バイト系ゼロの字体を切り替えます。	○	○
	2バイト系ゼロ	2バイト系ゼロの字体を切り替えます。	×	○
	ANK	1バイト系コードのフォントのANK文字を選択します。	×	○
	漢字	標準フォント（2バイト文字）を選択します。	×	○*7
	文字セット	2バイト系文字セットを選択します。	×	1983固定
	国別	各国文字セットを選択します。	○	○

*1　大容量ホッパー（オプション）装着時のメニューです。
*2　封筒フィーダー（オプション）装着時のメニューです。
*3　節電機能有効時のみ表示されます。
*4　両面印刷ユニット（オプション）装着時のメニューです。
*5　コンピューターに負荷がかかっている場合やネットワークのデータ量が多い場合、自動排出までの待ち時間（最大30秒）以上にデータ送信が停止することがあります。この場合、途中で用紙が排出されるため正常な印刷結果が得られませんので、自動排出の設定を無効にする必要があります。
*6　64MB以上のメモリーを増設した時の初期設定は異なります。
*7　「ミンチョウ」「ゴシック」はESC/Pコマンドの「FS k（漢字の書体選択）」によって切り替えることができます。
*8　OCR-Bフォントを使用した場合は、設定に関わらず「0」で印刷されます。

メニューモード設定項目一覧（続き）

○：有効　×：無効

設定項目		説　明	メモリースイッチ(MSW)	ESC/Pエミュレーション
動作メニュー	動作エミュレーション	［インタフェース1］、［インタフェース2］、で個別にプリンターの動作エミュレーションを設定します。	×	○
	動作自動切り替え	エミュレーションの自動切り替えを設定します。	×	○
NPDL設定メニュー	A4ポートレート桁数	用紙がA4サイズ、ポートレート方向で使われるときの一行あたりの文字数を設定します。	○	○
	エミュレーション	ページプリンタモードか201PLエミュレーションモードかを選択します。	○	×
	136桁モード設定	136桁モードの有効・無効を選択します。有効のときは、用紙位置微調整の方向と量を選択します。	○	○*1
I/F設定メニュー	インタフェース1*2	動作双方向の設定（ニブルモード、ECPモード、なし）とオプションLANボード、LANアダプターのIPアドレス、サブネットマスクを設定します。	×	○
	インタフェース2	標準LANボードのIPアドレス、サブネットマスクなどを設定します。	×	○
設定初期化メニュー	メニュー初期化	メニュー項目を初期設定に戻します。	×	○
	LAN初期化	標準LANボードの設定を初期設定に戻します。	×	○
	全初期化	メニュー項目、LAN項目のすべてを初期設定に戻します。	×	○
	呼び出し	設定記憶で記憶されている内容を呼び出します。	×	○
	記憶	メニューモード内の各種機能設定と、［トレー］スイッチで設定した用紙サイズをまとめて記憶します。	×	○
メモリースイッチメニュー	メニューモードの中で比較的変更頻度の低いものがまとめられています。（MSW1～10）		○	357～363ページ参照

*1　ESC/Pエミュレーションでは常に136桁モードになります。
*2　I/F設定を変更した場合は、プリンターの電源を再投入する必要があります。
また、I/F設定メニューの動作双方向が「ECPモード」に設定されていて、オプションのLANボード（型番 PC-PR-L02と型番 PR-WL-11）を装着または、パラレルインターフェースコネクターにLANアダプター（型番 PR-NP-02T2と型番 PR-NP-03TR2）が接続されている場合、IPアドレスとサブネットマスクが有効になります。

メニューツリー

次にメニューモードを図式的に表したメニューツリーを示します。（グレー部分は出荷時の設定値です。）
「注」で示す補足的な説明は342ページにあります。

A
B
C
D
E
ﾎｯﾊﾟ 3 ﾖｳｼｼｭﾍﾞﾂ ← ﾌﾂｳｼ*
ﾎｯﾊﾟ 3 ﾖｳｼｼｭﾍﾞﾂ ← ｱﾂｶﾞﾐ1*
ﾎｯﾊﾟ 3 ﾖｳｼｼｭﾍﾞﾂ ← ｱﾂｶﾞﾐ2*
ﾎｯﾊﾟ 3 ﾖｳｼｼｭﾍﾞﾂ ← ｱﾂｶﾞﾐ3*
ﾎｯﾊﾟ 3 ﾖｳｼｼｭﾍﾞﾂ ← ｱﾂｶﾞﾐ4*
ﾎｯﾊﾟ 3 ﾖｳｼｼｭﾍﾞﾂ ← ｱﾂｶﾞﾐ5*
ﾎｯﾊﾟ 3 ﾖｳｼｼｭﾍﾞﾂ ← ｱﾂｶﾞﾐ6*
ﾎｯﾊﾟ 3 ﾖｳｼｼｭﾍﾞﾂ ← ｱﾅｱｷｼ*
ﾎｯﾊﾟ 3 ﾖｳｼｼｭﾍﾞﾂ ← ﾗﾍﾞﾙｼ*
ﾎｯﾊﾟ 3 ﾖｳｼｼｭﾍﾞﾂ ← OHP*
ﾎｯﾊﾟ 4 ﾖｳｼｼｭﾍﾞﾂ ← ﾌﾂｳｼ*
ﾎｯﾊﾟ 4 ﾖｳｼｼｭﾍﾞﾂ ← ｱﾂｶﾞﾐ1*
ﾎｯﾊﾟ 4 ﾖｳｼｼｭﾍﾞﾂ ← ｱﾂｶﾞﾐ2*
ﾎｯﾊﾟ 4 ﾖｳｼｼｭﾍﾞﾂ ← ｱﾂｶﾞﾐ3*
ﾎｯﾊﾟ 4 ﾖｳｼｼｭﾍﾞﾂ ← ｱﾂｶﾞﾐ4*
ﾎｯﾊﾟ 4 ﾖｳｼｼｭﾍﾞﾂ ← ｱﾂｶﾞﾐ5*
ﾎｯﾊﾟ 4 ﾖｳｼｼｭﾍﾞﾂ ← ｱﾂｶﾞﾐ6*
ﾎｯﾊﾟ 4 ﾖｳｼｼｭﾍﾞﾂ ← ｱﾅｱｷｼ*
ﾎｯﾊﾟ 4 ﾖｳｼｼｭﾍﾞﾂ ← ﾗﾍﾞﾙｼ*
ﾎｯﾊﾟ 5 ﾖｳｼｼｭﾍﾞﾂ ← ﾌﾂｳｼ*
ﾎｯﾊﾟ 5 ﾖｳｼｼｭﾍﾞﾂ ← ｱﾂｶﾞﾐ1*
ﾎｯﾊﾟ 5 ﾖｳｼｼｭﾍﾞﾂ ← ｱﾅｱｷｼ*
注1
ﾄﾚｰ ﾖｳｼｼｭﾍﾞﾂ ← ﾌﾂｳｼ*
ﾄﾚｰ ﾖｳｼｼｭﾍﾞﾂ ← ｱﾂｶﾞﾐ1*
ﾄﾚｰ ﾖｳｼｼｭﾍﾞﾂ ← ｱﾂｶﾞﾐ2*
ﾄﾚｰ ﾖｳｼｼｭﾍﾞﾂ ← ｱﾂｶﾞﾐ3*
ﾄﾚｰ ﾖｳｼｼｭﾍﾞﾂ ← ｱﾂｶﾞﾐ4*
ﾄﾚｰ ﾖｳｼｼｭﾍﾞﾂ ← ｱﾂｶﾞﾐ5*
ﾄﾚｰ ﾖｳｼｼｭﾍﾞﾂ ← ｱﾂｶﾞﾐ6*
ﾄﾄﾚｰ ﾖｳｼｼｭﾍﾞﾂ ← ｱﾅｱｷｼ*
ﾄﾚｰ ﾖｳｼｼｭﾍﾞﾂ ← ﾗﾍﾞﾙｼ*
ﾄﾚｰ ﾖｳｼｼｭﾍﾞﾂ ← OHP*
注2
F
G
H
I
J

F
G
H
I
J
フウトウ　ヨウシュベツ
←　アツガミ1*
フウトウ　ヨウシュベツ
←　アツガミ2*
フウトウ　ヨウシュベツ
←　アツガミ3*
フウトウ　ヨウシュベツ
←　アツガミ4*
フウトウ　ヨウシュベツ
←　アツガミ5*
フウトウ　ヨウシュベツ
←　アツガミ6*
注2
ヨウシメニュー
←アイシモード　セツテイ　→
アイシモード　セツテイ
←　OFF*
アイシモード　セツテイ
←　ホッパ 1*
アイシモード　セツテイ
←　ホッパ 2*
アイシモード　セツテイ
←　ホッパ 3*
アイシモード　セツテイ
←　ホッパ 4*
アイシモード　セツテイ
←　ホッパ 5*
注1
アイシモード　セツテイ
←　トレー*
注2
ヨウシメニュー
←リレーキュウシ　セツテイ　→
リレーキュウシ　セツテイ
←ホッパ 1 リレー　OFF*
リレーキュウシ　セツテイ
←ホッパ 1 リレー　ON *
リレーキュウシ　セツテイ
←ホッパ 2 リレー　OFF*
リレーキュウシ　セツテイ
←ホッパ 2 リレー　ON *
リレーキュウシ　セツテイ
←ホッパ 3 リレー　OFF*
リレーキュウシ　セツテイ
←ホッパ 3 リレー　ON *
リレーキュウシ　セツテイ
←ホッパ 4 リレー　OFF*
リレーキュウシ　セツテイ
←ホッパ 4 リレー　ON *
リレーキュウシ　セツテイ
←ホッパ 5 リレー　OFF*
リレーキュウシ　セツテイ
←ホッパ 5 リレー　ON *
注1
リレーキュウシ　セツテイ
←トレー　リレー　OFF*
リレーキュウシ　セツテイ
←トレー　リレー　ON *
注2
ヨウシメニュー
←グループ　セツテイ　→
グループ　セツテイ
←ホッパ 1　OFF*
グループ　セツテイ
←ホッパ 1　グループA*
グループ　セツテイ
←ホッパ 1　グループB*
グループ　セツテイ
←ホッパ 2　OFF*
グループ　セツテイ
←ホッパ 2　グループA*
グループ　セツテイ
←ホッパ 2　グループB*
J
K
L
M
N

J
K
L
M
N
グ゛ループ゜ セッテイ ←ホッパ゜3 OFF＊
グ゛ループ゜ セッテイ ←ホッパ゜3 グ゛ループ゜A＊
グ゛ループ゜ セッテイ ←ホッパ゜3 グ゛ループ゜B＊
グ゛ループ゜ セッテイ ←ホッパ゜4 OFF＊
グ゛ループ゜ セッテイ ←ホッパ゜4 グ゛ループ゜A＊
グ゛ループ゜ セッテイ ←ホッパ゜4 グ゛ループ゜B＊
注1
グ゛ループ゜ セッテイ ←ホッパ゜5 OFF＊
グ゛ループ゜ セッテイ ←ホッパ゜5 グ゛ループ゜A＊
グ゛ループ゜ セッテイ ←ホッパ゜5 グ゛ループ゜B＊
グ゛ループ゜ セッテイ ←トレー OFF＊
グ゛ループ゜ セッテイ ←トレー グ゛ループ゜A＊
注2
グ゛ループ゜ セッテイ ←トレー グ゛ループ゜B＊
注21
ヨウシメニュー ←ホッパ゜1 テイケイガ゛イ →
ホッパ゜1 テイケイガ゛イ ←ハバ゛ 210.0ミリ＊
ホッパ゜1 テイケイガ゛イ ←ナガ゛サ 297.0ミリ＊
注21
ヨウシメニュー ←ホッパ゜2 テイケイガ゛イ →
ホッパ゜2 テイケイガ゛イ ←ハバ゛ 210.0ミリ＊
ホッパ゜2 テイケイガ゛イ ←ナガ゛サ 297.0ミリ＊
注21
ヨウシメニュー ←ホッパ゜3 テイケイガ゛イ →
ホッパ゜3 テイケイガ゛イ ←ハバ゛ 210.0ミリ＊
ホッパ゜3 テイケイガ゛イ ←ナガ゛サ 297.0ミリ＊
インジ゛イチセッテイメニュー→
インジ゛イチセッテイメニュー ←ホッパ゜1 ビ゛チョウセイ→
ホッパ゜1 ビ゛チョウセイ ←TM ＋3.9ミリ＊
ホッパ゜1 ビ゛チョウセイ ←TM 0ミリ＊
ホッパ゜1 ビ゛チョウセイ ←TM −3.9ミリ＊
ホッパ゜1 ビ゛チョウセイ ←LM ＋3.9ミリ＊
ホッパ゜1 ビ゛チョウセイ ←LM 0ミリ＊
ホッパ゜1 ビ゛チョウセイ ←LM −3.9ミリ＊
インジ゛イチセッテイメニュー ←ホッパ゜2 ビ゛チョウセイ→
ホッパ゜2 ビ゛チョウセイ ←TM ＋3.9ミリ＊
ホッパ゜2 ビ゛チョウセイ ←TM 0ミリ＊
ホッパ゜2 ビ゛チョウセイ ←TM −3.9ミリ＊
ホッパ゜2 ビ゛チョウセイ ←LM ＋3.9ミリ＊
ホッパ゜2 ビ゛チョウセイ ←LM 0ミリ＊
ホッパ゜2 ビ゛チョウセイ ←LM −3.9ミリ＊
O
P
Q
R

O
P
Q
R
注1
インジ゛イチセッテイメニュー
←ホッパ゜3　ヒ゛チョウセイ→
ホッパ゜3　ヒ゛チョウセイ
←TM　+3．9ミリ*
ホッパ゜3　ヒ゛チョウセイ
←TM　0ミリ*
ホッパ゜3　ヒ゛チョウセイ
←TM　−3．9ミリ*
ホッパ゜3　ヒ゛チョウセイ
←LM　+3．9ミリ*
ホッパ゜3　ヒ゛チョウセイ
←LM　0ミリ*
ホッパ゜3　ヒ゛チョウセイ
←LM　−3．9ミリ*
注1
インジ゛イチセッテイメニュー
←ホッパ゜4　ヒ゛チョウセイ→
ホッパ゜4　ヒ゛チョウセイ
←TM　+3．9ミリ*
ホッパ゜4　ヒ゛チョウセイ
←TM　0ミリ*
ホッパ゜4　ヒ゛チョウセイ
←TM　−3．9ミリ*
ホッパ゜4　ヒ゛チョウセイ
←LM　+3．9ミリ*
ホッパ゜4　ヒ゛チョウセイ
←LM　0ミリ*
ホッパ゜4　ヒ゛チョウセイ
←LM　−3．9ミリ*
注1
インジ゛イチセッテイメニュー
←ホッパ゜5　ヒ゛チョウセイ→
ホッパ゜5　ヒ゛チョウセイ
←TM　+3．9ミリ*
ホッパ゜5　ヒ゛チョウセイ
←TM　0ミリ*
ホッパ゜5　ヒ゛チョウセイ
←TM　−3．9ミリ*
ホッパ゜5　ヒ゛チョウセイ
←LM　+3．9ミリ*
ホッパ゜5　ヒ゛チョウセイ
←LM　0ミリ*
ホッパ゜5　ヒ゛チョウセイ
←LM　−3．9ミリ*
注2
インジ゛イチセッテイメニュー
←トレー　ヒ゛チョウセイ→
トレー　ヒ゛チョウセイ
←TM　+3．9ミリ*
トレー　ヒ゛チョウセイ
←TM　0ミリ*
トレー　ヒ゛チョウセイ
←TM　−3．9ミリ*
トレー　ヒ゛チョウセイ
←LM　+3．9ミリ*
トレー　ヒ゛チョウセイ
←LM　0ミリ*
トレー　ヒ゛チョウセイ
←LM　−3．9ミリ*
S
T
U
V

S
T
U
V
W
X
Y
Z
注3
注4
注4
注4
インジ゛イチセッテイメニュー
←フウトウ　ビ゛チョウセイ→
インジ゛イチセッテイメニュー
←オモテメン　ビ゛チョウセイ→
インジ゛イチセッテイメニュー
←ウラメン　ビ゛チョウセイ→
オプ゛ションセッテイメニュー→
オプ゛ションセッテイメニュー
←リョウメンインサツ　セッテイ→
フウトウ　ビ゛チョウセイ
←TM　＋3．9ミリ＊
フウトウ　ビ゛チョウセイ
←TM　0ミリ＊
フウトウ　ビ゛チョウセイ
←TM　－3．9ミリ＊
フウトウ　ビ゛チョウセイ
←LM　＋3．9ミリ＊
フウトウ　ビ゛チョウセイ
←LM　0ミリ＊
フウトウ　ビ゛チョウセイ
←LM　－3．9ミリ＊
オモテメン　ビ゛チョウセイ
←TM　＋3．9ミリ＊
オモテメン　ビ゛チョウセイ
←TM　0ミリ＊
オモテメン　ビ゛チョウセイ
←TM　－3．9ミリ＊
オモテメン　ビ゛チョウセイ
←LM　＋3．9ミリ＊
オモテメン　ビ゛チョウセイ
←LM　0ミリ＊
オモテメン　ビ゛チョウセイ
←LM　－3．9ミリ＊
ウラメン　ビ゛チョウセイ
←TM　＋3．9ミリ＊
ウラメン　ビ゛チョウセイ
←TM　0ミリ＊
ウラメン　ビ゛チョウセイ
←TM　－3．9ミリ＊
ウラメン　ビ゛チョウセイ
←LM　＋3．9ミリ＊
ウラメン　ビ゛チョウセイ
←LM　0ミリ＊
ウラメン　ビ゛チョウセイ
←LM　－3．9ミリ＊
リョウメンインサツ　セッテイ
←ショキセッテイ　OFF＊
リョウメンインサツ　セッテイ
←ショキセッテイ　ON　＊
リョウメンインサツ　セッテイ
←トジ゛シロ　ロング゛1＊
リョウメンインサツ　セッテイ
←トジ゛シロ　ショート1＊
リョウメンインサツ　セッテイ
←トジ゛シロ　ロング゛2＊
リョウメンインサツ　セッテイ
←トジ゛シロ　ショート2＊
リョウメンインサツ　セッテイ
←ヨハク　0ミリ＊
リョウメンインサツ　セッテイ
←ヨハク　20ミリ＊
リョウメンインサツ　セッテイ
←クリップ゜　OFF＊
リョウメンインサツ　セッテイ
←クリップ゜　ON　＊

W
X
Y
Z
オプ゛ションセッテイメニュー
←フェースアップ゛トレー →
フェースアップ゛トレー
← ミシヨウ*
フェースアップ゛トレー
← シヨウ*
注5
オプ゛ションセッテイメニュー
←ハイシュツサキ セッテイ→
ハイシュツサキ セッテイ
←フェースダ゛ウン *
ハイシュツサキ セッテイ
←フェースアップ゛ *
ハイシュツサキ セッテイ
←フィニッシャ *
ウンヨウメニュー →
ウンヨウメニュー
←セツデ゛ンキノウ →
セツデ゛ンキノウ
← ムコウ*
セツデ゛ンキノウ
← ユウコウ*
注6
注7
ウンヨウメニュー
←セツデ゛ンジ゛カン セッテイ→
セツデ゛ンジ゛カン セッテイ
← 5フン*
セツデ゛ンジ゛カン セッテイ
← 10フン*
セツデ゛ンジ゛カン セッテイ
← 30フン*
セツデ゛ンジ゛カン セッテイ
← 60フン*
セツデ゛ンジ゛カン セッテイ
← 90フン*
ウンヨウメニュー
←ジ゛ド゛ウ ハイシュツ →
ジ゛ド゛ウ ハイシュツ
← ムコウ*
ジ゛ド゛ウ ハイシュツ
← 5ビ゛ョウ*
ジ゛ド゛ウ ハイシュツ
← 15ビ゛ョウ*
ジ゛ド゛ウ ハイシュツ
← 30ビ゛ョウ*
ウンヨウメニュー
←メモリセッテイ →
メモリワリアテ
← ヒョウジ゛ュン*
メモリワリアテ
← デ゛ンシソートユウセン*
注8
フォントメニュー →
フォントメニュー
←1バ゛イトケイ ゼ゛ロ 0*
フォントメニュー
←1バ゛イトケイ ゼ゛ロ Ø*
注9
フォントメニュー
←2バ゛イトケイ ゼ゛ロ 0*
フォントメニュー
←2バ゛イトケイ ゼ゛ロ Ø*
フォントメニュー
←ANK ヒョウジ゛ュン*
フォントメニュー
←ANK イタリック*
フォントメニュー
←ANK クーリエ*
フォントメニュー
←ANK ゴ゛シック*
フォントメニュー
←カンジ゛ ミンチョウ*
フォントメニュー
←カンジ゛ ゴ゛シック*
フォントメニュー
←モジ゛セット JIS1978*
フォントメニュー
←モジ゛セット JIS1983*
フォントメニュー
←モジ゛セット JIS1990*
Y
Z
a

Y
Z
a
フォントメニュー
←クニベ゛ツ　ニッポ゜ン*
フォントメニュー
←クニベ゛ツ　アメリカ*
フォントメニュー
←クニベ゛ツ　イギ゛リス*
フォントメニュー
←クニベ゛ツ　ド゛イツ*
フォントメニュー
←クニベ゛ツ　スウェーデ゛ン*
注10
ド゛ウサメニュー →
ド゛ウサメニュー
←ド゛ウサ エミュレーション →
ド゛ウサ エミュレーション
←インタフェース1 NPDL*
ド゛ウサ エミュレーション
←インタフェース1 ESC/P*
ド゛ウサ エミュレーション
←インタフェース2 NPDL*
ド゛ウサ エミュレーション
←インタフェース2 ESC/P*
ド゛ウサメニュー
←ド゛ウサジ゛ド゛ウ キリカエ→
ド゛ウサジ゛ド゛ウ キリカエ
←インタフェース1 OFF*
ド゛ウサジ゛ド゛ウ キリカエ
←インタフェース1 ON *
ド゛ウサジ゛ド゛ウ キリカエ
←インタフェース2 OFF*
ド゛ウサジ゛ド゛ウ キリカエ
←インタフェース2 ON *
ド゛ウサジ゛ド゛ウ キリカエ
←タイムアウト 5ビ゛ョウ*
ド゛ウサジ゛ド゛ウ キリカエ
←タイムアウト 15ビ゛ョウ*
ド゛ウサジ゛ド゛ウ キリカエ
←タイムアウト 30ビ゛ョウ*
注11
NPDLセッテイメニュー →
NPDLセッテイメニュー
←A4ポ゜ートレート ケタスウ→
A4ポ゜ートレート ケタスウ
← 78ケタ*
A4ポ゜ートレート ケタスウ
← 80ケタ*
注12
NPDLセッテイメニュー
←エミュレーション →
エミュレーション
← 201 エミュレーション*
エミュレーション
←ペ゛ージ゛プ゛リンタモード゛*
注13
注14
NPDLセッテイメニュー
←136ケタモード゛ セッテイ→
136ケタモード゛ セッテイ
← ムコウ*
136ケタモード゛ セッテイ
← ユウコウ*
注15
136ケタモード゛ セッテイ
←ヨウシイチ ヒダ゛リ*
136ケタモード゛ セッテイ
←ヨウシイチ チュウオウ*
注16
136ケタモード゛ セッテイ
←ビ゛チョウセイ 0*
136ケタモード゛ セッテイ
←ビ゛チョウセイ ヒダ゛リ 1*
136ケタモード゛ セッテイ
←ビ゛チョウセイ ヒダ゛リ15*
136ケタモード゛ セッテイ
←ビ゛チョウセイ 0*
136ケタモード゛ セッテイ
←ビ゛チョウセイ ミギ゛ 1*
136ケタモード゛ セッテイ
←ビ゛チョウセイ ミギ゛ 15*
注17
b
c

b
c
I/Fセッテイメニュー →
I/Fセッテイメニュー
←インタフェース1 セッテイ →
ソウホウコウ セッテイ
← ニブ゛ル*
ソウホウコウ セッテイ
← ECP*
ソウホウコウ セッテイ
← ナシ*
注18
IPアト゛レス
000.000.000.000*
サブ゛ネットマスク
000.000.000.000*
注19
注1
I/Fセッテイメニュー
←インタフェース2 セッテイ →
IPアト゛レス
000.000.000.000*
サブ゛ネットマスク
000.000.000.000*
ケ゛ートウェイアト゛レス
000.000.000.000*
注20
DHCP
← OFF*
DHCP
← ON *
アクセスセイケ゛ン
← OFF*
アクセスセイケ゛ン
← ON *
セッテイショキカメニュー →
セッテイショキカメニュー
←メニューショキカ ジ゛ッコウ→
メニュー初期化実行
セッテイショキカメニュー
←LANショキカ ジ゛ッコウ→
LAN初期化実行
セッテイショキカメニュー
←ゼ゛ンショキカ ジ゛ッコウ→
全初期化実行
セッテイショキカメニュー
←ヨビ゛ダ゛シ ジ゛ッコウ→
呼び出し実行
セッテイショキカメニュー
←キオク ジ゛ッコウ→
記憶実行
メモリスイッチメニュー →
12345678
←MSW1 00000000*
12345678
←MSW2 00000000*
12345678
←MSW3 00000000*
12345678
←MSW4 00000000*
12345678
←MSW5 00000000*
12345678
←MSW6 00000000*
12345678
←MSW7 00000000*
12345678
←MSW8 00000000*
12345678
←MSW9 00000000*
12345678
←MSW10 00000000*

注1 装着されているホッパーのみ表示されます。

注2 トレー装着時にはトレー項目を、封筒フィーダー装着時にはフウトウ項目を表示します。

注3 オプションの封筒フィーダーを装着しているときのみ表示されます。

注4 オプションの両面印刷ユニットを装着しているときのみ表示されます。

注5 「フェースアップトレーを使用する」に設定されている場合に表示されます。また、装着されているオプションが表示されます。

注6 MSW6-7と同期します。

注7 「運用メニュー」の「節電機能」が有効のときのみ表示されます。

注8 メモリーを増設している場合、初期設定値が「電子ソート優先」に変わります。

注9 MSW2-1と同期します。

注10 MSW1-1〜MSW1-3と同期します。

注11 動作自動切り替えで、いずれかのインターフェースの設定がONのときのみ表示されます。

注12 MSW2-7と同期します。

注13 MSW2-2と同期します。

注14 201エミュレーションモード時のみ表示されます。

注15 MSW3-7と同期します。

注16 136ケタモードが有効のときのみ表示されます。MSW3-6と同期します。

注17 136ケタモードが有効のときのみ表示されます。MSW3-1〜MSW3-5と同期します。

注18 「双方向設定」の変更を有効にするためには、プリンターの電源を再投入する必要があります。

注19 オプションのLANアダプターが装着されていて、「インターフェース設定メニュー」の「双方向設定」が「ECP」に設定されているときのみ表示されます。オプションのLANボード(型番 PC-PR-L02)が取り付けられているときは表示されません。

注20 DHCPがONの時は、DHCPサーバーから取得したIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスが表示されます。この値は、参照のみであり、設定の変更はできません。DHCPサーバーから値が取得できない場合は、工場設定値が表示されます。(DHCP=OFFの設定値はクリアされます。)

注21 オプションの定形外用紙カセットを装着しているときのみ表示されます。

メニューの詳細

テストメニュー

次のテスト印刷を実行します。

- ステータス印刷
- 連続印刷
- 16進ダンプ印刷
- LANステータス印刷
- 通信ログ印刷

連続印刷(テスト印刷)は自動的に印刷を終了しません。[ストップ]スイッチを押した後、[シフト]スイッチを押しながら[リセット]スイッチを2回押してください。
プリント結果については付録の「テスト印刷のプリント結果」(506ページ)をご覧ください。

印刷設定メニュー

1. コピー枚数

コピー枚数は“01”から“99”まで設定できます。
プリンターをリセットしたり、電源スイッチをOFFにしたりすると、設定はクリアされ“01”になります。アプリケーションによっては、ソフトウエアからコピー枚数を設定するものがあります。この場合、ソフトウエアで設定したコピー枚数が優先します。

2. トナー節約

トナー節約機能を使用するかどうかを選択します。
トナー節約機能はプリンタードライバーから設定することもできます。Windowsからプリンタードライバーを使用して印刷する場合には、ドライバー上での設定が優先されます。

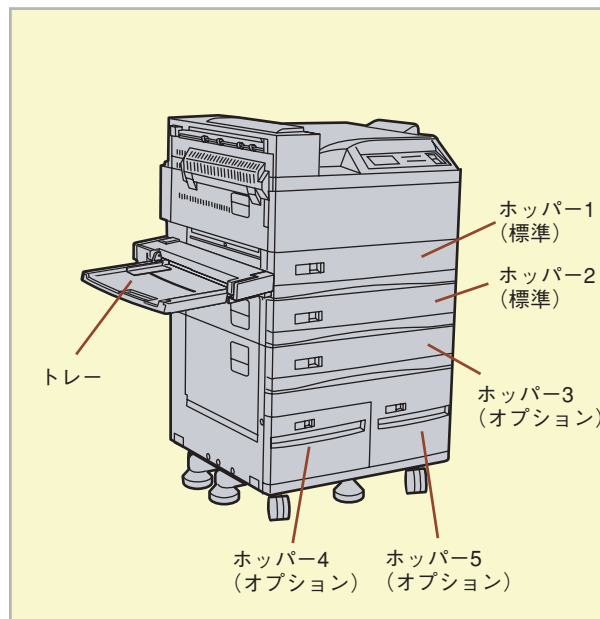
チェック

トナー節約機能を使用するため、「トナーセツヤク　ON」に設定すると、トナーの使用を節約することができますが、細い線、濃度の薄い印刷、網かけ、グラデーションが不鮮明になることがあります。また、OCRフォントやバーコード印刷を行った場合には正常に読み取れない場合があります。本機能は試し印刷する場合などにご使用ください。

用紙メニュー

1. ホッパー初期設定

電源投入時およびリセット時に指定されるホッパーまたはトレーを選択します。
ホッパー3〜5は大容量ホッパー(オプション)が取り付けられている時のみ表示されます。
封筒フィーダー(オプション)が取り付けられている時は、トレーを表示しません。

- ホッパー1
- ホッパー2
- ホッパー3
- ホッパー4
- ホッパー5
- トレー

2. 用紙種別

ホッパー、トレーで使用する用紙の種別を「普通紙」、「厚紙」、「ラベル紙」、「OHP」、「穴あき紙」の5種類から設定します。ホッパーやトレーによって選択できる用紙種別は異なります。各ホッパーやトレーの用紙種別は以下のとおりです。

- ホッパー1：　普通紙、厚紙(1)、OHP、穴あき紙
- ホッパー2：　普通紙、厚紙(1〜6)、ラベル紙、OHP、穴あき紙
- ホッパー3：　普通紙、厚紙(1〜6)、ラベル紙、OHP、穴あき紙
- ホッパー4：　普通紙、厚紙(1〜6)、ラベル紙、穴あき紙
- ホッパー5：　普通紙、厚紙(1)、穴あき紙
- トレー：　普通紙、厚紙(1〜6)、ラベル紙、OHP、穴あき紙
- 封筒フィーダー：　厚紙(1〜6)

ここで指定した用紙の種別はすべての用紙サイズで有効です。

3. 合紙モード

合紙モードで使用するホッパーまたはトレーを選択します。
合紙モードは、ジョブの最初、または最初と最後に合紙(色紙など)を差し込む機能です。
合紙モードを設定すると、リレー給紙機能やグループホッパー機能は使用できません。また、グループホッパー機能を設定している場合は、合紙モードは表示されません。
封筒フィーダーは表示されません。

4. リレー給紙設定

リレー給紙機能を使用するかどうかを選択します。
指定している給紙先に用紙がなくなった場合に、他のホッパーかトレーに同じサイズ、同じ用紙種別で同じセット方向(「A4ヨコ」など)の用紙があれば、自動的に給紙先を切り替えて印刷を行う機能です。
リレー給紙が有効となるのは以下の条件をすべて満たしている場合です。

- 指定しているホッパーやトレーがリレー給紙機能を使用する設定になっている。
- 2つ以上のホッパーやトレーがリレー給紙機能を使用する設定になっている。
- リレー給紙機能を使用するホッパーやトレーの内、2つ以上に同じサイズ、同じ用紙種別で同じセット方向の用紙をセットしている。
- 封筒フィーダーは表示されません。

チェック

Windows環境で印刷する場合は、「リレー給紙の設定」(24ページ)を参照してください。

5. グループ設定

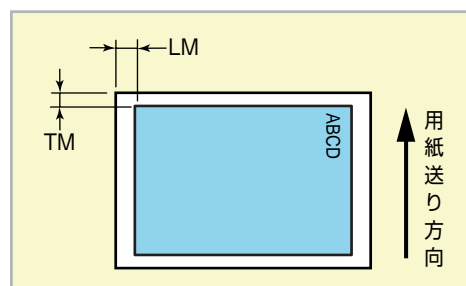
グループホッパー機能を使用するかどうかを選択します。グループホッパー機能の詳細については4章の「大量・連続印刷する」(236ページ)をご覧ください。
封筒フィーダーは表示されません。

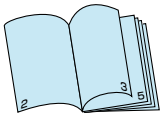
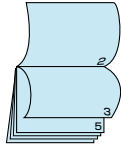
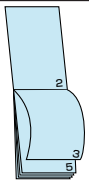
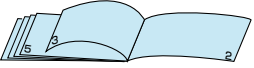
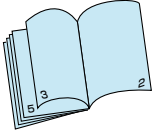
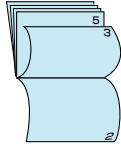
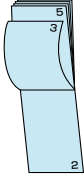
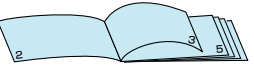
6. ホッパー定形外

定形外用紙カセットにセットされている用紙のサイズを設定します。ホッパー1～3のいずれかに定形外用紙カセットが取り付けられているときに表示されます。

印字位置設定メニュー

ホッパー、トレー、封筒、両面印刷時の表面、裏面の印刷位置を調整します。
メニューモードの「テスト印刷」で出力した「ステータス印刷」の結果を使い、外周の四角い罫線のトップマージン(TM)とレフトマージン(LM)を測定して調整します。
調整できる範囲は、「－3.9ミリ」～「＋3.9ミリ」で、0.3ミリ単位で設定できます。
[設定変更]スイッチを押すと、0.3ミリずつ減り、「－3.9ミリ」を越えると「＋3.9ミリ」になります。

チェック

この設定は、プリンターやオプションの状態、使用する用紙の種類によって発生する印刷位置の誤差を補正するための機能です。この調整が正しく行われないとアプリケーションで余白の値が正確に指定できなくなったり、用紙端に近い部分の印刷が正常に行われなくなったりします。

また、この機能は用紙送り方向に対する位置を調整するもので、用紙の向きや印刷方向を設定するものではありません。

オプション設定メニュー

1. 両面印刷設定

両面印刷に関する設定を行います。
両面印刷ユニット（オプション）が装着されている時のみ表示します。

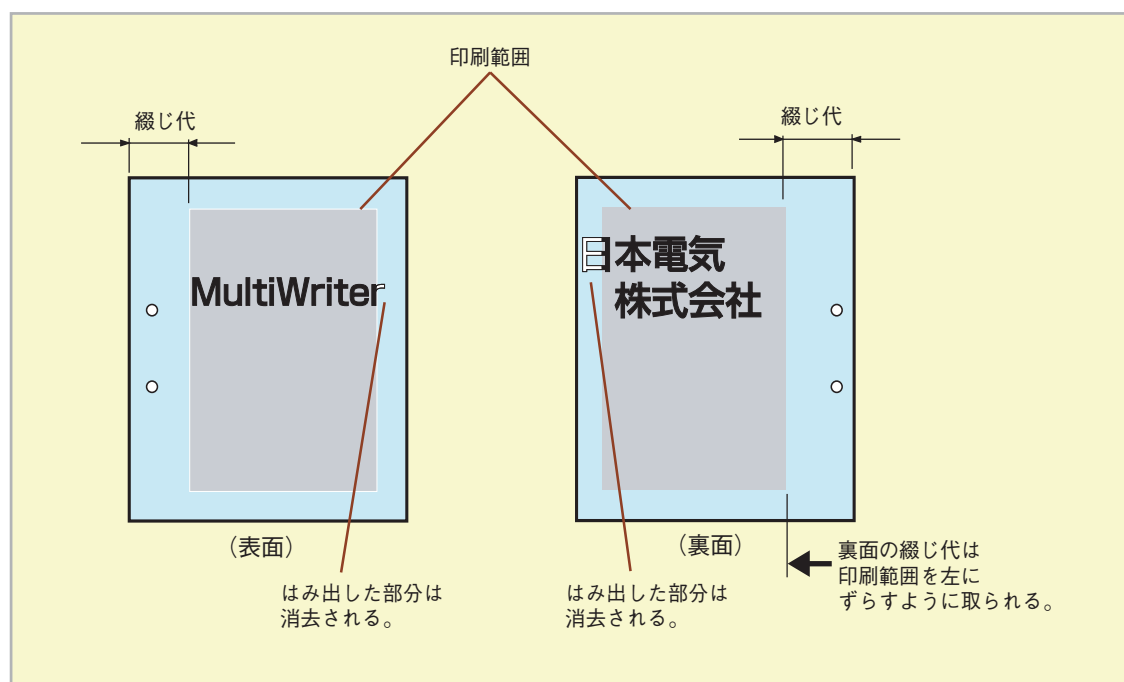
- 初期設定
  電源投入時およびリセット時の印刷モードを両面印刷にするかしないかを選択します。

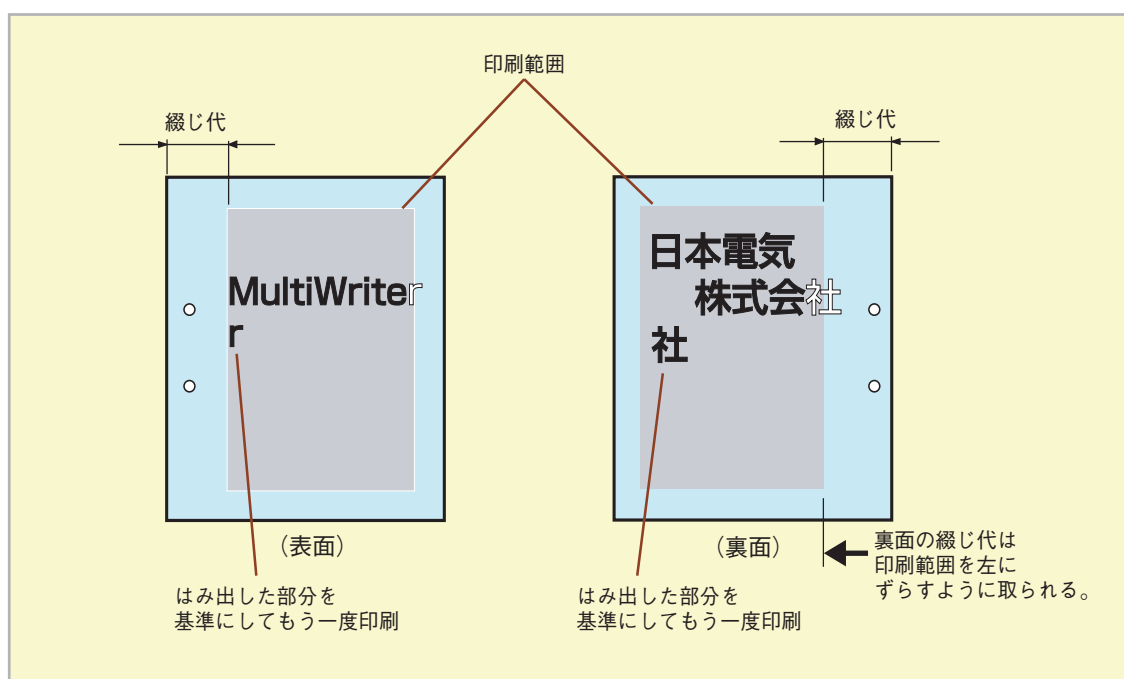
- 綴じ代
  印刷したものを綴じるための余白の位置を設定します。

綴じ代	印刷方向	
	ポートレート	ランドスケープ
ロング1	左綴じ	上綴じ
ショート1	上綴じ	右綴じ
ロング2	右綴じ	下綴じ
ショート2	下綴じ	左綴じ

- 余白
  綴じ代の量を設定します。設定範囲は0～20ミリで、1ミリ単位で設定できます。

- クリップ
  余白(とじしろ)を多く取りすぎると印刷データが用紙の印刷範囲を超えてしまう場合があります。この場合、印刷範囲からはみ出したデータを次の行に印刷するか、はみ出した分を消去してそのまま残りの行を印刷するかを選択します。本機能は両面印刷時のみ有効です。「クリップ」をOFFにすると、はみ出した印刷データを次の行に引き続いて印刷します。それ以降の印刷データは1行ずつずれることになります。(アプリケーションによってははみ出したデータを消去するものもあります)。

  「クリップ」をONにすると、はみ出した印刷データを消去して印刷を続けます。

  － クリップON

  － クリップOFF

2. フェースアップトレー

フェースアップトレーを使用するか、しないかを選択します。ここで「使用」に設定すると、「排出先設定」でフェースアップトレーを選択することができます。

チェック

「使用」に設定した場合は、必ずフェースアップトレーを取り付けてください。

3. 排出先設定

用紙の排出先を設定します。オプションが取り付けられていない、およびフェースアップトレーで「未使用」に設定されている場合は、排出先は「フェースダウン」になります。

運用メニュー

1. 節電機能

節電機能を有効にするか無効にするかを選択します。

2. 節電時間設定

節電機能に入るまでの時間を選択します。

チェック

- プリンターの電源をONにしたまま一定時間、印刷を行わないとき、自動的に75W以下の消費電力にする機能です。
- 節電機能を使用しているときは、プリンターは印刷を開始する前にウォームアップを行うことがあります。この場合、通常より印刷が始まるまでに時間がかかることがあります。

3. 自動排出

自動排出の有効／無効、および設定時間を選択します。
データを送り終わったのに印刷を開始しない状態が多く発生するソフトウエアを使用している場合は、このメニューで設定時間を選択することをお勧めします。

4. メモリー設定

プリンターが持つメモリーの使用方法を選択します。

- 標準
  通常の用途で最も性能が発揮できるように、それぞれのバッファーにメモリーを最適に割り当てます。通常はこのままの設定でお使いください。

- 電子ソート優先
  64MB以上のメモリーを増設した場合に設定できます。電子ソートのために使用されるメモリーに優先してメモリーを割り当てます。電源投入時に64MB以上のメモリー増設が認識された場合、メモリー設定は自動的に電子ソート優先に変更されます。

メモリー設定	
標準	電子ソート優先
常時設定可能	64MB以上のメモリー増設で設定可能

増設メモリーと電子ソート機能の保証枚数の関係は以下のとおりです。

増設メモリーと電子ソート機能使用時の保証枚数

用紙サイズ	増設メモリー容量		
	+64MB	+128MB	+256MB
A3片面	3枚	11枚	28枚
B4片面	5枚	15枚	37枚
A4片面	7枚	24枚	57枚

また、64MB以上の増設メモリーを装着に加えてハードディスク(オプション)を装着することにより、電子ソート機能での保証枚数を大幅に増やすことができます。

ハードディスク装着時の保証枚数

用紙サイズ		ハードディスク装着時
		増設メモリー64MB以上
A3	片面	200枚
	両面	100枚
B4	片面	200枚
	両面	100枚
A4	片面	200枚
	両面	100枚

フォントメニュー

フォントに関する設定は、プリンターが持っている文字に対してのみ有効です。詳細については「文字の種類」(441ページ)をご覧ください。

1. **1バイト系ゼロ**

   1バイトコード系の数字ゼロの字体(0またはØ)を選択します。
   メモリースイッチ2-1でも選択できます。
   OCR-Bフォントを使用した場合は設定に関わらず「0」で印刷されます。

2. **2バイト系ゼロ**

   2バイトコード系の数字ゼロの字体(0またはØ)を選択します。

3. **ANK**

   ANK文字(アルファベット、数字、カタカナ)のフォントを選択します。
   - 標準
   - イタリック
   - クーリエ
   - ゴシック

4. **漢字**

   標準フォント(2バイト系文字)の書体を明朝体／ゴシック体から選択します。

5. **文字セット**

   2バイト系の文字セットを選択します。
   - JIS1978
   - JIS1983
   - JIS1990

6. **国別**

   各国文字セットを選択します。
   メモリースイッチ1-1～1-3でも選択できます。
   - 日本
   - アメリカ
   - イギリス
   - ドイツ
   - スウェーデン

動作メニュー

1. 動作エミュレーション

[インタフェース1]および[インタフェース2]のインターフェースポートで個別にプリンターの動作モードを設定します。

- NPDLモード
- ESC/Pエミュレーションモード

MS-DOSなどのアプリケーションで、NPDLや201PLエミュレーションでの印刷ができない場合には、動作モードをESC/Pエミュレーションに切り替えて印刷を行ってください。

2. 動作自動切り替え

この機能をONにすると、送られてくる印刷データから動作モードを判断し、自動的にエミュレーションを切り替えて印刷します。ただし、印刷データによっては印刷結果が不正になる場合があります。また、自動切り替えがうまく行えなかった場合は、「ドウサ　エミュレーション」で設定されたエミュレーションで印刷を行います。
この設定は各ポート([インタフェース1]、[インタフェース2])単位で行えます。

また、どれか1つのポートでもONにすると、各ポートを切り替えるタイムアウト時間が設定できるようになります。これは、1つのポートでデータを受信している時は、他のポートは使用不能状態になっており、データの受信が終了して一定時間、何も送られてこないと他のポートも使用可能な状態にします。このデータ受信終了から他のポートを使用可能にするまでの時間をタイムアウト時間として、30秒、15秒、5秒のいずれかから選択することができます。工場出荷時は30秒に設定されています。

チェック

タイムアウトをあまり短い時間に設定していると、コンピューターからのデータ送信が設定した時間以上停止した場合ポートが切り替わってしまい、思ったような印刷結果が得られないことがあります。

NPDL設定メニュー

1. A4ポートレート桁数

用紙がA4サイズ、ポートレート方向で使われるときの一行あたりの文字数をパイカ文字で78桁にするか80桁にするかを設定します。
メモリースイッチ2-7でも選択できます。

2. エミュレーション

ページプリンターモードか201PLエミュレーションモードかを選択します。
メモリースイッチ2-2でも選択できます。

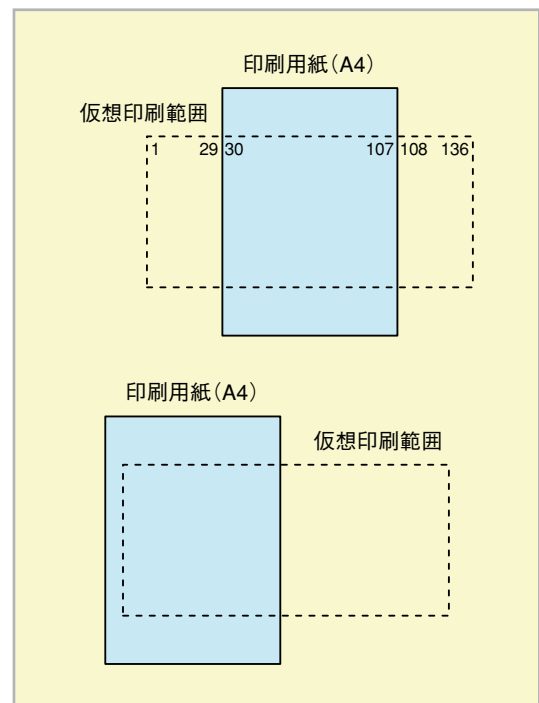
3. 136桁モード設定

- 136桁モード
  136桁モードの有効・無効を選択します。
  メモリースイッチ3-7でも選択できます。

- 用紙位置
  136桁モードが有効のとき、用紙位置を中央合わせにするか、左合わせにするかを選択します。メモリースイッチ3-6でも選択できます。

  ― 用紙位置中央合わせでは、A4サイズの用紙を使用した場合、136桁の仮想印刷範囲の30桁目から107桁目までが印刷されます。

  ― 用紙位置左端合わせでは、136桁の仮想印刷範囲と印刷用紙の左端を合わせます。また、用紙位置調整によって、右の図のように仮想印刷範囲を超えて用紙位置を設定することもできます。

- 微調整
  136桁モードが有効のとき、用紙位置微調整の方向と量を1/10インチ単位で選択します。
  メモリースイッチ3-1～3-5の組み合わせで選択することもできます。

インターフェース設定メニュー

1. インターフェース1

● インターフェース通信モード
パラレルインターフェースポートの通信モードを設定します。本メニューでの通信モード名とパソコン側で一般的に呼ばれているモード名は以下のように対応しています。コンピューターの設定と異なっていると、正しく印刷できない場合があります。

通信モード名	パソコン側での呼び方	
	PC98-NX（パラレルモード）	IBM PC/AT 互換機（DOS/V対応機）
ECP	ECP	Extended Capabilities Port (ECP) Mode
ニブル	双方向	Standard and Bidirectional Mode
なし（コンパチブル）	出力のみ	

✔チェック
通信モードを変更した場合には、電源を入れ直してください。設定は、電源を入れ直した後に有効となります。

● IPアドレス、サブネットマスク
オプションのLANボードやLANアダプターのIPアドレス、サブネットマスクの設定ができます。
設定手順については、ユーザーズマニュアルの1章の「9　ネットワークに接続する」をご覧ください。

✔チェック
本設定項目は、インターフェース通信モードが「ECP」に設定されていてLANボードまたはLANアダプターが取り付けられている時に有効となります。

2. インターフェース2

● IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス
LANボード（標準装備）のIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定ができます。
設定手順については、ユーザーズマニュアルの1章の「9　ネットワークに接続する」をご覧ください。

● DHCP

✔チェック
DHCPがONに設定されているときは、DHCPサーバーから取得したIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスが表示されます。この値は、参照のみで、設定は変更できません。また、DHCPサーバーから値が取得できない場合は、工場設定値が表示されます。（DHCPがOFFの設定値はクリアされます。）

● アクセス制限
アクセス制限機能を使用するか、しないかを設定します。IPアドレスを設定すると、ネットワークを介しての印刷利用者を制限することができます。

設定初期化メニュー

この機能を利用するとメニューモード内の設定(コピー枚数とフェースアップトレーの未使用／使用を除く)および操作パネルで設定したトレーの用紙サイズをまとめて記憶させ、必要なときに呼び出すことができます。

設定初期化を実行すると、プリンターは初期設定に戻ります。設定呼び出しを実行すると、プリンター内部の不揮発メモリーで記憶されている内容を呼び出します(初期設定に戻すこともできます)。

設定記憶を実行すると、メニューモード内の各種機能設定をまとめて記憶します。一度記憶された内容は次に設定記憶を実行するまで変化しません。

下記項目は実行後、ただちにメニューモードを終了します。

- メニュー初期化
- LAN初期化
- 全初期化
- 呼び出し実行
- 記憶実行

チェック

- [インタフェース1]の場合

  「インターフェース設定メニュー」で設定されたIPアドレス、サブネットマスクはLANボードまたはLANアダプターへ記憶されます。LAN初期化や全初期化を行っても設定された内容は初期化されません。

- [インタフェース2]の場合

  「インターフェース設定メニュー」で設定されたIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスなどはLAN初期化、全初期化で設定された内容は初期化されます。

設定を記憶できるメニューモードの項目と初期設定は次のとおりです。

設定記憶/呼び出し可能な項目	初期設定
印刷設定メニュー	
コピー枚数	1
トナー節約	無効
用紙メニュー	
ホッパーの初期設定	ホッパー1
用紙種別（ホッパ1、ホッパ2、ホッパ3、ホッパ4、ホッパ5、トレー）	普通紙
用紙種別（封筒フィーダー）	厚紙3
合紙モード機能	OFF
リレー給紙設定（ホッパ1、ホッパ2、ホッパ3、ホッパ4、ホッパ5、トレー）	OFF
グループ設定（ホッパ1、ホッパ2、ホッパ3、ホッパ4、ホッパ5、トレー）	OFF
定形外（ホッパ1、ホッパ2、ホッパ3）	幅：210.0mm 長さ：297.0mm
印字位置設定メニュー	
ホッパー微調整	0（TM、LM）
トレー微調整	0（TM、LM）
封筒印刷時の微調整	0（TM、LM）
両面印刷時の微調整	0（TM、LM）
オプション設定メニュー	
両面印刷の初期設定	無効
とじ代	ロング1
余白	0mm
クリップ	ON
フェースアップトレー	未使用
排出先の設定	フェースダウン
運用メニュー	
節電機能	有効
節電までの時間	10分
自動排出	無効
メモリー割り当て設定	標準*1
フォントメニュー	
1バイト系ゼロの書体	0
2バイト系ゼロの書体	0
ANKフォントの切り替え	標準
漢字フォントの切り替え	明朝
文字セットの切り替え	JIS1978
国別文字の切り替え	日本

*1　メモリーを増設している場合は、「電子ソート優先」になります。

メニューモードの項目と初期設定(2/2)

設定記憶/呼び出し可能な項目	初期設定
動作メニュー	
［インタフェース1］の動作エミュレーション	NPDL
［インタフェース2］の動作エミュレーション	NPDL
［インタフェース1］の動作自動切り替え	OFF
［インタフェース2］の動作自動切り替え	OFF
タイムアウト	30秒
NPDL設定メニュー	
A4ポートレート桁数	78桁
エミュレーション	201エミュレーションモード
136桁モード設定	136桁モード： 無効 用紙位置： 左 微調整： 0
インターフェース設定メニュー	
［インタフェース1］双方向設定	ニブル
メモリースイッチメニュー	
357～358ページの一覧表を参照してください。	

メモリースイッチの内容

メモリースイッチ設定項目一覧

メニューモードの中で、比較的変更頻度の低いものがここにまとめられています。メモリースイッチは1(ON)か0(OFF)を選択することによって、以下の表に示されている項目を設定することができます。メモリースイッチは1-1から10-8まであります(未使用のスイッチもあります)。

メモリースイッチで設定できる機能の中には、メニューモードで設定できるものもあります。このような場合は、どちらか一方で設D定を変更すれば、もう一方の設定も連動して自動的に変更されます。以下の表中の太文字は、工場出荷時の設定を示しています。詳細については、「メモリースイッチの詳細」をご覧ください。

メニューモードで設定できるメモリースイッチの内容

○：有効　　×：無効

番号	機　能	0	1	ESC/Pモードでの動作
1-1	各国文字の切り替え	3つのスイッチの1／0の組み合わせにより、5か国語の文字を切り替えます。 **すべて0（日本語）**		○
1-2				
1-3				
1-4	グレースケールの網点切り替え	**粗い**	細い	×
1-5	DC1、DC3の有効／無効の切り替え	**有効**	無効	○
1-6	自動復帰改行の切り替え	**復帰改行**	復帰のみ	×
1-7	印刷指令の切り替え	**CRのみ**	CR＋その他	×
1-8	CR機能の切り替え	**復帰のみ**	復帰改行	○
2-1	1バイト系コードのゼロの字体の切り替え*[1]	**0**	Ø	○
2-2	エミュレーションモードの切り替え	**201PLエミュレーション**	ページプリンター（NPDL）	×
2-3	グラフィックモードの切り替え	**ネイティブモード**	コピーモード	×
2-4～2-5	（未使用）			−
2-6	7ビット／8ビットデータの切り替え	**8ビット**	7ビット	×
2-7	A4ポートレート印刷桁数の切り替え	**78桁**	80桁	○
2-8	B4→A4縮小時の縮小率の切り替え	**4/5倍**	2/3倍	○
3-1	レフトマージン量の設定 または用紙位置微調整量の設定（136桁モード）	4つのスイッチの1／0の組み合わせにより、0インチから15/10インチまでの範囲で設定します。（1/10インチ単位） **すべて0（0インチ）**		○
3-2				
3-3				
3-4				
3-5	用紙位置微調整方向の設定（136桁モード）	**左**	右	○
3-6	用紙位置の設定（136桁モード）	**左端合わせ**	中央合わせ	○
3-7	136桁モードの有効／無効の切り替え	**無効**	有効	×
3-8	ブザー機能の有効／無効の切り替え	**有効**	無効	○

*[1]　OCR-Bフォントを使用した場合は設定に関わらず「0」で印刷されます。

メニューモードで設定できるメモリースイッチの内容（続き）

○：有効　　×：無効

番号	機　能	0	1	ESC/Pモードでの動作
4-1～4-2	（未使用）			－
4-3	ESC c1での登録データを初期化する／しないの切り替え	**初期化する**	初期化しない	×
4-4	FFコードのみで白紙を出力する／しないの切り替え	**出力する**	出力しない	×
4-5	ランドスケープ方向の切り替え	**反時計回り**	時計回り	○
4-6～4-8	（未使用）			－
5-1	同期コードの無効／有効の切り替え*	**無効**	有効	○
5-2～5-8	（未使用）			－
6-1	SETを使用する／しないの切り替え	**使用する**	使用しない	○
6-2～6-6	（未使用）			－
6-7	節電機能を使用する／しないの切り替え	**使用する**	使用しない	○
6-8	（未使用）			－
7-1	データストローブ信号のデータラッチタイミング［インタフェース1］	**前縁ラッチ**	後縁ラッチ	○
7-2～7-6	（未使用）			－
7-7	FS fコマンドでの指定用紙サイズなしを表示する／しないの切り替え	**表示する**	表示しない	×
7-8	FS fコマンドでの自動縮小をする／しないの切り替え	**自動縮小する**	自動縮小しない	×
8-1 8-2	ビジィアクノリッジ（BUSY－ACK）のタイミング［インタフェース1］	2つのスイッチの1/0の組み合わせで、BUSY－ACKのタイミングを切り替えます。 **タイミングA**（8-1：0、8-2：0）		○
8-3 8-4	アクノリッジ（ACK）の幅［インタフェース1］	2つのスイッチの1/0の組み合わせで、ACKの幅を切り替えます。 **1μs**（8-3：0、8-4：0）		○
8-5～8-8	（未使用）			－
9-1	（未使用）			－
9-2	ページフォーマットの回転をする／しないの切り替え	**反転しない**	反転する	○
9-3～9-6	（未使用）			－
9-7	トナー残少時に印刷停止する／しないの切り替え	**停止しない**	停止する	○
9-8	（未使用）			－
10-1～10-8	（未使用）			－

*　本スイッチを変更した場合は、プリンターの電源を再投入してください。

メモリースイッチの詳細

1-1～1-3　各国文字の切り替え

3つのメモリースイッチの組み合わせにより各国文字を切り替えます。

国別文字セット	1-1	1-2	1-3
＜日本＞	＜0＞	＜0＞	＜0＞
アメリカ	0	1	0
イギリス	1	1	0
ドイツ	0	0	1
スウェーデン	1	0	1

＜文字＞は工場出荷時の設定を示します。
表以外の組み合わせは、すべてスウェーデン文字となります。国別の文字については「国別相違点」(416ページ)をご覧ください。

1-4　グレースケールの網点の切り替え

グレースケールの網点を粗くするか、細かくするかを切り替えます。

1-5　DC1、DC3の有効／無効の切り替え

DC1およびDC3を有効にするか、無効にするかを切り替えます。
201PLエミュレーション(メモリースイッチ2-2=0)時に有効です。

1-6　自動復帰改行の切り替え

バッファーフル印刷を行うとき、「復帰のみ」か、「復帰改行」かを切り替えます。

1-7　印刷指令の切り替え

印刷指令をCRのみ有効にするか、CR、LF、VT、FF、US、ESC a、ESC bを有効にするかを切り替えます。

1-8　CR機能の切り替え

印刷指令コードCRを受信したとき、復帰のみか、復帰改行かを切り替えます。

2-1　1バイトコード系の数字ゼロの字体の切り替え

1バイト(8ビット)コード系の数字ゼロを「0」と印刷するか、「Ø」と印刷するかを切り替えます。
OCR-Bフォントを使用した場合は設定に関わらず「0」で印刷されます。

2-2　エミュレーションモードの切り替え

エミュレーションモードを201PLエミュレーションにするか、ページプリンター(NPDL)にするかを切り替えます。

2-3　グラフィックモードの切り替え

横ドット数をネイティブモードにするか、コピーモードにするかを切り替えます。コピーモードにすると、横ドット数がネイティブモードのときの1/2になります。
201PLエミュレーション(メモリースイッチ2-2=0)時に有効です。

2-6　7ビット／8ビットデータの切り替え

インターフェースのデータが7ビット有効か、8ビット有効かを切り替えます。
201PLエミュレーション(メモリースイッチ2-2=0)時に有効です。
ページプリンター(メモリースイッチ2-2=1)時は8ビット有効に固定されます。

2-7　A4ポートレート印刷桁数の切り替え

用紙がA4サイズ、ポートレート方向で使われるときの一行あたりの文字数をパイカ文字で78桁にするか80桁にするかを設定します。

2-8　B4→A4縮小の縮小率の切り替え

操作パネルの[縮小／拡大]スイッチまたは制御コード(FS f)を使って「B4→A4縮小モード」を指定したときに、縮小率を2/3にするか、4/5にするかを切り替えます。

3-1～3-4　印刷開始位置の調整

印刷開始位置の調整を行います。
エミュレーションモードがページプリンター(メモリースイッチ2-2=1)の時には、レフトマージン量の設定になります。
レフトマージン量とは用紙の最左端印刷位置から第一印刷位置までの距離です。
レフトマージン量は4つのメモリースイッチの組み合わせにより16通りに設定できます。組み合わせについては次の表をご覧ください。
エミュレーションモードが201PLエミュレーション(メモリースイッチ2-2=0)で136桁モード(メモリースイッチ3-7=1)の時には、用紙位置の調整量の設定になります。
印刷位置がずれた場合の、用紙位置調整に使用します。
用紙位置調整量は4つのメモリースイッチの組み合わせにより16通りに設定できます。組み合わせについては次の表をご覧ください。
調整方向はメモリースイッチ3-5で切り替えます。

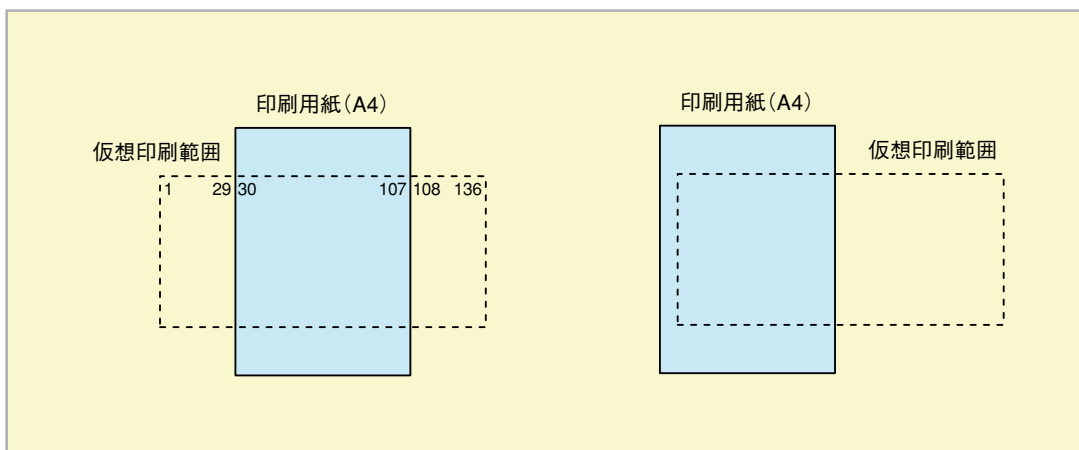
レフトマージン量/用紙位置微調整量	3-1	3-2	3-3	3-4
＜0インチ＞	＜0＞	＜0＞	＜0＞	＜0＞
1/10インチ	1	0	0	0
2/10インチ	0	1	0	0
3/10インチ	1	1	0	0
4/10インチ	0	0	1	0
5/10インチ	1	0	1	0
6/10インチ	0	1	1	0
7/10インチ	1	1	1	0
8/10インチ	0	0	0	1
9/10インチ	1	0	0	1
1インチ	0	1	0	1
11/10インチ	1	1	0	1
12/10インチ	0	0	1	1
13/10インチ	1	0	1	1
14/10インチ	0	1	1	1
15/10インチ	1	1	1	1

＜文字＞は工場出荷時の設定を示します。

3-5　用紙位置微調整方向の設定(136桁モード)

136桁モードで用紙位置調整を右方向にするか、左方向にするかを切り替えます。
201PLエミュレーション(メモリースイッチ2-2=0)で136桁モード(メモリースイッチ3-7=1)時に有効です。

3-6　用紙位置の設定(136桁モード)

136桁モードで用紙位置を中央合わせにするか、左端合わせにするかを切り替えます。
201PLエミュレーション(メモリースイッチ2-2=0)で、136桁モード(メモリースイッチ3-7=1)時に有効です。

3-7　136桁モードの有効／無効の切り替え

136桁モードを有効にするか、無効にするかを切り替えます。
201PLエミュレーション(メモリースイッチ2-2=0)時に有効です。

3-8　ブザー機能の有効／無効の切り替え

ブザーを鳴らすか、鳴らさないかを切り替えます。

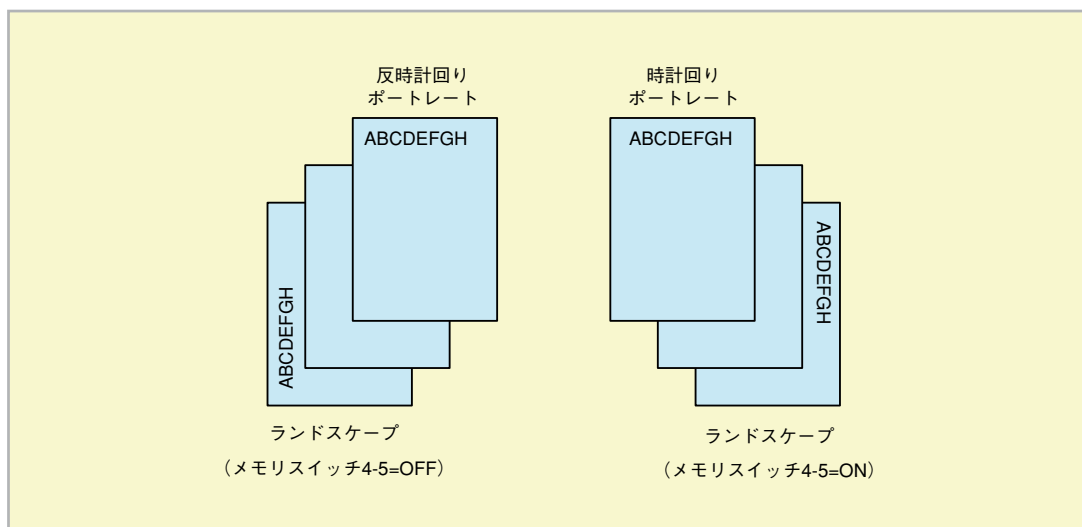
4-3　ESC c1での登録データを初期化する／しないの切り替え

制御コードESC c1での登録データの初期化をするか、しないかを切り替えます。
ESC c1で初期化をしない(メモリースイッチ4-3=1)ときは、ESC c8と同じ機能になります。

4-4　FFコードのみで白紙を出力する／しないの切り替え

FFコードのみで白紙を出力するか、しないかを切り替えます。
白紙を出力しない(メモリースイッチ4-4=1)ときは、ESC a、ESC bと同じ機能になります。

4-5　ランドスケープ方向の切り替え

ランドスケープ印刷とポートレート印刷を行ったときの排紙トレー上での積み重なり方を切り替えます。

5-1　同期コードの無効／有効の切り替え

同期コードを有効とするか無効とするかを切り替えます。

重要

本メモリースイッチを変更した場合は、プリンターの電源の再投入を行ってください。

6-1　SETを使用する／しないの切り替え

SETを使用するか、しないかを切り替えます。

6-7　節電機能を使用する／しないの切り替え

節電機能を使用するか、しないかを切り替えます。

7-1　データストローブ信号のデータラッチタイミング

[インタフェース1]パラレルインターフェースのデータストローブ信号のデータラッチタイミングを前縁か後縁にするかを切り替えます。

7-7　FS fコマンドでの指定用紙サイズなしを表示する／しないの切り替え

FS fコマンドにおいて指定用紙サイズがないとき、用紙補給表示をするか、表示しないでコマンドを無効にするかを設定します。

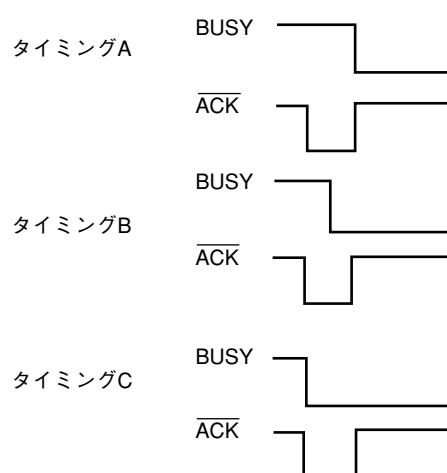
7-8　FS fコマンドでの自動縮小をする／しないの切り替え

FS fコマンドにおいて指定用紙サイズがないとき、縮小印刷が可能ならば自動縮小をするか、しないかを切り替えます。

8-1、8-2　ビジィアクノリッジ(BUSY－$\overline{\mathrm{ACK}}$)のタイミング

2つのメモリースイッチの組み合わせにより、［インタフェース1］のパラレルインターフェースのBUSY－$\overline{\mathrm{ACK}}$のタイミングを切り替えます。

$\overline{\mathrm{ACK}}$のタイミング	8-1	8-2
＜タイミングA＞	＜0＞	＜0＞
タイミングB	1	0
タイミングC	0	1
タイミングA	1	1

＜文字＞は工場出荷時の設定を示します。

8-3、8-4　アクノリッジ($\overline{\mathrm{ACK}}$)の幅の切り替え

2つのメモリースイッチの組み合わせにより、［インタフェース1］のパラレルインターフェースの$\overline{\mathrm{ACK}}$の幅を切り替えます。

$\overline{\mathrm{ACK}}$の幅	8-3	8-4
4μs	1	0
＜1μs＞	＜0＞	＜0＞
2μs	0	1
10μs	1	1

＜文字＞は工場出荷時の設定を示します。

$\overline{\mathrm{ACK}}$の幅を短く設定すると、高速にデータを受信することができます。ただし、接続されたコンピューターによっては、うまく受信できない場合があります。その場合は、$\overline{\mathrm{ACK}}$の幅を長くして使用してください。

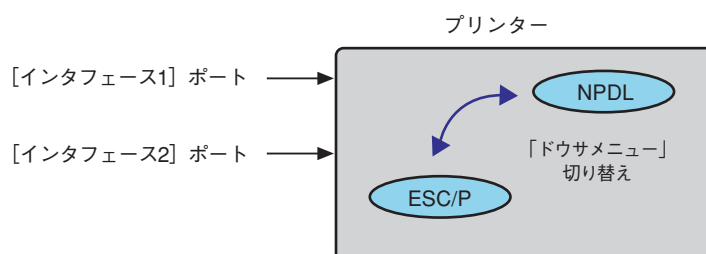
9-2　ページフォーマットの回転をする／しないの切り替え

通常の印刷方向に対するページフォーマットを回転するか、しないかを切り替えます。

9-7　トナー残少時に印刷停止する／しないの切り替え

トナー残量が少なくなった時に印刷停止するか、しないかを切り替えます。

動作エミュレーションの切り替え

NPDLモード、ESC/Pエミュレーションモードの切り替えは、メニューモードの「動作メニュー」で行います(メニューモードの設定変更方法は328ページを参照してください)。メニューモードの「動作メニュー」では[インタフェース1]、[インタフェース2]の各インターフェースに対して動作モードを設定できます。
インターフェースの動作は、工場出荷時「NPDL」モードに設定されています。

メニューモードの設定項目については330ページ、メモリースイッチの詳細については357ページをご覧ください。

動作エミュレーションは電源をOFFにしても保持されます。また、設定記憶に記憶することもできます。

上記2つのインターフェースのいずれか1つが動作している間は、その他のインターフェースは受信不可能になります。複数のインターフェースからデータが送られてきた場合は、最初に受信したインターフェースが選択され、その他のインターフェースは印刷待ち状態になります。そして最初に選択されたインターフェースからの印刷が終了してから標準では約30秒後に印刷待ち状態になっていたインターフェースの印刷を開始します。

ESC/Pエミュレーションモード

プリンターの動作エミュレーションをメニューモードを使用してESC/Pエミュレーションに切り替えることができます。

ESC/Pエミュレーションで使用する場合、次の手順で設定を行ってください。

チェック

- 「ドウサジドウキリカエ」は、コンピューターからプリンターに送られてくる印刷データのエミュレーションを自動的に決定し切り替えて印刷を行います。ただし、印刷データによっては印刷結果が不正になる場合があります。印刷結果が不正になる場合は、「ドウサエミュレーション」で設定し直してください。
- MultiWriter 4550のESC/Pエミュレーションは、拡張グラフィックス文字には対応していません。
- ESC/Pエミュレーションモードでは、合紙モード、グループ設定は使用できません。メニューモードの合紙モード設定、グループ設定はOFFにしてください。
- ESC/Pエミュレーションモードでは、オプションの定形外用紙カセットを使用した印刷はできません。

❶ メニューモードに入る。

[印刷可]スイッチを押してプリンターをディセレクト状態にし、[メニュー]スイッチを押して“テストメニュー　→”を表示させます。

❷ 操作パネルの[∨]スイッチ、[>]スイッチを押して、“ドウサエミュレーション”を“ESC/P”に設定する。

詳しくは、「メニューツリー」を333～342ページを参照してください。

❸ [メニュー終了]スイッチを押す。

ESC/Pエミュレーションで印刷方向にポートレートを選択しています。

```
ホッパ゜　　　A4ヨコ ホ゜ート
フツウシ　　　　　　ESC/P
```

ESC/Pエミュレーションで印刷方向にランドスケープを選択しています。

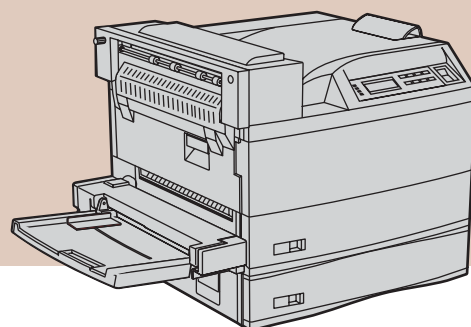
```
ホッパ゜　　　A4ヨコ ラント゛
フツウシ　　　　　　ESC/P
```

❹ 設定が終わったら、アプリケーションで次の表に示す優先順位でプリンターを指定する。

セイコーエプソン社の24ピン漢字シリアルプリンターのほとんどが以下の分類に含まれます。

優先順位	プリンター名称
1	ESC/P 24-J84
2	ESC/P 24-J84準拠の各プリンター
3	ESC/P 24-J83
4	ESC/P 24-J83準拠の各プリンター

その他メニューモードの設定がESC/Pエミュレーションで可能かどうかを330～332ページにまとめてあります。参照してください。

8章
日常の保守

この章では、日常の保守として消耗品の交換およびプリンターの清掃について説明します。清掃は、MultiWriter 4550を正しく動作させせるために定期的に行うことをお勧めします。プリンター内部の精密な部分の清掃については、定期保守の時にサービス担当者が行います。

EPカートリッジの交換

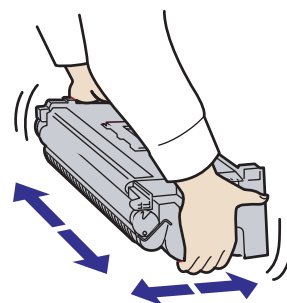
アラームランプが点灯または点滅し、ディスプレイに以下のような表示がされたら、EPカートリッジの交換時期です。

ディスプレイ表示	意味	対処方法
XXXX ﾄﾅｰｻﾞﾝｼｮｳ　EPｺｳｶﾝ	EPカートリッジ内のトナーが少なくなってきています。	次ページの「交換する前に」を参照してください。
XXXX OPCｼﾞｭﾐｮｳ　EPｺｳｶﾝ	EPカートリッジ内部のOPCドラムが劣化してきています。	
76　ﾄﾅｰﾅｼ EPｺｳｶﾝ	EPカートリッジ内のトナーがなくなりました。	EPカートリッジを速やかに交換してください。
87　OPCｼﾞｭﾐｮｳ EPｺｳｶﾝ	EPカートリッジ内部のOPCドラムが寿命となりました。	

交換する前に

ディスプレイ下段に“トナーザンショウ　ＥＰコウカン”と表示された場合、交換する前に使用中のEPカートリッジをプリンターから取り出し、トナーが均一になるようにゆっくりと振ってみてください。取り出し方については、「EPカートリッジの交換手順」(367ページ)を参照してください。

重要

- EPカートリッジの取っ手を持たないよう、図のように両端部を軽く持ってゆっくり振ってください。
- EPカートリッジを激しく振ると、落下やOPCドラムに傷がつくおそれがあります。

もう一度セットしてアラームランプが消灯すれば、もうしばらくの間、そのEPカートリッジを使用することができます。それでもアラームランプが点灯したままなら、その状態から約750ページ(A4用紙画像面積比5%連続印刷の場合)印刷することができますが、この期間に新しいEPカートリッジと交換してください。
アラームランプが点灯していなくても、印刷が薄くなったり、部分的に印刷が抜けたりする場合はEPカートリッジを取り出してゆっくり振り、トナーを均一にしてください。

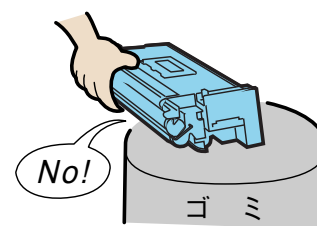
チェック

下段に“OPCジュミョウ EPコウカン”と表示された場合は、OPCドラム劣化によるEPカートリッジの寿命です。このままでもしばらく印刷を続けられますが、OPCドラムが劣化すると印刷に汚れが発生します。なるべく早くEPカートリッジを交換してください。

EPカートリッジの回収と購入

回収について

使用済みのNEC製EPカートリッジは、地球資源の有効活用を目的として回収し、再利用可能な部品は再利用しています。

ご使用済みのNEC製EPカートリッジは捨てずに、EPカートリッジ回収センターに直接お送りいただくか、お買い上げの販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス窓口までお持ち寄りください。なお、その際はEPカートリッジの損傷を防ぐため、ご購入時の梱包箱に入れてください。

- EPカートリッジ回収に関するホームページ

  「ECOLOGY & TECHNOLOGY」

  URL：http://www.nec.co.jp/eco/ja/recycle/ep_recycle.html

購入について

新しいEPカートリッジは、本プリンターをお買い求めになった販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス窓口などでお求めになれます。
PR-L4550でお使いになれるEPカートリッジはPR-L4550-12、N1153-L4550でお使いになれるEPカートリッジは、EF-3464です。詳しくは、「1章　オプション」(15ページ)をご覧ください。

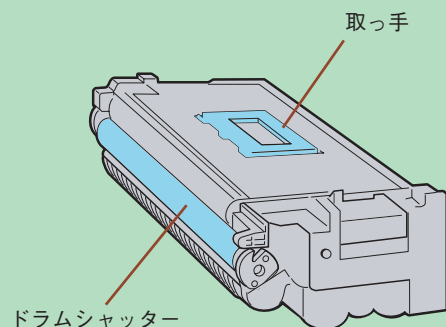
EPカートリッジ取り扱い上のご注意

EPカートリッジの取り扱いについては、以下の注意事項をお読みください。

- トナーが手や衣服についたときはすぐに洗ってください。
- トナーが目に入った場合は、目に痛みがなくなるまで水でよく洗い、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- トナーが皮膚に付着した場合は、せっけんを使ってよく洗い流してください。
- トナーを吸い込んだ場合は、トナーの粉が飛んでいる場所から離れて、多量の水でよくうがいをしてください。
- トナーを飲み込んだ場合は、飲み込んだものを吐き出し、速やかに医師に相談し指示を受けてください。
- 床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、または石けん水で湿らした布などで拭き取ってください。掃除機を用いると、掃除機内部のトナーが電気接接点の火花などにより、粉じん発火するおそれがあります。

チェック

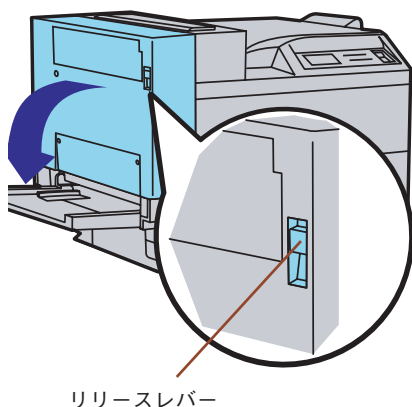
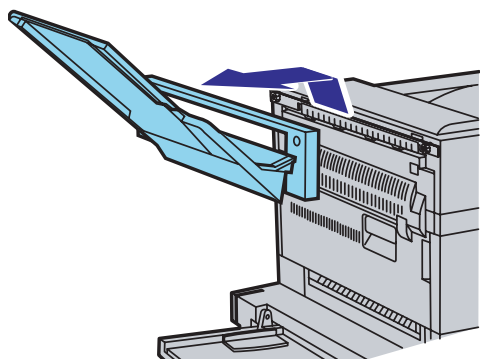
- EPカートリッジは、使用するまでは開封せずに風通しのよい場所に保管してください。
- 直射日光や強い光の当たる場所を避け、室内の明かりの下でも、できるだけ5分以内で作業を終了してください。
- 強い光が当たるとOPCドラムが劣化します。使用中のEPカートリッジをプリンターから取り外した場合は、梱包されていたアルミ袋に入れるか、厚い布などに包んでください。
- ドラムシャッターは、中の感光体(ドラム)に光が当たらないように保護しています。ドラムシャッターをむやみに開けないでください。
- ドラム表面には手を触れないでください。ドラムを汚したり、傷つけることがあります。
- 寒い所から暖かい所に移動した場合は、1時間以上室温に慣らしてから使用してください。
- 立てたり、取っ手のある面を下にして置かないでください。
- トナーを引き抜いたあと必要なとき以外はEPカートリッジを振ったり、衝撃を与えたりしないでください。トナーがこぼれることがあります。

- 印刷の途中でEPカートリッジを交換するときは、プリンターの電源を入れたままで行ってください。電源を切るとプリンター内に残っている印刷データや、プリンターのメモリー上に蓄えられた情報が消去されてしまいます。

EPカートリッジの交換手順

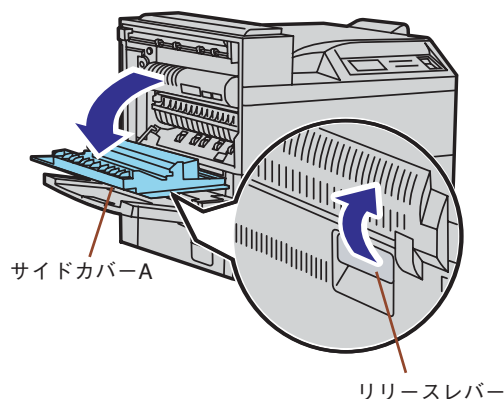
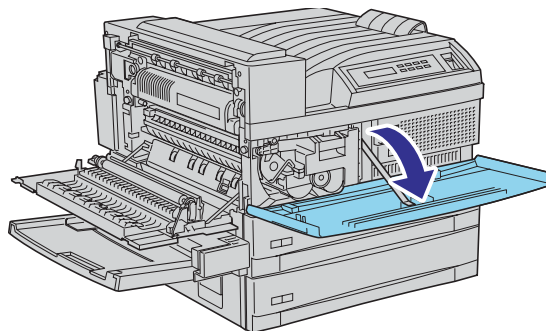
EPカートリッジの交換手順を説明します。

注意

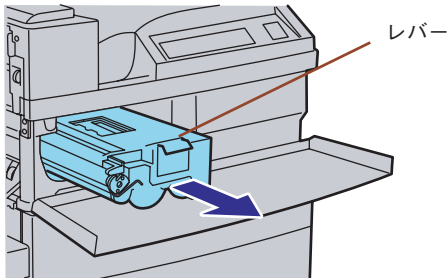
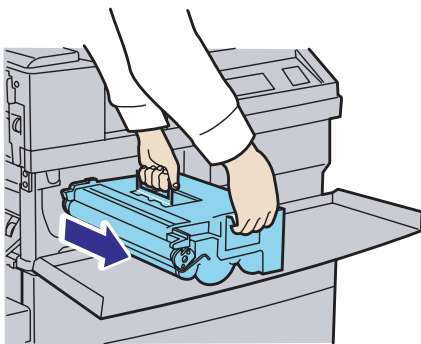
- 「高温注意」ラベルが貼ってある周辺には絶対に触れないでください。やけどをするおそれがありますので、十分に冷めてから取り扱ってください。
- EPカートリッジを絶対に火の中に投げ入れないでください。残留しているトナーの粉じん爆発により、やけどをするおそれがあります。
- EPカートリッジを取り出すときは、上部の取っ手がすべて見えたらすぐに上部の取っ手を手で持って引き出してください。上部の取っ手を持たずにEPカートリッジを引き出しすぎると、落として床を汚したり、身体にぶつかりけがをするおそれがあります。
- 床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、または石けん水で湿らした布などで拭き取ってください。掃除機を用いると、掃除機内部のトナーが電気接接点の火花などにより、粉じん発火するおそれがあります。

1 両面印刷ユニット（オプション）が装着されている場合は、トレーを下に倒しリリースレバーを引きながらゆっくりと下に倒す。

2 サイドカバーAにフェースアップトレー（オプション）が装着されている場合は、フェースアップトレーを持ち上げるようにして、フックから取り外す。

3 リリースレバーを引きながら、ゆっくりとサイドカバーAを開く。

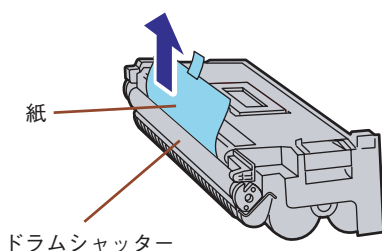
チェック

プリンター内部の部品には手を触れないでください。印刷不良の原因となります。

4 フロントカバーを開ける。

❺ レバーを引いて、カートリッジをゆっくり引き出しながら、上部の取っ手を起こして持つ。

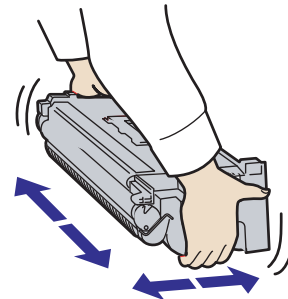
✔チェック

トナーなどで床を汚さないように、取り出したEPカートリッジを置く場所にはあらかじめ用紙などを敷いておくことをお勧めします。

❻ EPカートリッジ上部の取っ手とレバーを持って、EPカートリッジを取り出す。

❼ 新しいEPカートリッジを袋から取り出し、ドラムシャッターの間に入っている紙を取り除く。

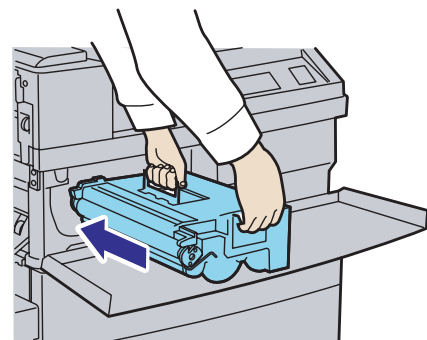
✔チェック

- ドラムシャッターは、中の感光体(ドラム)に光が当たらないように保護しています。ドラムシャッターをむやみに開けないでください。
- ドラム表面には手を触れないでください。ドラムを汚したり、傷つけることがあります。

❽ EPカートリッジを水平に持って、図のように5～6回振り、中のトナーを分散させる。

✔チェック

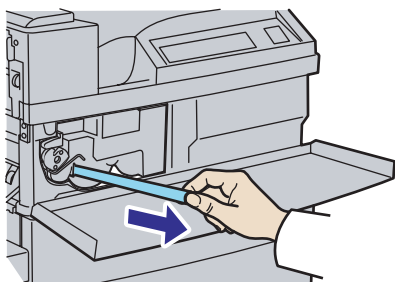
トナーの状態が均一でないと、印刷品質が低下することがあります。

❾ EPカートリッジの上部の取っ手とレバーをそれぞれ両手で持ち、プリンター内部の形状に合わせながら奥までセットする。

✔チェック

「カチッ」と音がして、EPカートリッジが元の位置に戻り、確実にセットされたことを確認してください。正しくセットされていないと印刷不良の原因となります。

⑩ トナーシールを引き抜く。

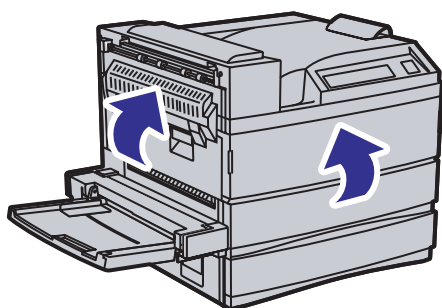
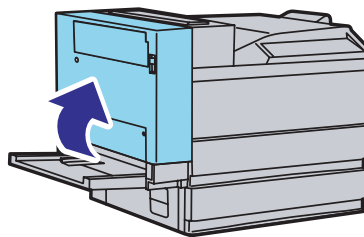
トナーシールは正常に引き抜いた場合、全部で約60cmほどです。

チェック

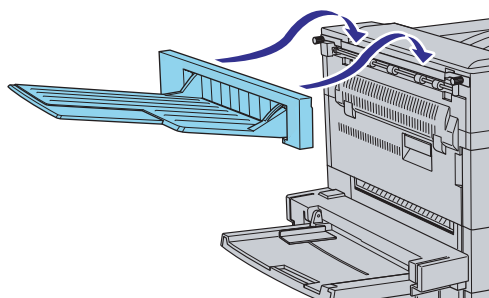
- トナーシールは、カートリッジと平行にまっすぐ引き抜いてください。斜めに引くと、途中でトナーシールが切れてしまうことがあります。
- トナーシールを引き抜いたあと必要なとき以外はEPカートリッジを振ったり、衝撃を与えたりしないでください。トナーがこぼれることがあります。

⑪ サイドカバーAとフロントカバーを閉じる。

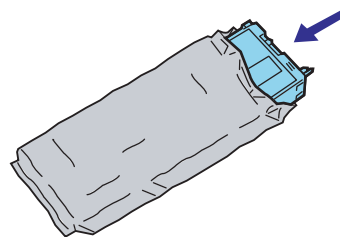
リリースレバーは持たずにカバー表面の中央部を押して、サイドカバーAを閉じます。

チェック

EPカートリッジが正しくセットされていないと、サイドカバーAが閉じません。サイドカバーAが閉じない場合は、再度EPカートリッジを正しくセットし直してください。

⑫ 両面印刷ユニット(オプション)が装着されている場合は、両面印刷ユニットを閉じる。

チェック

- 各カバーが確実にロックしていることを確認してください。完全にロックしていないと、印刷不良が発生することがあります。
- EPカートリッジをセットしたあと、1、2枚目までの出力の際に音がすることがありますが、動作および画質には影響ありません。

⑬ フェースアップトレー(オプション)を取り外した場合は、フェースアップトレーを45度傾けるようにして、先端のくぼみをサイドカバーAのくぼみに掛ける。

⑭ 交換したEPカートリッジを袋または包装箱に入れて保管する。

EPカートリッジは地球資源の有効活用を目的として回収し、再利用可能部品は再利用しております。EPカートリッジの回収については368ページをご覧ください。

⑮ テスト印刷を実行する。

9章の「テスト印刷をする」(426ページ)に従って印刷が正しく行われることを確認してください。

EPカートリッジの寿命

MultiWriter 4550に添付されているEPカートリッジ(PR-L4550-12、EF-3464相当品)の寿命は、A4用紙で画像面積比率(1ページ中の黒い部分の面積と印刷範囲の面積との比率)約5%の連続印刷を行ったとき、約30,000ページになります。

以下は、画像面積比率約5%を目安とした文書例です。

EPカートリッジの寿命について

本プリンタの消耗品の「EP カートリッジ」には寿命３００００頁（A4、画像面積比5%）のものがあります。

ここで画像面積比５％の意味及びEP カートリッジの寿命について説明します。
従来、シリアル系ドットインパクトプリンタ、熱転写プリンタ等においては、消耗品であるインクリボンの寿命は「何文字」という表現をしていました。これに対し、本プリンタの様なページプリンタにおいては、「何頁」という単位で表現されています。
この様に、表現が「文字数」から「頁数」に変化した理由は、
①　ページプリンタにおいては、処理の単位がページ単位であること。
②　①にも関連して、グラフィック等、文字数では十分把握できない様な印刷を行うケースが増えてきている。
の２つが考えられます。

EPカートリッジの寿命を決定するものの１つに、そのEPカートリッジ内部に収納されているトナーの量があります。トナーをすべて消費してしまえばEP カートリッジの寿命となります。(これは従来のインクリボンにおいてインクがなくなるまでをリボンの寿命と呼んだのと同じことです)。

従って「頁数」で寿命と考えるときは、１ページの中でどれくらいのトナーを消費しているかということが問題となります。

１ページ中の印刷領域(印刷用紙の上下左右端から各々5mmの部分を除く領域)に黒い部分がどの位の割合であるか表したものが画像面積比です。　１ページの中に印刷が全くない状態が０％、印刷領域全域が真っ黒にすべてのドットを埋め尽くした状態が１００％です。
この画像面積比によりカートリッジの寿命は長くも短くもなります。このことから「画像面積比何％のときに寿命が何頁」という表現をします。従って、印刷する内容の画像面積比が５％より高い場合、３００００頁印刷する前にEP カートリッジの寿命となる場合があります。

なお、この印刷サンプルが画像面積比約５％相当の目安となります。

画像面積比5%の印刷例

チェック

- EPカートリッジの寿命は画像面積比率、印刷用紙サイズ、両面印刷などの印刷条件によって異なります。
- 画像面積比率は、お使いのコンピューターの環境(OS、アプリケーション、使用フォントなど)により変化します。
- トナーが残っていても、OPCドラムの寿命によりEPカートリッジが寿命となることがあります。

ステープル針の補充

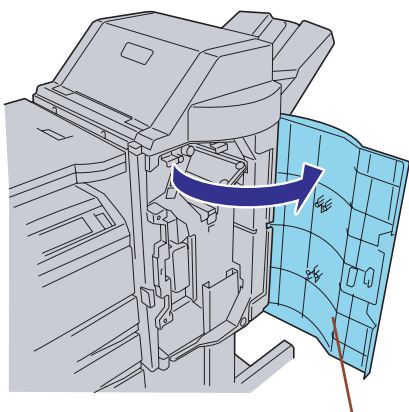
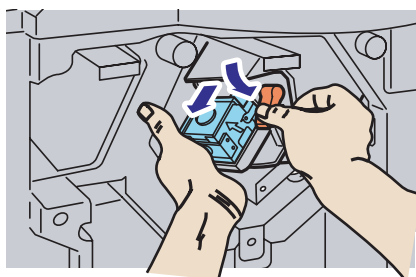
ディスプレイ上段に“78　ステープルイジョウ”、下段に“ステープル”または“カートリッジナシ”と表示され、アラームランプが点滅したら以下の状態を示しています。それぞれのページを参照して対処してください。

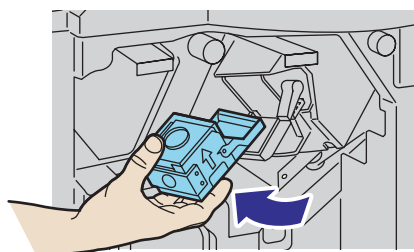
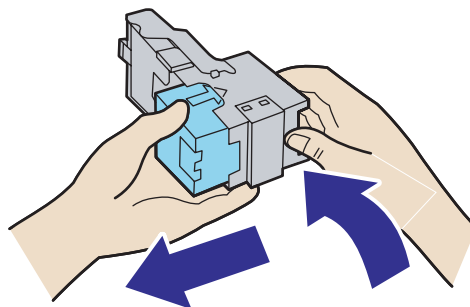
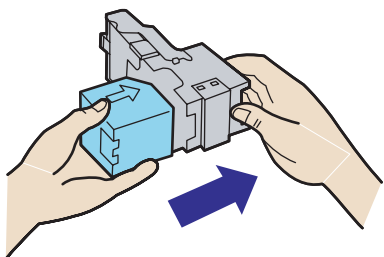
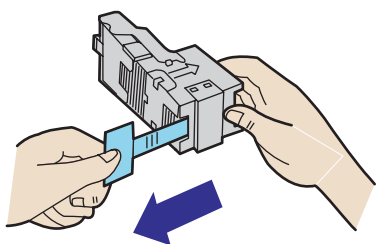
プリンターの状態	参照先
ステープルカートリッジの未装着	「ステープル針の補充手順」（374ページ）の手順　❶、❻、❼
ステープル針の補充時期	「ステープル針の補充手順」「ステープル針の補充手順」（374ページ）
ステープル針づまり	9章の「故障かな？と思ったときは」の「ステープルどめがうまくいかないときは」（392ページ）

購入について

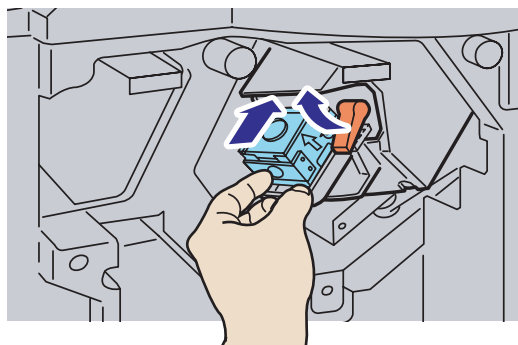
新しいステープル針は、本プリンターをお買い求めになった販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス窓口などでお求めになれます。なお、PR-L4550でお使いになれるステープル針はPR-L4050-SP、N1153-L4550でお使いになれるステープル針は、EF-3972です。詳しくは、「1章　オプション」(15ページ)をご覧ください。

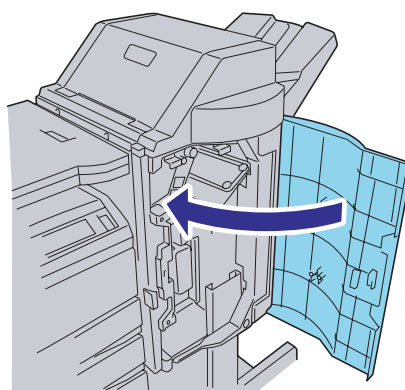
ステープル針の補充手順

❶ **フィニッシャーのフィニッシャーカバーGを開ける。**

❷ **オレンジ色のレバーを図のように押し、カートリッジを取り出す。**

チェック

ステープル針の落下を防ぐために、必ずカートリッジの下に手を添えてください。

❸ **空になったステープル針ケースを取り出す。**

❹ 新しいステープル針ケースをステープルカートリッジに挿入する。

❺ ステープル針ケースについているシールを引き抜いて取り除く。

❻ オレンジ色のレバーが元の位置に戻るまでステープルカートリッジを押し込む。

重要

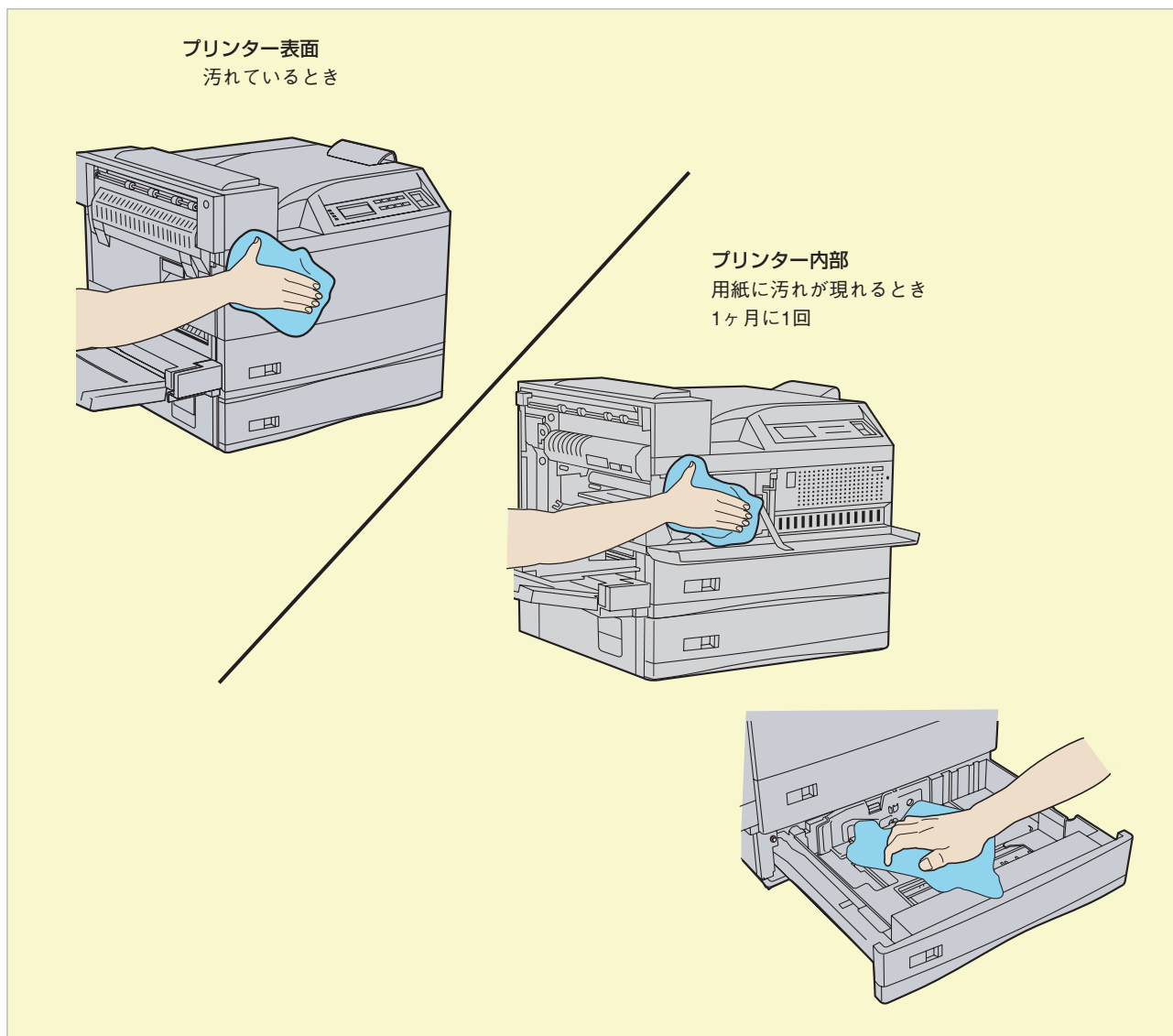
ステープルカートリッジは必要以上に強く押し込まないでください。破損の原因となります。

❼ フィニッシャーのフィニッシャーカバーGを閉じる。

清　掃

MultiWriter 4550を正しく動作させるためには、図に示す箇所を定期的に、あるいは必要に応じて清掃することをお勧めします。

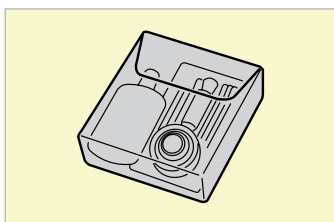
清掃箇所と清掃時期

清掃する箇所と清掃時期について示します。

プリンター表面
汚れているとき

プリンター内部
用紙に汚れが現れるとき
1ヶ月に1回

清掃には、糸くずの出ない乾いた柔らかい布を用意してください。清掃用にクリーニングキットを別売しています。

クリーニングキット（型番 PC-PR601-14）

プリンターの清掃に便利な用具一式が入っています。

プリンターの清掃

MultiWriter 4550の清掃手順を説明します。プリンター内部の精密な部分の清掃は定期保守の時にサービス担当者が行います。清掃には、糸くずの出ない乾いた柔らかい布を用意してください。清掃用にクリーニングキットも別売されています。（21ページ参照）

注意

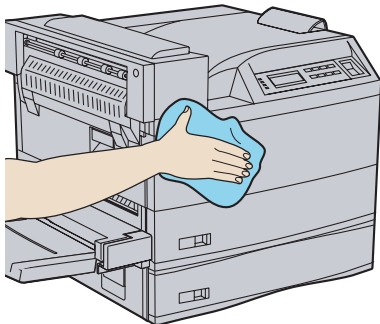
- 清掃するときは、電源スイッチをOFFにし、電源コードをコンセントから抜いてください。感電するおそれがあります。また、電源コードはプラグを持って抜いてください。コード部分を引っ張るとコードが傷み、火災や感電の原因となることがあります。
- 電源スイッチをOFFにした直後は、定着器周辺、プリンター内部の金属部、およびEPカートリッジの取っ手は高温になっている場合があります。やけどをするおそれがありますので、十分に冷めてから取り扱ってください。
- 「高温ラベル」が貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどをするおそれがあります。

チェック

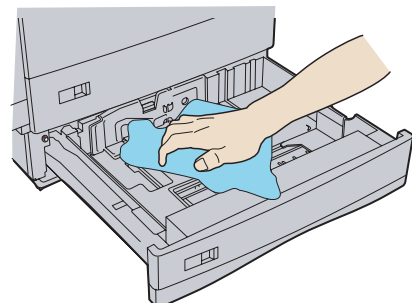
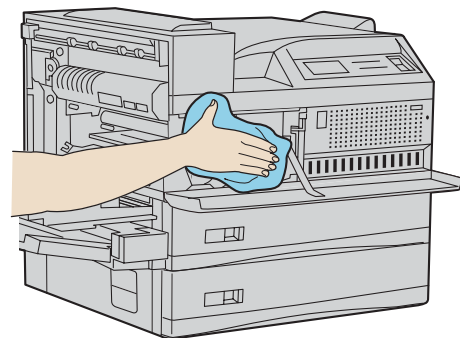
清掃にベンジン、シンナーなど揮発性のものを使用したり、殺虫剤をかけたりしないでください。カバー類の変色、変形、ひび割れの原因となります。

❶ 外部の清掃をする。

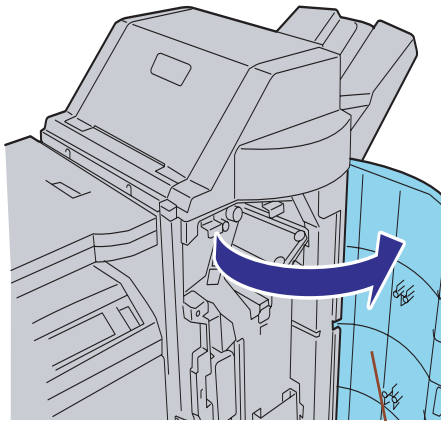
プリンターの表面の汚れは、やわらかい布に水またはうすめた中性洗剤を少量含ませて、軽くふいてください。

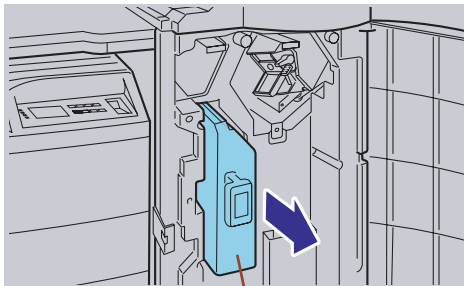
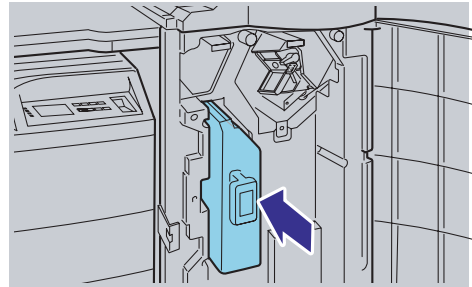
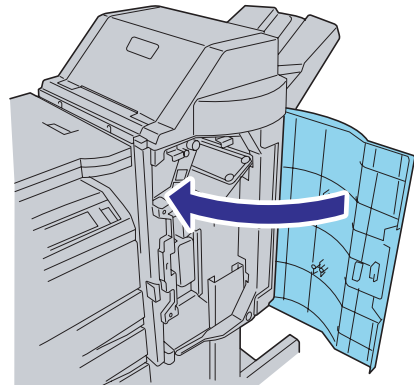
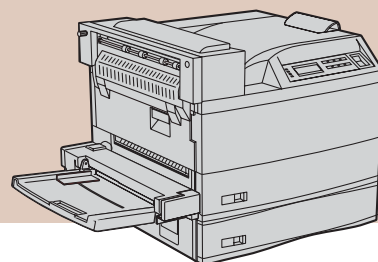
❷ 外部を乾ぶきする。

❸ 内部の清掃をする。

紙づまりの処置やEPカートリッジの交換が終了し、フロントカバーを閉じる前に次の内部点検を行ってください。

- 紙片が残っているときは取り除きます。
- ほこり、汚れなどがあるときは、乾いた清潔な布などでふき取ります。

パンチ屑の処理

ディスプレイ上段に“79　パンチイジョウ”、下段に“ボックスフル”または“ボックスナシ”と表示され、アラームランプが点滅したらパンチ屑ボックス内のパンチ屑が溜まっているか、パンチ屑ボックスが取り付けられていません。

次の手順に従ってパンチ屑の処理またはパンチ屑ボックスの取り付けを行ってください。

❶ **フィニッシャーカバーGを開く。**

❷ **パンチ屑ボックスを取り出し、中身を捨てる。**

❸ **パンチ屑ボックスをフィニッシャー内部に取り付ける。**

❹ **フィニッシャーカバーGを閉じる。**

9章
故障かな？と思ったら

この章では、「故障かな？」と思ったときの症状を以下の項目に分けて、原因と処置方法を説明します。

- 印刷できないときは
- 印刷に異常が見られるときは
- オフセット排紙機能が動作しないときは
- PrintAgentシステムが起動しないときは
- リプリント機能が動作しないときは
- 紙づまりのときは
- アラーム表示が出ているときは
- 思うように印刷できないときは
- フィニッシャー機能が思うように動作しないときは
- プリンタステータスウィンドウがおかしいときは
- ネットワークで思うように印刷できないときは

また、PrintAgentを正しく動作させるための注意事項やプリンター本体を運搬するときの方法、プリンター・消耗品の廃棄方法についても説明も記載しています。

その他プリンターソフトウエアを利用する際の補足情報がプリンターソフトウエアの「はじめにお読みください」(Readme.txt)に記載されています。プリンターソフトウエアCD-ROMのメニュープログラムから参照できます。

修理に出す前に

「故障かな？」と思ったら、修理に出す前に以下の手順を行ってください。

❶ **電源コードおよびプリンターケーブルが正しく接続されているかどうかを確認する。**

❷ **定期的に清掃していたことを確認する。**

プリンター内部で清掃できる場所が汚れていると正しい印刷結果を得ることができません。

❸ **EPカートリッジが確実に交換されていることを確認する。**

EPカートリッジは消耗品です。トナーがなくなっていたら、交換してください8章「EPカートリッジの交換」(367ページ)。また、EPカーリッジの取り付け状態を確認してください。確実にとりつけられていないと、正しい印刷結果を得られないばかりではなく、プリンター本体の故障の原因となります。

❹ **本章の380〜406ページを参照し、次の項目で当てはまる症状があれば、記載されている処置を行う。**

以上の処理を行っても、改善されない場合は、無理な操作をせずに、お近くのサービス窓口にご連絡ください。その際のディスプレイのアラーム表示の内容や、不具合印刷サンプルがあると、修理の際の有力な情報となることがあります。サービス窓口の電話番号、受付時間については「NECサービス網一覧表」をご覧ください。

なお、保証期間中の修理は、「保証書」を添えてお申し込みください。

重要　**海外でのご使用について**

このプリンターは日本国内仕様のため、海外でご使用になる場合NECの海外拠点で修理することはできません。また、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格などの適用認定を受けておりません。したがって、本装置を輸出した場合に当該国での輸入通関、および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

印刷できないときは

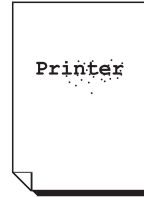
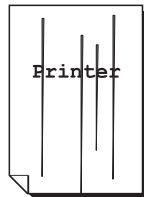
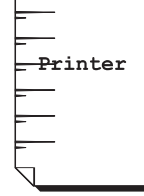
プリンターにデータを送ったのに印刷ができないなどの症状、および原因と対処方法を示します。
それぞれの方法に従って原因の確認、処理を行ってください。

症　状	原因と対処方法
電源ランプが点灯しない	**電源スイッチがOFFになっている。** →　[電源]スイッチをONにしてください。 **電源コードがきちんと差し込まれていない。** →　プリンター側とコンセント側の両方を確認してください。 **コンセントに電気が供給されていない。** →　配電盤などの状態を調べてください。
データを送り終わったのに印刷ができない、または長い間印刷を開始しない	**印刷可ランプが消灯している。** →　[印刷可]スイッチを押して、印刷可ランプを点灯させてください。 **プリンターケーブルまたはネットワークケーブルが正しく選択されていないか、または正しく接続されていない(データランプ消灯)。** →　「1章　オプション」(15ページ)を参照して、プリンターケーブルまたはネットワークケーブルの種類を確認後、接続してください。 **改ページまたは排出コードがない(データランプ点灯)。** →　[シフト]スイッチを押しながら[排出]スイッチを押して、プリンター内に残っている未印刷データを印刷してください。また、この状態が多く発生するソフトウエアをお使いの場合は、メニューモードで自動排出を選択することをお勧めします。 **用紙がなくなったか、または指定されたサイズの用紙がない(アラームランプ(赤)点滅)。** →　「5章　用紙のセット」(297ページ)を参照して、用紙を補給してください。 **アラームランプ(赤)が点滅している。** →　「アラーム表示が出ているときは」(381ページ)をご覧ください。 **データ送信中である(データランプ(橙)点滅)。** →　本プリンターはページ単位で処理するため、1ページ分のデータがそろわないと印刷を開始しません。また、グラフィックモードで多量のデータを送る場合などは、データ転送に時間がかかります。もう少しお待ちください。 **MultiWriter 4550が「通常使うプリンタ」として選択されていない。** →　MultiWriter 4550を「通常使うプリンタ」として選択してください。 **コンピューターのメモリーが不足している。** →　コンピューターのメモリーを増やしてください。
ホッパーにセットした用紙サイズを認識しない	**用紙ガイドが正しくセットされていない。** →　「用紙カセットに用紙をセットする」(302ページ)を参照して、サイドガイド、エンドガイドを用紙に合わせてセットし直してください。
トレーから印刷ができない、または給紙方法をトレーとし、印刷したのに「トレーXX　セット」が表示される	**給紙方法が自動またはホッパーになっている。** →　プリンタードライバーの給紙方法を[トレー]に設定してください。 **用紙のセットの仕方が悪い。** →　「トレーに用紙をセットする」(305ページ)を参照して用紙をセットし直してください。
封筒フィーダーから印刷できない	**給紙方法が自動またはホッパーのいずれかになっている。** →　プリンタードライバーの給紙方法を[トレー]設定してください。 **封筒のセットの仕方が悪い。** →　「封筒フィーダーに用紙をセットする」(311ページ)を参照して封筒をセットし直してください。

アラーム表示が出ているときは

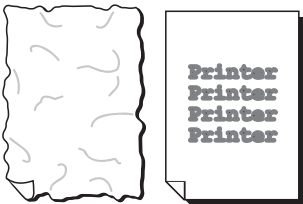
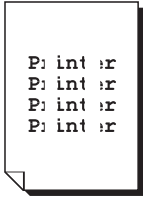
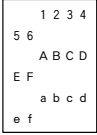
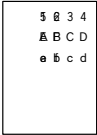
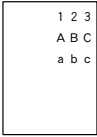
保守が必要な時期になったりエラーが発生したりすると、アラームランプ（赤）が点滅または点灯し、ディスプレイにその内容が表示（アラーム表示）されます。このとき、ブザーが30秒ごとに6回鳴ります。

チェック

メモリースイッチ3-8の設定がONのときは、ブザーは鳴りません。

次の表に、アラーム表示とその内容、および対処方法を示します。それぞれの方法に従って処理してください。

ディスプレイ表示	アラームの内容と対処方法
ホッパ゜1　A4ヨコ　ホキュウ この位置にホッパー番号（1～5）が表示されます。 トレー　A4タテ　セット フウトウセット この表示は封筒フィーダ装着時に表示されます。	**用紙がない。または印刷フォーマットで指定されたサイズの用紙がない。** → 表示されているサイズの用紙をそれぞれ指定された場所に補給してください。
72　カバ゛ーオープ゜ン XXX この箇所にフロント、サイドX、リョウメン（両面印刷ユニット装着時）、フィニッシャX（フィニッシャー装着時）が表示されます。	**カバーやゲートが開いている。** → それぞれ指示されたカバーをきちんと閉じてください。 ● “フロント”............. フロントカバー ● “サイド X”............ サイドカバーA、サイドカバーB、サイドカバーC ● “リョウメン”.......... 両面印刷カバー ● “フィニッシャ X”. フィニッシャーカバーE、フィニッシャーカバーF、フィニッシャカバーG、フィニッシャカバーH
73　EPカートリッシ゛ナシ	**EPカートリッジが取り付けられていない。** → EPカートリッジを取り付け直してください。EPカートリッジを取り付けた後、フロントカバーおよびサイドカバーAをきちんと閉じてください。
74　カミツ゛マリ XXX この箇所にホンタイ、キュウシ、リョウメン（両面印刷ユニット装着時）、フィニッシャ（フィニッシャー装着時）が表示されます。	**紙づまりが発生している。** → 「紙づまりのときは」（407ページ）を参照して、つまった用紙を取り除いてください。
75　ヨウシサイズ゛エラー XXX この箇所にホッパー番号（1～5）、トレー、フウトウ（封筒フィーダー装着時）が表示されます。	**指定サイズと異なる用紙がセットされている。** → 指定サイズの用紙をホッパーまたはトレー、封筒フィーダーにセットして、［印刷可］スイッチを押してください。
76　トナーナシ EPコウカン	**EPカートリッジの交換時期を示している。** → 「EPカートリッジの交換」（367ページ）に従って、EPカートリッジを交換後、フロントカバーとサイドカバーAをきちんと閉じて、［印刷可］スイッチを押してください。

ディスプレイ表示	アラームの内容と対処方法
77　テイキホシュ　XX	**定期保守（定着器などの交換）の必要な時期を示している。** → サービス担当者または販売店にお問い合わせください。 このアラームが発生してもただちに印刷できなくなるわけではありません。[印刷可]スイッチを押してプリンターをセレクト状態にすれば、印刷を続けることはできます。しかし、なるべく早く定期保守を行ってください。“77　テイキホシュ”アラームは、電源をOFFにしても、次にONにしたときに再発生します。
78　ステープ゛ルイジ゛ョウ ステープ゛ル 78　ステープ゛ルイジ゛ョウ カートリッジ゛ナシ	**ステープルがフィードできない。またはステープルカートリッジが装着されていない。** → ステープル針を交換、補充するか、ステープルカートリッジをセットし直し、[印刷可]スイッチを押してください。
79　パ゛ンチイジ゛ョウ ボ゛ックスフル 79　パ゛ンチイジ゛ョウ ボ゛ックスナシ	**フィニッシャーのパンチ屑ボックスにパンチ屑がいっぱいである。またはパンチ屑ボックスが装着されていない。** → パンチ屑を捨てるか、パンチ屑ボックスをセットし直し、[印刷可]スイッチを押してください。
82　セットフリョウ	**フィニッシャーが正しくセットされていない。** → フィニッシャーを正しく取り付け直し、[印刷可]スイッチを押してください。
83　ヨウシピ゛ックミス XXX この箇所にホッパー番号（1～5）、トレー、フウトウが表示されます。	**用紙ピックミスが発生している。** → この後の「紙づまりのときは」に従って給紙できなかった用紙を取り除いて再度用紙をセットしてください。
84　フォーム　オーバ゛ーXXX	**フォーム登録に必要なメモリーが不足している。** → 処理必要な印刷データです。操作パネルからリセット操作を行ってください。
85　スタックフル XXX この箇所にフェースダウン、フィニッシャ（フィニッシャー装着時）が表示されます。	**排紙トレー、およびフィニッシャーのいずれかに規定量を越える枚数の用紙が排出されている。** → 排出されている用紙を取り除いてください。
87　OPCジ゛ュミョウ EPコウカン	**EPカートリッジの寿命を示している。** → 「EPカートリッジの交換」(367ページ)に従って、EPカートリッジを交換後、フロントカバーとサイドカバーAをきちんと閉じて、[印刷可]スイッチを押してください。
88　EPタイプ゛チガ゛イ EPコウカン	**EPカートリッジのタイプが違う。** → 正しいEPカートリッジを取り付けてください。
89　トレー　ミソウチャク	**トレーまたはオプションの封筒フィーダーが装着されていない、またははずれかかっている。** → 電源をOFFにして、トレーまたは封筒フィーダーを装着後、もう一度電源をONにしてください。それでもアラームが発生する場合は、プリンターの故障が考えられます。保守サービス窓口に修理をお申し付けください。
上記以外の表示	**障害が発生している。** → 電源をOFFにして、もう一度ONにしてください。それでもアラームが再発する場合は、プリンターの故障が考えられます。保守サービス窓口に修理をお申し付けください。

印刷に異常が見られるときは

印刷にカスレや汚れなど異常が発生する場合は、次の表を参照して異常原因を取り除いてください。表に示す対処方法を実施しても現象が変わらない場合は、サービス担当者または保守サービス会社にご連絡ください。

症　状	原因と対処方法
印刷が薄いとき（かすれる、不鮮明なとき） Printer	**用紙が湿気を吸収している可能性がある。** → 5章の「用紙のセット」（297ページ）を参照して、セットしてある用紙をすべて交換してください。 **EPカートリッジが劣化または損傷している可能性がある。** → EPカートリッジの交換時期です。「EPカートリッジの交換」（367ページ）を参照して、EPカートリッジを交換してください。 **EPカートリッジ内にトナーが残っていない。** → EPカートリッジの交換時期です。「EPカートリッジの交換」（367ページ）を参照して、EPカートリッジを交換してください。 **トナーがない（アラームランプ点灯）。** → EPカートリッジの交換時期です。「EPカートリッジの交換」（367ページ）を参照して、EPカートリッジを交換してください。 **トナー節約機能を使用している。** → メニューモードやプリンタードライバーでトナー節約機能を解除してください。 **用紙が規格に合っていない。** → 「用紙の規格」（439ページ）を参照して、確認してください。 **給紙の「用紙種類」が、セットされている用紙に対して正しく設定されていない。** → プロパティダイアログボックスやメニューモードで正しい用紙種類を設定し直してください。
黒点が印刷されるとき Printer	**EPカートリッジが劣化または損傷している可能性がある。** → EPカートリッジの交換時期です。「EPカートリッジの交換」（367ページ）を参照して、EPカートリッジを交換してください。 **用紙が規格に合っていない。** → 「用紙の規格」（439ページ）を参照して、確認してください。
黒い線が印刷されるとき Printer	**EPカートリッジが劣化または損傷している可能性がある。** → EPカートリッジの交換時期です。「EPカートリッジの交換」（367ページ）を参照して、EPカートリッジを交換してください。
等間隔に汚れがおきるとき Printer	**用紙搬送路に汚れが付着している。** → 数枚テスト印刷をしてください。 **EPカートリッジが劣化または損傷している可能性がある。** → EPカートリッジの交換時期です。「EPカートリッジの交換」（367ページ）を参照して、EPカートリッジを交換してください。

症　状	原因と対処方法
黒く塗りつぶされた部分に白点が現れたとき	**用紙が規格に合っていない。** → 「用紙の規格」(439ページ)を参照して、確認してください。 **EPカートリッジが劣化または損傷している可能性がある。** → EPカートリッジの交換時期です。「EPカートリッジの交換」(367ページ)を参照して、EPカートリッジを交換してください。
指でこするとかすれるとき	**厚紙の設定レベルが低い。** → メニューモードまたはプリンタードライバーで厚紙設定のレベルを上げてください。 **用紙が湿気を吸収している可能性がある。** → 5章の「用紙のセット」(297ページ)を参照して、セットしてある用紙をすべて交換してください。 **用紙が規格に合っていない。** → 「用紙の規格」(439ページ)を参照して、確認してください。 **フロントカバーが完全に閉まっていない。** → フロントカバーを閉め直してください。フロントカバーの両端が確実にロックしていることを確認してください。
用紙全体が黒く印刷されたとき	**EPカートリッジが劣化または損傷している可能性がある。** → EPカートリッジの交換です。「EPカートリッジの交換」(367ページ)を参照して、EPカートリッジを交換してください。 **高圧電源が故障している可能性がある。** → サービス担当者または販売店にご連絡ください。
何も印刷されない	**EPカートリッジのトナーシールが取り付けられたままである。** → 「EPカートリッジの交換」(367ページ)を参照して、トナーシールを引き抜いてください。 **一度に複数枚の用紙が搬送されている(重送)。** → 5章の「用紙のセット」(297ページ)を参照して、用紙をセットし直してください。 **EPカートリッジ内にトナーが残っていない。** → EPカートリッジの交換時期です。「EPカートリッジの交換」(367ページ)を参照して、EPカートリッジを交換してください。 **EPカートリッジが劣化または損傷している可能性がある。** → EPカートリッジの交換時期です。「EPカートリッジの交換」(367ページ)を参照して、EPカートリッジを交換してください。 **高圧電源が故障している可能性がある。** → サービス担当者または販売店にご連絡ください。
部分的に白く抜けるとき	**用紙が湿気を吸収している可能性がある。** → 5章の「用紙のセット」(297ページ)を参照して、セットしてある用紙をすべて交換してください。 **使用している用紙が規格に合っていない。** → 「用紙の規格」(439ページ)を参照して、確認してください。 **EPカートリッジのトナーシールが完全に引き抜かれていない。** → 「EPカートリッジの交換」(367ページ)を参照して、新しいEPカートリッジと交換してください。 **冬期はプリンター内部が結露している可能性がある。** → 電源をONにしたまま30分〜1時間放置してから印刷してください。 **EPカートリッジに問題がある可能性がある。** → 「EPカートリッジの交換」(367ページ)を参照して、新しいEPカートリッジと交換してください。

症　状	原因と対処方法
用紙にしわが入ったり、文字がにじむとき	**用紙が規格に合っていない。** →「用紙の規格」（439ページ）を参照して、確認してください。 **用紙が正しく補給されていない。** → 5章の「用紙のセット」（297ページ）を参照して、もう一度用紙をセットし直してください。 **用紙が湿気を吸収している可能性がある。** → 5章の「用紙のセット」（297ページ）を参照して、新しい用紙と交換してください。 **厚紙の設定レベルが高い。** → メニューモードまたはプリンタードライバーで厚紙設定のレベルを下げてください。レベルを下げるときは、定着性を確認しながら行ってください。
縦線の形状で白く抜けるとき	**EPカートリッジが正しく取り付けられていない。** →「EPカートリッジの交換」（367ページ）を参照して、EPカートリッジを取り付け直し、数枚テスト印刷をしてください。 **EPカートリッジのトナーシールが完全に引き抜かれていない。** →「EPカートリッジの交換」（367ページ）を参照して、トナーシールを引き抜いてください。 **EPカートリッジが劣化または損傷している可能性がある。** → EPカートリッジの交換時期です。「EPカートリッジの交換」（367ページ）を参照して、EPカートリッジを交換してください。
ななめに印刷されるとき	**用紙が規格に合っていない。** →「用紙の規格」（439ページ）を参照して、確認してください。 **用紙が正しく補給されていない。** → 5章の「用紙のセット」（297ページ）を参照して、もう一度用紙をセットし直してください。 **用紙が湿気を吸収している可能性がある。** → 5章の「用紙のセット」（297ページ）を参照して、新しい用紙と交換してください。 **ホッパーのサイドガイドが正しい位置にセットされていない。** → 5章の「用紙のセット」（297ページ）を参照して、サイドガイドやエンドガイドを正しい位置にセットしてください。 **セットする用紙の量が多すぎる。** → サイドガイドの用紙上限線（MAX）以下にセットしてください。
改行量（行の間隔）が2倍になる 1行が2行にわたる 各行の文字が重なって印刷されてしまう 用紙の途中から印刷が始まってしまう	**アプリケーションで設定した用紙サイズと、使用する用紙サイズが異なっている。** → ソフトウエアの用紙サイズ設定と使用する用紙サイズを合わせてください。 → 他の用紙サイズに印刷するか、メニューモードを使ってA4ポートレート桁数を80桁にしてください。A4ポートレート桁の用紙に80桁分の印刷（パーソナルコンピューターの画面コピーなど）を行うと、このような症状になることがあります。 **アプリケーションのプリンター設定が[シリアルプリンター]になっている。** → [ページプリンター]を選択してください。 → メニューモードを使ってプリンターの136桁モードを有効にしてください。アプリケーションがシリアルプリンター専用に作られている場合には、136桁モードを有効にすることでこれらの症状は改善されます。特に、「用紙の途中から印刷が始まってしまう」場合には、136桁モードの用紙位置設定を中央に合わせることで正しい印刷結果が得られるようになります。

思うように印刷できないときは

プリンターの動作がおかしくて思うように印刷ができないときは、プリンターまたはアプリケーションの設定を変えれば、ほとんどの場合は改善できます。
ここで説明する項目を参照して原因の確認と処置を行ってください。

症　状	原因と対処方法
正常に印刷できない	**他のプリンタードライバーが同一のポートを使用している。** → プリンタードライバーによっては接続先のポート（LPT1、COM1など）に対し常に通信しようとするため、同一ポートに接続されているプリンターに悪影響を与えることがあります。Windowsのヘルプを参照して、他のプリンタードライバーのポートを本プリンタードライバーと違うポートに変更するか、他のプリンタードライバーを削除してください。 **プリンターのメモリースイッチ5-1がONで、I/F設定が「ECP」になっている。** → お使いのプリンターをWindowsからお使いのプリンターに印刷する場合は、メモリースイッチ5-1をONのままにして、メニューモードのI/F設定メニューの「ソウホウコウセッテイ」を「ニブル」に設定してください。プリンターのI/F設定を変更した場合は、プリンターの電源の再投入が必要です。 **お使いのコンピューターのプリンタポート設定とプリンターのI/F設定が異なる。** → お使いのコンピューターのプリンタポート設定とプリンターのI/F設定の動作モードを同じ設定にしてください。詳しくはお使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。 **PrintAgentが正しく動作していない。** → 「PrintAgentシステムが起動しないときは」（394ページ）を参照してください。 **プリンターと双方向通信ができない。** → 「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」（401ページ）を参照してください。
斜線の太さが均一でない（線の角度によって、線の太さが違っている） 写真などの絵やグラデーションがおかしい	**SETの設定が「ON」になっている。** → プリンタードライバーのプロパティまたはメニューモードでSETの設定を「OFF」にしてください。SETは、印刷時の解像度を拡張して斜線や曲線の印刷品質を向上させるための機能ですが、印刷内容によってはこのような症状になることがあります。 **トナー節約機能がONになっている。** → プリンタードライバーのプロパティまたはメニューモードでトナー節約機能を「OFF」にしてください。トナー節約機能はトナーの使用を節約する試し印刷用の機能です。この機能を使うと細い線、濃度の薄い印刷、網かけ、グラデーションが不鮮明になることがあります。
印刷位置が以前使用していたプリンターと合わない	**アプリケーションの用紙・印刷に関する設定が間違っている。** → アプリケーションの説明書を見て正しく設定してください。アプリケーションによっては、わずかでも異なる設定項目があると、印刷位置がずれる場合があります。 **プリンターのA4ポートレートの印刷桁数が80桁に設定されている。** → メニューモードでA4ポートレート桁数を78桁にしてください。A4ポートレートの印刷桁数が80桁に設定されている場合には、本来の印刷位置よりわずかに左にずれて印刷されます。したがって、80桁に設定されているプリンターとそうでないプリンターとでは印刷位置が異なります。 **使用している用紙がプリンターの規格に合っていない。** → 「用紙の規格」（439ページ）を参照して、規格に合っているか確認してください。 本プリンターのようなレーザープリンターは、用紙送りをローラーの摩擦によって行っています。そのため、他のレーザープリンターと同様に縦方向、横方向とも多少の誤差が発生します。この誤差は用紙によっても異なります。

症　状	原因と対処方法
印刷位置が以前使用していたプリンターと合わない（続き）	**以前使用していたプリンターと本プリンターとの間に印刷位置の互換性がない。** → プリンターの印刷位置は、PC-PR2000/6WなどのNPDLまたはNPDL(Level2)対応のプリンターおよびPC-PR601、PC-PR602、PC-PR602Rに対して互換性があります。その他のプリンターに対しては印刷位置の互換性はありません。 従来互換の印刷範囲に設定するには、プリンタードライバーの以下に示すシートで設定を変更してください。 Windows XP/2000/NT 4.0：　[プロパティ]－[プリンタの設定]シート－[従来互換の印刷範囲] Windows Me/98/95：　[プロパティ]－[印刷品質]シート－[従来互換の印刷範囲を使用する]
“データガノコッテイマス”を表示したまま印刷を開始しない	**改ページコードまたは排出コードがない。** → [印刷可]スイッチを押して印刷可ランプを消灯させてから、[シフト]スイッチを押しながら[排出]スイッチを押してください。 本プリンターはページ単位で処理するプリンターなので、1ページ分のデータが揃わないと印刷を開始しません。また、アプリケーションの中にはページの最後に排出コードなどのページの終わりを示す制御コードをプリンターに送らないものがあります。このような場合は上記の方法で処理してください。 なお、メニューモードで自動排出を有効にしておくと設定した時間内に印刷データが来ない場合、自動的に印刷・排出されます。ただし、コンピューターからのデータ送信が長い時間途切れるような場合には、この機能を使用しないでください。 **アプリケーションのプリンター設定が「シリアルプリンター」になっている。** → ページプリンターまたはレーザープリンターを選択してください。ソフトウエアのプリンター設定がシリアルプリンターになっていると、排出コードをプリンターに送らないためにこのような症状が起こります。 また、新たにソフトウエアを作成する場合には、このような症状を防ぐため、各ページの最後に排出コード（0Ch）を付加するようにしてください。 **コンピューターからのデータ送信が途切れている。** → プリンターへのデータ送信について、プリンタードライバーの「タイムアウト設定」の設定時間を長くしてください。複雑なデータやアプリケーションによっては、設定時間が短いとデータ送信を中止することがあります。
ページの途中までしか印刷されない または1ページ分のデータが2ページにわたって印刷されてしまう	**自動排出機能が有効になっている。** → メニューモードで自動排出を無効にしてください。 プリンターには自動排出機能（コンピューターからのデータの送信が一定時間途切れると、そこまでのデータが自動的に印刷・排出する機能）があります。このとき、コンピューターからのデータ送信が設定した自動排出時間以上に途切れた場合には、ページの途中でもそれまでのデータを印刷・排出してしまいます。 また、各OSでプリンターへのデータ送信についてタイムアウト時間を設定できます。このタイムアウト設定の時間が短いと、複雑なデータなどでプリンターのビジー時間が長くなった場合、コンピューターが印刷データの送信を中止する場合があります。その場合にはプリンターの自動排出を無効にするだけでなく、タイムアウト設定の時間を長くしてください。タイムアウト設定の時間変更は各OSのマニュアルを参照してください。 **綴じしろが合っていない。** → 印刷範囲を確認してください。両面印刷のときにはクリップ機能を使うと印刷範囲を超えた分のデータを次のページに印刷しないようになります。詳細は「オプション設定メニュー」(346ページ)を参照してください。

症　状	原因と対処方法
用紙の左側が空白になる（印刷文字が用紙の右側にかたよって印刷される）	**一部のソフトウエアでは、用紙位置が異なる場合がある。** → メニューモードで136桁モードを有効にし、用紙位置を調整してください。
縮小すると、縮小前と印刷結果が異なる	**印刷データによっては、縮小すると印刷結果が異なる場合がある。** → プリンターでは、座標値などを縮小することにより縮小印刷を行っています。このときに、数値の丸め誤差が生じ、図形と図形の重なりなどが変わることにより、印刷結果が異なってしまう場合があります。
改行量がおかしくなり、徐々にずれてしまう	**一部のソフトウエアには、ソフトウエアの指定によって改行で用紙を排出するものがある。** → ソフトウエアの設定をシートフィーダー付きにするか、1ページの長さを67行(A4サイズの用紙の場合) に設定してください。
画面の文字と異なる文字が印刷された	**ご使用のコンピューター環境に最も適した方法でプリンターを指定していない。** → 2章「プリンターソフトウエアのインストール」(49ページ)を参照してください。 **適切なエミュレーションモードを選択していない。** → 7章「メニューモード」(327ページ) を参照して、エミュレーションモードを選択し直してください。 動作自動設定を選択している場合は、動作モード設定にて正しいエミュレーションを選択し直してください。 **プリンターケーブルがきちんと接続されていない。** → プリンター側とコンピューター側の接続状態を確認してください。 **プリンターバッファーや切り替え器を使用している。** → プリンターバッファーや切り替え器を使用しない接続方法に変更してください。
白紙が出る	**ソフトウエアのプリンター設定がシートフィーダー付きになっている。** → シートフィーダー付きになっている場合は、メニューモードで136桁モードを有効にしてください。
両面印刷が正しく機能しない	**両面印刷ユニット(オプション)が正しく取り付けられていない。** → 両面印刷ユニット(オプション)が正しく取り付けられているか確認してください。 **メニューモード、メモリースイッチが合っていない。** → メニューモード、メモリースイッチの両面印刷に関する設定を確認してください。 **セットされている用紙サイズが合っていない。** → 両面印刷はA3、A4、A5、B4、B5、レターサイズでしか機能しません。セットされている用紙サイズを確認してください。 **セットされている用紙の種類が合っていない。** 5章「用紙のセット」(297ページ)を参照してセットされている用紙の種類を確認してください。 **メモリースイッチ5-1がONになっている。** → メモリースイッチ5-1を「OFF」にしてください。特定の環境下で同期コードを有効にし、アプリケーションがページごとに同期を取っている場合には、正しく機能しないことがあります。
丁合い印刷ができない または多部数印刷ができない	**プリンターと双方向通信ができない。** → 本章の「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」(401ページ)を参照してください。 → 双方向通信が行えない環境の場合は、電子ソート機能を有効にする必要があります。電子ソート機能を有効にするためにはプリンターにメモリーまたは、ハードディスクを増設し、プリンタードライバーの設定を変更する必要があります。詳しくは、4章の「電子ソート機能」(226ページ)をご覧ください。 → アプリケーションの丁合い印刷、または部数印刷を設定してください。

症　状	原因と対処方法
印刷速度が遅い	**プリンターバッファーなどを取り付けている。** →　コンピューター本体とプリンターを市販のプリンターバッファー、プリンター切り替え器、プリンター共有器、コピープロテクターなどで接続している場合には、プリンタードライバーの双方向通信機能を無効にする必要があります。本章の「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」（401ページ）を参照して、双方向通信機能を無効にしてください。 **プリンターと双方向通信ができない。** →　本章の「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」（401ページ）を参照してください。 **Microsoft Windowsのターミナルサービスの環境で印刷している。** →　本章「その他の注意事項」（402ページ）を参照してください。 **プリンターとコンピューターの双方向通信が設定されていない。** →　PrintAgentで双方向通信をサポートする設定になっていることを確認してください。 →　ご使用のプリンターケーブルは正しいものが使われているかどうか確認してください。
リプリント機能が使用できない	**[リプリント機能を使用する]がチェックされていない。** →　[プロパティ]ダイアログボックスの[用紙]シートを開き、確認してください。 **[リプリント機能を提供する]がチェックされていない。** →　[PrintAgentのプロパティ]を開き、確認してください。（ネットワーク共有プリンターをご使用の場合は、サーバー上の[PrintAgentのプロパティ]を開き、設定を確認してください。）
選択しているホッパーから印刷されず、別のホッパーから印刷される	**選択しているホッパーが[アイシ]に設定されている。** →　[アイシ]を設定解除するか、現在使用しているホッパーを別のホッパーに変更してください。
リレー給紙ができない	**リレー前とリレーされるホッパー（トレー）の用紙サイズが違うか、リレー前と後のホッパー（トレー）が共にリレーONになっていない。** →　同じサイズ、同じ向きに用紙をセットしてください。メニューモードでリレーしたいホッパーとリレー前のホッパー（トレー）を共にONにします。

オフセット排紙機能が動作しないときは

データを送ったが、オフセット排紙が機能しなかった場合、ここで説明する項目を参照して原因の確認と対処を行ってください。

症　状	原因と対処方法
オフセット排紙機能が使用できない	**セットされている用紙サイズが合っていない。** → 「各用紙サイズでの動作対応表」（ユーザーズマニュアル　5章「印刷するには」）を参照してセットされている用紙のサイズを確認してください。 **［オフセット排紙機能］が選択されていない。** → Windows XP/2000/NT 4.0の場合は、［メイン］シートー［排出方法］ー［仕分け］、Windows Me/98/95の場合は、［出力制御］シートー［仕分け］で、［オフセット排紙］を選択してください。 → ネットワーク環境で共有プリンターとして使用しているすべての利用者（クライアント）の設定をプリンタードライバーで［オフセット排紙］を選択してください。また、印刷する場合は、メニューモードまたは、プリンタードライバーで用紙の種類を普通紙、または厚紙種類設定ダイアログにボックスで［厚紙1］に設定してください。 **プリンターで双方向通信ができない。** → 双方向通信ができない場合には、ハードディスクまたは64MB以上の増設メモリーを取り付けてください。＊ 本章の「PrintAgentシステムが起動しないときは」（394ページ）を参照してください。 **ステープル機能が有効になっている。** → Windows XP/2000/NT 4.0の場合は、［メイン］シートー［排出方法］ー［フィニッシャ］、Windows Me/98/95の場合は、［出力制御］シートー［排出方法］ー［フィニッシャ］で、ステープル機能を無効にしてください。
オフセット排紙機能がうまく働かない	**丁合い機能が正しく選択されていない。** → アプリケーションの印刷機能から丁合い機能を指定している場合は正しく機能しません。アプリケーションの指定を外してください。 **すべてのクライアントがオフセット排紙機能を使用できる設定になっていない。** → ネットワーク環境で共有プリンターとして使用しているすべてのクライアントが［オフセット排紙機能］が選択されていることを確認してください。
PrintAgent リプリント2でオフセット排紙機能が設定できない	**プリンタードライバーの給紙方法が［自動］以外の設定で印刷された印刷ジョブを選択している。** → 用紙サイズがオフセット対応していない場合、またはリプリント2の印刷ドキュメント一覧情報でオフセット排紙が［不可］になっているジョブの場合です。用紙サイズを変更してください。また、オフセット排紙機能が可能なジョブを選択してください。
PrintAgent リプリント2でジョブ結合したとき、オフセット排紙機能が設定できない	**用紙サイズが正しくない。** → 結合するジョブを同じサイズで設定された印刷ジョブにしてください。

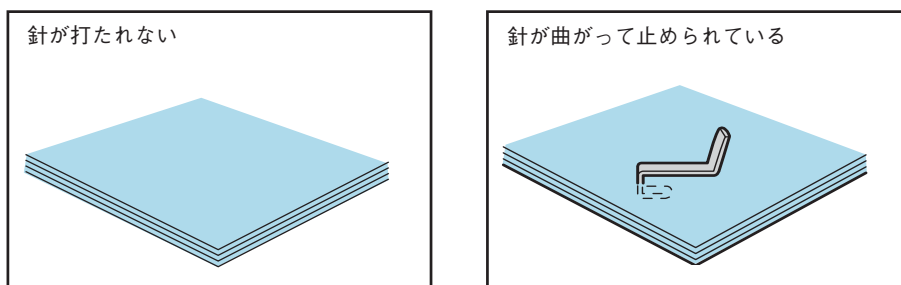
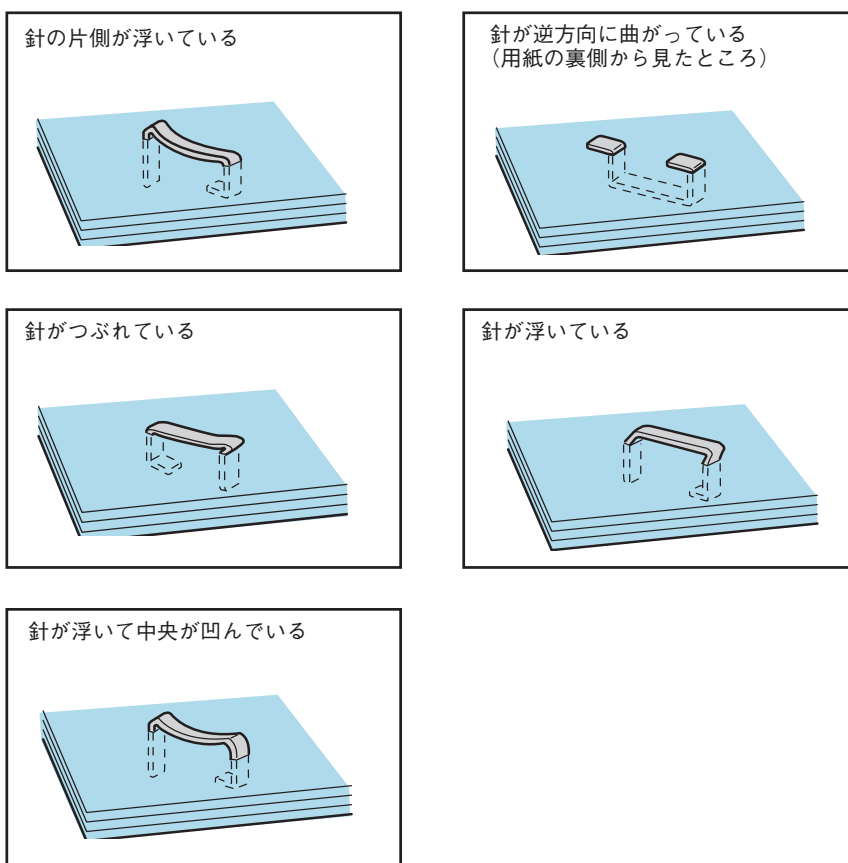
＊　ハードディスクまたは64MB以上の増設メモリーが取り付けられていない場合は、オフセット排紙機能を使用する設定にしても、丁合印刷した文書で部毎のオフセット排紙ができません。また、この条件を満たした場合でも、印刷文書の内容や量によっては、印刷できない場合があります。

フィニッシャー機能がうまく動作しないときは

ステープルとパンチを使った印刷をしようとしたが正常に機能しなかった場合、ここで説明する項目を参照して原因の確認と対処を行ってください。

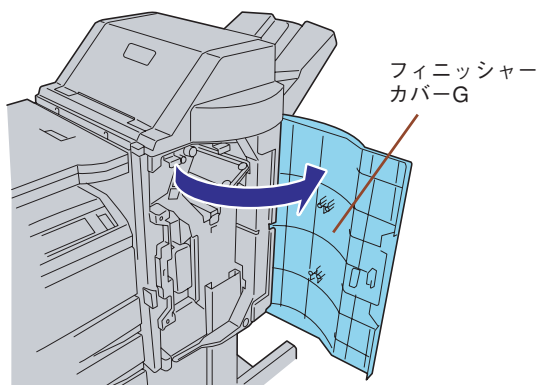
症　状	原因と対処方法
ステープルどめできない	**印刷ページ数が多すぎる。** → ステープルの最大用紙枚数は、50枚です。それ以上の枚数のステープルはできません。 **用紙サイズが合っていない。** → ユーザーズマニュアルの「各用紙サイズでの動作対応表」（118ページ）を参照して、セットされている用紙のサイズを確認してください。 **用紙種類が合っていない。** → ステープルできる用紙は普通紙（64～105g/m^2）のみです。ユーザーズマニュアルの「各用紙種類での動作対応表」（119ページ）を参照して、セットされている用紙の種類を確認してください。 **「フィニッシャ設定」が正しく設定されていない。** → プリンタードライバーのフィニッシャー設定で「ステープルあり」に設定してください。
パンチできない	**用紙サイズが合っていない。** → ユーザーズマニュアルの「各用紙サイズでの動作対応表」（118ページ）を参照して、セットされている用紙のサイズを確認してください。 **用紙種類が合っていない。** → パンチできる用紙は普通紙（64～105g/m^2）のみです。ユーザーズマニュアルの「各用紙種類での動作対応表」（119ページ）を参照して、セットされている用紙の種類を確認してください。
フィニッシャーに用紙を排出できない	**「フィニッシャ設定」が正しく設定されていない。** → プリンタードライバーのフィニッシャー設定で「パンチあり」に設定し直してください。 **用紙サイズが合っていない。** → ユーザーズマニュアルの「各用紙サイズでの動作対応表」（118ページ）を参照して、セットされている用紙のサイズを確認してください。 **用紙種類が合っていない。** → ユーザーズマニュアルの「各用紙種類での動作対応表」（119ページ）を参照して、セットされている用紙の種類を確認してください。

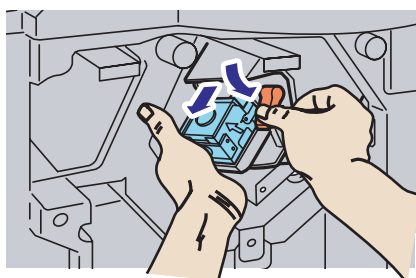
ステープルどめがうまくいかないときは

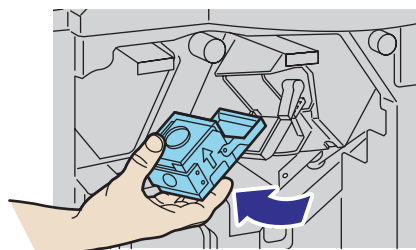
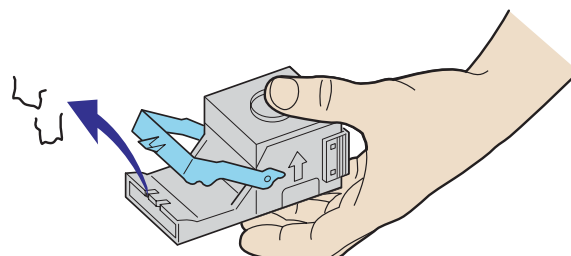
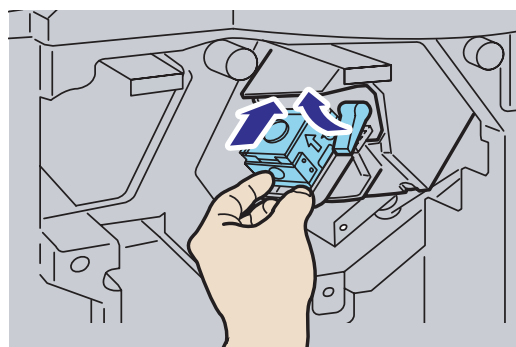
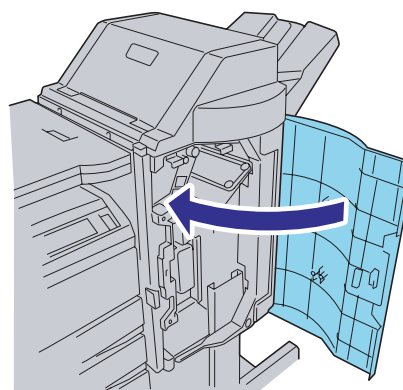
フィニッシャーでステープルどめをした場合のトラブルについて説明します。針が打たれなかったり、針が曲がってとめられているときは、ステープル本体を確認します。次のページからの処置方法に従ってください。

下図のように針が打たれているときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

チェック

- ステープルどめできるのは坪量64.0g/m^2~105.0g/m^2(連量55kg～90kg)の普通紙、最大50枚までです。
- ステープルどめをする場合は、用紙サイズ、用紙方向をそろえてホッパーに用紙をセットしてください。また、合紙をセットする場合も、同一サイズ、同一方向に用紙をセットしてください。

針づまりの処理手順

フィニッシャーでステープル針がうまく打たれなかったり、針が曲がってとめられているときは、ステープル本体を確認します。以下の処置方法に従ってください。

❶ **フィニッシャーカバーGを開ける。**

❷ **オレンジ色のレバーを図のように押し、ステープルカートリッジを取り出す。**

チェック

ステープル針の落下を防ぐために、必ずカートリッジの下に手を添えてください。

❸ **ステープルカートリッジのカバーを開け、つまっている針を取り除く。**

❹ **ステープルカートリッジをオレンジ色のレバーが元の位置に戻るまで押し込む。**

❺ **フィニッシャーカバーGを閉じる。**

PrintAgentシステムが起動しないときは

PrintAgentシステムが動作しないときの症状とその原因、対処方法を示します。それぞれの方法に従って対処してください。

<table>
<tr><th>症　状</th><th>原因と対処方法</th></tr>
<tr><td>画面上にPrintAgentのシステムアイコンが表示されていない</td><td>[PrintAgentのプロパティ]ダイアログボックスで[システムを自動的に起動する]をチェックしていない。
→　チェックしてください。Windows XP/2000/NT 4.0の場合は次回ログオン時から、Windows Me/98/95の場合は次回起動時から自動的に表示されます。
PrintAgentを終了している。
→　[スタート]－[プログラム]－[MultiWriter 4550]－[PrintAgentシステム起動]を実行してください。</td></tr>
<tr><td>PrintAgentが機能しない</td><td>PrintAgentシステムファイルが削除された。インストール、またはアンインストールの失敗などによりPrintAgentが正しくインストールされていない。
→　Windowsを再起動して、PrintAgentをアンインストールします。再び、Windowsを再起動して、プリンターソフトウエアを再インストールしてください。
マルチプロトコルLANアダプタ(型番：PR-NPX-05)を使用している。
→　マルチプロトコルLANアダプタ(型番：PR-NPX-05)は、PrintAgentには対応していません。マルチプロトコルLANアダプターに添付のソフトウエアをご利用ください。</td></tr>
<tr><td>双方向機能が有効になっていない</td><td>Windowsのポートが正しく設定されていない。
<table>
<tr><th>OS</th><th>パラレルインターフェース接続</th><th>LAN接続</th></tr>
<tr><td>Windows XP/2000</td><td>LPTx</td><td>NEC Network Port</td></tr>
<tr><td>Windows NT 4.0</td><td>LPTx</td><td>NEC Network Port</td></tr>
<tr><td>Windows Me/98/95</td><td>LPTx</td><td>NEC TCP/IP Printing System</td></tr>
</table>
→　双方向通信が可能なポートに接続していることを確認してください。
上記のポート以外を設定して印刷を行う場合には、プリンターのプロパティで双方向通信を無効(サポートしない)に設定してください。
→　プリンターのプロパティで双方向通信を有効(サポートする)に設定してください。本章の「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」(401ページ)を参照してください。</td></tr>
</table>

プリンタステータスウィンドウがおかしいときは

プリンタステータスウィンドウでプリンター状態を表示しなかったり、表示内容がおかしいときは、ここで説明する項目を参照して原因の確認と対処を行ってください。

症　状	原因と対処方法
プリンタステータスウィンドウが[スタート]メニューに登録されていない	**カスタムインストールによって、インストール対象とされなかった。** → システムの管理者にご相談ください。 **必要なファイルが削除されている。** → PrintAgentを再インストールしてください。
使用したいプリンターのプリンタステータスウィンドウが選択できない	**プリンタフォルダーに「NEC MultiWriter 4550」のプリンターが登録されていない。** → PrintAgentおよび、プリンタードライバーをインストールしてください。 **プリンタードライバーが変更されている。** → プリンタードライバーを変更すると、誤動作の原因となります。プリンタードライバーを削除し、再度プリンタードライバーをインストールしてください。
プリンタステータスウィンドウが起動しない	**プリンターのアクセス権がない。** → 権限を確認してください。 **必要なファイルが削除されている。** → PrintAgentを再インストールしてください。 **コンピューターのメモリー不足。** → 必要のないアプリケーションを終了してください。 **プリンターポートを直接アクセスしてプリンターの状態を監視するユーティリティーが使用されている。** → コンピューターで使用されているユーティリティーに応じて、プリンターの監視を行わないように設定してください。 **ドメインに参加していない。** → ドメインに参加していないWindows XPのコンピューターをプリントサーバーとして、クライアントから印刷を行った場合、ドキュメントの所有者が[Guest]となり、プリンタステータスウィンドウがポップアップしない場合があります。ドメインに参加してください。詳しくは、OSのヘルプをご覧ください。
プリンタステータスウィンドウがプリンターの状態を正しく表示しない（続く）	**最新のステータスを取得していない。** → プリンタステータスウィンドウの[最新のステータスに更新]ボタンをクリックしてください。 **14ピンパラレルインターフェースでプリンターを接続している。** → このインターフェースではプリンターの情報を取得することができず、プリンタステータスウィンドウの機能が大幅に制限されます。プリンタ増設インタフェースボード（PC-9801-94）をお使いになることをお勧めします。 **プリンターが直接つながっているコンピューターで双方向通信ができない設定になっている。** → Windows XP/2000/NT 4.0：［プリンタのプロパティ］の［ポート］-［双方向サポートを有効にする］をチェックしてください。 Windows Me：［プロパティ］の［詳細］-［スプールの設定］-［このプリンタの双方向通信機能をサポートする］を選んでください。 Windows 98/95：［プロパティ］の［詳細］-［スプールの設定］-［このプリンタで双方向通信機能をサポートする］を選んでください。

症　状	原因と対処方法
プリンタステータスウィンドウがプリンターの状態を正しく表示しない(続き)	**プリンターが直接つながっているコンピューターのOSがWindows XP/2000/NT 4.0でプリンタープールを使用している。** → Windows XP/2000/NT 4.0上のすべてのプリンターのプロパティの[ポート]-[プリンタプールを有効にする]のチェックを外してください。 **お使いのコンピュータープリンターポート(パラレルポート)の設定とプリンターのI/F設定が異なっている。** → 双方の動作設定を合わせてください。「PrintAgentの制限事項」(403ページ)を参照してください。
プリンタステータスウィンドウの音声メッセージが通知されない	**音声がインストールされていない。** → 標準インストールでは音声はインストールされません。アプリケーションの追加と削除で音声を選択してインストールしてください。(70ページ参照) **音声を通知しない設定になっている。** → [通知形式のプロパティ]の設定を確認してください。 **[PSWのプロパティ]の[自分のドキュメントを印刷していないときの設定]が「自動起動する」になっていない。** → 自分のドキュメントを印刷していないときの音声メッセージは「自動起動しない」と設定されているときは通知されません。「エラー発生時にウィンドウで自動起動する」と設定されているときはエラー時のみ通知されます。 **ボリューム、Windowsのサウンド設定が変更されている。** → 設定を確認してください。
プリンタステータスウィンドウ上から印刷ドキュメントの削除ができない	**印刷ドキュメントがすでにプリンターへ送られてしまった。** → すでにプリンターへ送信済みのドキュメントに対しては、削除できません。 **プリンターのアクセス権がない。** → ネットワーク管理者に権限を確認してください。 **印刷先がネットワーク共有プリンターである。** → ネットワーク共有プリンターのサーバーのOSがWindows XP/2000/NT 4.0の場合は、クライアントでプリンターをインストール(作成)した直後は削除できません。いったんクライアント側のOSを「ログオフ」→「ログオン」してください。
プリンタステータスウィンドウが自動起動しない、または自動起動してしまう	**[PSWのプロパティ]の設定が変更されている。** → 設定を確認してください。詳細は4章の「プリンタステータスウィンドウ」(262ページ)を参照してください。 **LANボードまたはLANアダプターを装備したLANプリンターに直接接続して使用している。** → LANプリンターをサーバーを介さずに使用している場合は[PSWのプロパティ]で[自分のドキュメントを印刷していないとき]の起動条件として[印刷中にアイコンで自動起動する]を設定しても、他の人の印刷時には自動起動しません。ただし、この場合でもエラー発生時には自動起動を行います。
プリンターの構成情報の表示内容が実際の構成と異なっている	**プリンターが双方向通信できないインターフェースで接続されている。もしくはプリンターがバッファーなどを経由して接続されている。** → プリンターの現在の設定は読み込むことはできません。双方向通信できないときは、初期状態として最大構成が入っています。この場合の構成はプリンタードライバーから設定が可能です。詳しくは、プリンタードライバーのヘルプをご確認ください。 **プリンターの情報をうまく取得できない。** → ネットワークのトラフィックの状況や上位ホストの処理状況により、正しくプリンターの情報が取得できなかったと思われます。プリンターの電源を入れ直してください。情報の更新を行ってください。

リプリント機能が動作しないときは

リプリントがうまくいかなかった場合、ここで説明する項目を参照して原因の確認と対処を行ってください。

症　状	原因と対処方法
リプリント機能が使用できない	**[リプリント機能を提供する]がチェックされていない。** → PrintAgentのプロパティを開き、確認してください。(ネットワーク共有プリンターをご使用の場合は、サーバー上のPrintAgentのプロパティを開き、設定を確認してください。) **プリンターが直接つながっているコンピューターで双方向通信ができない設定になっている。** → Windows XP/2000/NT 4.0：[プリンタのプロパティ]の[ポート]ー[双方向サポートを有効にする]をチェックしてください。 Windows Me：[プロパティ]の[詳細]ー[スプールの設定]ー[このプリンタの双方向通信機能をサポートする]を選んでください。 Windows 98/95：[プロパティ]の[詳細]ー[スプールの設定]ー[このプリンタで双方向通信機能をサポートする]を選んでください。 → 1章の「使用できるプリンターケーブル」(47ページ)を参照して、ご使用のプリンターケーブルは正しいものが使われているかどうかチェックしてください。 **PrintAgent リプリントがインストールされていない。** → PrintAgent リプリント2を追加インストールしてください。(252ページ参照) **プリンタードライバーがインストールされていない。** → 2章「プリンターソフトウエアのインストール」(49ページ)を参照して、ご使用のプリンターのプリンタードライバーをインストールしてください。
リプリントしたい印刷ジョブが蓄えられない	**[リプリント機能を使用する]がチェックされていない。** → Windows XP/2000：[印刷設定]ダイアログボックスの[メイン]シートで機能選択バーの[リプリント]を選択し、確認してください。 Windows NT 4.0：[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスの[メイン]シートで機能選択バーの[リプリント]を選択し、確認してください。 Windows Me/98/95：[プロパティ]ダイアログボックスの[出力制御]シートを開き、確認してください。 **ドメインに参加していない。** → ドメインに参加していないWindows XPのコンピューターをプリントサーバーとして、クライアントから印刷を行う場合リプリント機能は利用できません。ドメインに参加してください。詳しくは、OSのヘルプをご覧ください。
蓄えられた印刷ジョブがなくなった	**印刷ジョブのスプールサイズが大きい。** → [PrintAgentのプロパティ]ダイアログボックスを開き、[リプリント機能の設定]ダイアログボックスでディスク領域を大きくしてください。(254ページ参照) **ドキュメント数が制限を超えている。** → [PrintAgentのプロパティ]ダイアログボックスを開き、[リプリント機能の設定]ダイアログボックスでドキュメント数の値を大きくしてください。(254ページ参照) **有効期限が過ぎている。** → [PrintAgentのプロパティ]ダイアログボックスを開き、[リプリント機能の設定]ダイアログボックスで有効期限の時間を長くしてください。(254ページ参照)

PrintAgentを正しく動作させるために

PrintAgentはネットワーク環境で使用することで、より効果を発揮します。以下はPrintAgentを正常に機能させるための注意事項をネットワーク関連の設定を中心に説明します。

PrintAgentを動作させる前に

PrintAgentをインストール/アンインストールする時の注意事項

PrintAgentをインストールまたはアンインストールする時は以下のことに注意してください。

- インストールプログラムを実行する前に、起動中のアプリケーションをすべて終了させてください。
- [PrintAgent セットアップ]のウィンドウが閉じるまで、CD-ROMやフロッピーディスクなどインストール元のメディアを取り出さないでください。
- PrintAgentのインストールまたはアンインストール終了後、再起動を促すメッセージが表示されることがあります。画面の指示に従ってコンピューターを再起動してください。
- インストール時に指定したPrintAgentソフトウエアのフォルダー(ディレクトリー)名を変更するとアンインストールできません。インストール時のフォルダー(ディレクトリー)名に戻してからアンインストールしてください。
- プリンターのプロパティダイアログボックスを表示している時、およびMultiWriterが印刷中の時は、PrintAgentをアンインストールすることができません。プリンターのプロパティダイアログボックスを閉じ、印刷が終了してからアンインストールしてください。
- Windows XP/2000、Windows NT 4.0で、インストールしようとしているコンピューターに他のユーザーがログオンしている場合は、インストールはできません。各ユーザーに切り替えてすべてのユーザーをログオフしてからインストールしてください。
- Windows XPにPrintAgentをインストールまたはアンインストールするユーザーは、アカウントの種類が[コンピュータの管理者]である必要があります。また、Windows 2000またはWindows NT 4.0にPrintAgentをインストールまたはアンインストールするには、[Administrators]または[Domain Admins]グループのメンバーである必要があります。
- Windows XP/2000、Windows NT 4.0でPrintAgentのインストールする場合、アクセス権により使用可能なユーザーが制限されているフォルダー(ディレクトリー)にインストールしないでください。
- Windows XP/2000、Windows NT 4.0で[プリンタの追加ウィザード]より、他のコンピューターに接続されたプリンターを指定してインストールしたプリンタードライバーをPrintAgentで使用している時に、さらに[プリンタの追加ウィザード]でローカル接続のプリンタードライバーをインストールする場合は、[現在のドライバを使う(推奨)]ではなく、[新しいドライバに置き換える]を選択してインストールしてください。
- Windows XPの場合は[コントロールパネル]の[プログラムの追加と削除]より、WIndows 2000/NT 4.0 、Windows Me/98/95xの場合は[コントロールパネル]の[アプリケーションの追加と削除]より起動したPrintAgentの追加と削除でPrintAgentオプションの追加をすると、セットアップに必要なファイル*を要求する画面が表示される場合があります。この場合は、以前にインストールで使用したプリンターソフトウエアCD-ROMを挿入するか、もしくはプリンターソフトウエアCD-ROMよりインストールプログラムを実行しカスタムインストールにてPrintAgentのオプションを追加してください。

* フロッピーディスクをご利用の場合、メッセージに従ってNMPSディスクを使用してください。

共有プリンターの利用/提供について

Windows XP/2000およびWindows NT 4.0で、共有プリンターの提供の設定は[コンピュータの管理者]およびAdministrators権限のある方が変更できます。

[共有プリンタを利用する]、[共有プリンタを提供する]は、通常はONのままで支障ありませんが、次の場合はOFFにすることをお勧めします。

- **ネットワークの回線速度が遅い**

  低速回線を経由する共有プリンターに対して、PrintAgentを使用すると、通信速度の関係でプリンタステータスウィンドウなどの操作がしにくかったり、状態の表示が遅れたりすることがあります。この場合は、[PrintAgentのプロパティ]で[共有プリンタを利用する]のチェックを外してください。ネットワーク共有プリンターについてのPrintAgentの双方向通信機能を無効にすることができます。

- **転送データ量に応じて課金されるネットワーク環境**

  転送データ量に応じて課金される従量課金制のネットワークを経由してPrintAgentを使用している場合に、PrintAgentの双方向通信によってデータ転送が発生し、課金されることがあります。
  考慮すべきネットワーク環境の例としては以下のケースがあります。

  - ネットワークプリンターが、公衆回線を経由した別のネットワーク上に存在する場合
  - プリントサーバー、DNSサーバー、WINSサーバーが公衆回線を経由した別のネットワーク上に存在する場合
  - ローカルネットワークの通信自体が課金ネットワークの場合

  これを避けたい場合にも、上記操作によってネットワーク共有プリンターについてのPrintAgentの双方向通信機能を無効にしてください。

- **コンピューターの処理能力が十分でない**

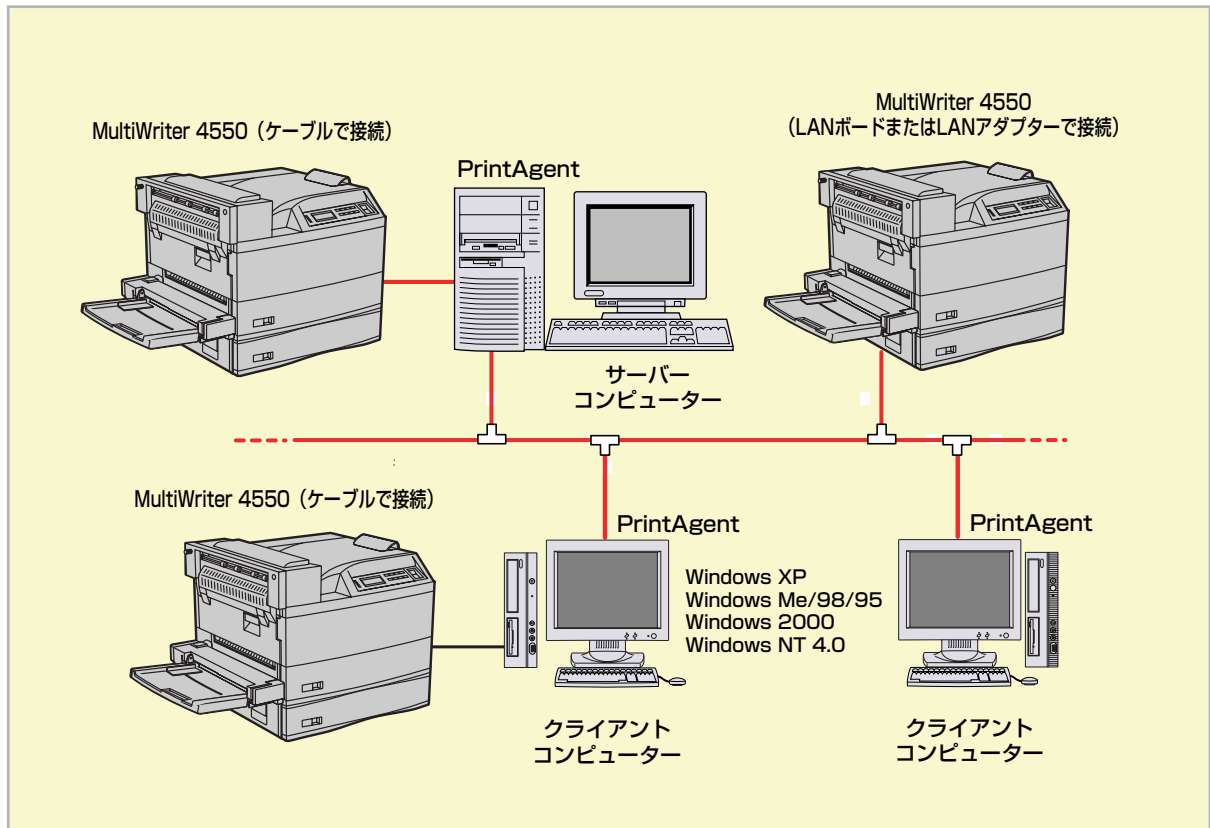
  コンピューターの性能があまり高くない場合、PrintAgentのご利用により、他の作業の処理速度に影響する可能性があります。この設定を外してもローカルに接続しているプリンターでは、引き続きPrintAgentがご利用になれます。

従量課金回線での課金を最小限(印刷時のみ)とするためには

- クライアントコンピューター側で[PrintAgentのプロパティ]の[共有プリンタを利用する]のチェックを外します。
- サーバーコンピューター側で[PrintAgentのプロパティ]の[共有プリンタを提供する]のチェックを外します。
- サーバーコンピューターがWindows XP/2000の場合は[プリンタのプロパティ]、Windows NT 4.0の場合は[デバイスプロパティ]の[ポート]－[双方向サポートを有効にする]のチェックを外してご利用ください。
- サーバーコンピューターがWindows Me/98/95の場合はプリンターの[プロパティ]の[詳細]－[スプールの設定]－[このプリンタの双方向通信機能をサポートしない]をチェックしてご利用ください。

クライアント・サーバーシステムでお使いの場合

PrintAgentをクライアント・サーバーシステムでお使いの場合、以下のことに注意してください。

- PrintAgentはローカルプリンターに対してもネットワーク上の共有プリンターに対しても使用できます。ただし、ネットワーク上で使われる場合PrintAgentソフトウエアはサーバーコンピューター、クライアントコンピューター両者にインストールされている必要があります。

- 1台のサーバーコンピューターに接続されたクライアントコンピューターの中でPrintAgentを使用するクライアントコンピューターは30台以下を推奨します。サーバーの性能やネットワークトラフィックによっては、印刷時にプリンターの状態情報が取得できなくなる、クライアントでオフライン作業になる、またはネットワークプリンターの状態が不明になる場合があります。このような場合、印刷時以外は[PrintAgentのプロパティ]の設定の[共有プリンタを利用する]のチェックを外してPrintAgentを動作させないようにするか、PrintAgentを終了させて運用してください。

- プリントサーバーコンピューターには64Mバイト以上のメモリーを搭載し、運用することを推奨します。（Windows XP/2000 日本語版をプリントサーバーコンピューターとしてご利用の場合には、256Mバイト以上を推奨します。）

PrintAgentの機能を十分に発揮させるために

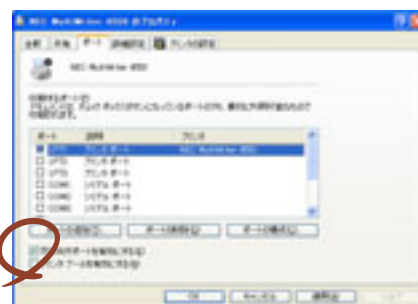
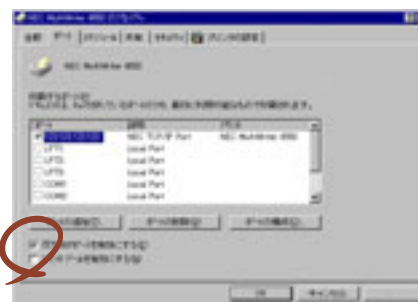
PrintAgentの機能を十分に発揮させるために、双方向通信でお使いになることをお勧めします。

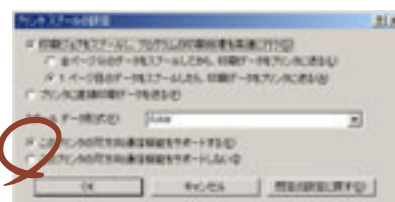
- 双方向通信が可能なポートに接続してください。

OS	パラレルインターフェース接続	LAN接続
Windows XP/2000	LPTx	NEC Network Port
Windows NT 4.0	LPTx	NEC Network Port
Windows Me/98/95	LPTx	NEC TCP/IP Printing System

上記の表以外のポートでご利用の場合には双方向通信を無効に設定してください。PrintAgentの機能はご利用になれません。

- 双方向通信を有効にしてください。

<Windows XP/2000の場合>
[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスの[ポート]シートで[双方向サポートを有効にする]をチェックする。

<Windows NT 4.0の場合>
[デバイスプロパティ]ダイアログボックスで[ポート]シートの[双方向サポートを有効にする]をチェックする。

<Windows Meの場合>
[プロパティ]ダイアログボックスの[詳細]-[スプールの設定]-[このプリンタの双方向通信機能をサポートする]を選択する。

<Windows 98/95の場合>
[プロパティ]ダイアログボックスの[詳細]-[スプールの設定]-[このプリンタで双方向通信機能をサポートする]を選択する。

その他の注意事項

PrintAgentを動作させる前に、以下のことに注意してください。

- ネットワーク共有プリンターが直接つながっているコンピューターのOSがWindows XP/2000/NT 4.0の場合、プリンタープールはサポートしていません。サーバーコンピューター上ですべてのプリンターのプリンタープールを無効にする必要があります。サーバーコンピューターWindows XP/2000の場合は[プリンタのプロパティ]、Windows NT 4.0の場合は[デバイスプロパティ]の[ポート]ー[プリンタプールを有効にする]のチェックを外してください。[プリンタプールを有効にする]をチェックした場合、プリンターの状態が正しく表示されません。権限がない場合は管理者に連絡してください。

- PrintAgentがサポートしているネットワークプロトコルはTCP/IPです。また、LANボード、無線LANボードまたは、LANアダプターを装着したプリンターと接続する場合、サポートしているネットワークプロトコルもTCP/IPのみです。

- PrintAgentはWindows 2000 Advanced Server、Windows 2000 Datacenter Server、Windows NT Server,Enterprise Edition 4.0のクラスタ機能を使ったクラスタリングシステム、あるいはWindows NT Server 4.0,Terminal Server Edition、Windows 2000のTerminal Serviceをインストールしたシステムには対応していません。これらのシステムでは、PrintAgentが正常に動作しない場合がありますので、PrintAgentをインストールしないでご利用ください。またこれらのシステムでご使用の際には、双方向通信に対応していないプリンタードライバーをお使いください。双方向通信に対応していないプリンタードライバーは添付のプリンターソフトウエアCD-ROMの以下に収録しています。

  ー Windows 2000対応ドライバー　：¥MW4550¥WIN2KTS
  ー Windows NT 4.0対応ドライバー　：¥MW4550¥NT40TSE

  プリンタードライバーのインストール方法については、3章「ターミナルサービス用プリンタードライバーのインストール」(149ページ)を参照してください。また、OSの「プリンタの追加」機能で上記のフォルダーを指定することでプリンタドライバーのインストールを行なうこともできます。

- PrintAgentをインストール時に指定するPrintAgentモジュールのフォルダー名(指定しなければ「PrintAgent」になります)はインストール終了後に変更しないでください。フォルダー名を変更するとアンインストールが正常に行えません。また、PrintAgentが正しく動作しません。Windows 3.1やDOS上でフォルダーの移動などを行うと、フォルダーの名前が「PRINTA~1」などに変わってしまう場合があります。

- プリンターソフトウエアをインストールする際に指定する出力ポート(インターフェースコネクター)に、プリンターインターフェース変換アダプターやプリンターバッファーを使用している場合、PrintAgentはご利用になれません。PrintAgentをインストールしないでご利用ください。また、PrintAgentを利用する場合は、出力ポート(インターフェースコネクター)からプリンターインターフェース変換アダプターやプリンターバッファーなどを取り外してお使いください。

- ドメインに参加していないWindows XPをプリントサーバーとしてご使用の場合、プリンタステータスウィンドウやリプリントが正しく動作しない場合があります。

- コンピューターのOSがWindows Me/98/95の場合でネットワークアダプターが他のインターフェースなどと同一の割り込み要求(IRQ)に設定されていると、Windows起動時にエラーが発生することがあります。このような場合は、使用していないインターフェースの割り込み要求(IRQ)を解放し、ネットワークアダプターで使用する割り込み要求(IRQ)と競合しないように設定を変更してください。割り込み要求(IRQ)の解放、変更についてはお使いのコンピューター、ネットワークアダプターの取扱説明書または各OSのヘルプなどを参照してください。

チェック

- 一部のコンピューターによっては、CPUの性能によりPrintAgentの動作が不安定または動作しないものがあります。
- PrintAgentはプリンタステータスウィンドウの表示に加えて音声メッセージを通知させることもできます。この機能を利用できるのはPCM録音・再生など「サウンド機能」を持ったコンピューターです。お手持ちのコンピューターが音声メッセージ機能を使用できるかどうかはコンピューターに添付のマニュアルをご覧ください。

PrintAgentの動作中は

コンピューターにPrintAgent対応プリンターが複数インストールされている場合、プリンタステータスウィンドウを表示させせるとき、ダイアログボックスで「プリンタの選択」を要求されることがあります。

PrintAgentの制限事項

- PrintAgentとプリンターポートを直接アクセスしてプリンターの状態を監視するユーティリティー(DMITOOLなど)を同時に使用すると正しく動作しない場合があります。このような場合は、お使いのユーティリティーに応じて、プリンターの監視を行わないように設定してください。

- プリンターとお使いのコンピューターのプリンターポート(パラレルポート)の設定が異なる場合、PrintAgentの動作に不具合が生じることがあります。(例えば、コンピューターはECPモード、プリンターはニブルモードといった場合です。)双方の設定を合わせてご使用ください。設定を変更する場合、お使いのコンピューターの取扱説明書を参照して、プリンターポート(パラレルポート)の設定を変更するか、プリンターの設定を変更してください。プリンターの設定を変更するには7章「メニューモード」(327ページ)を参照してください。

OSをアップグレードする場合

お使いのコンピューターのOSをアップグレードする場合、以下のことに注意してください。

- OSをアップグレードする前に、2章の「プリンタードライバーの削除」(66ページ)、「PrintAgentの追加・削除」(70ページ)の手順に従ってプリンタードライバー、およびPrintAgentを削除してください。OSをアップグレードした後に、再度プリンターソフトウエアをインストールしてください。

- 従来OS用のPrintAgentは、Windows XP/2000では使用できません。Windows Me/98/95、Windows NT 4.0/3.51からWindows XP/2000にアップグレードする場合は、PrintAgentをアンインストールしてからWindows XP/2000へのアップグレードを行ってください。OSのアップグレードが正しく行えた後に、Windows XP/2000に対応したPrintAgentをインストールし、ご使用ください。

チェック

- アップグレード前のOSがWindows NT 3.51で、他のMultiWriterシリーズやPrintAgent対応プリンターのPrintAgentをインストールしてご使用の場合、PrintAgentのアンインストールした後、Windows 2000へのアップグレードを行うと、正しくアップグレードできないことがあります。できなかった場合には、「PrintAgent Eraser」をWindows NT 3.51上で使用して、PrintAgentを削除してください。

- すでにOSをWindows XP/2000にアップグレードしてしまった場合、PrintAgentをアンインストールせずにWindows XP/2000上で「PrintAgent Eraser」を使用してPrintAgentを削除してください。

  「PrintAgent Eraser」は、添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている「￥PAeraser￥Readme.txt」をご覧ください。

ネットワークで思うように印刷できないときは

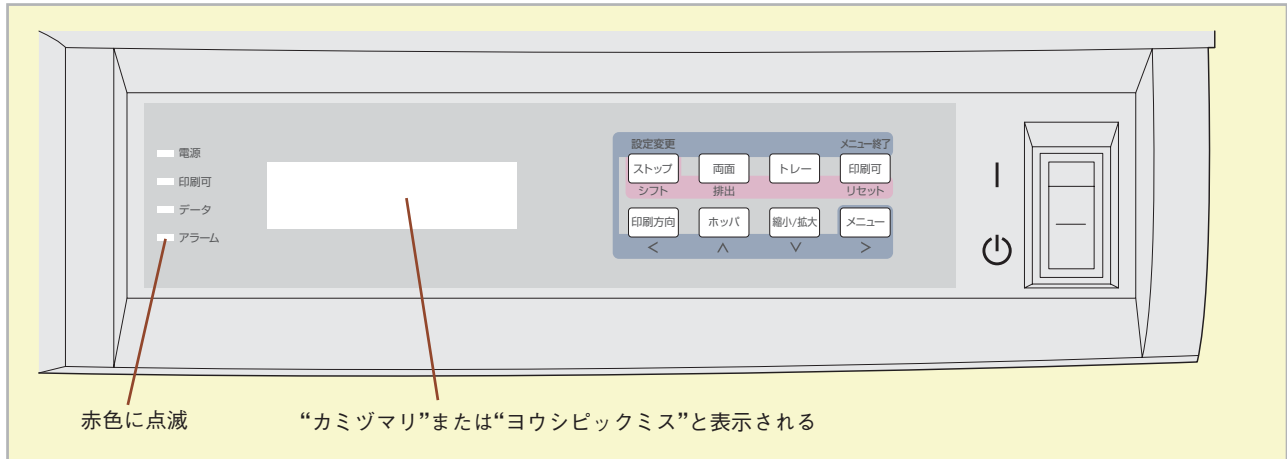
ネットワーク接続上の疑問およびネットワークを介しての印刷がうまくできないときは、プリンターの故障を疑う前にこのページを参照してください。

症状	原因と対処方法
	Windows XP/2000/Me/98/95をご使用の場合
プリンターに印刷できない。 プリンターがネットワーク上のホストコンピューターから見えない。	**1.　コンフィグレーションページを印刷して以下の項目を確認してください。** **LANボードをご使用の場合** →　ネットワークケーブルは正しく接続されていますか？ コンフィグレーションページ「Link Test」の結果が「OK」であることを確認してください。 →　プリンターのリンクランプ（緑色）は点灯していますか？ →　プリンターおよびHUBのリンクランプは点灯していますか？ ネットワークケーブルが抜けていないか、ハブの電源がONになっているか確認してください。 →　ネットワーク通信速度は正しく設定されていますか？ 「10BASE/100BASE」の設定が、接続されているハブの通信速度と一致していることを確認してください。「？」と表示されるときはHUBの通信設定を固定にしてください。 →　IPアドレスとサブネットマスクが正しく設定されていますか？ IPアドレスとサブネットマスクを確認してください。ルータを越えた環境ではゲートウェイアドレスを設定してください。 **無線LANボードをご使用の場合** →　無線ネットワーク環境に合った無線設定がされていますか？ 「Link Test」の結果が「OK」であることを確認してください。この時に、「No connection」の場合は、「Network Name」、「Access Point Name」、「Channel」、「Encryption」の結果を確認してください。無線ネットワーク環境に合った無線設定がされていないときは、ネットワーク設定の初期化を行い、再度設定することをお勧めします。 →　プリンターがセレクト状態で起動し、無線LANカードの電源ランプが点灯していますか？ 無線LANボードに添付の無線LANカード以外のPCカードが取り付けられている、無線LANカードの挿入が不十分、または無線LANボードの取り付け不十分が考えられます。36～37ページを参照して正しく取り付けてください。また、無線LANカード電源ランプと送受信ランプが10秒程度の間隔で点滅している場合は、無線LANボードとしては、正常に動作していますが、無線接続が確立していない状態です。ネットワーク設定の初期化を行い、再度設定することをお勧めします。 →　暗号キーやネットワーク名は間違っていませんか？ 暗号キーやネットワーク名が正しく設定されていないと、無線通信のセキュリティ機能により無線接続されません。この場合はネットワーク設定の初期化を行い、再度設定することをお勧めします。暗号キーを変更する場合は無線LANボードを先に変更し、その後にアクセスポイントやコンピューターの設定を変更してください。 **2.　コンピューターからPingコマンドを実行し、コンピューターとプリンターが通信できるか、以下の手順に従って確認してください。** →　＜Windows Me 日本語版の場合＞ ①　[スタート]－[プログラム]－[アクセサリ]－[MS-DOSプロンプト]を選択する。 ②　ping 123.123.123.123（「123.123.123.123」はプリンターのIPアドレス）。

症状	原因と対処方法
プリンターに印刷できない。 プリンターがネットワーク上のホストコンピューターから見えない。（続き）	（例） C:¥WINDOWS> ping 123.123.123.123 ［return］ Pinging 123.123.123.123 with 32 bytes of data: Reply from 123.123.123.123: bytes=32 time<10ms TTL=255 Reply from 123.123.123.123: bytes=32 time<10ms TTL=255 Reply from 123.123.123.123: bytes=32 time<10ms TTL=255 Reply from 123.123.123.123: bytes=32 time<10ms TTL=255 Ping statistics for 123.123.123.123: Packets: Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0% loss), Approximate round trip times in milli-seconds: Minimum = 0ms, Maximum = 0ms, Average = 0ms 応答がある場合は、コンピューター上のプリンターのプロパティを開いて[印刷先]を再度、確認してください。 また、プリンターの電源をOFFにして応答がないことを確認してください。 プリンターの電源を入れた状態で応答がない場合は、プリンター以外の機器（コンピューター）と通信できるか確認してください。また、コンピューターおよびプリンターのIPアドレスが適切かどうか確認してください。 IPアドレスは、コンピューターのIPアドレスが「192.168.0.1」のとき、プリンターのIPアドレスは「192.168.0.2」のようにネットワークの番号帯が一致している必要があります。プリンターのIPアドレスが「11.22.33.44」のように番号帯が異なる場合は、一致させるようにしてください。
コンフィグレーションページが印刷されない。	→ LANボード/LANアダプターは動作していますか？ LANボード/LANアダプターのステータスランプが点灯または点滅している場合は、再度プリンターの電源を入れ直してください。
印刷速度が遅い	→ 無線通信に影響を与えるものがプリンターの周辺にありませんか？ 無線LANボードは最大11Mbpsの無線通信速度に対応していますが、次のような周囲の環境によっては通信速度が低下する場合があります。 ● 近くに電子レンジなど同じ周波数帯の電波を放射する機器がある。 ● アクセスポイント等の通信相手との距離が離れていたり間に障害物がある。 ● プリンターが壁やパーティションに囲まれている。 コンフィグレーションページを印刷し、「Link Quality」の結果が「Good」以外の場合は設置場所の変更をお勧めします。
丁合い印刷、多部数印刷ができない。	プリンターと双方向通信が有効でない。 → PrintAgentは、IPP印刷、LPR印刷に対応していません。プリンタードライバーの双方向通信機能を無効にしてください。詳しくは、本章の「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」（401ページ）を参照してください。 → 丁合い印刷には、メモリー増設または、ハードディスク増設による電子ソート機能を利用することをお勧めします。詳しくは4章の「電子ソート機能」（226ページ）を参照してください。 → 丁合い印刷または部数印刷はアプリケーションの設定を行ってください。
SNMP Trapがホストコンピューターに送信されない。	→ ルーターを越えた環境にSNMPマネージャのコンピューターが存在する場合は、ゲートウェイアドレスの設定が必要になります。
SNMPに応答がない。	→ ホストコンピューターに設定されたコミュニティ名と同じコミュニティ名をLANボードに設定してください。
無線LANカードに添付のユーティリティから無線LANボードの接続が確認できない。	→ ご使用の無線LANカードに添付のユーティリティによっては、無線LANボードとの接続状態を表示できない場合があります。この場合は、ご使用のコンピューターからEASY設定ユーティリティを起動し、プリンタリストのウィンドウに接続先の無線LANプリンターが表示されることで接続状態を確認してください。

症状	原因と対処方法
Windows XP/2000をご使用の場合	
プリンターに印刷はできるが、正しく印刷されない。印刷の途中で操作パネルに「データガノコッテイマス」と表示される。データの最後の部分が欠けて印刷される。 白紙が印刷される。	→ IPアドレスが他の機器と重なっていないか確認してください。 → WWWブラウザーを起動し、プリンターのIPアドレスを指定して設定画面を開き、［印刷履歴］を設定し、不具合発生時にログにエラーが無いか確認してください。また、「LPRバイトカウントを有効にする」設定を有効にしてください。 → プリンターのプロパティを開いて、スプールの設定を「全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンターに送る」にしてください。 → Standard TCP/IP Port の設定を確認してRAW（9100）になっている場合はLPRに変更してください。 → Standard TCP/IP Port のLPRを用いて印刷している方は、「LPRバイトカウントを有効にする」を有効にしてください。 → パラレルインターフェースから正しく印刷できるか確認してください。
Windows NTをご使用の場合	
LPR印刷で、しばらくしてプリントマネージャーに「プリンタビジーまたはエラー」と表示される。	→ 他のジョブを印刷している場合に起こることがあります。プリンターが使用中であれば、しばらく待ってからデータを送り直してください。
LPRで印刷中に、ジョブがキャンセルされる。 「エラー」と表示した状態で停止する。	→ 印刷するページを少なくして、もう一度印刷してみてください。印刷できた場合は、Windows NTのSystemディレクトリーの空き容量が少ないことが考えられます。十分な空き容量を確保してください。
LPRで大量の印刷を行うと途中で印刷が止まる場合がある。	→ 12ジョブ以上の印刷で止まる場合はWindows NTシステムの設定による可能性があります。マイクロソフト社から提供されている「サポート技術情報」を参考に設定を確認してください。
Windows Me/98/95をご使用の場合	
プリンターに印刷はできるが、正しく印刷されない。印刷の途中で操作パネルに「データガノコッテイマス」と表示される。データの最後の部分が欠けて印刷される。	→ IPアドレスが他の機器と重なっていないか確認してください。 → WWWブラウザーを起動し、プリンターのIPアドレスを指定して設定画面を開き、［印刷履歴］を設定し、不具合発生時にログにエラーが無いか確認してください。 → プリンターのプロパティを開いて、スプールの設定を「全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンターに送る」にしてください。 → パラレルインターフェースから正しく印刷できるか確認してください。
UNIXをご使用の場合	
lprコマンドでデータを転送したが、文字が正しく印刷されない。	→ プリンター側のエミュレーションの設定が誤っている場合があります。エミュレーションの設定を確認してください。 → プリンターのコードに変換されていない場合があります。eucコードのフィルター設定を確認してください。フィルターの機能については、3章の「ネットワークでの設定」の「UNIX環境の設定」（152ページ）を参照してください。
putコマンドでデータを転送したが、最後のページが排出されない。	→ テキストファイル等の転送の場合、FFコードが付いていないことがあります。プリンター側で自動排出を設定してください。

紙づまりのときは

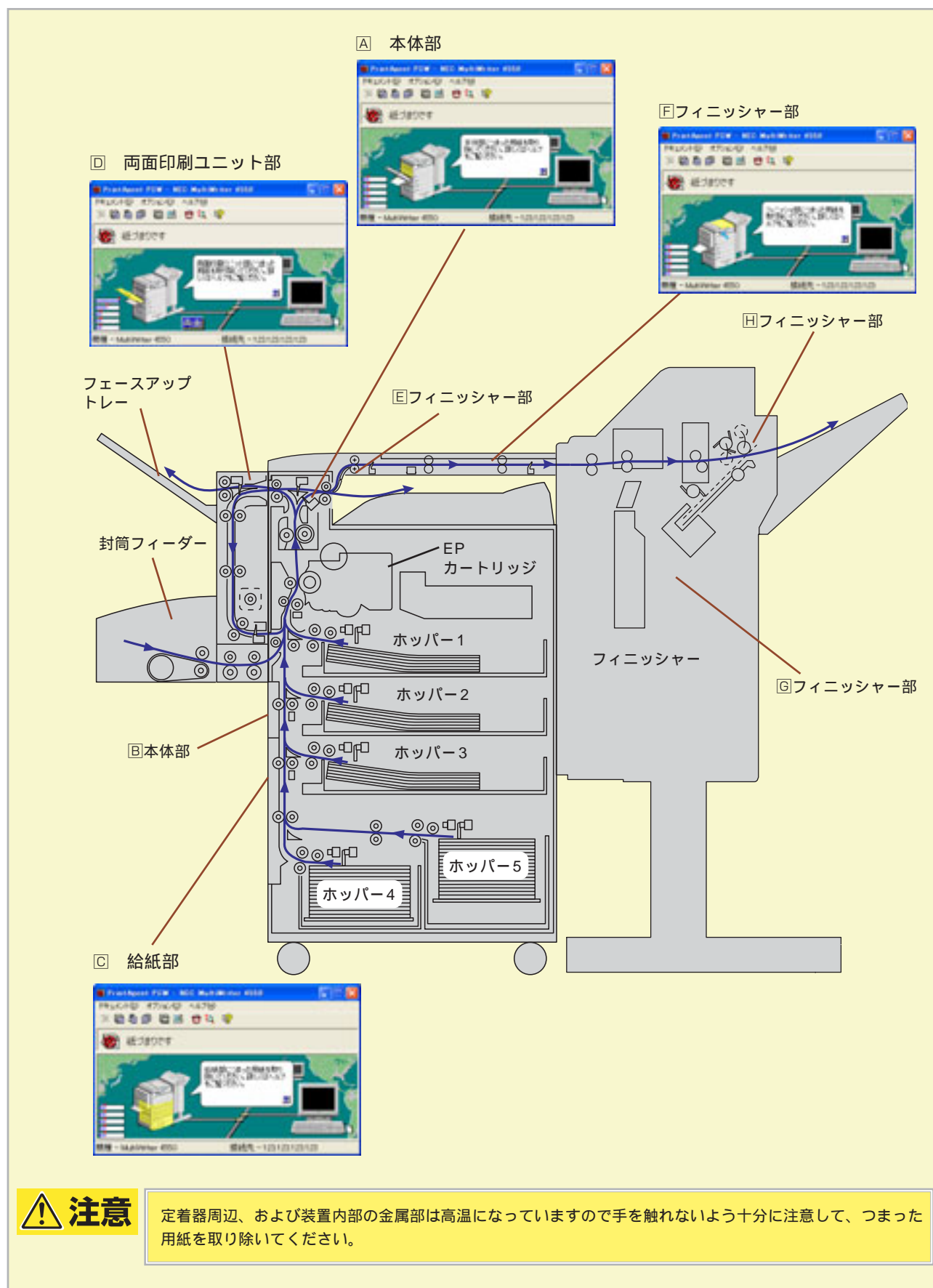
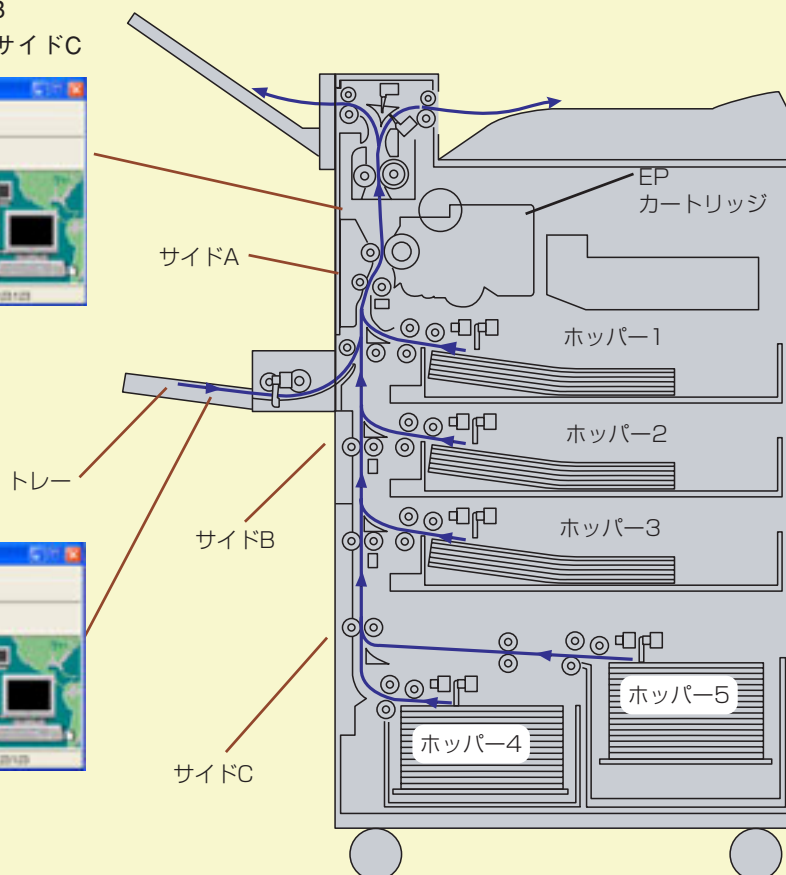
紙づまりが発生すると、操作パネルのアラーム(赤)ランプが点滅し、ディスプレイに“74　カミヅマリ”、または“83　ヨウシピックミス”と表示されます。同時にプリンターは印刷を中止し、ディセレクト状態(印刷可ランプが消灯)になります。

紙づまりの発生箇所

紙づまり、またはピックミス(用紙給紙ミス)のときのディスプレイ表示と発生箇所は次の表のとおりです。ディスプレイ下段の表示は紙づまり、またはピックミス(用紙給紙ミス)が発生している箇所を表しています。

ディスプレイ表示		紙づまり発生箇所
上段	下段	
“74　カミヅマリ”	“ホンタイ　サイドA　XX”	本体部　サイド　A
	“ホンタイ　サイドB　XX”	本体部　サイド　B
	“キュウシ　サイドC　XX”	給紙部　サイド　C
	“リョウメン”	両面印刷ユニット部　D
	“フィニッシャ　フィニッシャE　XX”	フィニッシャー部　E
	“フィニッシャ　フィニッシャF　XX”	フィニッシャー部　F
	“フィニッシャ　フィニッシャG　XX”	フィニッシャー部　G
	“フィニッシャ　フィニッシャH　XX”	フィニッシャー部　H
“83　ヨウシピックミス”	“ホッパ1　サイドA”	ホッパー1およびサイドA
	“ホッパ2　サイドB”	ホッパー2およびサイドB
	“ホッパ3　サイドB”	ホッパー3およびサイドB
	“ホッパ4　サイドC”	ホッパー4およびサイドC
	“ホッパ5　サイドC”	ホッパー5およびサイドC
	“トレー”	トレー部

XXには、任意の数字が表示されます。

次ページの図を参考にしてA、B、C、D、E、F、G、Hのいずれかを開けて、つまった箇所を調べてください。つまった箇所に応じて、410ページからの手順に従って用紙を取り除いてください。

A〜Hで示す網掛け部分が紙づまり、またはピックミスの発生箇所です。処理手順については次ページ以降を参照してください。

紙づまりの発生箇所
オプション（大容量ホッパー＋フィニッシャー＋両面印刷ユニット＋封筒フィーダー＋フェースアップトレー）装着時

ピックミスの発生箇所
オプション(大容量ホッパー＋フェースアップトレー)装着時

紙づまりの処理

発生箇所(A、B、C、D、E、F、G、H)に応じて、紙づまりの処理をしてください。

つまった用紙を取り除くことができたら、カバー類を閉めてください。完全に取り除かれていればアラームは解除され、自動的に印刷は再開されます。

紙づまりが頻発するようでしたら、「紙づまり、ピックミス処理後の確認」(426ページ)を参照して紙づまりを誘発させる事柄がないか確認してください。

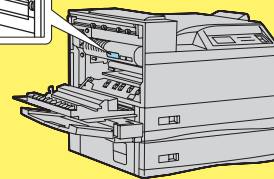
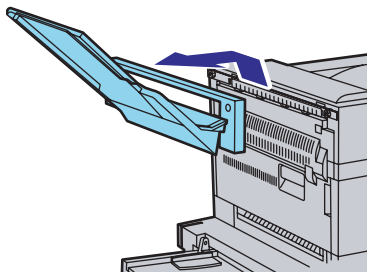
チェック

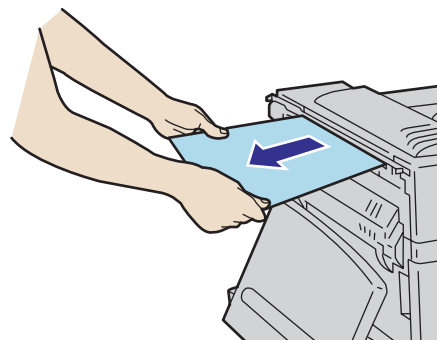
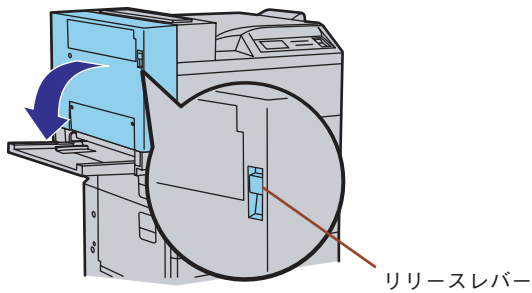
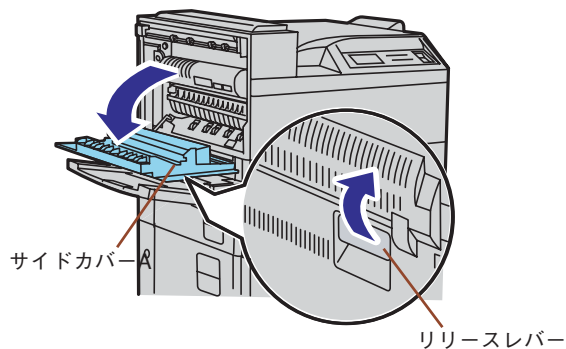
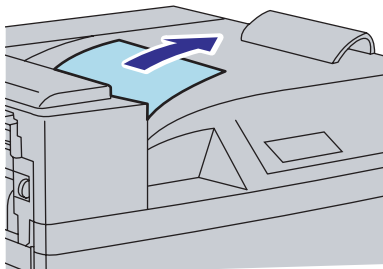
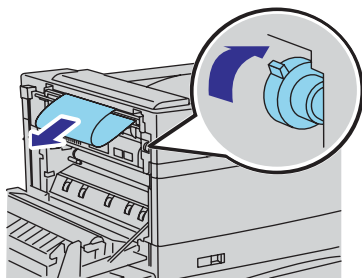
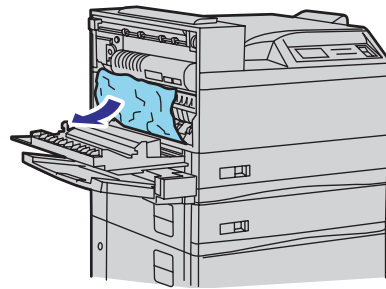
- つまった用紙は、以下の手順どおりに取り除いてください。無理に引き抜こうとすると、用紙が破れ、残った紙片がプリンターの正しい用紙送りを妨げることがあります。
- 紙づまりが発生した場合、つまった用紙が取り除かれると、紙づまりによって正しく排出されなかった用紙の印刷データから印刷を再開します。しかし、紙づまりが発生した位置によっては、正しく排出されなかった印刷データから印刷を再開できない場合があります。

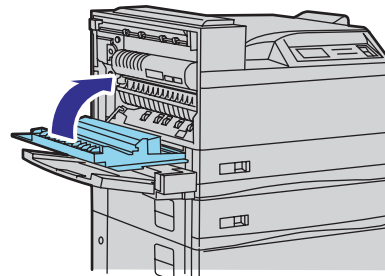
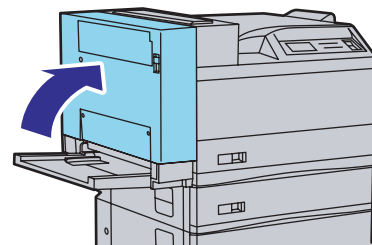
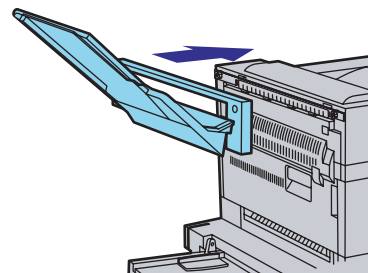
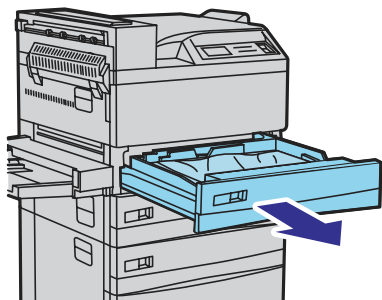
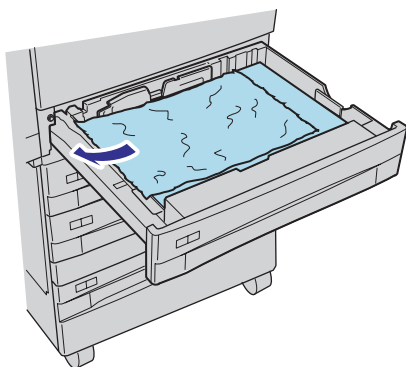
A　本体部の紙づまり

本体部で紙づまりが発生した場合の処理方法を説明します。

注意

高温注意を促すラベルが貼ってある箇所(定着器やその周辺)には、絶対に触れないでください。やけどのおそれがあります。
なお定着器に用紙が巻き付いているときには無理に取らないで、ただちに電源を切り、サービス担当者またはお買い求めの販売店にご相談ください。

❶ **フェースアップトレー(オプション)が装着されている場合はフェースアップトレーを持ち上げるようにして取り外す。**

❷ **フェースアップ排紙口につまっている用紙があったら、排紙方向にまっすぐ引き抜いて取り除く。**

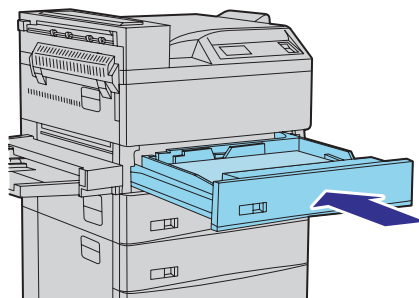
用紙がローラーにかかっていないときは、用紙をしっかりと持って手前にゆっくりと引き抜きます。

❸ 両面印刷ユニット（オプション）を装着している場合はリリースレバーを押し上げてゆっくりと開く。

❹ リリースレバーを引きながらサイドカバーAをゆっくりと開く。

❺ 排紙口につまっている用紙があったら、排紙方向にまっすぐ引き抜いて取り除く。

❻ 定着器に用紙がつまっていたら定着器に触れないように注意しながらノブを押しながら回して、用紙を矢印の方向に引き抜く。

❼ プリンター内に用紙が残っていないかどうかを確認し、あったら取り除く。

❽ サイドカバーAを閉じる。

つまった用紙が取り除かれていれば、アラームが解除され、自動的に印刷は開始されます。これで終わりです。

❾ 両面印刷ユニットを装着している場合は、両面印刷ユニットを閉じる。

❿ フェースアップトレーを装着している場合はフェースアップトレーを取り付ける。

⓫ **ホッパー1のカセットを引き出す。**

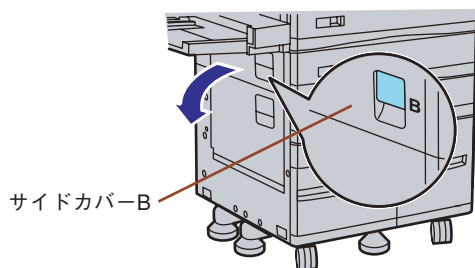
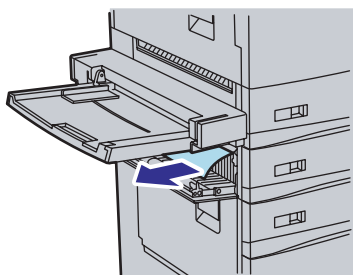
⓬ **用紙がつまっていたら取り除く。**

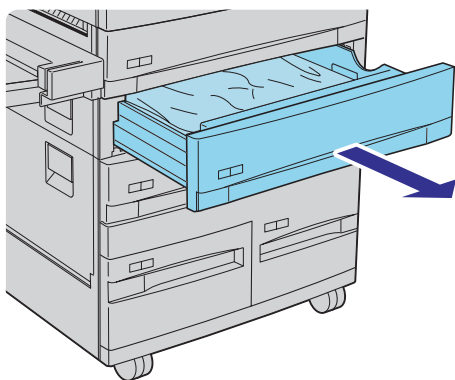
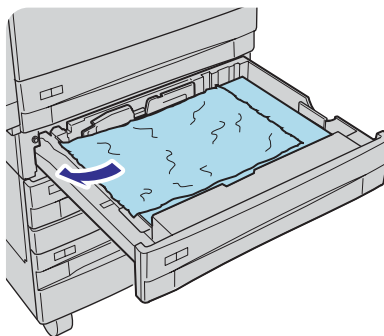
⓭ **用紙のセット方法、およびセットした用紙の種類が正しいか確認する。**

エンドガイドとサイドガイドの位置が正しいか確認してください。
「5章　用紙のセット」(297ページ)を参照してください。

⓮ **ホッパー1のカセットを奥に突き当たるまでゆっくりと押し込む。**

B　本体部の紙づまり

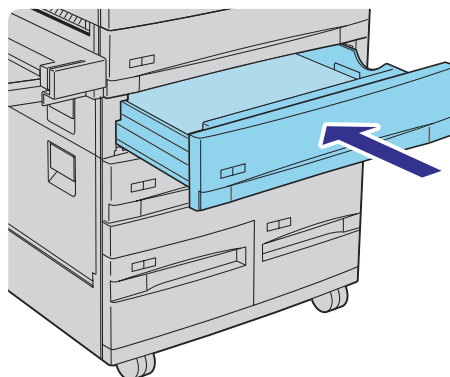
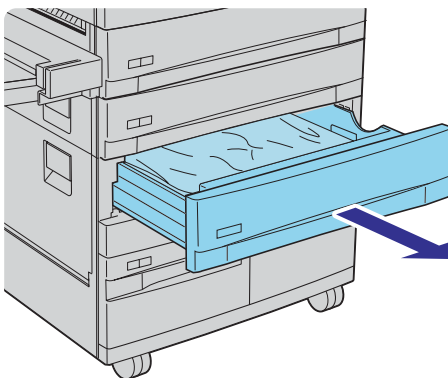
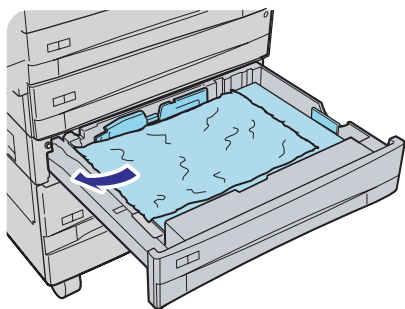
❶ **リリースレバーを引きながらサイドカバーBをゆっくりと開く。**

サイドカバーBを開けるために、トレーをたたんだり、封筒フィーダー（オプション）を取り付けている場合は封筒フィーダーを抜き出してください。

❷ **プリンター内に用紙が残っていないかどうかを確認し、用紙があったら取り除く。**

❸ **サイドカバーBを閉じる。**

❹ **ホッパー2のカセットを引き出す。**

❺ **用紙がつまっていたら取り除く。**

❻ **用紙のセット方法、およびセットした用紙の種類が正しいか確認する。**

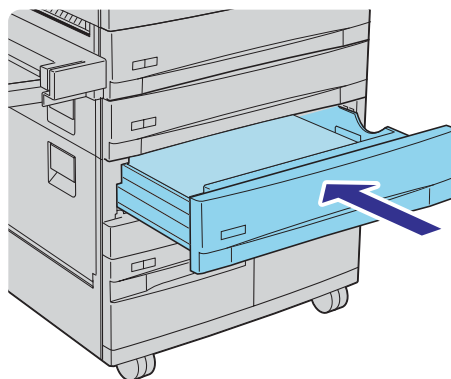
エンドガイドとサイドガイドの位置が正しいか確認してください。
「5章　用紙のセット」（297ページ）を参照してください。

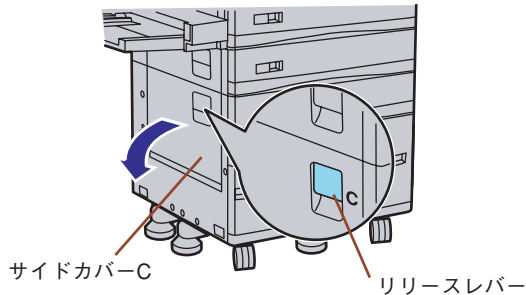
❼ **カセットをホッパー2の奥に突き当たるまでゆっくりと押し込む。**

❽ **ホッパー3のカセットを引き出す。**

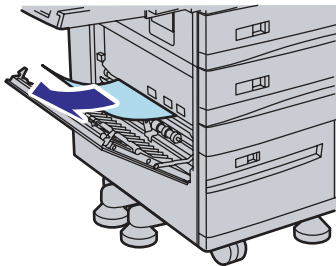
❾ **用紙がつまっていたら取り除く。**

❿ **用紙のセット方法、およびセットした用紙の種類が正しいか確認する。**

エンドガイドとサイドガイドの位置が正しいか確認してください。
「5章　用紙のセット」(297ページ)を参照してください。

⓫ **ホッパー3のカセットを奥に突き当たるまでゆっくりと押し込む。**

C 給紙部の紙づまり

給紙部で紙づまりが発生した場合の処理方法を、大容量ホッパーを装着した場合を例にして説明します。

❶ リリースレバーを引きながらサイドカバーCをゆっくりと開く。

❷ プリンター内に用紙が残っていないかどうかを確認し、用紙があったら取り除く。

❸ サイドカバーCを閉じる。

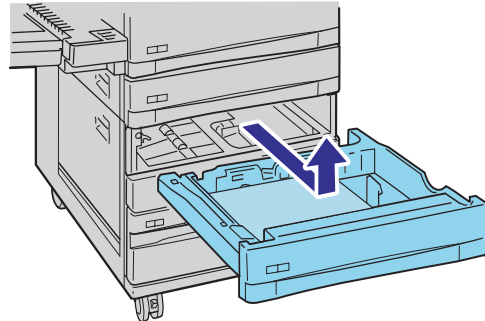
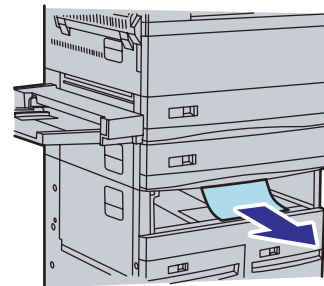
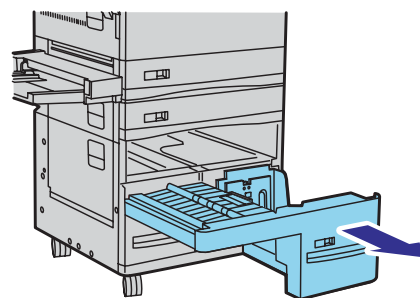
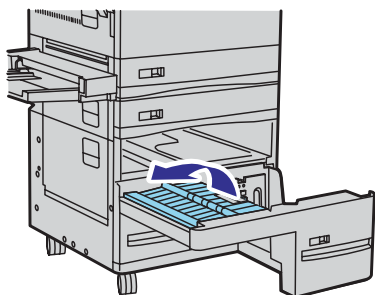
❹ ホッパー5のカセットが指定されている場合は、ホッパー3を引き出す。

ホッパー3のカセットをいっぱいに引き出し、持ち上げるようにして取り外します。

注意

用紙カセットを取り外すとき、用紙がセットされていると重くなっています。両手で持って取り外してください。

チェック

ホッパー3のカセットを取り外さずにホッパー5での紙づまり処置を進めると、中に紙片が残ってしまうことがあります。

❺ ホッパー5のカセットの上部に見えているつまった用紙を慎重に引き出す。

❻ ホッパー5のカセットを引き出し、つまっている用紙を取り除く。

❼ カバーの下につまっている用紙があったらカバーを開けて取り除く。

✔チェック

ホッパー5での紙づまりは、ホッパー5の中でも発生する場合があり、その場合でもディスプレイ上には“サイドC”と表示されます。よく見ると、「キュウシサイドC××」の番号が違っています。

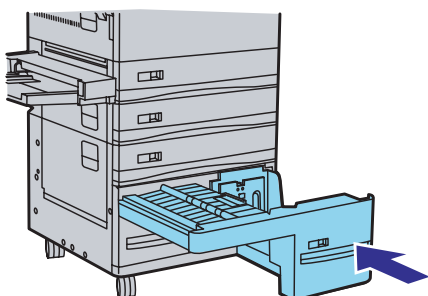
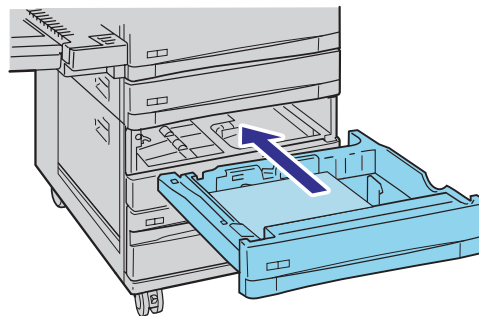
❽ 用紙のセット方法、およびセットした用紙の種類が正しいか確認する。

エンドガイドとサイドガイドの位置が正しいか確認してください。

「5章　用紙のセット」(297ページ)を参照してください。

❾ ホッパー5のカセットを奥に突き当たるまでゆっくりと押し込む。

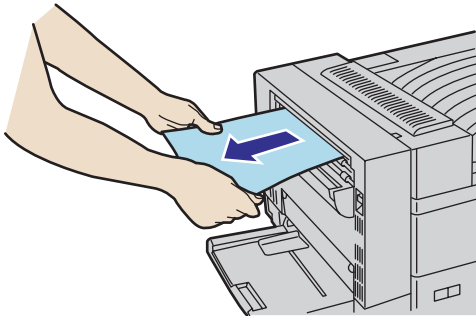
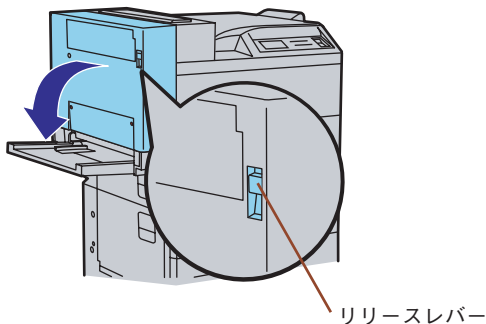
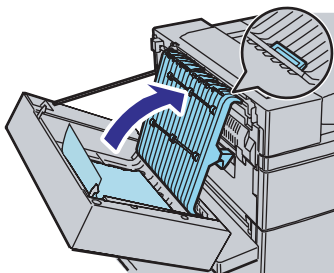
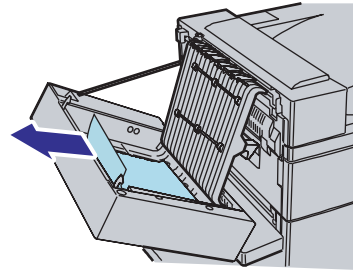
❿ ホッパー3のカセットを奥に突き当たるまでゆっくりと押し込む。

⚠注意

用紙カセットを取り付けるとき、用紙がセットされていると重くなっています。両手で持って取り付けてください。

D　両面印刷ユニット部の紙づまり

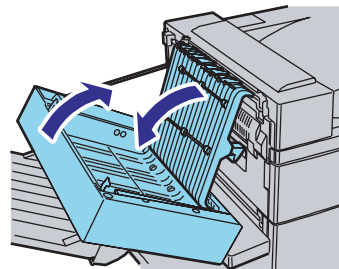
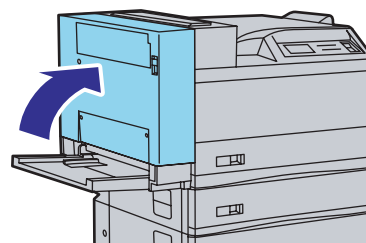
両面印刷ユニット部で紙づまりが発生した場合の処理方法を説明します。

チェック

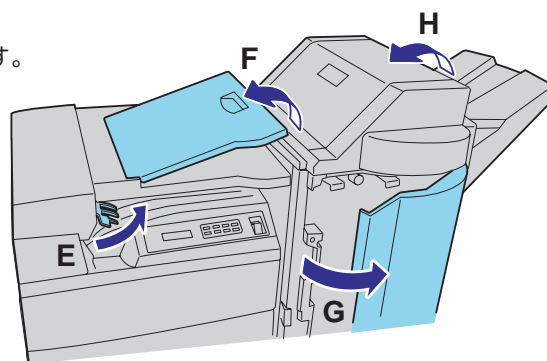
プリンターの電源を入れたままで紙づまりの処置をしてください。電源を切ると、プリンター内に残っている印刷データや、プリンターのメモリー上に蓄えられた情報は消去されます。

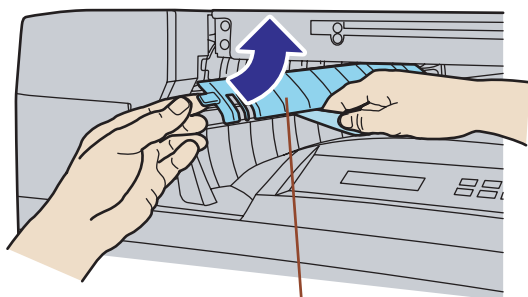
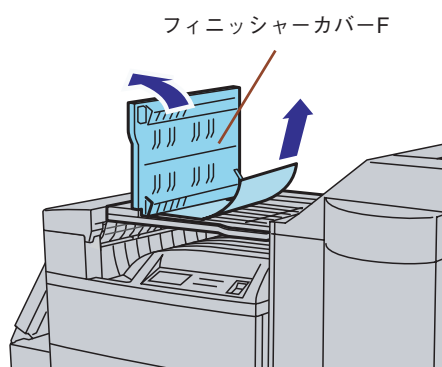
❶ **両面印刷ユニットの排紙口につまった用紙があったら、排紙方向にまっすぐに引いて取り除く。**

❷ **リリースレバーを上に押し上げながら、ゆっくりと両面印刷ユニットを開く。**

❸ **グリーンの取っ手を持って内側のカバーを開く。**

❹ **両面印刷ユニットの内部につまっている用紙を取り除く。**

チェック

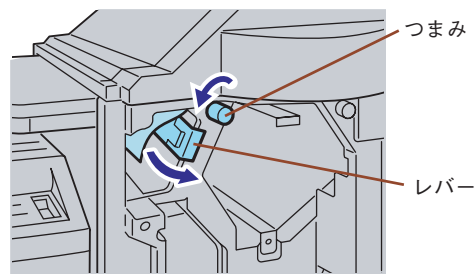
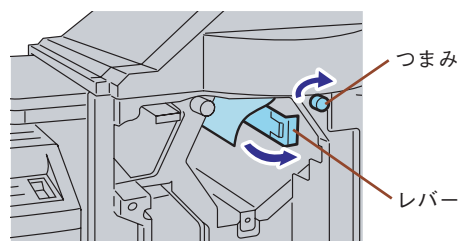
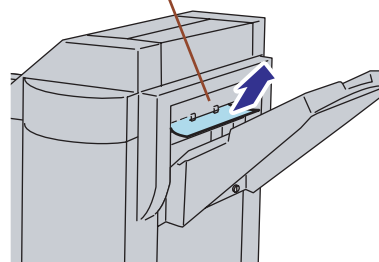
用紙が取れない、または見つからない場合はフロントカバーを閉じた後、「B　本体部の紙づまり」(413ページ)の手順に従って処理してください。

❺ **内側のカバーを閉じる。**

❻ **両面印刷ユニットを閉じる。**

E、F、G、H フィニッシャー部の紙づまり

フィニッシャー部で紙づまりが発生した場合の処理方法を説明します。
用紙を引き抜くときに開けるカバーは次の4つです。

- フィニッシャーゲートE .... 本体排紙口
- フィニッシャーカバーF .... 用紙搬送部上面
- フィニッシャーカバーG .... フィニッシャー正面部
- フィニッシャーカバーH .... フィニッシャー排紙部

❶ **フィニッシャーゲートEを開けながら用紙を引き抜く。**

引き抜けないようなら「排紙口またはプリンター内部で用紙がつまっている場合」の手順に従って定着ユニットから用紙を取り除きます。

❷ **フィニッシャーカバーFを開け、つまっている用紙を取り除く。**

❸ **フィニッシャーカバーGを開け、つまっている用紙を取り除く。**

向かって左側のレバーを開け、つまみを反時計回りに回して、用紙を取り除きます。

向かって左側のレバーを開け、つまみを時計回りに回して、用紙を取り除きます。

❹ **排紙側に用紙がつまっている場合は、フィニッシャーカバーHを持ち上げて、つまっている用紙を取り除く。**

ピックミス(用紙給紙ミス)の処理

発生箇所(ホッパーまたはトレー)に応じて、ピックミス(用紙給紙ミス)の処理をしてください。

給紙されなかった用紙を取り除くことができたら、カバー類を閉めてください。完全に取り除かれていればアラームは解除され、自動的に印刷は再開されます。

ピックミスが頻発するようでしたら、「紙づまり、ピックミス処理後の確認」(426ページ)を参照してピックミスを誘発させる事柄がないか確認してください。

チェック

給紙できなかった用紙は、このマニュアルの手順どおりに取り除いてください。無理に引き抜こうとすると、用紙が破れ、残った紙片がプリンターの正しい用紙送りを妨げることがあります。

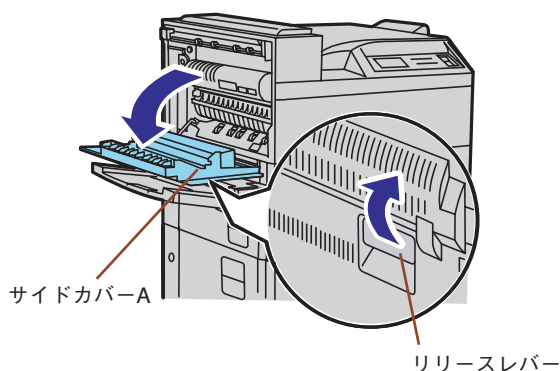
用紙カセットでのピックミス

ホッパーでピックミスが発生した場合の処理方法を説明します。

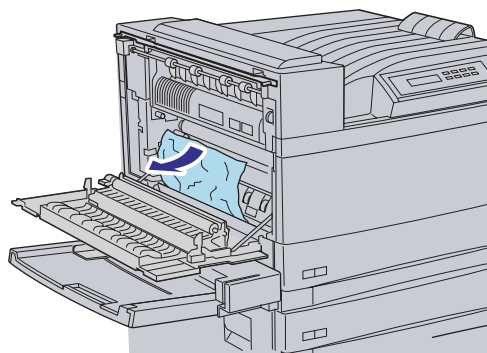
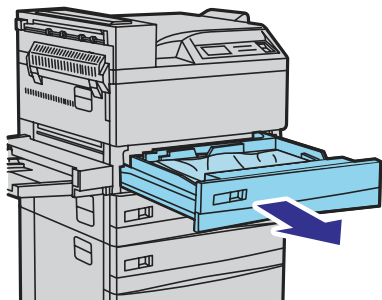
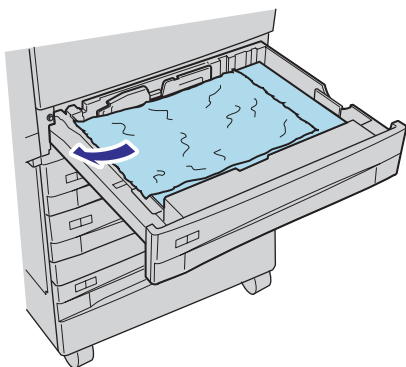
チェック

- プリンターの電源を入れたままで紙づまりの処置をいてください。電源を切ると、プリンター内に残っている印刷データや、プリンターのメモリー上に蓄えられた情報は消去されます。
- 本体側と給紙口にまたがって紙づまりになった場合は、ホッパーの開閉のみではアラームは解除されません。本体カバーの開閉が必要となります。

ホッパー1でのピックミス

❶ リリースレバーを引きながらサイドカバーAをゆっくりと開く。

❷ プリンター内に残っている用紙を引き抜き、サイドカバーAを閉じる。

チェック

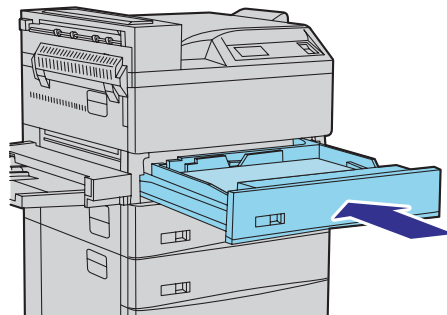
給紙されなかった用紙は用紙カセットから取り去って、再セットしないでください。

用紙の折れ曲がりなどにより紙づまりの原因となります。

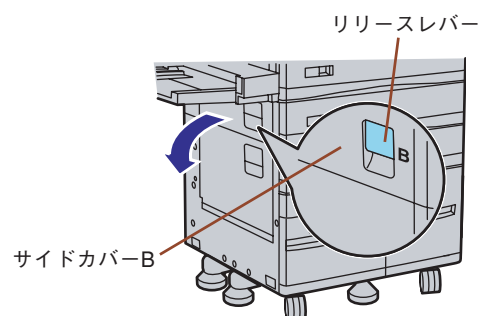
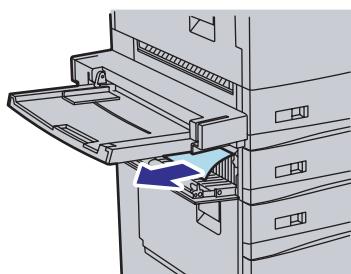
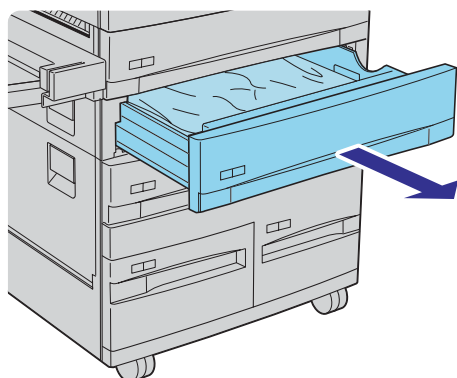
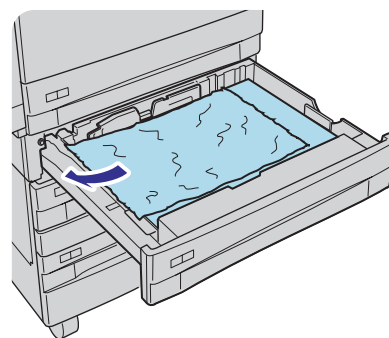
❸ **ホッパー1のカセットを引き出す。**

❹ **用紙がつまっていたら取り除く。**

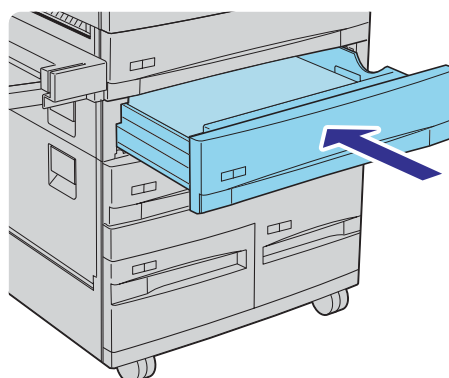
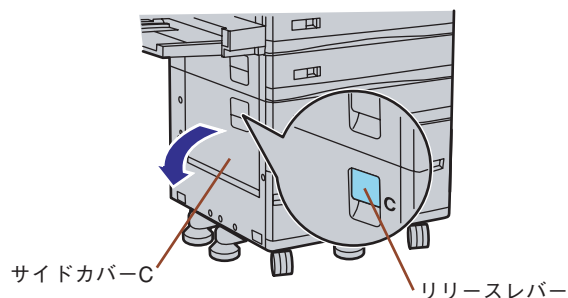
❺ **用紙のセット方法、およびセットした用紙の種類が正しいか確認する。**

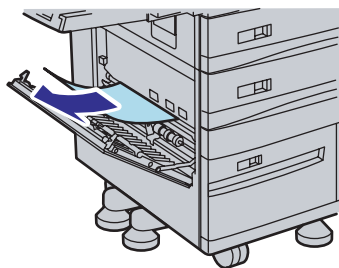
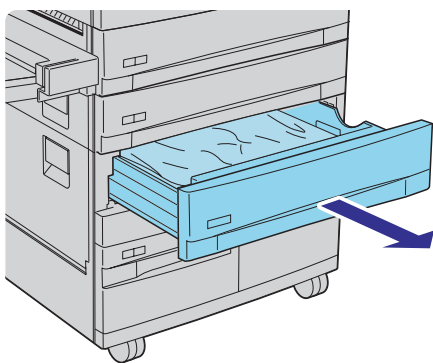
エンドガイドとサイドガイドの位置が正しいか確認してください。
「5章　用紙のセット」（297ページ）を参照してください。

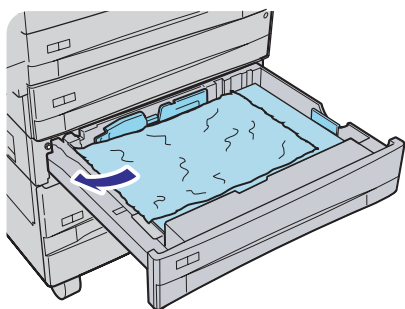
❻ **ホッパー1のカセットを奥に突き当たるまでゆっくりと押し込む。**

ホッパー2でのピックミス

❶ **リリースレバーを引きながらサイドカバーBをゆっくりと開く。**

❷ **カバー内で用紙がつまっていたら引き抜き、サイドカバーBを閉じる。**

❸ **ホッパー2のカセットを引き出す。**

❹ **用紙がつまっていたら取り除く。**

❺ **用紙のセット方法、およびセットした用紙の種類が正しいか確認する。**

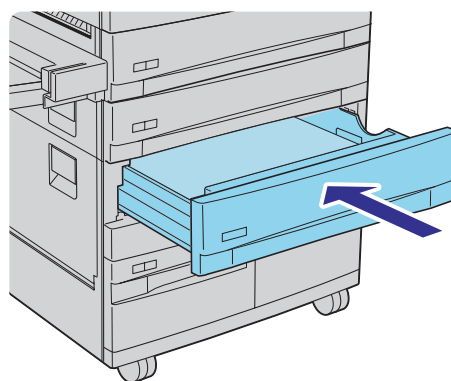
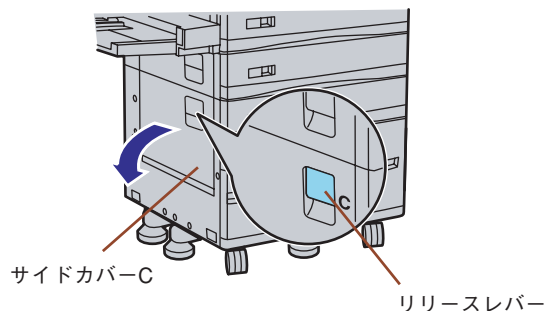
エンドガイドとサイドガイドの位置が正しいか確認してください。
「5章　用紙のセット」(297ページ)を参照してください。

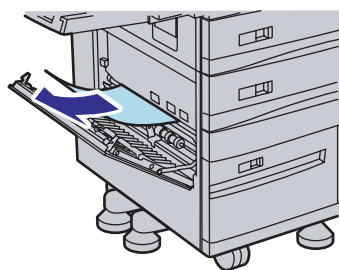
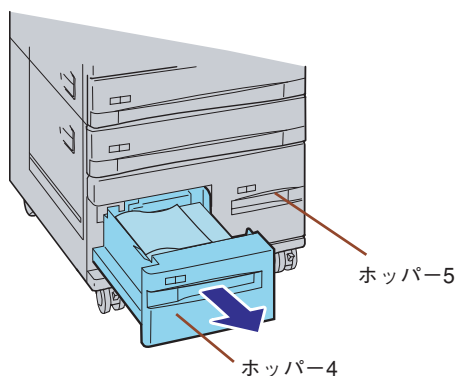
❻ **ホッパー2のカセットを奥に突き当たるまでゆっくりと押し込む。**

ホッパー3でのピックミス

❶ **リリースレバーを引きながらサイドカバーCをゆっくりと開く。**

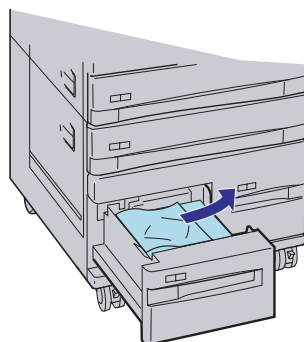
❷ **カバー内で用紙がつまっていたら引き抜き、サイドカバーCを閉じる。**

❸ **ホッパー3のカセットを引き出す。**

❹ **用紙がつまっていたら取り除く。**

❺ **用紙のセット方法、およびセットした用紙の種類が正しいか確認する。**

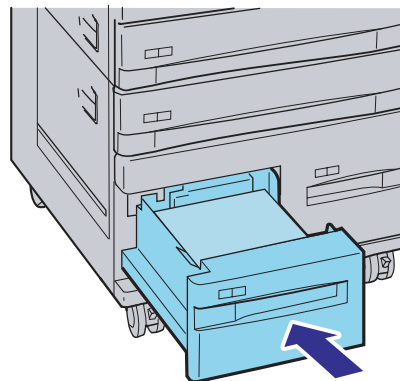
エンドガイドとサイドガイドの位置が正しいか確認してください。
「5章　用紙のセット」(297ページ)を参照してください。

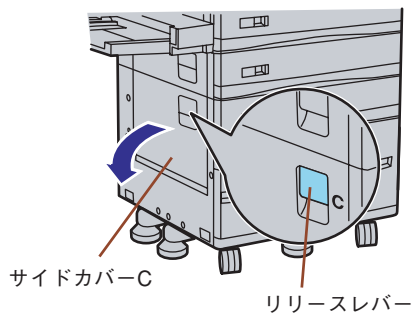
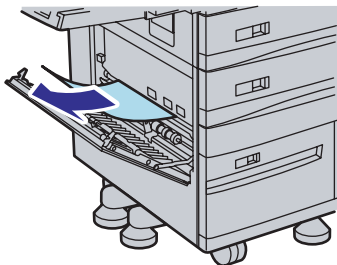
❻ **ホッパー3のカセットを奥に突き当たるまでゆっくりと押し込む。**

ホッパー4でのピックミス

❶ **リリースレバーを引きながらサイドカバーCをゆっくりと開く。**

❷ **カバー内で用紙がつまっていたら引き抜き、サイドカバーCを閉じる**

❸ **ホッパー4のカセットを引き出す。**

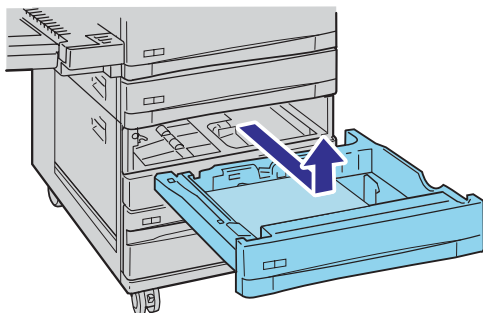
❹ **用紙がつまっていたら取り除く。**

❺ **用紙のセット方法、およびセットした用紙の種類が正しいか確認する。**

サイドガイドの位置が正しいか確認してください。
5章「用紙のセット」（297ページ）を参照してください。

❻ **ホッパー4のカセットを奥に突き当たるまでゆっくりと押し込む。**

ホッパー5でのピックミス

❶ **リリースレバーを引きながらサイドカバーCをゆっくりと開く。**

❷ **カバー内で用紙がつまっていたら引き抜き、サイドカバーCを閉じる。**

❸ **ホッパー5のカセットが指定されている場合は、ホッパー3を引き出す。**

ホッパー3のカセットはカセットをいっぱいに引き出し、持ち上げるようにして取り外します。

⚠注意

用紙カセットを取り付けるとき、用紙がセットされていると重くなっています。両手で持って取り付けてください。

✔チェック

ホッパー3のカセットを取り外さずにホッパー5での紙づまり処置を進めると、中に紙片が残ってしまうことがあります。

❹ **ホッパー5のカセットの上部に見えているつまった用紙を慎重に引き出す。**

❺ **ホッパー5のカセットを引き出し、つまっている用紙を取り除く。**

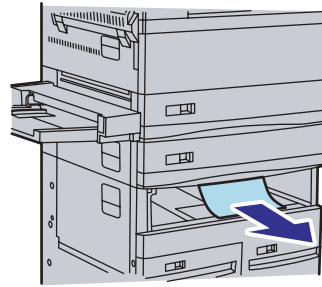
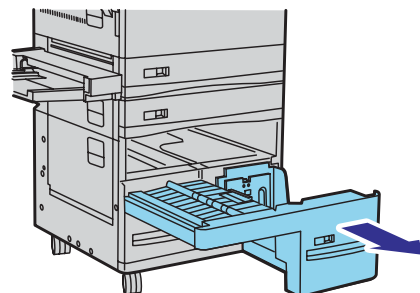
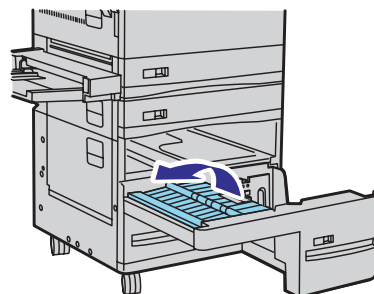
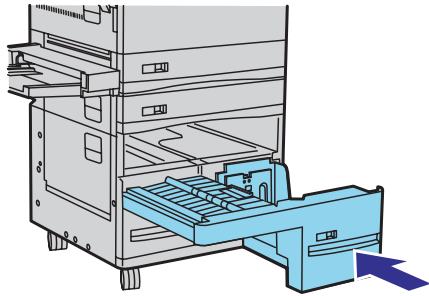
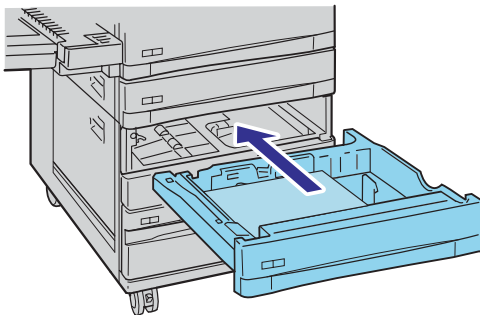
❻ **カバーの下につまっている用紙があったらカバーを開けて取り除く。**

❼ **用紙のセット方法、およびセットした用紙の種類が正しいか確認する。**

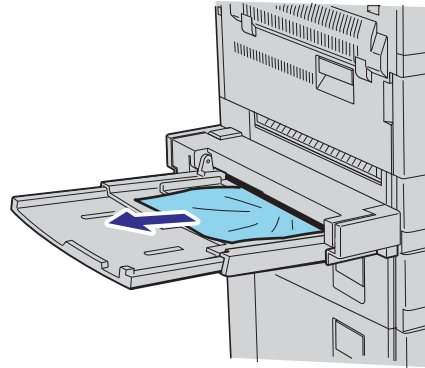
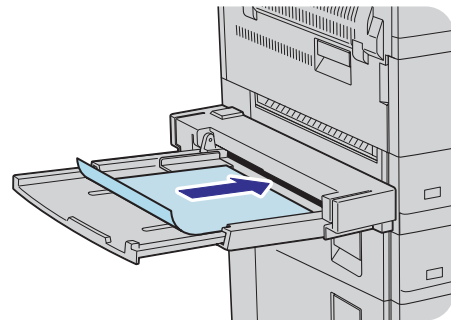
エンドガイドとサイドガイドの位置が正しいか確認してください。
「5章　用紙のセット」(297ページ)を参照してください。

❽ **ホッパー5のカセットを奥に突き当たるまでゆっくりと押し込む。**

❾ **ホッパー3のカセットを奥に突き当たるまでゆっくりと押し込む。**

⚠ 注意

用紙カセットを取り付けるとき、用紙がセットされていると重くなっています。両手で持って取り付けてください。

トレーでのピックミス

トレーでピックミスが発生した場合の処理方法を説明します。

❶ **つまっている用紙を矢印の方向に引き、取り除く。**

❷ **印刷したい面を下にして、差し込み口に軽く突き当たるまで入れる。**

✔チェック

給紙されなかった用紙はトレーから取り去って、再セットしないでください。用紙の折れ曲がりなどにより紙づまりの原因となります。

❸ **用紙のセット方法が正しいか確認する。**

サイドガイドの位置はセットした用紙に合わせてください。

5章の「トレーに用紙をセットする」（297ページ）を参照してください。

紙づまり、ピックミス処理後の確認

給紙できなかった用紙、またはつまっていた用紙を取り除いたら、紙づまりの再発を防止するために次の事項を確認してください。

- □ 用紙の破片が紙づまりした場所に残っていませんか。
- □ 用紙は正しくセットされていますか。
- □ 用紙は規格内のものを使用していますか。また、「用紙の規格」(439ページ)に記載されている事柄は守られていますか。
- □ セットする用紙の量が多すぎませんか。サイドガイドの用紙上限線以下にセットされていますか。(坪量64.0g/m²(連量55kg)の普通紙で、標準ホッパーの容量は約500枚です。)
- □ 一度印刷した用紙を使用していませんか。
- □ サイドカバー、フロントカバーは確実に閉じられていますか。
- □ 標準用紙カセット、または定形外用紙カセットが奥までまっすぐに差し込まれていますか。
- □ 標準用紙カセット、または定形外用紙カセット内のサイドガイドおよびエンドガイドが用紙サイズに合っていますか。
- □ トレーにセットした用紙サイズと[トレー]スイッチで選択した用紙サイズは合っていますか。

上記の確認後、以下の「テスト印刷をする」に従って印刷が正しく行われることを確認してください。(紙づまり処理直後はローラーなどに付着したトナーで用紙が汚れることがあります。数ページ、テスト印刷をしてください。)

テスト印刷をする

重要

印刷中は電源スイッチをOFFにしないでください。印刷中にOFFにすると紙づまりおよび故障の原因になります。

チェック

用紙カセットにA4サイズの用紙がセットされていることを確認してください。

❶ **電源スイッチをONにする。**

ディスプレイに次のメッセージが順に表示されます。

“イニシャライズチュウ”
“ウォームアップチュウ”

❷ **ブザーが2回鳴り、印刷可ランプが点灯することを確認する。**

❸ **操作パネルの[印刷可]スイッチを押す。**

印刷可ランプが消灯します。

❹ **[メニュー]スイッチを押す。**

ディスプレイには“テストメニュー　→”と表示されます。

テストメニュー　→

❺ **[>]スイッチを1回押す。**

ディスプレイ下段には“←ステータスインサツジッコウ→”と表示されます。

テストメニュー
ステータスインサツシ゛ッコウ→

❻ **[>]スイッチを押す。**

データランプが点灯し、プリンターはテスト印刷を開始します。ディスプレイには“テストインサツチュウ”と表示されテスト印刷を開始します。

テストインサツチュウ

❼ **印刷結果を確認する。**

プリンターを運搬するときは

引っ越しや修理などでプリンターを運搬するときは、次の手順でプリンターから付属品、消耗品、およびオプションを取り外してから行ってください。

❶ 付属品および消耗品(EPカートリッジ、電源コード、プリンターケーブル)を取り付けたときと逆の手順で取り外す。(ユーザーズマニュアル「1章　プリンターの設置」を参照してください。)

重要

どの付属品を取り外すときも、電源がOFFになっていることを確認してください。

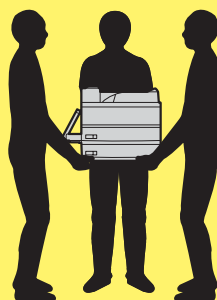
❷ オプションを取り付けている場合は、各オプションの取扱説明書か、1章「オプション」(15ページ)を参照して取り外す。

❸ 購入時の箱や緩衝材がない場合は、プリンターに衝撃を与えないよう柔らかいもので保護し、静かに運搬する。

⚠ 注意

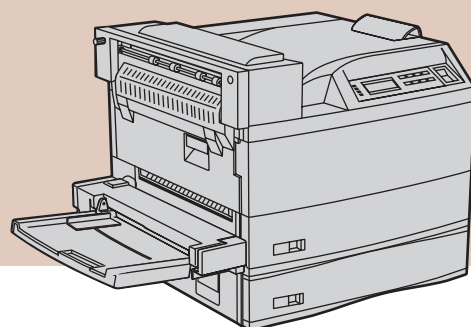
プリンターを移動する際は、装置側面の取っ手を持ち、3人以上で運んでください。プリンターの標準の質量(EPカートリッジ含まず)は約44.5kgです。

2人以下で運ぶと腰を痛めるおそれがあります。

また、装置の重心は左側にありますので、左側方向へ倒れないように注意してください。

プリンター・消耗品を廃棄するときは

- プリンターの廃棄については各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。また、廃棄の際はEPカートリッジを取り外してお出しください。

- NEC製のEPカートリッジは地球資源の有効活用を目的として回収し、再利用可能な部品は再利用しています。ご使用済みのNEC製EPカートリッジは捨てずに、EPカートリッジ回収センターに直接お送りいただくか、お買い上げの販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス施設まで、お持ち寄りください。なお、その際はEPカートリッジの損傷を防ぐため、ご購入時の梱包箱に入れてください。回収については8章の「EPカートリッジの回収と購入」(368ページ)を参照してください。

10章
ユーザーサービス

NECは、MultiWriter 4550の「お客様登録」をされた方々にさまざまなユーザーサービスを用意しています。ユーザーサービスをご利用になる前に、ここで説明している保証およびサービスの内容について確認してください。

お客様登録申込書*について

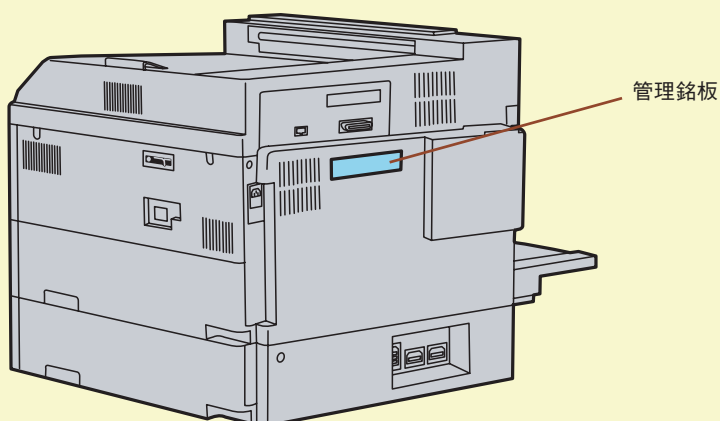
添付の「お客様登録申込書」に記載されている事項をよくお読みになり、登録してください。

* N1153-L4550は、「お客様登録申込書」が添付されていません。ご購入先の販売店にご連絡いただき、お客様登録をしてください。

保証について

プリンターには「保証書」が添付されています。「保証書」は販売店で所定事項を記入してお渡しします。記載内容を確認して大切に保管してください。保証期間中に万一故障が発生した場合は、「保証書」の記載内容に基づき、無料で修理します。詳細については「保証書」、および次ページの「保守サービスについて」をご覧ください。また、プリンターに添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス窓口へお問い合わせください。

チェック

本体の背面に、製品の型式、SERIAL No.(製造番号)、定格、製造業者名、製造国が明記された管理銘板が貼られています(下図参照)。販売店またはサービス窓口にお問い合わせする際にこの内容をお伝えください。また、管理銘板の製造番号と保証書の保証番号が一致していないと、万一プリンターが保証期間内に故障した場合でも保証を受けられないことがあります。お問い合わせの前にご確認ください。

管理銘板の位置

保守サービスについて

保守サービスは純正部品を使用することはもちろん、技術力においてもご安心してご利用いただける、当社指定の保守サービス会社をご利用ください。保守サービスは以下のような種類があります。

- 契約保守 .... 年間一定料金で契約を結び、サービス担当者を派遣するシステムです。
- 出張修理 .... サービス担当者がお客様のところに伺い、修理をするシステムです。料金は修理の程度、内容に応じて異なります。

保守サービスの種類

種　類	概　要	修理料金		お支払い方法	受付窓口*[1]
		保証期間内	保証期間外		
契約保守	ご契約いただきますと、修理のご依頼に対しサービス担当者を派遣し、修理いたします。(原則として派遣日にその場で修理いたしますが、故障の程度・内容により、お引き取りして修理する場合もありますのでご了承ください。)保守料は、システム構成に応じた一定料金を前払いしていただくため一部有償部品を除き、修理完了時にその都度お支払いいただく必要はありません。保守費用の予算化が可能になります。	機器構成、契約期間に応じた一定料金		契約期間に応じて一括払い	NECフィールディング(株)
出張修理	修理のご依頼に対してサービス担当者を随時派遣し、修理いたします。(原則として派遣日にその場で修理いたしますが、故障の程度・内容により、引き取りさせていただいて修理する場合もありますのでご了承ください。)ご契約は不要です。	無料*[2]	修理料＋出張料	そのつど清算	

*[1] 受付窓口の所在地、連絡先などは添付の「NECサービス網一覧表」もしくは、インターネットのホームページアドレス http://www.fielding.co.jp/per/index.htmをご覧ください。

*[2] 本製品は「出張修理対象品」ですので、保証期間内の出張修理は無料です。出張修理の対象となっていない製品は出張料のみ有料となります。

プリンターの寿命について

MultiWriter 4550の製品寿命は、印刷枚数が200万ページ、または使用年数5年のいずれか早いほうです。MultiWriter 4550は、30万ページごとに定期保守が必要です。定期保守については、販売店または「NECサービス網一覧表」に記載のサービス窓口にご相談ください。

補修用性能部品および消耗品について

本製品の補修用性能部品および消耗品の最低保有期間は製造打ち切り後7年です。

なお、N型製品における消耗品の最低保有期間については、「レーザプリンタ　N1153-L4550　補足説明書」を参照してください。

ユーザーズマニュアルの再購入について

もしユーザーズマニュアルを紛失されたときは、下記のPCマニュアルセンターに品名を次のように指定してお申し込みください。ユーザーズマニュアル(コピー版)を実費で再度購入することができます。

品名　MultiWriter 4550　ユーザーズマニュアル

なお、ユーザーズマニュアルの紛失に備えて、品名をメモしておくようにしてください。

PCマニュアルセンター

URL：http://pcm.mepros.com/

電話：03-5476-1900
受付時間　月曜から金曜　10：00～12：00/13：00～16：00
(土曜、日曜、祝祭日は、ご利用になれません)

FAX：03-5476-1967
受付時間　24時間(いただいたFAXに対するご回答は翌営業日以降となります。)

情報サービスについて

- プリンター製品に関する最新情報

  インターネット 「NEC 8番街」 URL：http://nec8.com/

- プリンターに関する技術的なご質問、ご相談

  NEC 121コンタクトセンター
  (電話番号、受付時間などについては、「NECサービス網一覧表」をご覧ください。)

プリンターソフトウエアをフロッピーディスクで必要な場合

通常プリンターソフトウエアのインストールは添付のCD-ROMから行いますが、フロッピーディスクを使ってインストールしたい場合は、いったんCD-ROMに収録されているプリンターソフトウエアをフロッピーディスクにコピーしてからインストールします。フロッピーディスクの作成手順については次ページの「FD作成」をご覧ください。

もし「CD-ROMドライブを持っていない」などでフロッピーディスクにコピーできない場合は、あらかじめ以下の必要事項を調べていただいた上で、最寄りのPCクリーンスポットまでご連絡ください。PCクリーンスポットの連絡先は、添付の「NECサービス網一覧表」をご覧ください。無償でご希望のフロッピーディスクをお送りします。

必要事項

① プリンターの名称　MultiWriter 4550
② プリンターの製造番号　保証書をご覧ください。9桁の英数字です。
③ フロッピーディスクタイプ　3.5インチ型の1.44MBタイプ*[1]、または3.5インチ型の1.2MBタイプ*[2]
④ ご住所
⑤ ご氏名
⑥ ご連絡先　昼間ご連絡がとれる電話番号をお知らせください。また自宅か勤務先かも明記してください。

*[1] PC98-NXシリーズを含むIBM PC/AT互換機(DOS/V対応機)に対応
*[2] PC-9800シリーズに対応

FD作成（インストール媒体の作成）

「FD作成」はプリンターソフトウエアCD-ROMの内容を任意の項目で構成し、フロッピーディスク、またはハードディスクなど任意の媒体にインストール用のプリンターソフトウエアをコピーする機能です。

コピーされる形式は次の2通りです。

- マスターとして　　本プリンター用のプリンターソフトウエアをすべてコピーします。（1.44MBもしくは1.25MBでフォーマットされたフロッピーディスク10枚が必要です）
- 「カスタム」インストール用として　　機能を選択して、インストール用のプリンターソフトウエアをコピーします。（1.44MBもしくは1.25MBでフォーマットされたフロッピーディスク10枚が必要です）

プリンターソフトウエアをコピーしたハードディスクを他のコンピューターも共有できるようにしておけば、CD-ROMを使わずにネットワークを介してプリンターソフトウエアをインストールすることができます。複数台のコンピューターに同じ内容のソフトウエアを短時間にインストールしたい場合などに便利です。

ここでは、Windows XP環境でFD作成をする手順を説明します。他のOSにおいても同様の手順です。

Windows　XPをお使いの場合は、アカウントの種類が[コンピュータの管理者]のユーザーが設定してください。
Windows 2000/NT 4.0をお使いの場合は、Administrators権限を持つユーザーが設定してください。

❶ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットし、メニュープログラムを立ち上げる。**

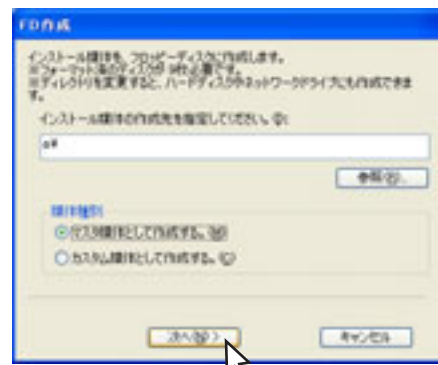
メニュープログラムを立ち上げる手順はお使いになるコンピューターの環境によって異なります。各OSのインストール方法を参照してください。

[インストール]をクリックしてから、[MultiWriter 4550]を選んで[インストール開始]をクリックします。

❷ **FD作成の[作成]をクリックする。**

❸ **インストール媒体の作成先、媒体種別を指定し、[次へ]をクリックする。**

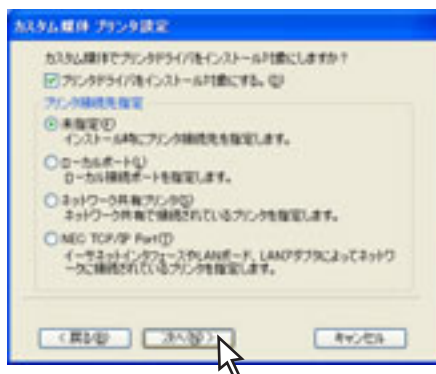
作成先にフロッピーディスクドライブを指定するとプリンターソフトウエアがフロッピーディスクにコピーされます。インストール媒体作成先に、ハードディスク、ネットワークパスを指定することができます。

[マスタ媒体として作成する。]を選ぶと、CD-ROMと同様の内容をすべてコピーします。

<[マスタ媒体として作成する]を選んだ場合>

手順❼へ進んでください。

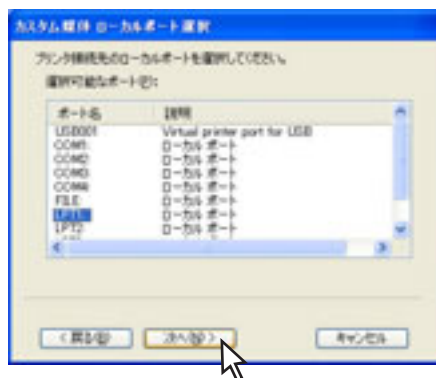
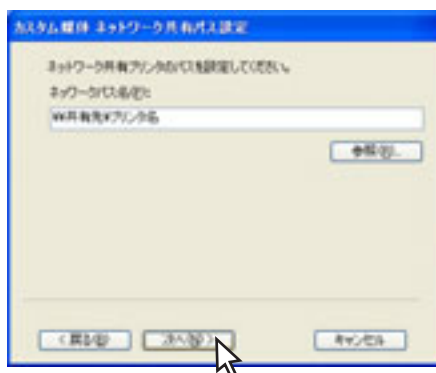
<[カスタム媒体として作成する]を選んだ場合>

手順❹へ進んでください。

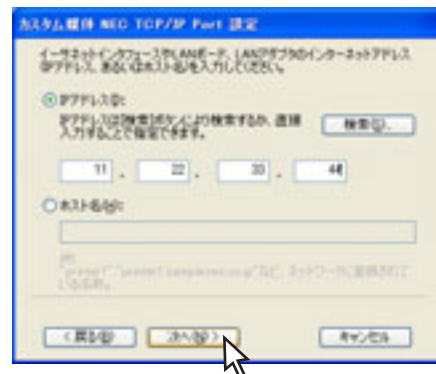
❹ プリンタードライバーのインストール、プリンターの接続先を選び、[次へ]をクリックする。

＜[未指定]を選んだ場合＞

手順❺に進んでください。

＜[ローカルポート]を選んだ場合＞

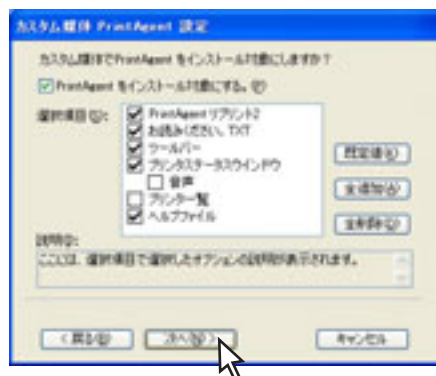
希望するポートを選び、[次へ]をクリックする。

＜[ネットワーク共有プリンタ]を選んだ場合＞

プリンターの接続先を指定し、[次へ]をクリックする。

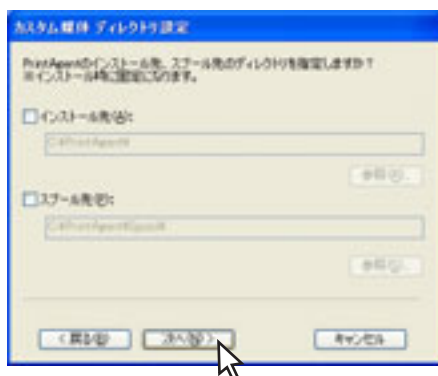
＜[NEC TCP/IP Port]を選んだ場合＞

LANボード、またはLANアダプターのIPアドレスあるいは、ホスト名を設定して[次へ]をクリックする。

❺ 任意の機能を選ぶ。

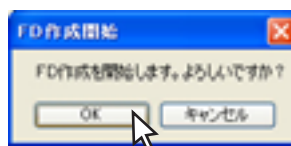
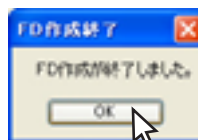
[全追加]をクリックするとすべてチェックされます。[全削除]をクリックするとすべてチェックが外れます。

チェック

ここで選択されなかった機能はクライアントでインストールした後に、クライアントで追加を行おうとしても追加できません。インストールした機能のみ削除できます。

❻ **インストール先、スプール先を指定し、［次へ］をクリックする。**

ここであらかじめインストール先を固定しておけば、個々のコンピューターからインストールするときの手順が簡略化できます。

❼ **設定した内容を確認し、［完了］をクリックする。**

❽ **［OK］をクリックする。**

インストール媒体の作成が開始します。

❾ **［OK］をクリックする。**

チェック

FD作成によって作成されたフロッピーディスクは、以下のような構成になります。

Disk 1：インストールプログラム

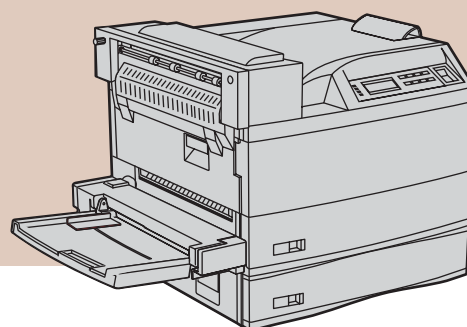
Disk 2：Windows Me/98/95
　　　　プリンタードライバー

Disk 3：Windows NT 4.0
　　　　プリンタードライバー

Disk 4：Windows XP/2000
　　　　プリンタードライバー

Disk 5～Disk 10：PrintAgentソフトウエア

作成したフロッピーディスクでプリンターソフトウエアのインストールを行うには、Disk1にあるSETUP.EXEを実行してください。

付録
技術情報

この章では 、プリンターの仕様、印刷範囲、文字コード、その他の技術情報について説明します。

仕　様

項目	内容
印刷方式	電子写真記録方式 露光方式：レーザーダイオード＋ポリゴンスキャナー 現像方式：1成分磁性トナー現像
印刷速度*	約45ページ/分（A4用紙横置き、ホッパー1給紙片面印刷、普通紙モード時）
ウォームアップの待ち時間（室温20℃）	電源投入時：最大60秒以下 節電時：最大60秒以下
ファーストプリントタイム	<片面印刷時> 約4.0秒以下（A4用紙横置き、ホッパー1給紙） <両面印刷時> A4サイズ：約8.6秒以下（A4用紙横置き、ホッパー1給紙）
用紙容量	標準ホッパー： 1000枚（500枚 ×2）、坪量64.0g/m²の普通紙（連量55kg相当）の場合 トレー：50枚、坪量64.0g/m²の普通紙（連量55kg相当）の場合 大容量ホッパー（オプション）：2500枚（500枚 ×1＋1000枚 ×2）、坪量64.0g/m²の普通紙（連量55kg相当）の場合 封筒フィーダー（オプション）：100枚、洋形4号または同等品の場合 定形外用紙カセット（オプション）：500枚、坪量64.0g/m²の普通紙（連量55kg相当）の場合
スタック容量	排紙トレー：500枚、坪量64.0g/m²の普通紙（連量55kg相当）の場合 排紙トレー（フィニッシャー装着時）：300枚、坪量64.0g/m²の普通紙（連量55kg相当）の場合 フェースアップトレー（オプション）：200枚、坪量64.0g/m²の普通紙（連量55kg相当）の場合 フィニッシャー（オプション）：3000枚、坪量64.0g/m2の普通紙（連量55kg相当）、A4横以下、ステープルなしの場合 フィニッシャー（オプション）：2000枚、坪量64.0g/m²の普通紙（連量55kg相当）、A3、B4、ステープルなしの場合

*　印刷速度は連続印刷の場合の最大値です。最初のページ、また印刷データの内容あるいはコンピューターからのデータの送り方などによって異なります。

<table>
<tr><th colspan="2">項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td colspan="2">ドット間隔</td><td>0.0423×0.0423mm（1/600×1/600インチ）</td></tr>
<tr><td colspan="2">CPU</td><td>RC64574（200MHz）</td></tr>
<tr><td colspan="2">メモリー</td><td>標準32MB、最大288MB（オプション増設時）</td></tr>
<tr><td colspan="2">オプションメモリーソケット</td><td>1ソケット（SO-DIMM用）</td></tr>
<tr><td colspan="2">ハードディスク</td><td>容量20GB以上（オプション）</td></tr>
<tr><td colspan="2">インターフェース</td><td>セントロニクス仕様に準拠*1（背面に1つ装備）
イーサネット（10BASE-T/100BASE-TX）
IEEE802.11b規格準拠の無線LAN（オプション）</td></tr>
<tr><td colspan="2">環境</td><td>動作温度：10～32.5℃
動作湿度：20～80%（RH）ただし結露しないこと
保管温度：0～35℃
保管湿度：15～85%（RH）ただし結露しないこと
塵埃量：　一般事務室程度
ガス成分：一般事務室程度
気　圧：　1013～752.4 hPa（海抜0～2500m）</td></tr>
<tr><td colspan="2">騒音
（音圧レベル、A補正）</td><td>動作時：57.0dB以下
待機時：27.8dB以下</td></tr>
<tr><td colspan="2">電源</td><td>電　圧：AC 100V± 10%
周波数：50/60Hz± 1Hz</td></tr>
<tr><td rowspan="3">消費電力*2</td><td>動作時最大*3</td><td>プリンター単体時：1290W（1350VA）
フルオプション時：1420W（1490VA）</td></tr>
<tr><td>動作時平均</td><td>プリンター単体時：910W（950VA）</td></tr>
<tr><td>節電モード時</td><td>プリンター単体時：28W以下（90VA以下）</td></tr>
<tr><td colspan="2">外形寸法</td><td>645mm（幅）×533mm（奥行き）×486mm（高さ）</td></tr>
<tr><td colspan="2">質量</td><td>約44.5kg（消耗品、オプション含まず）</td></tr>
<tr><td colspan="2">製品寿命*4</td><td>印刷枚数200万ページまたは使用年数5年のいずれか早い方</td></tr>
<tr><td colspan="2">消耗品寿命</td><td>● EPカートリッジ（本体添付）：約30,000ページ（印刷ページ数）*5
● EPカートリッジ（消耗品：型番 PR-L4550-12、EF-3464）：約30,000ページ（印刷枚数）*5
● ステープル針（フィニッシャー添付）*6：ステープル針5,000本
● ステープル針（消耗品：型番 PR-L4550-SP、EF-3972）*6：ステープル針15,000本/箱（5,000×3箱）</td></tr>
<tr><td colspan="2">言語</td><td>● NPDL Level 2（201PLエミュレーション含む）
● ESC/Pエミュレーション</td></tr>
<tr><td colspan="2">内蔵フォント</td><td>明朝体-Lアウトラインフォント、ゴシック体-Mアウトラインフォント、OCR-B相当文字*7、
バーコード*7、*8（カスタマバーコード、JAN（8桁、13桁）、Code 39、NW-7、
Industrial 2 of 5、Interleaved 2 of 5、UCC/EAN-128）</td></tr>
<tr><td colspan="2">対応OS</td><td>● Microsoft Windows XP 日本語版
● Microsoft Windows 2000 日本語版
● Microsoft Windows NT 4.0 日本語版
● Microsoft Windows Millennium Edition 日本語版
● Microsoft Windows 98 日本語版
● Microsoft Windows 98 Second Edition 日本語版
● Microsoft Windows 95 日本語版
● 日本語MS-DOS （ver 3.3以上）、MS-DOS 5.0/V以上またはIBM DOS Ver. J5.0/V以上（DOS/V）</td></tr>
</table>

*1　IEEE1284規格準拠双方向パラレルインターフェース
*2　電源プラグがコンセントに差し込まれていても、電源スイッチが切れた状態では電力の消費はありません。
*3　最大値は瞬間的ピークを除いた値です。
*4　30万ページ印刷毎に定期交換部品の交換が必要です。
*5　A4用紙、画像面積比5%連続印刷時
*6　フィニッシャー装着時のみ
*7　OCR-B相当印刷やバーコード印刷の読みとりについては、OCR装置、バーコードスキャナでの評価が必要です。ご使用の前にあらかじめご確認されることをお勧め致します。
*8　MS-DOSなどのアプリケーションがプリンターの制御コードを発行できる環境で使用できます。

用紙の規格

<table>
<tr><th>用紙の種類</th><th>寸法</th><th>坪量</th><th>表面電気抵抗</th><th>その他</th></tr>
<tr><th colspan="5">片面印刷時</th></tr>
<tr><td>普通紙
（乾式PPC用紙）</td><td rowspan="2">A3判（297 x 420mm）
A4判（210 x 297mm）
A5判（148 x 210mm）
B4判（257 x 364mm）
B5判（182 x 257mm）
レターサイズ
（約216 x 約280mm）
定形外用紙
（トレー用（100～297 x 105.0～431.8mm）、定形外用紙カセット用（182～297 x 139～431.8mm））*3</td><td>ホッパー給紙：64～105g/m^2
（連量*1 55～90kg）
トレー給紙：64～105g/m^2
（連量*1 55～90kg）</td><td rowspan="2">1 x 10^9～1 x 10^{12}Ω</td><td>用紙種別は
64～70g/m^{2}は普通紙、70～105g/m^{2}は厚紙1を選択してください。穴あき紙は穴あき紙を選択してください。</td></tr>
<tr><td>厚紙</td><td>ホッパー給紙*2：105～180g/m^2
（連量*1 90～171kg）
トレー給紙：105～200g/m^2
（連量*1 90～171kg）</td><td>用紙種別は105～120g/m^{2}は厚紙2、120～140g/m^{2}は厚紙3、140～160g/m^{2}は厚紙4、160～180g/m^{2}は厚紙5、180～200g/m^{2}は厚紙6を選択してください。*5</td></tr>
<tr><td>はがき

官製はがき、官製往復はがきと同等の寸法、坪量のものを使用してください。ただし、往復はがきは折り目がないものを使用してください。</td><td>官製はがき
（100 x 148mm）

官製往復はがき
（200 x 148mm）</td><td>トレー給紙：157g/m^2
（連量*1 135kg）</td><td>－</td><td>トレー給紙のみ
官製はがきは横置きのみです。往復はがきは縦置きのみです。</td></tr>
<tr><td>OHPフィルム

乾式PPC用、表面処理されているものを使用してください。</td><td>A4判（210 x 297mm）</td><td>厚さ：0.1mm± 0.025mm
（100μm± 25μm）</td><td>－</td><td>ホッパー1、2、3および
トレーからの給紙ができます。</td></tr>
<tr><td>ラベル紙

乾式PPC用、台紙全体がラベルで覆われたものを使用してください。</td><td>A4判（210 x 297mm）
B4判（257 x 364mm）</td><td>－</td><td>－</td><td>ホッパー2、3、4および
トレーからの給紙ができます。</td></tr>
<tr><td>封筒

洋形4号、内カマス、のりなしのものを使用してください。ただし材質によってご使用になれない場合があります。</td><td>105 x 235mm</td><td>－</td><td>－</td><td>封筒フィーダー装着時および
トレー*4</td></tr>
<tr><th colspan="5">両面印刷時</th></tr>
<tr><td>普通紙
（乾式PPC用紙）</td><td rowspan="2">A3判（297 x 420mm）
A4判（210 x 297mm）
A5判（148 x 210mm）
B4判（257 x 364mm）
B5判（182 x 257mm）
レターサイズ
（約216 x 約280mm）</td><td>ホッパー給紙：64～105g/m^2
（連量*1 55～90kg）

トレー給紙：64～105g/m^2
（連量*1 55～90kg）</td><td rowspan="2">1 x 10^9～1 x 10^{12}Ω</td><td>用紙種別は
64～70g/m^{2}は普通紙、70～105g/m^{2}は厚紙1を選択してください。穴あき紙は穴あき紙を選択してください。</td></tr>
<tr><td>厚紙</td><td>ホッパー*2：105～120g/m^2
（連量*1 90～171kg）
手差し給紙：105～120g/m^2（連量*1 90～171kg）</td><td>用紙種別が厚紙2の時のみ両面印刷が可能です。</td></tr>
</table>

*1　連量とは、用紙788×1091mm（四六判）のサイズの用紙1000枚あたりの重さを示します。
*2　ホッパー2、3、4のみ使用できます。
*3　ホッパー2、3の場合は、182～297 x 182～431.8mmとなります。
*4　定形外用紙として使用してください。
*5　厚紙2～6と用紙坪量の関係は目安です。用紙の種類などにより定着性は変化しますのでテスト印刷を実施し、確認してください。

重要

一般的に使用されている連量55kg相当の用紙に関して弊社で推奨している紙質特性を以下に示します。用紙メーカーに用紙を発注するときは下記の値を参照ください。

- 坪量　64～67g/m^2(JIS P8124)
- 紙厚　0.085～0.092mm(JIS P8118)
- 平滑度 25～50sec(JIS P8119)
- 剛度　60cm^3/100以上(クラーク式：JIS P8143)
- 表面電気抵抗 1×10^9～$1\times10^{12}\Omega$

文字の種類

内蔵文字の種類

表中の「○」は、各書体においてその文字の種類が内蔵されていることを示します。

1バイト系文字

文字の種類	標準／クーリエ／ゴシック／イタリック
英数字・記号　96種（スペース、0を含む）	○
カタカナ・記号　63種	○
ひらがな　55種	○
CGグラフィック　56種	○
各国文字　15種	○

2バイト系文字

JIS C6226-1978準拠*

文字の種類	明朝体アウトライン	ゴシック体アウトライン
記号　96種（スペースを含む）	○	○
英数字　62種	○	○
ひらがな　83種	○	○
カタカナ　86種	○	○
ギリシャ文字　48種	○	○
ロシア文字　66種	○	○
半角文字　212種（スペースを含む）	○	○
JIS第一水準漢字　2965種	○	○
JIS第二水準漢字　3384種	○	○

*　JIS X0208-1983, JIS-X0208-1990への切り替え可能

文字間隔

文字種	文字サイズ	文字間隔（インチ）
1バイト系文字	パイカ	1/10
	エリート	1/12
	コンデンス	約1/17
	プロポーショナル	約1/27〜1/10
2バイト系文字	7ポイント*1	1/10
	10.5ポイント*2	約1/6.66
	12ポイント	1/6

*1　正確には7.2ポイントです。
*2　正確には10.8ポイントです。

文字構成

1バイト系文字

文字種				ドット構成（ボディフェース）＜縦×横＞（ドット）	文字寸法（ボディフェース）＜縦×横＞（mm）
1バイト系文字	標　準	英数字 記号 カタカナ ひらがな	パイカ	80×60	3.39×2.54
			エリート	75×50	2.82×2.12
			コンデンス	70×35	1.98×1.48
			プロポーショナル	80×A*	3.39×B*
		CGグラフィック	パイカ	54×40	3.39×2.54
			エリート	45×34	2.82×2.12
			コンデンス	32×24	1.98×1.48
			プロポーショナル	54×40	3.39×2.54
	スクリプト	英数字 記号 カタカナ ひらがな	パイカ	27×40	1.69×2.54
			エリート	23×34	1.41×2.12
			コンデンス	16×24	0.99×1.48
			プロポーショナル	27×A*	1.69×B*
		CGグラフィック	パイカ	27×40	1.69×2.54
			エリート	23×34	1.41×2.12
			コンデンス	16×24	0.99×1.48
			プロポーショナル	27×40	1.69×2.54

* プロポーショナルの横のサイズは文字ごとに異なります。
A：23〜55ドット（600dpi）
B：0.95〜2.33mm

2バイト系文字、グラフィック

文字種			ドット構成（ボディフェース）＜縦×横＞（ドット）	文字寸法（ボディフェース）＜縦×横＞（mm）
2バイト系文字	7ポイント	全角	60×60	2.54×2.54
		半角	60×30	2.54×1.27
	10.5ポイント	全角	90×90	3.81×3.81
		半角	90×45	3.81×1.91
	12ポイント	全角	100×100	4.23×4.23
		半角	100×50	4.23×2.12
ドット列印刷	40ドット		100×n	4.23×m

文字コード表

MultiWriter 4550は、1バイト系コードと2バイト系コードを使用することができます。
1バイト系コードは、メモリースイッチ1-1～1-3を切り替えることによりアメリカ、イギリス、ドイツ、スウェーデン、日本の各国特殊文字が入ったコードにすることができます。工場設定は「日本」になっています。
2バイト系コードは、半角文字、JIS第一水準の漢字や記号など、およびJIS第二水準の漢字を印刷するときに使用できます。半角文字とは全角（普通の漢字）の半分の横幅の文字で、英字、数字、記号、カナなどがあります。

1バイト系コード表

カタカナモード

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
00					EOT					HT	LF	VT	FF	CR	SO	SI
10		DC1	DC2	DC3	DC4					EM		ESC	FS	GS	RS	US
20	SP	!	"	注1	注2	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/
30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
40	注3	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
50	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	注4	注5	注6	注7	_
60	注8	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	注9	注10	注11	注12	
80	▁	▂	▃	▄	▅	▆	▇	█	▏	▎	▍	▌	▋	▊	▉	┼
90	┴	┬	┤	├	▔	─	│	▕	┌	┐	└	┘	╭	╮	╰	╯
A0		。	「	」	、	・	ヲ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	ャ	ュ	ョ	ッ
B0	ー	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ
C0	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ
D0	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ン	゛	゜
E0	═	╞	╪	╡	◢	◣	◥	◤	♠	♥	♦	♣	●	○	╱	╲
F0	╳	円	年	月	日	時	分	秒								

ひらがなモード

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
00					EOT					HT	LF	VT	FF	CR	SO	SI
10		DC1	DC2	DC3	DC4					EM		ESC	FS	GS	RS	US
20	SP	!	"	注1	注2	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/
30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
40	注3	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
50	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	注4	注5	注6	注7	_
60	注8	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	注9	注10	注11	注12	
80	▁	▂	▃	▄	▅	▆	▇	█	▏	▎	▍	▌	▋	▊	▉	┼
90	┴	┬	┤	├	▔	─	│	▕	┌	┐	└	┘	╭	╮	╰	╯
A0		。	「	」	、	・	を	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ	ゃ	ゅ	ょ	っ
B0	ー	あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	す	せ	そ
C0	た	ち	つ	て	と	な	に	ぬ	ね	の	は	ひ	ふ	へ	ほ	ま
D0	み	む	め	も	や	ゆ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	ん	゛	゜
E0	═	╞	╪	╡	◢	◣	◥	◤	♠	♥	♦	♣	●	○	╱	╲
F0	╳	円	年	月	日	時	分	秒								

国別相違点

注　No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
コード	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
日本	#	$	@	[	¥	]	^	`	{	¦	}	~
アメリカ	#	$	@	[	\	]	^	`	{	¦	}	~
イギリス	£	$	@	[	\	]	^	`	{	¦	}	~
ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
スウェーデン	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü

注1～12　各国特殊文字が入ります（メモリースイッチ1-1～1-3で切り替えます。）
注13　8、9、E、F行はCGグラフィックを表します。
注14　A～D行はひらがなモード（ESC &で指定）の場合はひらがな文字、カタカナモード（ESC $で指定）の場合はカタカナ文字になります。
注15　0、1行は制御コードです。
注16　0、1行の空欄は無視されます。2～F行の空欄はスペース（SP）として処理されます。
注17　3行、0列の「0」の印刷字体はメモリースイッチ2-1により「Ø」に変更できます。

2バイト系コード表

半角文字

- コードは16進で表現されます。例えば、“J”のコードは0040＋A＝004Aとなります。
- 0020は漢字文字幅の半分のスペース（SP）です。

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0020		!	"	#	$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/
0030	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
0040	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
0050	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	¥	]	^	_
0060	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
0070	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	|	}	‾	
0080		。	「	」	、	・	を	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ	ゃ	ゅ	ょ	っ
0090	ー	あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	す	せ	そ
00A0		。	「	」	、	・	ヲ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	ャ	ュ	ョ	ッ
00B0	ー	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ
00C0	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ
00D0	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ン	゛	゜
00E0	た	ち	つ	て	と	な	に	ぬ	ね	の	は	ひ	ふ	へ	ほ	ま
00F0	み	む	め	も	や	ゆ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	ん	゛	゜

全角文字

- このコード表は、JIS 1978年版に準拠しています。（本プリンターでは、制御コードによってコード表をJIS　1983年版およびJIS 1990年版に切り替えることもできます。）ただし、デザイン処理などの都合により、一部字形の異なる文字があります。
- コードは16進で表現されます。例えば、“亜”のコードは3020＋1＝3021となります。
- 2121は漢字文字幅のスペース（SP）です。

漢字コード表

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
2120		、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛	゜	´	｀	¨
2130	＾	￣	＿	ヽ	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐	／
2140	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’	“	”	（	）	〔	〕	［	］
2150	｛	｝	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】	＋	－	±	×
2160	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
2170	＄	¢	£	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★	○	●	◎	◇	
2220		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	〓	
2230																
2240																
2250																
2260																
2270																
2320																
2330	０	１	２	３	４	５	６	７	８	９						
2340		Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ
2350	Ｐ	Ｑ	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ					
2360		ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ
2370	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ	ｚ					
2420		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ	お	か	が	き	ぎ	く
2430	ぐ	け	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た
2440	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は
2450	ば	ぱ	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ	ぼ	ぽ	ま	み
2460	む	め	も	ゃ	や	ゅ	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
2470	ゐ	ゑ	を	ん												
2520		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク
2530	グ	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ
2540	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ
2550	バ	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ
2560	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
2570	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ									
2620		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο
2630	Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω							
2640		α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο
2650	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω							
2660																
2670																
2720		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н
2730	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э
2740	Ю	Я														
2750		а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н
2760	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
2770	ю	я														

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
3020		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢	葵	茜	穐	悪	握	渥
3030	旭	葦	芦	鯵	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾	鮎	或
3040	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	囲
3050	夷	委	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃
3060	萎	衣	謂	違	遺	医	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
3070	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭	
3120		院	陰	隠	韻	吋	右	宇	烏	羽	迂	雨	卯	鵜	窺	丑
3130	碓	臼	渦	嘘	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂	云	運
3140	雲	荏	餌	叡	営	嬰	影	映	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎
3150	頴	英	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越	閲	榎	厭	円
3160	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
3170	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩	於	汚	甥	凹	央	奥	往	応	
3220		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬	鴎	黄	岡	沖	荻	億
3230	屋	憶	臆	桶	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音	下	化	仮	何
3240	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	果	架	歌	河
3250	火	珂	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	蝦	課	嘩	貨
3260	迦	過	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
3270	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔	恢	懐	戒	拐	改	
3320		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥	蟹	開	階	貝	凱	劾
3330	外	咳	害	崖	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬	馨	蛙
3340	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫
3350	覚	角	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額	顎	掛	笠	樫
3360	橿	梶	鰍	潟	割	喝	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
3370	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌	噛	鴨	栢	茅	萱	
3420		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勘	勧	巻	喚	堪	姦
3430	完	官	寛	干	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺	款	歓
3440	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦
3450	莞	観	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館	舘	丸	含	岸
3460	巌	玩	癌	眼	岩	翫	贋	雁	頑	顔	願	企	伎	危	喜	器
3470	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄	
3520		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀	紀	徽	規	記	貴	起
3530	軌	輝	飢	騎	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺	犠	疑
3540	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵
3550	黍	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	宮	弓	急	救
3560	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
3570	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁	禦	魚	亨	享	京	
3620		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峡	強
3630	彊	怯	恐	恭	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興	蕎	郷
3640	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅
3650	勤	均	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	芹	菌	衿	襟
3660	謹	近	金	吟	銀	九	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
3670	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	釧	屑	屈	
3720		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂	栗	繰	桑	鍬	勲	君
3730	薫	訓	群	軍	郡	卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型
3740	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系
3750	経	継	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚	鶏	芸	迎	鯨
3760	劇	戟	撃	激	隙	桁	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
3770	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲	

漢字コード表（続き）

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
3820		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県	肩	見	謙	賢	軒	遣
3830	鍵	険	顕	験	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現	絃	舷
3840	言	諺	限	乎	個	古	呼	固	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯
3850	湖	狐	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇	顧	鼓	五	互
3860	伍	午	呉	吾	娯	後	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
3870	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功	効	勾	厚	口	向	
3920		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康
3930	弘	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	洪
3940	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱
3950	腔	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱	礦	鋼	閤	降
3960	項	香	高	鴻	剛	劫	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麴	克	刻
3970	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑	忽	惚	骨	狛	込	
3A20		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕
3A30	紺	艮	魂	些	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂	詐	鎖
3A40	裟	坐	座	挫	債	催	再	最	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽
3A50	歳	済	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁	載	際	剤	在
3A60	材	罪	財	冴	坂	阪	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
3A70	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜	鮭	笹	匙	冊	刷	
3B20		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒
3B30	三	傘	参	山	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕	讃	賛
3B40	酸	餐	斬	暫	残	仕	仔	伺	使	刺	司	史	嗣	四	士	始
3B50	姉	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯	施	旨	枝	止
3B60	死	氏	獅	祉	私	糸	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
3B70	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児	字	寺	慈	持	時	
3C20		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	蒔	辞	汐	鹿
3C30	式	識	鴫	竺	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉	湿	漆
3C40	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝	屡	蘂	縞	舎	写	射	捨	赦
3C50	斜	煮	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺	尺	杓	灼	爵
3C60	酌	釈	錫	若	寂	弱	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
3C70	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹	綬	需	囚	収	周	
3D20		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繍	習	臭	舟	蒐
3D30	衆	襲	讐	蹴	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十	従	戎
3D40	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟
3D50	出	術	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	旬	楯	殉	淳
3D60	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
3D70	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷	償	
3E20		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨	妾	娼	宵	将	小	少
3E30	尚	庄	床	廠	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢
3E40	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦	照	症	省	硝	礁	祥	称	章
3E50	笑	粧	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔	詳	象	賞	醤
3E60	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
3E70	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲	醸	錠	嘱	埴	飾	
3F20		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食	蝕	辱	尻	伸	信	侵
3F30	唇	娠	寝	審	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申	疹	真
3F40	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	身	辛	進	針	震	人	仁	刃
3F50	塵	壬	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭	笥	諏	須	酢	図	厨
3F60	逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
3F70	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉	椙	菅	頗	雀	裾	

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
4020		澄	摺	寸	世	瀬	畝	是	凄	制	勢	姓	征	性	成	政
4030	整	星	晴	棲	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	西	誠
4040	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析
4050	石	積	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙	接	摂	折	設
4060	窃	節	説	雪	絶	舌	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
4070	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎	煽	旋	穿	箭	線	
4120		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践	選	遷	銭	銑	閃	鮮
4130	前	善	漸	然	全	禅	繕	膳	糎	噌	塑	岨	措	曾	曽	楚
4140	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創
4150	双	叢	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想	捜	掃	挿	掻
4160	操	早	曹	巣	槍	槽	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
4170	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗	霜	騒	像	増	憎	
4220		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗
4230	属	賊	族	続	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜	他	多
4240	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆
4250	対	耐	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎	腿	苔	袋	貸
4260	退	逮	隊	黛	鯛	代	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
4270	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	諾	茸	凧	蛸	只	
4320		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿	棚	谷	狸	鱈	樽	誰
4330	丹	単	嘆	坦	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪	綻	耽
4340	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断	暖	檀	段	男	談	値	知	地
4350	弛	恥	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築	畜	竹	筑	蓄
4360	逐	秩	窒	茶	嫡	着	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
4370	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯	丁	兆	凋	喋	寵	
4420		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑	暢	朝	潮	牒	町	眺
4430	聴	脹	腸	蝶	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗	直	朕
4440	沈	珍	賃	鎮	陳	津	墜	椎	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴
4450	槻	佃	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷	嬬	紬	爪	吊
4460	釣	鶴	亭	低	停	偵	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
4470	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締	艇	訂	諦	蹄	逓	
4520		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴	的	笛	適	鏑	溺	哲
4530	徹	撤	轍	迭	鉄	典	塡	天	展	店	添	纏	甜	貼	転	顛
4540	点	伝	殿	澱	田	電	兎	吐	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡
4550	登	菟	賭	途	都	鍍	砥	礪	努	度	土	奴	怒	倒	党	冬
4560	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	檮	棟
4570	盗	淘	湯	濤	灯	燈	当	痘	禱	等	答	筒	糖	統	到	
4620		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透	鐙	陶	頭	騰	闘	働
4630	動	同	堂	導	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠	鴇	匿
4640	得	徳	瀆	特	督	禿	篤	毒	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届
4650	鳶	苫	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁	頓	呑	曇	鈍
4660	奈	那	内	乍	凪	薙	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
4670	軟	難	汝	二	尼	弐	邇	匂	賑	肉	虹	廿	日	乳	入	
4720		如	尿	韮	任	妊	忍	認	濡	禰	祢	寧	葱	猫	熱	年
4730	念	捻	撚	燃	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能	脳	膿
4740	農	覗	蚤	巴	把	播	覇	杷	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬
4750	俳	廃	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	倍	培	媒	梅
4760	楳	煤	狽	買	売	賠	陪	這	蠅	秤	矧	萩	伯	剝	博	拍
4770	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠	爆	縛	莫	駁	麦	

漢字コード表(続き)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
4820		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌	畑	畠	八	鉢	溌	発
4830	醗	髪	伐	罰	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判	半	反
4840	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範
4850	釆	煩	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	匪	卑	否	妃	庇
4860	彼	悲	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
4870	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微	枇	毘	琵	眉	美	
4920		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱	肘	弼	必	畢	筆	逼
4930	桧	姫	媛	紐	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表	評	豹
4940	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧
4950	賓	頻	敏	瓶	不	付	埠	夫	婦	富	冨	布	府	怖	扶	敷
4960	斧	普	浮	父	符	腐	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
4970	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗	伏	副	復	幅	服	
4A20		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏	物	鮒	分	吻	噴	墳
4A30	憤	扮	焚	奮	粉	糞	紛	雰	文	聞	丙	併	兵	塀	幣	平
4A40	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆
4A50	偏	変	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁	鞭	保	舗	鋪
4A60	圃	捕	歩	甫	補	輔	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
4A70	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖	抱	捧	放	方	朋	
4B20		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒
4B30	飽	鳳	鵬	乏	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	望	某
4B40	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨
4B50	撲	朴	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔	本	翻	凡	盆
4B60	摩	磨	魔	麻	埋	妹	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
4B70	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭	繭	麿	万	慢	満	
4C20		漫	蔓	味	未	魅	巳	箕	岬	密	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙
4C30	粍	民	眠	務	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	冥	名	命
4C40	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅	免	棉	綿	緬	面	麺	摸	模
4C50	茂	妄	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙	目	杢	勿	餅
4C60	尤	戻	籾	貰	問	悶	紋	門	匁	也	冶	夜	爺	耶	野	弥
4C70	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮	鑓	愉	愈	油	癒	
4D20		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽	悠	憂	揖	有	柚	湧
4D30	涌	猶	猷	由	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	予	余	与
4D40	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶
4D50	熔	用	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽	養	慾	抑	欲
4D60	沃	浴	翌	翼	淀	羅	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
4D70	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧	利	吏	履	李	梨	理	璃	
4E20		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立	葎	掠	略	劉	流	溜
4E30	琉	留	硫	粒	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚	両	凌
4E40	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力
4E50	緑	倫	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟	瑠	塁	涙	累
4E60	類	令	伶	例	冷	励	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
4E70	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐	漣	煉	簾	練	聯	
4F20		蓮	連	錬	呂	魯	櫓	炉	賂	路	露	労	婁	廊	弄	朗
4F30	楼	榔	浪	漏	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄	肋	録
4F40	論	倭	和	話	歪	賄	脇	惑	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨
4F50	椀	湾	碗	腕												
4F60																
4F70																

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
5020		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂	乖	乘	亂	亅	豫	亊
5030	舒	弍	于	亞	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆	仂	仗
5040	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻
5050	佩	佰	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛	俑	俚	俐	俤
5060	俥	倚	倨	倔	倪	倥	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
5070	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸	傀	傚	傅	傴	傲	
5120		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣	僮	價	僵	儉	儁	儂
5130	儖	儕	儔	儚	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔	兢	竸
5140	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢
5150	冩	冪	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛	几	處	凩	凭
5160	凰	凵	凾	刄	刋	刔	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
5170	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔	劒	剱	劈	劑	辨	
5220		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞	勣	勦	飭	勠	勳	勵
5230	勸	勹	匆	匈	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳	匸	區
5240	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦
5250	厥	厮	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨	叭	叺	吁	吽
5260	呀	听	吭	吼	吮	吶	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
5270	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸	咥	咬	哄	哈	咨	
5320		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏	唔	哽	哮	哭	哺	哢
5330	唹	啀	啣	啌	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀	咯	喊
5340	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜
5350	嗤	嗔	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營	嘴	嘶	嘲	嘸
5360	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
5370	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮	囹	圀	囿	圄	圉	
5420		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦	圷	圸	坎	圻	址	坏
5430	坩	埀	垈	坡	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆	埔	埒
5440	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹
5450	墅	墹	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑	壗	壙	壘	壥
5460	壜	壤	壟	壯	壺	壹	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
5470	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘	奢	奠	奧	奬	奩	
5520		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨	姜	妍	姙	姚	娥	娟
5530	娑	娜	娉	娚	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾	嫋	嫂
5540	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾
5550	孃	孅	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵	學	斈	孺	宀
5560	它	宦	宸	寃	寇	寉	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
5570	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸	尹	屁	屆	屎	屓	
5620		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌	岑	岔	妛	岫	岻	岶
5630	岼	岷	峅	岾	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕	崗	嵜
5640	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇
5650	嶄	嶂	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍	巓	巒	巖	巛
5660	巫	已	巵	帋	帚	帙	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
5670	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠	廁	廂	廈	廐	廏	
5720		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩	廬	廱	廳	廰	廴	廸
5730	廾	弃	弉	彝	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌	彎	弯
5740	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從
5750	徙	徘	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝	悳	忿	怡	恠
5760	怙	怐	怩	怎	怱	怛	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
5770	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙	悁	悍	惧	悃	悚	

漢字コード表(続き)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
5820		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸	惠	惓	悴	忰	悽	惆
5830	悵	惘	慍	愕	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱	愍	愎
5840	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙
5850	慚	慫	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖	憇	憬	憔	憚
5860	憊	憑	憫	憮	懌	懊	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
5870	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈	戉	戍	戌	戔	戛	
5920		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎	扞	扣	扛	扠	扨	扼
5930	抂	抉	找	抒	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿	拆	擔
5940	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵
5950	捐	挾	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏	掉	掟	掵	捫
5960	捩	掾	揩	揀	揆	揣	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
5970	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕	撓	撥	撩	撈	撼	
5A20		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧	舉	擠	擡	抬	擣	擯
5A30	攬	擶	擴	擲	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴	攵	攷
5A40	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛
5A50	斟	斫	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无	旡	旱	杲	昊
5A60	昃	旻	杳	昵	昶	昴	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
5A70	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝	曁	暹	曉	暾	暼	
5B20		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰	曵	曷	朏	朖	朞	朦
5B30	朧	霸	朮	朿	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤	枉	杰
5B40	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤
5B50	柞	柝	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩	桀	桍	栲	桎
5B60	梳	栫	桙	档	桷	桿	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
5B70	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘	椢	椦	棡	椌	棍	
5C20		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥	棹	棠	棯	椨	椪	椚
5C30	椣	椡	棆	楹	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽	楙	椰
5C40	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝
5C50	榻	槃	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂	樛	槿	權	槹
5C60	槲	槧	樅	榱	樞	槭	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
5C70	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐	檍	檠	檄	檢	檣	
5D20		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻
5D30	欅	蘖	櫺	欒	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃	歉	歐
5D40	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤
5D50	殪	殫	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟	毬	毫	毳	毯
5D60	麾	氈	氓	气	氛	氤	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
5D70	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗	泅	泝	沮	沱	沾	
5E20		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫	洽	洸	洙	洵	洳	洒
5E30	洌	浣	涓	浤	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊	涵	淇
5E40	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭
5E50	湮	渮	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟	湃	渺	湎	渤
5E60	滿	渝	游	溂	溪	溘	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
5E70	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿	滲	漱	滯	漲	滌	
5F20		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯	潛	濳	潭	澂	潼	潘
5F30	澎	澑	濂	潦	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬	濔	濘
5F40	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟
5F50	瀰	瀾	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳	炮	烟	烋	烝
5F60	烙	焉	烽	焜	焙	煥	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
5F70	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎	燠	燬	燧	燵	燼	

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
6020		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰	爲	爻	爼	爿	牀	牆
6030	牋	牘	牴	牾	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃	狆	狄
6040	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩
6050	猥	猾	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻	獺	珈	玳	珎
6060	玻	珀	珥	珮	珞	璢	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
6070	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞	璧	瓊	瓏	瓔	珱	
6120		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸	瓷	甄	甃	甅	甌	甎
6130	甍	甕	甓	甞	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚	畩	畤
6140	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣
6150	痂	疳	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙	痣	痞	痾	痿
6160	痼	瘁	痰	痺	痲	痳	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
6170	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨	癩	癪	癧	癬	癰	
6220		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎	皖	皓	皙	皚	皰	皴
6230	皸	皹	皺	盂	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻	眈	眇
6240	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿
6250	睾	睹	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼	瞽	瞻	矇	矍
6260	矗	矚	矜	矣	矮	矼	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
6270	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔	碾	碼	磅	磊	磬	
6320		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬	礫	祀	祠	祗	祟	祚
6330	祕	祓	祺	祿	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉	秕	秧
6340	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗
6350	穉	穡	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘	窖	窩	竈	窰
6360	窶	竅	竄	窿	邃	竇	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
6370	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙	笞	笵	笨	笶	筐	
6420		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴	筧	筰	筱	筬	筮	箝
6430	箘	箟	箍	箜	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏	箴	篆
6440	篝	篩	簑	簔	篦	篥	簠	簀	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣
6450	簧	簪	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐	籘	籟	籤	籖
6460	籥	籬	籵	粃	粐	粤	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
6470	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯	糲	糴	糶	糺	紆	
6520		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿	紵	絆	絳	絖	絎	絲
6530	絨	絮	絏	絣	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵	緇	綽
6540	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅
6550	縊	縣	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻	縵	縹	繃	縷
6560	縲	縺	繧	繝	繖	繞	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
6570	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖	纎	纛	纜	缸	缺	
6620		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘	罟	罠	罨	罩	罧	罸
6630	羂	羆	羃	羈	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹	羮	羶
6640	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋
6650	耒	耘	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘	聚	聟	聢	聨
6660	聳	聲	聰	聶	聹	聽	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
6670	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱	脛	脩	脣	脯	腋	
6720		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥	腦	腴	膃	膈	膊	膀
6730	膂	膠	膕	膤	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀	臂	膺
6740	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅
6750	與	舊	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘	艝	艚	艟	艤
6760	艢	艨	艪	艫	舮	艱	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
6770	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹	苞	茆	苜	茉	苙	

漢字コード表（続き）

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
6820		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅	茯	茫	茗	茘	莅	莚
6830	莪	莟	莢	莖	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉	莨	菴
6840	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽
6850	萸	蔆	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮	蒂	葩	葆	萬
6860	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
6870	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈	
6920		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊	薨	蕭	薔	薛	藪	薇
6930	薜	蕷	蕾	薐	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹	蘊	蘓
6940	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣
6950	蚩	蚪	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫	蛔	蛞	蛩	蛬
6960	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
6970	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙	
6A20		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄
6A30	螳	蟇	蟆	螻	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒	蠑	蠖
6A40	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁
6A50	衾	袞	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢	袍	袤	袰	袿
6A60	袱	裃	裄	裔	裘	裙	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
6A70	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶	褸	襌	褝	襠	襞	
6B20		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃	覈	覊	覓	覘	覡	覩
6B30	覦	覬	覯	覲	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸	訃	訖
6B40	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅
6B50	誂	誄	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂	諚	諫	諳	諧
6B60	諤	諱	謔	諠	諢	諷	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
6B70	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎	證	譖	譛	譚	譫	
6C20		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒	讓	讖	讙	讚	谺	豁
6C30	谿	豈	豌	豎	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊	貍	貎
6C40	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚
6C50	賽	賺	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓	賍	贔	贖	赧
6C60	赭	赱	赳	趁	趙	跂	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
6C70	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟	蹂	踵	踰	踴	蹊	
6D20		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁
6D30	躇	躅	躄	躋	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆	躱	躾
6D40	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜
6D50	輟	輛	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉	轆	轎	轗	轜
6D60	轢	轣	轤	辜	辟	辣	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
6D70	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋	逧	逶	逵	逹	迸	
6E20		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘	遞	遨	遯	遶	隨	遲
6E30	邂	遽	邁	邀	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈	郛	鄂
6E40	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢
6E50	醫	醯	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖	釟	釡	釛	釼
6E60	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
6E70	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷	鋩	錏	鋺	鍄	錮	
6F20		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭
6F30	鎔	鎹	鏖	鏗	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔	鐓	鐃
6F40	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩
6F50	鑰	鑵	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊	閔	閖	閘	閙
6F60	閠	閨	閧	閭	閼	閻	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
6F70	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌	陏	陋	陷	陜	陞	

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
7020		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗	險	隧	隱	隲	隰	隴
7030	隶	隸	隹	雎	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆	霈	霓
7040	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉
7050	靜	靠	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁	靺	鞆	鞋	鞏
7060	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
7070	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆	顏	顋	顫	顯	顰	
7120		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃	飆	飩	飫	餃	餉	餒
7130	餔	餘	餡	餝	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅	饐	饋
7140	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭
7150	駮	駱	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷	驅	驂	驀	驃
7160	騾	驕	驍	驛	驗	驟	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
7170	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯	髫	髮	髴	髱	髷	
7220		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲
7230	魄	魃	魏	魍	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟	鮠	鮨
7240	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱
7250	鯰	鰕	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮	鰛	鰥	鰤	鰡
7260	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
7270	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈	
7320		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩
7330	鶲	鷄	鷁	鶻	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭	鷯	鷽
7340	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩
7350	麸	麪	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝	黠	黥	黨	黯
7360	黴	黶	黷	黹	黻	黼	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
7370	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷	齲	齶	龕	龜	龠	
7420																
7430																
7440																
7450																
7460																
7470																

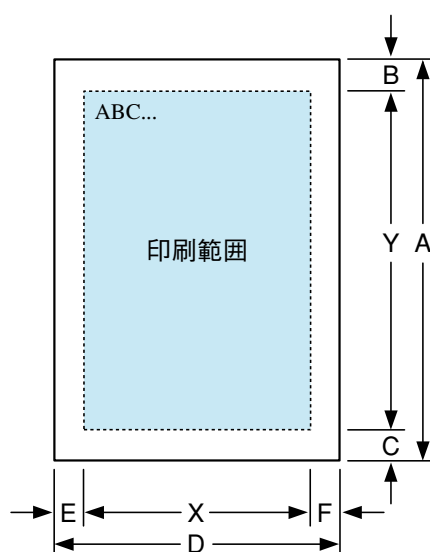
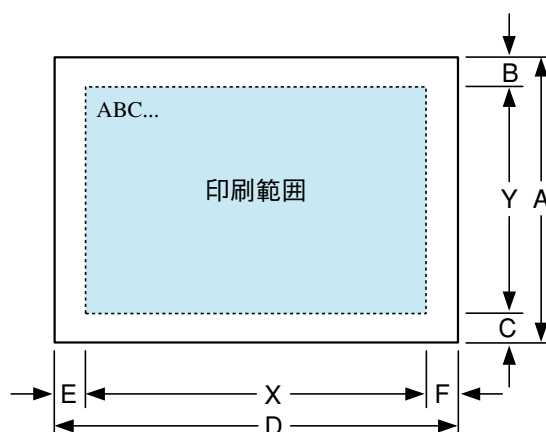
印刷範囲

定形用紙

以下に示す印刷範囲は、理論印刷範囲を表しています。実際の印刷範囲と使用環境、プリンター設定により多少異なる場合があります。

チェック

添付のプリンタードライバーを使用した場合、プリンタードライバーの機能により余白量をすべて約5mmに設定できます。

- ポートレート

- ランドスケープ

MS-DOS環境

以下の印刷範囲はプリンタードライバーのプロパティダイアログボックスで「従来互換の印刷範囲を使用する」をチェックしたときの値です。

- ポートレート

データ	用紙	A (用紙長)	B (上余白)	C (下余白)	Y (印刷範囲)		D (用紙幅)	E (左余白)	F (右余白)	X (印刷範囲)		
		mm	mm	mm	ドット*1	行*2	mm	mm	mm	ドット*1	文字*3	文字*4
A3	A3	420	5.00	6.06	9660	96	297	5.00	4.98	6780	113	75
	B4	364	17.28	5.94	9660	96	257	10.12	7.70	6780	113	75
	A4	297	19.39	4.98	9660	96	210	14.77	3.88	6780	113	75
B4	A3	420	10.29	6.17	8340	83	297	13.47	7.73	5700	95	63
	B4	364	5.00	5.94	8340	83	257	8.00	7.70	5700	95	63
	A4(2/3)	297	30.82	30.80	8340	83	210	26.84	22.30	5700	95	63
	A4(4/5)	297	9.55	4.98	8340	83	210	10.75	6.21	5700	95	63
	B5	257	10.50	11.12	8340	83	182	12.66	8.48	5700	95	63
A4	A3	420	5.00	13.15	6780	67	297	7.12	12.49	4680	78	52
	B4	364	5.00	14.51	6780	67	257	8.11	11.09	4680	78	52
	A4	297	5.00	4.98	6780	67	210	8.00	3.88	4680	78	52
	B5	257	8.60	9.22	6780	67	182	10.54	6.36	4680	78	52
A4×2	A4	297	21.93	4.98	9570	-	210	14.77	3.88	6780	-	-
A4(80)	A3	420	5.00	13.15	6780	67	297	7.12	5.40	4800	80	53
	B4	364	5.00	14.51	6780	67	257	8.11	5.05	4800	80	53
	A4	297	5.00	4.98	6780	67	210	3.40	3.40	4800	80	53
	B5	257	8.60	9.22	6780	67	182	8.85	3.82	4800	80	53
A4×2 (80)	A4	297	21.93	4.98	9570	-	210	14.77	3.88	6780	-	-
B5	B4	364	11.35	7.63	5820	58	257	13.29	5.37	4020	67	44
	A4	297	9.23	6.14	5820	58	210	10.12	5.36	4020	67	44
	B5	257	5.00	5.62	5820	58	182	8.00	3.82	4020	67	44
B5×2	B5	257	19.39	5.62	8220	-	182	13.93	3.82	5820	-	-
A5	A5	210	5.00	4.34	4740	47	148	8.00	4.11	3210	53	35
帳票	B4	364	35.90	51.66	8160	81	257	25.78	7.70	6600	110	73
	A4	297	30.82	35.88	8160	81	210	19.85	3.88	6600	110	73
ハガキ	ハガキ	148	5.00	3.30	3300	33	100	8.00	5.64	2040	34	22
レター	レター	280	5.00	5.76	6360	63	216	8.00	4.80	4800	80	53
往復ハガキ	往復ハガキ	148	5.00	5.00	3258	32	200	5.00	5.00	4490	74	49
封筒	封筒	235	5.00	5.00	5315	53	105	5.00	5.00	2245	37	24

＊1　解像度600dpiの場合。
＊2　改行ピッチが6LPIの場合。
＊3　7.2ポイント、全角のフォント使用時（文字ピッチが10CPIの場合）。
＊4　10.8ポイント、全角のフォント使用時。

● ランドスケープ

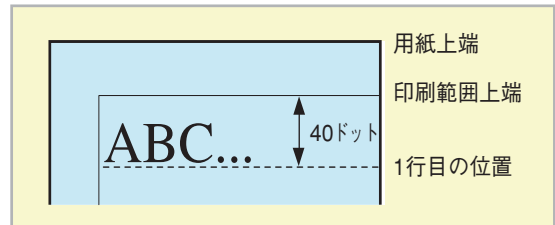
データ	用紙	A (用紙長)	B (上余白)	C (下余白)	Y (印刷範囲)		D (用紙幅)	E (左余白)	F (右余白)	X (印刷範囲)		
		mm	mm	mm	ドット*1	行*2	mm	mm	mm	ドット*1	文字*3	文字*4
A3	A3	297	4.98	5.00	6780	67	420	5.00	6.06	9660	161	107
	B4	257	9.82	8.00	6780	67	364	9.66	13.56	9660	161	107
	A4	210	10.65	8.00	6780	67	297	19.39	4.98	9660	161	107
B4	A3	297	16.20	5.00	5700	57	420	10.29	14.84	8160	136	90
	B4	257	7.70	8.00	5700	57	364	5.00	13.56	8160	136	90
	A4(2/3)	210	26.74	22.39	5700	57	297	30.82	35.88	8160	136	90
	A4(4/5)	210	8.75	8.21	5700	57	297	9.55	11.01	8160	136	90
	B5	182	8.48	12.66	5700	57	257	13.04	13.66	8160	136	90
A4	A3	297	12.49	7.12	4680	46	420	5.00	13.15	6780	113	75
	B4	257	7.91	11.28	4680	46	364	5.00	14.51	6780	113	75
	A4	210	3.88	8.00	4680	46	297	5.00	4.98	6780	113	75
	B5	182	6.36	10.54	4680	46	257	8.60	9.22	6780	113	75
A4×2	A4	210	10.65	8.00	6780	-	297	18.55	8.37	9570	-	-
A4(80)	A3	297	12.49	7.12	4680	46	420	5.00	13.15	6780	113	75
	B4	257	7.91	11.28	4680	46	364	5.00	14.51	6780	113	75
	A4	210	3.88	8.00	4680	46	297	5.00	4.98	6780	113	75
	B5	182	6.36	10.54	4680	46	257	8.60	9.22	6780	113	75
A4×2 (80)	A4	210	10.65	8.00	6780	-	297	15.16	4.98	9810	-	-
B5	B4	257	10.66	8.00	4020	40	364	11.35	7.63	5820	97	64
	A4	210	7.48	8.00	4020	40	297	9.23	6.14	5820	97	64
	B5	182	3.82	8.00	4020	40	257	5.00	5.62	5820	97	64
B5×2	B5	182	9.75	8.00	5820	-	257	12.20	12.82	8220	-	-
A5	A5	148	4.11	8.00	3210	32	210	5.00	4.34	4740	79	52
帳票	B4	257	25.48	8.00	6600	66	364	35.90	51.66	8160	136	90
	A4	210	15.73	8.00	6600	66	297	30.82	35.88	8160	136	90
ハガキ	ハガキ	100	5.64	8.00	2040	20	148	5.00	5.84	3240	54	36
レター	レター	216	4.80	8.00	4800	48	280	5.00	5.76	6360	106	70
往復ハガキ	往復ハガキ	200	5.00	5.00	4490	44	148	5.00	5.00	3258	54	36
封筒	封筒	105	5.00	5.00	2245	22	235	5.00	5.00	5315	88	59

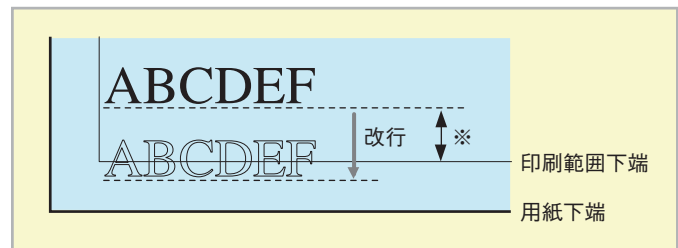
＊1　解像度が600dpiの場合。
＊2　改行ピッチが6LPIの場合。
＊3　7.2ポイント、全角のフォント使用時（文字ピッチが10CPIの場合）。
＊4　10.8ポイント、全角のフォント使用時。

補足説明

- 余白量（印刷不可領域）は、使用する用紙の寸法差、プリンター個々の用紙走行の精度などの条件により前後する場合があります。

- 印刷範囲（印刷可能ドット数）は、すべて240dpiで規定されています。各解像度での印刷可能ドット数は以下のようになります。
  600dpi　：240dpiのドット数を5/2倍にした値

- 行桁モードでは、1行目の位置は240dpi相当で印刷範囲の上から40ドット目（約4.2mm）となります。したがって、40ドットより小さい文字を印刷した場合、上端の余白は上記値よりも大きくなります。

  ― 1行目の第一印刷位置に文字を印刷したときは、全点アドレス印刷モードで座標値として（0, 39）（240dpi）を指定したのと同じ位置に印刷されます。
  ― 文字が小さい場合などでは見かけ上の余白が大きくなります。

- 行桁モードでは、ページの下端付近での改行の結果、次の印刷位置が上記印刷範囲をはみ出してしまう場合には改ページされます。このため改行ピッチの設定によっては印刷範囲下端付近には印刷できない場合があり、その場合の下端余白は上記値よりも大きくなります。

  ― 最終行が下にはみ出してしまうので、実際には改ページ後に印刷されます。その結果、※の部分には印刷できなくなるので見かけ上の余白が大きくなります。

- 印刷可能桁数、行数は、上記印刷範囲のドット数を文字ピッチあるいは行ピッチで割ることによって算出したものです。
  計算に用いる値は右のとおりです。

  ― 値はすべて240dpiでのドット数です。文字数、行数とも、計算はすべて240dpiで行います。
  ― 2バイト系文字については、カッコ内に示した文字ピッチを使用している場合のドット数を示しています。文字ピッチを変えることにより、印刷可能桁数も変わります。
  ― 1バイト系、2バイト系文字とも、文字間にスペースを挿入することが可能ですが、この場合も印刷可能桁数は減少します。

種　別			ドット数
文字数	1バイト系	パイカ	24ドット
		エリート	20ドット
		コンデンス	14ドット
	2バイト系	7ポイント（1/10インチ）	24ドット
		10.5ポイント（3/20インチ）	36ドット
		12ポイント（1/6インチ）	40ドット
行数	6LPI（1/6インチ）		40ドット
	8LPI（1/8インチ）		30ドット

定形外用紙

定形外用紙とは、本プリンターでサポートしている定形用紙(A3、A4、A5、B4、B5、レター、はがき、往復はがき、封筒)以外の大きさの用紙のことです。この場合の印刷範囲と印刷位置は、使用する用紙の大きさ、プリンター設定に応じてアプリケーションから正しく制御する必要があります。定形外用紙は、トレーおよび定形外用紙カセット(オプション)で印刷可能です。

チェック

定形外用紙をセットするときの注意

アプリケーションソフトウエアで任意の用紙サイズを指定できても定形外用紙への印刷が行えないことがあります。

また、対応可能な用紙の厚み(坪量)は、定形紙に比べて扱える範囲が狭くなる場合があります。定形外用紙を使用する場合は、事前に十分な試し印刷をして印刷動作を確認することを強くお勧めいたします。

- 形状が長方形以外の不規則な形状の用紙、裁断角度が直角でない用紙は使用しないでください。
- 紙質、繊維目方向、プレ印刷、ホールパンチ、ミシン目等により正常に印刷されない場合があります。
- 種類、繊維目方向によっては印刷後大きくカールするものがあります。
- スタックが完全にされない場合があります。この場合はその都度用紙を取り除いてください。

プリンターの設定について

定形外用紙に印刷する場合、定形外用紙カセット(オプション)またはトレーを使用してください。定形外用紙カセット使用の場合、メニューモードで定形外サイズを設定してください。

重要

印刷範囲が定形外用紙内に収まっていない設定のまま印刷を行うと装置内を汚すなど、思わぬ障害の原因となる場合があります。印刷前に十分確認してください。

余白について

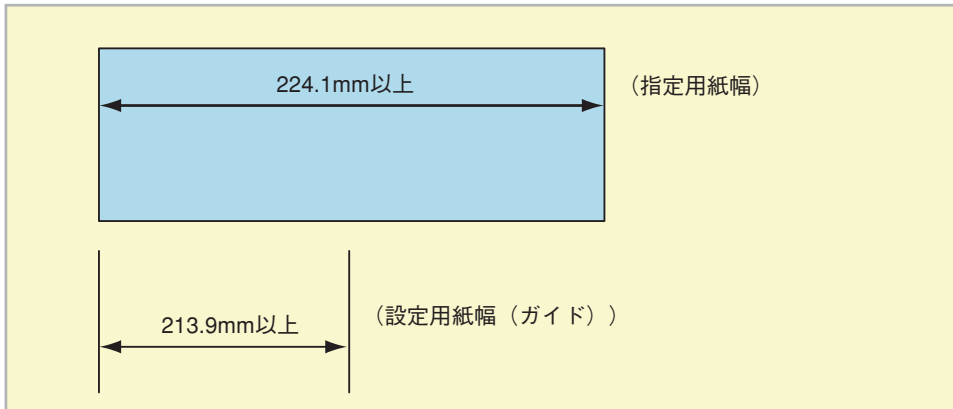
印刷品質を保つため、実際に使用する用紙に対して上下左右とも5mm以上の余白ができるように、印刷位置と印刷範囲を設定してください。

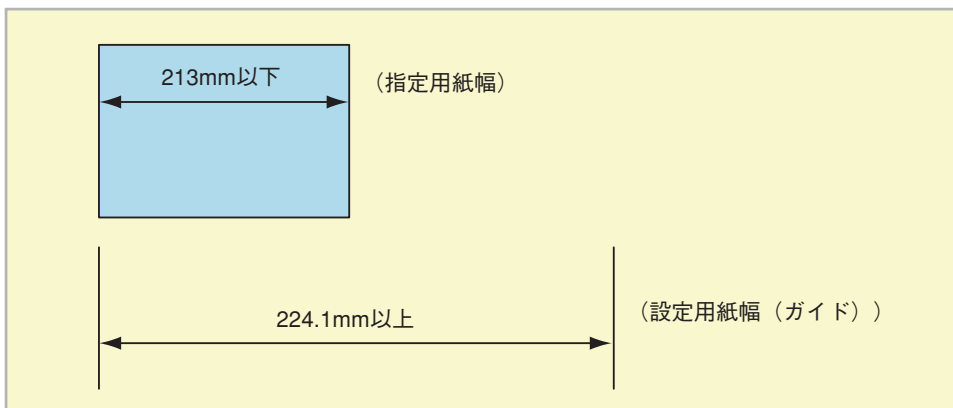
重要

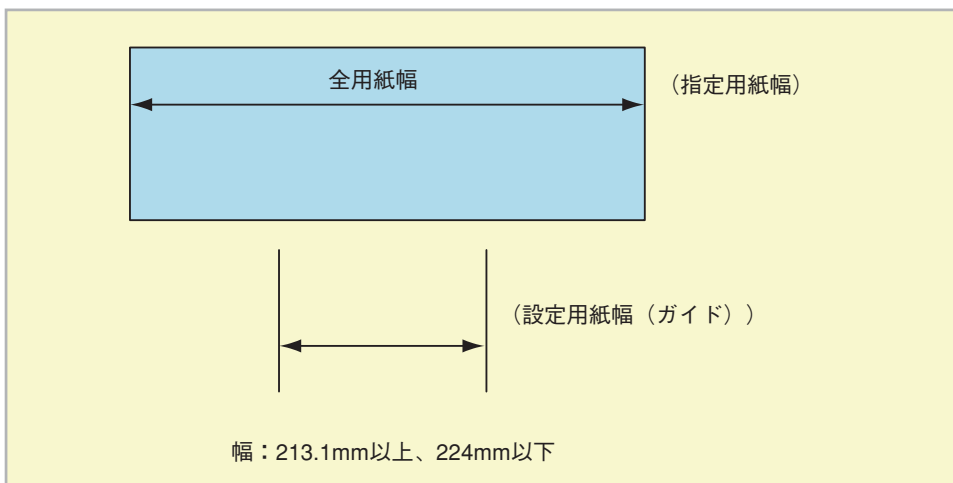
印刷結果が実際に使用する用紙をはみ出すことのないように注意してください。はみ出した印刷を続けると、思わぬ障害の原因となります。

用紙サイズ違いについて

セットされている用紙サイズ幅(ガイド幅)とプリンタードライバーから指定した用紙サイズが異なる場合、以下の状態でテイケイガイホキュウ表示を行います。ただし、ー3.の場合には、サイズ違いは検出せず、ホキュウ表示は行いません。

1. 設定用紙幅　213.9mm以下
   指定用紙幅　224.1mm以上　の場合

補給解除：用紙ガイドを指定用紙幅にセットしてください。

2. 設定用紙幅　224.1mm以上
   指定用紙幅　213.0mm以下　の場合

補給解除：用紙ガイドを指定用紙幅にセットしてください。

3. 設定用紙幅が　213.1mm以上、224mm以下の場合、全指定用紙幅に対して、用紙サイズの不一致は検出はできいないため、補給表示は行わない。

NPDLの初期状態

次の条件で、プリンターの内部状態は初期状態になります。それぞれの条件下における初期状態については、次の表をご覧ください。

- 電源をONにしたとき
- 操作パネル上でリセットを実行したとき
  → 未印刷データをすべて消します。
- ソフトウエアリセット(ESC c1)を実行したとき
  → 印刷フォーマット、ホッパー指定は初期状態になりません。未印刷データは印刷されます。
- INPUT･PRIME信号を受信したとき
  → 印刷フォーマット、ホッパー指定、およびセレクト／ディセレクトは初期状態になりません。
  未印刷データは印刷されます。
- パラメーターリセット(ESC c8)を実行したとき
  → VFU、印刷フォーマット、ホッパー指定、セレクト／ディセレクト、動作モード、網かけ登録、1バイト文字登録などの登録内容は初期状態になりません。未印刷データは印刷されます。

内部状態		イニシャライズ（初期化）の種類				
		電源ON	操作パネルリセット	ESC c1	INPUT・PRIME	ESC c8
現在位置		第1行第1桁				
レフトマージン幅		メニュー設定に従う（工場設定000）				
ライトマージン幅（桁数）		A3：113桁　A4：078（80桁モード時 080）桁　A5：053桁 B4：095桁　B5：067桁　レター：080桁　はがき：034桁				
水平タブセット		クリア				
VFU	FF長（桁数）	A3: 96行　A4: 67行　A5: 47行 B4: 83行　B5: 58行　レター: 63行　はがき: 33行				変化せず
	ボトム領域	なし				変化せず
	VTセット（CH2）	A3:第7、13、19、25、31、37、43、49、55、61、67、73、79、85、91行目 A4:第7、13、19、25、31、37、43、49、55、61、67行目 A5:第7、13、19、25、31、37、43行目 B4:第7、13、19、25、31、37、43、49、55、61、67、73、79行目 B5:第7、13、19、25、31、37、43、49、55行目 レター:第7、13、19、25、31、37、43、49、55、61行目 はがき:第7、13、19、25、31行目				変化せず
	VTセット(CH3～CH6)	クリア				変化せず
改行方向		順方向改行				
改行幅		1/6インチ				
セレクト／ディセレクト状態		セレクト状態			変化せず	
受信バッファー		クリア		クリアせず		
ページバッファー		クリア		クリアせず		
未印刷データ		―	クリア	印刷実行		
動作モード		メニュー設定に従う（エミュレーション／ページプリンター）				変化せず
印刷方式		パイカモード				
コード表のシフト状態		カタカナ状態（8ビットコード）				
1バイト文字フォント		メニュー設定に従う（標準／イタリック／クーリエ／ゴシック）				
漢字書体		メニュー設定に従う（内蔵明朝／内蔵ゴシック）				
漢字	文字サイズ	10.5ポイント				
	文字幅	3/20インチ				
半角	縦書き	解除				
	組文字	解除				
スクリプト文字		解除				

内部状態		イニシャライズ（初期化）の種類				
		電源ON	操作パネルリセット	ESC c1	INPUT・PRIME	ESC c8
倍率指定		縦横とも解除				
修飾印刷		解除				
アンダーライン	指定	解除				
	線種	実線、一重線				
	線幅	2ドット				
網かけ	指定	解除				
	登録	クリア（未登録状態）				クリアせず
白黒反転		解除				
固定ドットスペース		左右とも0ドット				
縦方向文字位置オフセット		0ドット				
1バイト文字登録	パターン	ROMパターン				
	登録	クリア（未登録状態）				クリアせず
2バイト文字登録		クリア（未登録状態）				クリアせず
ドット切り替え		メニュー設定に従う（ネイティブモード／コピーモード）				
印刷フォーマット	印刷方向	ポートレート		変化せず		
	縮小モード	解除		変化せず		
コピー枚数	コード（FSx）	1枚		メニュー設定に従う		
	操作パネル	1枚		変化せず		
座標指定単位		1/240インチ				
描画座標		（X，Y）＝（0，0）				
全点アドレス印刷モード		解除				
フォーム	登録	クリア				クリアせず
	参照	解除				変化せず
図形印刷モード		解除				
グラフ描画モード		絶対描画モード				
プリンター単位		1/240インチ				
線分	線種	実線				
	線幅	1ドット幅				
	線長	P_1P_2の対角線距離の4%				
	線端タイプ	断切り型				
	接続タイプ	マイター接続				
	選択パターン	黒べた				
	登録パターン	クリア				クリアせず
ペン	座標	（X，Y）＝（0，0）				
	上下位置	アップ状態				
塗り潰しモード		解除				
塗り潰し	選択パターン	パターン番号1				
	登録パターン	クリア（未登録状態）				クリアせず
スケーリングポイント	P1	（X，Y）＝（0，0）				
	P2	各用紙サイズ、印刷フォーマットでの最大印刷位置				
スケーリング		解除				
ウィンドウ領域		各用紙サイズでの最大				
座標系反転		解除				
座標系回転		0度				
論理描画		OR				
パス構築モード		解除				
パスデータ		廃棄				
ホッパー指定		メニュー設定に従う（ホッパー1/ホッパー2/ホッパー3/ホッパー4/ホッパー5/トレー）		変化せず		
両面印刷		メニュー設定に従う（片面印刷/両面印刷）		変化せず		

制御コード

制御コードは「テキストモード」と「図形モード」の2つに分かれています。
制御コードの詳細については別売りの「日本語ページプリンタ言語NPDL(Level2)リファレンスマニュアル」を参照してください。なお、「日本語ページプリンタ言語NPDL(Level2)」に記載されていない制御コードまたは、機能を拡張した制御コードについては「機能拡張制御コード」(462ページ)で細かく説明しています。

以下の表において「E」と「P」は動作モードを表します。
E：201PLエミュレーションモード　　P：ページプリンタ(NPDL)モード

また、「○」と「×」はそれぞれの動作モードでその制御コードを使用できるか(○)使用できないか(×)を示します。

テキストモード

コード区分	機　能	制御コード	E	P
ページ制御コード	改ページ指令	FF	○	○
	未印刷データ排出	ESC a	○	○
	未印刷データ排出	ESC b	○	○
	印刷方向の設定およびホッパ選択	FS f c_1 c_2 c_3.	○	○
	印刷方向の設定および用紙サイズ選択	FS f c_1 c_2 c_3.	○	○
	印刷方向の設定および縮小／拡大モード設定	FS f c_1 c_2 c_3 c_4 c_5.	○	○
	ページコピー枚数の設定	FS x	○	○
行桁関連制御コード				
■行桁制御印刷コード	ドットスペース（1〜8ドットスペース）	ESC <n>	○	○
	ドットスペース（9〜25ドットスペース）	ESC <n>	×	○
	固定ドットスペース	FS w	○	○
	2バイトコード文字の文字幅設定	FS p	○	○
	ドットアドレッシング	ESC F	○	○
	半角文字の組文字設定	ESC q	○	○
	縮小文字の組文字印刷指定	FS P	○	○
	縦方向オフセット量の設定	FS t	×	○
	VFUの設定開始	GS	○	○
	VFUの設定終了	RS	○	○
	簡易VFUの設定	ESC v	○	○
	垂直タブの実行	VT	○	○
	VFUの実行	US	○	○
	水平タブの設定	ESC (	○	○
	水平タブの実行	HT	○	○
	水平タブの部分クリア	ESC)	○	○
	水平タブの全クリア	ESC 2	○	○
	レフトマージンの設定	ESC L	○	○
	ライトマージンの設定	ESC /	○	○
	1/6インチ改行モードの設定	ESC A	○	○
	1/8インチ改行モードの設定	ESC B	○	○
	N/120インチ改行モードの設定	ESC T	○	○
	印刷位置の復帰	CR	○	○
	改行指令	LF	○	○
	改ページ指令	FF	○	○
	n行改行	US	○	○
	順方向改行モードの設定	ESC f	○	○
	逆方向改行モードの設定	ESC r	○	○
■行桁修飾制御コード	ライン付加モードの設定	ESC X	○	○
	ライン付加モードの解除	ESC Y	○	○
	アンダーライン／オーバーラインの切り替え	ESC _	○	○
	付加ライン線種の設定	FS Ø4 L	○	○
	網かけ・白黒反転モードの設定	FS n	○	○
	網かけ・白黒反転モードの解除	FS E	○	○
	網かけパターンの登録	FS r	×	○
■ドット列印刷制御コード	8ビットドット列対応グラフィックモードの設定	ESC S	○	○
	16ビットドット列対応グラフィックモードの設定	ESC I	○	○
	24ビットドット列対応グラフィックモードの設定	ESC J	○	×
	8ビットドット列リピート	ESC V	○	×
	16ビットドット列リピート	ESC W	○	×
	24ビットドット列リピート	ESC U	○	×
	40ビットドット列印刷モードの設定	FS b	×	○
■その他	コピーモードの設定	ESC D	○	○
	ネイティブモードの設定	ESC M	○	○

テキストモード

コード区分	機　能	制御コード	E	P
文字関連制御コード				
■文字セット制御コード	英数モードの設定（7ビットコード）	SI	○	×
	カタカナモードの設定（7ビットコード）	SO	○	×
	カタカナモードの設定（8ビットコード）	ESC $	○	○
	英数モードの設定（7ビットコード）	ESC $	○	×
	ひらがなモードの設定（8ビットコード）	ESC &	○	○
	ひらがなモードの設定（7ビットコード）	ESC &	○	×
	CGグラフィックモードの設定（7ビットコード）	ESC #	○	×
	外字（24×24ドット）のロード	ESC +	○	×
	外字（16×16ドット）のロード	ESC ＊	○	×
	1バイトコード文字のダウンロード	ESC /	○	×
	登録文字のクリア	ESC /Ø	○	×
	登録文字の印刷	ESC /+	○	×
	プリンター内蔵文字の印刷	ESC /-	○	×
	1バイトコード文字の登録	FS g R	×	○
	2バイトコード文字の登録	FS g R2K	×	○
	1バイトコード登録文字の全クリア	FS g AC1.	×	○
	2バイトコード登録文字の全クリア	FS g AC2.	×	○
	1バイトコード内蔵文字印刷	FS g MI1.	×	○
	1バイトコード登録文字印刷	FS g MR1.	×	○
	1バイト文字フォントの選択	FS Ø6F1	○	○
	2バイト文字書体の選択	FS Ø6F2	×	○
	2バイト文字指定	ESC O	○	○
■文字スタイル制御コード	文字拡大モードの設定（8ビットコード）	SO	○	×
	文字拡大モードの解除（8ビットコード）	SI	○	×
	文字拡大モードの設定（7ビットコード）	DC2	○	×
	文字拡大モードの解除（7ビットコード）	DC4	○	×
	パイカモードの設定	ESC H	○	○
	エリートモードの設定	ESC E	○	○
	コンデンスモードの設定	ESC Q	○	○
	プロポーショナルモードの設定	ESC P	○	○
	漢字（横書き）モードの設定	ESC K	○	○
	漢字（縦書き）モードの設定	ESC t	○	○
	外字の印刷（横書き）	ESC K a_1 b_1	○	○
	外字の印刷（縦書き）	ESC t a_1 b_1	○	○
	半角文字の縦書きモード設定	ESC h1	○	○
	半角文字の縦書きモード解除	ESC hØ	○	○
	スーパースクリプトモードの設定	ESC s1	○	○
	サブスクリプトモードの設定	ESC s2	○	○
	スクリプトモードの解除	ESC sØ	○	○
	文字サイズの設定	FS Ø4S	○	○
	1バイト文字サイズの設定	FS Ø7S1	×	○
	2バイト文字サイズの設定	FS Ø7S2	×	○
	全角漢字の文字幅設定 （文字幅：3/20インチ、文字サイズ：10.5ポイント）	FS A	○	○
	全角漢字の文字幅設定 （文字幅：1/5インチ、文字サイズ：10.5ポイント）	FS B	○	○
	全角漢字の文字幅設定 （文字幅：1/6インチ、文字サイズ：10.5ポイント）	FS C	○	○
	全角漢字の文字幅設定 （文字幅：1/10インチ、文字サイズ：7ポイント）	FS F	○	×
	全角漢字の文字幅設定 （文字幅：1/6インチ、文字サイズ：12ポイント）	FS G	○	×
	縦横拡大率の指定	ESC e	○	×
	文字の拡大率、縮小率の指定	FS m	○	○
	強調印刷モードの設定	ESC !	○	○
	強調印刷モードの解除	ESC ”	○	○
	文字修飾の指定／解除	FS c	○	○
	文字明度の指定	FS $	×	○
■その他	キャラクターリピート	ESC R	○	○

テキストモード

コード区分	機　能	制御コード	E	P
面制御コード	座標指定単位の設定	FS <	×	○
	描画座標の指定	FS e	×	○
	座標のコピー	FS e	×	○
	罫線の描画	FS l	×	○
	領域指定の網かけ	FS s	×	○
	網かけパターンの登録	FS r	×	○
	領域指定のイメージ印刷	FS i	×	○
	全点アドレス印刷モードの設定	FS a	×	○
	全点アドレス印刷モードの解除	FS R	×	○
	フォーム登録の開始／参照	FS u	○	○
	フォーム登録モードの解除	FS U	○	○
その他	セレクト状態の設定	DC1	○	×
	ディセレクト状態の設定	DC3	○	×
	201PLエミュレーションモードの設定	FS d 16Ø.	○	○
	ページプリンターモードの設定	FS d 24Ø.	○	○
	ソフトウエアリセット	ESC c1	○	○
	パラメーターリセット	ESC c8	○	○
	図形モードの設定	FS Y	×	○
	図形モードの解除	FS Z	×	○
	描画論理の指定	FS "	×	○
	クリッピング領域の設定	FS #	×	○

図形モード

図形モードに関する制御コードは、すべてページプリンタモードの図形モード中で有効です。

コード区分	機　能	制御コード	E	P
図形の座標系設定	スケーリングポイントの設定	IP	×	○
	座標系の設定	SC	×	○
	ウィンドウ領域の指定	IW	×	○
	回転角の設定	RO	×	○
	座標系の反転	RC	×	○
	プリンタ単位の設定	SU	×	○
線に関する設定	線種の設定	LT	×	○
	線幅の設定	LW	×	○
	線端タイプの設定	LC	×	○
	線接続タイプの設定	LJ	×	○
	線タイプの登録	RL	×	○
	線パターンの選択	LP	×	○
塗りつぶしに関する設定	塗りつぶしモードの設定	XX1	×	○
	塗りつぶしモードの解除	XXØ	×	○
	塗りつぶしパターンの選択	PP	×	○
	塗りつぶしパターンの登録	RP	×	○
	グレーレベルパターンの設定	SG	×	○
	描画論理の設定	PM	×	○
図形の描画	ペンを上げる	PU	×	○
	ペンを下げる	PD	×	○
	直線の描画（絶対描画モード）	PA	×	○
	直線の描画（相対描画モード）	PR	×	○
	ペンの移動（絶対描画モード）	MA	×	○
	ペンの移動（相対描画モード）	MR	×	○
	扇形の描画（絶対描画モード）	FA	×	○
	扇形の描画（相対描画モード）	FR	×	○
	円の描画	CI	×	○
	円弧の描画（絶対描画モード）	AA	×	○
	円弧の描画（相対描画モード）	AR	×	○
	円弧の描画（絶対座標）	AX	×	○
	円弧の描画（相対座標）	AY	×	○
	円弧の描画	AT	×	○
	楕円の描画	EL	×	○
	楕円弧の描画	ED	×	○
	楕円弧の描画（逆方向）	EN	×	○

図形モード

コード区分	機　能	制御コード	E	P
図形の描画（続き）	枠無し四角形の塗りつぶし（絶対位置指定）	RA	×	○
	枠無し四角形の塗りつぶし（相対位置指定）	RR	×	○
	枠あり四角形の塗りつぶし（絶対位置指定）	EA	×	○
	枠あり四角形の塗りつぶし（相対位置指定）	ER	×	○
	枠無し扇形の塗りつぶし	WG	×	○
	枠あり扇形の塗りつぶし	EW	×	○
	閉領域の塗りつぶし	PI	×	○
	パス構築モードの開始	NP	×	○
	パスの閉鎖	CP	×	○
	パス構築モードの終了	EP	×	○
	ストロークの描画	ST	×	○
	フィルの描画（非零則）	FL	×	○
	フィルの描画（偶奇則）	EF	×	○
その他	イニシャライズ	IN	×	○
	初期設定	DF	×	○
	図形モード設定	FS Y	×	○
	図形モード解除	FS Z	×	○

ESC/Pエミュレーションサポートコマンド

コマンド	機　能
ESC C	行単位ページ長設定
ESC C 0	インチ単位ページ長設定
ESC N	ミシン目スキップ設定
ESC O	ミシン目スキップ解除
ESC Q	右マージン設定
ESC 1	左マージン設定
ESC 0	1/8インチ改行量設定
ESC 2	1/6インチ改行量設定
ESC 3	n/180インチ改行量設定
ESC A	n/60インチ改行量設定
ESC +	n/360インチ改行量設定
ESC B	垂直タブ位置設定
ESC D	水平タブ位置設定
ESC /	VFUチャネル選択
ESC b	VFUタブ位置設定
CR	キャリッジリターン
LF	改行
FF	改ページ
ESC J	n/180インチ順方向紙送り
ESC j	n/180インチ逆方向紙送り
HT	水平タブ
VT	垂直タブ
BS	後退
ESC $	絶対位置指定
ESC ¥	相対位置指定
ESC M	12 CPI指定
ESC P	10 CPI指定
ESC g	15 CPI指定
ESC p	プロポーショナル指定、解除
ESC R	国際文字選択
ESC S	スーパー、サブスクリプト指定
ESC T	スーパー、サブスクリプト解除
ESC x	文字品位選択
ESC k	書体選択
ESC 6	上位側コントロールコード解除
ESC 7	上位側コントロールコード指定
ESC t	文字コード表選択
ESC %	ダウンロード文字セット指定、解除
ESC &	ダウンロード文字定義
ESC ：	文字セットコピー
ESC SP	文字間スペース量設定
ESC w	縦倍拡大指定、解除
SI	縮小指定
ESC SI	縮小指定
DC2	縮小解除

コマンド	機　能
ESC -	アンダーライン指定、解除
SO	自動解除付き倍幅拡大指定
ESC SO	自動解除付き倍幅拡大指定
DC4	自動解除付き倍幅拡大解除
ESC W	倍幅拡大指定、解除
ESC E	強調指定
ESC F	強調解除
ESC G	二重印字指定
ESC H	二重印字解除
FS SO	自動解除付き倍幅拡大指定
FS DC4	自動解除付き倍幅拡大解除
ESC 4	イタリック指定
ESC 5	イタリック解除
ESC q	文字スタイル選択
ESC !	一括指定
FS J	縦書き指定
FS K	横書き指定
FS D	半角縦書き2文字指定
FS W	4倍角指定、解除
FS -	漢字アンダーライン指定、解除
FS !	漢字一括指定
FS &	漢字モード指定
FS .	漢字モード解除
FS SI	半角文字指定
FS DC2	半角文字指定解除
FS r	1/4角文字指定
FS k	漢字書体選択
FS 2	外字定義
FS S	全角文字スペース量設定
FS T	半角文字スペース量設定
FS U	半角文字スペース量補正
FS V	半角文字スペース量補正解除
ESC K	8ドット単密度ビットイメージ
ESC L	8ドット倍密度ビットイメージ
ESC Y	8ドット倍速倍密度ビットイメージ
ESC Z	8ドット4倍密度ビットイメージ
ESC ＊	ビットイメージ選択
ESC ＊	ビットイメージリピート
ESC ？	ビットイメージ変換
ESC ＠	初期化
DC 1	デバイスコントロール1
DC 3	デバイスコントロール3
DEL	1文字削除
CAN	データ抹消
ESC EM	カットシートフィーダー制御

機能拡張制御コード

別売りの「日本語ページプリンタ言語NPDL（Level2）リファレンスマニュアル」に記載されていない機能を拡張した制御コードの一覧表を以下に示します。その後にそれぞれの機能を説明しています。

テキストモード

コード区分	機　能	制御コード	E	P
文字スタイル制御コード	漢字文字幅2/15インチ、文字サイズ9.5ポイント設定 文字明度の指定 1バイト文字サイズの設定 2バイト文字サイズの設定 1バイト文字縦横サイズの設定 2バイト文字縦横サイズの設定	FS D FS $ FS Ø7 S1 FS Ø7 S2 FS 12 S1 FS 12 S2	○ × × × × ×	× ○ ○ ○ ○ ○
行桁制御印刷コード	2バイトコード文字の文字幅設定	FS p	○	○
文字ロード	1バイト/2バイトコード文字の登録	FS g	×	○
バーコードの印刷	バーコードの印刷	FS\` $p_1,p_2,p_3,p_4,p_5,p_6,p_7,d_1d_2d_3d_4$・・・	○	○
面制御コード	フォーム登録の開始／参照	FS u	○	○
ページ制御コード	印刷方向の設定および縮小／拡大モード設定 縮小印字の設定 両面印刷設定	FS $f\,C_1,C_2,C_3,C_4,C_5.$ FS Ø5f FS '	○ ○ ○	○ ○ ○
領域指定イメージ	領域指定イメージ描画の設定	FS i	×	○
座標指定単位設定	座標指定単位の設定	FS <	×	○
文字セット制御コード	OCR-Bフォントの指定	FS Ø6 F1 -ØØ4	○	○
カスタマーバーコードの印刷	カスタマーバーコード書体の選択	FS Ø6 F2-$n_1n_2n_3$	○	○
漢字コード表切り替えのための制御コード	漢字コード表の設定	FS Ø5 F2	○	○
フィニッシャー制御コード	フィニッシャーを制御するためのモード設定	FS %	×	○

図形モード

コード区分	機　能	制御コード	E	P
図形の描画コード	楕円の描画 楕円弧の描画 自由曲線の描画（絶対座標モード） 自由曲線の描画（相対座標モード）	EL ED, EN BA BR	× × × ×	○ ○ ○ ○
プリンター単位指定	プリンター単位の設定	SU	×	○
塗りつぶしに関する設定	グレーレベルパターンの設定	SG	×	○
楕円弧描画	楕円弧の描画	AV	×	○
弓形描画	弓形の描画	CV	×	○
扇形描画	扇形の描画	FV	×	○
角丸短形描画	角丸矩形描画	RB	×	○

文字スタイル制御コード

漢字文字幅2／15インチ、文字サイズ9.5ポイント設定　FS D

全角漢字の文字幅を2／15インチ、文字サイズを9.5ポイントに設定します。

形　式　FS D

記述例

```
LPRINT　CHR$(&h1C); CHR$(&h44);
または
LPRINT　CHR$(28); "D";
```

文字明度の指定　FS $

テキストモードでの文字明度を指定します。

FS $は形式、パターンの範囲ともに従来と同じですが、従来0～100のパラメーターを白または黒のどちらかに解釈して印刷していたものが、本プリンターでは中間調に印刷できるようになりました。これにより従来よりも細かい明度表現が可能となります。

形　式　FS $ p_1 .

- p_1でテキストモードでの文字明度を指定します。
- p_1の範囲は0～100が有効です。
- p_1は0に近いほど黒くなり、100に近いほど白くなります。（p_1=0で黒、p_1=100で白）
- p_1省略時およびp_1が100より大きいときは、本コマンドは無効となります。

記述例　テキストモードでの文字明度を50に指定するとき

```
LPRINT　CHR$(&h1C);CHR$(&h24);"50.";
または
LPRINT　CHR$(28);"$50.";
```

1バイト文字サイズの設定　FS Ø7S1

1バイト文字のサイズを0.1ポイント単位で設定します。

形　式　FS Ø 7 S 1 − c_1 c_2 c_3 c_4

- c_1 c_2 c_3 c_4で文字サイズを設定します。単位は1/10ポイントです。
- c_1 c_2 c_3 c_4の有効範囲は0001～9999です。

記述例　文字サイズを20ポイントに設定するとき

```
LPRINT CHR$(&h1C);CHR$(&h30);CHR$(&h37);CHR$(&h53);CHR$(&h31);
        CHR$(&h2D);CHR$(&h30);CHR$(&h32);CHR$(&h30);CHR$(&h30);
```

または

```
LPRINT CHR$(28);"07S1-0200";
```

2バイト文字サイズの設定　FS Ø7S2

2バイト文字のサイズを0.1ポイント単位で設定します。

形　式　FS Ø 7 S 2 − c_1 c_2 c_3 c_4

- c_1 c_2 c_3 c_4で文字Xサイズを設定します。単位は1/10ポイントです。
- c_1 c_2 c_3 c_4の有効範囲は0001～9999です。

記述例　文字サイズを20ポイントに設定するとき

```
LPRINT CHR$(&h1C);CHR$(&h30);CHR$(&h37);CHR$(&h53);CHR$(&h32);
        CHR$(&h2D);CHR$(&h30);CHR$(&h32);CHR$(&h30);CHR$(&h30);
```

または

```
LPRINT CHR$(28);"07S2-0200";
```

1バイト文字縦横サイズの設定　FS 12S1

1バイト文字のサイズを縦横別々に0.1ポイント単位で設定します。

形　式　FS 1 2 S 1 − c_1 c_2 c_3 c_4 − c_5 c_6 c_7 c_8

- c_1 c_2 c_3 c_4で文字Xサイズを設定します。単位は1/10ポイントです。
- c_5 c_6 c_7 c_8で文字Yサイズを設定します。単位は1/10ポイントです。
- 有効範囲はX、Yともに0001～9999。

記述例　縦20ポイント、横50ポイントを設定するとき

```
LPRIN     CHR$(&h1C);CHR$(&h31);CHR$(&h32);CHR$(&h53);CHR$(&h31);
          CHR$(&h2D);CHR$(&h30);CHR$(&h35);CHR$(&h30);CHR$(&h30);
          CHR$(&h2D);CHR$(&h30);CHR$(&h32);CHR$(&h30);CHR$(&h30);
```

または

```
LPRINT CHR$(28);"12S1-0500-0200";
```

2バイト文字縦横サイズの設定　FS 12S2

2バイト文字のサイズを縦横別々に0.1ポイント単位で設定します。

形　式　FS 1 2 S 2 − c_1 c_2 c_3 c_4 − c_5 c_6 c_7 c_8

- c_1 c_2 c_3 c_4で文字Xサイズを設定します。単位は1/10ポイントです。
- c_5 c_6 c_7 c_8で文字Yサイズを設定します。単位は1/10ポイントです。
- 有効範囲はX、Yともに0001～9999。

記述例　縦20ポイント、横50ポイントを設定するとき

```
LPRINT    CHR$(&h1C);CHR$(&h31);CHR$(&h32);CHR$(&h53);CHR$(&h32);
          CHR$(&h2D);CHR$(&h30);CHR$(&h35);CHR$(&h30);CHR$(&h30);
          CHR$(&h2D);CHR$(&h30);CHR$(&h32);CHR$(&h30);CHR$(&h30);
```

または

```
LPRINT CHR$(28);"12S2-0500-0200";
```

行桁制御印刷コード

2バイトコード文字の文字幅設定　FS p

2バイトコード文字の文字幅(印刷ピッチ)を設定します。

形　式　FS p 2 , p_1 ／ p_2 .

- p_1／p_2で文字幅を設定します。
- p_1は文字幅の分子、p_2は文字幅の分母を表します。
- p_2を240に設定したとき、p_1は1～240の値が有効となります。
- p_2を240以外の値に設定するときは、以下の組み合わせのみが有効です。

p_1	p_2	文字幅
1	5	1/5インチ
1	6	1/6インチ
1	10	1/10インチ
2	15	2/15インチ
3	20	3/20インチ

従来このコマンドは表に示す組み合わせにのみ設定可能でしたが、本プリンターでは1/240～240/240の設定が可能になりました。これにより、より細かな文字幅の設定が行えます。

記述例　2バイトコード文字の文字幅を1/8インチ(30/240)に設定するとき

```
LPRINT　CHR$(&h1C);CHR$(&h70);"2,30/240.";
または
LPRINT　CHR$(28);"p";"2,30/240.";
```

文字ロード

1バイト/2バイトコード文字の登録　FS g

外字パターンのロードをします。

形　式　FS g c_1 c_2 c_3 , p_1 , p_2 , p_3 , p_4 , p_5 . c_4 c_5 d_1 ･･･ d_n

- c_1はこの制御コードのモードを表す1バイトの文字です。c_1によってこの制御コードは次の動作をします。

c_1	動作
R A M	登録 クリア 印刷文字選択

- c_2c_3は印刷方式とキャラクターモードを指定します。

c_2	c_3	印刷方式/キャラクターモード	
K	N H E Q P	パイカ パイカ エリート コンデンス プロポーショナル	カタカナ
H	N H E Q P	パイカ パイカ エリート コンデンス プロポーショナル	ひらがな
2	K	漢字	

- c_1がAのときは、 c_2c_3は次の意味を持ちます。
  このとき、この制御コードはp_1以降のパラメーターとデータは不要です。

c_2	c_3	動作
C	1	1バイト系の全クリア
C	2	2バイト系の全クリア

- c_1がMのときは。 c_2c_3は次の意味を持ちます。
  このとき、この制御コードはp_1以降のパラメーターとデータは不要です。

c_2	c_3	動作
I	1	1バイト系は内部CGを印刷
R	1	1バイト系はダウンロード文字を印刷

- p_1は文字の高さを表します。p_1はc_1がRのときのみ有効で、登録する文字の高さをドット単位で設定します。下表の値のみ有効です。

c_2	240dpi	400dpi	600dpi	動作
H or K	36	60	90	—
2の時	24 26 40	40 60 67	60 90 100	7.2ポイントの登録を意味する 10.8ポイントの登録を意味する 12ポイントの登録を意味する

- p_2は左スペース量を表します。p_2はc_1がRのときのみ有効で、登録する文字の左側スペースをドット単位で設定します。下表の値のみ有効です。

c_3	240dpi	400dpi	600dpi
P	0～23	0～39	0～59
P以外	0		

- p_3は文字幅を表します。p_3はc_1がRのときのみ有効で、登録する文字の文字幅をドット単位で設定します。下表の値のみ有効です。

またc_3=Pのときは　$p_2+p_3+p_4 \leqq 24$　(240dpi)
$p_2+p_3+p_4 \leqq 40$　(400dpi)
$p_2+p_3+p_4 \leqq 60$　(600dpi)　でなくてはなりません。

c_3	p_3		
	240dpi	400dpi	600dpi
N	24	40	60
H			
E	20	34	50
Q	14	24	35
P	1～24	1～40	1～60
K	p_1	p_1	p_1

- p_4は右スペース量を表します。p_4はc_1がRのときのみ有効で、登録する文字の右側スペースをドット単位で設定します。下表の値のみ有効です。

c_3	240dpi	400dpi	600dpi
P	0～23	0～39	0～59
P以外	0		

- p_1～p_4はc_1c_2の状態によっては省略可能な場合があります。省略可能な場合は次のとおりです。

c_1c_2	p_1	p_2	p_3	p_4
RK	不可	可（0）	不可	可（0）
RH	不可	可（0）	不可	可（0）
R2	不可	可（0）	可（p_1）	可（0）

（　）内は省略時の値

- c_4c_5は参照に使用する文字コードを表します。 使用可能なコードは次のとおりです。

c_2=HまたはKのとき　21h≦c_4≦7Eh　80h≦c_4≦9Eh　A1h≦c_4≦FEh　c_5は指定しない
c_2=2のとき　76h≦c_4≦78h　20h≦c_5≦7Fh

上記以外の値を指定したときは、c_2=HまたはKのときはc_4までを、c_2=2のときはc_5までを読み捨ててシーケンスを終了します。

- d_1～d_nはパターンデータをバイナリー表現で表します。データ数は$p_1 \times p_4 \div 8$とします。

- この制御コードでパラメーターに不正があったときはピリオドまでを読み捨てて、シーケンスを終了します。ただし文字コードに不正があったときは、文字コードまでを読み捨てます。どちらの場合でもパターンデータの読み捨てはしません(パターンデータはテキストデータとして扱い、印刷される)。

- 本装置では、登録可能な文字数は次のとおりです。

  c_2=HまたはKのもの　128文字（1バイト系）
  c_2=2のとき　256文字（2バイト系）

  また文字の登録があった時、そのエリアに登録されていた前のパターンは同一ページ内では保証されません。

- 未登録の文字コードや文字サイズは空白が登録されているのと同様の印刷を行います。

バーコードの印刷

バーコードの印刷　FS `

チェック

バーコードをご使用になる際の注意

- 読み取り装置によっては、本プリンターで印刷したバーコードをうまく読み取れない場合があります。ご使用になる読み取り装置でバーコードを読み取れることを確認してからご使用ください。
- トナー切れなどにより印刷がかすれたりした場合には、読み取れないことがあります。
- 用紙の拡大／縮小は行わないでください。読み取り装置でバーコードを読み取ることができません。
- トナー節約機能は使用しないでください。読み取り装置でバーコードを読み取れないことがあります。
- p_2で指定されるHRCはOCR-Bフォントで印刷されます。ただし、OCR-Bフォントの最小ピッチは10CPIのため、HRCの幅の方がバーコードより広くなることがあります。また、オートリターン有効時でも、印刷範囲から超えた場合にはデータを読み捨てます（オートリターンしません）。
- バーコードの印刷を行う際には、次のコマンドは無効となります。
  - 縦横拡大指定（FS m）
  - 網かけ、反転（FS n）
  - アンダーライン／オーバーライン（ESC X）
  - 縦方向オフセット（FS t）
  - 固定ドットスペース（FS w）

形　式　FS ` p_1 , p_2 , p_3 , p_4 , p_5 , p_6 , p_7 . d_1 d_2 d_3 d_4 …

- p_1はバーコードの種類を設定します。

<201PLエミュレーションモード>

p_1		バーコードの種類
0	1	NW-7のスタート／ストップキャラクター設定
0	2	NW-7
0	3	JAN
0	4	CODE 39
0	5	INDUSTRIAL 2 OF 5
0	6	INTERLEAVED 2 OF 5

<ページプリンターモード>

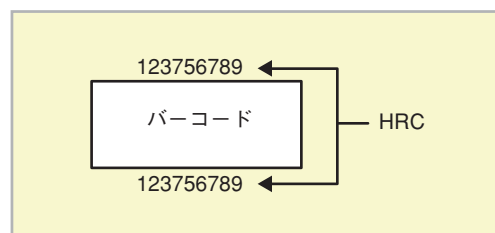
p_1	バーコードの種類
1	NW-7のスタート／ストップキャラクター設定
2	NW-7
3	JAN
4	CODE 39
5	INDUSTRIAL 2 OF 5
6	INTERLEAVED 2 OF 5
7	UCC/EAN-128

p_1の指定により、p_2～p_7、d_1～d_nの値は変化します。

- p_2はバーコードに対するHRC（付加文字）の有無およびその位置を指定します。

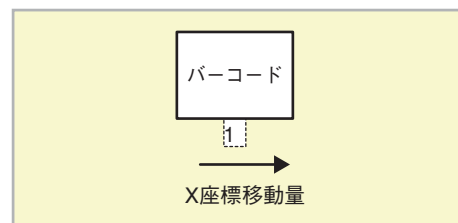
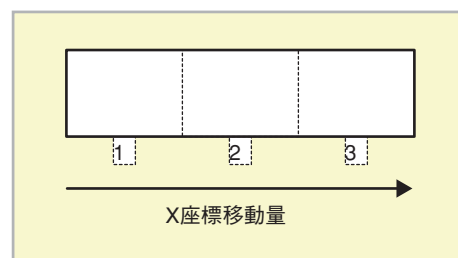
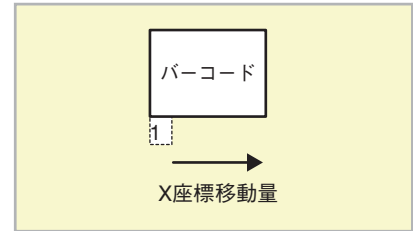
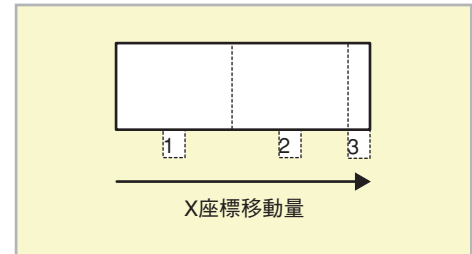
p_2	HRC
0	文字なし
1	文字を下につける
2	文字を上につける
3	新料金代理収納ガイドライン形式で文字を下につける（p_1=7の時のみ有効）

＊ HRCはバーコードの下または上にOCR-Bフォントで印刷します。

バーコードとOCR文字のボディフェースは隣接するべきだが、ページモードでバーコードの上に文字がつく場合に限り、4dot(240dpi)の隙間を開けている。

HRCの均等割付け方法

バーコードより文字列の方が長い場合は、文字幅単位で印刷されます。（以下の例は文字列よりバーコードの方が長い場合を示します。

<201PLエミュレーション>

1文字の場合、バーコードの幅の中央に配置し、バーコードの幅の分だけX座標を移動します。

複数文字の場合、バーコードの幅を文字数で割り、その中央に配置します。

<ページプリンターモード>
1文字の場合、バーコードの左側に配置し、文字の幅の分だけX座標を移動します。

複数文字の場合、バーコードの幅から1文字幅引き、文字数-1で割り、その左端に配置します。

- p_3はバーコードのモジュール幅をドット単位で指定します。

  <201PLエミュレーション>
  指定範囲：2≦p_3≦4（160dpi）
  <ページプリンターモード>
  指定範囲：4≦p_3≦15（600dpi）
- p_4はバーコードのワイド／ナローエレメント比を指定します。
  p_4＝30のみ有効
- p_5はバーコード高さをドット単位で指定します。
  <201PLエミュレーション>
  0≦p_5≦999（160dpi）
  p_5が0の時は、高さを改行ピッチに設定します。したがって、改行ピッチの切り替えコマンドと組み合わせることにより1/120インチ単位での指定も可能となります。またバーコードの下にHRCがある場合は、実際に改行する幅はバーコードの高さ＋HRCの高さです。
  <ページプリンターモード>
  指定範囲：
  10≦p_5≦2498（600dpi　1ドット＝約0.042mm なるべく150～300程度の値でご使用ください）
- p_6はデータキャラクターの長さをバイト単位で指定します。
  この値は、バーコードの種類ごとに下記のように制限されます。

p_1	有効なp_6
1	2
2	0～34
3	13または8
4	0～34
5	0～34
6	0～34(偶数のみ)
7	1～25

- p_7はp_3、p_5の解像度を指定します。
  <201PLエミュレーション>
  省略してください。（160dpi）
  <ページプリンターモード>
  指定：p_7＝600（600dpi）
- d_1、d_2、d_3、d_4･･･はデータキャラクターまたはスタート／ストップキャラクター（p_1＝1のとき）です。
- グレーの実現レベルはプリンター機種ならびに解像度に依存します。

記述例　p_1=1、スタートキャラクターを“a”、ストップキャラクターを“b”とするとき

```
LPRINT　CHR$(&h1C);CHR$(&h60);"1,,,,,2,.ab";
または
LPRINT　CHR$(&h1C);"`1,,,,,2,.ab";
```

補足

バーコードの種類によって、パラメーターの意味が少しずつ異なります。

- p_1=1のとき(NW-7のスタート／ストップキャラクターを指定します。)
  - バーコードの印刷ではなく、バーコードの種別NW-7の仕様に従い、NW-7で付加されるスタート／ストップキャラクターの設定を行います。
  - スタート／ストップキャラクターとして指定可能な文字は次のとおりです。(初期状態は“a”)
    a b c d e n t ＊ A B C D E N T
    また、p_2～p_5およびp_7は省略されます。
    記述例 スタートキャラクターを“a”、ストップキャラクターを“b”とするとき
    LPRINT CHR$(&h1C);"`1,,,,,2,.ab";

- p_1=2のとき(NW-7)
  - p_3の値がナローバー、ナロースペースの幅に対応し、p_3×p_4／10の値がワイドバー、ワイドスペースの幅に対応します。
  - p_6=0のときは、スタート／ストップキャラクターのみ印刷します。
  - データキャラクターとして指定可能な文字は次のとおりです。
    0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 − $. ／ : +
  - データの最初と最後にあらかじめ設定されたスタート／ストップキャラクターを自動的に付加して印刷します。

- p_1=3のとき(JAN)
  - p_3の値が1モジュールの幅に対応し、他の幅のバーおよびスペースはこの整数倍の幅となります。
  - p_6は13または8とし、13のときはJAN標準のバーコード、8のときはJAN短縮のバーコードを印刷します。
  - データキャラクターとして指定可能な文字は次のとおりです。
    0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
  - JAN標準でデータキャラクターの1バイト目(フラグキャラクター)が規定外のときは、データキャラクターも含めて読み捨てます。
  - レフトガードバー、サイドガードバー、ライトガードバーは自動的に付加します。

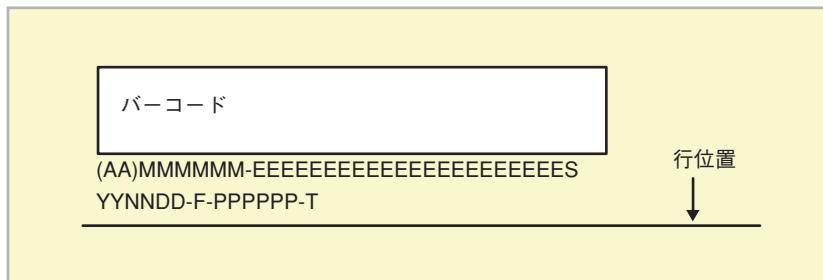
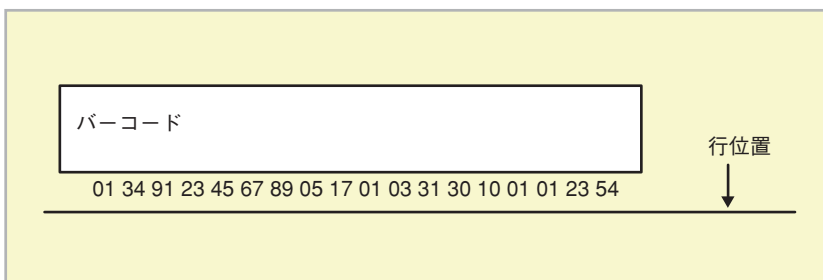
- p_1=4のとき(CODE-39)
  - p_3の値がナローバー、ナロースペースの幅に対応し、p_3×p_4／10の値がワイドバー、ワイドスペースの幅に対応します。
  - p_6=0のときは、スタート／ストップキャラクター(“＊”固定)のみ印刷します。
  - データキャラクターとして指定可能な文字は次のとおりです。
    0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 − $. ／ + % SP(スペース)
    A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
  - データの最初と最後にあらかじめ設定されたスタート／ストップキャラクターを自動的に付加して印刷します。

- p_1=5のとき(INDUSTRIAL 2 OF 5)
  - p_3の値がナローバー、ナロースペースの幅に対応し、p_3×p_4／10の値がワイドバー、ワイドスペースの幅に対応します。
  - p_6=0のときは、スタート／ストップキャラクターのみ印刷します。ただし、HRC付加指定をしても対応するキャラクターがないため印刷されません。
  - データキャラクターとして指定可能な文字は次のとおりです。
    0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
  - データの最初と最後にあらかじめ設定されたスタート／ストップキャラクターを自動的に付加して印刷します。

- p_1=6のとき(INTERLEAVED 2 OF 5)
  - p_3の値がナローバー、ナロースペースの幅に対応し、p_3×p_4／10の値がワイドバー、ワイドスペースの幅に対応します。
  - p_6=0のときは、スタート／ストップキャラクターのみ印刷します。ただし、HRC付加指定をしても対応するキャラクターがないため印刷されません。
  - データキャラクターとして指定可能な文字は次のとおりです。
    0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
  - 2つのデータキャラクターを1組のバーコードデータとして印刷します。
  - データの最初と最後にあらかじめ設定されたスタート／ストップキャラクターを自動的に付加して印刷します。

- p_1=7のとき(UCC/EAN-128)
  - 初期コードセットは、CODE Cです。
  - p_3の値が最小バーの幅に対応し、それに対して1:2:3:4の幅で他のバーを表現します。
  - p_6(データキャラクターの長さ)は1～25(バイト)とし、それ以外の時はピリオドまで読み捨てます。
  - データキャラクターとして指定可能な文字はASCIIコードすべてです。
  - 1個のデータキャラクター1つのバーコードデータとして印刷します。HRCは本装置の1バイト系文字で印刷可能であればそのまま印刷し、それ以外の場合はスペースを印刷します。HRCは、コードセットに従います。
  - データの最後のストップキャラクターを自動的に負荷して印刷します。特殊キャラクター対応コードを以下に示します。

特殊キャラクター	HEX表現値
START(CODE A)	F0
START(CODE B)	F1
START(CODE C)	F2
SHIFT	F3
CODE A	F4
CODE B	F5
CODE C	F6
FNC1	F7
FNC2	F8
FNC3	F9
FNC4	FA

  - p_2=3指定の場合は、バーコードの下に以下のようなフォーマットでHRCを付加します。HRCにおける改行表示、括弧「()」、ハイフン「-」は自動的に付加されますが、バーコードには含まれません。また、これらの自動的付加は桁位置で判断し、データの正当性や内容は問いません。データの25バイト目に付加されるチェックデジットは、バーコード上には表示しますが、HRC上には表示されません。

＜補足＞
p_2=1(CODE C)の場合

面制御コード

フォーム登録の開始／参照　FS u

フォームデータの登録開始および参照を指示します。

形　式

- c_1で登録か参照かを設定します。

c_1	機　能
1	フォーム登録モードを設定（フォーム登録を開始）
2	フォーム参照モードを設定

- p_1でフォーム番号を指定します。省略時は1となります。指定範囲は1～100です。
- c_2はc_1=1（フォーム登録モード）のときは必ず省略してください。c_1=2（フォーム参照モード）のときは、c_2でフォーム参照の継続の有無を設定します。

c_2	機　能
省略	この制御コードが存在するページに対してフォームを描画（参照）します。現ページに対してのみ有効です。
S	この制御コードが存在するページ以降、解除が指定される間でのフォーム参照を継続します。
E	上記「S」で設定されたフォーム参照モードを解除します。

チェック

100面までの登録が可能です。実際にはメモリーの容量に依存しますが、オプションの増設メモリーを装着することによってより多くのフォーム登録が可能となります。また、従来フォームに登録できなかった図形モードデータ、領域指定網かけ、全点アドレス印刷データも登録可能となっています。

記述例

フォーム番号2にフォーム登録を行うとき

```
LPRINT　CHR$(&h1C);CHR$(&h75);CHR$(&h31);CHR$(&h2C);"2";CHR$(&h2E);
または
LPRINT　CHR$(28);"u1,2.";
```

ページ制御コード

印刷方向の設定および縮小／拡大モード設定　FS f

プリンターの印刷方向および縮小／拡大モードの設定を行います。

形　式　FS f c_1 c_2 c_3 c_4 c_5 .

- c_1は印刷方向を設定します。

c_1	印刷方向
P	ポートレート
L	ランドスケープ

- c_2 ～c_5は縮小／拡大モードを設定します。本コマンドは従来縮小機能のみでしたが、本プリンターでは拡大機能が追加されました。パラメータの設定方法に関しては下記の表をご覧ください。

記述例　印刷方向をポートレートで、A4サイズの印刷データをA3用紙に拡大して印刷するとき

```
LPRINT　CHR$(&h1C);CHR$(&h66);"PA4A3.";
または
LPRINT　CHR$(28);"f";"PA4A3.";
```

拡大/縮小モードの設定

c_2	c_3	c_4	c_5	機　能
L	P	B	4	帳票→B4
L	P	A	4	帳票→A4
U	P	A	4	A4×2→A4
U	P	B	5	B5×2→B5
A	3	B	4	A3→B4
A	3	A	4	A3→A4
A	4	A	3	A4→A3
A	4	B	4	A4→B4
A	4	B	5	A4→B5
B	4	A	3	B4→A3
B	4	A	4	B4→A4
B	4	B	5	B4→B5
B	5	A	4	B5→A4
B	5	B	4	B5→B4

縮小印字の設定　FS ø5f

形　式　FS ø 5 f c_1 c_2 c_3 c_4

- c_1、c_2、c_3で縮小率を設定します。
  組み合わせは次の中から選択します。

c_1	c_2	c_3	設定内容
1	ø	ø	縮小印字解除(原寸)
ø	8	ø	4/5縮小印字
ø	6	7	2/3縮小印字

- c_4で縮小基準位置を設定します。
  設定は次のとおりです。

c_4	縮小基準位置
L	左端基準
C	中央基準

- すべての文字に対して有効です。
- 行の先頭で指定してください。その行から縮小印字します。
  行の途中で指定した場合は、次の行から縮小印字します。
- 縮小印字は受信したデータを2／3または4／5に縮小して印刷しますので、例えばA4サイズのデータをA5サイズの用紙に、またはB4サイズのデータをA4サイズの用紙に印刷したいようなときに役立つ機能です。
- プリンターがサポートしていない縮小率を設定しようとした場合、その命令は無視されます。
- 縮小を行うと、改行幅も縮小されます。また、文字によっては見づらくなるものがあります。

記述例　縮小率を4／5、左端基準で印刷するとき

```
LPRINT   CHR$(&h1C); CHR$(&h30); CHR$(&h35);CHR$(&h66); "080L"
または
LPRINT   CHR$(28); "05f"; "080L"
```

両面印刷設定 FS '

両面印刷を設定します。

形　式

- c_1で印刷モードを設定します。

c_1	印刷モード
S	片面印刷
B	両面印刷

- c_1で片面印刷を指定した場合は、c_2 以降のパラメーターは無効になります。ただし、有効なパラメータを設定するか、もしくは「FS' S,,,.」と送信する必要があります。

c_2	印刷面
F	表面
B	裏面

- c_2で両面印刷における用紙の印刷開始面を設定します。
- c_2を省略した場合は、表面を印刷開始面とします。

p_1	印刷面
1	長辺綴じ位置1
2	短辺綴じ位置1
3	長辺綴じ位置2
4	短辺綴じ位置2

- p_1で綴じ代を付加する位置を設定します。
- p_2 で綴じ代として追加する余白量を1mm単位で設定します。範囲は、$0 \leqq p_2 \leqq 100$です。
  綴じ代を付けない場合は、0を指定します。
- p_1、p_2を省略した場合、メニューの設定に従います。
- 本コマンドはページの先頭で使用してください。ページの途中で指定した場合は、改ページを行い、以前のページの用紙をすべて排出した後で、本コマンドの設定に従った印刷を開始します。

記述例　印刷開始面が表面の両面印刷で、長辺綴じ1、余白量を10mmに設定するとき

```
LPRINT　CHR$(&h1C); CHR$(&h27); "B,F,1,10.";
または
LPRINT　CHR$(28); " ' "; "B,F,1,10.";
```

領域指定イメージ

領域指定イメージ描画の設定　FS i

描画座標を原点として指定された領域にラスターイメージを描画します。

形　式　FS i p_1 , p_2 , p_3 , p_4 ／ p_5 , p_6 ／ p_7 , p_8 , p_9 . d_1 … d_n

- p_1はイメージ領域のXサイズです。
- p_2はイメージ領域のYサイズです。
- p_3はデータの形式です。
- p_4はX方向拡大率の分子です。
- p_5はX方向拡大率の分母です（省略時は1と同等）。
- p_6はY方向拡大率の分子です。
- p_7はY方向拡大率の分母です（省略時は1と同等）。
- p_8はパターンデータのバイト数です。
- p_9はイメージデータの解像度を指定します。p_9を省略した場合、または規定値以外の数値を指定した場合、解像度は240dpiになります。

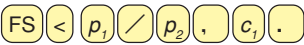
p_9	解像度
160	160dpi
200	200dpi
240	240dpi
300	300dpi
400	400dpi
600	600dpi

- d_1～d_nはnバイトのラスターイメージデータ（バイナリー形式）です。

座標指定単位設定

座標指定単位の設定　　　　FS <

面モード時の移動量の基本単位を設定します。

形　式　　FS < p_1 ／ p_2 ， c_1 ．

- p_1は単位量の分子を表します。
- p_2は単位量の分母を表します。
- c_1はインチまたはmmの識別を表します。
- p_1、p_2、c_1は下記の値が有効です。

p_1	p_2	c_1	座標指定単位
1	160	i	1/160インチ
1	200		1/200インチ
1	240		1/240インチ
1	400		1/400インチ
1	600		1/600インチ
1	720		1/720インチ
1	1200		1/1200インチ
1	100	m	1/100mm

- 描画座標指定（FS e）、座標指定罫線（FS l）、領域指定網かけ（FS s）の領域の大きさ、全点アドレス印刷モード（FS a）の移動量、クリッピング領域指定（FS #）が、この制御コードで設定された単位で指定されます。
- 領域指定イメージのビットパターンデータは影響を受けません。
- 上記制御コードの後に、この単位設定を実行しても、それまでに設定した座標、大きさ、移動量等は変化しません。
- p_1が省略された場合は1、p_2が省略された場合は240、c_1が省略された場合はiとみなされます。
- 本コマンドを再度受信するまでは有効です。
- 以下の場合、単位は1/240インチとなります。

　① POWER ON時
　② 操作パネルでリセットが実行されたとき
　③ ソフトウエアリセットを受けたとき
　④ インプットプライムを受けたとき

文字セット制御コード

OCR-Bフォントの指定　FS ø6F1-øø4

形　式　FS ø 6 F 1 — ø ø 4

1バイト文字としてOCR-Bフォントを選択します。

OCR-Bフォントについて

本プリンターはOCR-Bフォントを内蔵しており、各種アプリケーションから指定して印刷することができますが、ご使用にあたっては以下の点にご注意ください。

- OCR-Bフォントは大きさが限定されています。本プリンターの場合10CPI（12ポイント、パイカサイズ）のみでご使用になれます。それ以外の文字サイズは指定しないでください。また文字の拡大／縮小、ページの拡大／縮小を行うと印刷できません。
- OCR-Bフォントの印刷は本プリンターのNPDLモードでのみ可能です。またOCR-Bフォントの指定はアプリケーションソフトから行う必要があります。
- WindowsからOCR-Bフォントを使用する場合はいずれかの方法で指定します。

— アプリケーションのフォント選択で「OCR-Bフォント」を選択します。

このとき画面上は他のフォントを使用して表示されます。なお、文字のサイズは必ず12ポイントを指定してください。またボールド、イタリック（斜体）、アンダーラインなどの文字スタイルを設定しないでください。

— アプリケーションのフォント選択の中に「OCR-B」というプリンターフォントがない場合は、本プリンタードライバーの「TrueTypeフォントのプリンターフォントへ置き換え」機能を使用して印刷します。

なおOCR-Bフォントに置き換えるフォントは「Courier New」等の固定ピッチの英文フォントで指定してください。また置き換えるフォントによっては文字のピッチがOCR-Bフォントと合わないため、OCR読み取り装置で読み取れないことがあります。特にプロポーショナルフォントには置き換えないでください。和文フォントは置き換えるフォントとして指定できますが、実際に置き換えることができるのは半角英数文字だけです。

- OCR-Bフォントは、OCR読み取り装置によっては読み取れない場合があります。事前にご確認ください。
- トナーが少なくなり印刷にかすれなどがある場合には、OCR読み取り装置でうまく読み取れない場合があります。
- トナー節約機能は使用しないでください。OCR読み取り装置がうまく読み取れない場合があります。
- OCR-Bフォントでは、メモリースイッチ2-1または、フォントメニュー1バイト系ゼロの書体で「ø」と設定しても「0」で印字します。

カスタマーバーコードの印刷

カスタマーバーコード書体の選択　　FS ø6F2

カスタマーバーコードはJANコード等のバーコードとは異なり、2バイト文字として印刷を行います。
このため、カスタマーバーコードの印刷には、まず2バイト文字書体の選択を行う必要があります。

形　式　　FS Ø 6 F 2 - n_1 n_2 n_3

- n_1、n_2、n_3は3桁の文字表現の10進数（‘123’など）であり、書体番号を示します。
  但し、例外として‘CLR’（43h 4Ch 52h）のパラメーターは指定可能です。
- 初期状態ではプリンターのメニュー機能による設定が有効となります。
- 本制御コードによる書体選択制御コードにより他の書体が選択されるまで、現在の書体選択が有効です。
- 初期化処理により書体は初期状態に戻ります。

カスタマーバーコードの書体番号を次のように割り当てます。

851：カスタマーバーコード書体（回転なし）
852：カスタマーバーコード書体（反時計回り90°回転）
853：カスタマーバーコード書体（反時計回り180°回転）
854：カスタマーバーコード書体（反時計回り270°回転）
CLR：初期状態の書体に戻す。（メニュー設定に従う）

- 2桁目の数字‘5’は文字の太さを指定するパラメーターですが、カスタマーバーコード書体の場合は意味を持ちません。
- 8から始まる書体番号において上記に合致しない場合は、カスタマーバーコード書体への切り替えは行わず読み捨てます。その際、書体選択の初期化は行いません。（例：850、861、867）

チェック

- 書体番号851を選択して縦書きで印刷すると書体番号852の印刷結果と等しくなります。同様に書体番号852の縦書きは書体番号853、書体番号853の縦書きは書体番号854、書体番号854の縦書きは書体番号851となります。
- 201PLエミュレーションで使用する場合、「2バイト系文字書体の選択コマンド」は従来サポートされておりませんが、カスタマーバーコード書体選択時のみ、201PLエミュレーションでも有効となります。カスタマーバーコード以外の書体を選択した場合には、「2バイト系文字書体の選択コマンド」は従来どおり無効コマンドとなります。

チェック

バーコードをご使用になる際のご注意

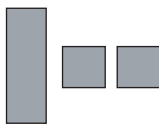
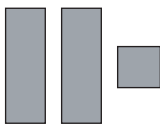
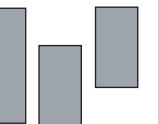
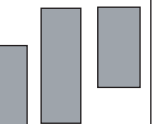
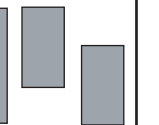
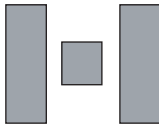
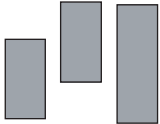
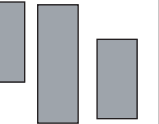
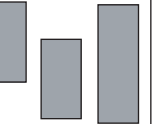
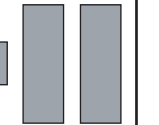
- トナー切れなどにより印刷がかすれたりした場合には、読み取れないことがあります。
- 用紙の拡大／縮小は行わないでください。読み取り装置でバーコードを読み取ることができません。
- トナー節約機能は使用しないでください。読み取り装置でバーコードを読み取れないことがあります。

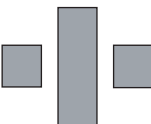
カスタマーバーコードのキャラクター指定

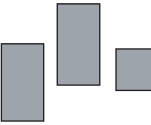
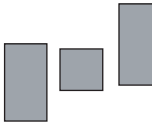
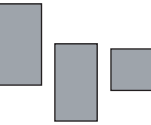
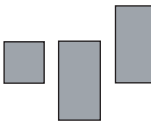
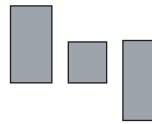
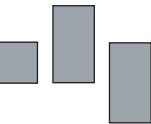
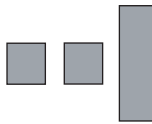
カスタマーバーコードの21種のキャラクターは次の文字コードを割り当てます。

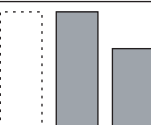
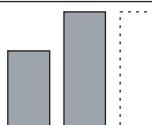
数字（‘0’～‘9’）	：2330h～2339h（数字の ‘0’～‘9’）
ハイフン	：215Dh（マイナス記号 ‘ー’）
英字用制御コード（CC1～CC3）	：2361h～2363h（小文字アルファベットの ‘a’～‘c’）
予備用制御コード（CC4～CC8）	：2364h～2368h（小文字アルファベットの ‘d’～‘h’）
スタートコード（STC）	：2163h（不等号 ‘<’）
ストップコード（SPC）	：2164h（不等号 ‘>’）

上記外の文字コードが指定された場合は全角スペースに置き換えて印刷します。

カスタマーバーコードのサイズの指定

郵政事業庁のカスタマーバーコードの仕様によると、読み取りのためにはバーコードパターンを文字とみなしたときにその大きさを8ポイントから11.5ポイントまでの範囲にする必要があります。（この範囲内で任意の値を指定できます）
一方、プリンタはカスタマーバーコードといえども文字であるため、NPDL2、201PLそれぞれで定義された文字制御に関する全ての機能を有効とします。（例えば、上記範囲から外れる文字サイズ指定や不適切な文字ピッチ指定、拡大・縮小、アンダーライン、文字修飾など）
このため、カスタマーバーコードの印刷を行うアプリケーションは適切な印刷結果が得られるように留意してください。
また、プリンター側の機能で縮小や拡大を指定しての印刷においても適切な印刷結果が得られなくなります。

カスタマーバーコード（キャラクター指定とバーの組み合わせ）

カスタマーバーコードの体系について
（バーの種類とは、ロングバー：1、セミロングバー（上）：2、セミロングバー（下）：3、タイミングバー：4としたもの。）

● **数字（‘0’～‘9’）**

キャラクター	0	1	2	3	4
文字コード	0 (2330h)	1 (2331h)	2 (2332h)	3 (2333h)	4 (2334h)
カスタマーバーコード					
バー種類	1　4　4	1　1　4	1　3　2	3　1　2	1　2　3

キャラクター	5	6	7	8	9
文字コード	5 (2335h)	6 (2336h)	7 (2337h)	8 (2338h)	9 (2339h)
カスタマーバーコード					
バー種類	1　4　1	3　2　1	2　1　3	2　3　1	4　1　1

● ハイフン

キャラクター	－
文字コード	－ (215Dh)
カスタマーバーコード	
バー種類	4　1　4

● 英字用制御コード

キャラクター	CC1	CC2	CC3
文字コード	a (2361h)	b (2362h)	c (2363h)
カスタマーバーコード			
バー種類	3　2　4	3　4　2	2　3　4

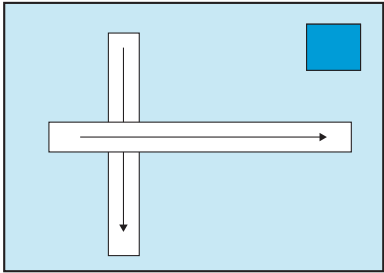
● 予備用制御コード

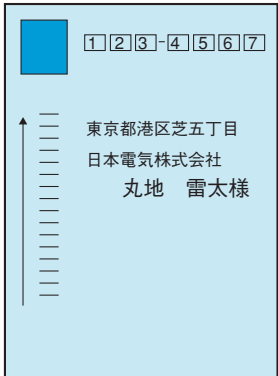
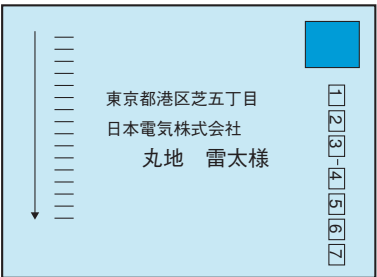
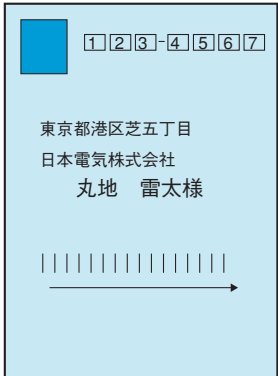
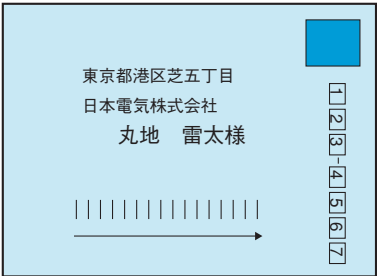
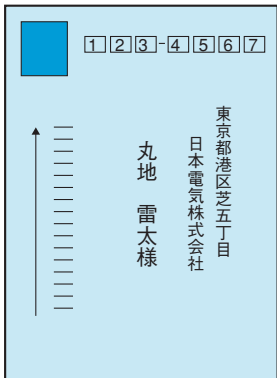
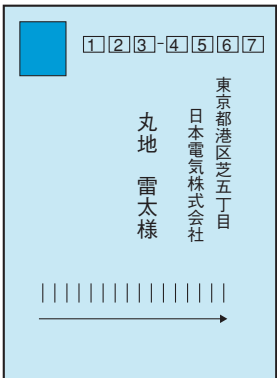
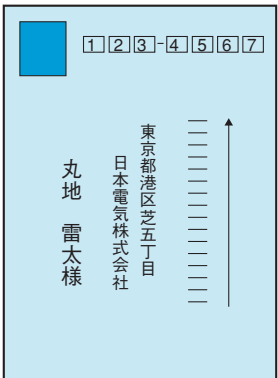
キャラクター	CC4	CC5	CC6	CC7	CC8
文字コード	d (2364h)	e (2365h)	f (2366h)	g (2367h)	h (2368h)
カスタマーバーコード					
バー種類	4　3　2	2　4　3	4　2　3	4　4　1	1　1　1

● スタート／ストップコード

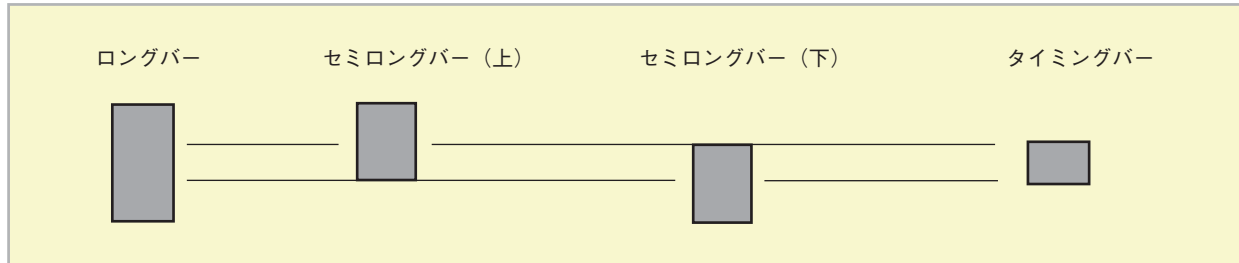
キャラクター	スタート	ストップ
文字コード	＜ (2163h)	＞ (2164h)
カスタマーバーコード		
バー種類	1　3	3　1

備考（宛名書きとカスタマーバーコードとの関係）

カスタマーバーコードは、封書の切手の位置（はがきの料金印刷部分）を右上に位置付けたときに、下図の示すように上から下、左から右の方向へ印刷されます。

宛名が横書きの場合

郵政事業庁の資料には記載されていない印刷例

宛名が縦書きの場合

カスタマーバーコードの仕様と注意点

カスタマーバーコードの形状

カスタマーバーコードは、上下にバーを延ばしたロングバー、上方向のみにバーを延ばしたセミロングバー(上)、下方向のみにバーを延ばしたセミロングバー(下)およびタイミングバーの4つの形状のバーを3本組み合わせて1つのキャラクターを表す4ステイト3バーとします。

カスタマーバーコードの寸法

aポイント、8、9、10、11.5ポイントの場合、次表のとおりとして(10ポイントの場合、a/10=1)、8≦a≦11.5の大きさを許すものとします。

aポイント	比率	基準寸法（mm）	許容範囲（mm）
ロングバー長さ	6	3.6×a/10	3.40×a/10〜3.60×a/10
タイミングバー長さ	2	1.2×a/10	1.05×a/10〜1.35×a/10
バーピッチ	2	1.2×a/10	0.95×a/10〜1.30×a/10
バー幅	1	0.6×a/10	0.50×a/10〜0.70×a/10
バースペース	1	0.6×a/10	0.45×a/10〜0.60×a/10

8≦a≦11.5

8ポイント	比率	基準寸法（mm）	許容範囲（mm）
ロングバー長さ	6	2.88	2.72〜2.88
タイミングバー長さ	2	0.96	0.84〜1.08
バーピッチ	2	0.96	0.76〜1.04
バー幅	1	0.48	0.40〜0.56
バースペース	1	0.48	0.36〜0.48

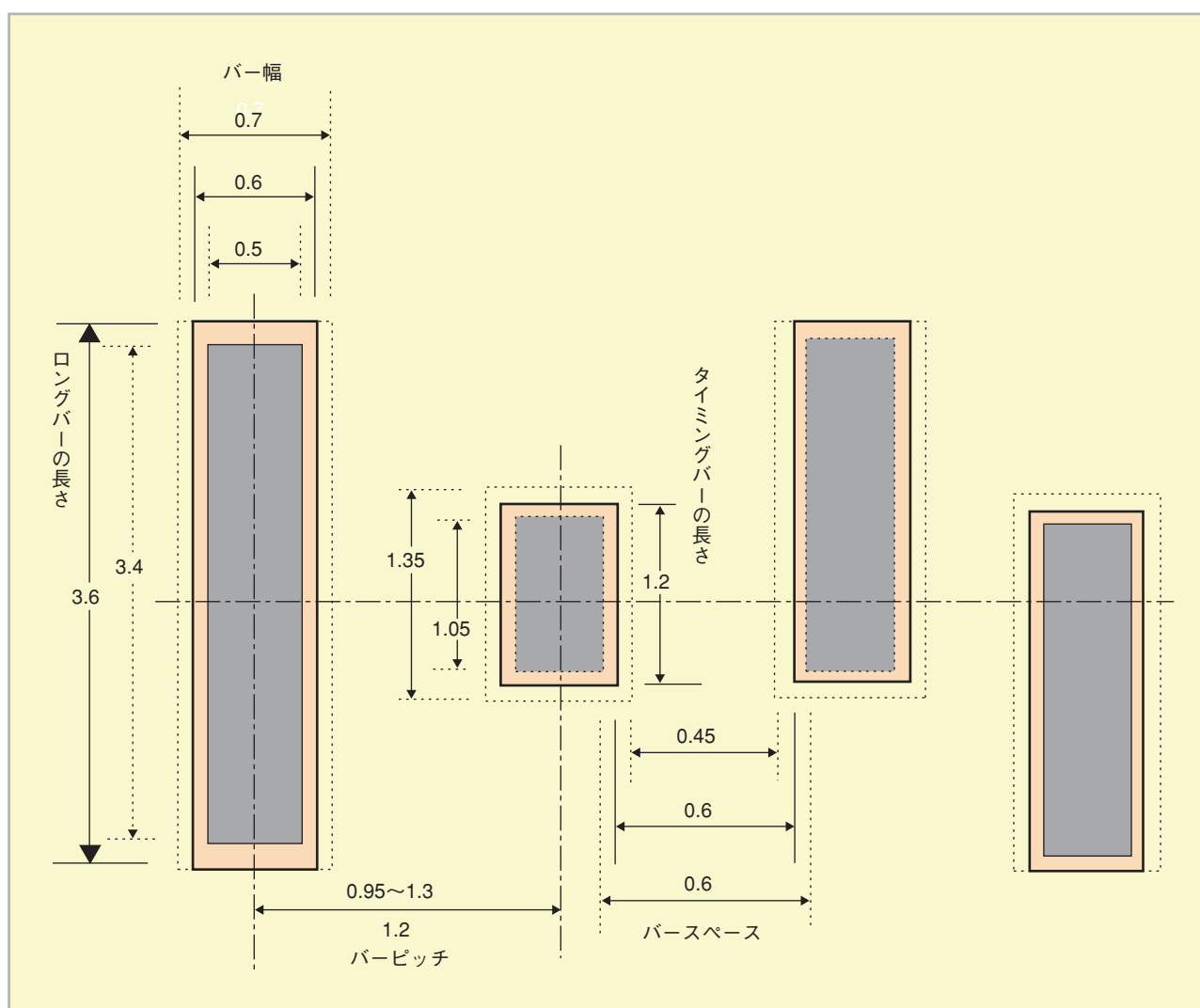
9ポイント	比率	基準寸法（mm）	許容範囲（mm）
ロングバー長さ	6	3.24	3.06〜3.24
タイミングバー長さ	2	1.08	0.95〜1.22
バーピッチ	2	1.08	0.86〜1.20
バー幅	1	0.54	0.45〜0.63
バースペース	1	0.54	0.41〜0.54

10ポイント	比率	基準寸法（mm）	許容範囲（mm）
ロングバー長さ	6	3.60	3.40〜3.60
タイミングバー長さ	2	1.20	1.05〜1.35
バーピッチ	2	1.20	0.95〜1.30
バー幅	1	0.60	0.50〜0.70
バースペース	1	0.60	0.45〜0.60

11.5ポイント	比率	基準寸法（mm）	許容範囲（mm）
ロングバー長さ	6	4.14	3.91～4.14
タイミングバー長さ	2	1.38	1.21～1.55
バーピッチ	2	1.38	1.09～1.50
バー幅	1	0.69	0.58～0.81
バースペース	1	0.69	0.52～0.69

（注1）カスタマーバーコードは、すべての規定(ロングバーの長さ、タイミングバーの長さ、バーピッチ、バー幅およびバースペース)が許容範囲に収まらなければなりません。
（注2）各比率に対して、許容範囲の設定に変更がありますが、これは印刷時のバーの太り等を考慮したものです。

【例1】カスタマーバーコードの寸法(10p相当)

実線で囲まれた範囲は基準寸法示し(数値はゴシック体で表記)、点線で囲まれた範囲は許容範囲を示します。

【例2】ドット割付寸法（参考）

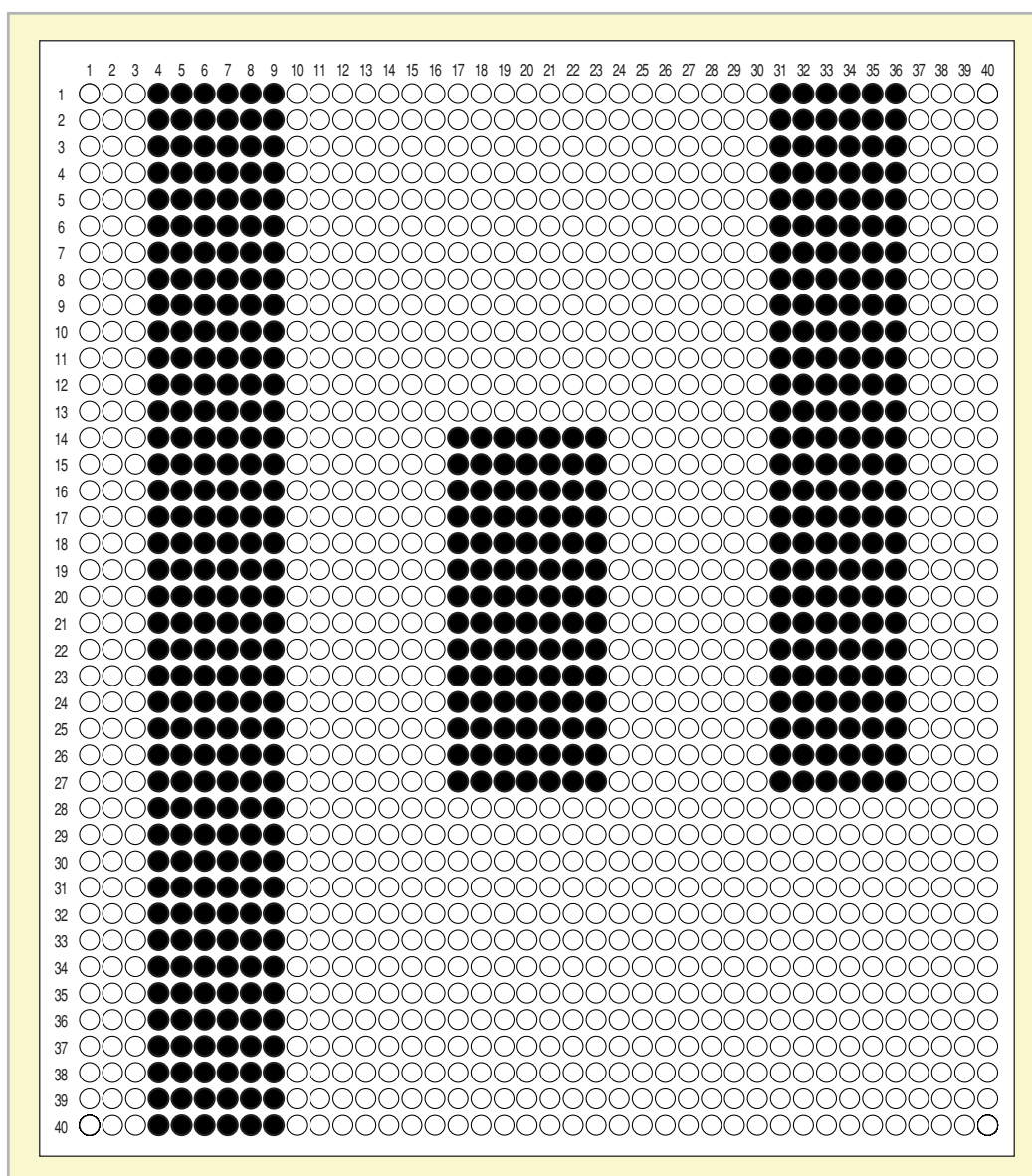
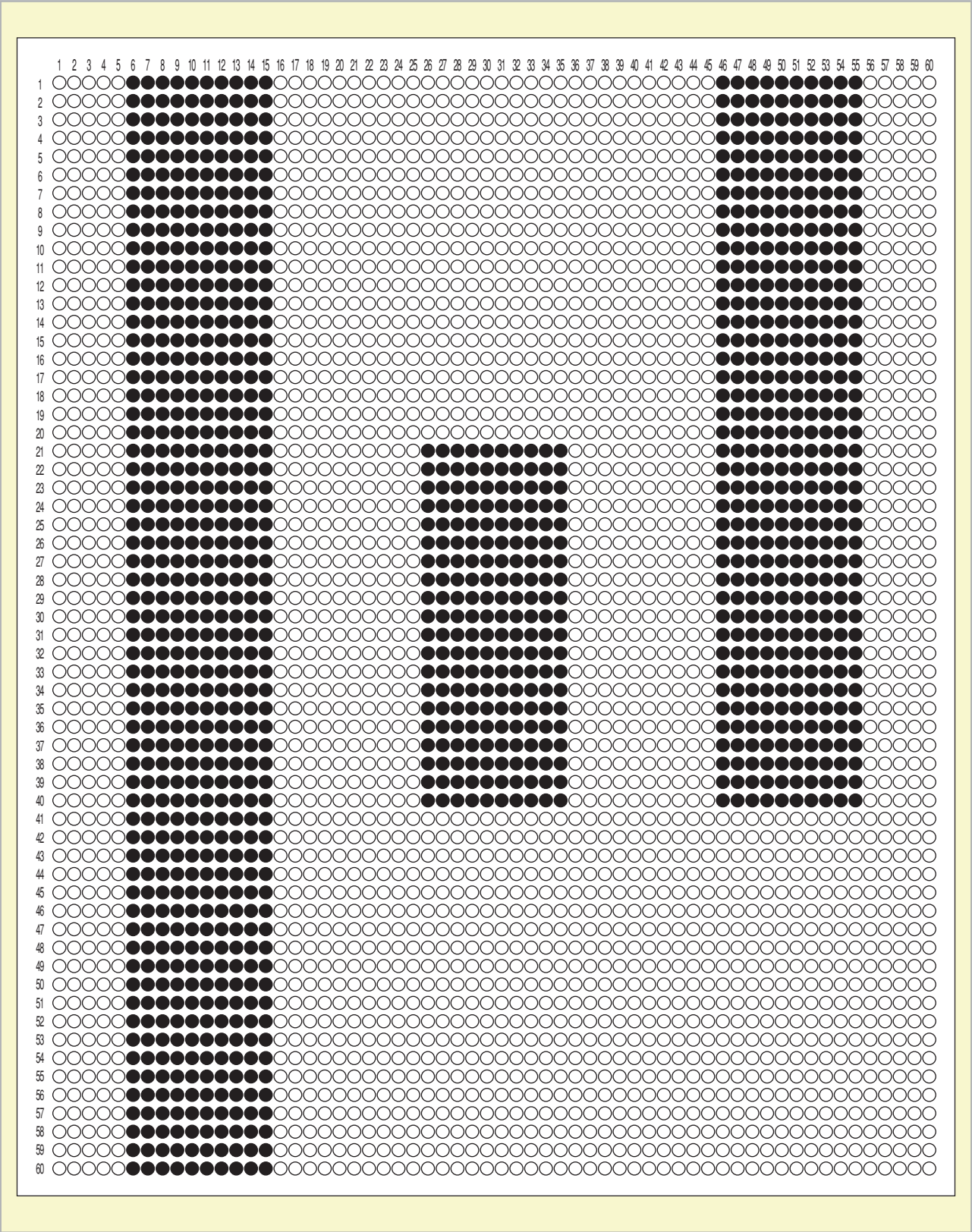
レーザープリンター等ドットマトリックス形式で印刷する場合などは、バーコードの印刷上がりを規定の比率にできるかぎり近づけます。この点を考慮して下記にドット構成の参考を記載します。

マトリックスサイズ	横7分割 W, B, W, B, W, B, W	縦3分割 U, M, L
24×24	2, 4, 4, 4, 4, 4, 2	8, 8, 8
30×30	2, 5, 5, 5, 5, 5, 3	10, 10, 10
32×32	3, 5, 5, 5, 6, 5, 3	11, 10, 11
40×40	3, 6, 7, 7, 7, 6, 4	13, 14, 13
60×60	5, 10, 10, 10, 10, 10, 5	20, 20, 20

（B：バー部のドット数、W：空白部のドット数、U：バー上部のドット数、M：タイミングバーのドット数、L：バー下部のドット数）

- 上記の表にないマトリックスサイズ（例：48×48等）のドット振り分けは比例的に準じます。

各マトリックスサイズにおけるドットの割付の実際について、次に参考例を示します。

〈参考例1〉　40ドット×40ドットの場合

〈参考例2〉60ドット×60ドットの場合

カスタマーバーコードのフォーマットおよび桁数

カスタマーバーコードのフォーマットは次のとおりとします。ただし、新郵便番号の3桁目と4桁目の間のハイフンおよび新郵便番号と住所表示番号を連結するハイフンは省くものとします。また、英字1文字は制御コードと数字コードの組み合わせにより表現し、バーコード2桁分として扱います。

フォーマット：	スタートコード＋	新郵便番号＋	住所表示番号＋	チェックデジット＋	ストップコード
バーコード桁数：	（1）	（7）	（13）	（1）	（1）

住所表示番号が規定のけた数13桁に対して過不足のある場合には、次のように調節します。

13桁を越える場合：

13桁までの住所表示番号をバーコードに変換し、それ以上の情報は含めません。ただし、制御コード＋数字コードで表される英字の制御コードが13桁目に当たる場合は、この制御コードに該当するバーコードまで含めるものとします。

13桁に満たない場合：

13桁になるまで制御コードCC4に該当するバーコードで埋めるものとします。

また、チェックデジットは、新郵便番号～住所表示番号に盛り込む情報の各キャラクターをチェック用数字に置き換え、その合計が19の倍数となるように生成します。

各キャラクターのチェック用数字への置き換えは、次のとおりとします。

バーコード用キャラクター	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	-	CC1	CC2	CC3	CC4	CC5	CC6	CC7	CC8
チェック用数字	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18

漢字コード表切り替えのための制御コード

本プリンターは、従来の1978年版のJIS漢字コード表に加えて、1983年版、1990年版の3つの漢字コード表に対応しています。これらをコンピューターから切り替えるために、以下の制御コードを使用します。

漢字コード表の設定　FS ø5F2

形　式　FS ø 5 F 2 − c_1 c_2

- c_1 c_2で漢字コード表を設定します。

c_1c_2	漢字コード表
øø	JIS 1978年版(JIS C6226-1978)
ø1	JIS 1983年版(JIS X0208-1983)
ø2	JIS 1990年版(JIS X0208-1990)

- 本プリンターで印刷する文字は、基本的に上記JISに準拠していますが、デザイン処理等の都合により多少字形が異なるものがあります。
- コンピューターが対応していないコード表を選択した場合には、コンピューターのディスプレイと印刷結果の文字が異なる場合があります。

記述例　JIS 1983年版を選択するとき

```
LPRINT  CHR$(&h1C);CHR$(&h30);CHR$(&h35);CHR$(&h46);
        CHR$(&h32);CHR$(&h2D);CHR$(&h30);CHR$(&h31);
または
LPRINT CHR$(28);"05F2-01";
```

ソーター制御コマンド

ソーター制御コマンド　FS %

NPDLコマンドでのフィニッシャー制御として以下のモード設定・解除と実行指示を行うものです。

- ステープル(フィニッシャー装着時のみ有効)
- パンチ(フィニッシャー装着時のみ有効)
- オフセット排紙(フィニッシャーでのオフセット排紙はフィニッシャー装着時のみ有効。ただし、ステープルとオフセット排紙の組み合わせは無効)
- JOB終了(ステープル、オフセット排紙実行指示・モード解除)
- ステープル位置、パンチ位置、オフセット排紙については、4章の「仕上げ機能」を参照してください。

パラメーター

- C_1はフィニッシャー機能モードの設定
- P_1は使用グループ番号の設定
- P_2は実行するフィニッシャー機能の設定

- C_1によりフィニッシャーの制御モードを設定します。

c_1	制御モード
F	ステープル
P	パンチ
B	排出先
J	オフセット排紙
E	JOB終了（ステープル実行、オフセット排紙実行）

- P_1は使用するグループ番号を指定します。本プリンターでは1固定ですので、1を設定してください。
- P_2はC_1の設定によって以下のように機能します。

c_1	P_2の機能
F	ステープル位置
P	パンチ位置
B	排出先
J	無効
E	無効

- C_1=F(ステープル位置)が指定されたときのP_2で指定される機能は、以下のとおりです。

P_2	ステープル位置
1	左上とじ・ステープル1点
2	右上とじ・ステープル1点
3	上とじ・ステープル2点
4	左とじ・ステープル2点
5	右とじ・ステープル2点

注：ステープル位置は印刷結果に対してです。とじ位置は、用紙フォーマットに対するものでFS f制御コード設定に従います。コマンドの発行順として、フィニッシャー制御(FS %)制御コードの後で必ず印刷フォーマット説明(FS f)を送る必要があります。

MultiWriter 4550におけるステープル実行可能なモードと用紙サイズの関係を以下に示します。

○：ステープル可能　×: ステープル不可

FS fの用紙方向	P2（ステープル位置）	タテ用紙 A3、B4	タテ用紙 A4*、LT*	ヨコ用紙 A4、B5、LT
ランドスケープ	左上とじ・ステープル1点	○	○	○
	右上とじ・ステープル1点	○	○	○
	上とじ・ステープル2点	×	×	○
	左とじ・ステープル2点	○	○	×
	右とじ・ステープル2点	○	○	×
ポートレート	左上とじ・ステープル1点	○	○	○
	右上とじ・ステープル1点	○	○	○
	上とじ・ステープル2点	○	○	×
	左とじ・ステープル2点	×	×	○
	右とじ・ステープル2点	×	×	○

＊　A4タテ、LTタテはトレーでのみ印刷可能。

- C_1=P(パンチ位置)が指定されたときのP_2で指定された機能は、以下のとおりです。

P_2	パンチ位置
1	上2点穴あけ
2	左2点穴あけ
3	右2点穴あけ

- C_1=B(排出先)が指定されたときのP_2で指定された機能は、以下のとおりです。

P_2	排紙先
1	本体
2	フィニッシャー
3	フィースアップトレー

- C_1=Jが指定されると、ジョブ毎のオフセット排紙を行います。

- C_1=E(JOB終了)が指定されたときのP_2で指定たときの機能は以下のとおりです。
  - ステープルまたはオフセット排紙を行っている場合、ステープル(針打ち)またはオフセット排紙を(用紙排出位置の左右シフト)行います。
  - 設定されたステープル、パンチ、オフセット排紙、排出先を初期値に戻します。ここで、設定値がクリアされます。したがって、ステープルなどの実行毎に本制御コードの指定を行ってください。

【制御コード使用シーケンス】

<table>
<tr><th>発行順</th><th>データ構成</th><th>補足</th></tr>
<tr><td>1</td><td>FS%　ステープル機能
FS%　パンチ機能
FS%　オフセット排紙
FS%　排紙先</td><td>データ構成の順番は任意</td></tr>
<tr><td>2</td><td>FS'　（片面/両面印刷）</td><td></td></tr>
<tr><td>3</td><td>FSf　（用紙選択）</td><td></td></tr>
<tr><td>4</td><td>印刷データ</td><td></td></tr>
<tr><td>5</td><td>最終ページCR（復帰）</td><td></td></tr>
<tr><td>6</td><td>最終ページFF（改頁）</td><td rowspan="2">対でなければならない*[1]</td></tr>
<tr><td>7</td><td>FS%E.（JOB終了指定モードはリセット）</td></tr>
<tr><td colspan="3">以降は、再度FS%指定から行う。</td></tr>
</table>

*[1]　FF（改頁）とFS%E制御コードを必ず対として使用してください。対とならない場合は、ステープル機能、オフセット排紙機能は動作しません。また、FF（改頁）のみで印刷データが終ってしまうと印刷は停止してしまいます。

【特記事項】

- 本制御コードを受けた場合、現在ページに既に印刷データがある場合は改頁を行い、以前のページを排出した後で本指定に従った印刷を開始します。
- 本制御コードは、ページの先頭で使用してください。ページの先頭以外で使用した場合、印刷データがある場合は排出し、印刷位置はページの先頭（TOF）位置となります。
- フィニッシャーが装着されていない場合のフィニッシャー機能、フェースアップトレーが装着されていない場合のフェースアップトレーの指定はピリオドまで読み捨てます。
- 合紙ページを挿入する場合、実際のジョブデータの用紙サイズ、通紙方向との両方で合紙一致する場合にのみ1つの紙束でステープルされます。用紙サイズが異なった場合には、合紙はステープルする紙束から外れます。
- ステープル指定時にステープル実行前（紙束）の途中で用紙サイズが変わった場合には、変更前までをステープルして排紙し、変更後を再度ステープルして排紙します。
- ステープル、パンチ機能が指定された場合には、排出先指定に関わらず、フィニッシャーからの排出となります。

図形の描画コード

楕円の描画　EL

現在の座標位置を中心に楕円を描画します。従来のELコマンドに加え、楕円の回転を可能にしています。これにより斜楕円の描画を行えます。

形　式　E L r_1 , r_2 , θ ;

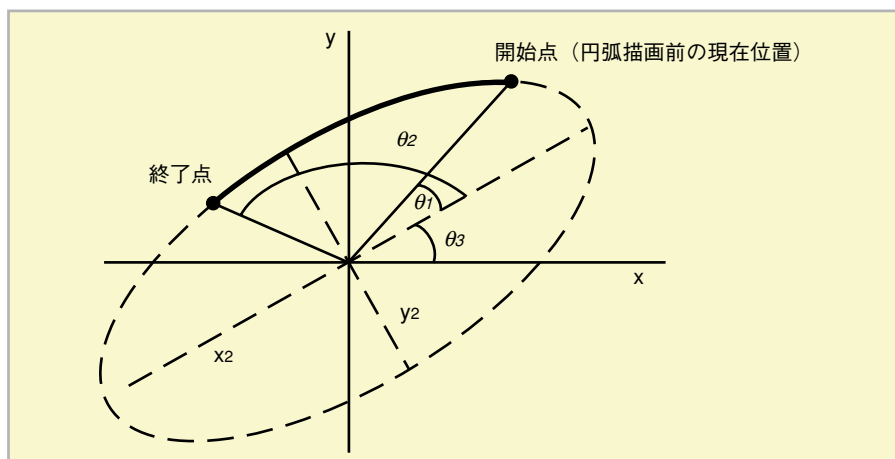
- r_1は楕円の長軸を、r_2は楕円の短軸を示します。
- θは楕円の回転角度を示します。θは省略した場合0°とみなします。
- θ=360以上を指定した場合、360の剰余とみなします。またθは負の値も設定可能です。たとえば－1°は359°とみなします。
- 回転の方向は反時計回りです。
- r_1、r_2は線幅の1/2以下でなければなりません。
- r_1、r_2は下記の値以下でなければなりません。
  400dpiで印刷する場合：　32767-400=32367　（約2055mm）
  600dpiで印刷する場合：　32767-600=32167　（約1362mm）

記述例　長軸方向1000、短軸方向500の楕円を30°回転させて描画するとき

```
LPRINT  CHR$(&h45);CHR$(&h4C);"1000, 500, 30;";
または
LPRINT  "EL1000, 500, 30;";
```

楕円弧の描画　ED, EN

楕円弧を描きます（直線がはじめに引かれる場合があります）。

形　式
E D x_1 , y_1 , x_2 , y_2 , θ_1 , θ_2 , θ_3 ;
E N x_1 , y_1 , x_2 , y_2 , θ_1 , θ_2 , θ_3 ;

- (x_1, y_1)は楕円の中心座標を示します。
- x_2とy_2はそれぞれx軸方向、y軸方向の長短軸の半径を示します。
- θ_1とθ_2はそれぞれ楕円弧の開始角度、終了角度を示します。0～359（度単位）が有効です。
  θ_2が省略された場合、欠けていない楕円を描画します。θ_1は省略できません。
- θ_3は楕円弧の回転角度を示します。θ_3で示された角度だけ、楕円そのものと楕円の開始、終了角度が回転します。
  θ_3が省略された場合、回転なしと解釈されます。

- 楕円の開始角度で示される開始点が現在位置と異なる場合、現在位置から楕円の開始位置まで直線が描画されます。欠けていない楕円の場合も同様です。
- 楕円描画後の現在位置は楕円弧の終了位置になります。
- EDコマンドの楕円弧の描画方向は、座標系コマンド（RC、RO）の設定に関わらず常に反時計回りになります。ENコマンドは常に時計回りに描画します。
- 指定角度が360を越えている場合は360で割った余りが使用されます。
- 指定角度に負の数を使用することができます。-1は359とみなします。

記述例　長中心点（100,100）、軸方向1000、短軸方向500で、開始角度15°、終了角度120°の楕円弧を反時計方向に30°回転させて描画するとき

```
LPRINT  "ED100,100,1000,500,15,120,30;";
```

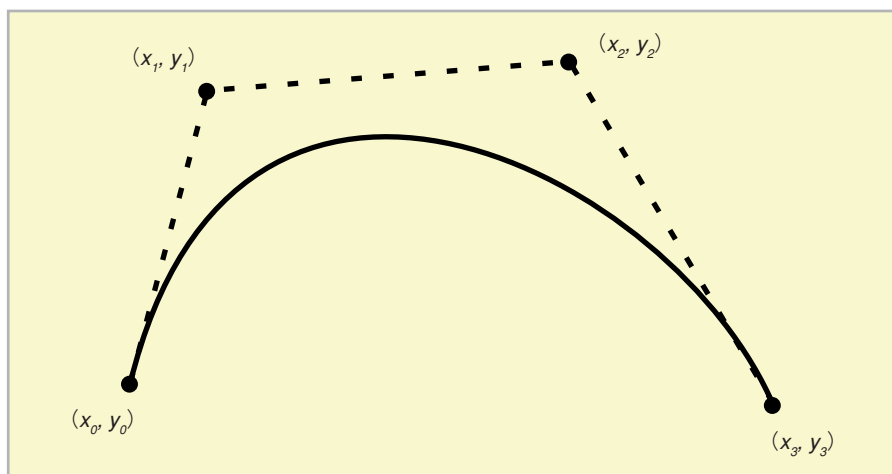
チェック

従来は楕円を回転（傾斜）させることができませんでしたが、EL、ED、ENの各コマンドに楕円の角度を指定するパラメータが追加され、任意の角度に回転させることができるようになりました。

自由曲線の描画（絶対座標モード）　BA

曲線を絶対座標モードで描画します。

形　式

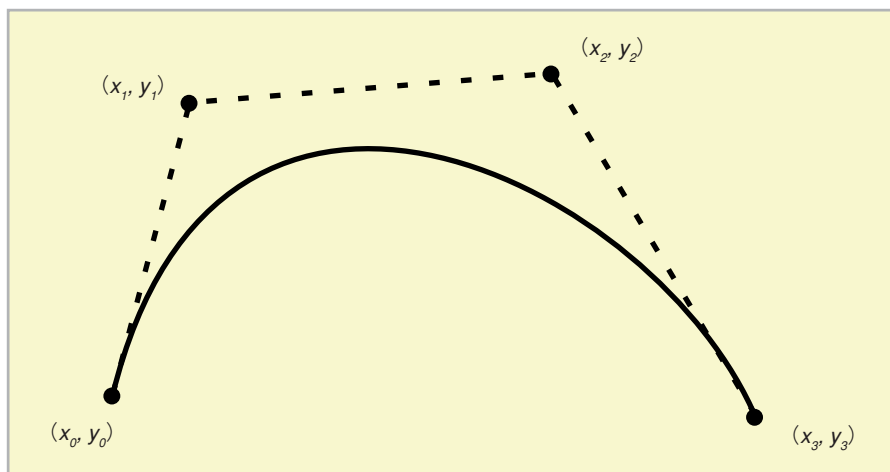
- 現在の座標を（x_0 y_0）として（x_0, y_0）、（x_1, y_1）、（x_2, y_2）、（x_3, y_3）の4点を制御点とする3次ベジエ曲線を描画します。
- 座標点を続けて記述することにより、複数の3次ベジエ曲線を続けて描画します。2つ目以降の曲線の最初の制御点は、その前の最後の制御点が用いられます。3つ目の座標に対して一つの曲線を描画するので、座標の数は必ず3の倍数にしてください。
- 本コマンドにより描画モードは絶対座標モードになります。
- 本コマンドは、パス構築モード中（コマンドNP指定後）でも有効です。
- 描画後、現在位置は最後に描画した曲線の終点に移動します。

記述例　現在の座標位置から（x_1, y_1）、（x_2, y_2）、（x_3, y_3）を結ぶ曲線を描画するとき

```
LPRINT  CHR$(&h42);CHR$(&h41);"X1, Y1, X2, Y2, X3, Y3;";
```
または
```
LPRINT  "BA X1, Y1, X2, Y2, X3, Y3;";
```

自由曲線の描画（相対座標モード）　BR

曲線を相対座標モードで描画します。

形　式

- 現在の座標を（x_0 y_0）として（x_0, y_0）、（x_1, y_1）、（x_2, y_2）、（x_3, y_3）の4点を制御点とする3次ベジエ曲線を描画します。

- 座標点を続けて記述することにより、複数の3次ベジエ曲線を続けて描画します。2つ目以降の曲線の最初の制御点は、その前の最後の制御点が用いられます。3つ目の座標に対して一つの曲線を描画するので、座標の数は必ず3の倍数にしてください。
- 本コマンドにより描画モードは相対座標モードになります。
- 本コマンドは、パス構築モード中（コマンドNP指定後）でも有効です。
- 描画後、現在位置は最後に描画した曲線の終点に移動します。

記述例　現在の座標位置から（x_1, y_1）、（x_2, y_2）、（x_3, y_3）を結ぶ曲線を描画するとき

```
LPRINT　CHR$(&h42);CHR$(&h52);"X1, Y1, X2, Y2, X3, Y3;";
```

または

```
LPRINT　"BR X1, Y1, X2, Y2, X3, Y3;";
```

プリンター単位指定

プリンター単位の設定 SU

図形モードのプリンター単位を設定します。

S U n_1 , n_2 , n_3 ;

- n_1、n_2、n_3でプリンター単位を設定します。

n1, n2, n3	プリンター単位
1,160,0	1/160インチ
1,200,0	1/200インチ
1,240,0	1/240インチ
1,400,0	1/400インチ
1,600,0	1/600インチ
1,1200,0	1/1200インチ
1,720,0	1/720インチ
1,100,0	1/100ミリ

- プリンター単位の初期設定は1/240インチです。初期化動作(電源ON、操作パネルのリセット操作、リセットコマンド他)およびイニシャライズ(IN)制御コードにより1/240インチに初期化されます。
- プリンター単位設定により初期化が実行されます。
- 上記以外の組み合わせは無効です。
- パラメーターを省略することはできません。省略した場合、コマンドは無効となります。

塗りつぶしに関する設定

グレーレベルパターンの設定　SG

フィル描画（FL, EL）や閉領域塗りつぶし描画（PI）で使用する塗りつぶしパターンを明度で設定します。

SGは形式、パラメーターの指定範囲ともに従来と同じですが、本プリンターでは64階調で表現しています。これにより従来よりも細かな明度表現が可能となります。

形　式　S G n_1 , n_2 ;

- n_1, n_2は明度を示します。

パラメーター	用途	明度
n_1	面分描画で使用	0〜100
n_2	線分描画で使用	0〜100

- n_1, n_2の設定範囲は0（黒ベタ）から100（白）までです。（初期値は0です。）
- n_1, n_2とも省略すると本コマンド以前の内容が保存されます。
- 本コマンドでの設定は以下の①〜④まで有効です。

  ①　初期化動作（電源ON、リセット動作など）
  ②　イニシャライズコマンド（IN）実行
  ③　初期化を伴うコマンド（RC、SU、DF）の実行
  ④　塗りつぶしパターン選択（PP）の実行

- 塗りつぶしパターン選択コマンド（PP）が実行された場合、そのコマンドで指定されたパターンが選択されます。
- 線パターンとして黒ベタ以外を設定した場合、一般に線描画で閉領域が構成できないため閉領域塗りつぶし（PI）の使用は避けること。
- グレーの実現レベルはプリンター機種ならびに解像度に依存します。
- スクリーン角度は45°です。
- パラメーターを省略したとき、いずれか一方でもパラメーターを設定範囲外に指定した時は本コマンドは無効です。
- パラメーター値とパターンの関係は以下のとおりです。パターン番号は小数点第1位を四捨五入した値です。

  パターン番号 ＝ パラメーター × 63/100

  （例）　パラメーターで70を指定するとき
  　　　70 × 63/100 ＝ 44.1
  　　　選択されるパターンはパターン番号44となります。

記述例　面分描画での明度を50、線分描画での明度を0（黒）に設定するとき

```
LPRINT　CHR$(&h53);CHR$(&h47);"50,0;";
または
LPRINT "SG 50,0;";
```

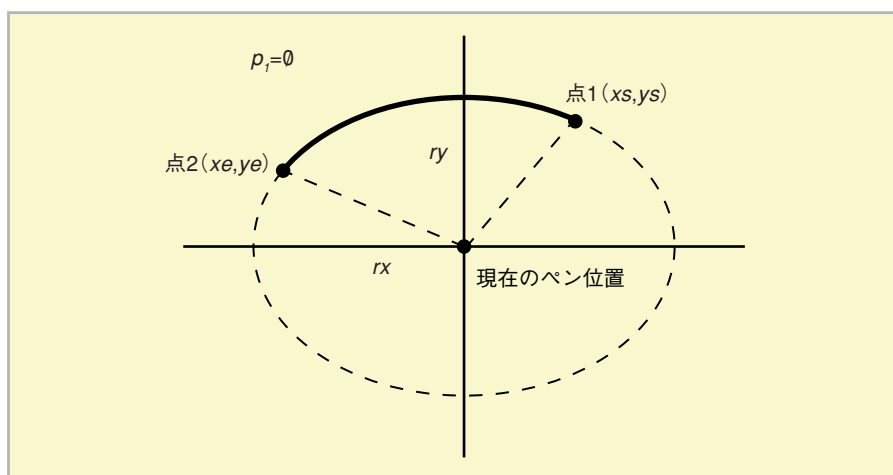
楕円弧描画

楕円弧の描画 AV

矩形領域に内接する楕円弧を描画します。

パラメーター

① *rx* .... x半径
② *ry* .... y半径
③ *xs* .... 点1のx座標(絶対座標)
④ *ys* .... 点1のy座標(絶対座標)
⑤ *xe* .... 点2のx座標(絶対座標)
⑥ *ye* .... 点2のy座標(絶対座標)
⑦ p_1 .... 描画方向(省略可)

- 現在のペン位置を中心とする半径rx、ryの楕円と、中心と点1(*xs*、*ys*)を結ぶ直線との交点を開始点とし、中心と点2(*xe*、*ye*)を結ぶ直線との交点を終了点とする楕円弧を描画方向に従い描画します。
- p_1=0の時、反時計回り
  p_1=1の時、時計回り
- 省略時は反時計回りになります。
  p_1に0、1以外の値が指定された時、コマンドは無効になります。
- 求めた開始点と終了点が同じ場合、楕円を描画します。
- 求めた開始点あるいは終了点が中心点と同じ場合、楕円弧を描画しません。
- 点1、点2の座標(プリンター座標系)が-32768～32767の範囲内にないとき、コマンドは無効になります。
- 半径がマイナスの時、あるいは32767-(解像度)より大きいとき、コマンドは無効になります。
- 線幅/2>半径の場合は、線幅/2=半径になるように線幅を丸めます。

記述例　現在のペン位置を中心とする半径*rx*、*ry*の楕円に対して、中心と点1を結ぶ直線との交点を開始点とし、中心と点2を結ぶ直線との交点を終了点とする楕円弧を描画するとき

```
LPRINT   CHR$(&h41); CHR$(&h56); rx, ry, xs, ys, xe, ye, p1; " ;
または
LPRINT   " AV rx, ry, xs, ys, xe, ye, p1; " ; "
```

弓形描画

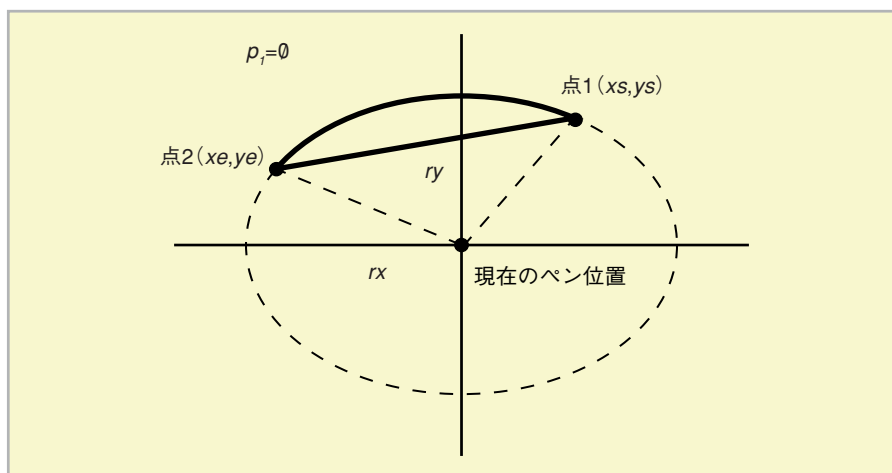
弓形の描画　CV

矩形領域に内接する楕円弧を基に弓形を描画する。

形　式　C V *rx* , *ry* , *xs* , *ys* , *xe* , *ye* , p_1 , p_2 ;

パラメーター

① *rx* .... x半径
② *ry* .... y半径
③ *xs* .... 点1のx座標（絶対座標）
④ *ys* .... 点1のy座標（絶対座標）
⑤ *xe* .... 点2のx座標（絶対座標）
⑥ *ye* .... 点2のy座標（絶対座標）
⑦ p_1 .... 描画モード
⑧ p_2 .... 描画方向（省略可）

- 現在のペン位置を中心とする半径rx、ryの楕円と、中心と点1（*xs*、*ys*）を結ぶ直線との交点を開始点とし、中心と点2（*xe*、*ye*）を結ぶ直線との交点を終了点とする楕円弧を基に弓形を描画します。
- p_1=0の時、輪郭のみ（線種パターンに従って描画する。）
  p_1=1の時、塗りつぶしのみ
  p_1=2の時、輪郭＋塗りつぶし
  p_1に0、1、2以外の値が指定されたとき、コマンドは無効になります。
- p_2=0の時、反時計回り。
  p_2=1の時、時計回り。
  省略時は反時計回りになります。
  p_2に0、1以外の値が指定された時、コマンドは無効になります。
- 求めた開始点と終了点が同じ場合、楕円を描画します。
- 求めた開始点あるいは終了点が矩形領域の中心と同じ場合、弓形を描画しません。
- 点1、点2の座標（プリンター座標系）が-32768～32767の範囲内にないとき、コマンドは無効になります。
- 半径がマイナスの時、あるいは32767-（解像度）より大きいとき、コマンドは無効になります。
- 線幅/2＞半径の場合は、線幅/2＝半径になるように線幅を丸めます。

記述例　現在のペン位置を中心とする半径*rx*、*ry*の楕円に対して、中心と点1を結ぶ直線との交点を開始点とし、中心と点2を結ぶ直線との交点を終了点とする弓形を描画するとき

```
LPRINT　CHR$(&h43); CHR$(&h56); " rx, ry, xs, ys, xe, ye, p1, p2; ";
```
または
```
LPRINT　"CV rx, ry, xs, ys, xe, ye, p1, p2; "
```

扇形描画

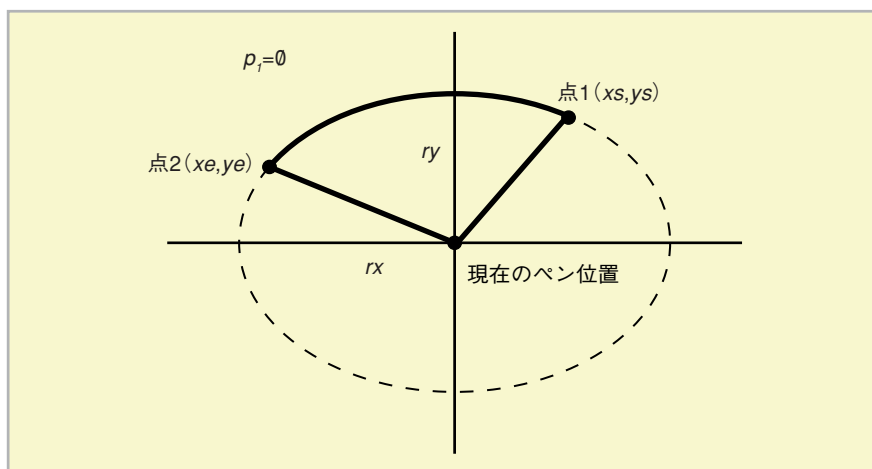
扇形の描画　FV

矩形領域に内接する楕円弧を基に扇形を描画します。

形　式　F V rx , ry , xs , ys , xe , ye , p_1 , p_2 ;

パラメーター

① rx .... x半径
② ry .... y半径
③ xs .... 点1のx座標（絶対座標）
④ ys .... 点1のy座標（絶対座標）
⑤ xe .... 点2のx座標（絶対座標）
⑥ ye .... 点2のy座標（絶対座標）
⑦ p_1 .... 描画モード
⑧ p_2 .... 描画方向（省略可）

- 現在のペン位置を中心とする半径rx、ryの楕円と、中心と点1（*xs*、*ys*）を結ぶ直線との交点を開始点とし、中心と点2（*xe*、*ye*）を結ぶ直線との交点を終了点とする楕円弧を基に扇形を描画します。
- p_1＝0の時、輪郭のみ（線種パターンに従って描画します。）
  p_1＝1の時、塗りつぶしのみ
  p_1＝2の時、輪郭＋塗りつぶし
  p_1に0、1、2以外の値が指定されたとき、コマンドは無効になります。
- p_2＝0の時、反時計回り。
  p_2＝1の時、時計回り。
  省略時は反時計回りになります。
  p_2に0、1以外の値が指定された時、コマンドは無効になります。
- 求めた開始点と終了点が同じ場合、楕円を描画します。
- 求めた開始点あるいは終了点が矩形領域の中心と同じ場合、扇形を描画しません。
- 点1、点2の座標（プリンター座標系）が-32768～32767の範囲内にないとき、コマンドは無効になります。
- 半径がマイナスの時、あるいは32767-（解像度）より大きいとき、コマンドは無効になります。
- 線幅/2>半径の場合は、線幅/2＝半径になるように線幅を丸めます。

記述例　現在のペン位置を中心とする半径*rx*、*ry*の楕円に対して、中心と点1を結ぶ直線との交点を開始点とし、中心と点2を結ぶ直線との交点を終了点とする扇形を描画するとき

```
LPRINT   CHR$(&h46); CHR$(&h56); " rx, ry, xs, ys, xe, ye, p1, p2; ";
または
LPRINT   "FV rx, ry, xs, ys, xe, ye, p1, p2; "; "
```

角丸矩形描画

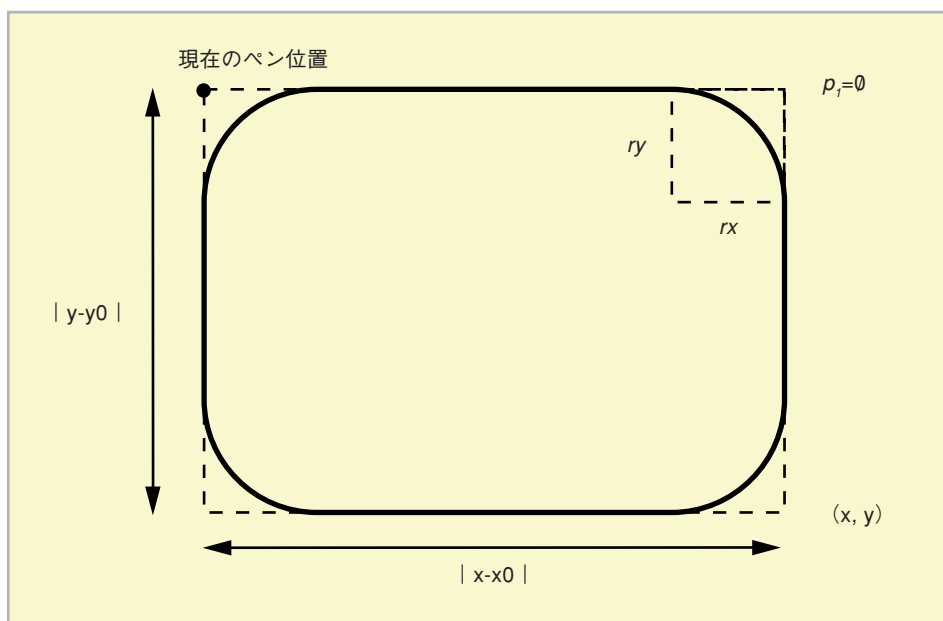
角丸矩形の描画　RB

指定された2点を基に角丸矩形を描画する。

形　式　R B x , y , rx , ry , p1 ;

パラメーター

① x .... 矩形の対角のx座標（絶対座標）
② *y* .... 矩形の対角のy座標（絶対座標）
③ *rx* .... 角丸のx半径
④ *ry* .... 角丸のy半径
⑤ p_1 .... 描画モード

- 現在のペン位置からx、yで示される矩形の角に半径rx、ryの1/4楕円を描画します。
- p_1=0の時、輪郭のみ（線種パターンに従って描画します。）
  p_1=1の時、塗りつぶしのみ
  p_1=2の時、輪郭＋塗りつぶし
  p_1に0、1、2以外の値が指定されたとき、コマンドは無効になります。
- ｜x-x0｜＞2 × *rx*かつ｜y-y0｜＞2 × *ry*のとき角丸めを行い、それ以外は角丸めを行いません。
- *x*、*y*半径が32767 - 解像度を超える場合は、32767 - 解像度に丸める。
- 対角点の座標（プリンター座標系）が-32768～32767の範囲内にないとき、コマンドは無効になります。
- 線幅/2＞半径の場合は、線幅/2＝半径になるように線幅を丸めます。

記述例　現在のペン位置から *x*、*y*で示される矩形に半径 *rx*、*ry*の角丸矩形を描画するとき

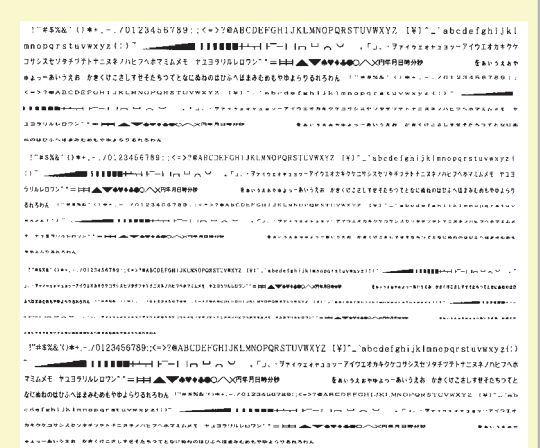
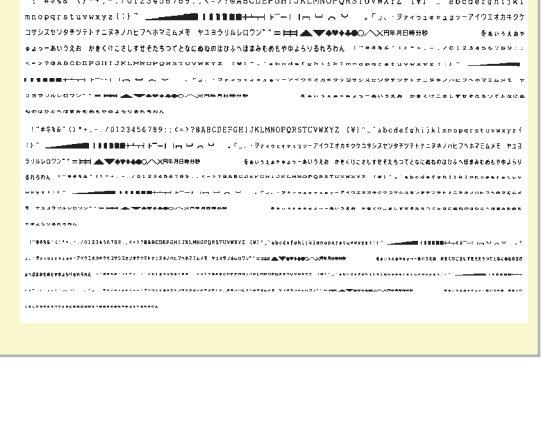
```
LPRINT   CHR$(&h52); CHR$(&h42); " x, y, rx, ry, p1; ";
または
LPRINT    " RB x, y, rx, ry, p1; ";
```

ディスプレイ表示一覧

ディスプレイの表示の一覧を以下の表に示します。

表示の種類		表　示	表示の意味
通常表示	給紙方法に関する表示	ホッパ1　XXX　XXX	上から1段目のホッパーからの給紙を選択しています。
		ホッパ2　XXX　XXX	上から2段目のホッパーからの給紙を選択しています。
		ホッパ3　XXX　XXX	上から3段目のホッパーからの給紙を選択しています。*[1]
		ホッパ4　XXX　XXX	上から4段目（左側）のホッパーからの給紙を選択しています。*[1]
		ホッパ5　XXX　XXX	上から4段目（右側）のホッパーからの給紙を選択しています。*[1]
		トレー　XXX　XXX	トレーからの給紙を選択しています。
		フウトウ　XXX	封筒フィーダーからの給紙を選択しています。
	用紙サイズに関する表示	XXX　A3タテ　XXX	A3（縦置き）の用紙を選択しています。
		XXX　B4タテ　XXX	B4（縦置き）の用紙を選択しています。
		XXX　B5タテ　XXX	B5（縦置き）の用紙を選択しています（トレー使用時）。
		XXX　B5ヨコ　XXX	B5（横置き）の用紙を選択しています。
		XXX　A5タテ　XXX	A5（縦置き）の用紙を選択しています（トレー使用時）。
		XXX　A5ヨコ　XXX	A5（横置き）の用紙を選択しています。
		XXX　LTタテ　XXX	レター（縦置き）の用紙を選択しています（トレー使用時）。
		XXX　LTヨコ　XXX	レター（横置き）の用紙を選択しています。
		XXX　ハガキ　XXX	はがきサイズの用紙を選択しています（トレー使用時）。
		XXX　A4タテ　XXX	A4（縦置き）の用紙を選択しています（トレー使用時）。
		XXX　A4ヨコ　XXX	A4（横置き）の用紙を選択しています。
		XXX　ハガキ2　XXX	往復はがき（縦置き）の用紙を選択しています（トレー使用時）。
		XXX　テイケイガイ　XXX	定形外用紙を選択しています（定形外用紙カセット使用時/トレー使用時）。
	縮小／拡大モードに関する表示	XXX　A4→A3　XXX	A4サイズのデータをA3の用紙に印刷する拡大モードを選択しています。
		XXX　B4→A3　XXX	B4サイズのデータをA3の用紙に印刷する拡大モードを選択しています。
		XXX　A3→B4　XXX	A3サイズのデータをB4の用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX　LP→B4　XXX	帳票サイズのデータをB4の用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX　A4→B4　XXX	A4サイズのデータをB4の用紙に印刷する拡大モードを選択しています。
		XXX　B5→B4　XXX	B5サイズのデータをB4の用紙に印刷する拡大モードを選択しています。
		XXX　A3→A4　XXX	A3サイズのデータをA4の用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX　B4→A4　XXX	B4サイズのデータをA4の用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX　LP→A4　XXX	帳票サイズのデータをA4の用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX　A4 ×2　XXX	A4サイズ2ページ分のデータをA4の用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX　B4→B5　XXX	B4サイズのデータをB5の用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX　A4→B5　XXX	A4サイズのデータをB5の用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX　B5 ×2　XXX	B5サイズ2ページ分のデータをB5の用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX　B5→A4　XXX	B5サイズのデータをA4の用紙に印刷する拡大モードを選択しています。

*[1] オプションの大容量ホッパーを取り付けている場合のみ表示されます。

表示の種類		表　示	表示の意味
通常表示	用紙の種類に関する表示	フツウシ　　XXX　XXX	普通紙を選択しています。
		アツガミX　XXX　XXX	厚紙を選択しています。「アツガミX」のXの箇所に厚紙のレベルの1〜6が表示されます。
		ラベルシ　　XXX　XXX	ラベル紙を選択しています。
		OHP　　　　XXX　XXX	OHPシートを選択しています。
		アナアキシ　XXX　XXX	穴あき紙を選択しています。
		アイシ　　XXX　XXX	合紙を選択しています。
	両面印刷に関する表示	XXX　リョウメン　XXX	両面印刷を選択しています。
	動作モードに関する表示	XXX　　XXX　NPDL	動作モードにNPDLモードを選択しています。
		XXX　　XXX　ESC/P	動作モードにESC/Pモードを選択しています。
ステータス表示		コピー　XX　マイ	コピー枚数がXX枚に設定されています。コピー枚数はメニューモードで最大99枚まで設定できます。この表示は、コピー枚数をメニューモードで2枚以上に設定したときに、給紙方法・用紙サイズ・印刷方向（例：“ホッパA4ポート”）の表示と交互に表示されます。コピー枚数が1枚（オリジナルのみ）の場合には表示されません。
		イニシャライズチュウ	電源投入時のイニシャライズを実行中です。
		ウォームアップチュウ	ウォームアップ中です。
		ジュシンチュウ	データを受信中です。
		セツデンチュウ	節電中です。
		ショリチュウ	データ処理を実行中です。データ処理が終了し、用紙が排出可能となるまで表示されます。
		インサツチュウ	印刷中です。用紙が排出されるまで、表示されます。
		テストインサツチュウ	テスト印刷を実行中です。
		データガノコッテイマス	未印刷データがプリンター内に残っています。
		16シンダンプチュウ	16進ダンプ印刷を実行中です。
		リセットジッコウ	リセット中です。
		トナーザンショウ　EPコウカン	トナーの残量が少なくなってきています。
		OPCジュミョウ　EPコウカン	OPCドラムの寿命が近づいてきています。
		ヨウシナシ　ホッパX	グループ設定しているホッパーの用紙がありません。「ホッパX」のXの箇所に用紙がないホッパーが表示されます。グループ設定しているホッパーから印刷中のみ表示されます。
アラーム表示		ホッパX　XX　ホキュウ ホッパX　テイケイガイ　ホキュウ トレーXXセット	用紙がなくなりました。または印刷フォーマットで指定されたサイズの用紙がありません。「ホッパX」のXの箇所に選択しているホッパー番号が表示されます。XXの箇所に用紙サイズが表示されます。定形外の時はサイズ箇所がテイケイガイになります。
		ホッパX　オープン	ホッパーがセットされていません。Xの箇所にセットされていないホッパーが表示されます。
		72　カバーオープン XXXX	カバーが開いています。Xの箇所に開いているカバーが表示されます。
		73　EPカートリッジナシ	EPカートリッジが取り付けられていません。
		74　カミヅマリ ホンタイ　XXXXX	プリンター本体で紙づまりが発生しています。Xの箇所には紙づまりが発生している箇所が表示されます。
		74　カミヅマリ キュウシ　XXXXX	給紙部で紙づまりが発生しています。Xの箇所には紙づまりが発生している箇所が表示されます。
		74　カミヅマリ リョウメン	両面印刷ユニットで紙づまりが発生しています。
		74　カミヅマリ フィニッシャ　XXXXX	フィニッシャーで紙づまりが発生しています。Xの箇所には紙づまりが発生している箇所が表示されます。
		75　ヨウシサイズエラー XXX　サイドA	指定されているサイズと異なる用紙がセットされています。Xの箇所に発生した給紙場所が表示されます。「サイドA」は用紙がつまっているカバーの位置を示しています。
		76　トナーナシ EPコウカン	EPカートリッジの交換時期です。
		77　テイキホシュ	定期保守（定着ユニットなどの交換）の必要な時期です。

表示の種類	表　示	表示の意味
アラーム表示	78　ステープルイジョウ ステープル	フィニッシャーのステープルカートリッジにステープルが入っていません。
	78　ステープルイジョウ カートリッジナシ	フィニッシャーにステープルカートリッジが取り付けられていません。
	79　パンチイジョウ ボックスフル	フィニッシャーのパンチ屑ボックスのパンチ屑がいっぱいです。
	79　パンチイジョウ ボックスナシ	フィニッシャーにパンチ屑ボックスが取り付けられていません。
	82　セットフリョウ	フィニッシャーが正しく取り付けられていません。
	83　ヨウシピックミス XXX　サイドX	用紙ピックミスが発生しています。Xの箇所に発生した給紙位置と用紙がつまっているカバーの位置が表示されます。
	84　フォーム　オーバーXXX	フォーム登録に必要なメモリーが不足しています。
	85　スタックフル フェースダウン	排紙トレーの規定枚数を超える枚数の用紙が排出されています。
	85　スタックフル フィニッシャ	フィニッシャーの規定枚数を超える枚数の用紙が排出されています。
	87　OPCジュミョウ EPコウカン	EPカートリッジの交換時期です。
	88　EPタイプチガイ EPコウカン	EPカートリッジのタイプが違います。
	89　トレー　ミソウチャク	トレーまたは封筒フィーダーが取り付けられていません。
	その他の表示	障害が発生しています。
メニュー表示	メニュー表示は、メニューモードを使用しているときに表示されます。 メニュー表示については7章の「メニューモード」をご覧ください。	
下段表示　→	XXX カクニン	セットされている用紙の種類が異なっています。

テスト印刷のプリント結果

次にテスト印刷とステータス印刷のプリント結果例を示します。プリント結果はA4サイズの用紙に印刷したものを33%に縮小しました。

テスト印刷

テスト印刷では、1バイト系標準、イタリック、クーリエ、ゴシックの4フォントと、各フォントのパイカ文字、エリート文字、コンデンス文字、プロポーショナル文字、2バイト系明朝体の7ポイントの第一水準漢字のすべて、第二水準漢字の一部分と2バイト系明朝体の10.5ポイントの第一水準漢字のすべて、第二水準漢字の一部分を順次印刷します。

←1バイト系　標準　パイカ文字

←1バイト系　標準　エリート文字

←1バイト系　標準　コンデンス文字

←1バイト系　標準　プロポーショナル文字

←1バイト系　イタリック　パイカ文字

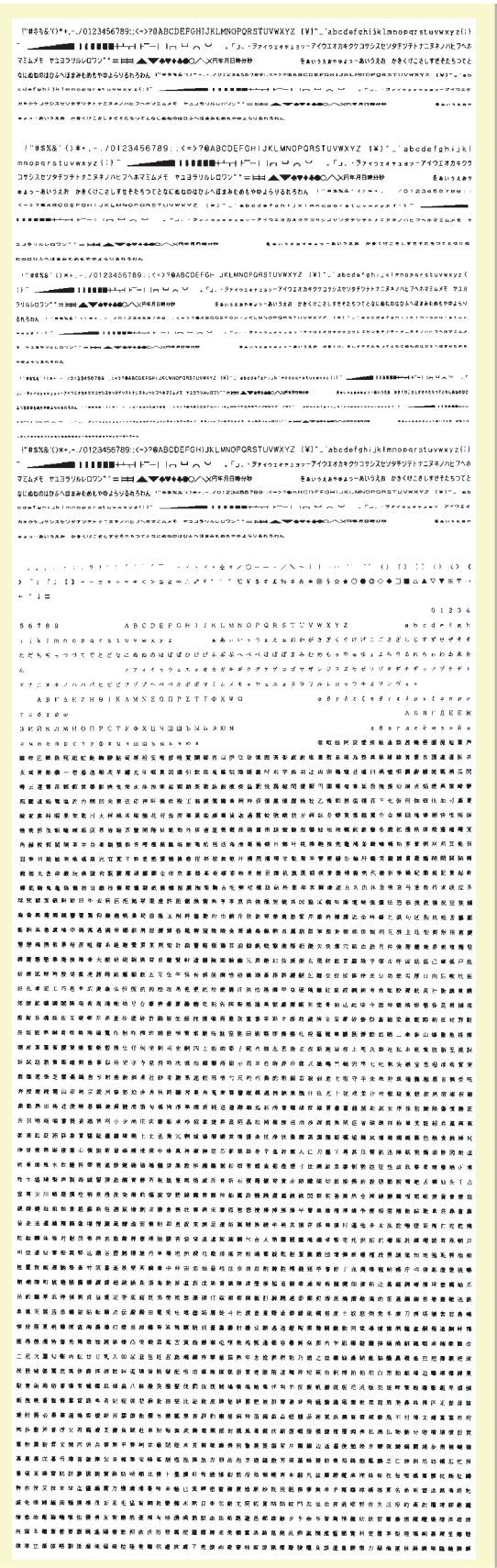
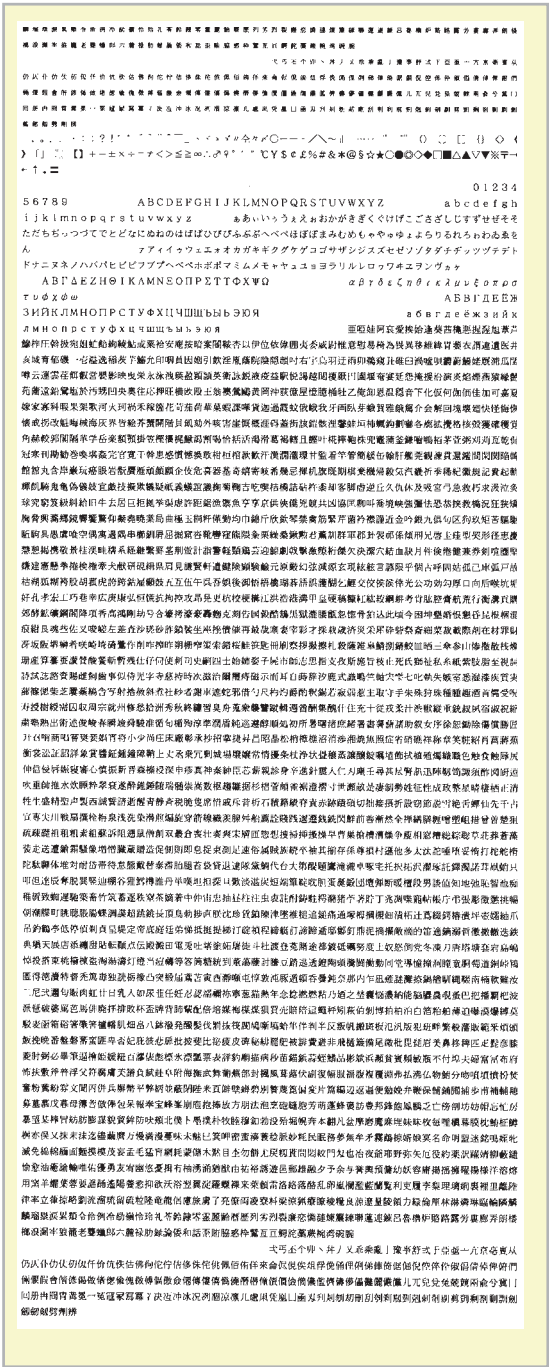
←1バイト系　イタリック　エリート文字

←1バイト系　イタリック　コンデンス文字

←1バイト系　イタリック　プロポーショナル文字

←1バイト系　クーリエ　パイカ文字

←1バイト系　クーリエ　エリート文字

←1バイト系　クーリエ　コンデンス文字

←1バイト系	クーリエ	プロポーショナル文字
←1バイト系	ゴシック	パイカ文字
←1バイト系	ゴシック	エリート文字
←1バイト系	ゴシック	コンデンス文字
←1バイト系	ゴシック	プロポーショナル文字
←2バイト系	明朝体アウトラインフォント第一水準漢字（7ポイント）	

←2バイト系　　明朝体アウトラインフォント第二水準漢字の一部分（7ポイント）

←2バイト系　　明朝体アウトラインフォント第一水準漢字のすべて（10.5ポイント）

←2バイト系　　明朝体アウトラインフォント第二水準漢字の一部分（10.5ポイント）

ステータス印刷

ステータス印刷では、オプションの接続やメモリースイッチの状態など、本プリンターの状態が印刷されます。オプションを接続した後の確認にご使用ください。次にステータス印刷の結果例を示します。設定値が工場出荷時の設定以外はアンダーラインが引かれます。（このステータス印刷はNPDL使用時のものですが、一部の設定はESC/Pエミュレーションでも有効です。）

＊＊　プリンタ環境設定　＊＊　　00000000

H/W情報

項目	設定	値
Version	コントローラ	14．00
	エンジン	00．00
給紙構成	ホッパ1	定形外用紙
	ホッパ2	定形外用紙
	ホッパ3	定形外用紙
	ホッパ4	A4　横
	ホッパ5	A4　横
	封筒フィーダ	封筒　横

メニュー情報

項目	設定	値
印刷設定メニュー	コピー枚数	1枚
	トナー節約	OFF
用紙メニュー	ホッパ初期設定	ホッパ1
	用紙種別設定	
	ホッパ1	普通紙
	ホッパ2	厚紙1
	ホッパ3	穴あき紙
	ホッパ4	普通紙
	ホッパ5	普通紙
	封筒フィーダ	厚紙3
	合紙モード設定	OFF
	リレー給紙設定	
	ホッパ1	OFF
	ホッパ2	OFF
	ホッパ3	OFF
	ホッパ4	ON A
	ホッパ5	ON A
	封筒フィーダ	OFF
	グループ設定	
	ホッパ1	OFF
	ホッパ2	OFF
	ホッパ3	OFF
	ホッパ4	グループA
	ホッパ5	グループA
	封筒フィーダ	OFF
	ホッパ1定形外	
	幅　297.0mm	長さ　431.8mm
	ホッパ2定形外	
	幅　297.0mm	長さ　431.8mm
	ホッパ3定形外	
	幅　210.0mm	長さ　297.0mm
印字位置設定	ホッパ1微調整	
	TM　0mm	LM　0mm
	ホッパ2微調整	
	TM　0mm	LM　0mm
	ホッパ3微調整	
	TM　0mm	LM　0mm
	ホッパ4微調整	
	TM　0mm	LM　0mm
	ホッパ5微調整	
	TM　0mm	LM　0mm
	封筒微調整	
	TM　0mm	LM　0mm
	表面微調整	
	TM　0mm	LM　0mm
	裏面微調整	
	TM　0mm	LM　0mm

項目	設定	値
メモリ容量	32MB	
トナー残量	100%	
オプション	両面印刷ユニット	
	フィニッシャ	
	フェースアップトレー	
	ハードディスク	
	封筒フィーダ	
オプション設定	両面印刷設定	
	初期設定	OFF
	綴じ代	ロング1
	余白	0mm
	クリップ	ON
	フェースアップトレー	使用
	排出先設定	フェースダウン
運用メニュー	節電機能	有効
	節電時間設定	10分
	自動排出	無効
	メモリ設定	標準
フォントメニュー	1バイト系ゼロ	0
	2バイト系ゼロ	0
	ANK	標準
	漢字	明朝
	文字セット	JIS1978
	国別	日本
動作メニュー	動作エミュレーション	
	インタフェース1	NPDL
	インタフェース2	NPDL
	動作自動切り替え	
	インタフェース1	ON
	インタフェース2	OFF
	タイムアウト	30秒
NPDL設定	A4ポート桁数	78桁
	エミュレーション	201PL
	136桁モード	有効
	用紙位置	左
	微調整	右2
I/F設定	インターフェース1	
	双方向設定	ECP
	IPアドレス	192.168.140.251
	サブネットマスク	255.255.255.0
	インターフェース2	
	IPアドレス	192.168.140.252
	サブネットマスク	255.255.255.0
	ゲートウェイ	192.168.140.1
	DHCP	OFF
	アクセス制限	OFF
メモリスイッチ		12345678
	MSW1	00000000
	MSW2	00000000
	MSW3	00000000
	MSW4	00000000
	MSW5	00000000
	MSW6	00000000
	MSW7	00000000
	MSW8	00000000
	MSW9	00000000
	MSW10	00000000

増設メモリー対応表

増設メモリー対応表を次に示します。

プリンターの設定									
メモリー容量			32MB（標準）	+64MB		+128MB		+256MB	
メモリー割当設定			標準	標準	電子ソート優先	標準	電子ソート優先	標準	電子ソート優先
プリンタードライバーの設定	用紙サイズ	用紙解像度	600dpi	600dpi	600dpi	600dpi	600dpi	600dpi	600dpi
	A3片面	600dpi	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	A3両面	600dpi	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	B4片面	600dpi	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	B4両面	600dpi	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	A4横片面	600dpi	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	A4横両面	600dpi	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

◎：印刷保証
○：印刷可能（印刷データによっては、メモリーの増設を必要とする場合があります）

メモリー割当て設定について

プリンターの操作パネルで切り替えます。

メニューモードの「運用メニュー」の「メモリー設定」で行います。詳しくは7章「メニューモード」（327ページ）をご覧ください。

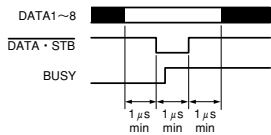
メモリー増設量	メモリー割当設定	
64MB〜増設時	ヒョウジュン	＜デンシソートユウセン＞

＜文字＞は、メモリーを増設したときの初期設定です。

電子ソート機能有効時の印刷保証枚数表

電子ソート機能有効時の増設したメモリーによる印刷保証枚数は以下のとおりです。

チェック

プリンターとコンピューターの双方向通信が無効な場合、以下の表に示す印刷ページ数が1部を超えた複数部数印刷はできません。

用紙サイズ	解像度(dpi)	増設メモリー容量		
		+64MB	+128MB	+256MB
A3片面	600	3枚	11枚	28枚
B4片面	600	5枚	15枚	37枚
A4片面	600	7枚	24枚	57枚

また、64MB以上の増設メモリーを装着し、さらにハードディスク(オプション)を取り付けることにより、電子ソート機能時の印刷保証枚数が以下のとおり大幅に増えます。

用紙サイズ	ハードディスク装着時 増設メモリー64MB以上	
A3	片面	200枚
	両面	100枚
B4	片面	200枚
	両面	100枚
A4	片面	200枚
	両面	100枚

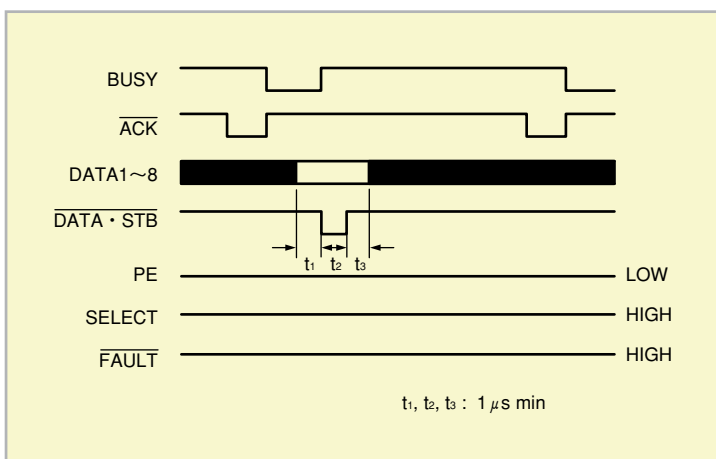
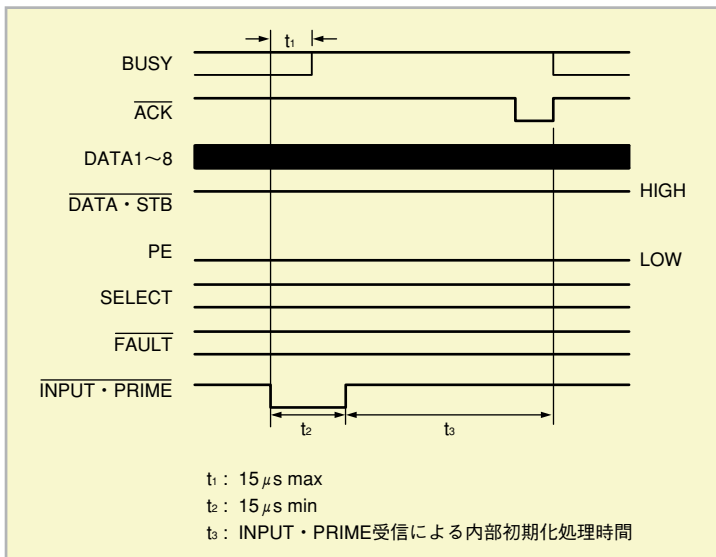
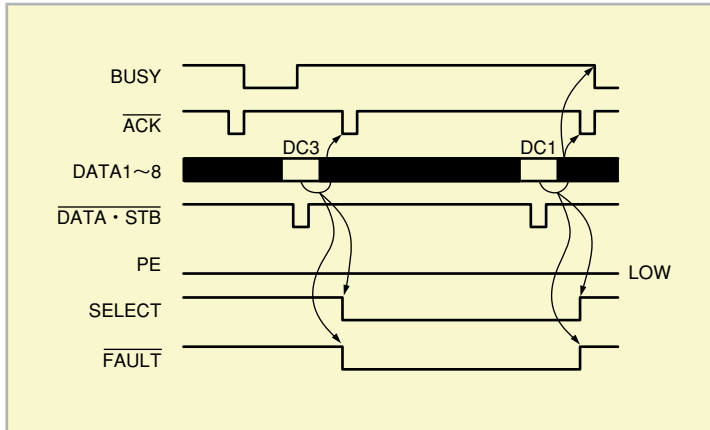
インターフェース

インターフェース信号の機能

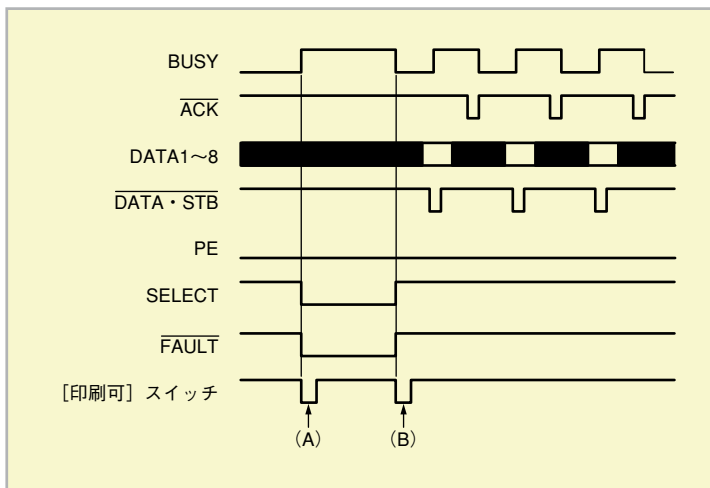
ピン番号	信号名	略称	信号の方向	機能
1	データストローブ	DATA·STB	PR←PC	DATA 1~8を読み込むための同期信号である。定常状態はHIGHであり、HIGHからLOWになったときBUSYがHIGHになり、次にLOWからHIGHになるまでにDATA 1~8を読み込む。パルス幅は最小1μsとする。 DATA1~8 / DATA・STB / BUSY / 1μs min 1μs min 1μs min
2 3 4 5 6 7 8 9	データ1 データ2 データ3 データ4 データ5 データ6 データ7 データ8	DATA 1 DATA 2 DATA 3 DATA 4 DATA 5 DATA 6 DATA 7 DATA 8	PR←PC	各信号は、データの1ビット目から8ビット目の情報を受信する入力信号である。 論理1はHIGHである。DATA 1が最下位桁（LSB）、DATA 8が最上位桁（MSB）である。上図に示すDATA· STBの前後1μsの範囲でDATA 1~8は確定していること。
10	アクノリッジ	ACK	PR→PC	受信したデータをプリンター内へ取り込み完了したことを示す信号で、DATA· STB受信に対する応答である。ただし、電源ON時、インプットプライム処理終了時、および操作パネルによるリセットの処理終了時には無条件に一度出力する。定常状態はHIGHであり、約1μsLOWとなるパルスを出力する。
11	ビジィ	BUSY	PR→PC	プリンターがデータ受信不可能（BUSY中）状態であることを知らせる信号である。LOWの場合、データ入力が可能である。次の条件を満たすものが1つでもあればHIGHになる。それ以外ではLOWである。 ● SELECT信号がLOWのとき。 ● FAULT信号がLOWのとき。 ● INPUT· PRIME信号がLOWになったときから所定時間経過したのちHIGHとなり、内部初期化処理が終了するまでの間。 ● データを受信してから、プリンター内へ取り込み完了するまでの間。 ● 操作パネルによるリセットを行ってから、内部初期化処理が終了するまでの間。 ［補足］ 本プリンターは印刷処理用の1ページ分バッファーのほかに、受信用のバッファーを持ち、データを受信するとまず受信用のバッファーに書き込まれる。このため、データの処理が完了しないうちに次のデータを受信することができ、プリンターの動作状態とBUSY信号の状態は同期しない。また、受信用バッファーが満杯になったときはBUSY信号はHIGHを保持し、印刷動作実行などにより余裕が生じたらLOWとなって次の受信を行う。
12	ペーパーエンド	PE	PR→PC	用紙がなくなったときHIGHになる。 ● 設定されたサイズの用紙がホッパーに存在せず、縮小もできない場合 ● データが存在して用紙がない場合
13	セレクト	SELECT	PR→PC	プリンターがセレクト中（HIGH）かディセレクト中（LOW）かを示す。セレクト中はデータの受信が可能である。 ［セレクトになる条件］ ● 電源ONしたとき ● ディセレクト状態で印刷可スイッチが押されたとき。 ● メモリースイッチ1-5がOFFで、ディセレクト状態でDC1コードを受信したとき。 ［ディセレクトになる条件］ ● セレクト状態で印刷可スイッチが押されたとき。 ● メモリースイッチ1-5がOFFで、DC3コードを受信したとき。 ● PE=1のとき。 ● FAULT=0のとき。
14~15	—	—	—	将来の拡張用
16	シグナルグランド	SG	—	信号用グランド
17	フレームグランド	FG	—	フレームグランド
18	デバイスコネクト	DCN	PR→PC	プリンターの電源がONになっていることを表す。操作パネルのリセットスイッチでリセットを実行した場合、最小で1.5秒間LOWとなる。
19~30	GND	—	—	（信号グランドに接続されている。）
31	インプットプライム	INPUT·PRIME	PR←PC	この信号がLOWになるとプリンターは初期状態になる。パルス幅は15μs以上必要。SELECT信号がHIGH、LOWどちらであってもINPUT· PRIMEは有効。INPUT· PRIMEによる初期状態は電源ON時とほぼ同じ状態となる。
32	フォルト	FAULT	PR→PC	次のいずれかの条件が発生したときLOWになる。（本信号をLOWにするときは、必ずBUSYを先または同時にHIGHにすること） ● SELECT＝0のとき。 ● プリンターがエラーのとき。
33	シグナルグランド	SG	—	信号用グランド
34~36	—	—	—	将来の拡張用

タイムチャート

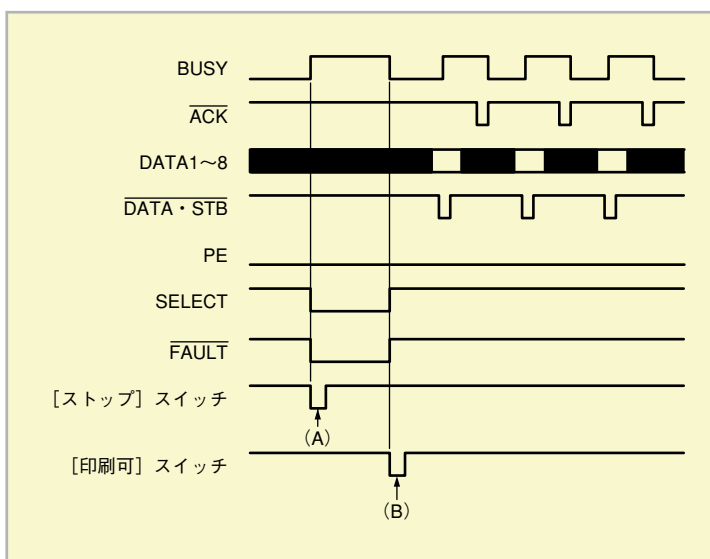
● 電源ON時

● データ受信時

● INPUT・PRIME受信時

● DC1、DC3によるセレクト、ディセレクトの切り替え

◇　ＤＣ１、ＤＣ３の処理は受信用バッファーから読み出された後に実行される。

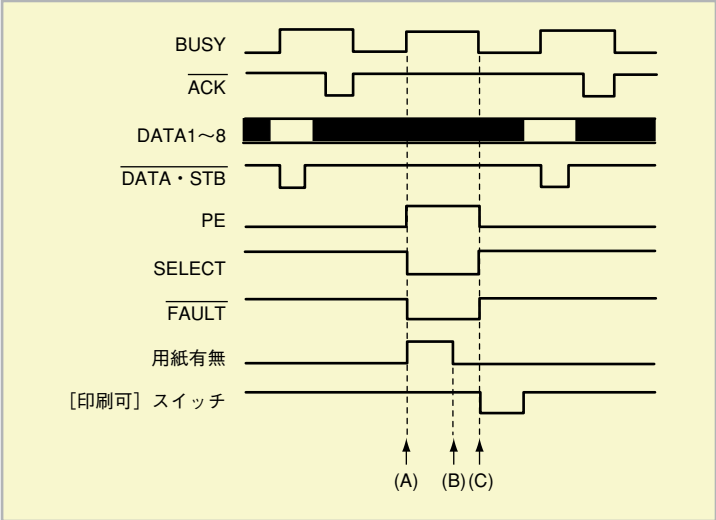
◇　DC3処理後はBUSY、ディセレクトのため、実際には通常の送信方法ではDC1はプリンターに対して送信できない。

● 操作パネルによるセレクト、ディセレクトの切り替え

(A) セレクト状態で[印刷可]スイッチを押すとただちにディセレクト状態になる。

(B) ディセレクト状態で[印刷可]スイッチを押すとセレクト状態になる。

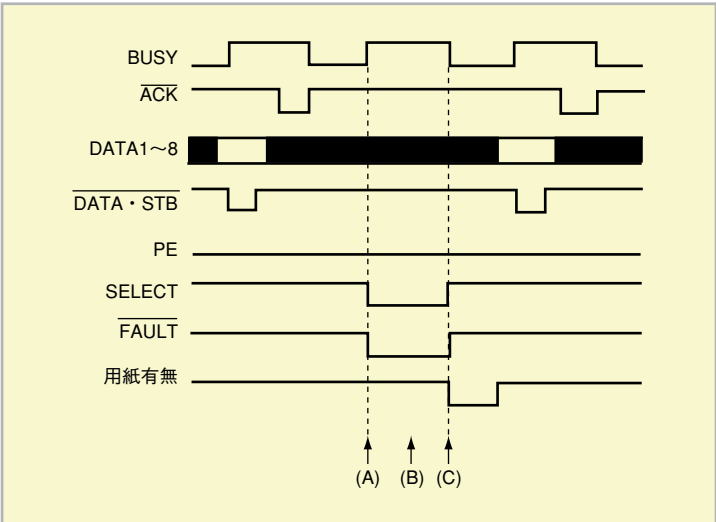
● [ストップ]スイッチによる一時停止

(A) セレクト状態で[ストップ]スイッチを押すとただちにディセレクト状態になる。

(B) ディセレクト状態で[印刷可]スイッチを押すとセレクト状態になる。

● 用紙なし発生時

（A）印刷データ受信後、用紙なしを検出するとただちにディセレクト状態になる。

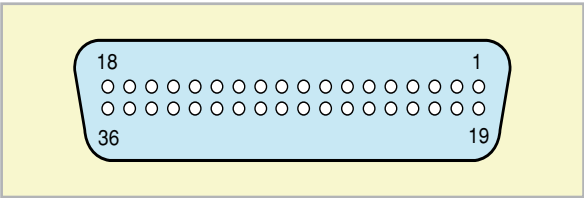
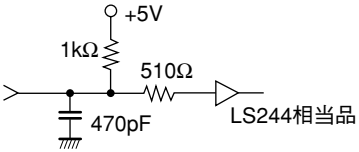
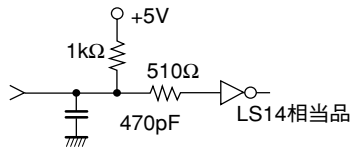
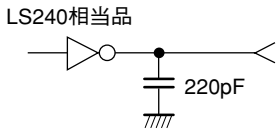
（B）用紙をセットする。

（C）用紙をセットすることによりセレクト状態となり、前の続きの処理を再開する。

● 紙づまり発生時

（A）用紙ジャム発生状態

（B）用紙を取り除く。用紙が取り除かれるまで状態は続く。

（C）［印刷可］スイッチを押すことにより印刷を再開する。

コネクターピン配置

各ピンの信号については「インターフェース信号の機能」をご覧ください。

16ピン、19～30ピン、33ピンのピンの端子はプリンター内部で相互に接続されています。

電気的特性

入力回路

信号名	回路形式
DATA1～8 ［インタフェース1］	+5V 1kΩ 510Ω 470pF LS244相当品
DATA・STB INPUT・PRIME	+5V 1kΩ 510Ω 470pF LS14相当品

出力回路

信号名	回路形式
ACK FAULT BUSY PE SELECT DCN	LS240相当品 220pF

用語解説

英数字

[?]ボタン

Windows XP/2000/NT 4.0/Me/98/95で、ダイアログボックスの項目についてのヘルプ画面を表示するためのボタン。[?]ボタンをクリックしてからウィンドウ内の項目をクリックすると項目の説明が表示される。

10BASE-T/100BASE-TX

ネットワークの伝送路に関する規格。伝送速度は10BASE-Tが10Mbps、100BASE-TXが100Mbps。本プリンターではこれらの規格のケーブルを使ってネットワークに接続することができる。

16進ダンプ印刷

プリンターが受信したデータを処理せず、そのまま16進数で印刷すること。プリンターの動作を調べるときに使用する。(→ステータス印刷)

```
1B 48 1C 30 36 46 31 2D 30 30 30 1B 73 30 1B 24
20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 2A 2B 2C 2D 2E 2F
30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 3A 3B 3C 3D 3E 3F
40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 4A 4B 4C 4D 4E 4F
50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 5A 5B 5C 5D 5E 5F
60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 6A 6B 6C 6D 6E 6F
70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 7A 7B 7C 7D 7E 7F
80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 8A 8B 8C 8D 8E 8F
90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 9A 9B 9C 9D 9E 9F
A1 A2 A3 A4 A5 A6 A7 A8 A9 AA AB AC AD AE AF B0
B1 B2 B3 B4 B5 B6 B7 B8 B9 BA BB BC BD BE BF C0
C1 C2 C3 C4 C5 C6 C7 C8 C9 CA CB CC CD CE CF D0
D1 D2 D3 D4 D5 D6 D7 D8 D9 DA DB DC DD DE DF E0
E1 E2 E3 E4 E5 E6 E7 E8 E9 EA EB EC ED EE EF F0
                       :
```

201PL

NECのシリアルプリンター用標準コードのこと。

AppleTalk

米国アップルコンピュータ社が開発したMacintosh専用のネットワーク用ソフトウエアまたはプロトコル。

CR

Carriage Return(キャリッジリターン)の略。改行を表す文字コード。もともとはタイプライターのキャリッジを左端に戻すという意味。プリンターの制御コード(コマンド)のひとつ。

CSV形式

データベースソフトや表計算ソフトのデータをテキストファイルとして保存する場合の形式のひとつ。データを区切り符号で仕切ることで異なるアプリケーション間でのデータの共有を図ることができる。

DHCP

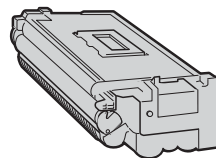
Dynamic Host Configuration Protocolの略。ネットワーククライアントにIPアドレスなどのパラメーターを配布するプロトコル。DHCPサーバーにおいてIPアドレスなどを一括管理し、クライアントは起動時にDHCPサーバーにIPアドレスの貸し出しを要求する。IPアドレスの一括管理によりアドレスの重複を避け、容易にネットワークの構築ができる。

DPI(dpi)

Dots Per Inchの略。1インチ当たりのドット数。プリンターの解像度などを表す単位。(→解像度)

EPカートリッジ

OPCドラム、現像ユニットなどが一体化された部品。ドラムにトナーを付着させ印刷イメージを形成させるはたらきをする(→OPC)。消耗品のため「76 トナーナシ EPコウカン」または「87 OPCジュミョウ EPコウカン」が表示されたら交換が必要。1本で印刷できる枚数はカートリッジの種類、印刷するデータによって異なる(詳細は8章「日常の保守」参照)。

ECP

Extended Capabilities Portの略。コンピューターとプリンターをつなぐパラレルインターフェースであるIEEE1284で使用するデータ転送モードのひとつ。米マイクロソフト社と米ヒューレット・パッカード社が中心となって提案した。データ転送速度は従来のセントロニクスの最大150KB/秒に比べ、2MB/秒と高速である。また、双方向通信機能やデータ圧縮機能を備える。使用するにはコンピューターとプリンターなど周辺機器の両方が対応している必要がある。

ESC/P

セイコーエプソン株式会社が開発したプリンターを制御する命令(コマンド)の集まり。

FF

Form Feedの略。プリンター制御命令のひとつで、改ページを行うためのもの。

IPアドレス

IPはInternet Protocolの略。インターネット上で個々のユーザーを認識する符号(アドレス)。インターネットに接続したコンピューターにはすべてIPアドレスが割り振られる。

IPP

Internet Printing Protocolの略。Windows 2000で標準にサポートされたインターネット印刷プロトコル。イントラネットやインターネットを通じてURLの指定を受けたプリンターに印刷することができる。

IPX/SPX

NetWareをネットワークOSとしてインストールしたコンピューターが使用するプロトコル。

ISO 9660

ISO(International Organization for Standardization:国際標準化機構)が定めたCD-ROM用のファイル形式。多くのCDはこの方式を採っており、OSによって異なるフォルダーやファイルの名前の規則を守ればMacintoshやUNIXマシンでも読み出すことが可能。

LAN

Local Area Networkの略。構内情報通信網のこと。

LAN Manager

マイクロソフト社が開発したネットワークOS。NetBEUIプロトコルを用いる。

LPR

Line Printer Remoteの略。Windows XP/2000/NT 4.0、UNIXに標準でサポートされている。ネットワーク上でコンピューターからプリンターへ印刷することができる。

LPRバイトカウント

LPRプロトコルで、印刷データを送信する前に印刷データの容量を測定し、プリンターに送信する機能。

Macintosh

米国アップルコンピュータ社が開発したパーソナルコンピューターの総称。Mac OSには、あらかじめAppleTalkソフトウェアが組み込まれており、LocalTalkケーブルシステムやEtherTalkケーブルシステムを使ってネットワークを構築する。

Mac OS

米国アップルコンピュータ社が開発したパーソナルコンピューターのMacintoshのOSのこと。個々の名称はSystem(日本語では漢字Talk)であるが、総称としてMac OSと呼ぶようになった。

MIB

Management Information Baseの略。TCP/IP通信でのネットワーク管理用プロトコルのSNMPで、コンピューター間でやり取りされる管理情報を定義したもの。

MOPYING

Multiple Original coPY and printINGの略。NECが提唱するコピー機の代わりにプリンターでオリジナル印刷する新しい「印刷スタイル」。

MS-DOS

Microsoft Disk Operating Systemの略。マイクロソフト社が開発したOSのひとつ。現在のパソコンの基礎となったオペレーティングシステム。

NetBEUI

ネットビューイと読む。IBMによって開発された小規模LAN用のプロトコル。主にLAN ManagerをネットワークOSにしたときに用いられる。

NetWare

ノベル社が開発したネットワークOS。プロトコルにはIPX/SPXが用いられる。

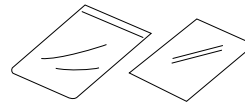
NMPS

NEC MultiWriter Printing Systemの略。Windowsで使用するプリンターの機能を向上させ、より速く印刷し、より簡単に操作できるようにするためのシステム。

NPDL

NEC Printer Description Languageの略。NECプリンター記述言語。

OHPフィルム

OHP(オーバーヘッドプロジェクター)用の透明なシート。プレゼンテーションなどに使用する。

OPC

Organic Photo Conductorの略。有機光電導体。ドラムカートリッジのドラムに用いられる有機材。一様に帯電させ、表面に光を照射すると照射量に応じて電荷が失われる現象を利用して潜像を形成する。

OS

Operating System(オペレーティングシステム)の略。コンピューターのハードウエア、ソフトウエアを有効に利用するために総合的管理を行うソフトウエアのこと。本書では特に区別して説明する場合、MS-DOSやWindowsなどプログラムの実行管理などを行う基本的なソフトウエアを「基本OS」、Windows XP/2000、Windows NTやNetWareなどネットワークを強く意識したOSを「ネットワークOS」と呼ぶことがある。

ping

packet internet groperの略。インターネットなどのTCP/IPネットワークで相手のコンピューターに小さなパケットデータを送り、その戻り時間により相手先コンピューターや通信回線の状況をチェックするのに利用するコマンド。(→TCP/IP)

PrintAgent

双方向通信により、コンピューターの画面上で印刷状況の確認、プリンターの設定を行うことを実現したソフトウエア。MultiWriterシリーズに搭載。

RGBガンマ

Red Green Blueガンマ
使用しているモニターで中間トーンをどの程度調整する必要があるかを示すもの。専門的にはモニターの特性曲線を線形にするのに使用される指数。

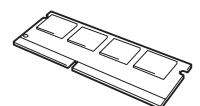
SET

Sharp Edge Technologyの略。MultiWriterシリーズに採用されている高精細印字機能。

SNMP

Simple Network Management Protocolの略。ネットワーク管理プロトコルの一種。事実上TCP/IPを使ったネットワーク管理の標準。コンピューター間ではMIBで定義された管理情報がやり取りされる。(→MIB)

SO-DIMM

SO=Small Outline の略。Dual In-line Memory Moduleの略。コンピューターやプリンターなどに使われるメモリーの一種。

TCP/IP

Transmission Control Protocol/Internet Protocolの略。ネットワークのプロトコルのひとつ。UNIXをはじめWindows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0、Windows Me/98/95、Macintoshなど、主要なOSでサポートされる世界的な標準プロトコルになっている。

TrueType

米国アップルコンピュータ社と米国マイクロソフト社が開発したソフトウエアで、Macintosh/Windows用のアウトラインフォントを用いた画面表示と印刷を行う。どんなアプリケーションソフトからでも利用できるアウトラインフォントが使えるので、文字サイズが大きくなってもギザギザにならない。

UNIX

AT&T社のベル研究所で開発された一般的にワークステーションで用いられるOS。プロトコルはTCP/IPを用いるのが標準的。クライアント・サーバシステムにおいてはUNIXマシンをサーバーにする例が多い。

USB

Universal Serial Busの略。キーボード、マウス、スピーカー、モデム、プリンターなどの周辺機器とコンピューターの間を統一したコネクターとケーブルで接続できるインターフェース。

WAN

Wide Area Networkの略。広域情報通信網。離れた場所のLAN同士を接続するネットワークのこと。一般の電話回線や専用回線などを介して接続する。

Windows 2000

マイクロソフト社が開発したOSのひとつ。Windows NTの堅牢性とWindows 98の機能を合わせ持つ、ローエンドからハイエンドまですべての領域をカバーするOS。Windows NT 4.0の後継にあたる。

Windows 95

マイクロソフト社が開発した個人ユーザー向けOS。Windows 3.1の後継にあたる。

Windows 98

マイクロソフト社が開発した個人ユーザー向けOS。Windows 95の後継にあたる。不具合の修正と機能の強化を図ったアップデート版としてWinodws 98 Second Editionもある。

Windows Me

マイクロソフト社が開発した個人ユーザー向けOS。Windows 98の後継にあたる。主にマルチメディア、ネットワークなどの機能強化が図られた。

Windows NT

マイクロソフト社が開発したOSのひとつ。サーバーとして用いられることが多い。

Windows XP

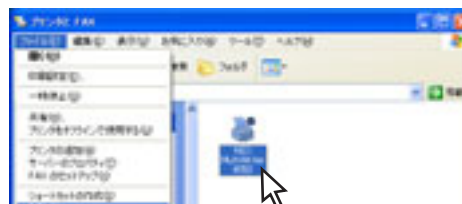
マイクロソフト社が開発したOS。ビジネスユーザー向けとされるWindows 2000の安定性を受け継ぐ。ただし製品としては、Windows 2000の他、家庭向けのWindows Me/98後継にも位置づけられ、インターネット接続性の機能強化が図られた。

WWW

World Wide Webの略。インターネットに公開されている情報を検索するためのシステムのひとつ。ユーザーはWebブラウザーを通して情報の検索や閲覧を行う。

五十音順

アイコン

アプリケーションやドキュメントなどWindowsのいろいろな要素を表す小さな絵。

アウトラインフォント

文字の形を直線や曲線で表された輪郭として記憶し、出力時にその文字データを論理的に処理して表現すること。文字サイズの自由な設定や文字の変形が可能となり、ドット密度に関係なく美しい文字を表現できる。

アクセスポイント

ネットワークに外部から接続（アクセス）するための受け口。MultiWriterのオプション品である無線LANボードは、アクセスポイント経由の接続に対応している。

アドホック（ad hoc）

無線LAN機器が備える動作設定のひとつ。無線親機（アクセスポイント）なしに、無線LANボードなどの無線子機同士が相互に通信できる。

アドミニストレーター（Administrators）

管理者という意味。ネットワークやシステムの管理を行う最高の権限を持っている人。システムアドミニストレーターと呼ぶこともある。（→システム管理者）

アプリケーション

文書作成や作図など特定の作業に使うプログラム。

アンインストール

インストールしたソフトウエアを削除し、インストール前の状態に戻すこと。

イーサネット（Ethernet）

LANの伝送路に関する規格。米ゼロックス社と米ディジタルイクイップメント（DEC）社と米インテル社が協同で開発、規格した。3社の頭文字をとってDIX規格と呼ぶこともある。IEEE802.3標準の伝送速度10Mbpsの規格とほぼ同義。コンピューター同士をどのようなケーブルで結び、どのような信号で、どうやり取りするかなどを決めている。同軸ケーブル上で電波を使って通信する仕組みで、複数の端末が通信するために、CSMA/CDという信号制御方式を採用している。現在では同軸ケーブルではなくツイストペアケーブルを使うことが多い。

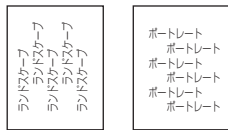
イニシャライズ

初期状態にすること。例えば、メモリーの内容を全部ゼロにしたり、プログラム中のカウンターをゼロにしたりすること。

印刷ジョブ

アプリケーションで作成された文書を印刷する作業単位のこと。スプールされて印刷待ちに追加されるか、直接プリンターに送られる。

印刷の向き

用紙に対して文字やグラフィックが印刷される方向。横長（ランドスケープ）と縦長（ポートレート）がある。

印刷範囲

プリンター用紙に印刷ができる限界のこと。用紙の上下および左右の余白部分を除いた印刷可能領域を指す。

インストール

一般にはシステムや装置を設置するという意味。ソフトウエアではOSやアプリケーションをコンピューターに組み込むという意味。

インターフェース

2つの装置〈デバイス〉を通信できるように接続するための仕様、ケーブルシステム。

ウィンドウ

アプリケーションやドキュメントが表示される画面上の領域で、開いたり、閉じたりすることができる。

ウォームアップ

プリンターの電源をONにした後、ヒートローラーが一定の温度になり印刷が可能になるまでの状態をいう。

エミュレーション機能

他のプリンターのために開発されたソフトウエアの制御コードを本プリンターで使用できるようにする機能。たとえば、PC-PR201系シリアルプリンターの制御コードが使用できる場合を201PLエミュレーションと呼ぶ。この機能を実現するためのプログラムをエミュレーターと呼ぶ。

エリート文字

1インチ当たり12文字の等間隔で印刷する文字のこと。タイプライターが使われていた頃からの用語。

オフセット排紙

用紙の排紙を用紙の向きはそのままで水平方向にずらして出力する機能。

解像度

プリンターが文字や画像を印刷するときの細かさのこと。1インチ（25.4mm）当たりのドット数で表す。

拡張子

MS-DOS、Windowsなどでファイル名の最後に付加する文字列で、ファイルの種類を表すためのもの。ピリオドに続けて表記される。「.txt」や「.jpg」など。

拡張制御コード

制御コードのうち、ESC（1BH）、FS（1CH）、のように後に続くコードと組み合わせて機能を表すコードをいう。（↔基本制御コード）

紙づまり

用紙がつまってプリンターが動作しなくなった状態をいう。

かんたん設定

Windows XP/2000/NT 4.0のプリンタードライバーでのみ使える機能。[印刷設定]ダイアログボックスの[メイン]シート右上のリストビュー。リストビューのアイコンをクリックすると、プリンターで登録済みの設定や、ユーザーが用途に合わせて登録した設定が読み込まれる。

輝度

モニターなどの画面の明るさ。

機能選択バー

Windows XP/2000/NT 4.0のプリンタードライバーでのみ使える機能。[印刷設定]ダイアログボックスの[メイン]シート左側にある縦向きのバー。ボタンをクリックすると[複数ページレイアウト]、[リプリント]などの機能の設定項目が[メイン]シート右下に表示される。

基本制御コード

制御コードのうち、CR（0DH）、LF（0AH）のように単独で機能を表すコード。（↔拡張制御コード）

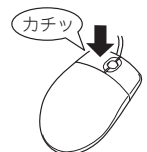
クライアント

ネットワークを介して他のコンピューター（またはサーバー）にアクセスしている利用者または、利用者のコンピューター。

クライアント・サーバー（システム）

中規模/大規模のネットワークに適した接続形態。専用のコンピューター（サーバー）が共有の資源（ハードディスクやプリンター）を管理し、接続を許されたコンピューター（クライアント）が利用できるようにしたもの。本書ではクライアント・サーバー型ネットワークとも呼んでいる。（→ピア・ツー・ピア）

クリック

マウスのボタンを押して素早く放す操作のこと。

グレースケールイメージ

白黒写真のように色彩情報がなく、ドットの多少により明暗を表現するグラフィックスイメージ。
（→ハーフトーン）

現像ユニット

OPCドラム上に形成された潜像に、負帯電させたトナーを付着させる役目を持つ。ドラムカートリッジに内蔵されている。

コマンド

コンピューターに行わせたい作業を実行するために選択または入力する命令。

コンデンス文字

1インチ当たり約17文字で印刷する文字のこと。タイプライターが使われていた頃からの用語。

コントラスト

グラフィックなどの明るい部分と暗い部分の差の度合い。

コントロールパネル

Windowsで、キーボードやマウスの使用条件、スピーカーの音量、スクリーンセーバーの種類などパソコンのさまざまな設定を行うための画面をいう。

サスペンド機能

データやプログラムを作業時の状態のままにしてパソコンの動作を一時停止させる機能。

システム管理者

コンピューターシステムを管理する人。
あるグループ全体のコンピューターや周辺装置、ソフトウエアなどシステムを構成する様々な要素に関する情報をもとに、システムが効果的に運用できるように管理する。

自動給紙

カット紙(単票用紙)を連続して自動的に給紙することをいう。

自動排出

コンピューターからのデータが一定時間なかったとき、プリンター内のデータを自動的に印刷して排出する機能。

シリアルプリンター

文字単位で印刷を行うプリンターの総称。

ジョブ結合

PrintAgent リプリント2で実現する機能。これを利用すると一度印刷してスプールしてあるドキュメントを組み合わせて、一つにまとめて印刷することができる。再印刷のために複数のアプリケーションを起動する手間を省くことができる。

[スタート]ボタン

Windows XPやWindows 2000、Windows NT 4.0、Windows Me/98/95でアプリケーションソフトの選択、起動、ファイルの検索、Windowsの終了などを行うことができるボタン。

ステータス印刷

テスト印刷のうちのひとつ。給紙構成や動作モード、メモリースイッチの設定状態などプリンターの状態を印刷するもの。

スプール

ドキュメント(文書)を印刷する場合に印刷データをコンピューターのハードディスクにファイルとしていったん保存して、保存した順にプリンターに送ること。これによりプリンターが印刷を終了するのを待たずにコンピューターでは別の作業を行うことができるようになる。プリンターに送り終えたファイルは自動的に消去される。

制御コード

プリンターの動作を制御するためのコード。印刷データと異なり印刷されない。たとえば、CR(改行コード)やFF(改ページ)など。

セントロニクス・インターフェース

旧セントロニクス社が開発したプリンターとコンピューター間の通信仕様。仕様名として当時の会社名がそのまま使われ続けている。8ビットパラレルデータに制御信号を加えてプリンター用のインターフェース規格として広く使用されている。本プリンターは標準の36ピン・パラレルコネクターで使用できる。

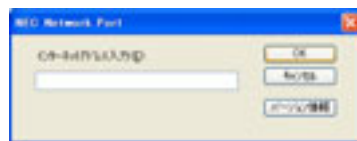
双方向通信

コンピューターとプリンターの間で、情報のやり取りをする通信形態のこと。PrintAgent機能を実現するための必須条件。コンピューターから印刷データが送られるだけでなく、プリンターからもコンピューターに情報を送ることができるので、印刷の状況がプリンタステータスウィンドウのアニメーションと音声で、正確にわかる。双方向通信にはセントロニクスインターフェースか双方向通信可能なプリンターインターフェースを装備したコンピューターであるか、またはUSBやネットワークで接続されていることが必要。

ソフトウエア

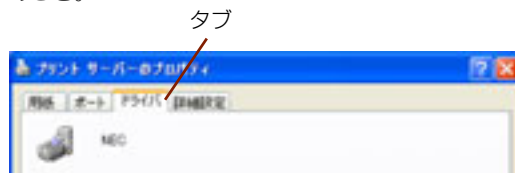
コンピューターやプリンターなどハードウエアに作業を実行させるための命令の集まり。プログラム、アプリケーション、オペレーティングシステム、プリンタードライバーなどの総称。(↔ハードウエア)

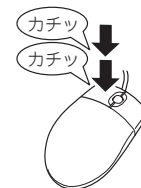
ダイアログボックス

設定や操作のために画面に表示されるボタンやリストボックスを持ったウィンドウ。

タイトルバー

ウィンドウやダイアログボックスのタイトルを示す、横向きのバー。多くのウィンドウでは、[コントロールメニュー]ボックスや[最大表示]、[アイコン化]、[最小化]ボタンなどもついている。

タブ

Windowsでは、ダイアログボックスの中に複数の設定画面(シート)がある場合に表示されるインデックスタイプのつまみのこと。

ダブルクリック

マウスのポインター(矢印)を動かさず、マウスのボタンを素早く2回押して放す動作。アプリケーションを起動するときなどに使う。

チェックボックス

ダイアログボックスの中の小さな正方形で、ON／OFFの切り替えができるオプション（機能）を示す。オンにするとチェックボックスに×や✓印が表示される。

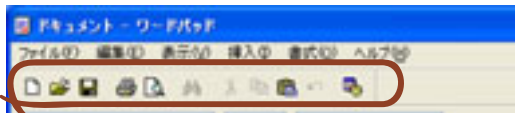
通常使うプリンタ

アプリケーションで[印刷]コマンドを実行し、プリンターの指定を省略したときにその印刷データを印刷するプリンター。

坪量

用紙の重さを表す単位。用紙1枚1m^{2}単位の重さをいう。（ユーザーズマニュアルで使用している用紙の坪量は、64.0g/m^2）。

ツールバー

ウィンドウのメニューバーの下のボタンがついている部分。

定着器

用紙上のトナーを熱によって溶かし、圧力を加えて用紙に固定させるためのもの。ヒートローラーとプレッシャーローラーで構成されている。

テスト印刷

プリンターが正常に動作していることを確認するためのもの。

電子ソート

複数部数を印刷する場合にコンピューターから一部目だけ印刷データを送り、二部目以降はプリンターのメモリーやハードディスク上で印刷データ処理を行う機能。オプションの増設メモリーやハードディスクをプリンターに取り付けることで実現する。

動作環境

ソフトウエアや周辺機器が正しく動作するために必要な環境条件。

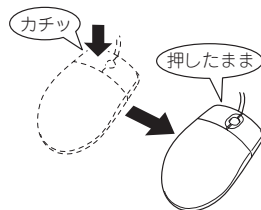
ドライバー

周辺装置やそのインターフェースをコントロールするプログラム。（→プリンタードライバー）

ドライブ名

ハードディスク内やフロッピーディスクドライブ、CD-ROMドライブなどの領域に割り当てられている文字。「A」や「C」など。

ドラッグ

マウスのボタンを押したまま、マウスを動かす動作。例えば、ウィンドウのタイトルバーをドラッグするとウィンドウを移動させることができる。

ネットワーク

複数のコンピューターや周辺機器をケーブルまたは他の手段を用いて接続し、情報交換したり機器を共有したりできるようにしたコンピューターの集団。

バーコード

白と黒の縞模様を線の太さと間隔を変えながら書き並べてデータを表し、印刷されたコード。国名、商品名、価格など、主として流通や商品管理で必要な管理情報、POS用のコードを表すのに使われる。本製品は、カスタマバーコード、NW-7、JAN、CODE 39、Industrial 2 of 5、Interleaved 2 of 5に対応する。MultiWriter 4550は、UCC/EAN-128にも対応しています。

ハードウエア

コンピューター本体、キーボード、マウス、コンピューターやプリンターなどコンピューターシステムを構成する個々の機器またはそれらの総称。（↔ソフトウエア）

ハーフトーン

画像を表示・出力する際に、一定間隔の点（網点）に分解し、それぞれの黒い点の大きさを変えることで濃淡を表現する。大きい点は濃いグレー、小さい点は薄いグレーになる。

バッファーフル

ページバッファーに1ページ分の印刷データがたまることをバッファーフルという。バッファーフルになると、自動的にそのページの印刷を行う。

ハブ

LANでコンピューターなどの端末を放射線状に配線する際、中心に配置する集線装置。一般には10BASE-Tや100BASE-TXのLANケーブルを接続する集線装置を指す。RJ-45のジャックを4～32口程度持つ箱で、各コンピューターのLANボードとツイストペアケーブルで接続して使う。動作によってリピーターハブとスイッチングハブ（スイッチ）に大別できる。

パラレルインターフェース

同時に複数の信号を並列に送るデータ転送方式、あるいは物理的な接続コネクターのこと。MultiWriterとコンピューター間ではセントロニクス仕様に準拠した方式（IEEE1284規格準拠双方向パラレルインターフェース）が用いられる。

ピア・ツー・ピア

小規模のネットワークに適した接続形態。専用のサーバーコンピューターを必要とせず、コンピューター同士、コンピューターとプリンター間で相互に通信が可能となる。本プリンターをピア・ツー・ピア接続して使用するためにはLANボード／LANアダプターが必要。本書ではピア・ツー・ピア型ネットワークとも呼んでいる。（↔クライアント・サーバー）

ピア・ツー・ピアグループ

無線LAN機器が備える設定のひとつ。無線親機（アクセスポイント）なしに、無線ＬＡＮボードなどの無線子機が相互に通信できる。

ヒートローラー

定着ユニットにあり、プレッシャーローラーとともに熱と圧力でトナーを定着させる働きをする。

ピクセル

Pixel（Picture elementからの合成語）。画素とも言う。ディスプレイの画面に表示できる情報の最小単位。

ビットマップ

画面やプリンターに出力されるイメージを表す連続した点の集合。

フォーム印刷

見出し文字や罫線枠などのフォームデータを文章データと重ね合わせて印刷すること。フォームデータを作成するには別売のアプリケーションが必要。

フォント

同じ外観、サイズ、スタイルの文字、数字、記号またその他のシンボル等の集合。

不揮発性メモリー

電源をOFFにしても記憶した内容が消えないメモリー。

ブラウザー

インターネット上のWebページを閲覧(ブラウズ)するためのソフトウエア。WWWブラウザーとも呼ぶ。主なものに、Microsoft Internet ExplorerやNetscape Navigatorがある。

ブラシパターン

図形を塗りつぶすためのある一定のパターン。

プリンターケーブル

コンピューターとプリンターを接続するケーブル。

プリンタードライバー

コンピューターとプリンターの間のやり取りを仲介するプログラム。インターフェースやフォントの指定、インストールされたプリンターの機能などの情報を、OSに提供する。

プリンターバッファー

一般にコンピューターの処理速度は速くプリンターの処理速度は遅い。したがって、プリンターでの印刷をしている間コンピューターは何もしないで待つという状態が発生する。そこで、コンピューターから送られたデータをいったん記憶装置に蓄え、プリンターの処理に合わせて順次その記憶装置からプリンターに印刷データを送ることにする。これによってコンピューターは印刷の終了を待たずに印刷処理から解放され、別の仕事をすることができる。この記憶装置をプリンターバッファーと呼ぶ。

プリンタープール

複数の同じ印刷装置をひとつの論理プリンターとして関連づけて印刷を行うこと。

プロトコル

コンピューターが他のコンピューターや周辺機器と通信するための規約。

プロパティ

ファイルやソフトウエアなどの固有の情報。フォントやウィンドウの色などさまざまな情報の設定、状態などを表す。プリンターの設定状態などを示す用語として広く使われている。

プロポーショナル文字

印刷される文字ごとに、文字幅が異なる文字のこと。

ページ記述言語

１ページ分のテキスト(文字)やグラフィック(図形)のデータ、位置情報などを正確に表すための言語。

ページプリンター

ページ単位で印刷を行うプリンター。1ページ分のデータをプリントイメージとしてメモリー上に展開(作成)して印刷を行うプリンターのこと。

ポイント(マウスの)

マウスのポインターを目的の項目の上に置く動作。

ポイント(文字の)

印刷される活字の大きさの単位で、1ポイントは1/72インチ。

ポート

コンピューターが外部とデータをやり取りするときに使用するケーブルの接続部分。

ポートレート

用紙を縦長にした内容で印刷する印刷フォーマットのこと。(↔ランドスケープ)

ボタン

ダイアログボックス中のボタンの絵。選択した動作の実行やキャンセルを行う。[OK]ボタンや[キャンセル]ボタンなどがある。

マウスポインター

マウスの動きに応じて画面上を移動する矢印の形をしたマーク。ポインターの形は設定やアプリケーションによって異なる。

丸め誤差

四捨五入や切り捨て、切り上げなどで、切りのいい数字にすることによって生じた誤差。

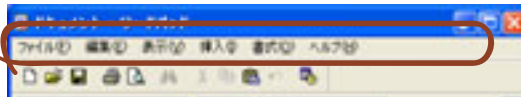
無線LAN

ケーブルの代わりに電波などを利用してネットワーク(LAN)を構成するシステム。IEEE802委員会がIEEE802.11標準として勧告しているシステムが代表例。MultiWriterのオプション品である無線LANボードは、IEEE802.11bに準拠している。

メニュー

ウィンドウで使用できるコマンドの一覧。メニュー名をクリックするとメニュー名に関連するコマンドの一覧が表示される。

メニューバー

すべてのメニュー名が表示されるバー。ほとんどのアプリケーションで、このバーは、タイトルバーの下に表示される。

メモリー

データを保存する装置。または情報やプログラムの一時的な記憶場所。

メモリースイッチ（MSW）

不揮発性メモリーを利用してプリンターのさまざまな設定を行うスイッチ。機械的にON／OFFを切り替えるスイッチではなく、電気的に切り替えるスイッチ。

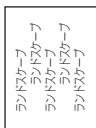
メモリースイッチ設定モード

プリンターの設定をプリンターの操作パネルを使ってメニュー形式で行うモード。

ラジオボタン

ダイアログボックスで複数の項目の中から一つを選ぶためのボタン。どれかを選択すると、それまでONだったものが連動してOFFになる。

ランドスケープ

用紙を横長にした内容で印刷する印刷フォーマットのひとつ。（↔ポートレート）

リストボックス

ユーザーに対して項目の一覧を表示するためのボックス。通常、現在選択されている項目を表示している。

リプリント

一度印刷した印刷データのスプールファイルを利用して再印刷する機能。この機能を使うと、印刷するたびにアプリケーションを再起動する必要がない。標準シートとジョブ結合シートがある。

Windows XP/2000/NT 4.0/Me/98/95の場合、PrintAgent リプリント2のウィンドウを使って実現し、その際に、丁合い、ジョブセパレート、両面印刷の設定も可能。

PrintAgent リプリント2のウィンドウ

連量

用紙の重さを表す単位。一般に788×1091mmのサイズの用紙1000枚当たりの重さをいう。

ローカルプリンター

コンピューターと直接プリンターケーブルで接続しているプリンター。

索引

記号

A

B

C

D

E

F

G

H

I

L

M

N

O

P

S

T

U

V

W

ア

イ

ウ

エ

オ

カ

キ

ク

ケ

コ

サ

シ

ス

セ

ソ

タ

チ

ツ

テ

ト

ナ

ニ

ヌ

ネ

ハ

モ

ユ

ヨ

ラ

リ

レ

ロ

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

高調波ガイドライン適合品

この装置は、経済産業省通知の家電・汎用品
高調波抑制対策ガイドラインに適合しています。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
本書に従って正しい取り扱いをしてください。

なお、ネットワークオプション*(PR-WL-11 無線LANプリンタボードを除く)を取り付けた場合、この装置は情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

* オプションについては、1章「オプション」（15ページ）を参照してください。

漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人電子情報技術産業協会（社団法人日本電子工業振興協会）のパソコン業界基準（PC-11-1988）に適合しています。

電源の瞬時電圧低下対策について

この装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。
（社団法人電子情報技術産業協会（社団法人日本電子工業振興協会）のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

海外でのご使用について

この装置は、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格などの適用認定を受けておりません。したがって、本装置を輸出した場合に当該国での輸入通関、および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。